

# XIV. 管理通貨制度及理想的貨幣制度

アンダーソン, ビー・エム 商品弗の實施は不可能 (調査月報 24-3) 昭9

ダーリング, ジェー・エフ 英帝國の頽勢挽回策—新貨幣レックス本位制とは何か (國際パンフレット通信 411) 昭6

同 レックス貨幣の提唱 (銀行研究 22-2) 昭7

フィッシャー, アーヴィング 世界の主要貨幣學說—購買力安定と物價指數本位制度 (東洋經濟新報 1486) 昭7

フォスター エヂソン; フォードの物品本位貨幣說 (調査月報 13-5) 大12

林 要 貨幣のない社會 (經濟往來 7-1) 昭7

日根野 征三 ハンス・グリュックスタット: 信用本位制度の提案 (銀行研究 25-6) 昭8

平野 清 キーンズの貨幣改革論を讀みて (銀行研究 7-2/3) 大13

同 再びキーンズの所謂 Managed currency に就て (商業及經濟研究 38) 大14

飯田 繁 補整弗に関する若干の技術問題 (經濟時報 6-5) 昭9

同 「フィッシャーの補整弗」批判 (經濟時報 6-6) 昭9

岩井 茂 日附貨幣の理論的根據 (商工經濟研究 9-1/2) 昭9

同 商品ドル案と日附貨幣案 (經濟往來 9-2) 昭9

岩崎 博 Gold Standard Managed Currency 乎 (銀行研究 8-5) 大14

同 アール・マツケナ: 管理通貨を實行せよ (銀行研究 26-6) 昭9

門脇 良教 管理通貨說批判 (大阪銀行通信録 418) 昭7

春日井 薫 貨幣價值安定策としての Tabular Standard (明大商學論叢 4-34) 昭3

同 自然貨幣より統制貨幣へ (明大商學論叢 7-5/6) 昭5

同 分配の公正と勞働本位貨幣案—オウエニストとリカルディアン・ソーシアリストの主張 (明大商學論叢 8-4) 昭5

\*川島 清治郎 貨幣廢止論—日英兩文 東京 二西社 大9

\*ケインズ 貨幣改革問題 [譯] 岡部菅司・内山直 東京 岩波書店 大13 288頁 四六 [參照目次: VI, a]

金原 賢之助 管理通貨論の據頭 (財政經濟時報 19-5) 昭7

小泉 計太郎 アーヴィング・フィッシャー: 通貨統制主義思想の發表 (銀行研究 26-3) 昭9

同 ケムムラー「フィッシャー商品ドル案の批判」(銀行研究 26-4) 昭9

マツケナ, アール 管理通貨か金本位か (外國の新聞と雜誌 257) 昭7

松崎 壽 米國に於ける補正ドルの復活 (エコノミスト 11-20) 昭8

三浦 實 スタンプ・マネー (金融大辭典 II 卷 1 頁) 昭9

同 補整弗 (金融大辭典 III 卷 2 頁) 昭9

ニューファング 商品本位と金本位との優劣 (銀行通信録 425) 大10

奥田 勳 補整弗制案の吟味 (商學評論 12-4) 昭9

奥野 平 1. 日銀制度改正問題に就て 2. 管理通貨とは? [時事經濟問題解説] (銀行論叢 18-5) 昭7

\*大藏省理財局 新貨幣制度としての賣貨幣の創設 [ローズ・ウオータ] 東京 大12 35頁 [貨幣論叢 7]

\*同 エヂソン; フォード兩氏提唱物品本位貨幣制度批判 大12 35頁 [貨幣論叢 8]

\*世界思潮研究會 エジソンの新貨幣案 大11

柴田 敬 物價指數本位制度 (金融大辭典 III 卷 1 頁) 昭9

同 計表本位制度 (金融大辭典 I 卷 1 頁) 昭9

新庄 博 土地貨幣 (金融大辭典 II 卷 1 頁) 昭9

高城 仙次郎 金利と物價との關係 (銀行研究 10-6) 昭1

高木 友三郎 金本位から實物準備紙幣へ (東洋經濟新報 1486) 昭7

## [XIV]

### 管理通貨制度及理想的貨幣制度

181

\*高島 佐一郎 金本位の後に來るもの 東京 千倉書房 昭7 362頁 菊 [參照目次: XI, 1, a]

同 管理通貨制優越の再強調—マツケナ氏説が日米兩國政策進路を示唆するとみて (東洋經濟新報 1542) 昭8

同 管理通貨 (金融大辭典 I 卷 11 頁) 昭9

\*同 管理通貨論 東京 日本評論社 昭9 297頁 四六

\*武田 春次郎 管理通貨論 東京 日本評論社 昭8 241頁 菊

竹島 富三郎 勞働貨幣 (經濟學辭典 V 卷 1 頁) 昭7

\*東京商工會議所調査部 明日の貨幣—各國貨幣制度改革案 東京 千倉書房 昭8 167頁 四六

I. 貨幣制度改革案概説  
II. 倫敦商業會議所の貨幣制度改革に関する提案  
III. 世界經濟會議に對する提案 (ケーンズ案)  
IV. インフレーションと貨幣 (フィッシャー案)  
V. 通貨安定政策と其の限界 (コール案) 附: 1. 中央銀行の手形再割引に関する業務 2. 國際中央銀行の設立

に伴ふ英國法律及び銀行業務の改正 3. 新制度は實業家に如何なる影響を及ぼすか 4. 商品本位案

豊崎 稔 「管理」金本位と金融景氣 (エコノミスト 11-14/15) 昭8

\*通貨制度研究會 將來の通貨制度 昭8

山口 正太郎 勞働貨幣 (金融大辭典 III 卷 2 頁) 昭9

「白金」通貨論 (銀行論叢 23-2) 昭9

補整ドルとは何か (國際パンフレット通信 640) 昭9

管理通貨への轉換 (東洋經濟新報 1492) 昭7

ケインズ教授の新提唱 (國際紙幣の發行案) (銀行通信録 569) 昭8

金本位制に對する不信—カッセル教授の紙幣本位論とマツケナ氏の管理通貨本位論とに就て (世界經濟 10) 昭7

最近の理想的貨幣論 (大阪銀行通信録 330/33) 大14

新國際通貨の提唱とその批判 (東洋貿易研究 12-7) 昭8

スタンプ紙幣案に就て (銀行通信録 575) 昭9

# XV. 平價問題及平價政策

## a. 一般

阿部 賢一 新平價解禁論是非 (エコノミスト 9-21) 昭 6

荒木 光太郎 平價切下論の理論的基礎—金輸出禁止の論議としての (エコノミスト 8-21) 昭 6

同 新平價論是非—新平價論の理論的缺陷 (東方公論 6-1) 昭 6

有澤 廣巳 景氣政策としての平價切下 (東洋經濟新報 1595) 昭 9

\*フィッシャー, アーヴィング 平價切下の次に来るもの (譯) 伊地知軍司 東京 日本評論社 昭 9 255 頁 四六 (參照目次: IX, a)

吳 知 金銀價格與外匯平價 (銀行週報 705) 民 20

服部 文四郎 平價切下げに就て (經濟法律論叢 5-1) 昭 9

深井 英五 所謂平價切下の意義 (經濟 1-3) 昭 9

古屋 美貞 平價切下解禁の利不利 (銀行論叢 13-2) 昭 4

池田 實 法定平價 (經濟學辭典 V 卷 1 頁) 昭 7

春日井 薫 新貨幣政策の目標—インフレーション, 平價切下げ, 商品費の過程と必需品標準の安定策 (銀行研究 27-2) 昭 9

\*勝田 貞次 富の分布が新平價か 東京 千倉書房 昭 7 291 頁 四六

勝本 正晃 平價切下と債權債務關係—殊に事情變更の原則の適用に就いて (經濟往來 7-8) 昭 7

河合 良成 救世主平價切下げ (經濟往來 7-8) 昭 7

金原 賢之助 爲替管理及び平價切下の經濟的考察 (財政經濟時報 20-1) 昭 8

同 平價切下に關する若干の考察 (三田學會雜誌 28-7) 昭 9

同 景氣政策としての平價切下の發展 (經濟往來 9-8) 昭 9

小島 昌太郎 インフレーション及び平價切下と生命保險契約者の利害 (社友 119) 昭 9

栗栖 勉夫 金約款と平價切下問題 (經濟往來 9-3) 昭 9

\*松岡 哲夫 平價切下とソシアル・ダンピングの話 東京 和田書房 94 頁 四六

三浦 實 金平價 (金融大辭典 1 卷 1 頁) 昭 9

宮田 喜代藏 平價切下 (金融大辭典 III 卷 2 頁) 昭 9

同 平價切下における國際主義 (經濟往來 9-8) 昭 9

同 金本位制管理の二つの形態—彈力的金平價の原理 (商業經濟論叢 12-下) 昭 9

同 將來の平價切下の特質 (銀行研究 27-1) 昭 9

長尾 義三 爲替及景氣の理論に表れたる平價切下問題 (研究論叢 2) 昭 5

\*中村 仲助 平價切下・貨幣の價值 東京 一號社 68 頁 四六

野崎 龍七 平價切下げの實例と解禁問題 (ダイヤモンド 17-1) 昭 4

\*大藏省理財局 Devaluation の概念に就て 大 11 22 頁 菊 [貨幣論叢 6]

酒井 正三郎 金本位制の將來と平價切下論 (商業經濟論叢 10-別冊) 昭 7

\*千野 國丸 平價切下げ 大阪 銀行問題研究會 昭 9 136 頁 四六

下田 將美 平價切下の大衆的錯覺 (改造 16-5) 昭 9

新庄 博 三つの平價切下例 (國民經濟雜誌 57-3) 昭 9

鈴木 平吉 Devaluation の概念に就て (商學研究 1-3) 大 11

高橋 正雄 平價切下げと金銀複本位 (工場世界 14-7) 昭 8

谷口 文輔 平價切下げと保險契約者 (金融三層 5-5) 昭 9

谷口 吉彦 平價切下に關する二三の問題 (藤本アナリスト 4-21) 昭 6

同 金再禁及平價切下の影響 (エコノミスト 9-23) 昭 6

## [XV, a-b]

谷口 吉彦 金輸出再禁および平價切下の影響 (エコノミスト 9-23) 昭 6

\*上崎 孝之助 平價切下の影響 東京 大光館書店 昭 9 100 頁 四六

宇都宮 鼎 Devaluation 問題を中心にして (早稻田政治經濟學雜誌 14) 昭 4

安田 與四郎 貨幣價值引下の理論的根據 (ダイヤモンド 20-19) 昭 7

平價切下後の諸問題 (財界觀測 16-4) 昭 9

平價切下の銀行信用物價, 事業活動に與へる諸影響 (財界觀測 16-2) 昭 9

平價切下論の検討 (エコノミスト 8-21) 昭 5

平價切下と爲替問題 (財界觀測 13-1) 昭 7

平價切下問題検討 (大阪銀行通信錄 401) 大 8

景氣政策としての平價切下 (東洋經濟新報 1595) 昭 9

金本位ブロックの平價切下論 (エコノミスト 12-10) 昭 9

金本位停止下に於ける平價切下と物價 (Y. Y. 生) (大阪銀行通信錄 419) 昭 7

國際經濟會議の通貨政策—金物價引上と平價切下の提唱 (東洋經濟新報 1538) 昭 8

歐洲諸國の平價切下問題 (エコノミスト 4-22) 昭 1

## b. 各 國 別

### 日 本

阿部 賢一 新平價解禁論是非 (エコノミスト 8-21) 昭 5

青木 得三 貨幣價值切下と金輸出解禁 (祖國 1) 昭 3

荒木 光太郎 平價切下論の理論的基礎 (エコノミスト 8-21) 昭 5

同 爲替暴落と平價切下げ (經濟往來 7-8) 昭 7

馬場 和男 新平價解禁論に對する疑義 (銀行研究 17-5) 昭 4

原 祐三 財界の現状と圓減價策の功罪 (ダイヤモンド 22-27) 昭 9

長谷川 光太郎 舊平價の解禁即行 (財政經濟時報 16-4) 昭 4

深井 英五 所謂平價切下の意義 (經濟 1-3) 昭 9

五十嵐 直三 平價切下げに就て (ダイヤモンド 19-31) 昭 6

飯田 清三 平價切下と爲替相場 (東洋經濟新報 1586) 昭 8

井上 準之助 舊平價解禁論 (改造 11-9) 昭 4

石橋 湛山 濱口内閣が行はんとする舊平價解禁の影響 (祖國 2-11) 昭 4

\*同 金解禁の影響と對策—新平價解禁の提唱 東京 東洋經濟新報社 昭 4 325 頁 四六

同 新平價解禁か舊平價解禁か—新平價解禁論 (公民講座 60) 昭 4

同 經濟不安と其克服—舊平價解禁政策に矛盾せる蠶絲業救済と其影響 (改造 12-4) 昭 5

\*勝田 貞次 米國平價切下の影響 東京 景氣研究所 97 頁 四六

\*同 新平價論の誤謬と財界の推移 東京 春陽堂 昭 5 210 頁 [景氣パンフレット 1]

\*同 平價切下に備へよ 東京 千倉書房 昭 9 193 頁 四六

金原 賢之助 平價切下斷行が財界低調の素因 (東洋經濟新報 1601) 昭 9

清島 梓 新平價解禁論に就て (銀行論叢 12-6) 昭 4

河野 吉男 新平價解禁をめぐる贊否兩論の論議 (長崎高商研究館彙報 16-5) 昭 6

越崎 宗一 舊平價か新平價か—井上, 武藤氏の説等を中心として (商學討究 5-下) 昭 6

小島 昌太郎 日本の平價切下に就いて (經濟往來 9-3) 昭 9

牧野 輝智 金買入法の實施, 平價切下の錯覺 (經濟 1-2) 昭 9

松崎 壽 平價切下げ解禁論の誤謬 (金輸出解禁問題) (内外調査資料 5月) 昭 4

同 平價切下解禁論の再討究 (銀行研究 16-6) 昭 4

村地 久治郎 平價切下論に對する疑問 (東洋經濟新報 1340) 昭 4

\*武藤 山治 景氣轉換策としての金輸出再禁止—新平價とは何か 東京 千倉書房 昭 6 116 頁 四六

小汀 利得 井上藏相の新平價反對論を駁す (公民講座 60) 昭 4

同 速に金解禁を行ふには平價切下の外なし (東洋經濟新報 1340) 昭 4

同 新平價の主張と一般財界への影響 (貿易 30-11) 昭 5

同 ドル切下と圓の切下げ (經濟 1-2) 昭 9

大井 謙 明治三十一年平價切下による我國金本位實施の經過 (銀行論叢 21-5) 昭 8

岡野 文之助 爲替平價切下に依る金輸出解禁問題 (財政經濟時報 16-4) 昭 4

奥野 平 新平價即時解禁はか期限附解禁が非か? (財政經濟時報 16-4) 昭 4

同 實際問題化せんとしつつある新平價解禁論 (銀行論叢 15-3) 昭 5

同 再禁止下の平價切下説に就いて [時事經濟問題解説] (銀行論叢 19-1) 昭 7

大島 堅造 誤れる我國近時の平價切下論 (エコノミスト 8-17) 昭 5

大内 兵衛 新平價説の實現難 (東洋經濟新報 1340) 昭 4

志立 鐵次郎 金平價引下に就て (財政經濟時報 16-4) 昭 4

清水 文之輔 平價切下論者の錯覺 (實業之日本 33-20) 昭 5

汐見 三郎 平價切下論を駁す (經濟論叢 33-5) 昭 6

墨田 大助 新平價解禁論の擡頭 (我觀 83) 昭 5

鈴木 祥枝 平價切下は自然に俟つ (ダイヤモンド 19-33) 昭 6

\*田川 大吉郎 日本平價切下 東京 現實處 66 頁 四六

高城 仙次郎 平價切下の可否 (法學研究 8-3) 昭 4

竹島 富三郎 金輸出再禁止平價切下論と不景氣打開策 (銀行研究 20-2) 昭 6

同 農村の救済と平價切下げ問題 (銀行研究 23-3) 昭 7

谷口 文輔 平價切り下げと保險契約者 (金融三層 5-5) 昭 9

谷口 吉彦 平價切下げと農村經濟 (農業と經濟 1-2) 昭 9

逓信協會積立金運用課 平價切下の簡易保險加入者に及ぼす影響 (逓信協會雜誌 310) 昭 9

津村 秀松 新平價解禁論 (工業之大日本 26-9) 昭 4

上野山永之助 圓價を切下げ速に金解禁を行ふべし (東洋經濟新報 1331) 昭 4

同 舊平價解禁の不得策を論じ圓價切下げの急務を主張す (東洋經濟新報 1340) 昭 4

同 爲替最低位切下金解禁の主張 (東洋經濟新報 1353/54) 昭 4

上野山永之助 金輸出を再禁止して新平價解禁に導くべし (東洋經濟新報 1400) 昭 5

和田 信純 金輸出再禁止及び平價切下論批判 (政治經濟時論 5-12) 昭 6

若宮 卯之助 新平價解禁問題私観 (保險評論 23-8) 昭 6

矢野 恒太 金解禁は新平價によれ (エコノミスト 7-14) 昭 4

同 新平價解禁論 (貿易 29-8) 昭 4

\*安田 與四郎 日本の新平價問題 東京 ダイヤモンド社 昭 9 280 頁 四六

1. 日本の新平價問題 1. 國際通貨の混亂 2. 將來の國際通貨 3. 金本位制度復活の場合 4. 爲替下落と貿易 5. 爲替安と國內産業 6. 財政と圓切下げ問題 7. 物價は騰貴するか 8. 信用の自然膨脹 9. 農村景氣の振興 10. 爲替崩落時代の回顧 11. 爲替と購買力平價 12. 數年間は形勢展望 13. 理想は延伸性爲替本位

11. 變革途上の世界經濟 1. 最初の世界恐慌 2. 貨幣經濟と財物經濟 3. 貿易制限の強化擴大 4. 大量生産の注目 5. 債務過多とは何か 6. 財物經濟の退却萎縮 7. 財政難は打開されるか 8. 歐洲大陸諸國の不安 附：英國は更生するか

圓價切下くべきか (ダイヤモンド 18-28/30) 昭 5

平價切下金解禁の可否 (財界研究 6-5) 昭 4

平價切下の外に策ありや (東洋經濟新報 1164)

平價切下論の實現難 (財界要報 96) 昭 5

平價切下論とインフレーション政策 (東洋經濟新報 1504/06) 昭 7

平價切下聲明と爲替相場 (財界觀測 16-3) 昭 9

平價切下説の可能性 (財界觀測 15-8) 昭 8

平價切下説の錯覺 (エコノミスト 11-24) 昭 8

平價切下と物價 (臺南生) (臺灣稅務月報 296) 昭 9

平價切下と爲替問題 (財界觀測 13-1) 昭 7

平價切下げ是非 (貿易 29-4) 昭 4

平價の切下と貨幣法の公約 (東洋經濟新報 1128) 大 13

金解禁の問題と圓價切下げ問題 (ダイヤモンド 7-14) 昭 4

金解禁の遅延と圓價切下げ問題 (ダイヤモンド 7-14) 昭 4

金輸出再禁止と平價切下の可否 (大阪經濟評論 13-10) 昭 5

金輸出即時解禁の方法と新平價制定の方法 (東洋經濟新報 1327) 昭 3

急迫せる財界難の原因—舊平價解禁の外に何が有る (東洋經濟新報 1400) 昭 5

舊平價解禁には如何なる利益があるか (東洋經濟新報 1346/47) 昭 4

舊平價解禁論者の財界整理論 (東洋經濟新報 1373) 昭 4

舊平價金解禁と貸借關係の紛淆 (東洋經濟新報 1363) 昭 4

舊平價金解禁と遊資處分の矛盾 (東洋經濟新報 1362) 昭 4

舊平價による金輸出即時解禁不能の一證 (東洋經濟新報 1327) 昭 3

農村救済要求運動と平價切下説 (東洋經濟新報 1503) 昭 7

政局安定と新平價解禁の將來 (財界研究 9-4) 昭 5

新平價解禁更改設の擡頭と證券市場の前途 (財界研究 9-2) 昭 5

新平價解禁論の批判 (財界研究 7-5) 昭 4

新平價解禁説の擡頭とその是非論 (經濟の日本 11-10) 昭 5

新平價金解禁論に對する反對論を駁す (東洋經濟新報 1341/47) 昭 4

新平價を定め金解禁を即行せよ (東洋經濟新報 1325) 昭 3

新平價論の實體檢討—平價切下論の檢討 (エコノミスト 9-21) 昭 6

新平價と各階級の利害 (エコノミスト 8-21) 昭 6

新舊平價解禁と井上藏相の謬想 (東洋經濟新報 1372) 昭 4

借金株引策としての新平價 (エコノミスト 8-21) 昭 6

**アメリカ合衆國**

ホートレイ 弗が平價引下を斷行したら? (世界經濟 3-1) 昭 8

深井 英五 米國の平價切下問題に就て (貿易 34-3) 昭 9

岩崎 博 米國の平價切下 (銀行研究 26-3) 昭 9

鎌倉 貞造 米國の平價切下問題 (金融三層 5-1) 昭 9

前田 安彦 米國平價切下を廻ぐる國際爲替關係の推移 (中央銀行會通信錄 372) 昭 9

牧野 輝智 ドル平價切下とその影響 (中央公論 49-3) 昭 9

松崎 壽 米國平價切下後の世界新情勢 (銀行研究 26-4) 昭 9

宮田 喜代藏 ドル平價切下政策の特異性 (經濟往來 9-3) 昭 9

同 ドル平價切下と新地金塊本位制 (銀行研究 26-3) 昭 9

野崎 龍七 米國の平價切下げと本邦爲替相場の將來 (ダイヤモンド 22-5) 昭 9

小汀 利得 ドル切下と圓の切下げ (經濟 1-2) 昭 9

奥野 平 「弗」平價切下に就て (銀行論叢 22-2) 昭 9

大島 堅造 米國のドル貨切下問題と其影響 (エコノミスト 12-3) 昭 9

下田 將美 米國の平價切下げとその影響 (聯合通信社講演 67) 昭 9

鈴木 憲久 ドル平價切下と商品ドル (ダイヤモンド 22-4) 昭 9

高木 友三郎 弗切下と日本財界 (國際知識 14-2) 昭 9

高島 佐一郎 弗切下と景氣恢復力 (經濟往來 9-3) 昭 9

竹島 富三郎 米國平價切下と我が國の金保有政策 (銀行研究 26-3) 昭 9

土屋 計左右 米國の平價切下とその影響 (國際知識 14-3) 昭 9

山室 宗文 米國の平價切下げについて (エコノミスト 12-3) 昭 9

山崎 靖純 ドル切下後に於ける金本位問題の中心點 (改造 16-4) 昭 9

安田 與四郎 弗切下げ後の米國財界 (ダイヤモンド 22-5) 昭 9

吉海 茂喜 米國の平價切下論 (大阪銀行通信錄 426) 昭 8

アメリカ平價切下説の現實性 (財界觀測 15-12) 昭 8

アメリカの平價切下 (千秋史) (自由通商 7-2) 昭 9

アメリカの平價切下座談會 (大阪財務 185) 昭 9

米國物價の前途と平價切下問題 (經濟情報 9-6) 昭 9

米國大統領教書と平價切下問題 (經濟情報 9-2) 昭 9

米國平價切下の後に來るもの (金融知識 3-5) 昭 9

米國平價切下げの真相 (エコノミスト 12-4) 昭 9

米國に於ける平價切下げと生命保險 (保險調査彙報 68) 昭 9

米國の弗平價切下問題 (經濟月報 5-9) 昭 8

米國の平價切下問題と其の影響 (東洋經濟新報 1583) 昭 9

米國の平價切下の時期はドル價值安定後 (東洋經濟新報 1577) 昭 8

米國の平價切下と其の渦紋 (エコノミスト 12-3) 昭 9

米國は平價切下を行ふか—金本位停止下に於ける平價切下の作用 (東洋經濟新報 1575/76, 78) 昭 8

- ドル切下問題及金輸出許可措置—米國 (海外經濟事情 6-16) 昭 8
- 弗切下問題と世界通貨安定への展望 (經濟情報 9-22) 昭 9
- ドル切下と圓の將來 (座談會) (改造 16-3 臨時) 昭 9
- 弗の平價切り下げは農業に對して憂慮すべき結果を招来せん (財界觀測 14-12) 昭 8
- 弗再切下問題と米國事業収益 (經濟情報 9-8) 昭 9
- 平價切下聲明と爲替相場 (財界觀測 16-3) 昭 9
- 平價切下げ説の錯覺—米國の一輿論 (エコノミスト 11-24) 昭 8
- 金弗の平價切下に入る米國々庫の益金 (調査月報 24-12) 昭 9
- 金流入と米金融界、再切下説は杞憂 (東洋經濟新報 1594) 昭 9
- 選舉終了と弗平價切下 (エコノミスト 12-24) 昭 9

アルゼンチン

- ベンハム 亞爾然丁の貨幣單位變更と爲替問題 (大阪銀行通信錄 293) 大 11

ベルギー

- \*朝鮮銀行調査課 白耳義の平價切下と其の影響 京城 同行 昭 10 16 頁 菊 (朝鮮報告 18)

ドイツ

- 有澤 廣巳 マーク切下げへの途 (エコノミスト 12-13) 昭 9
- \*朝鮮銀行調査課 獨逸の國際モラ問題とマルク切下に就て 昭 9 18 頁 菊
- 山崎 靖純 マルク平價切下の意義 (東洋經濟新報 1605) 昭 9

獨逸平價切下げも我貿易は無影響 (東洋經濟新報 1605) 昭 9

マルク平價切下説、弗、磅、法、の動搖 (東洋經濟新報 1605) 昭 9

マルク切下問題を論ず (エコノミスト 12-13) 昭 9

マルク切下げと日本貿易への影響 (財界觀測 17-1) 昭 9

マルクの平價切下問題 (金融知識 4-1) 昭 9

マルクの轉落と平價切下問題 (エコノミスト 12-11) 昭 9

ワーゲマンの平價切下げ及び金輸出禁止論 (世界經濟 8) 昭 7

フランス

- 秋元 輝雄 佛國に於ける平價切下論の接頭—元大藏大臣クロー氏の所説 (東洋經濟新報 1618) 昭 9
- 木村 孫八郎 佛國財政幣制の紊亂と平價切下問題 (同志社論叢 21) 昭 1
- 三橋 楠平 佛國は如何にして平價切下を行つたか (綿業 1-2/3) 昭 8
- 大内 兵衛 フランスのインフレーションとデバリュエーションの財政的效果 (經濟學論集 3-10; 信託協會々報 8 臨時) 昭 8, 9
- レーノウ フランを切下げぬ理由 (外國の新聞と雜誌 313) 昭 9
- 谷口 吉彦 フランスに於ける爲替安定と平價切下 (經濟論叢 37-3) 昭 8

佛國に於ける平價切下論の歸趨 (經濟情報 9-26) 昭 9

佛蘭西に於けるインフレーションと新平價解禁 (財界研究 7-5) 昭 4

イギリス

- 宮田 喜代藏 マクミラン報告に現はれたる平價切下論 (商業經濟論叢 10-別冊) 昭 7
- 大久保 一路 英國は平價磅に復歸し得るか (銀行論叢 17-5) 昭 6
- 平 實 ジェ・エー・ボブソン: 英國金本位制停止と平價切下の前途 (銀行論叢 13-4) 昭 7

英國は平價切下迄行くか (ダイヤモンド 19-29) 昭 6

磅爲替統制政策としての爲替均衡勘定—新平價解禁への途 (世界經濟 13) 昭 7

ベルギー

- 秘露國新平價制定 (移民情報 3-8) 昭 6
- ペルー國新平價制定 (海外經濟事情 4-31) 昭 6

シヤム

- シヤム貨平價切下の影響 (海外經濟事情 5-21) 昭 7
- シヤム國金本位制停止及平價切下に関する聲明 (海外經濟事情 5-26) 昭 7

XVI. 物 價

1. 一 般

- 青木 一男 通貨、物價、爲替及び貿易 (斯民 28-1) 昭 8
- 青木 得三 物價金利及び爲替相場 (專賣通信 9-5) 昭 5
- 荒木 秀一 物價と貨幣價值の錯覺 (大阪銀行通信錄 374/76, 380) 昭 3, 4
- \*荒木 光太郎 貨幣と物價 東京 東洋出版社 昭 9 450 頁 附錄 12 頁 菊 (基礎經濟學全集 4)
- アットウッド 小賣相場低落の速度 (銀行通信錄 433) 大 10
- バレー 紙幣の増發及其死藏と物價騰貴との關係 (調査月報 9-3) 大 8
- ボウリー 卸賣物價と小賣物價との關係 (調査時報 20-10) 昭 5
- 道家 齊一郎 物價と物價指數 (統計學雜誌 47/80) 昭 1
- 圓地 與四松 失業と物價との相關々係 (社會學雜誌 16, 17, 19) 大 14
- エスコート 金の物價及通貨に及ぼす影響 (調査月報 12-7) 大 11
- ファスター 商業界の基礎としての價格の標準 (文明協會講演集 12-6) 大 12
- 阮 靜如 金供給量與物價之比較 (銀行週報 692) 民 20
- ゲッデス 物價騰貴の原因に就て (調査月報 10-6) 大 9
- ギブソン 信用及通貨の膨脹並に物價に就て (調査月報 10-12) 大 9
- 花水 猛 最低賃銀と物價 (マネージメント 7-10) 昭 5
- 原口 亮平 會計より觀たる物價と經營との關係に就て (國民經濟雜誌 38-3) 大 14
- 長谷川 泰助 物價に就て (北海財務 54) 昭 5
- 平井 泰太郎 世界的物價騰貴と對照表論上の評價 (國民經濟雜誌 39-5/6) 大 14
- 廣瀬 金兵衛 安賣と標準市價の破壊 (商業研究資料 4-4) 大 14
- 同 物價變動の學說と實際 (商業研究資料 6-1) 昭 2

- 土方 成美 金利と物價との關係に就て (社會科學 1-7) 大 14
- 同 物價と通貨の數量 (經濟研究 3-1) 昭 1
- 同 物價變動の一研究 (經濟研究 3-3) 昭 1
- 同 マーシャル教授の貨幣及價格論 (社會科學 2-1) 昭 1
- 同 景氣轉換期に於ける物價と勞銀の變動 (經濟研究 4-2) 昭 2
- 深尾 光 恐慌と物價低落 (經濟評論 12) 昭 6
- 古屋 美貞 國際爲替相場と物價變動との因果關係 (銀行研究 4-2) 大 12
- 飯田 繁 フィッシャーの物價理論と物價安定論 (經濟時報 6-4) 昭 9
- 石橋 湛山 通貨と物價 (東洋經濟新報 865) 大 8
- 石井 豊 通貨と物價との關係に就て (銀行研究 15-3) 昭 3
- 一谷 藤一郎 金と物價との關係に就いて (經濟論叢 31-6) 昭 6
- 伊藤 義路 ロバートソン銀行政策と物價水準 (商業論叢 2-1) 昭 2
- 何 萩 花 金與物價關係之現在與將來 (商業月報 10-11) 民 19
- 神戸 正雄 物價の構成分子としての家賃 (時事經濟問題 52) 昭 1
- 片倉 藤次郎 信用と通貨と物價 (商事研究 4-1) 大 12
- 勝田 貞次 貨幣と物價との關係を論ず (銀行研究 9-4) 大 14
- 川口 西三 マッケナ氏の通貨、預金及物價の關係に就て (商業と經濟 1) 大 10
- \*風早 義雄 物價統計論 東京 杉山書店 昭 5 237 頁 菊
- \*ケメラ、エドウィン・ワルター 物價決定の法則 (譯) 糸井晴之・大田信吉 東京 内田老鶴園 大 10 283 頁 四六

I. 理論的研究 1. 緒論 2. 觀設社會に於ける貨幣及び物價 3. 反對説二三 4. 不換紙幣 5. 補助貨幣 6. 金貨 7. 兌換紙幣及び兌換補助貨幣 8. 信用證券

II. 統計的研究 1. 緒論 2. 貨幣流通額 3. 小切手流通量 4. 貨幣流通速度 5. 氣配 6. 商業取引額 7. 相對的物價 8. 結論

\*ケメラ、エドウィン・ワルター 物價騰貴と通貨縮小 [譯] 大藏省 大阪 大阪銀行集會所 大 14

金原 賢之助 通貨膨脹と物價騰貴率 (財政經濟事報 19-9) 昭 7

北山富久二郎 金物價 (金融大辭典 I 卷 2 頁) 昭 9

キッチン、ジョセフ 世界の金準備と物價 (ダイヤモンド 21-7) 昭 8

小林 和之助 カッセル物價論一考 (大倉學會誌 2-1) 昭 4

小林 靜也 通貨膨脹と物價騰貴 (東洋經濟新報 1586) 昭 9

\*小林 行昌 關稅と物價 東京 千倉書房 昭 5 386 頁 菊

I. 關稅轉輸の理論 1. 緒說 2. 租稅轉輸の學說 3. 學說の批判 4. 關稅轉輸の條件

II. 關稅轉輸の實踐 1. 轉輸實例の研究法 2. 實際の關稅 3. 砂糖の關稅と糖價及び製糖業 i. 砂糖産業 ii. 我國の糖稅と市價及製糖業 4. 外米の關稅と米價 5. 結言

III. 關稅と國際物價 1. 關稅と物價平準 2. 國際間の關稅率の高低 3. 國際物價の比較 4. 關稅と産業の安定 5. 物價の騰落と關稅制度 6. 科學的關稅

同 關稅と物價との關係 (早稻田商學 7-2) 昭 6

同 爲替相場と物價との關係 (保險銀行通信 656) 昭 7

\*神戸高等商業學校商業研究所 物價論の一考察 [田中金司] 大 14 [講演集 19]

小高 泰雄 物價論上に於ける一論争 (三田學會雜誌 27-1) 昭 8

高後 虎雄 世界經濟下の物價變動と貨銀 (産業 8-10) 昭 6

栗村 雄吉 價格決定機構に於ける貨幣流通速度 (經濟學研究 3-4) 昭 8

同 貨幣の限界效用と價格一般 (經濟學研究 4-2) 昭 9

前田 加一郎 物價高低の原則と現代商業制度 (商業及經濟研究 32) 大 12

\*牧野 輝智 物價の話 東京 朝日新聞社 昭 4 [朝日常識講座 7]

マツケナ 物價騰貴の原因及對策 (大阪銀行通信錄 272) 大 9

松岡 孝兒 金物價と貨幣價值安定 (經濟論叢 39-2) 昭 9

松崎 壽 信用と物價との關係 (商業及經濟研究 17) 大 9

水越 理庸 産業と物價に就て (産業時報 2-1) 大 11

南 嘉一 (稿) 福田德三 [問] 通貨の膨脹と物價との關係に就て 汐見學士の教を乞ふ (國民經濟雜誌 27-3) 大 8

\*嶺岸 忠之助 物價論 東京 京文社 大 12 306 頁 菊

1. 物價問題の大觀 2. 物價の兩面 3. 一般物價決定の理 4. 個々の物價決定の理 5. 配給制度論 6. 物價調節の根本要件 7. 餘論

ミルドシユー 信用の膨脹と物價の關係 (調査月報 18-11) 昭 3

滿井 武彦 エム・エー・コブランド：貨幣、商業及價格一首位原因の査定 (經濟評論 10) 昭 4

\*宮川 貞一郎 金再禁止下に於ける爲替と物價 東京 高瀬書房 昭 7 350 頁 四六 [不換紙幣叢書 1]

1. この世界恐慌と國際經濟の脱白 2. 金の經濟學 3. 國際經濟と外國爲替市場の解剖 4. 購買力平價説を中心として 5. 不換紙幣下に於ける爲替と物價 6. 結論附： i. 貿易指數の種々相 ii. 不換紙幣下に於ける國際貿易 iii. 古典派貿易理論に就いて

三宅 喜二郎 ジアン・ボオダンの物價論 (國民經濟雜誌 52-3/4) 昭 7

\*同 ジアン・ボオダンの物價論 [國民經濟雜誌 52-3/4 抜刷] 昭 7 49 頁 菊

毛利 英於菟 ロバートソン：銀行政策と物價水準 (經濟研究 3-4) 昭 1

森 文三郎 國際間の物價變動の比較に就いて (商業論集 2) 昭 2

同 我國から觀た諸外國の物價の變動並に諸外國から觀た我國の物價の變動 (研究資料彙報 8-5) 昭 8

\*森川 太郎 金融機構と物價平準 大阪 甲文堂 昭 7 229 頁 菊

同 金利の物價に及ぼす影響 (關西大學 報 11-3) 昭 8

森島 重明 物價水準と貨幣數量 (中央銀行會通信錄 366) 昭 8

森田 優三 ミルス氏の物價變動研究 (商學 1) 昭 4

\*ミュラア、フーゲー 爲替相場と物價 [譯] 金原賢之助 東京 同文館 昭 6 288 頁 菊

1. 購買力平價説 2. 爲替相場と物價との關係に關する若干文獻の見解 3. 自國貨幣と外國貨幣 4. チェンダレンダの價格論に於ける「許容價格」と「許容相場」 5. 許容相場の決定原因 6. 爲替の需要と供給 7. 爲替相場の形成 8. 一靜態相場の不能と動態相場場の可能 9. 現實的靜態相場 10. 價格の再成立と究極的靜態相場 11. 爲替相場存続の前提としての物價の存続 12. 競争關係と購買力平價 13. カッセル、ミューゼの購買力平價説

長崎 精男 物價と兌換券發行高、金利の相關々係に就いて (内外研究 6-3/4) 昭 8

中村 重夫 爲替相場と物價との關係 (銀行研究 20-5) 昭 6

中谷 實 貨幣と物價との相關關係に就て (經濟論叢 36-4) 昭 8

西澤 道之介 物價と爲替相場との關係 (彥根高商論叢 15) 昭 9

野崎 龍七 金と物價 (ダイヤモンド 18-20) 昭 5

小汀 利得 爲替と物價の關係 (中央公論 47-3) 昭 7

小畑 茂夫 爲替相場と物價との關係 (企業と社界 17) 昭 2

大橋 八郎 物價と生命保險との狀況 (保險學雜誌 295) 大 11

岡田 喜三郎 物價と景氣 (銀行論叢 4-4) 大 14

太田 哲三 フィッシャー教授物價平準案 (法學新報 30-12; 31-2) 大 9, 10

大内 武次 卸賣價格と小賣價格との關係 (經濟及商業 4-8) 大 14

ピアソン 物價と金の關係 (統計時報 46) 昭 9

\*レヴィンスキー 貨幣、信用及物價 [譯] 大越貞一 東京 紅谷書店 昭 8 134 頁 四六

レスキユール 物價の低落と生産過剩に就て (調査月報 11-2) 大 10

ロバーツ、ゼイ・イー 物價と金の關係 (公民講座 78) 昭 6

\*笠 信太郎 金と物價一貨幣價值論争 東京 同人社 昭 7 235 頁

劉 仲 廉 論金價與物價之關係 (商業月報 11-2) 民 20

佐野 包治 金紙の開きと物價並に輸出入の關係 (銀行研究 10-5) 昭 1

柴田 三四治 物價と貿易及びその利益 [ブラウンの國際貿易論] (銀行論叢 7-3/4) 昭 1

清水 文之輔 物價及金利高低原則 (東京經濟雜誌 2033/34) 大 8

同 物價及金利の研究 (生命保險會社協會 報 8-4) 大 8

汐見 三郎 物價の變動と從量稅 (經濟論叢 21-2) 大 14

鹽野谷九十九 金融政策の基準としての一般物價水準 (中央銀行會通信錄 379) 昭 9

高垣 寅次郎・小畑 茂夫 リーフマンの價格理論一斑並に貨幣の側より其變動 (商學研究 2-3) 大 12

高城 仙次郎 物價騰貴の原因の意義 (三田學會雜誌 13-9) 大 8

同 爲替相場と物價の高低 (三田學會雜誌 18-12) 大 13

同 不換紙幣と物價 (三田學會雜誌 19-1) 大 14

同 卸相場と小賣相場との關係に就て (三田學會雜誌 19-6) 大 14

同 卸相場對小賣相場變動の一致率 (法學研究 4-4) 昭 1

同 物價の月次の變動 (三田學會雜誌 21-8) 昭 2

\*同 物價概論 [經濟學全集一改造社 6 上の内] 昭 5

同 物價の話 (公民講座 66) 昭 5

高木 友三郎 インフレーションを中心とする物價と貿易と財政整理 (地方行政 41-7) 昭 8

高橋 正雄 爲替相場と物價の關係 (經濟學論集 6-3) 昭 2

高島 佐一郎 ラフリン新著「貨幣及物價」を讀みて (國民經濟雜誌 29-3) 大 9

竹内 謙二 金と物價との關係 (統計集誌 475) 大 9

竹島 富三郎 物價騰貴の原因 (商業及經濟研究 13) 大 8

同 非常時日本に於ける爲替の動向一金と物價と爲替 (銀行研究 25-4) 昭 8

田村 市郎 物價變動と生産の變動 (商學評論 12-2/3) 昭 6

田中 金司 物價論の一考察 (國民經濟雜誌 38-1/2) 大 14

田中 精一 荒木光太郎教授「幣貨と物價」 (經濟學論集 4-6) 昭 9

田中 二郎 物價問題に就ての二三の考察 (經營と經濟 1-2)

谷口 吉彦 金利と物價との相關々係に就て (經濟學論叢 21-5) 大 14

陳 濤 失業變動與物價變動 (星期評論 4-11) 民 19

\*豊浦 與七 物價騰貴の研究 東京 大 13

塚原 仁 卸賣物價と小賣物價 (長崎高商研究館彙報 18-4; 19-1) 昭 7

常松 三郎 物價と貨銀との騰落關係 (財政經濟時報 11-20) 大 13

土田 茂 物價を決定する都會農村の關係公式 (農業經濟研究 2-3) 昭 1

\*ヴァルガ、オイゲン其他 金と物價—マルクス主義貨幣論争 [譯] 笠信太郎 東京同人社 昭7 234頁 四六 [參照目次: II, 1]

ウィリスパーカー 物價の下落と生産の過剩 (調査月報 20-4) 昭5

八木久兵衛 産業と物價に就て (産業時報 2-1) 大11

山本吉三 運輸と物價關係 (東京經濟雜誌 2084) 大10

山室宗文 爲替と物價 (大阪銀行通信錄 331) 大14

山崎英雄 日用品小賣價格に就ての一研究 (中央銀行會通信錄 263/64) 大14

\*與謝野 讓 物價論 東京 清水書店 昭3 324頁 [通俗近代經濟叢書 5]

油本 豊吉 リカアドオの國際物價論 (經濟學論集 新-5/6) 昭6

\*財政經濟時報社 爲替と金と物價 東京 同社 昭8 97頁 菊

ジョンソン、ジョセフ・フレンチ 貨幣と通貨—貨幣及信約と物價との關係 (銀行通信錄 542) 昭6

同 貨幣と通貨 價格の重要性 (銀行通信錄 543) 昭6

物價暴騰と俸給生活 (實業之日本 22-16) 大8

物價の構成と變動及其影響 (金融知識 3-7) 昭9

物價の騰落と勞働階級の利害 (東洋經濟新報 1521) 昭7

物價と金の關係 (統計時報 46) 昭9

物價と購買力 (ダイヤモンド 19-20) 昭6

物價と通貨との關係 (大阪市商工時報 25) 大9

兌換券發行高と物價指數の關係 (東洋經濟新報 1374/75) 昭4

銀貨の變動と金貨國の物價 (東洋經濟新報 1382) 昭5

平價切下の銀行信用物價事業活動に與へる諸影響 (財界觀測 16-2) 昭9

平價切下と物價 (臺南生) (臺灣稅務月報 296) 昭9

カッセル教授の物價説 (調査月報 12-5) 大11

金、物價、景氣に關するワーゲマンの見解 (財界研究 10-2) 昭6

金物價と紙幣物價 (東洋經濟新報 1208) 昭1

金本位停止下の平價切下と物價 (Y. Y. 生) (大阪銀行通信錄 419) 昭7

金と物價 (ダイヤモンド 18-35/36) 昭5

金と物價平準 (財界研究 9-5) 昭6

金と物價との關係 [キッチェン氏の遺稿] (貿易 33-3) 昭8

金と物價との關係—世界の物價は未だ下るか (東洋經濟新報 1431/32) 昭6

金と物價との關係 (National City Bank of N.Y.) (内外調査資料 4月) 昭6

卸賣物價と小賣物價 (中外財界 5-12) 昭5

世界物價機構に於ける不均衡 (經濟月報 5-9) 昭8

貨銀と物價と失業 (中外財界 6-8) 昭6

### 2. 物價問題及物價政策

#### a. 一 般

舘 廬 物價騰貴問題 (銀行週報 653) 民19

安藝 國雄 ロイドの物價安定論 (銀行研究 10-3) 昭1

アウステン 物價の過去現在及將來 (調査月報 10-4) 大9

馬 寅 初 物價變動之影響 (經濟月刊 3-6) 民20

莫 一 堅 物價漲落と貨幣的購買力 (商業雜誌 5-11) 民20

薇 樵 物價騰貴中之自救策 (錢業月報 10-9) 民19

\*文明協會 [譯] アーヴィング・フィッシャー：物價安定論 東京 同會 昭1 414頁 四六 [非賣]

1. 事實 i. 指數 ii. 中古の物價水準 iii. 大戰以前百二十五年間の物價變動 iv. 大戰中の物價變動  
2. 諸原因 i. 誤れる推察 ii. 暴利者、投機者及び仲介業者 iii. 循環論法 iv. 特殊の例を述べることの誤謬 v. プロパピリティ (蓋然性) による議論 vi. 統計に依る議論 vii. 物價の變動は貨幣制度に依りて異なる viii. 物價の變動は貨幣の供給量に依りて異なる ix. 通貨膨脹の種類 x. 戦時通貨膨脹の程度 xi. 貨幣の銷費 xii. 那及び其の他の物價本位と比較せる金本位の不安定 xiii. 他人の見ち如く自己を觀察すること xiv. サング・クロスの訪れ xv. 趨勢の不可見的原因の探求 xvi. 貨幣以外の諸原因 3. 弊害 i. 物價騰貴の弊害は一般の貧困を來たすことに非らず ii. 契約顛覆 iii. 給料及び賃銀の調節は遅し iv. 法律或は習慣に依りて定められる利率の調節も亦遅し v. 1896年以前と以後との對照 vi. 缺陷は個人的に非ずして社會的なり vii. 二個の例證的事實 viii. 社會的不公平の範圍 ix. 不確實 x. 財界の循環期 xi. 忿怒や暴行 xii. 物價の下落は物價の騰貴と等しく不平を惹起す xiii. 戦時物價は不平を惹起す xiv. 最も必要な調整は最も不評判 xv. 悪しき救済法 xvi. 損失は一般的である xvii. 結論 4. 救済策 i. 今までの提案された救済策 ii. 那は今日なほ標準化されてゐない唯一の單位である iii. 想像的物價 iv. 金

本位は擔保すべからず v. 單に金地金庫の重量を變へればよ vi. 金の硬貨を用ひないこと vii. 金本位の要件 viii. 重量の定期的變化は指數に基づくこと ix. 調整規則は如何に作用するか x. 政府の損失を以て行はる、投機防禦條件 xi. 他の方案との比較 5. 結論 i. 方案の概要 ii. 方案の範圍 iii. 那の重量を決定する方法の人工的なこと iv. 過渡は何等の激動を起さぬであらう v. 契約履行が實際上の市着切になることが無くなるであらう vi. 萬能の療法ではない vii. 理論的に完全なるを主張せず viii. 何故斯かる簡單なる救済策が今迄看過されて居たか ix. 障害は何であるか x. 前例 xi. 此の提案が實行されて居つたとしたら xii. 將來の豫想 xiii. 戦後の好機會 xiv. 若し此機會を失ふならば 附: 1. i. 證券に對する準備金 ii. 金の投機 iii. 指數の選擇 iv. 平價の選擇 v. 現在の金硬貨を如何にすべきか vi. 現在の契約中にある「金條狀」は之を如何にすべきか vii. 銀行信用と安定策 viii. 安定策の國際的部面 附: 反對論 i. 誤解 ii. 指摘された缺點 iii. 保守主義の障害 iv. 特殊利益の支障

大連商工會議所 世界銀價の變動と支那及滿洲 (大連商工會議所報 166) 昭4

道家 齊一郎 物價指數から見た財界の判斷 (東京工場懇話會々報 59) 昭6

遠 藤 盛 各國の物價と貨銀の趨向 (マネーデメント 8-1) 昭6

フィッシャー、アーヴィング 物價の騰貴と其將來 (大阪銀行通信錄 266) 大8

\*橋本 信次郎 物價調節と小運送費 同人 38頁

橋爪 明男 インフレーションに於ける通貨、物價、爲替と所謂心理的なる貨幣理論 (經濟學論集 3-3/4) 昭8

土方 成美 物價と通貨の數量 (經濟研究 3-1) 昭1

同 景氣轉換期に於ける物價と勞銀の變動 (經濟研究 4-2) 昭2

同 支拂猶豫令と物價 (經濟論叢 6-1) 昭2

堀江 歸一 物價問題に關する二三の考案 (三田學會雜誌 16-10) 大11

深尾 光 恐慌と物價低落 (經濟評論 12) 昭5

福田 徳三 物價騰貴と通貨との關係に就て汐見學士の教を乞ふ (經濟論叢 8-3) 大8

藤山 雷太 物價調節と通貨收縮に就て (財政經濟時報 6-10) 大8

岩崎 博 物價平準安定と金融政策 (銀行研究 21-4) 昭6

加茂井増太郎 物價の世界的暴落の解剖 (ボリコン研究 2) 昭6

神戸 正雄 最近の貿易と物價と金融 (時事經濟問題 27) 大13

同 金利と物價 (時事經濟問題 33) 大14

カッセル、グスタフ 果斷に物價の安定を計ることが中央銀行割引政策の要諦 (中外財界 5-9) 昭5

\*カウツキー、カール 資本主義と物價問題 [譯] 市川正一 東京 早稻田泰文社 大13 210頁 四六

1. 單純なる商品生産 2. 資本主義的生産方法 3. 貨幣の流通 4. 物價の騰貴と貧困の増大 附録: 1. 勞働者と物價騰貴 [ベグセン] 2. 貨幣の起原及機能 [デレオン]

河田 嗣郎 物價調節問題 (經濟論叢 15-4) 大11

河津 暹 物價調節論 (國家學會雜誌 33-11) 大8

\*同 物價問題 (現代經濟學全集—日本評論社 21の内 71頁) 昭4

\*同 物價調節策 (專修大學經濟學講演集の内) 大11

同 物價政策 (經濟學論集 1-2) 大11

同 通貨と物價政策 (經濟學論集 1-3) 大11

同 物價問題に就て (銀行通信錄 463/66) 大13

\*同 物價問題に就て 大14 [銀行叢書 3]

\*同 物價問題 (社會經濟體系—日本評論社 3の内) 昭1

同 物價と貨幣との關係 (無盡研究 6-3) 昭7

繼 純 物價騰貴之原因及其前途 (錢業月報 7-3) 民16

\*經濟事情研究會 物價及爲替と景氣の變動 再版 同會 昭3

氣賀 勘重 物價調節と勞働者 (社會政策時報 27) 大11

菊田 太郎 失業と物價の變動 (經濟論叢 23-3) 昭1

キン グ 金の産出と物價の將來 (調査月報 15-11) 大14

木下 義四郎 最近物價問題と貨幣數量説 (計理學研究 6) 大9

北崎 進 道德及物價政策について (東京經濟雜誌 2053) 大9

顧 季 高 貨幣物價與金融 (銀行週報 761) 民21

小林 丑三郎 物價と通貨との關係 (東京經濟雜誌 2013) 大8

小林 行昌 關稅と物價との關係 (早稻田商學 1) 大14

\*神戸高等商業學校商業研究所 物價騰貴と其對策 再版 京都 内外出版社 大10 54頁 [叢報 5]

小泉 計太郎 中央銀行政策と物價水準 (銀行研究 19-2) 昭 5

\* 國際聯盟事務局東京支局 物價下落及び通商障礙増大の國際貿易に及ぼす影響 昭 8

工藤 重雄 物價調節の一策を建ず (朝鮮及滿洲 206) 大 14

クエール 物價と通貨膨脹 (大阪銀行通信録 276) 大 9

\* 教化團體聯合會 物價騰貴の研究 大 13 106 頁 東京 同會 [教化資料 11]

舞出 長五郎 戦後の通貨收縮と物價 (國家學會雜誌 33-4) 大 8

牧野 輝智 物價及び物價問題 (政治經濟時論 5-1) 昭 5

マッケナ 銀行預金、物價及通貨 (東洋經濟新報 2054/55) 大 9

マーズ, チャールズ 物價指數の變動と世界不況 (邦文の外國雜誌 1-8) 昭 6

三浦 武美 戦前の物價と貨幣數量説 (國民經濟雜誌 27-5/6) 大 8

宮武 能堂 物價調節の急務 (日本及日本人 831) 大 11

宗藤 圭三 物價安定の統計的考察 (同志社論叢 15/16) 大 13

ムールトン 物價下落せん歟 (調査月報 10-3) 大 9

蜷川 虎三 物價指數 (經濟學辭典 V 卷 2 頁) 昭 7

\* 日本銀行調査局 物價騰貴對策 [リポート] 大 9

野崎 龍七 金と物價 (ダイヤモンド 18-20, 22/23) 昭 5

\* 農商務省商務局 戦時戦後に亘る各國物價調節策 大 10 [商務彙報 56]

\* 大藏省 理財局世界各國金銀產出高、價格貨幣、鑄造高及貨紙幣並物價等に關する報告 (財政事項彙報 3-2)

埼玉 勝二 ヴァルガ: 恐慌擴大と物價低落 (プロレタリア科學 2-5) 昭 5

櫻井 久之助 物價調節に就て (財政經濟時報 9-3) 大 11

關口 健一郎 課税と物價 (稅 3-5, 7) 大 14

瀬戸 健助 金塊相場の暴騰と今後の國際爲替及物價の動向 (財政經濟時報 20-21) 昭 8

柴田 三四治 物價と貿易及其利益 (銀行論叢 7-3, 5) 昭 1

\* シーホー, フレデリック 物價と生活問題 [譯] 宮地武夫 佐藤出版部 大 9

\* 下田 將美 物價の見方 東京 日本評論社 大 13 309 頁 [通俗財政經濟大系 10]

下垣 政秋 信用統制に依る物價統制論の誤謬 (銀行研究 19-3) 昭 5

汐見 三郎 物價の騰貴と通貨との關係に就て 福田博士に答ふ (經濟論叢 8-5) 大 8

同 物價調節論に關する二三の疑點 (太陽 28-12) 大 11

同 小賣相場と卸賣相場 (經濟論叢 15-4) 大 11

同 物價の變動と從量稅 (經濟論叢 21-2) 大 14

新庄 博 カッセル: 市場利率銀行利率と物價の安定 (國民經濟雜誌 45-5) 昭 3

杉森 孝次郎 生産主義の公價及私價 (中央公論 38-12) 大 12

スプレグ 物價安定策 (調査月報 19-6) 昭 4

ストラコッシュ, ヘンリ 金と物價下落 (外國の新聞と雜誌 224) 昭 5

同 金不足は物價下落の第一原因である (調査月報 20-9) 昭 5

同 金不足は物價下落の第一原因である [金と銀の問題] (内外調査資料 4 月) 昭 5

平 實 中央銀行の物價統制に關する一考察 (銀行論叢 21-1/2) 昭 8

高城 仙次郎 修正せられたるフィッシャー氏の物價調節策 (三田學會雜誌 13-2) 大 8

\* 同 物價問題 東京 丸善株式會社 昭 1 410 頁 菊

1. 物價の決定 2. 市價の變動 3. 獨占價格 4. 貨幣數量説 5. 物價變動の影響 6. 物價調節の理論と實際 7. 物價調節の可否

同 物價の季節的變動 (三田學會雜誌 20-11) 昭 1

\* 同 增補 物價問題研究 東京 春秋社 昭 4 [春秋文庫 25]

高木 友三郎 物價騰貴に困る通貨膨脹 (國家學會雜誌 33-12) 大 8

高梨 壯夫 中央銀行政策と物價 (中央銀行會通信録 328) 昭 5

竹中 龍雄 商品市價安定化の目標 (社會政策時報 115) 昭 5

戸田 海市 物價調節研究資料 (經濟論叢 15-6) 大 11

\* 東京朝日新聞社 經濟部 金と物はどう動く 東京 東京評論社 昭 1

豊崎 善之介 幣制改革に依る物價調節策 (財政經濟時報 7-2) 大 9

チャンドラ, ヘンリー 物價の世界的騰貴に就て (大阪銀行通信録 364/65) 昭 2, 3

渡邊 精吉郎 物價變動と金銀問題 (山口高商調査課時報 6-1) 昭 9

ウイリス 物價の下落と生産の過剩 (調査月報 20-4) 昭 5

山崎 繁樹 新物價革命 (三田學會雜誌 13-6) 大 8

ヤング 將來の物價趨勢に關する考察 (調査月報 13-6) 大 12

吉田 正三 シヤルル・リスト: 物價は 1928 年の水準に復歸し得るや (銀行研究 26-2) 昭 9

アデイス氏の金及び物價に關する意見 (調査月報 20-4) 昭 5

物價下落を希望する謬想 (東洋經濟新報 1230) 昭 2

物價下落を阻止するカルテルの價格運動 (東洋經濟新報 1475) 昭 6

物價變動の社會的影響 (國際經濟通信 28) 大 12

物價引下の要點 (東洋經濟新報 1008) 大 11

物價の安定策と國際的協調の必要 [スタチスト誌] (財界觀測 13-1) 昭 7

物價の暴騰と其影響 (ダイヤモンド 20-27) 昭 7

物價低落に反比例する關稅の加重 (銀行通信録 547) 昭 6

物價低落と購買力の萎縮 (エコノミスト 8-24) 昭 6

物價騰貴問題 (錢業月報 11-7) 民 20

物價騰貴の原因 (國際聯盟 2-9) 大 12

物價騰貴の近因 (ダイヤモンド 13-26) 大 14

物價騰貴の哲學 (財界研究 1-6) 昭 1

物價騰貴と赤字の擴大 (財界觀測 13-1) 昭 7

物價と割引政策 (東洋經濟新報 1043) 大 12

物價通貨及信用收縮の程度 [K. M. 生] (大阪銀行通信録 301) 大 11

物價調節水掛論 (牛北 醫士) (日本及日本人 767) 大 8

銀價の暴落と物價騰貴狀況 (東洋貿易時報 6-23) 昭 5

銀價の變動と金貨國の物價 (東洋經濟新報 1382) 昭 5

破壊された世界金物價 (ダイヤモンド 20-20) 昭 7

カルテル強化と物價政策 (エコノミスト 10-20) 昭 7

カッセル教授の「通貨政策に依る物價統制論」國際モラトリアム [海外金融思潮] (銀行論叢 17-2) 昭 6

カッセルの貨幣政策と物價論 (大阪銀行通信録 408) 昭 6

金産額の減少と物價の將來 (財政經濟時報 14-1) 昭 2

國際物價水準の回復と其回復の徑路 (東洋經濟新報 1233) 昭 2

國際物價の趨向と最近の位置 (東洋經濟新報 1492) 昭 7

國際決済銀行と世界物價安定 (銀行通信録 540) 昭 6

國際的に見た物價の不安定性 (東洋經濟新報 1440) 昭 6

講和後の物價如何 (公私經濟 5-6) 大 8

去年各國之躉售物價 (銀行週報 498) 民 16

世界物價の動向と日本物價の地位 (東洋經濟新報 1565) 昭 8

世界物價の前途と今後の我物價 (經濟情報 9-7) 昭 9

世界物價最近之趨勢 (銀行週報 496) 民 16

世界物價水準の下落—その原因、將來の狀態影響 (財界研究 9-6) 昭 5

世界物價騰貴の跋行性 (エコノミスト 12-7) 昭 9

世界經濟恐慌下之物價工資及利潤 (工商半月刊 4-23) 民 21

世界金準備高と物價 (東洋經濟新報 1537) 昭 8

世界的物價下落と金本位貨幣制 (東洋經濟新報 1411) 昭 5

世界的不況を示す國際物價の趨向 (東洋經濟新報 1388) 昭 5

世界的金復歸と國際物價の前途 (東洋經濟新報 1399) 昭 5

世界的通貨膨脹と物價問題 (貿易 20-9) 大 8

戦後の整理と將來の物價觀 (財政經濟時報 6-9) 大 8

戦前二倍の物價説 (ダイヤモンド 8-34) 大 9

諸外國に於ける卸賣物價 (ダイヤモンド 20-11) 昭 7

諸國に於ける物價低落と米國の正貨策檢討 (中外財界 2-23) 昭 2

各 國 別

日 本

安部 磯雄 ブルチョア内閣の物價政策 (解放 4-2) 大 11

荒木 秀一 物價と財界の現勢 (大阪銀行通信録 401) 昭 6

\* ダイヤモンド社 低物價低金利論 東京 同社 大 14

道家 齊一郎 我が物價騰貴と經濟の消長 (金融研究 1-3) 大 13

原田 作之助 本邦戦時及戦後の物價觀 (國民經濟雜誌 26-4) 大 8

服部文四郎 物價騰貴の趨勢、原因、其對策 (太陽 25-11) 大 8  
 同 物價調節問題に就て (保險評論 14-3) 大 10  
 菱沼 勇 爲替相場下落の物價及び貿易に及ぼす影響 (國家試驗 5-1) 昭 8  
 本多 精一 放棄せられたる物價調節策 (財政經濟時報 6-10) 大 8  
 本多 靜六 我國の産業と物價問題に就て (産業時報 2-1) 大 11  
 堀 英文 英國戰時物價の趨勢と我國生活問題 (公論 2-1) 大 9  
 同 俸給、賃金並に物價調査の規準表に就て (國家學會雜誌 36-9) 大 11  
 堀江 歸一 物價の將來 (實業之日本 22-15) 大 8  
 同 物價調節策として通貨收縮と公定相場論 (中央公論 34-9) 大 8  
 同 下落すべくして下落せざる小賣相場問題 (中央公論 35-12) 大 9  
 同 物價問題の再燃恐るべし (太陽 27-12) 大 10  
 同 現内閣の物價政策と失業問題 (大觀 4-8) 大 10  
 同 物價昂騰の勢を促進して國民生活難を顧慮せぬ高橋内閣の責任 (中央公論 37-6) 大 11  
 同 物價問題解決の難局 (改造 4-9) 大 11  
 同 物價問題に關する二三の考察 (三田學會雜誌 16-10) 大 11  
 同 物價は何故下落せぬか (エコノミスト 1-2) 大 12  
 同 パニク救済と物價の前途 (エコノミスト 5-12) 昭 2  
 堀越 鐵藏 金解禁と物價の關係 (エコノミスト 7-17) 昭 4  
 同 物價は何處迄下るか (實業之日本 33-9) 昭 5  
 堀越 善重郎 物價は尙騰貴すべし (實業之日本 22-15) 大 8  
 細貝 正邦 不徹底なる物價政策迷 (東方時論 7-11) 大 11  
 藤山 雷太 物價調節と通貨收縮に就て (財政經濟時報 6-10) 大 8  
 稻垣 守克 物價の騰貴は抑取なり (文化生活 3-12) 大 14  
 井上 辰九郎 物價の趨勢と調節策 (實業之日本 22-15) 大 8

井上 辰九郎 歲計の緊縮によつて物價の下落を圖れ (エコノミスト 1-10) 大 12  
 同 物價調節策 (雄辯 10-11) 大 8  
 井上 準之助 物價低落の偉力と不景氣の效果 (經濟往來 5-11) 昭 5  
 石橋 湛山 金輸出再禁止後の財界問題—爲替と物價はどう動くか (東洋經濟新報 1481) 昭 7  
 石川 文吾 公債募集策と物價問題 (國民經濟雜誌 27-5) 大 8  
 伊藤 文吉 生活費より見たる物價問題 (中央公論 37-6) 大 11  
 泉 俊秀 卸値と小賣値の差の非難に就て (實業界 23-5) 大 10  
 上山 滿之進 物價調節に就て (太陽 26-4) 大 9  
 同 物價を引下げ國民生活を安定するは刻下最大の急務にして又政治の第一義 (中央公論 37-6) 大 11  
 神戸 正雄 好景氣の反動と物價 (經濟論叢 10-5) 大 9  
 同 物價問題に就て (表現 2-1) 大 11  
 同 保護關稅よりも物價調節 (大觀 5-1) 大 11  
 同 當面の物價 (時事經濟問題 16) 大 12  
 同 物價と租稅の不公平 (經濟論叢 20-4) 大 14  
 同 物價騰貴と我國に於ける租稅負擔の不公平 (時事經濟問題 33) 大 14  
 同 最近の物價と企業 (時事經濟問題 49) 昭 1  
 同 物價と爲替と金融 (時事經濟問題 54) 昭 2  
 同 物價の逆轉 (時事經濟問題 56) 昭 2  
 同 物價と爲替と投資 (時事經濟問題 58) 昭 2  
 同 物價と爲替 (時事經濟問題 60) 昭 2  
 同 物價と爲替 (時事經濟問題 66) 昭 3  
 同 物價情勢 (時事經濟問題 71) 昭 3  
 同 物價と貿易 (時事經濟問題 72) 昭 3  
 同 物價、通貨並に限産 (時事經濟問題 73) 昭 3  
 同 物價の騰貴 (時事經濟問題 76) 昭 3  
 同 物價の反落 (時事經濟問題 77) 昭 3  
 同 物價の趨勢 (時事經濟問題 78) 昭 4

神戸 正雄 物價低落の傾向 (時事經濟問題 83) 昭 4  
 同 物價證券利廻及爲替相場 (時事經濟問題 84) 昭 4  
 金子 直吉 物價引下に必要な先決問題 (實業之日本 29-1) 昭 1  
 春日 井 薫 爲替及物價の動向と貿易産業—爲替相場低下を以て利となす説を排す (銀行研究 26-2) 昭 9  
 片倉 藤次郎 國辱的物價問題の解決 (日本及日本人 842) 大 11  
 同 眞の物價引下策 (太陽 28-11) 大 11  
 同 物價の現状打破 (日本及日本人 70) 大 14  
 加藤 銀藏 物價と賃金 (統計集誌 500) 大 14  
 河田 嗣郎 米價の高低と一般物價の高低 (經濟論叢 9-3) 大 8  
 同 最近の我が經濟界と物價の下落 (東方公論 5-9) 昭 5  
 同 更に物價の下落を (經濟時報 1-12; 臺灣時報 127) 昭 5  
 同 物價の安定と整調 (經濟時報 3-2) 昭 6  
 河津 暹 物價調節目的を論じて通貨縮小に及ぶ (東京經濟雜誌 2034/35) 大 8  
 同 物價調節通貨減縮論 (經濟時論 7-17) 大 8  
 同 如何なる犠牲を拂つても物價問題を解決せよ (中央公論 37-6) 大 11  
 氣賀 勘重 近時物價政策論 (三田學會雜誌 15-3/4) 大 10  
 北崎 進 通貨及物價政策に就て (東亞經濟雜誌 2053) 大 9  
 同 爲替及物價對策 (中外財界 1-9) 昭 1  
 小林 丑三郎 物價騰貴と通貨收縮 (太陽 25-2) 大 8  
 小林 行昌 圓の低落と我國の物價 (早稻田商學 9-1) 昭 8  
 小島 菊光 物價調節の幽霊化 (日本及日本人 855) 大 12  
 吳 三連 如何にして物價の低下を計るべきか (自由通商 3-5) 昭 5  
 黒澤 且山 物價調節新案 (日本及日本人 770) 大 8  
 牧野 輝智 我國物價の國際水準化 (經濟往來 5-11) 昭 5  
 \*松方 幸次郎 世界安定の暗礁と外國眼にて視たる我物價問題 大 12

\*松方 幸次郎 進取乎將又退嬰乎 附：英國四大銀行家の經濟觀、日本銀行條例趣旨要領、兌換銀行券條例改正要旨 大 14  
 同 物價と原料問題 (東方公論 1-3) 昭 1  
 松村 光三 物價政策 (太陽 28-11) 大 11  
 三土 忠造 貿易促進と物價引下策 (東京經濟雜誌 2091) 大 10  
 諸井 四郎 物價の漸落と財界恢復期 (東京經濟雜誌 2082) 大 10  
 同 現下の國民生活難と物價引下策 (中央公論 37-6) 大 11  
 武藏 太郎 「金から物へ」はどうなつたか (中央公論 48-8) 昭 8  
 長崎 精男 物價と兌換券發行高、金利の相關と係に就て (内外研究 6-3/4) 昭 8  
 長島 隆二 物價問題の前途 (東京經濟雜誌 2045) 大 9  
 内藤 久寛 現内閣の物價政策 (石油時報 525) 大 11  
 中村 茂男 物價調査會に就て (會計 12-1) 大 11  
 中野 正剛 物價問題の兩翼 (東方時論 7-11) 大 11  
 仲小路 廉 政府の物價調節策批判 (太陽 25-14) 大 8  
 同 物價引下げの急務 (三田學會雜誌 8-10) 大 10  
 成瀬 義春 行政整理と物價調節 (財政經濟時報 9-8) 大 11  
 同 物價調節は打切か (財政經濟時報 9-15) 大 11  
 \*日本銀行調査局 物價騰貴對策 大 9  
 錦織 理一郎 物價はどうなる (通信見本市 26) 昭 6  
 西口 富三郎 物價騰貴の原因 (商業及經濟研究 13) 大 8  
 西原 龜三 合理的物價調節策 (東京經濟雜誌 2052/53) 大 9  
 西内 青藍 物價調節斷行の急務 (經濟時論 7-20) 大 8  
 同 物價調節の急務 (經濟時論 7-23) 大 8  
 同 物價の情勢と將來 (經濟時論 8-4) 大 9  
 同 物價の下落と其前途 (經濟時論 8-10) 大 9  
 同 物價下落の大勢と前途 (經濟時論 8-14) 大 9



丹羽 豊 物價政策の根本問題 (東洋經濟新報 1025) 大 11

野口 弘毅 物價下落の諸因由 (龍門雜誌 504) 昭 5

野村 徳七 物價と景氣の前途 (經濟往來 6-4) 昭 6

小川 郷太郎 物價引下策に就て (太陽 28-12) 大 11

同 物價引下策と抽籤景品附賣買 (經濟論叢 5-5) 大 11

\*同 物價問題 越佐教育雜誌社 大 12

岡 橋 林 物價の前途 (經濟知識 3-5) 昭 5

大木 金次郎 物價騰貴に關する一考察 (經濟評論 3) 昭 1

奥田 竹松 軍備擴張と物價問題 (東京經濟雜誌 2087) 大 10

大森 金五郎 農村問題及び物價論 (歴史と地理 41-5; 42-3) 大 12

尾崎 忠光 金輸出再禁止と物價及貿易との關係 (北海財務 63) 昭 7

阪谷 芳郎 物價問題と政費の節約 (銀行通信錄 436) 大 11

\*産業組合中央會 日用品の騰貴と農村購買組合 同會 昭 8 27 頁 四六 [産業組合宣傳叢書 21]

佐々木勇之助 大戦終了と物價の調節 (銀行通信錄 405) 大 8

同 金融の將來と物價問題 (銀行通信錄 435) 大 11

\*佐藤 密藏 物價騰貴の真相 6 版 東京 海津書店 大 9 112 頁 [經濟及社會叢書 1]

\*同 物價は何なるか 大 10

關 末代策 物價騰貴の問題 (明大商學論叢 4-2/3; 5-2) 昭 3

千賀 鶴太郎 物價調節の根本大策 (太陽 25-14) 大 8

柴 謙太郎 江戸時代以前の物價調節策 (歴史地理 41-2) 大 12

柴田 銀次郎 我國に於ける物價の變動と海外市場より受くる牽制 (國民經濟雜誌 44-4) 昭 3

柴田 敬 依然たる物價低落 (經營と經濟 2-2) 昭 6

志立 鐵次郎 物價調節方策 (財政經濟時報 8-11) 大 10

同 全力を物價低落に傾注せよ (財政經濟時報 9-6) 大 11

清水 文之輔 物價及勞銀の將來 (東京經濟雜誌 2000) 大 8

清水 文之輔 物價は一體どうなるか (實業之日本 30-18) 昭 2

\*下田 將美 國民生活と物價問題 東京 日本評論社 (通俗經濟講座 上, 下)

下垣 政秋 信用統制に依る物價統制論の誤謬—最近の物價下落の原因は何か (銀行研究 10-3) 昭 5

汐見 三郎 我國現時の物價騰貴と通貨との關係 (經濟論叢 8-2) 大 8

白瀬 生野 加藤内閣の物價調節 (日本及日本人 842) 大 11

高城 仙次郎 通貨流通高並に手形交換高の増減と物價の騰落 (銀行研究 20-2) 昭 6

高木 友三郎 何人が物價問題を解決すべき (現代 3-9) 大 11

同 金から物への我財界 (世界經濟 7) 昭 7

高橋 康順 物價引下と輸出貿易 (産業時報 2-1) 大 11

高田 太一 本邦に於ける物價 (調査及資料彙報 561-附 13) 大 14

武富 時敏 物價調節の根本方針 (財政經濟時報 6-7) 大 8

玉井 茂 物價問題指針 (經濟及商業 1-8; 2-1) 大 11, 12

玉村 義夫 物價調節につき政府に望む (東京經濟雜誌 2114) 大 11

田宮 華一郎 物價問題と金融收縮 (國家及國家學 10-1) 大 11

田邊 忠男 高物價政策の是非 (經濟往來 8-10) 昭 8

\*田中 金司 金解禁が物價に及ぼす影響 神戸市聯合青年團 昭 4 12 頁 [非賣] [青年パンフレット 4]

田中華一郎 物價問題と増税問題 (新時代 4-4) 大 9

谷口 吉彦 爲替の安定か物價の安定か (經濟論叢 19-4) 大 13

谷本 太郎 低物價時代の將來 (朝鮮及滿洲 285) 昭 6

田島 勝太郎 我國の産業と物價問題に就て (産業時報 2-1) 大 11

戸田 海市 物價調節對米價調節問題 (經濟論叢 16-2) 大 12

東畑 精一 米價と物價 (エコノミスト 11-19) 昭 8

富永 徳磨 物價問題の解決 (六合雜誌 39-8) 大 8

豊崎 善之介 物價調節に關する當局者の責任 (財政經濟時報 7-7) 大 9

鶴見 左吉雄 我が産業と物價調節の急務 (産業時報 3-1) 大 12

植原 悦二郎 物價調節問題 (法律新聞 1602) 大 8

内田 魯庵 物價問答 (太陽 28-12) 大 11

若槻 禮次郎 物價の暴騰と其調節策 (財政經濟時報 6-9) 大 8

矢作 榮藏 農産物の價格に關する政策 (經濟學論集 3-2) 大 13

山口 義一 わが物價の前途と其對策 (エコノミスト 5-12) 昭 2

山本 謙治 日用品の小賣價格と卸賣價格とに就て (産業組合 241) 大 14

山本 美越乃 物價問題私論 (經濟論叢 15-2) 大 11

山内 正暉 物價調節論 (商學研究 1-3) 大 10

柳 樂 健治 滿々の不平と極端なる物價調節法 (會計 10-6) 大 11

安田 與四郎 物價より見たる諸會社及び株式の位置 (東洋經濟新報 906/08) 大 9

同 日本物價と株價 (東洋經濟新報 1520) 昭 7

\*横濱社會問題研究所 社會問題としての物價低落論 東京 岩波書店 (社會問題研究叢書 1)

\*横濱輸出協會 舉國的物價二期天引運動 大 11 26 頁

吉川 潤二郎 政府の物價政策を評す (保險銀行時報 1096) 大 11

善生 永助 物價騰貴と小賣商の暴利 (財政經濟時報 7-10) 大 9

米國人の見たる日本の物價と通貨 (海外經濟彙報 4) 大 9

物價膨脹の側面觀 (エコノミスト 12-7) 昭 9

物價高と社會問題 (エコノミスト 3-15) 大 14

物價下落期間に於ける諸會社の窮迫 (ダイヤモンド 16-20) 昭 3

物價下落の緩急 (ダイヤモンド 7-5) 大 8

物價下落を恐るゝ内閣 (東洋經濟新報 860) 大 8

物價下落と倉庫在荷 (東洋經濟新報 843) 大 8

物價下落と事業會社の營業成績 (財界研究 8-5) 昭 5

物價反落か爲替續落か (財界觀測 13-10) 昭 7

物價變動の背景 (ダイヤモンド 10-11) 大 11

物價變動の原因及調節に就て (東京經濟雜誌 2114) 大 11

物價引下策としての魚價の調節 (水産界 480) 大 11

物價非調節 (公私經濟 5-11) 大 8

物價崩落の種々相 (ダイヤモンド 18-12) 昭 5

物價公定の時期到る (東京經濟雜誌 2026) 大 8

物價問題の歸着點 (東京經濟雜誌 2041) 大 9

物價問題と通貨政策 (貿易 22-10) 大 10

物價並に金輸解禁問題に就て (東京經濟雜誌 2104) 大 11

物價に現はれたる我經濟の缺陷 (エコノミスト 2-8) 大 13

物價に對する國民の責務 [松波生] (財政經濟時報 8-12) 大 10

物價の現位置と其の將來 (ダイヤモンド 20-23) 昭 7

物價の現狀と前途 (東洋經濟新報 935) 大 10

物價の歸着點如何 (東洋經濟新報 920) 大 9

物價の三大傾向 (東洋經濟新報 1036) 大 12

物價の推移と其の前途 (東洋經濟新報 1510) 昭 7

物價の將來 (公私經濟 5-8) 大 8

物價の騰貴率如何 (エコノミスト 9-23) 昭 7

物價の前途 (公私經濟 6-7) 大 9

物價の前途 (財界研究 1-7) 昭 1

物價の前途如何 (東洋經濟新報 1156) 大 14

物價の前途如何 (財界研究 2-2) 昭 2

物價の續落と前途 (東洋經濟新報 1196) 昭 1

物價及貿易觀 (弘前商工會議所月報 225) 昭 6

物價論 (貿易 22-3) 大 10

物價政策に就て (公私經濟 5-9) 大 8

物價對策如何 (ダイヤモンド 7-27) 大 8

物價と株價との關係 (財界要報 101) 昭 6

物價低落期の家計調査 (東洋經濟新報 1570) 昭 8

物價騰貴に就て (朝鮮經濟雜誌 50/51) 大 9

物價騰貴の抑制 (ダイヤモンド 7-20) 大 8

物價騰貴を戒む (エコノミスト 5-11) 昭 2

物價騰貴と赤字の擴大 (財界觀測 13-11) 昭 7

物價騰貴と救濟策 (朝鮮經濟雜誌 46/7) 大 8

物價騰貴は挫折したか (財界觀測 15-3) 昭 8

物價と貸銀と株價 (ダイヤモンド 19-8) 昭 6

物價調節案再現 (ダイヤモンド 11-16) 大 12

物價調節問題と石炭 (筑豊石炭工業組合月報 219) 大 11

物價調節に關する建議 (東京經濟雜誌 2113) 大 11

物價調節に誠意なき原内閣の責任 (實業之日本 22-24) 大 8

物價調節の捷徑 [Y. T. 生] (東京經濟雜誌 2099) 大 11

物價調節政策の發表に就て (大民 8-9) 大 11  
 物價調節と金利政策に對する高橋藏相の意見 (銀行通信録 406) 大 8  
 物價調節と郵便貯金 (日本及日本人 843) 大 11  
 物價はどくなる (ダイヤモンド 19-34) 昭 6  
 物價は尙騰貴し得るか (公私經濟 5-7) 大 8  
 物價は下落すべきか (朝鮮經濟雜誌 45) 大 8  
 物價は何故低落せざるか (東洋經濟新報 870/03, 875) 大 8  
 物價より見たる今後の産業界 (財界觀測 14-2) 昭 8  
 物價續落と前途 (ダイヤモンド 19-18) 昭 6  
 インフレ、金融、物價、株價 (財界觀測 16-2) 昭 9  
 インフレの實現と物價の前途 (エコノミスト 11-9) 昭 8  
 インフレーションと物價騰貴の程度 (東洋經濟新報 1530) 昭 7  
 井上藏相の主張と爲替物價の關係 (東洋經濟新報 1371) 昭 4  
 下期の物價を何う見る (財界觀測 17-2) 昭 9  
 官民協力一致して物價調節を斷行せよ (法律新聞 2019) 大 11  
 重て物價の前途に就て (東洋經濟新報 935) 大 10  
 爲替、物價、需給の關係 (財界觀測 12-2) 昭 7  
 爲替動搖と商品市價 (エコノミスト 6-20) 昭 3  
 爲替の變動は物價に如何に影響するか (東洋經濟新報 1355) 昭 4  
 爲替の崩落と物價の前途 (銀行論叢 19-3) 昭 7  
 爲替相場の低落と物價の變化 (東洋經濟新報 1528) 昭 7  
 爲替安と物價の前途 (エコノミスト 11-1) 昭 8  
 奇怪なる物價調節反對論 (東京經濟雜誌 2022) 大 8  
 金解禁と物價 (ダイヤモンド 16-28) 昭 3  
 金と物價平準—英國の事例を基礎とせる金價變動の經濟界に及ぼす影響の考察と物價安定の要望 (財界研究 9-5) 昭 5  
 金輸出再禁止と物價の騰貴率如何 (エコノミスト 9-23) 昭 7  
 高物價持續の基礎 (ダイヤモンド 8-28) 大 9  
 高物價時代本格的の高物價時代來る (エコノミスト 10-21) 昭 7  
 高物價時代に殖えた會社の借金 (ダイヤモンド 19-34) 昭 6  
 高物價政策と保險業界 (保險銀行通信 641) 昭 7  
 今後の物價 [R. T. 生] (實業 245) 大 8  
 公定價格制定の失敗 (東京經濟雜誌 2116) 大 11  
 小賣物價と生活費 (ダイヤモンド 14-21) 昭 1  
 舉國的物價二期天引運動 (協會月報 24) 大 11

見よ我物價の國際的地位 (東洋經濟新報 1230) 昭 2  
 無效力の物價調節策 [S. S. 生] (東京經濟雜誌 2118) 大 11  
 日本物價觀 (海外商報 770) 昭 2  
 日本金再禁對日本物價之影響 (中東經濟月刊 8-34) 昭 7  
 勞働問題よりも先づ物價問題を解決せよ (工業之大日本 16-8) 大 8  
 最近銀價暴落問題の解説 (國際パンフレット通信 390) 昭 6  
 最近の物價問題 (エコノミスト 3-2) 大 14  
 再禁財界の展望、轉換期に面せる物價 (エコノミスト 10-1) 昭 7  
 昨今の物價調節 (ダイヤモンド 10-27) 大 11  
 政府の物價調節策 (東洋經濟新報 1012) 大 11  
 政府は物價騰貴を激成しつつあり (財政經濟時報 11-23) 大 13  
 世界物價の動向と日本物價の地位 (東洋經濟新報 1565) 昭 8  
 世界物價の前途と今後の我物價 (經濟情報 9-7) 昭 9  
 市價約上の救済 (ダイヤモンド 9-6) 大 10  
 商品價格の下落に就て (朝鮮經濟雜誌 52) 大 9  
 商品需要から見た最近物價の位置 (東洋經濟新報 1557) 昭 8  
 首相の物價觀 (ダイヤモンド 9-36) 大 10  
 擡頭せる物價問題 (貿易 31-1) 昭 6  
 高橋藏相の物價調節論 (東洋經濟新報 859) 大 8  
 低物價低金利論 (ダイヤモンド 13-22/3) 大 14  
 東商の物價調節 (ダイヤモンド 7-30) 大 8  
 通貨膨脹と物價引上の提唱 (東洋經濟新報 1459) 昭 6  
 通貨の膨脹を制せざれば物價の下落は望む可からず (東京經濟雜誌 1988/89) 大 8  
 通貨より見たる物價 (東洋經濟新報 916) 大 9  
 運送取扱改善と物價 (東京經濟雜誌 2114) 大 11  
 我が物價の安定 (東洋經濟新報 1167) 大 14  
 我國物價の國際的地位 (東洋經濟新報 1265) 昭 2  
 我が物價の國際的地位—七月の對米金物價四五%割安、紙幣物價は七三%高 (東洋經濟新報 1514) 昭 7  
 我物價の世界的地位 (國勢グラフ 3-1) 昭 9  
 我が物價の地位 (エコノミスト 10-4) 昭 7  
 重要商品別に見た物價の前途 (エコノミスト 11-3) 昭 8

アメリカ合衆國

ビッドウェル 米國に於ける物價下落と關稅負擔との關係 (調査月報 22-9) 昭 7  
 出淵 勝次 米國の貨幣價值下落國品輸入關稅引上に對する反對論調 (愛知の貿易 4-7) 昭 7  
 海老原竹之助 米國に於ける物價平準問題 (銀行研究 6-1) 大 13  
 エスコート 物價安定是非論 (調査月報 10-7/8) 大 9  
 堀越 善重郎 米國經濟力の發展と物價調節 (東京經濟雜誌 2030) 大 8  
 フレデリック 米國に於ける物價の低落 (銀行通信録 422) 大 9  
 飯田 繁 米國の物價と金本位制停止 (經濟時報 5-2) 昭 8  
 同 金本位制停止後の米國物價と景氣 (經濟時報 5-7) 昭 8  
 同 フィッシャーの物價理論と物價安定策 (經濟時報 6-4) 昭 9  
 小泉 功 ジョー・エフ・ワレン; エフ・エー・ピアソン: 物價安定論 (銀行研究 27-4) 昭 9  
 同 エム・エー・エイブラムス: 物價安定論者の誤謬 (銀行研究 27-5) 昭 9  
 マーゾ 米國の物價下落對策 (外國の新聞と雜誌 264) 昭 7  
 大内 次男 北米合衆國の商業政策と物價政策 (讀書會雜誌 11-10) 大 13  
 スタダード 米國政府の戰時價格公定施設 (調査月報 10-9) 大 9  
 八代 則彦 米國の物價引下策に關する調査 (統計集誌 499/501) 大 11  
 \*同 米國物價引下策に關する調査 同人 大 11 72 頁  
 \*横濱正金銀行 米國に於ける金と物價問題 大 14  
 アメリカ金政策と爲替、物價 (財界觀測 15-10) 昭 8  
 米國物價の國際的地位 (東洋經濟新報 1319) 昭 3  
 米國物價の前途と平價切下問題 (經濟情報 9-6) 昭 9  
 米國インフレの限界—物價高はもう水準か (エコノミスト 11-15) 昭 8  
 米國の物價下落の原因 (東洋經濟新報 1254) 昭 2  
 米國の物價政策と金 (財界觀測 17-8) 昭 9  
 物價騰貴に對する大統領ウイルソンの教書 (調査月報 9-10) 大 8

弗爲替と物價の關係と米國インフレの前途 (經濟情報 9-2) 昭 9  
 合衆國準備銀行の政策と物價 (銀行通信録 508) 昭 3

ドイツ

神戸 正雄 獨逸馬克貨幣事情と獨逸の物價 (時事經濟問題 8) 大 12  
 \*日本銀行調査局 獨逸の物價調節策 大 9  
 太田 哲三 フィッシャー教授物價平準案 (法學新報 30-12, 31-2) 大 9, 10  
 田原 天南 獨逸の物價調節と暴利令 (臺灣時報 38/41) 大 11

フランス

リエック 佛國の物價騰貴に就て (調査月報 9-8) 大 8  
 英佛伊に於ける物價調節の現況 (調査月報 10-7/8) 大 9  
 佛國政府の物價調節策 (通商公報 842) 大 10

イギリス

アンダーソン、ビー・エム 物價下落對策 (調査月報 11-2) 大 10  
 同 統制經濟並統制物價水準 (調査月報 23-10) 昭 8  
 同 戰後物價低落と經濟界 (大阪銀行通信録 257/58) 大 8  
 荒川 賢 英國の戰時物價管理に就て (國家學會雜誌 33-8) 大 8  
 外務省通商局 英國に於ける物價騰貴の原因に就て (通商公報 730) 大 9  
 堀 英文 英國戰時物價の趨勢と我國生活問題 (公論 2-1) 大 9  
 石井 健三郎 サラワクに於ける物價及金融 (南洋協會雜誌 6-1) 大 9  
 錦 織 理一郎 英國の金本位停止と物價 (世界經濟 7) 昭 7  
 \*大藏省理財局 英國に於ける物價調節に關する施設 大 8 (財政經濟時事問題研究 15)  
 英佛伊に於ける物價調節の現況 (調査月報 10-7/8) 大 9  
 英國金本位停止後の物價 (海外經濟叢報 10) 昭 6  
 英國に於ける食糧價格問題 (調査月報 15-8) 大 14

- 英國の物價と上期別貿易 (東洋經濟新報 1321) 昭 3
- 英國政府の物價調節に關する法規と物價指數上に表はれたる影響 [在英帝國特命全權大使報告] (通商公報 748) 大 9
- 英國食糧價格調査委員會報告書摘要 (調査月報 15-8) 大 14
- 英國は物價上昇を如何に觀測するか (世界經濟新 1-2) 昭 7

イ タ リ ー

- 英佛伊に於ける物價調節の現況 (調査月報 10-7/8) 大 9

滿 洲 國

- 大連商工會議所 世界銀價の變動と支那及滿洲 (大連商工會議所報 16) 昭 4
- \*南滿洲鐵道株式會社臨時經濟調査會 滿洲に於ける小賣物價調査 昭 3
- \*篠崎 嘉郎 銀價の崩落と大連に於ける物價勞銀 大連 昭 5 100 頁

- 哈爾濱市場物價之比較 (傳詩) (中東半月報 3-2) 民 21

- 哈爾濱市場の物價比較 (露亞時報 145) 昭 6
- 滿洲事變と滿洲の物價 (支那時報 16-3) 昭 7

オ ラ ン ダ

- 和蘭に於ける食物及物價調節 [在蘭帝國特命全權大使報告] (通商公報 742) 大 9

ロ シ ア

- ソ聯に於ける物價問題 (ソヴェート聯邦事情 4-4) 昭 8

支 那

- 馬 寅 初 從維持米價問題說到錢幣革命 (銀行週報 788) 民 22
- 平 沼 淑 郎 支那秦漢以前の物價政策 (早稻田政治經濟學雜誌 23) 昭 6
- 劉 仲 廉 金貴銀賤聲中之滬埠物價 (銀行週報 696) 民 20
- 盛 俊 編製上海生活費指數之商權 (銀行月刊 7-1) 民 16

- \*上海日本商業會議所 上海に於ける物價 昭 3 22 頁

- 陳 建 棠 最近米價跌落之研究 (商兌 1-4) 民 22
- 調 辰 我國物價與銀價之關係 (銀行週報 486/87) 民 16

- 支那の物價と銀 (正金週報 38) 昭 4
- 支那の物價と銀價 (東洋經濟新報 1234) 昭 2
- 上海の物價と爲替 (海外經濟事情 6-48) 昭 8
- 十二月分上海躉售物價指數 (錢業月報 6-12) 民 16

ス ウ ェー デ ン

- 金本位停止のまゝ物價水準を安定した瑞典の實例 (金融知識 3-6) 昭 9
- 瑞典に於ける物價政策とその成果 (東洋經濟新報 1569/71) 昭 8

3. 物價史及物價誌

a. 一 般

- \*バートン・セルデン, ジョン 物價百年史 (A century of prices) [譯] 野村銀行調査部 大 12 86 頁 四六
- ベ ー ヤ ン 休戦後に於ける物價の變動 (調査月報 9-3) 大 8
- 遠 藤 盛 世界主要國に於ける物價と貨銀指數統計 (統計集誌 615) 昭 7
- 土 方 成 美 景氣轉換期に於ける物價と勞銀の變動 (經濟研究 4-2) 昭 2
- 池 田 龍 藏 世界物價の趨勢 (エコノミスト 1-1/2) 大 12
- \*神戸高等商業學校商業研究所 開戦以來の各國物價の趨勢 2 版 京都 内外出版社 大 9 [同所彙報 2]
- \*神戸商工會議所 最近十ヶ年物價並に勞働賃銀の趨勢 昭 6 30 頁 菊 [調査資料 31]
- 久 保 田 昇 四十年來歐米に於ける貨銀と物價 (統計學雜誌 430/35) 大 11
- 松 野 清 次 郎 戦後の物價 (國民經濟雜誌 26-1) 大 8
- \*南滿洲鐵道株式會社 支那の物價指數と世界の物價指數—銀建物價指數と金建物價指數との比較 (昭和 2 年 12 月) 昭 3 10 頁 附録 11 表

- 三 浦 武 美 戦前の物價と貨幣數量説 (國民經濟雜誌 27-5/6) 大 8
- 森 文 三 郎 國際間の物價變動の比較に就きて (商業論集 1-2) 昭 2
- 同 最近二年間に於ける諸國の物價變動の比較 (研究資料彙報 5-2) 昭 5
- \*村上 是 助 戦亂の影響を受けたる物價 大 8
- 田 村 市 郎 最近の内外物價變動概観 (商業經濟時報 1) 昭 9
- \*東洋經濟新報社 物價 20 年激動期の内外物價と商品需給側の全資料 東京 同社 昭 8 101 頁 菊
- 吉 田 正 三 シヤルル・リスト: 物價は 1928 年の水準に復歸し得るや (銀行研究 26-2) 昭 9

- 物價—世界市場に於ける價格の變動—各國の國內市場に於ける物價の變動 (世界經濟 3) 昭 6

- 物價觀察—1913 年を基礎とする海外物價及び日本物價 (財界研究 10-6) 昭 6

- 物價二十年 (東洋經濟新報 1531) 昭 8
- 物價の國際位地と最近の爲替相場 (東洋經濟新報 1499) 昭 7

- 物價の急落と内外物價の位地 (東洋經濟新報 1400) 昭 5

- 物價の低落と世界的經濟危機の進展 (日露協會報告 57) 昭 5

- 物價及爲替率より見た各國の紙幣流通高 (東洋經濟新報 1037) 大 12

- 物價騰貴は世界の大本なり (東京經濟雜誌 2002) 大 8

- 一般物價に比較せる銀價の位置 (東洋經濟新報 1434) 昭 6

- 海外物價の反落 (ダイヤモンド 20-28) 昭 7
- 開戦後に於ける物價の變革 (海外經濟彙報 9/10) 大 10

- 各國に於ける卸賣物價及其の指數 (統計集誌 516) 大 13

- 金の偏在と物價の動搖 (東洋經濟新報 1041) 大 12
- 國際物價の趨勢—列國金物價の比較 (東洋經濟新報 1174) 大 14

- 國際物價の趨勢と最近の位置 (東洋經濟新報 1492) 昭 7

- 内外の物價 (貿易 28-4) 昭 3
- 南米に於ける物價の下落 (調査月報 12-5) 大 11
- 日英米物價の國際的比較 (東洋經濟新報 1496) 昭 7

- 歐洲に於ける物價騰貴の趨勢と我國 (貿易 20-8) 大 8

- 亂調なる歐洲物價 (東洋經濟新報 941) 大 10

- 最近の世界生産と物價の動き—國際聯盟財政經濟部の調査 (資料 158) 昭 8

- 最近世界主要國の國際物價の趨勢 (東洋經濟新報 1378) 昭 4

- 世界物價の趨勢 (東洋經濟新報 1275) 昭 2
- 世界物價の動き (世界經濟 3-2) 昭 8

- 世界物價水準の現勢 (財界觀測 16-9) 昭 9
- 世界株價と物價 (東洋經濟新報 1393) 昭 5

- 世界各國とも激落を示す國際物價の最近趨勢 (中外財界 5-12)

- 世界經濟に於ける最近物價動向 (財界觀測 16-2) 昭 9

- 世界の物價 (東洋經濟新報 1031) 大 12
- 世界の物價 (國勢グラフ 2-11) 昭 8

- 世界の物價と我物價 (東洋經濟新報 994) 大 11
- 世界的金本位の回復と金利及物價 (東洋經濟新報 1318) 昭 3

- 1932 年に於ける國際物價の趨勢 (東洋貿易研究 12-2) 昭 8

- 支那の物價と金貨國の物價 (東洋經濟新報 1235) 昭 2

- 諸外國に於ける卸賣物價 (經濟月報 3-9/12; 4-2/4, 7/8) 昭 6, 7

b. 各 國 別

日 本

- 荒 木 秀 一 物價と財界の現勢 (大阪銀行通信錄 401) 昭 6
- 道 家 齊 一 郎 我が物價騰貴と經濟の消長 (金融研究 1-3) 大 13
- 濱 田 哲 九 郎 物價から觀た我國の對外貿易趨向 (自由通商 4-4) 昭 6
- 原 田 作 之 助 本邦戦時及戦後の物價觀 (國民經濟雜誌 26-4) 大 8
- 飯 田 繁 我國金輪再禁止後の物價と景氣 (經濟時報 4-4) 昭 7
- 同 1932 年後半期の我國物價と景氣 (經濟時報 4-12) 昭 8
- 猪 間 驥 一 最近物價低落期に於ける大阪市勞働者家計支出の變化 (都市問題 17-2/3) 昭 8
- 井 上 準 之 助 本年の金融と物價引下 (銀行通信錄 435) 大 11
- 伊 藤 豊 最近我國に於ける對外貿易並びに爲替相場及物價の趨勢 (商業經濟研究 1) 昭 1

神戸 正雄 物價情勢 (時事經濟問題 47) 昭 1  
 同 物價及證券利廻の大勢 (時事經濟問題 63) 昭 2  
 \*簡易保險局 物價及貨銀に関する調査 東京 昭 2  
 962 頁 (積立金運用資料 14)  
 春日井 薫 竹中龍雄氏の拙著「貨幣金融及物價の史的研究」御高評に答ふ (明大商學論叢 3-1) 昭 2  
 幸田 成友 御張紙直段 (社會經濟史學 4-3) 昭 9  
 松川 康助 最近の東京仙臺兩市に於ける日用品小賣價格に就いて (東北經濟論叢 1) 昭 4  
 \*三宅 喜二郎 我國に於ける貨銀及び物價の統計的研究 2 版 東京 森山書店 昭 7  
 175 頁 菊  
 總論 1. 統計材料 2. 差圖表に依る概括的觀察 3. 比圖表に依る概括的觀察 4. 名目貨銀と實質貨銀の變動狀態比較 5. 貨銀の高低と物價の變動  
 各論 1. 長期趨勢 i. 長期趨勢の測定方法 ii. 長期趨勢測定の結果 2. 季節的變動 i. 季節的變動の遊離 ii. 平均的季節變動の測定法 3. 循環的變動 i. 循環的變動の測定法 ii. 循環的變動に於ける貨銀と物價との相關關係  
 最上 國松 物價は落勢に富む (エコノミスト 5-12) 昭 2  
 森 文三郎 我國から觀た諸外國の物價の變動並に諸外國から觀た我國の物價の變動 (研究資料彙報 8-5) 昭 8  
 中島 慶太郎 天平文書田稅物價諸表 (史學雜誌 32-8/10) 大 10  
 小汀 利得 物價騰貴と經濟生活 (庶民金融 9-2) 昭 8  
 岡田 正雄 戦後に於ける卸賣物價の變動に就いて (統計集誌 564) 昭 3  
 \*大阪市役所産業部 大阪の物價 同部 昭 4 (大阪市産業叢書 4)  
 小山田 小七 我國の經費増加と物價の變動 (經濟論叢 29-3) 昭 4  
 實藤 豊吉 靜岡地方に於ける物價貨銀の動き (統計集誌 592) 昭 5  
 \*佐藤 密藏 物價騰貴の真相 海津書店 大 9  
 112 頁 (經濟及社會叢書 1)  
 \*佐藤 信淵 物價餘論叢書 (佐藤信淵家學全集の中の) 昭 4  
 \*同 物價餘論 東京 昭 4 (日本經濟大典—啓明社 18 の内)  
 \*同 物價要録, 別本物價餘論 昭 4 (日本經濟大典—啓明社 18 の内)  
 \*同 物價餘論叢書 東京 昭 4 (日本經濟大典 18 の内)  
 瀨下 清 物價不騰貴の諸因 (エコノミスト 5-12) 昭 2

志立 鐵次郎 物價低減第一—消費組合運動の要 (財政經濟時報 8-7) 大 10  
 同 金融物價貨銀貿易考察 (財政經濟時報 8-9) 大 10  
 汐見 三郎 物價問題の統計的研究 (經濟論叢 16-1) 大 12  
 \*靜岡縣統計課 靜岡縣の物價, 貨金 (明治 1—昭和 6) 昭 7  
 戸田 海市 目下の卸賣相場と小賣相場 (經濟論叢 11-6) 大 9  
 \*東京商業會議所 戦時及戦後に於ける東京市物價と貨銀 大 8  
 辻畑 良夫 徳川時代の貨幣及び物價論 (稻門經濟 2) 昭 2  
 \*安田保善社 外國爲替—大正 14 年の外國爲替 大 14  
 横濱高等商業學校經濟統計研究室 本邦重要商品價格變動の研究 (商學 2) 昭 5  
 吉村 貫一 最近の物價趨勢 (財政經濟時報 14-3) 昭 2  
 米國人の見たる日本の物價と通貨 (海外經濟叢報 4) 大 9  
 貿易良化と我物價の地位 (中外財界 6-2) 昭 6  
 物價激落の内容 (財界要報 101) 昭 6  
 物價下落と事業會社の營業成績 (財界研究 8-4) 昭 5  
 物價反落か爲替續落か (財界觀測 13-10) 昭 7  
 物價反落傾向 (東洋經濟新報 1078) 大 12  
 物價崩落の種々相 (ダイヤモンド 18-12) 昭 5  
 物價聊か動揺 (ダイヤモンド 19-15) 昭 6  
 物價觀察—1913 年を基礎とする海外物價及び日本物價 (財界研究 10-6) 昭 6  
 物價益々騰貴 (東洋經濟新報 873) 大 8  
 物價また暴落 (ダイヤモンド 14-12) 昭 1  
 物價も漸く安定模様 (ダイヤモンド 18-14) 昭 5  
 物價二十年 (東洋經濟新報 928 附録) 大 10  
 物價に関する調査 (經濟調査時報 8/9, 20) 大 12, 14  
 物價の變態的反騰 (ダイヤモンド 19-12) 昭 6  
 物價の引返し (東洋經濟新報 850) 大 8  
 物價の方向一轉 (東洋經濟新報 892) 大 9  
 物價の一般的反落 (東洋經濟新報 1176) 大 14  
 物價の位地 (東洋經濟新報 1123/24) 大 13  
 物價の位地國際水準に復る (東洋經濟新報 1207) 昭 1  
 物價の位地と今後 (東洋經濟新報 1032) 大 12

物價の劃時代的崩落 (ダイヤモンド 18-22) 昭 5  
 物價の恐慌的な急反落 (ダイヤモンド 20-15) 昭 7  
 物價の急反騰 (東洋經濟新報 1040) 大 12  
 物價の最近の位地 (東洋經濟新報 1192) 昭 1  
 物價の大局的地位 (東洋經濟新報 914) 大 9  
 物價の大勢 (東洋經濟新報 1024) 大 12  
 物價の大勢的歸趨 (ダイヤモンド 7-1) 大 8  
 物價の大勢と通貨 (ダイヤモンド 16-12) 昭 3  
 物價の都市別比較 (國勢グラフ 3-9) 昭 9  
 物價を背景としたる江戸の世態 (保險銀行通信 252) 大 9  
 物價及貨銀調 (商工月報 3-2, 3, 5, 6, 8, 10, 11) 昭 2  
 物價落勢鋭化の内容 (東洋經濟新報 1200) 昭 1  
 物價更に低落 (ダイヤモンド 18-17) 昭 5  
 物價更に騰貴せんか (財政經濟時報 6-12) 大 8  
 物價新記録 (東洋經濟新報 856) 大 8  
 物價調 (商工月報 1-5/6) 昭 1  
 物價調 (朝鮮總督府調査月報 1-3) 昭 5  
 物價指數微騰 (東洋經濟新報 1302) 昭 3  
 物價指數續て下落, 前途は尙ほ低落の見込 (東洋經濟新報 1381) 昭 5  
 物價指數續いて急落—内産内需品向下方 (東洋經濟新報 1394) 昭 5  
 物價趨勢の検討 (中外財界 1-21) 昭 1  
 物價低落の諸因並に基調 (財界觀測 16-2) 昭 9  
 物價低落の大勢 (ダイヤモンド 18-6) 昭 5  
 物價低落の程度如何 (東京經濟雜誌 2064) 大 9  
 物價低落頗る遅々 (ダイヤモンド 10-13) 大 11  
 物價騰貴の趨勢 (東京經濟雜誌 2057) 大 9  
 物價騰貴と手形交換 (ダイヤモンド 12-36) 大 13  
 物價騰貴と事業利益 (公私經濟 5-10) 大 8  
 物價騰落の近狀 (ダイヤモンド 15-11) 昭 2  
 物價騰落亂調 (東洋經濟新報 1084) 大 13  
 物價と勞銀 (經濟調査時報—大阪 21) 大 14  
 物價と勞銀に関する調査 (經濟調査時報—大阪 23) 昭 1  
 物價遂に大暴騰 (ダイヤモンド 20-27) 昭 7  
 物價續いて低下—但し低落率は一時減少—金物價の位置依然不良 (東洋經濟新報 1365) 昭 4  
 物價は反落歩調に轉ず (エコノミスト 5-19) 昭 2  
 物價は猶ほ騰貴足らず (ダイヤモンド 20-11) 昭 7  
 物價は戦後の最低記録 (東洋經濟新報 1260) 昭 2  
 物價は戦後の安値 (ダイヤモンド 14-15) 昭 1

物價は底入れか (ダイヤモンド 18-27) 昭 5  
 物價は底入れ模様 (ダイヤモンド 18-24) 昭 5  
 物價は續いて騰貴 (ダイヤモンド 21-2) 昭 8  
 物價は全面的に暴騰 (ダイヤモンド 20-31) 昭 7  
 物價や騰貴 (東洋經濟新報 1164) 大 14  
 物價續落 (東洋經濟新報 893) 大 9  
 物價續落傾向 (東洋經濟新報 1183) 昭 1  
 物價續落と前途 (ダイヤモンド 18-2) 昭 5  
 物價續騰 (東洋經濟新報 890) 大 9  
 インフレ金融, 物價, 株價 (財界觀測 16-2) 昭 7  
 インフレ時代に於ける大阪の貨銀と物價との一考察 (大阪商工會議所月報 326) 昭 9  
 株價物價に現はれたる今次反動 (財界觀測 14-7) 昭 8  
 過去三年半餘の物價と株價の動き (東洋經濟新報 1211) 昭 1  
 爲替安心の物價反騰 (東洋經濟新報 1205) 昭 1  
 爲替貿易物價の推移 (財政經濟時報 12-23) 大 14  
 爲替の低落と重要商品相場 (ダイヤモンド 20-6) 昭 7  
 爲替低落にて反騰傾向にある最近物價の趨勢 (中外財界 2-14) 昭 2  
 爲替と物價と金融 (ダイヤモンド 14-7) 昭 1  
 爲替騰貴と物價の地位 (東洋經濟新報 1217) 昭 1  
 京城日用必需品の卸小賣相場に就て (朝鮮經濟雜誌 63) 大 10  
 京城の卸小賣物價と其地位に就て (朝鮮經濟雜誌 81) 大 11  
 京城主要日用品の小賣價格 (朝鮮經濟雜誌 60) 大 9  
 顯著な低落を見せた卸賣物價の現勢 (中外財界 4-18) 昭 4  
 金解禁の沸騰に急騰したる爲替相場と物價 (中外財界 3-21) 昭 3  
 金の生産減と物價の趨勢 (工業 53) 昭 6  
 金を中心としてみた世界物價及生産 (エコノミスト 12-4) 昭 9  
 金再禁の各事業別影響檢討—企業利潤の前提—物價の騰貴率如何 (エコノミスト 9-23) 昭 6  
 金再禁止後の我が國物價の趨勢 (商工月報 8-4) 昭 7  
 金再禁止下の爲替と物價 (ダイヤモンド 20-1) 昭 7  
 金再禁止と物價の變動 (ダイヤモンド 20-1) 昭 7  
 小賣物價微落 (東洋經濟新報 1250) 昭 2  
 小賣物價の微騰 (國勢グラフ 2-11) 昭 8  
 恐慌と大阪の物價 (東洋經濟新報 908) 大 9  
 休戰條約後の物價 (朝鮮經濟雜誌 45) 大 8

明治33年以來の貨銀と物價の變化 (東洋經濟新報 1395) 昭5  
 モラトリアム期中の物價 (東洋經濟新報 1247) 昭2  
 日本物價の比較 (東洋經濟新報 915) 大9  
 日本の物價は何故高いか (東洋經濟新報 993/94) 大11  
 日英米物價の國際的比較 (東洋經濟新報 1496) 昭7  
 日英米の物價 (東洋經濟新報 869) 大8  
 大保合に推移してゐる最近の卸賣物價 (中外財界 3-8) 昭3  
 卸賣物價の騰勢 (國勢グラフ 2-11) 昭8  
 卸小賣物價の乖離狀態 (東洋經濟新報 1493) 昭7  
 卸賣物價指數に現はれたる景氣循環 (商學評論 7-2) 昭3  
 大阪の物價と勞銀 (東洋經濟新報 871) 大9  
 歐洲に於ける物價騰貴の趨勢と我國 (貿易 20-8) 大8  
 歐洲戰後に於ける我國の通貨、物價及勞銀 (東京經濟雜誌 2044/45) 大9  
 際限なき物價騰貴 (公私經濟 6-6) 大9  
 最近物價の傾向 (ダイヤモンド 15-29) 昭2  
 最近物價の趨勢 (エコノミスト 4-10) 昭1  
 最近物價の諸斷面と其基調 (ダイヤモンド 22-13) 昭9  
 最近の物價指數 (ダイヤモンド 16-27) 昭3  
 最近の物價と勞銀の趨勢 (エコノミスト 4-19) 昭1  
 最近の物價運動 (ダイヤモンド 20-25) 昭7  
 最近の爲替及び物價趨勢 (財政經濟時報 13-9) 昭1  
 最近の我國物價 (國勢グラフ 2-7) 昭8  
 再禁止後の物價變動—爲替低落と物價奔騰 (ダイヤモンド 20-10) 昭7  
 再禁止後の物價騰貴率 (東洋經濟新報 1481) 昭7  
 世界株價と物價—日本の株價低下最も激烈 (東洋經濟新報 1393) 昭5  
 戰後に於ける物價と貨銀騰貴の趨勢 (財政經濟時報 6-8) 大8  
 [昭和7年] 8月末物價指數は昭和6年來の高値 (東洋經濟新報 1515) 昭7  
 昭和3年の物價 (ダイヤモンド 16-37) 昭3  
 昭和3年中の卸賣物價の回顧 (中外財界 4-2) 昭4  
 主要必需品より見た物價の狀勢 (現業調査資料 7-3) 昭8  
 主要十三都市に於ける物價及貨銀趨勢 (中外財界 2-16) 昭2  
 [大正8年] 上半期の物價と財界の傾向 (東洋經濟新報 856) 大8  
 大正8年中東京物價指數 (東京經濟雜誌 2040) 大9

(大正9年) 本年の物價 (東洋經濟新報 877) 大9  
 大正11年1月中大阪物價 (農商務時報 21) 大11  
 [大正11年] 6月物價の騰貴 (ダイヤモンド 10-21) 大11  
 [大正14年] 5月末の物價 (東洋經濟新報 1151) 大14  
 東京卸賣物價指數戰前後10箇年比較 (銀行通信錄 562) 昭7  
 東京市物價及貨銀調 (商工月報 3-12) 昭2  
 東京市の物價と勞銀 (東洋經濟新報 889) 大9  
 我國物價の下落程度 (東洋經濟新報 1242) 昭2  
 我國物價の變遷 (統計時報 21) 昭2  
 我國物價最近の趨勢 (國勢グラフ 3-9) 昭9  
 我國に於ける通貨流通高、物價及貨銀の變遷 (統計時報 35) 昭6  
 我社の物價指數—物價聊か強氣配 (ダイヤモンド 16-17) 昭3  
 財界の動搖と物價 (ダイヤモンド 8-15) 大9

アメリカ合衆國

ハーリン, ジー 既往百年間の米國に於ける物價趨勢 (調査月報 12-1) 大11  
 飯田 繁 金本位制停止後の米國物價と景氣 (經濟時報 5-7) 昭8  
 \*日本銀行 米國財界整理の過渡期に於ける物價と勞賃 東京 大10 15頁  
 竹原寅之助 最近に於ける英米物價の比較 (國民經濟雜誌 57-1) 昭9  
 米國物價變動の研究 (財界研究 7-6) 昭4  
 米國物價の傾向 (京都經濟時報 31) 昭7  
 米國物價騰貴と影響 (ダイヤモンド 11-14) 大12  
 米國の物價戰前に復す (東洋經濟新報 940) 大10  
 米國の物價騰貴 (東京經濟雜誌 2115) 大12  
 米國の物價騰貴、法低落は當然 (東洋經濟新報 1549) 昭8  
 米國の物價騰貴と最近の國別貿易 (東洋經濟新報 1319) 昭3  
 米國卸賣物價の現状 (ダイヤモンド 12-31) 大13  
 米國最近の株價と物價との關係 (調査月報 22-10) 昭7  
 米國諸物價安定 (ダイヤモンド 12-6) 大13  
 英米物價下落の内容 (東洋經濟新報 1392) 昭5  
 英米物價果然反騰、根柢ある景氣轉換 (東洋經濟新報 1512) 昭7  
 英米物價指數の接近 (大阪商業會議所月報 225) 昭1

日英米物價の國際的比較 (東洋經濟新報 1496) 昭7  
 日英米の物價 (東洋經濟新報 869) 大8  
 最近米國の物價趨勢 (ダイヤモンド 11-32) 大12  
 騰勢の米國物價 (ダイヤモンド 20-26) 昭7

ドイツ

獨逸の物價近況 (東拓月報 3-1) 大11  
 獨逸の馬克貨幣事情と獨逸の物價 (時事經濟問題 8) 大12

フランス

佛國に於ける生活費物價指數 [在里昂帝國領事報告] (通商公報 852) 大10

イギリス

濱野 恭平 英國の株價と物價 (竹原經濟時報 57) 昭6  
 原田 雄一 英國の物價と農業政策 (帝國農會報 13-6) 大12  
 \*春日井 薫 貨幣金融及物價の史的硏究—近世英國金融史論 東京 文雅堂 昭2 430頁 菊 [參照 目次: X, b]  
 \*大藏省理財局 英國物價と生活費 東京 大10 [英佛駐劄財務官戰後財政經濟報告 4]  
 竹原寅之助 最近に於ける英米物價の比較 (國民經濟雜誌 57-1) 昭9  
 英米物價下落の内容 (東洋經濟新報 1392) 昭5  
 英米物價果然反騰、根柢ある景氣轉換 (東洋經濟新報 1512) 昭7  
 英米物價指數の接近 (大阪商業會議所月報 225) 昭1  
 英國物價下落傾向 [在倫敦帝國商務官報告] (通商公報 1186) 大13  
 英國卸賣物價激騰 (ダイヤモンド 11-12) 大12  
 平時に於ける英國の物價移動 (調査月報 11-11) 大10  
 金本位停止後の英國物價の變動 (財界要報 109) 昭6  
 日英米物價の國際的比較 (東洋經濟新報 1496) 昭7  
 日英米の物價 (東洋經濟新報 869) 大8  
 1920年度英國物價指數 (調査月報 11-3/4) 大10  
 戰前戰後に於ける英國物價變動 (ダイヤモンド 10-13) 大11

インド

印度に於ける物價騰貴の現況 [在カルカッタ帝國領事報告] (通商公報 584) 大8  
 印度の物價下落、銀本位説と印度 (東洋經濟新報 1550) 昭8

イタリー

伊太利の物價移動及び金融狀態 (世界經濟 2-4) 昭8

滿洲國

\*大連商工會議所 銀價の崩落と大連に於ける物價勞銀 (篠崎嘉郎) 昭5 100頁 菊  
 \*南滿洲鐵道株式會社 滿洲物價調査—昭和3年11月10日調 昭4 152頁 [滿鐵調査資料 92]  
 \*同 滿洲に於ける銀建物價指數—昭和4年1月 昭4 50頁  
 奉天に於ける中國人生活必需品小賣相場を中心として觀たる物價の動き (調査時報 8-9) 昭3  
 洮南地方に於ける物價比較調査 (調査時報 5-1) 大14  
 長春地方に於ける物價騰貴と勞働問題 [在長春帝國領事報告] (通商公報 799) 大10

オーストラリア

濠洲に於ける通貨膨脹及物價變動 (海外經濟彙報 11) 大10

ロシア

細谷 清 勞農ロシアの生活と物價 (東洋 26-2) 大12

支那

バ ッ ク 支那に於ける物價變動 (統計集誌 533) 大14  
 平沼 淑郎 支那秦漢以前の物價政策 (早稻田政治經濟學雜誌 23) 昭6  
 李 劍 農 明代的一個官定物價表與不換紙幣 (武大社會科學季刊 1-3) 民19  
 唐 啓 宇 中國五十五年之價格 (科學雜誌 11-10) 民15

近年に於ける上海の物價騰貴と工賃 (調査時報 5-10) 大 14  
 南京に於ける日用品相場 (在南京帝國領事報告) (通商公報 692) 大 9  
 歐洲戦後に於ける支那の物價と銀に就て (銀行通信録 526) 昭 4  
 北京に於ける小賣價格 (調査時報 7-8) 昭 2  
 最近 14 年間上海卸賣物價指數に就て (上海經濟月報 57) 昭 8

支那の物價と銀價 (東洋經濟新報 1234) 昭 2  
 支那の物價と金貨國の物價 (東洋經濟新報 1235) 昭 2  
 上海の物價 (支那 11-1) 大 9

ス イ ス

瑞西に於ける諸物價及生活費 (在瑞西帝國特命全權公使報告) (通商公報 1010) 大 11

XVII. 爲 替

1. 一 般

青木 一男 通貨, 物價, 爲替及び貿易 (斯民 28-1) 昭 8  
 青木 得三 物價金利及び爲替相場 (專賣通信 9-5) 昭 5  
 青木 嗣夫 外國爲替概論 (經濟研究 1-2/7) 大 10  
 \*同 外國爲替概論 3 版 東京 巖松堂 昭 2 378 頁 菊  
 1. 外國爲替の本體 2. 外國爲替の組織 3. 外國爲替の原因 4. 外國爲替相場 5. 外國爲替相場の建方 6. 外國爲替相場の種別 7. 爲替相場變動の原理 8. 爲替相場變動の範圍 9. 爲替相場變動の原因 10. 國際取引と爲替相場の變動 11. 信用狀 12. 外國爲替の裁定 13. 利率と爲替相場の變動 14. 爲替の豫約と投機 15. 恐慌又は金の輸出禁止と爲替相場 16. 戰時の外國爲替 17. 紙幣爲替 18. 銀貨爲替 19. 外國爲替安定策  
 江口 巳與吉 爲替相場の暴落が國民の富に及ぼす影響について (經濟論叢 39-6) 昭 9  
 遠藤 後一 外國郵便爲替 (金融大辭典 I 卷 8 頁) 昭 9  
 遠藤 昇一 正貨の航空輸送と國際爲替との關係 (企業經營 2-1) 昭 5  
 \*エッシュヤ, フランクリン 外國爲替要義 [譯] 山内五鈴 東京 至支社 昭 3 178 頁 四六  
 1. 外國爲替の意義及び原因 2. 外國爲替手形の需要 3. 爲替相場の昇降 4. 爲替手形の種類 5. 外國爲替市場 6. 如何にして外國爲替に於て利益が擧げられるか、外國爲替課の活動 7. 金輸出及金輸入 8. 國際證券賣買に關する外國爲替 9. 輸出入の金差  
 \*グレゴリー 最近外國爲替論究 [譯] 片倉藤次郎 東京 早稻田泰文社 大 13 170 頁 四六  
 1. 市場及其意義 2. 爲替記事の讀方 3. 爲替の變動及債務のバランス 4. 戰前の爲替調節方法 5. 大戰中の外國爲替 6. 外國爲替の現在地位 7. 救済策 附: 1. ブラッセル國際會議の決議第十五號 2. 爲替に關する統計表  
 濱村 正三郎 江戸爲替 (金融大辭典 I 卷 1 頁) 昭 9  
 長谷川正三郎 金輸送點の問題 (銀行論叢 14-2) 昭 5

服部 文四郎 爲替相場の理論と實際及び之が金融政策 (早稻田政治經濟學雜誌 1) 大 14  
 \*同 貨幣, 銀行及爲替論 東京 明善社 昭 4 605 頁 菊 [參照目次: 1, 1]  
 同 爲替下落と景氣回復理論の檢討 (早稻田政治經濟學雜誌 29) 昭 8  
 平野 清 購買力平價説批判 (商業及經濟研究 39) 大 14  
 古川 虎三郎 海運と爲替 (海運 128) 昭 8  
 古屋 美貞 國際爲替相場と物價變動との因果關係 (銀行研究 4-2) 大 12  
 \*同 外國爲替論 3 版 京都 内外出版株式會社 大 13 617 頁 菊  
 I. 緒論 1. 外國爲替研究の必要 2. 學問としての外國爲替論 3. 外國爲替概観  
 II. 本論 4. 外國爲替手段 5. 爲替相場 6. 外國途金爲替 7. 銀行信用及信用狀 8. 輸出爲替 9. 輸入爲替 10. 爲替相場の豫約 11. 外國爲替と國際金差 12. 外國爲替の裁定 13. 銀爲替及紙幣爲替  
 III. 結論 14. 外國爲替政策 附: 1. 世界各國の爲替制度 2. 世界各國の爲替相場比較表  
 同 外國爲替資金 (經濟學辭典 I 卷 1 頁) 昭 5  
 同 爲替 (經濟學辭典 I 卷 1 頁) 昭 5  
 同 銀爲替 (經濟學辭典 II 卷 1 頁) 昭 6  
 藤井 勝 貨幣及び外國爲替に關するカッセル教授の學説に就いて (神戸高商學生研究雜誌 1) 昭 1  
 五十嵐 直三 外國爲替に就て (銀行通信録 492/95) 昭 2  
 \*同 爲替相場の變動に就て 東京 東京商大一橋新聞部 昭 4 [文化諸科學論集の内]  
 \*池田 政雄 外國爲替要諦 東京 伊藤書店 昭 7  
 池田 實 爲替相場反動作用の一考察 (商業及經濟研究 47) 昭 2  
 同 日支爲替の靜態と動態 (商業及經濟研究 50) 昭 3  
 同 外國爲替論に現はれたるミルの金屬説に就て (商業及經濟研究 52/53) 昭 4  
 同 金解禁問題と爲替理論 (商業及經濟研究 54) 昭 4

池田 實 外國爲替 (經濟學辭典 I 卷 3 頁) 昭 5  
 同 片爲替 (經濟學辭典 I 卷 1 頁) 昭 5  
 同 爲替相場自動調節作用 (經濟學辭典 I 卷 1 頁) 昭 5  
 同 紙幣爲替 (經濟學辭典 III 卷 1 頁) 昭 6  
 同 正貨輸送點 (經濟學辭典 III 卷 1 頁) 昭 6  
 同 電信爲替 (經濟學辭典 IV 卷 1 頁) 昭 6  
 同 荷爲替 (經濟學辭典 IV 卷 1 頁) 昭 6  
 同 輸出爲替・輸入爲替 (經濟學辭典 V 卷 1 頁) 昭 7  
 池田 了實 爲替相場と外貨公債 (銀行論叢 1-5) 大 12  
 稻垣 直文 購買力平價説の根本問題 (銀行研究 18-6) 昭 5  
 伊勢 遊龜雄 不換紙幣の爲替相場 (銀行研究 23-5) 昭 7  
 岩崎 静也 外國爲替相場變動の原因 (銀行論叢 5-4) 大 14  
 神戸 豪太郎 爲替相場の變動と國際商品の市價に就て (經濟評論 8) 昭 3  
 金巻 賢宇 購買力平價説の爲替原理 (經濟評論 20) 昭 9  
 柏木 春太郎 爲替相場決定に関する若干の考察 (經濟集志 4-3) 昭 6  
 \*カッセル, ゲスターフ 貨幣及び外國爲替論 (譯) 笹井正範 東京 富文堂 昭 2 316 頁 菊 [參照目次: 1, 1]  
 \*同 世界の貨幣問題一購買力平價説 (譯) 田村敏雄・毛里英於菟 東京 日本評論社 昭 3 201 頁 菊 [參照目次: VI, a]  
 春日 井 薫 爲替相場決定の原理一特に不換紙幣國の對外爲替に就て (銀行研究 23-6) 昭 7  
 加藤 和根 爲替相場の諸相 (銀行論叢 3-1/2) 大 13  
 \*勝田 貞次 外國爲替相場の變動 再版 東京 同文館 大 14 190 頁 四六  
 川村 環一 購買力等價説と爲替 (計理學研究 22) 昭 1  
 川村 豊 郎 獨占價格としての爲替相場 (商學研究 7-2) 昭 3  
 \*木村 増太郎 外國爲替の基礎知識 東京 刀江書院 昭 8 188 頁 菊

\*木村 増太郎 貿易と爲替の知識 東京 非凡閣 昭 9 250 頁 四六 (萬有知識文庫)  
 金原 賢之助 爲替相場理論概説 (三田學會雜誌 23-4) 昭 4  
 同 外國爲替と國際金融市場の現状 (信託協會報 7-2) 昭 8  
 同 爲替相場とインフレーションとの關係に関する若干の考察 (三田學會雜誌 27-1) 昭 8  
 \*同 外國爲替・金・銀 東京 東洋出版社 昭 9 423 頁 菊 [基礎經濟學全集 5] [參照目次: VII, a]  
 同 貨幣對外價值の一般的標準としての爲替相場水準と爲替相場の指標としての購買力平價水準 (三田學會雜誌 28-3) 昭 9  
 顧 翊 羣 外匯緊縮與通貨膨脹 (經濟學季刊 2-1) 民 20  
 小林 緑 外國爲替基準相場に関する池田君の研究に就て (銀行研究 13-6; 14-2) 昭 2, 3  
 \*小林 行昌 外國爲替 久野書店 昭 7 284 頁 菊  
 \*同 改訂版 外國爲替 東京 世界堂 411 頁 菊  
 同 爲替相場と物價との關係 (保險銀行通信 656) 昭 7  
 \*神戸高等商業學校商業研究所 爲替相場の決定に就て [増井光藏] 大 14 [講演集 21]  
 \*兒玉 謙次 外國爲替に就て 東京 大 11 [財政經濟時報社一經濟講演集 I の内]  
 車谷 馬太郎 爲替相場に関する若干の考察 (竹原經濟時報 29; 自由通商 2-6) 昭 4  
 楠見 一正 郵便爲替 (經濟學辭典 V 卷 1 頁) 昭 7  
 \*正井 敬次 貨幣と爲替 東京 大同書院 昭 6 330 頁 菊 [參照目次: I, 1]  
 同 爲替相場變動の原因について (經濟論叢 35-3) 昭 7  
 同 爲替相場の變動に就て (經濟論叢 35-5) 昭 7  
 同 常識としての外國爲替の話 (公民講座 88) 昭 7  
 増井 光藏 爲替相場の決定に就いて (國民經濟雜誌 38-3) 大 14  
 同 國際貸借説 (金融大辭典 II 卷 2 頁) 昭 9  
 松崎 壽 爲替相場變動の理法 (銀行研究 9-1) 大 14  
 同 爲替相場の自動的調節作用に就て (商業及經濟研究 39) 大 14

\*松崎 壽 爲替理論と金解禁問題 東京 文雅堂 昭 2 四六 [銀行講座 19] [參照目次: XI, 4, a]  
 \*同 外國爲替綱要 東京 日本評論社 [通俗經濟講座 上下ノ内]  
 同 内國爲替 (經濟學辭典 IV 卷 1 頁) 昭 5  
 同 爲替相場に関する謬見 (銀行研究 24-1) 昭 8  
 三浦 實 爲替平價 (金融大辭典 I 卷 1 頁) 昭 9  
 \*宮川 貞一郎 金再禁止下に於ける爲替と物價 東京 高瀬書房 昭 7 350 頁 四六 [不換紙幣叢書 1] [參照目次: XVI, 1]  
 \*同 新貿易政策と爲替 東京 雄風館 昭 9 252 頁 四六  
 I. 國民主義的時代の貿易と爲替  
 II. 封鎖動定 1. 封鎖動定の意義及び目的 2. 獨逸に於ける封鎖マルクの現状 3. 英獨通商條約と封鎖マルク  
 III. 爲替清算制度  
 IV. 爲替清算制度の經濟的意義  
 V. 爲替清算制度の運用  
 VI. 爲替清算制度の實際 1. フランスの清算制度 2. ハンガリー及びチエツコスロバキヤの問題 3. アルゼンチン及びその他に於ける爲替協定  
 VII. 歐洲諸國に於ける國民主義政策と貿易 1. イタリーの國民主義的經濟政策と對外貿易 2. 和蘭の貿易政策の轉向 3. フランスの財政經濟政策 4. スエーデンの管理通貨と恐慌の克服 5. 英國の貿易政策 6. 獨逸の貿易政策 7. 米國のニュー・デールと貿易政策  
 VIII. 爲替政策のきよめよ 1. 爲替政策の目的及び方法 2. 歐洲大戰以後に於ける各國の爲替政策 3. 世界恐慌と爲替  
 IX. 過去三十四年間の我國貿易に於て表はれたる輸出入相互係數の貿易指數  
 宮田 喜代藏 爲替の安定點について (銀行研究 24-6) 昭 8  
 \*水野 重也 外國爲替 改訂増補 7版 東京 寶文館 大 13 486 頁 菊  
 1. 緒論 i. 外國爲替の意義 ii. 外國爲替研究の範圍 iii. 外國爲替の原因 2. 外國爲替手形 i. 外國爲替手形の意義 ii. 外國爲替手形の類別 3. 信用狀 i. 信用狀の意義 ii. 信用狀の種類 4. 外國爲替相場 i. 緒言 ii. 法定平價 iii. 外國爲替相場の建方及爲替相場表 iv. 英佛獨逸の爲替相場 v. 印度者證券 5. 手形の性質に因る爲替相場の差 i. 手形の期限 ii. 手形の信用 iii. 印紙税及手数料 6. 外國爲替の裁定 i. 意義及種類 ii. 直接爲替の裁定 iii. 間接爲替の裁定 iv. 間接爲替の效用 v. 爲替平價の裁定 vi. 裁定價格 7. 外國爲替相場の變動 i. 緒言 ii. 平價爲替及爲替の順逆 iii. 爲替相場の變動を生ずる一般の原因 iv. 爲替相場の變動を生ずる特種の原因 8. 爲替相場變動の影響 i. 爲替相場騰貴の場合 ii. 爲替相場下落の場合 iii. 結論 9. 金の移動 10. 外國爲替政策 i. 正金流入に對する政策 ii. 正金流出に對する政策 11. 歐洲大戰と各國の爲替政策 i. 英國 ii. 佛國 iii. 露國 iv. 獨逸 v. 米國 vi. 本邦  
 水野 淳二 内國爲替 (金融大辭典 II 卷 1 頁) 昭 9

\*水島 鐵也 銀行及外國爲替 東京 同文館 大 9  
 水谷 劍治 「爲替マーカントリズム」の横行 (自由通商 6-3) 昭 8  
 \*森 廣 藏 外國爲替 東京 [社會經濟體系一日本評論社 3 の内] 昭 3  
 \*同 外國爲替 [現代産業叢書一日本評論社 2 の内] 昭 4  
 \*森田 久 外國爲替の實際知識 東京 高瀬書房 昭 7 244 頁 四六  
 宗像 久敬 爲替政策に関する學説 (經濟研究 2-1) 大 14  
 \*ミュラフ, フーゴ 爲替相場と物價 (譯) 金原賢之助 東京 同文館 昭 6 288 頁 菊 [參照目次: XVI, 1]  
 長尾 義三 爲替及景氣の理論に表はれたる平價切下問題 (研究論集 2) 昭 5  
 永島 英三 爲替評價説 (銀行論叢 6-3) 昭 1  
 中井 長三郎 外國爲替 (金融大辭典 I 卷 1 頁) 昭 9  
 中村 重夫 爲替相場と物價の關係 (銀行研究 20-5) 昭 6  
 中山 政麻雄 爲替關係より見たる内國金利 (銀行研究 I-2) 大 10  
 \*成川 圭司 外國爲替の實際 東京 大日本圖書株式會社 大 11 183 頁 四六  
 \*峯田 藤吉 外國爲替講話 東京 大阪屋號書店 昭 7 448 頁 四六  
 \*日本銀行調査局 外國爲替に就きて 東京 大 11  
 西澤 道之介 物價と爲替相場との關係 (彥根高商論叢 15) 昭 9  
 丹羽 豊 銀爲替と株式と金融 (銀行論叢 1-3) 大 12  
 \*野田澤 軍司 外國爲替相場の見方 東京 寶文館 大 14 224 頁 四六  
 小汀 利得 爲替と物價の關係 (中央公論 47-3) 昭 7  
 小畑 茂夫 爲替相場と物價との關係 (企業と社會 17) 昭 2  
 同 購買力平價説に關聯して (大倉學會誌 3-1) 昭 5  
 小川 福太郎 爲替の逆調による輸出増加に就て (經濟論叢 19-3) 大 13  
 岡 橋 保 爲替理論の轉換期 (内外研究 6-2) 昭 8  
 \*奥田 勳 外國爲替解説 東京 文雅堂 昭 1 346 頁 四六 [銀行講座 1]  
 1. 序説 2. 爲替平價 3. 國際銀行業 4. 需要の源泉 5. 爲替の騰落 6. 重要爲替相場 7. 爲替の種類一銀行爲替と商業爲替 8. 諸種の爲替手形の價格關係 9. 外國爲替市場 10. 内外金融市場の關係 11. 金利の爲替市場に及ぼす影響 12. 金 13. 銀行長期爲替手形

14. 輸入及輸出信用状 15. 弗信用状 16. 外國弗手形及其他の手形 17. 外國為替上の利潤或有益 18. 銀為替

奥田 勳 為替相場の意義に関する意見 (商學評論 9-3) 昭 5

\*大藏省理財局 外國為替に関する最近の諸學說一批判的研究 (コーランニ) 昭 3 49 頁 菊 [貨幣論叢 10]

大森 研造 レファイの為替理論 (經濟學研究 2-1) 昭 7

同 ポーズの為替理論 (經濟學研究 3-2) 昭 8

同 為替相場と貨幣數量説 (經濟學研究 3-3) 昭 8

大野 純一 外國為替管理の綜覧 (商學討究 8-上) 昭 8

\*大島 堅造 外國為替講話 7 版 東京 大蔵閣 昭 6 390 頁 菊

1. 外國為替の基礎知識 2. 對米為替 3. 對英為替 4. 對印為替 5. 對支為替 6. 最近の歐洲為替 7. 兩米為替 8. 金に關する諸問題 9. 為替並に金融政策に關する最近の情勢 [補足]

同 為替心理作用説と我國の為替對策 (エコノミスト 10-14) 昭 7

\*同 為替と金銀問題 東京 一元社 昭 8 396 頁 菊 [參照目次: VII, a]

瀨木 博政 金解禁直後の為替相場と正貨現送點 (銀行研究 19-2) 昭 5

同 金輸出入の為替相場に及ぼす影響 (銀行研究 20-6) 昭 6

柴田 銀次郎 最近に於ける對米為替の變動と購買力平價 (國民經濟雜誌 56-1) 昭 9

柴田 三四治 カッセル教授購買力平價説に於ける一疑點 (銀行論叢 4-2) 大 14

同 為替相場と國際價值 (銀行論叢 6-3) 昭 1

下林 一生 購買力平價に就て (銀行研究 7-6) 大 13

白石 幸三郎 內國為替の知識 (經濟知識 6-1) 昭 6

\*岡 顯雄 為替相場の騰落一誰にもわかる外國為替の知識 先進社 昭 7 262 頁 四六

\*同 為替及為替相場の實際 東京 吉田書店 昭 9 653 頁 四六

主へがき 米國の平價切下に就て

I. 內國為替の實際 1. 為替の概念 2. 送金為替の取組 3. 手形代金の取立 4. 為替手形の割引 5. 為替手形の經濟的機能 6. 為替手形の種類 7. 銀行の為替決定

II. 外國為替の基礎知識 1. 外國為替の概念 2. 國際用の貨債收支關係 3. 貨幣制度の概念 4. 貨幣制度の實際

III. 外國為替の相場 1. 外國為替の性質 2. 為替相場の

概念 3. 外國為替取引の概念 4. 為替相場の實際 5. 銀為替と銀為替相場 6. 為替相場變動の概念

IV. 外國為替の賣買 1. 外國為替の歴史 2. 送金為替 3. 外國為替手形 4. 信用状 5. 輸出為替 6. 輸入為替 7. 當座前貸金 8. 我國輸出入為替の實際 9. 外國為替手形の種類 10. 為替取引の方法並に技術 11. 豫約取引 12. 載定取引 13. 投機取引 14. 銀行の賣出物、買出物

V. 為替相場の騰落

A. 為替相場變動の範圍 1. 金為替相場變動の範圍 2. 銀為替相場變動の範圍 3. 紙幣為替相場の變動の範圍

B. 為替相場騰落の諸原因 (甲) 為替安定時代の主要動因 1. 為替相場決定の基本的因素 2. 為替相場變動の直接原因 3. 國際收支に基くもの 4. 貨幣價の變動に基くもの (乙) 為替動搖時代の主要動因 1. 一國の信用に基くもの 2. 將來的豫測に基くもの 3. 為替相場觀測上の注意

C. 為替決定の因素 1. 國際貨債説 2. 國際收支説 3. 購買力平價説 4. 為替心理説 5. 私見 [為替信用説]

VI. 為替相場安定策

A. 自然放任政策 1. 為替國力説 2. 為替自利説 3. 結語

B. 應急的人為策 1. 為替對策の目標と手段 2. 為替統制策 3. 為替管理案 4. 貿易管理案 5. 人為的安定策の効果 6. 我國の為替管理

C. 根本的安定策 1. 一國信用の回復 2. 金本位制への復歸 結語 國際為替の國際的地位と其の前途

須藤 文吉 外國為替論 (銀行研究 1-3; 2-2) 大 10, 11

莊 承 均 國外匯兌交易之主因及匯價之變動 (銀行月刊 7-3) 民 16

高田 保馬 為替價值に關するカッセル説に就て (經濟論叢 8-2) 大 8

同 購買力平價説の一考察 (經濟論叢 30-6; 31-1) 昭 5

高垣 寅次郎 購買力平價説 (金融大辭典 II 卷 3 頁) 昭 9

高城 仙次郎 為替相場と物價の高低 (三田學會雜誌 18-12) 大 13

高橋 正雄 為替相場と物價の關係 (經濟學論集 6-3) 昭 2

武田 鼎一 外國為替相場の理論 (千里山學報 67) 昭 4

同 ブロック經濟下の為替觀念 (エコノミスト 11-15) 昭 8

竹村 豊太郎 最近の圓為替から見た購買力平價説 (商學論叢 6) 昭 7

竹島 富三郎 非常時日本に於ける為替の動向一金と物價と為替 (銀行研究 25-4) 昭 8

田中 金司 金本位の下に於ける購買力平價説の妥當性 (國民經濟雜誌 43-3) 昭 2

丹後 愛二郎 為替相場の連續性 (經濟商業論集 8) 昭 9

谷口 吉彦 為替心理説の主張 (經濟論叢 35-6) 昭 7

\*谷口 吉彦 為替理論と為替問題 東京 千倉書房 昭 8 338 頁 菊

I. 為替理論 1. 為替の原理と外國為替の性質 2. 國際貨債と國際收支 3. 外國為替手形 4. 外國為替の賣買 5. 為替相場 6. 為替相場の變動 7. 購買力平價説の主張 8. 購買力平價説の批判 9. 為替心理説の主張 10. 為替心理説の批判

II. 為替問題 1. 金再禁止直後の為替相場 2. 為替相場と國內物價との關係 3. 貨幣の對内價值及對外價值の變動 4. 貨幣價の變動と為替および貿易との關係 5. 為替の安定と物價の安定 6. アメリカの金再禁止と我國への影響 7. 圓為替の暴落と國民生活 8. 圓為替の將來とその對策 9. 為替對策論

同 為替心理説の批判 (經濟論叢 36-1) 昭 8

同 為替相場と國內物價との關係 (經濟論叢 36-2) 昭 8

同 為替心理説 (金融大辭典 I 卷 1 頁) 昭 9

巽 孝之丞 外國為替 (生命保險會社協會 報 14-4) 昭 1

徳永 修一 為替の意義 (銀行論叢 6-5) 昭 1

\*土 忠 夫 最近外國為替 東京 同文館 昭 1 394 頁 菊

内田 勝司 為替に關する基礎理論—外國為替論 (明大商學論叢 6-6; 7-1/2) 昭 4

同 為替相場及其變動—外國為替理論 (明大商學論叢 7-2/3) 昭 5

和田 清 銀及び銀為替 (經濟商業論叢 8) 昭 9

渡邊 進 現時及び將來の為替理論及び政策に就いて (商業經濟論叢 4) 昭 1

山崎 覺次郎 カッセル教授の「購買力平價説」に就て (經濟學論集 1-2) 大 11

\*山崎 靖純 外國為替の見方 東京 日本評論社 大 14 324 頁 四六 [通俗財政經濟大系 9]

同 外國為替の知識 (經濟知識 3-1) 昭 5

\*同 外國為替新讀本 東京 立命館出版部 315 頁 菊

柳 榮 健治 為替相場の變動と手形の騰落 (銀行研究 2-2) 大 11

\*横濱正金銀行調査課 國際為替安定に關する諸説抄録 大 10 [調査報告 28]

\*同 購買力平價説 附一印度為替安定問題、通貨為替安定問題、獨逸馬克投機事情 大 12

\*同 外國為替と其相場の變動 大 13 [調査報告 48]

米田 庄太郎 為替心理説の社會學的評價の基本的理論 (經濟論叢 36-2) 昭 8

米田 庄太郎 為替心理説評價 (經濟論叢 36-4/6) 昭 8

\*財政經濟時報社 為替と金と物價 東京 同社 昭 8 97 頁 菊

任 凱 南 近百年來國際匯兌學說之演進 (社會科學季刊 1-2) 民 19

ジョンソン, ジョセフ・フレンチ 貨幣と通貨—內國及外國為替 (銀行通信錄 540) 昭 6

貿易外收支勘定と為替 (ダイヤモンド 14-10) 昭 1

外國為替の變動と銀貨 (中央銀行會通信錄 215) 大 10

銀塊相場と電信為替の關係 (東洋貿易研究 7-7) 昭 3

銀為替とは何か (經濟知識 5-3) 昭 6

為替變動の實證的研究 (エコノミスト 12-26) 昭 9

為替變動と國際商品相場 (東洋經濟新報 1537) 昭 8

為替相場に關する二學說の交渉點 (中外財界 1-10) 昭 1

為替相場と金本位制度 (東洋經濟新報 1472) 昭 6

為替と金融と景氣 (ダイヤモンド 20-5) 昭 7

金本位停止國の為替と購買力平價 (東洋經濟新報 1532) 昭 8

金相場ドル價と各國為替 (財界觀測 16-2) 昭 9

購買力平價説とは何か (エコノミスト 10-3) 昭 7

國際紙幣本位下の為替 (財界觀測 14-10) 昭 8

ラファイの為替學說 [海外金融思潮] (銀行論叢 20-3) 昭 8

2. 為替問題及為替政策

a. 一般

アインツヒ, ボール 航空輸送の發達と金輸送點 (調査月報 17-5) 昭 2

同 正貨輸送點の現在及將來 (調査月報 17-10) 昭 2

青木 得三 國際為替管理の趨向 (外交時報 63-1) 昭 7

荒木 光太郎 為替管理を論ず (經濟學論集 2-7) 昭 7

同 為替統制 (經濟往來 7-10) 昭 7

同 為替對策 (經濟往來 8-1) 昭 8

ブルース 通貨為替及信用の現状を論じて其恢復策の基調に及ぶ (調査月報 11-2) 大 10



海老原竹之助 為替恢復策としての金輪解禁と兌換停止 (銀行研究 8-1) 大 14

同 為替の絶対放任を論ず (銀行研究 8-1) 大 14

同 為替投機と英國の金解禁 (銀行研究 16-2) 昭 4

エルヴェ 各國に於ける為替管理の現状 (國際パンフレット通信 526) 昭 7

橋爪 明男 為替統制論 (經濟往來 7-12) 昭 7

同 インフレーションに於ける通貨、物價、為替と所謂心理的なる貨幣理論 (經濟學論集 3-3/4) 昭 8

橋爪 源吉 國民生活と為替安定策 (上海時論 1-9) 昭 1

服部 文四郎 為替相場の理論と實際及び之が金融政策 (早稻田政治經濟學雜誌 1) 大 14

同 為替管理論 (早稻田商學 8-3/4) 昭 7

皮 宗 右 金の移動與國際清算銀行 (武大社會科學季刊 1-3) 民 19

平野 清 為替問題と金融政策 (銀行研究 6-6) 大 13

同 為替の恢復と金本位制の問題 (金融研究 2-10) 大 14

平野 常治 為替管理制度の發展 (世界經濟 9) 昭 7

廣瀬 雄一 ポール・アインツヒ: 為替投機 (銀行研究 27-1) 昭 9

同 ポール・アインツヒ: 為替清算論 (銀行研究 27-2) 昭 9

堀江 歸一 早坂喜一郎著: 銀價と銀為替 (三田學會雜誌 19-5) 大 14

占澤 磯次郎 為替及貿易の管理 (稅 10-3) 昭 7

占屋 美貞 外國為替政策 (同志社論叢 8) 大 11

同 外國為替政策 (經濟學辭典 1 卷 1 頁) 昭 5

\*五十嵐 直三 為替相場の變動に就て [文化諸科學論集一同文館の内] 昭 4

同 為替相場安定化の好影響 (經濟往來 5-11) 昭 5

飯田 清三 平價切下と為替相場 (東洋經濟新報 1586) 昭 8

石田 隆一 國際金融恐慌以來各國金融為替政策 (銀行論叢 18-5) 昭 7

\*關西學院高等商學部 外國為替管理考 昭 9 56 頁 菊 [調査及資料 6]

春日 井 薫 為替管理問題の再検討 (銀行研究 23-2) 昭 7

加藤 秀雄 近時為替安戦に就いて (中央銀行會通信錄 367) 昭 8

\*勝田 貞次 非常時の為替相場常識 東京 實文館 307 頁 四六

\*經濟事情研究會 物價及為替と景氣の變動 昭 3

金原 賢之助 外國為替管理の普及と其有する意義に就いて (三田學會雜誌 26-3) 昭 7

\*同 為替政策 東京 春秋社 昭 8 80 頁 菊 [世界經濟問題講座 4—世界經濟政策]

同 為替管理及び平價切下の經濟的考察 (財政經濟時報 20-1) 昭 8

清島 梓 金解禁と銀為替 (銀行論叢 12-2) 昭 4

小林 政一 為替資金 (金融大辭典 1 卷 1 頁) 昭 9

小林 行昌 為替管理概説 (早稻田商學 9-2) 昭 8

\*神戸商業大學商學研究所 金本位制に於ける為替統制 [田中金司] 昭 5 58 頁 菊 [講演集 45]

谷 春 帆 銀價物價與國際收支平衡 (銀行週報 652) 民 19

小島 精一 為替管理政策の積極的批判 (中央公論 47-6) 昭 7

高津 彦次 為替管理 (國家試驗 5-9) 昭 8

熊田 克郎 為替管理に關する諸問題 (銀行研究 22-5) 昭 7

熊本 吉郎 外國為替管理について (經營と經濟 3-3) 昭 7

前田 安彦 米國平價切下を廻ぐる國際為替關係の推移 (中央銀行會通信錄 372) 昭 9

牧村 宏 為替の變動と資本逃避 (稅 10-8) 昭 7

\*牧野 輝智 為替問題十講 東京 日本評論社 昭 1 266 頁 四六

1. 我國の為替問題(上) 2. 我國の為替問題(中) 3. 我國の為替問題(下) 4. 英國の為替問題 5. 為替問題から見た米國 6. 佛蘭西の為替問題 7. 獨逸の為替問題 8. 印度の為替問題 9. 支那の為替問題 10. 為替學說の動搖

\*同 現下の為替問題 東京 日本評論社 (通俗經濟講座 上下ノ内)

\*松崎 壽 現時の金利及為替問題 大 13

同 為替政策の根本問題 (銀行研究 6-5) 大 13

美濃部 亮吉 為替清算協定 (經濟往來 9-11) 昭 9

三浦 實 為替清算協定 (金融大辭典 1 卷 2 頁) 昭 9

宮川 貞一郎 資金の海外逃避 (金融大辭典 II 卷 2 頁) 昭 9

三宅 嘉十郎 為替調節策論 (銀行研究 6-3) 大 13

\*水野 純 日本及南支南洋の為替 東京 實文館 大 14 283 頁 附 11 頁 四六

森川 太郎 封鎖通貨と為替交換制 (關西大學々報 124) 昭 9

宗像 久敬 為替政策に關する學說 (經濟研究 2-1) 大 14

村上 義雄 為替管理に付て (國家試驗 5-7/9) 昭 8

\*長山 浩 為替管理と其實際 東京 太陽社 昭 8 390 頁 四六

I. 為替管理の實施を不可避とした財界の現状 1. 日本資本主義の發展 i. 歐洲大戰を舞臺としての膨脹 ii. 戰後の財界反動と膨脹政策 iii. インフレーション政策の成立 iv. 金融動亂とデフレーション政策への轉向 2. 金解禁論行 i. 金解禁と國內政策 ii. 世界恐慌の襲來と金解禁恐慌 iii. デフレーション政策の行詰り 3. 金輸出再禁止下における新情勢 i. 金輸出再禁止の必然性 ii. 金本位制の崩壞 iii. インフレーション政策の強行 iv. 貨幣價值の變革と其原因 v. インフレーション政策進行と為替相場の前途 vi. 為替政策の將來

II. 日本の為替管理 1. 資本逃避防止法 i. 資本海外逃避現象と其意義 ii. 資本逃避防止法の制定 iii. 資本逃避防止法の實施 iv. 資本逃避防止法の解説 v. 資本逃避防止法實施後の影響に效果 2. 外國為替管理法 i. 立法の目的 ii. 法律の制定より實施へ iii. 法律の實體と其機能 iv. 為替管理施行令解説

III. 獨逸の為替管理 1. 外國為替管理に二つの型 2. 獨逸の為替管理大要 附: 1. 外國為替管理法に關係命令 2. 資本逃避防止法に關係命令 3. 獨逸現行為替管理法令抄 4. 米國緊急銀行法案並に英國為替平衡基金會計法

中澤 慶之助 外國為替管理考 (商學評論 12-4) 昭 9

名和 統一 國際金融恐慌と為替清算協定—所謂パーター・システムの理論的考察 (自由通商 7-6) 昭 9

\*日本經濟聯盟會 通貨に關するゼノア會議の理想 [全印度大藏大臣パーブル・ブラケット卿説] 昭 3 26 頁 菊

丹羽 豐 現今の為替問題とマーシャル氏の貿易論 (銀行論叢 4-1) 大 14

小汀 利得 為替比率問題檢討 (經濟知識 10-1) 昭 8

奥村 永藏 本位政策と為替統制 (大阪銀行通信錄 413) 昭 7

奥野 平 為替平衡資金制とは? (銀行論叢 19-4) 昭 7

\*大口 喜六・長島 隆二・小笠原三九郎 [監修] 外國為替管理法の機能 東京 秀文閣 昭 8 601 頁 菊

1. 第六十四回帝國議會衆議院本會議 2. 外國為替管理法案委員會第一回 3. 同第二回 4. 同第三回 5. 同第四回 6. 同第五回 7. 同第六回 8. 同第七回 9. 同第八回 10. 同第九回 11. 同第十回 12. 第六十四回帝國議會衆議院本會議

大野 純一 外國為替管理の綜觀 (商學討論 8-上) 昭 8

\*大阪高等商業學校 現時の金利及為替問題 大 13

\*大阪商工會議所 外國為替管理法に就て 昭 8

ビグー 歐洲に於ける信用通貨及為替の整理方策 (調査月報 10-11) 大 9

笠 信太郎 為替管理は何處へゆく—謂ゆる「統制經濟」と「為替管理」(批判 4-4) 昭 8

齋藤 種次郎 為替雜記 (銀行論叢 9-6) 昭 2

瀬戸 健助 金塊相場の暴騰と今後の國際為替及物價の動向 (財政經濟時報 20-11) 昭 8

白石 幸三郎 為替ダンピング (金融大辭典 1 卷 1 頁) 昭 9

\*十龜 盛次 為替交換制度と英獨新協定 (エコノミスト 12-21) 昭 9

\*岡 顯雄 為替及為替相場の實際 東京 吉田書院 昭 9 653 頁 四六 [萬有知識文庫]

須藤 文吉 輸入防遏と為替相場調節 (銀行研究 2-4) 大 11

スバルディング, ダブリュ・エフ 銀價の變動と東洋為替及銀行 (大阪銀行通信錄 268) 大 8

鈴木 益三 為替管理 (金融大辭典 1 卷 4 頁) 昭 9

鈴木 島吉 為替決済問題に就て (銀行論叢 13-2) 昭 4

諸 青 來 虛金本位與匯兌基金 (銀行週報 659) 民 19

田川 重盛 為替決済とは (經濟知識 1-4) 昭 4

高橋 龜吉 為替落強襲の誘因何時如何 (工場世界 14-2) 昭 8

竹島 富三郎 國際經濟會議と為替比率協定問題 (銀行研究 25-1) 昭 8

田中 金司 金本位制に於ける為替統制 (國民經濟雜誌 48-4/6) 昭 5

同 為替平衡資金 (經濟往來 7-9) 昭 7

田中 貢 為替安定の目標と手段 (エコノミスト 10-22; 民政 6-12) 昭 7

田中 三雄 對外為替の變調時代に於ける物價及貿易 (朝鮮 139) 昭 1

谷田 義一 Valutaspekulation の意義 (長崎高商研究館報 13-2) 昭 4

谷口 吾郎 為替管理 貿易管理制度の世界的展開 (自由通商 5-5) 昭 7

谷口 吉彦 貨幣の對内及對外價値の變動と貿易並びに為替との關係を論ず (經濟論叢 20-2/4) 大 14

\*同 為替理論と為替問題 東京 千倉書房 昭8 338頁 菊 (參照目次: XVII, 1)

\*東京商工會議所 各國為替管理令 東京 同所 昭7 471頁 菊 [商工調査 45]

德重 伍介 歐洲大戰後に於ける外國為替上の金輸出入點の變動 (東亞經濟研究 11-2) 昭2

同 各國為替管理の現状 (東亞經濟研究 16-1/2) 昭7

\*東京銀行集會所 外國為替管理法施行令に就て 昭8

堤 正元 為替交換制 (大阪銀行通信錄 351) 昭1

\*朝鮮銀行 投機に基づく外國為替の騰貴に就て [服部俊三] 昭1 46頁

内田 勝司 為替政策—外國為替理論 (明大商學論叢 7-4) 昭5

渡邊 進 現時及び將來の為替理論及び政策に就て (商業經濟論叢 4) 昭1

\*渡邊 省二 國際貸借と為替問題 福岡 昭1

\*山口 恭佑 為替對策論 東京 春陽堂 昭7 180頁 四六

山室 宗文 為替管理批判 (エコノミスト 10-14) 昭7

山崎 靖純 為替政策 (金融大辭典 I 卷 4頁) 昭9

山崎 雄治 東洋為替と銀問題 (商業と經濟 7-2) 昭2

\*橫濱正金銀行 為替安定の研究 國際貸借決済に關する創設案 大 11

吉田 正三 ポール・アインツヒ: 為替統制の技術 (銀行研究 25-4) 昭8

同 ポール・アインツヒ: 為替制限の理論と技術 (銀行研究 27-3) 昭9

米國平價切下後の為替抗爭 (經濟情報 9-6) 昭9

貿易及為替管理の世界的流行 (ダイヤモンド 20-10) 昭7

兌換停止並海外為替取引再開—南アフリカ (海外經濟事情 6-1) 昭8

外國為替の變動と銀價 (中央銀行會通信錄 215) 大 10

現在各國の本邦品に對する為替ダンピング税課税狀態 (内外商工時報 19-4) 昭7

銀塊為替市場—1926年の (調査時報 7-5) 昭2

銀塊相場と電信為替の關係 (東洋貿易研究 7-7) 昭3

平價切下聲明と為替相場 (財界觀測 16-3) 昭9

平價切下と為替問題 (財界觀測 13-1) 昭7

復興景氣と為替 (財界觀測 17-8) 昭9

フランスの前途と國際為替協定 (財界觀測 15-1) 昭8

インド支那の為替補償附加税賦課 (海外經濟事情 5-38) 昭7

依然たる國際為替市場の動搖とイギリスの為替政策 (財界觀測 15-6) 昭8

貨幣及滙兌行市 (統計叢誌 1) 大同 2

各國為替管理と貿易の衰微 (大阪銀行通信錄 422) 昭7

各國に於ける為替管理の現状 (國際パンフレット通信 526) 昭7

各國の為替管理制度 (政治經濟時論 7-9) 昭7

為替貿易管理の世界流行 (エコノミスト 10-3) 昭7

為替平衡資金の思ひ出 (京都經濟時報 46) 昭9

為替比率協定の實行難 (エコノミスト 11-11) 昭8

為替比率協定の失敗説と世界經濟會議 (東洋經濟新報 1555) 昭8

為替放任から管理 (京都經濟時報 34) 昭8

為替管理の根本的考察 (E. O. 生) (大阪銀行通信錄 423) 昭7

為替管理の鎖輪下に於ける國際貿易 (經濟月報4-4) 昭7

為替管理の世界的擴大 (ダイヤモンド 20-3) 昭7

為替管理の實質 (藤本アナリスト 7-5) 昭7

為替管理と貿易管理の世界的流行—二つの貨幣價値安定方法として (エコノミスト 10-3) 昭7

金本位停止國の為替と購買力平價 (東洋經濟新報 1532) 昭8

國際為替市場の動搖 (財界觀測 15-7) 昭8

國際為替市場の混亂と圓貨の前途 (財界觀測 15-2) 昭8

國際金融の激變と為替相場 (東洋經濟新報 1523) 昭7

國際紙幣本位下の為替 (財界觀測 14-10) 昭8

為替協定の成否と世界景氣 (財界觀測 16-4) 昭9

國際的な為替再動搖の可能性 (財界觀測 16-12) 昭9

南アフリカ聯邦の為替ダンピング税實施公布 (海外經濟事情 4-52) 昭7

南中米諸國為替管理事情 (海外經濟事情 9-17) 昭9

歐洲金本位維持國の危殆と對米為替宣戰 (銀行通信錄 570) 昭8

歐洲大陸に於ける為替制限 (經濟月報 4-5) 昭7

列國金本位停止と為替管理 (國勢グラフ. 2-6) 昭8

世界の為替安定と我財界 (東洋經濟新報 1166) 大 14

世界財界現下の問題點と為替協定の實現性 (經濟情報 9-15) 昭9

諸外國に於ける為替安定策 [商工省調査] (東京工場懇話會々報 63) 昭7

諸國に於ける為替管理の現状 (東洋貿易研究 13-6) 昭9

中南米諸國及びユーゴスラヴィアに於ける最近の為替管理事情 (經濟月報 6-3) 昭9

我新市場南米の為替管理實狀と其對策 (經濟情報 9-6) 昭9

b. 各國別

日 本

青木 一男 外國為替管理法に就いて (斯民 329) 昭8

同 外國為替管理法施行令に就て (銀行通信錄 568; 法律時報 5-6) 昭8

同 外國為替管理法及施行細則に就いて (貿易 33-8) 昭8

荒木 秀一 為替相場低落問題批判 (銀行論叢 2-6) 大 13

荒木 光太郎 為替暴落と平價切下げ (經濟往來 7-8) 昭7

海老原竹之助 為替放任より金輸出解禁へ (銀行研究 15-3) 昭3

\*銀行信託通信社 外國の為替管理法 東京 同社 昭8

銀行問題研究會調査部 為替の暴落とその對策に就て (銀行論叢 19-6) 昭7

強瀬 羊平 解禁直後の為替政策 (政治經濟時論 5-2) 昭5

齋 齋 日幣美匯暴落之真因 (錢業月報 12-9) 民 21

平野 清 為替問題と金融對策 (銀行研究 6-6) 大 13

菱沼 勇 為替政策の考察 (國民經濟雜誌 53-3) 昭7

同 為替相場下落の物價及び貿易に及ぼす影響 (國家試驗 5-1) 昭8

同 金本位停止國の為替と購買力平價 (東洋經濟新報 1532) 昭8

同 英米佛の為替關係 (經濟 1-3) 昭9

堀江 歸一 為替下落の對策 (エコノミスト 2-7) 大 13

同 為替對策如何 (エコノミスト 2-22) 大 13

堀江 歸一 為替相場の回復如何 (エコノミスト 3-22) 大 14

同 為替政策確立の必要 (エコノミスト 4-6) 昭1

星 塾 章 為替高と金解禁の一解釋 (エコノミスト 6-8) 昭3

細矢 祐治 本邦為替政策の將來 (銀行研究 23-4) 昭7

古屋 美貞 我國の為替政策に就て (同志社論叢 16) 大 14

古矢 吉雄 最近の為替相場回復と金解禁の時機 (銀行研究 10-6) 昭1

飯田 清三 為替暴落と重要産業 (銀行研究 23-4) 昭7

池田 成彬 為替回復と金解禁 (ダイヤモンド 14-5) 昭1

今西 兼二 金解禁準備としての為替コントロール (實業之日本 31-21) 昭1

猪俣 津南雄 為替低落とインフレーション (改造 15-4) 昭8

井上 鑑三 為替の安定と絲價の安定—為替變動の數量的研究 (生絲經濟研究 4) 昭4

\*井上 準之助 現今の國際為替に就て 岐阜經濟會 昭1 [非賣]

同 為替相場の回復と金解禁問題 (國家學會雜誌 40-7) 昭1

同 我國の為替恢復策 (エコノミスト 7-9) 昭4

色川 俊次郎 外貨債と資本逃避防止法 (信託協會々報 7-2) 昭8

磯貝 一郎 外國為替相場と財界 (インヴェストメント 6-5) 昭2

磯村 豊太郎 物價調節の應急施設 (經濟時論 11-1) 大 12

市村 四方田, 三谷 アメリカ金本位の停止と資本主義經濟の診斷, ドルの破局と圓の破局, 製鐵合同の正體 [滿洲國計畫經濟宣言] (批判 4-4) 昭8

伊東 芳次郎 為替安定私案 (東洋經濟新報 1316) 昭3

岩本 正雄 為替崩落の意義と日本國民經濟の特殊性 (砂糖經濟 2-9) 昭7

各務 謙吉 為替回復策如何 (ダイヤモンド 14-10) 昭1

神戸 正雄 在外正貨問題及為替相場問題 (銀行研究 2-3) 大 11

同 為替の大變調と對策 (經濟論叢 18-2) 大 13

同 為替問題餘燼 (時事經濟問題 30) 大 14

神戸 正雄 最近の為替と貿易と金融 (時事経済問題 42) 昭 1  
 同 貿易と為替 (時事経済問題 47) 昭 1  
 同 為替の強調 (時事経済問題 51) 昭 1  
 同 正貨の現送と為替 (時事経済問題 53) 昭 1  
 同 物價と為替と金融 (時事経済問題 54) 昭 2  
 同 物價と為替と投資 (時事経済問題 58) 昭 2  
 同 物價と為替 (時事経済問題 60, 66) 昭 2  
 同 最近の貿易と為替 (時事経済問題 74) 昭 3  
 同 為替の不況 (時事経済問題 81) 昭 4  
 同 物價證券利廻及為替相場 (時事経済問題 84) 昭 4  
 同 今後の為替問題 (時事経済問題 90) 昭 5  
 \* 神田 義太郎 為替相場と安定策 東京 實文館 大 14 326 頁 附 16 頁 四六  
 春日 井 薫 再禁止後の通貨政策—通貨膨脹抑止と最大發行部の法定及為替管理 (銀行研究 22-1) 昭 7  
 同 為替及物價の動向と貿易産業—為替相場低下を以て利となす説を排す (銀行研究 26-2) 昭 9  
 片山 繁 為替問題に就て (貿易 32-4) 昭 7  
 加藤 和根 為替は証券市場にどう響くか (銀行論叢 3-5) 大 13  
 同 外國為替問題管見 (銀行論叢 2-5/6) 大 13  
 加藤 貞雄 金輸出解禁問題と我國為替に及ぼす影響に就て (銀行研究 3-4) 大 11  
 勝田 貞次 對米為替はどうなるか (銀行研究 6-6) 大 13  
 同 為替相場は何う動くか (銀行研究 8-2) 大 14  
 同 為替對策の根本基調 (銀行論叢 4-1) 大 14  
 \* 同 動態為替相場論—為替相場はどうなる 東京 景氣研究所 昭 7 172 頁 四六  
 河津 通 為替問題 (經濟學論集 3-1) 大 13  
 同 為替相場の下落と其對策 (國家學會雜誌 47-2) 昭 8  
 \* 木村 龍太郎 圓の悲劇 東京 木村書房 昭 7 197 頁 四六  
 金原 賢之助 外國為替と資本逃避防止法 (信託協會報 7-2) 昭 8

北村 三郎 為替問題と財政 (稅 11-2) 昭 8  
 北崎 進 為替及物價對策 (中外財界 1-9) 昭 1  
 清島 梓 金解禁と銀為替 (銀行論叢 12-2) 昭 4  
 小林 行昌 為替問題警見 (商事研究 5-2) 大 14  
 湖沼 多柁夫 為替暴落と其前途 (政治經濟時論 7-10) 昭 7  
 小島 昌太郎 我が最近の為替政策 (經營と經濟 2-6) 昭 7  
 同 圓の將來と今後の景氣 (京都經濟時報 47) 昭 9  
 クレーン, パートン 外國記者の觀た圓價及び其前途 (ダイヤモンド 20-26) 昭 7  
 \* 前田 薫一 圓為替の研究 東京 白鳳社 大 14 365 頁 菊  
 同 現時の圓為替下落に關する私見 (金融研究 2-3) 大 14  
 前田 繁一 對米為替崩落 (經濟往來 7-11) 昭 7  
 牧村 宏 為替の變動と資本逃避 (稅 10-8) 昭 7  
 牧野 輝智 弗の頓落, 圓の昂騰 (中央公論 48-9) 昭 8  
 同 為替問題を檢討—為替低落の現状と其今後並に財界への影響及其對策 (經濟往來 8-1) 昭 8  
 松崎 壽 為替政策と金輸出解禁問題 (銀行研究 8-1) 大 14  
 同 現時の為替動搖問題 (銀行研究 16-4) 昭 4  
 水津 彌吉 為替の回復と前途觀 (インヴェストメント 1-3) 大 14  
 三土 忠造 金融・為替・金解禁問題 (財政經濟時報 16-2) 昭 4  
 同 根本的の為替安定策は金解禁の外にない (銀行論叢 12-5) 昭 4  
 同 為替暴落の對策 (電氣經濟時論 4-9) 昭 7  
 \* 水野 純 日本及南支南洋の為替 東京 實文館 大 14 283 頁 附 11 頁 四六  
 森 廣 藏 為替恢復と緊縮政策 (エコノミスト 4-5) 昭 1  
 武藤 山治 圓價下落は重大問題 (東洋經濟新報 1129) 大 14  
 同 圓はどうなるか (公民講座 102) 昭 8  
 \* 長濱商業學校 金本位停止下の為替と其の對策 昭 9  
 長野 勳 我國の為替問題と米國の通貨問題 (東洋 36-3) 昭 8

二宮 丁三 圓價の暴落と對外貿易 (東亞經濟研究 17-1) 昭 8  
 \* 日本經濟聯盟會 日本の外國為替に就て 大 13 [國際商議關係書類 10]  
 丹羽 豊 為替恢復と財界循環 (銀行論叢 4-5) 大 14  
 野口 弘毅 外國為替相場と内外正貨 (龍門雜誌 436) 大 14  
 \* 野村證券調査部 為替低落と上向期の主要産業 東京 千倉書房 昭 7 389 頁 菊  
 野崎 龍七 為替國營の急務 (ダイヤモンド 20-26) 昭 7  
 同 弗為替の低落に關する諸問題 (ダイヤモンド 21-8) 昭 8  
 同 米國の平價切下げと本邦為替相場の將來 (ダイヤモンド 22-5) 昭 9  
 小汀 利得 為替の前途觀 (貿易 32-11) 昭 7  
 小川 福太郎 為替の逆調による輸出増加に就て (經濟論叢 19-3) 大 13  
 大口 喜六 為替對策の確立は目下の急務 (ダイヤモンド 20-25) 昭 7  
 岡崎 幸壽 圓為替に躍る本邦海運界 (海運 125) 昭 7  
 \* 大久保 一路 為替管理の運用と其影響 東京 高瀬書房 昭 7  
 \* 同 為替暴落と管理對策 東京 高瀬書房 昭 7 159 頁 四六  
 奥村 重正 外國為替管理法に就て (朝鮮財務 11-6) 昭 8  
 奥野 平 海外投資, 為替統制, 正貨現送 (時事經濟問題解説) (銀行論叢 17-3) 昭 6  
 同 英國金本位制停止と高金利政策の世界化, 金輸出再禁止と為替管理 (時事經濟問題解説) (銀行論叢 18-1) 昭 7  
 同 為替對策としての外貨強制買上に就て (銀行論叢 20-1) 昭 8  
 大島 堅造 為替心理作用説と我國の為替對策 (エコノミスト 10-14) 昭 7  
 同 米國の金融恐慌と對米為替の前途 (エコノミスト 11-6) 昭 8  
 同 對米為替相場の前途 (エコノミスト 11-6) 昭 8  
 同 為替の前途と對策 (エコノミスト 11-9) 昭 8  
 同 為替の近狀と圓價の將來 (經濟往來 9-12) 昭 9  
 櫻田 助作 為替下落と圓の對内價值に就て (東洋經濟新報 1485) 昭 7  
 千家 恒廣 圓安 (金融大辭典 1 卷 1 頁) 昭 9

柴田 銀次郎 最近に於ける對米為替の變動と購買力平價 (國民經濟雜誌 56-1) 昭 9  
 島田 徳 為替下落と外貨社債問題 (經濟商業論叢 5) 昭 8  
 下林 良敏・李家 弘 大連を中心とする上海日本為替三角關係 (支那經濟研究 3)  
 下村 健一 為替安と我海運界 (海運 128) 昭 8  
 白石 幸三郎 為替暴落の前途 (中央公論 47-8) 昭 7  
 杉本 正一 圓價暴落と金輸出解禁論に就て (銀行論叢 2-6) 大 13  
 杉山 幹 為替暴落の影響 (改造 14-10) 昭 7  
 須山 京一 外國為替管理法に所謂「邦貨の強制通用力」を有する地域 (銀行研究 27-2) 昭 9  
 \* 鈴木 益三 為替相場變動と為替管理 東京 東京書房 昭 7 300 頁 四六  
 1. 為替相場論 i. 經濟現象の變遷 ii. 對外政策の變化 iii. 國際關係の特異性 iv. 為替相場の意義及變動の原因 v. 我國現時の為替相場變動豫想材料 2. 為替管理論 i. 為替管理の重要性 ii. 弗買の心理と為替管理の目的 iii. 國內物價の安定と為替管理 iv. 各國の為替政策の様式 v. 為替管理の種別 iv. 英國の為替管理 vii. 佛蘭西の為替管理 viii. 獨逸の為替管理 ix. ブラジルの為替管理 x. ギリシャの為替管理 xi. 西班牙の為替管理 3. 我國為替管理法解説 i. 我國為替管理の目的 ii. 我管理令と手續の解説 4. 我國為替管理法實施の影響 結論 附: 資本逃避防止法令並施行手續  
 同 為替相場變動と對策 (貿易 33-2) 昭 8  
 鈴木 島吉 今後の為替問題 (銀行論叢 6-6) 昭 1  
 同 資本移動の圓滑化問題と日本 (經濟知識 9-6) 昭 8  
 高城 仙次郎 拙劣なる我が為替政策を評す (銀行研究 8-6) 大 14  
 高橋 正雄 國力相應の為替相場 (エコノミスト 11-1) 昭 8  
 竹原 寅之助 為替相場と外國貿易 (國民經濟雜誌 55-2) 昭 8  
 竹村 豊太郎 最近の圓為替から見た購買力平價説 (商學論叢 6) 昭 7  
 竹島 富三郎 為替の暴落と為替對策—我が國金輸出再禁止後の一年間に於ける為替と物價 (銀行研究 24-1) 昭 8  
 同 非常時日本に於ける為替の動向 (銀行研究 25-4) 昭 8  
 谷口 吉彦 為替の安定か物價の安定か (經濟論叢 19-4) 大 13  
 \* 同 金再禁後の為替相場 昭 7 21 頁 菊 [非賣] [經濟論叢 34-3 抜刷]

谷口 吉彦 米國の金融恐慌と我為替對策の轉換 (エコノミスト 11-7) 昭 8

同 圓為替の將來とその對策 (經濟往來 8-2) 昭 8

同 圓為替の騰貴とその對策 (エコノミスト 11-15) 昭 8

同 為替暴落インフレ渦中の國民生活を打診す (庶民金融 9-5) 昭 8

同 為替景氣の行詰り (庶民金融 9-5/6) 昭 8

同 為替戰爭と圓為替の騰貴 (經濟論叢 37-2) 昭 8

\* 東亞經濟調查局 圓為替政策の研究 大 13

内田 勝司 上海票金相場と本邦圓貨の價值との關係に就て (銀行研究 13-3) 昭 2

山本 正善 為替騰貴と財界への影響 (インヴェストメント 7-5) 昭 3

山本 三郎 為替暴落の原因と對策 (無盡通信 9-1) 昭 8

\* 山室 宗文 圓價崩落と為替對策 大 13 [文化大學叢書 6]

同 為替安定と部分的金輸出解禁 (エコノミスト 2-13) 大 13

同 金解禁途上の為替問題 (エコノミスト 5-2) 昭 2

同 為替低落の原因と其對策 (エコノミスト 7-9) 昭 4

\* 山崎 靖純 圓為替はどうなる?—為替平衡資金制度の提唱 東京 千倉書房 昭 7 113 頁 四六

山崎 雄治 東洋為替と銀問題 (商業と經濟 7-2) 昭 2

\* 横濱正金銀行 生絲金融と外國為替 (三代 幸) 大 12 [調査報告 42]

\* 同 生絲貿易と外國為替 (白井啓二郎・松田昌壽) 昭 1 [調査報告 63]

吉田 政治 圓為替の現状と為替調節策 (大阪銀行通信録 381) 昭 4

吉植 庄一郎 為替問題と金解禁に就て (貿易 28-2) 昭 3

\* 全國經濟調查機關聯合會 外國人の圓投機取引に就て 昭 6

\* 同 我國の為替問題 昭 8 27 頁 菊

赤字財政と為替、為替安と景氣問題 (經濟情報 9-23) 昭 9

暗澹たる為替の前途と外貨債強制買上問題 (ダイヤモンド 20-37) 昭 7

米國の金融と日本の為替 (經濟時評) [X. Y. Z. 生] (公民講座 47) 昭 3

貿易再逆調と圓貨の前途 (財界觀測 14-3) 昭 8

物價反落か為替續落か (財界觀測 13-10) 昭 7

弗基調の動搖と圓の歸趨 (ダイヤモンド 21-8) 昭 8

ドル恐慌後の我が為替政策 [B. Y. 生] (大阪銀行通信録 432) 昭 8

弗賣問題の責任を明にすべし (東洋經濟新報 1481) 昭 7

圓價下落と對濠洲貿易 (海外商報 231) 大 14

圓價の騰貴 (ダイヤモンド 14-13) 昭 1

圓價低落と紙幣下落の先例 (東洋經濟新報 1200) 昭 1

圓為替暴落の前途 (エコノミスト 12-20) 昭 9

圓為替下落と新輸出貿易促進策 (海外商報 175, 188) 大 14

圓為替の暴落と前途 (エコノミスト 12-20) 昭 9

圓為替の前途 (エコノミスト 12-19) 昭 9

圓為替の前途と政府の為替政策 (經濟情報 9-21) 昭 9

圓為替政策の研究 (經濟資料 10-12) 大 13

圓の地位と為替平衡資金の必要 (東洋經濟新報 1556) 昭 8

圓の前途と對策座談會 (東洋經濟新報 1518) 昭 7

外銀側の觀た圓價 (ダイヤモンド 20-26) 昭 7

外貨邦債の強制買上問題 (財界觀測 13-12) 昭 7

外貨評價委員會官制及委員 (商工月報 8-12) 昭 7

外貨債強制買上の話 (經濟知識 9-1) 昭 8

外國為替管理法案—第六十四議會成立 (工業 81) 昭 8

外國為替管理法公布 (商工月報 9-3) 昭 8

外國為替管理法施行命令公布 (商工月報 9-5) 昭 8

現下財界の二大問題たる為替高と低金利 (中外財界 2-6) 昭 2

現下財界の最大問題たる對外為替の軟勢 (中外財界 2-23) 昭 2

本邦為替の動向と其對策 (東洋貿易研究 12-1) 昭 8

復興景氣と為替 (財界觀測 17-8) 昭 9

井上藏相の主張と為替物價の關係 (東洋經濟新報 1371) 昭 4

愈々提出された為替管理法案 (財政經濟時報 20-3) 昭 8

貨幣價値の激動と為替危險の補償 (東洋貿易研究 8-2/3) 昭 4

解禁後の為替相場と正貨の買入及び流出 (東洋經濟新報 1400) 昭 5

解禁後の為替と正貨問題 (エコノミスト 8-1) 昭 5

為替安定の急務とその對策の樹て方 (ダイヤモンド 20-38) 昭 7

為替安定對策に就て (京都經濟時報 31) 昭 7

為替安定策のお話 (經濟知識 9-1) 昭 8

為替安定策と金解禁 (エコノミスト 4-10) 昭 1

為替暴落と製粉界の今後 (財界觀測 13-8) 昭 7

為替暴落と其對策 (エコノミスト 10-24) 昭 7

為替暴落と當局の無策 (エコノミスト 6-17) 昭 3

為替暴落と羊毛工業 (財界觀測 13-6) 昭 7

為替、物價、需給の關係 (財界觀測 12-2) 昭 7

為替動搖と商品市價 (エコノミスト 6-20) 昭 3

為替瓦落と各事業界への影響 (エコノミスト 10-14) 昭 7

為替激落と財界の動向—證券商品各市場の活躍、經濟基調は如何 (エコノミスト 10-18) 昭 7

為替下落が産業に及ぼす利益 (東洋經濟新報 1517) 昭 7

為替下落とその統制の可能性 (東洋經濟新報 1525) 昭 7

為替下落と事業會社 (東洋經濟新報 1516) 昭 7

為替變動の實證的研究 (エコノミスト 12-26) 昭 9

為替變動と國際商品相場 (東洋經濟新報 1537) 昭 8

為替崩落の原因と我國國際收支 (東洋經濟新報 1514) 昭 7

為替崩落と諸景氣指標の動き (財界觀測 13-7) 昭 7

為替不安の再來 (東洋經濟新報 1193) 昭 1

為替不安を一掃せよ (エコノミスト 6-15) 昭 3

為替不安と金融界の前途 (財界觀測 13-12) 昭 7

為替インフレーションの波及性 (財界觀測 13-6) 昭 7

為替回復と生絲市場 (ダイヤモンド 14-14) 昭 1

為替管理法案内容と性質 (ダイヤモンド 21-7) 昭 8

為替管理法を運用する者 (ダイヤモンド 21-6) 昭 8

為替管理の必要起るか (財政經濟時報 19-4) 昭 7

為替管理避けがたし—それがまた財界の爲め有利である (ダイヤモンド 20-10) 昭 7

為替管理と外貨債相場 (ダイヤモンド 20-16) 昭 7

為替急騰の實相と影響 (エコノミスト 14-14) 昭 1

為替問題と其對策 (ダイヤモンド 13-33) 大 14

為替の暴落か金の解禁か (財界研究 6-5) 昭 4

為替の S・O・S と低氣壓の所在點 [X. Y. Z.] (中央公論 48-1) 昭 8

為替の下落、郵便貯金の減少、我國の銀行合同、佛國の國際收支 (國勢グラフ 2-1) 昭 8

為替の變動は物價に如何に影響するか (東洋經濟新報 1355) 昭 4

為替の奔落と國民の覺悟 (財界要報 117) 昭 7

為替の崩落と物價の前途 (銀行論叢 19-3) 昭 7

為替の二つの異つた動向 (エコノミスト 12-1) 昭 9

為替の回復は國力の回復か (東洋經濟新報 1212) 昭 1

為替の回復と財界の錯覺 (東洋經濟新報 1201) 昭 1

為替の昂騰と正金銀行の決算 (東洋經濟新報 1191) 昭 1

為替の軟調は何を語る (エコノミスト 5-22) 昭 2

為替の思惑と金解禁 (財政經濟時報 13-5) 昭 1

為替のバー期待と財界の位地 (東洋經濟新報 1293) 昭 3

為替の慘落とその對策に就て (銀行論叢 19-6) 昭 7

為替の推移とその前途 (東洋經濟新報 1510) 昭 7

為替の低落と其對策 (東洋經濟新報 1267) 昭 2

為替の低落と重要商品相場 (ダイヤモンド 20-6) 昭 7

為替の騰落と市場の動搖 (東洋經濟新報 1177) 大 14

為替の前途はどうか (エコノミスト 11-1) 昭 8

為替の前途と貿易影響如何 (エコノミスト 11-10) 昭 8

為替を廻る我が綿業の行方 (財界觀測 13-9) 昭 7

為替再動搖の性質と限界 (財界觀測 17-6) 昭 9

為替慘落と國債相場 [吉田生] (ダイヤモンド 20-20) 昭 7

為替慘落と更に悲觀さるゝ其の前途 (ダイヤモンド 20-25) 昭 7

為替市場は落潮滔々 (エコノミスト 6-17) 昭 3

為替相場軟調 (ダイヤモンド 16-22) 昭 3

為替相場の強調と金解禁の準備 (ダイヤモンド 14-23) 昭 1

為替相場の騰落と前途 (ダイヤモンド 17-8) 昭 4

為替相場の將來 (東洋經濟新報 1500) 昭 7

為替相場の低落と物價の變化 (東洋經濟新報 1528) 昭 7

為替相場の前途 (ダイヤモンド 20-6) 昭 7

為替相場と景氣 (財界觀測 13-10) 昭 7

為替相場は何うなるか (財界研究 1-7) 昭 1

為替相場は愈々波瀾含みか (ダイヤモンド 14-4) 昭 1

為替諸對策の批判 (財界觀測 13-11) 昭 7

為替低落にて反騰傾向にある最近物價の趨勢 (中外財界 2-14) 昭 2

為替低落の阻止 (ダイヤモンド 20-3) 昭 7

- 為替低落と貿易の新販路 (ダイヤモンド 14-7) 昭 1
- 為替低落と紡績事業 (ダイヤモンド 20-37) 昭 7
- 為替と物價と金融 (ダイヤモンド 14-7) 昭 1
- 為替低落は日本資本主義を如何に救つたか (世界經濟新 1-2) 昭 7
- 為替騰貴と物價の地位 (東洋經濟新報 1217) 昭 1
- 為替と輸出貿易—過去五箇年の實績 (東洋經濟新報 1340) 昭 4
- 為替は安定するか (財界觀測 14-2) 昭 8
- 為替は何うして回復したか (東洋經濟新報 1213) 昭 1
- 為替は管理せらるべし (ダイヤモンド 20-11) 昭 7
- 為替安と貿易の前途 (エコノミスト 11-1) 昭 8
- 為替安と物價の前途 (エコノミスト 11-1) 昭 8
- 為替安と綿業界 (エコノミスト 10-23) 昭 7
- 金解禁と為替相場 (ダイヤモンド 16-29) 昭 3
- 金融情勢と為替管理 (ダイヤモンド 20-16) 昭 7
- 購買力平價より見たる為替暴落の原因及將來 (東洋經濟新報 1314) 昭 3
- 購買力平價より見たる我が為替の地位 (東洋經濟新報 1180/82) 大 14
- 國際為替市場の混亂と圓貨の前途 (財界觀測 15-2) 昭 8
- 明治以來の我國貿易史—我國の為替下落とダンピング論の誤謬 (東洋經濟新報 1550/52) 昭 8
- 問題視される為替管理 (財界觀測 12-11) 昭 7
- 日本對印度為替相場 (印度甲谷陀日本商品館報 32) 昭 5
- 日米為替騰貴の我が貿易に與ふる影響 (財界觀測 15-1) 昭 8
- 落潮新たなる為替と其前途 (ダイヤモンド 20-34) 昭 7
- 留建外國貨幣賣買相場に現はれた圓價 (露紙抄譯 123) 昭 7
- 最近の為替相場と生絲市況 (銀行通信錄 560) 昭 7
- 最近の為替低落—眞因は資金の國際移動、恐るべき將來の爲替回復 (東洋經濟新報 1313) 昭 3
- 最近の為替低落—其眞因は何なるか (東洋經濟新報 1312) 昭 3
- 再禁止見越の實勢化と為替相場—最近に於ける事業會社の業績 (財界觀測 11-10) 昭 6
- 再禁財界の展望、金融為替市場 (エコノミスト 10-1) 昭 7
- 慘落せる為替相場 (ダイヤモンド 20-20) 昭 7
- 正貨現送と為替市場 (エコノミスト 4-21) 昭 1

- 正貨拂下は唯一の爲替安定策でない (エコノミスト 2-23) 大 13
- 政府は爲替相場の昂騰を防止せよ (東洋經濟新報 1516) 昭 7
- 上海爲替市場と圓貨騰落の原因 (東洋貿易時報 2-44) 昭 1
- 正金爲替統制の數字的諸結果、卸小賣物價の乖離狀態 (東洋經濟新報 1493) 昭 7
- 對米爲替 20 ドル圏へ (財界觀測 13-5) 昭 7
- 對米爲替 48 弗突破と其前途 (エコノミスト 4-17) 昭 1
- 對外爲替の落潮と前途 (エコノミスト 7-6) 昭 4
- 對外爲替と貿易の趨勢 (エコノミスト 5-19) 昭 2
- 對日銀爲替崩落と市場の混亂—香港 (東洋貿易時報 7-3) 昭 6
- 當業者の爲替前途觀 (ダイヤモンド 14-1) 昭 1
- 我國の爲替下落とダンピング論の誤謬—明治以來の我國貿易史 (東洋經濟新報 1550; 1552/53) 昭 8
- 財界の回復を阻む爲替の不安 (東洋經濟新報 1151) 大 14
- 漸次平價に近づく爲替 (エコノミスト 4-9) 昭 1
- 實勢の伴はぬ圓價回復 (エコノミスト 4-5) 昭 1

アメリカ合衆國

- 阿部 勇 弗王國の顛落 (中央公論 48-4) 昭 8
- アインツヒ、ポール 磅・弗・フランの纏れ (外國の新聞と雜誌 299) 昭 8
- 土方 成美 ドルの動きと世界の金本位 (東京工場懇話會々報 62) 昭 7
- 市村・四方田・三谷 アメリカ金本位の停止と資本主義經濟の診斷、ドルの破局と圓の破局、製鐵合同の正體 [滿洲國計畫經濟宣言] (批判 4-4) 昭 8
- \*金野 豊 英米爲替と銀塊相場の研究 大阪大阪銀行集會所 大 11 115 頁 四六
- 勝田 貞次 英米爲替協定果して成立するか (東洋經濟新報 1588) 昭 9
- 小林 行昌 弗爲替の諸問題と其檢討 (早稻田商學 10-3/4) 昭 9
- 牧野 輝智 弗の顛落、圓の昂騰 (中央公論 48-9) 昭 8
- \*森田 久 弗賣買の解剖 附：外國爲替の解説 東京千倉書房 昭 7 149 頁 四六
- 西野入 愛一 ドル買 (金融大辭典 II 卷 1 頁) 昭 9
- \*大阪銀行集會所 英米爲替と銀行相場の研究 大 11
- リエッス、アンドレ 弗貨と磅券の決闘 (銀行通信錄 571) 昭 8

- アメリカのインフレーション政策と當面の景氣及び爲替問題 (財界觀測 14-11) 昭 8
- アメリカの金政策と爲替、物價 (財界觀測 15-10) 昭 8
- 米國の金問題と爲替上の覇權 (銀行通信錄 464) 大 13
- ドル不安の再燃とフランの危機 (財界觀測 15-9) 昭 8
- 弗不安の再燃とその前途及影響 (財界觀測 15-7) 昭 8
- 弗貨の崩壊に就いて (露紙抄譯 38) 昭 8
- 弗貨の低落と公債の下落 (銀行通信錄 575) 昭 8
- ドル貨の前途を探る (エコノミスト 11-13) 昭 8
- 弗爲替と物價の關係と米國インフレの前途 (經濟情報 9-2) 昭 9
- 弗基調の動搖と圓の歸趨 (ダイヤモンド 21-8) 昭 8
- 弗の下落 (國勢グラフ 2-8) 昭 8
- ドルの下落とドイツ輸出貿易 (海外經濟事情 6-21) 昭 8
- 弗の崩落 [ベルリン景氣研究所] (財界觀測 14-11) 昭 8
- ドルの相對的安定とアメリカ (財界觀測 16-3) 昭 9
- 弗? 磅? 英米兩國の爭覇戰 (エコノミスト 9-8) 昭 6
- ドル相場下落 (國勢グラフ 2-12) 昭 8
- ドルとポンド (國勢グラフ 2-4) 昭 8
- ドルとポンド (京都經濟時報 4) 昭 8
- 英米爲替協定説、退蔵通貨回復せん (東洋經濟時報 1548) 昭 8
- 爲替下落國よりの輸入品防遏要請決議文提出—シアトル (海外經濟事情 5-49) 昭 7
- 爲替下落國よりの輸入品に對する對策—米國 (海外經濟事情 5-46) 昭 7

アルゼンチン

- 亞國爲替管理事情 (海外經濟事情 9-16) 昭 9
- 亞爾然丁の爲替管理事情 (商工月報 9-11) 昭 8
- アルゼンチンの外國爲替管理令 (銀行論叢 20-1) 昭 8

ブラジル

- 古川 大斧 伯國の爲替管理に就て (貿易 34-4) 昭 9

- \*横濱正金銀行調査部 伯國幣制の沿革並に外國爲替騰落の原因 [一ノ宮鈴太郎] 大 10 [調査報告 33]
- ブラジル國爲替管理に就て (貿易 33-11) 昭 8
- ブラジルの新爲替政策 (商工月報 10-8) 昭 9
- 伯國に於ける爲替管理現況 (移民情報 4-9) 昭 7
- 諸外國の爲替管理—スペイン及ブラジル (海外經濟事情 5-40) 昭 9

デンマーク

- 諸外國の爲替管理—ドイツ・デンマーク及チリー (海外經濟事情 5-30) 昭 7

ドイツ

- 日根野 証三 ボール・アインツヒ：閉鎖通貨論 (銀行研究 26-3) 昭 9
- 石橋 湛山 金輸出再禁止後の財界問題—爲替と物價はどう動くか (東洋經濟新報 1481) 昭 7
- 柏村 次郎 マルク相場の變動とベルリンの奇觀 (太陽 32-2) 昭 1
- 三浦 實 レギスター・マルク (金融大辭典 III 卷 1 頁) 昭 9
- 同 ブロックド・カレンシー (金融大辭典 III 卷 2 頁) 昭 9
- 同 閉鎖マルク (金融大辭典 III 卷 3 頁) 昭 9
- \*日本銀行調査局 獨逸の外國爲替問題 昭 6 [獨逸情況報告]
- 小幡 西吉 獨逸の爲替管理と其結果 (金融三層 3-10) 昭 7
- 十龜 盛次 爲替交換制度と英獨協定 (エコノミスト 12-21) 昭 9
- 高城 仙次郎 馬克暴落と償金問題 (表現 2-10) 大 10
- 同 馬克相場の安定に關する國際委員會の提案を評す (法學研究 2-1) 大 12
- 高木 友三郎 マルク暴落時代の回顧 (ダイヤモンド 20-35) 昭 7
- \*東京商工會議所 獨逸兩國の爲替管理並資本逃避防止に關する法令 東京 同所 昭 7 215 頁 菊
- \*横濱正金銀行 購買力平價説 附：印度爲替安定問題、通貨爲替安定問題、獨逸馬克投機事情 大 12

- 獨逸外國爲替管理法規 (調査月報 23-3) 昭 8
- 獨逸に於ける外國爲替管理 (東洋經濟新報 1502) 昭 7

獨逸に於ける外國為替管理規定の續發 (海外經濟叢報 12) 昭 7

獨逸に於ける為替管理及び貿易統制策の發展 (東洋經濟新報 1631/32) 昭 9

獨逸の外國為替買賣取締に關する新緊急令 (海外經濟叢報 10) 昭 6

ドイツの外國為替管理保持勳行 (海外經濟事情 4-48) 昭 7

獨逸の現行爲替管理に關する法令 (資源 1-3) 昭 7

獨逸の債務と爲替 (ダイヤモンド 21-2) 昭 8

獨逸政府の外國爲替取締令發布に就て (海外經濟叢報 8) 昭 6

獨逸政府の外國爲替取締令發布に就て [破綻前後の獨逸財政資料] (内外調査資料 11月) 昭 6

爲替下落國よりの輸入品に對する獨逸政府の措置 (貿易 7-5) 昭 7

諸外國の爲替管理—ドイツ・デンマーク及チリ— (海外經濟事情 5-30) 昭 7

フランス

アインツヒ, ポール 磅・弗・フランの纏れ (外國の新聞と雑誌 299) 昭 8

ブースクエ 佛領アルゼリーの爲替安定 (調査月報 19-10) 昭 4

堀江 歸一 佛國の通貨爲替問題 (エコノミスト 4-16) 昭 1

同 佛蘭西の爲替對策 (エコノミスト 4-17) 昭 1

\*三菱合資會社資料課 金フラン問題解決に就て [三菱資料叢報 乙 海外經濟事情之部 67]

\*日本銀行調査局 恐慌時に於けるフラン 昭 9 31頁 [海外經濟叢報號外 10]

小汀 利得 フラン慘落と戦債問題 (外交時報 44-521) 昭 2

岡橋 林 佛國爲替問題に關する考察 (銀行論叢 7-3) 昭 1

\*大藏省理財局 英佛の對米爲替調節廢止とその影響 大 9 [財政經濟時事問題研究 5]

新庄 博 フランの維持 (國民經濟雜誌 56-1) 昭 9

谷口 吉彦 フランスに於ける爲替動搖と安定策 (經濟論叢 36-6) 昭 8

同 フランスに於ける爲替安定と平價切下 (經濟論叢 37-3) 昭 8

\*東京商工會議所 獨佛兩國の爲替管理並資本逃避防止に關する法令 東京 同所 昭 7 215頁 菊

山村 喬 フランの制覇 (世界經濟 13) 昭 7

米國の物價騰貴, 法低落は當然 (東洋經濟新報 1549) 昭 8

ドル不安の再燃とフランの危機 (財界觀測 15-9) 昭 8

佛國に於ける爲替安定策要綱 (商工月報 8-2) 昭 7

フラン恐慌下に於ける資本逸出問題 (財界研究 9-5) 昭 6

フランの前途と國際爲替協定 (財界觀測 15-1) 昭 8

佛蘭西銀行磅爲替損失補償 (大阪銀行通信錄 413) 昭 7

フランスの爲替附加稅増徴令公布 (海外經濟事情 6-12) 昭 8

爲替補償附加稅一部免除—フランス (海外經濟事情 5-24) 昭 7

イギリス

阿部 勇 ボンドは世界を支配する? (エコノミスト 12-7) 昭 9

アインツヒ, ポール 磅・弗・フランの纏れ (外國の新聞と雑誌 299) 昭 8

荒木 光太郎 英爲替平衡會計の増額 (エコノミスト 11-12) 昭 8

同 英米爲替協定の可能性 (國際知識 15-1) 昭 10

ベルンハルト, ゲオルグ ボンド下落の影響 (改造 13-12) 昭 6

\*第一銀行調査部 英國の爲替均衡勘定について 東京 同部 昭 7 23頁 菊

\*同 磅貨と金塊相場 昭 9 22頁 菊 [調査報告 4, 1]

飯田 清三 ボンドの下落と金利引締りの前途 (東洋經濟新報 1620) 昭 9

フレイ, エル 英國通貨政策とボンド・スターリングの問題 (世界經濟 1-6) 昭 8

\*金野 豊 英米爲替と銀塊相場の研究 大阪 大阪銀行集會所 大 11 115頁 四六

勝田 貞次 英蘭銀行の金利政策と爲替相場 (金融研究 2-9) 大 14

同 英米爲替協定果して成立するか (東洋經濟新報 1588) 昭 9

ケインズ 磅爲替に關する考察 (調査月報 22-7) 昭 7

森野 潤 協調と對立—英國の爲替政策を中心に (自由通商 7-4) 昭 9

西野入 愛一 スターリング・ブロック (金融大辭典 II 卷 1頁) 昭 9

\*大藏省理財局 英佛の對米爲替調節廢止とその影響 大 9 [財政經濟時事問題研究 5]

\*大阪銀行集會所 英米爲替と銀塊相場の研究 大 11 リエックス, アンドレ 非貨と磅券の決闘 (銀行通信錄 571) 昭 8

十龜 盛次 爲替交換制度と英獨協定 (エコノミスト 12-21) 昭 9

平 實 英國爲替平衡會計に就て (銀行論叢 22-4) 昭 9

高田 元三郎 ボンドの没落 (外交時報 60-2) 昭 6

田中金司 英蘭銀行の爲替統制 (國民經濟雜誌 54-5) 昭 8

同 英國爲替平衡會計の機構 (國民經濟雜誌 57-4) 昭 9

横山 四郎 國際爲替の動搖と英國の爲替政策 (金融三層 5-3) 昭 9

ドイツ對南支貿易に對するボンド下落の影響 (海外經濟事情 5-9) 昭 7

弗? 磅? 英米兩國の爭新戰 (エコノミスト 9-8) 昭 6

ドルとボンド (國勢グラフ 2-4; 京都經濟時報 42) 昭 8

英米爲替協定説, 退職通貨回復せん (東洋經濟新報 1548) 昭 8

英貨安定の途—佛蘭西の觀測 (世界經濟 7) 昭 7

英國爲替平衡會計法 (調査月報 22-8) 昭 7

英國爲替平衡會計増額に關する大藏大臣の説明 (調査月報 23-6) 昭 8

英國爲替平衡會計に就て (銀行論叢 22-4) 昭 9

英國爲替平衡資金 [エコノミスト誌] (財界觀測 17-1) 昭 9

英國爲替平衡資金の話 (金融知識 4-6) 昭 9

英國爲替平衡資金の運用と其効果 (東洋經濟新報 1605/07) 昭 9

英國爲替平衡資金制度の解説 (國際パンフレット通信 603) 昭 8

英國の爲替政策 (經濟月報 6-9) 昭 9

英國の爲替政策は失敗か成功か (東洋經濟新報 1552) 昭 8

英國政府爲替統制政策 (東洋經濟新報 1503) 昭 7

英國政府の爲替統制と其の効果 (銀行通信錄 1567) 昭 8

英國政府のクレジット完済と爲替差損 (海外經濟叢報 10) 昭 7

英國通貨並對外爲替問題調査委員會最終報告書及之に對する英政府の態度 (調査月報 10-1) 大 9

依然たる國際爲替市場の動搖とイギリスの爲替政策 (財界觀測 15-6) 昭 8

バウンド減價を中軸とする世界經濟の動向 (財界觀測 11-8) 昭 6

磅激落と英政府の意圖 (經濟情報 6-18) 昭 9

磅爲替下落に因る英商外商間の取引紛議 (經濟月報 3-11; 海外經濟事情 4-47) 昭 6

磅爲替の統制と産業復興金融政策 (世界經濟 12) 昭 7

磅爲替統制政策としての爲替均衡勘定—新平價禁への途 (世界經濟 13) 昭 7

磅の見透し (國際パンフレット通信 731) 昭 9

磅の將來に關する一考察 (商工月報 8-4) 昭 7

磅の低落と英國の繁榮 [白雨樓主人] (ダイヤモンド 19-38) 昭 6

磅の地位と英國貨幣政策 (エコノミスト 12-19) 昭 9

「磅」の行方—金本位制の將來 (世界經濟 8) 昭 7

磅の前途に就て—英國人自らは斯く語る (ダイヤモンド 19-34) 昭 6

磅を國際收支から觀る (ダイヤモンド 21-9) 昭 8

磅と世界通貨の安定 [スタティス誌] (財界觀測 16-9) 昭 9

磅と其の對策 (ダイヤモンド 20-11) 昭 7

磅は不自然に下げられたか—英國爲替平衡資金の運用と其効果 (東洋經濟新報 1606) 昭 9

インド

海老原竹之助 印度爲替安定問題 (銀行研究 4-6/7; 6-1) 大 12, 13

尾上 利治 印度爲替問題 (國民經濟雜誌 31-3/6; 32-1/3) 大 10, 11

利倉文之助 最近印度爲替問題管見 (銀行研究 6-4) 大 13

\*横濱正金銀行 ベンゴール商業會議所意見書—印度貨幣爲替調査會に提出せる 大 9 24頁

\*同 印度爲替問題 大 10 [調査報告 26]

\*同 購買力平價説 附: 印度爲替安定問題, 通貨爲替安定問題, 獨逸馬克投機事情 大 12

印度の通貨と外國爲替 (中央銀行會通信錄 206) 大 9

爲替下落國よりの輸入品對策問題—インド (海外經濟事情 6-2) 昭 8

日本對印度爲替相場 (印度甲谷陀日本商品館報 321) 昭 5

イタリー

花岡 芳夫 伊太利外國為替相場の確定 (内外商工時報 15-3) 昭 3

コロンビア

哥倫比國為替管理事情 (海外經濟事情 9-34) 昭 9

滿洲國

\*大連商工會議所 關東州及滿鐵附屬地外國為替管理令 昭 8 42 頁 四六 (滿鐵經濟法令集 2)

中村 憲吉 大連為替解決の一策 (エコノミスト 2-22) 大 13

南郷 龍音 滿鐵の上海向送金方法と社内為替 (滿蒙 8-12) 昭 2

同 大連錢鈔取引手数料と為替管理規則との關係並兩建制度乘替取引附替制度の現状 (滿鐵調査月報 14-6) 昭 9

蛭川 新 大連建値問題と外交政策 (外交時報 34-401) 大 10

下林 良敏・李家 弘 大連を中心とする上海日本為替三角關係 (支那經濟研究 3)

圓を思惑する大連筋の正體 (ダイヤモンド 20-36) 昭 7

外蒙の金融と為替 (天津經濟新報 12-7) 昭 8

銀貨の奔落と錢鈔取引の増加 (大連商工月報 180) 昭 5

奉天票の維持と現銀為替の効果 (大連商業會議所報 128) 昭 1

關東州及び滿鐵附屬地外國為替管理 (滿洲評論 5-16) 昭 8

為替管理と大連銀市場 (經濟聯盟 3-1) 昭 8

黑龍江省に於ける匯兌換に就て [齊々哈爾濱事代理副領事報告] (通商公報 802) 大 10

滿洲の為替管理と日滿ブロック (H. Y. 生) (東洋 36-11) 昭 8

南阿聯邦

為替ダンピング税—南阿聯邦 (商工月報 9-9) 昭 8

ニカラグア

ニカラグア國為替管理法改正 (海外經濟事情 23) 昭 9

オランダ

\*三井物産株式會社泗水出張所 蘭領印度の金融及為替

ベルシア

波斯政府の外國為替調節に關する新法律 (貿易週報 2-1) 昭 5

ロシア

半野 憲二 勞農露西亞の為替管理 (東洋貿易研究 11-8) 昭 7

野宗 英一郎 ソヴェト露西亞に於けるチエルヴオネット為替相場 (銀行研究 11-2/4) 昭 1

チリ

諸外國の為替管理—ドイツ・デンマーク及チリ (海外經濟事情 5-30) 昭 7

チリ貨の對外為替相場安定施設 (海外經濟事情 4-45) 昭 7

智利國の為替管理と輸入免許問題 (商工月報 9-10) 昭 8

支那

諤 本年關稅增收與匯價 (銀行月刊 6-12) 民 15

濱田 峰太郎 銀價及銀為替を中心としての一考察 (上海時論 1-5) 昭 1

\*同 川西 武夫 上海為替市場解説 2 版 上海 上海週報社 昭 4 326 頁 四六

1. 緒論 2. 上海為替市場の平面的觀察 i. 為替市場 ii. 標金市場 iii. 為替市場と標金市場との關係 3. 上海為替市場の立體的解剖 i. 為替買賣の意味 ii. 為替買賣の形式方法 iii. 為替相場の種類 iv. 為替相場の採算 v. 投標業者の採算 vi. 大連筋の採算 vii. 實需筋の採算 viii. 損益採算上より見たる為替銀行と投標筋との比較 4. 相場を動かす要素 i. 海外材料 ii. 實勢 iii. 思惑 iv. 金融上の變遷 5. 市場雜覽 i. 銀價は何故動く ii. 上海の通貨 iii. 上海の金融事情 iv. 支那の輸出入金銀 v. 支那の輸出入貿易狀態 6. 結論 [投標の威力とその堅實味] 附: 1. 組合銀行名及為替取引銀行一覽 2. 為替仲買人組合員一覽

\*平野 藤三 支那の銀為替 東京 昭 3 [東亞事情研究會—現代支那事情の研究の内]

久重 福三郎 廢兩改元の實行と金融為替事情の變革 (支那研究 31) 昭 8

封 瑞 雲 我國國內匯兌の各種方式 (商業月報 1-1) 民 20

\*井村 薫雄 支那の為替と金銀 上海 上海出版協會 大 13 416 頁 菊

\*同 支那の為替と金融 13 版 東京 大 14 416 頁

\*同 支那の金塊投機と銀相場 上海 上海出版協會 大 14 452 頁 菊 (參照 日次: VII, b)

\*稻本 龍助 日支提携上より見たる銀為替 東京 大 13 91 頁

黃 寶 桐 倫敦銀價與上海英匯的關係 (經濟週刊 21) 民 19

曲 殿 元 中國之國內匯兌 (銀行月刊 7-3/4) 民 16

\*南滿洲鐵道株式會社 上海市場に於ける金銀塊及圓為替相場の騰落事情 附: 大連筋の策動に就て 昭 1 45 頁

\*水野 純 日本及南支南洋の為替 東京 寶文館 大 14 283 頁 附録 11 頁 四六

\*大野 萬夫 上海に於ける銀為替 大 9 194 頁

劉 書 蕃 郵政儲金匯業局概況 (銀行週報 720) 民 20

劉 仲 廉 歐戰以後世界銀價與滬埠外匯之變動大勢 (錢業月報 10-9) 民 19

蔡 受 百 民國十五年上海匯市之回顧 (銀行週報 482) 民 16

齋藤 邦義 上海銀市場に於ける大連幣の鞘取賣買に就て (東亞事情研究 4) 昭 3

子 明 日匯暴落之研究 (銀行週報 501) 民 16

下林 良敏・李家 弘 大連を中心とする上海日本為替三角關係 (支那經濟研究 3)

曾 江 岷 廢兩改元後國內匯率標準の研究 (銀行週報 17-19) 民 22

\*上海日本人同志會 上海市場に於ける金塊為替の策動と日本の經濟關係 昭 1

章 乃 器 華僑匯款與國際收支 (銀行週報 661) 民 19

高山 武雄 支那為替の研究 (銀行論叢 5-5/6) 大 14

\*田中 忠夫 支那內國為替 東京 大阪屋號書店 大 10

\*内田 勝司 支那為替論 再版 東京 巖松堂 大 14 239 頁 菊

1. 支那為替の基礎 i. 緒論 ii. 支那の通貨 iii. 通商各國の通貨 iv. 支那為替の基礎 2. 金銀比價 i. 金銀比價の意義 ii. 銀の供給と需要との關係 iii. 金の用途及其生産 iv. 銀の貨幣用需要 v. 銀の工業用需要 vi. 銀の生産 3. 銀塊相場 i. 倫敦銀塊市場 ii. 重

要市場 iii. 銀塊相場變動の直接原因 4. 支那為替相場 i. 相場決定 ii. 相場算出の方式 iii. 相場の變動 iv. 相場變動の範圍 5. 支那為替の實際 i. 相場の建方及相場の種類 ii. 為替相場騰落の意義 iii. 銀行に於ける為替買賣 iv. 輸出入商の支那為替取引 v. 為替の豫約 6. 支那為替安定策 i. 概論 ii. 支那幣制の改革 iii. 通貨對強の幣制及為替問題 7. 支那為替變動に對する注意事項 i. 支那為替變動の影響 ii. 為替變動に對する注意事項 附録

内田 勝司 上海標金相場と本邦圓貨の價值との關係に就て (銀行研究 13-3) 昭 2

\*安田保善社調査部 上海に於ける標金取引の實質と内為替の關係 昭 3 21 頁

銀價暴落中の支那為替市場 (滿蒙事情 101) 昭 5

銀價下落に對する支那側の對策 (海外經濟事情 3-25) 昭 5

銀塊の前途と日支為替 (財政經濟時報 11-21) 大 13

銀匯高漲の悲觀 (錢業月報 10-7) 民 19

本邦金再禁輸の廣東為替市場に及ぼせる影響 (貿易週報 7-1) 昭 7

支那貿易に於ける銀為替整理法 (東洋貿易研究 6-4) 昭 2

支那の為替管理と新幣制への推進 (東洋貿易研究 13-10) 昭 9

上海外匯與金融市況報告 (銀行週報 665) 民 19

上海標金與國外匯兌之關係 (中外經濟週刊 195) 民 16

上海為替市場と圓價騰落の原因 (東洋貿易研究 44) 昭 1

上海國外匯兌市價表 (上海物價月報 6-6/9) 民 19

上海の物價と為替 (海外經濟事情 6-48) 昭 8

上海之國內匯兌 (社會月刊 2-1) 民 21

上海對外為替相場 (東亞 5-12) 昭 7

郵政國內匯兌法 (國民政府公報 811) 民 20

實效薄き支那の為替管理令 (金融知識 4-5) 昭 9

スペイン

武藤 山治 金輸出禁止國西班牙為替暴落の眞因—井上藏相の謬論を正す (東洋經濟新報 1431) 昭 6

諸外國の為替管理—スペイン及ブラジル (海外經濟事情 5-40) 昭 7

トルコ

トルコ為替管理法實施 (海外經濟事情 5-18) 昭 7

ウルグアイ

久保田 重遠 ウルグアイ國為替管理の現状 (商工月報 10-7) 昭 9

3. 為替史及為替誌

a. 一般

\*橋爪源吾 為替を中心として見たる歐洲最近經濟事情 橫濱 大 12

品山一郎 為替より觀察したる外國 (貿易 22-10) 大 10

\*早坂喜一郎 銀價と銀為替 附:上海及倫敦に於ける銀價高低表 3版 東京 大阪屋號 大 14 320頁 菊

古屋美貞 為替市場 (經濟學辭典 1卷 1頁) 昭 5

池田龍藏 戰後の歐洲為替と暴落の原因 (銀行研究 4-1) 大 12

片倉藤次郎 戰前戰時及戰後の外國為替 (銀行研究 3-4) 大 11

\*逓信省貯金局業務課 外國郵便為替業務狀況 昭 2

\*同 外國郵便為替業務狀況・外國郵便振替業務狀況 2版 東京 同局 昭 9 63頁 菊

\*橫濱正金銀行 為替を中心として見たる歐洲最近經濟事情 大 12

物價の國際位地と最近の為替相場 (東洋經濟新報 1499) 昭 7

ドル暴落と國際為替市場、我國為替市場、我貿易商品への影響 (エコノミスト 11-23) 昭 8

各國為替相場の推移と國際金移動 (東洋經濟新報 1508) 昭 7

金相場、ドル價と各國為替 (財界觀測 16-2) 昭 9

國際物價水準の再下降 (財界觀測 13-2) 昭 7

國際為替最近の動き (國際パンフレット通信 731) 昭 9

國際為替市場の動搖 (財界觀測 15-7) 昭 8

歐洲大戰後の通貨及為替に就て (銀行通信錄 425) 大 10

磅を中心に觀た世界為替市場 (ダイヤモンド 21-7) 昭 8

1926年の銀塊為替市場 (調査時報 7-5) 昭 2

b. 各 國 別

日 本

上田藤十郎 為替御用達 (金融大辭典 1卷 1頁) 昭 9

遠藤後一 郵便為替 (内國) (金融大辭典 III卷 8頁) 昭 9

濱村正三郎 上方為替 (金融大辭典 1卷 1頁) 昭 9

古矢吉雄 最近の為替相場恢復と金解禁の時機 (銀行研究 10-6) 昭 1

伊藤豊 最近我國に於ける對外貿易並びに為替相場及物價の趨勢 (商業經濟研究 1) 昭 1

神戸正雄 貿易及為替を中心としたる我經濟界 (時事經濟問題 45) 昭 1

同 圓思惑の衰退 (時事經濟問題 48) 昭 1

\*菅野和太郎 通商會社・為替會社 昭 5 (改造社一明治維新經濟史研究の内)

\*同 大阪通商會社及大阪為替會社 昭 8 (明治大正大阪市史 5の内)

同 為替方 昭 9 (金融大辭典 1卷 1頁)

同 為替會社 昭 9 (金融大辭典 1卷 2頁)

同 為替手形 (徳川時代) (金融大辭典 1卷 1頁) 昭 9

\*兒玉謙次 為替市場としての横濱 昭 2 (横濱高商、前記紀念論文集の内 33頁)

\*松本雅男 戰時戰後に於ける我國為替相場變動の研究 鳳来會 昭 5 (鳳来會選集當選論文 5, 6, 7, の内)

松好貞夫 為替 (經濟學辭典 1卷 1頁) 昭 5

同 江戸大阪間の為替取組に就いて (經濟史研究 33) 昭 7

水津彌吉 現今に於ける為替相場の變動 (經濟論叢 23-4) 昭 1

丹羽豊 圓價下落に就て國際投機の一考察 (銀行論叢 3-6) 大 13

同 為替恢復と財界循環 (銀行論叢 4-5) 大 14

小汀利得 最近の圓價低落に就いて (講演 205) 昭 8

岡田重藏 日本に於ける對支為替の採算 (商事研究 5-5) 大 14

大島堅造 為替の近狀と圓貨の將來 (經濟往來 9-12) 昭 9

齋藤種次郎 為替雜記 (銀行論叢 9-6) 昭 2

瀬木博政 金解禁直後の為替相場と正貨現送點 (銀行研究 19-2) 昭 5

\*遊木直一 最近の為替變動とその影響—金輸出解禁促進 東京 同文館 昭 1 67頁 四六

杉山幹 為替慘落の影響—景氣回復は至難 (改造 14-10) 昭 7

竹島富三郎 非常時日本に於ける為替の動向—金と物價と為替 (銀行研究 25-4) 昭 8

谷口吉彦 金再禁後の為替相場 (經濟論叢 34-3) 昭 7

\*逓信局貯金局 郵便為替制度沿革史料 (第一輯) 昭 4

寺尾宏二 為替 (金融大辭典 1卷 2頁) 昭 9

\*橫濱正金銀行調査課 最近十年間に於ける我國の對外為替 昭 6 (全國經濟調查機關聯合會—日本經濟の最近十年の内)

米國に於ける金輸出禁止前後の我が為替市場 (銀行通信錄 566) 昭 8

英國大難局の再吟味—英國幣制變遷の世界的波及、英國金本位停止と我為替金融市場 (エコノミスト 9-20) 昭 6

浮動裡に軟調を迎ゆる最近の為替市場 (中外財界 2-6) 昭 2

普通銀行の外國為替取引高 (東洋經濟新報 1255) 昭 2

解禁後の為替市場 (エコノミスト 8-19) 昭 5

為替貿易物價の推移 (財政經濟時報 12-23) 大 14

金解禁決議後の為替波瀾 (エコノミスト 6-22) 昭 3

金解禁の沸騰に急騰したる為替相場と物價 (中外財界 3-21) 昭 3

金解禁直後の為替安 (エコノミスト 8-3) 昭 5

金解禁接近と為替急騰 (エコノミスト 5-6) 昭 2

金解禁實施前後の為替相場 (銀行通信錄 528) 昭 5

金再禁止下の為替と物價 (ダイヤモンド 20-1) 昭 7

最近の為替及び物價趨勢 (財政經濟時報 13-9) 昭 1

最近の金物價為替相場指數の變化 (財界觀測 15-4) 昭 8

再禁止後の物價變動—為替低落と物價奔騰 (ダイヤモンド 20-10) 昭 7

三年半振りの安値に落込んだ最近の對外為替 (中外財界 4-12) 昭 4

正金銀行勘定に現れた昨下期の為替市場 (東洋經濟新報 1393) 昭 5

(昭和)一昨年來の新安値に落込んだ最近の為替市場 (中外財界 3-17) 昭 3

對外為替好轉の機到る (エコノミスト 3-22) 大 14

アメリカ合衆國

\*三菱合資會社資料課 英米為替の變遷 (肥田啓治) 大 11 (三菱資料彙報乙海外經濟事情之部 3)

馬渡博二 外國為替市場としての紐育 (彥根高商研究部月報 13) 昭 4

米英クロス動搖の諸事情 (ダイヤモンド 21-7) 昭 8

米國銀行狀態安定並外國為替取引復舊 (海外經濟事情 6-12) 昭 8

金解禁前後に於ける英國の地金市場並びに英米為替市場の狀態 (財界研究 7-2) 昭 4

アルゼンチン

ベンハム 亞爾然丁の貨幣單位變更と為替問題 (大阪銀行通信錄 293) 大 11

ベルギー

為替安定後の白耳義財界 (東洋經濟新報 1277) 昭 2

ブラジル

\*外務省官房文書課 伯國の為替研究 昭 5

\*海本徹雄 伯國の為替研究 昭 5 182頁 (非賣) [ブラジル研究叢書 3] 在サンパウロ日本總領事館移民部

近來のブラジル為替の傾向 (移民地事情 50) 昭 6

フランス

小川福太郎 バリー為替市場概観 (商工經濟研究 3-1) 昭 3

イギリス

ブラウン 英國金輸出解禁直前の為替狀況と解禁是非の論 (調査月報 19-9) 昭 4

\*三菱合資會社資料課 英米為替の變遷 (肥田啓治) 大 11 (三菱資料彙報乙海外經濟事情之部 3)

二宮丁三 海峽植民地の通貨制度と為替事情 (東亞經濟研究 18-4) 昭 9

\*橫濱正金銀行調査課 香港に於ける銀為替 (樋口勝) 大 8 23頁 (調査報告)

\*同 戰後の「磅」為替安定史 昭 8

米英クロス動搖の諸事情 (ダイヤモンド 21-7) 昭 8

英領馬來の貨幣制度及金融機關並に為替事情 (臺灣時報 114) 昭 4



金解禁後の爲替 (ダイヤモンド 14-33) 昭 1  
 金解禁前後に於ける英國の地金市場並びに英米爲替市場の状態 (財界研究 7-2) 昭 4  
 磅を中心に觀た世界爲替市場 (ダイヤモンド 21-7) 昭 8  
 昭和 5 年中の倫敦市場國際爲替の狀況 (銀行通信録 541) 昭 6

インド

尾上 利治 印度爲替問題 (國民經濟雜誌 31-3/6; 32-1/3) 大 10, 11  
 須藤 文吉 英領印度爲替の研究 (銀行研究 4-2/6) 大 12

カナダ

ソ - ア 加奈陀外國爲替最近の動向 (調査月報 22-7) 昭 7

滿洲國

古澤 文作 大連を中心として金銀爲替取引の實相 (東洋經濟新報 1535) 昭 8  
 \* 南滿洲鐵道株式會社齊々哈爾公所 齊々哈爾に於ける爲替業務調査 昭 4  
 \* 横濱正金銀行調査課 大連を中心として見たる滿洲の金融、爲替、貿易 東京 昭 2 124 頁 [調査報告 66]  
 銀暴落の大連、漢口兩市場に及ぼせる影響 (東洋貿易研究 9-5) 昭 5  
 銀暴落の上海奉天市場に及ぼせる影響 (東洋貿易研究 9-3) 昭 5  
 齊々哈爾に於ける爲替業務 (東洋貿易研究 8-7) 昭 4

ロシア

留建外國貨幣賣買相場 (露紙抄譯 88, 94, 98, 103, 118, 121) 昭 6, 7

支那

赤塚 武雄 銀の暴落と上海市場の影響に就て (滿鐵支那月誌 7-2) 昭 5  
 久重 福三郎 廢兩改元の實行と金融爲替事情の變革 (支那研究 31) 昭 8  
 今村 默郎 上海爲替市場 (金融大辭典 II 卷 9 頁) 昭 9

加藤 繁 飛錢 (經濟學辭典 V 卷 2 頁) 昭 7  
 カン, イー 上海の地金銀及爲替—1925 年度における (調査時報 6-9) 昭 1

正井 敬次 銀塊相場と銀爲替 (關西大學々報 87) 昭 6

\* 南滿洲鐵道株式會社上海事務所 上海市場の圓爲替と滿洲の通貨 [南郷龍音] 昭 2 158 頁 [上海滿鐵調査資料 4]

二宮 丁三 支那爲替の特質と倫敦銀塊相場 (東亞經濟研究 16-4) 昭 7

西山 榮久 山西の爲替業者たる票號の起源と其變遷 (東亞經濟研究 11-1) 昭 2

及川 恒忠 上海外國爲替の趨向及漢口金融市場の近況 (三田學會雜誌 21-12) 昭 2

劉 仲 康 上半年上海内匯之變動 (銀行週報 506) 民 16

\* 横濱正金銀行調査課 香港に於ける銀爲替 (樋口勝) 大 8 23 頁 [調査報告]

\* 吉田 政治 上海に於ける外國爲替及金融—世界の銀需給及取引事情 5 版 東京 大阪屋號 昭 1 401 頁 附録 45 頁 四六

銀暴落の大連、漢口兩市場に及ぼせる影響 (東洋貿易研究 9-5) 昭 5

銀暴落の上海奉天兩市場に及ぼせる影響 (東洋貿易研究 9-3) 昭 5

銀暴落の天津市場に及ぼせる影響 (東洋貿易研究 9-4) 昭 5

銀價暴落中の支那爲替市場 (調査時報 101) 昭 5

本邦政變と上海爲替市場 (海外經濟事情 5-20) 昭 7

1925 年度に於ける上海の地金銀及爲替 (調査時報 6-9) 昭 1

支那に於ける外國爲替と其採算 (東洋貿易研究 7-2) 昭 3

上海爲替市場と圓價騰落の原因 (東洋貿易時報 2-44) 昭 1

上海の爲替金塊及公債株式等市況 (海外經濟事情 4-48) 昭 7

上海の金銀取引と對支爲替の採算 (東洋貿易時報 2-48) 昭 1

スペイン

西班牙の爲替下落 (東洋經濟新報 1432) 昭 6

スペイン最近財政事情及ベセタ下落狀況 (海外經濟事情 4-11) 昭 6

4. 爲替實務

アインツヒ, ホール 正貨輸送點の現在及將來 (調査月報 17-10) 昭 2

芥井 央 爲替約定書に就て (銀行研究 14-5) 昭 3

荒木 秀一 爲替取引組先 (經濟學辭典 1 卷 1 頁) 昭 5

有本 邦造 支那國內爲替換算法 (山口商學雜誌 9) 昭 6

粟谷 清一 爲替取引約定の法律的構成 (銀行研究 13-5) 昭 2

同 爲替戻付替の法律觀 (銀行論叢 8-6) 昭 2

同 爲替業務改善案と指定起算に就いて (銀行論叢 10-2) 昭 3

\* 同 爲替取引の法理と實際 東京 文雅堂 昭 3 329 頁 四六 (銀行講座)

同 爲替取引要項の法的價值 (銀行研究 14-4) 昭 3

同 爲替戻付替の法律上の性質 (銀行研究 18-4) 昭 5

同 再び爲替戻付替の法律的構成に就て (銀行研究 18-6) 昭 5

\* 東 則 正 Y, S, L, Exchange Tables 東京 小森繁雄 昭 8 124 頁 四六倍

海老原竹之助 爲替投機と英國の金解禁 (銀行研究 16-2) 昭 4

\* 米國シティー銀行 米國銀行外國爲替實務誌 [譯] 岡上虎三郎 再版 東京 大 13

江口 昇 外國爲替に關する會計上の取扱方法 (支那研究 12) 昭 1

\* 濱田 峰太郎・川西 武夫 上海爲替市場解説 上海 上海週報社 昭 4 326 頁 四六 (參照 目次: VIII, b)

原口 亮平 外國爲替に關する利子について (國民經濟雜誌 44-6) 昭 3

同 爲替相場の騰落に因る損益の研究 (國民經濟雜誌 56-3) 昭 9

長谷川安兵衛 外國爲替會計上の一疑點 (會計 32-3) 昭 8

服部 浩 正當なる支那人にあらざるものゝ爲したる荷爲替手形の引受行爲 (銀行研究 8-5) 大 14

日置 泰三 爲替戻付替の法制 (銀行研究 18-4) 昭 5

同 付替の法制に關し粟谷氏の教を乞ふ (銀行研究 18-5) 昭 5

廣瀬 清三 變則的なる爲替取引方法 (銀行研究 10-5) 昭 1

封 瑞 雲 我國國內匯兌の各種方式 (商業月刊 1-1) 民 20

\* 船尾 柱一 外國貨幣換算表 東京 丸善株式會社 昭 4 94 頁

古矢 吉雄 銀爲替取引法 (銀行研究 3-6; 4-1/6) 大 11, 12

\* 同 支那爲替の建方及取引方法 東京 文雅堂 大 12 [近世商業經濟叢書]

同 外國爲替實務詳解 (銀行研究 6-1/6) 大 13

古屋 美貞 外國爲替換算法 (經濟學辭典 1 卷 1 頁) 昭 5

同 爲替仲買人 (經濟學辭典 1 卷 1 頁) 昭 5

同 爲替の賣持買持 (經濟學辭典 1 卷 1 頁) 昭 5

同 爲替相場表 (經濟學辭典 1 卷 1 頁) 昭 5

同 爲替相場のポイント (經濟學辭典 1 卷 1 頁) 昭 5

同 爲替相場の建方 (經濟學辭典 1 卷 1 頁) 昭 5

同 爲替相場の騰落 (經濟學辭典 1 卷 1 頁) 昭 5

同 爲替相場の豫約 (經濟學辭典 1 卷 1 頁) 昭 5

同 巡回信用狀 (經濟學辭典 III 卷 1 頁) 昭 6

同 テル・クエル相場 (經濟學辭典 IV 卷 1 頁) 昭 6

藤野 豊治 爲替事務(内國)取扱手續 (銀行研究 3-3) 大 11

池田 實 外國爲替基準相場に就て (銀行研究 13-4) 昭 2

同 拙稿「外國爲替基準相場に就て」に對する小林綠君の駁論に應ふ (銀行研究 14-5) 昭 3

同 爲替仲立人 (經濟學辭典 1 卷 1 頁) 昭 5

同 爲替裁定 (經濟學辭典 1 卷 1 頁) 昭 5

同 爲替投機 (經濟學辭典 1 卷 1 頁) 昭 5

同 外國爲替相場 (經濟學辭典 1 卷 2 頁) 昭 5

同 外國爲替手形 (經濟學辭典 1 卷 2 頁) 昭 5

同 荷爲替手形 (經濟學辭典 IV 卷 1 頁) 昭 6

石田 宗孝 為替相場に關して (神戸高商學生研究雜誌 1) 昭 1

板橋 俊 為替取引に於ける印鑑問題 (銀行研究 15-3) 昭 3

伊藤 健 荷為替信用狀に關する若干の實際問題 (銀行研究 21-3, 5/6) 昭 6

\*伊藤 知雄 荷為替信用狀論 3 版 東京 同文館 大 14 327 頁 附 14 頁

\*伊藤 由三郎 内國為替實務誌 銀行問題研究会 昭 1 314 頁

岩崎 博 為替尻 (經濟學辭典 1 卷 1 頁) 昭 5

柏木 春太郎 外國為替實務に關する一考察—為替豫約と出合: Exch. Contract and Exch. Cover (經濟集志 2-3) 昭 4

加藤 和根 本邦普通銀行と外國為替業務 (銀行研究 1-3) 大 12

河原 實 外國為替取扱高の記載方に就て (銀行研究 18-5) 昭 5

紀田 兼直 外國為替轉賣に關する一考察 (會計 32-6) 昭 8

貴田 秀一 内國為替實務誌に就て水野氏に教を乞ふ (銀行論叢 2-5) 大 13

木村 秀太郎 買入外國為替轉賣の整理法 (銀行研究 1-1) 大 10

木並 道夫 外國為替實務 (銀行論叢 9-3/6; 10-2/6; 11-2/6; 12-2, 4, 6) 昭 2/4

小林 弘三 輸入為替取立實務誌 (銀行研究 5-2) 大 12

\*小林 綠 實踐 國際為替 再版 東京 寶文館 大 9 1018 頁 菊 [改正再版 大 13]

1. 外國為替 i. 為替の意義 ii. 内國為替手形と外國為替手形 iii. 外國為替の意義 2. 外國為替手形 i. 外國為替手形の種類 ii. 為替手形の原語と意義 iii. 英文手形記載の慣用語 iv. 外國為替手形の分類 3. 為替相場 i. 為替相場の根源 ii. 為替相場の建方 iii. 為替相場表 iv. 銀塊相場と銀貨兌換相場 v. 銀塊相場と金銀比價 vi. 相場表中の參考記事 vii. 為替相場の刻み方 viii. 為替買賣相場の開き方 ix. 為替相場の計算法 4. 送金為替 i. 多普為替 ii. 電信為替 iii. 為替の支拂 iv. 諸動定の付換 v. 銀行郵便送金 vi. 送為替 5. 信用狀 i. 送為替信用狀 ii. 荷為替信用狀 iii. 信用保證狀 iv. 信用狀の發行依頼書 v. 信用狀發行的通知 vi. 信用狀の紛失、盜難 vii. 信用狀の分類 6. 橫濱正金銀行の信用狀 i. 送為替信用狀 ii. 荷為替信用狀 iii. 信用狀の擔保 iv. 信用狀の期間延長 v. 信用狀の發行手数料 7. 輸出為替 i. 送為替 ii. 輸出荷為替 iii. 手形振出通知書 iv. 輸出為替計算書 v. 買取手形代金の支拂 vi. 買取手形の取立 vii. 手形の支拂いと不渡り viii. 輸出為替に關する特殊の注意事項 ix. 信用開始の案内狀 x. 諸動定の付替 8. 代金取立 i. 代金取立の申込 ii. 手形の形式と取立手数料 iii. 取立手形の取扱ひ手續 iv. 取立手形の送達方 9. 輸入為替 i. 送為替 ii. 輸入荷為替 10. 利付為替手形 i. 利付為替手形の概念 ii. 利付手形の意義 iii. 利息の支拂を要す

る理由 iv. 利付手形の存在する理由 v. 利付手形の種類 vi. 利付手形の利息勘定法 vii. 支拂手形金額 viii. 利付手形に對する法律 ix. 倫敦に於ける日本為替相場と利付手形 11. 附屬船積書類の引渡 i. 船積書類の貸渡し ii. 為替内入金 iii. 荷物受取の保證 iv. 製産原産證明書 v. 手形及船積書類原本の取扱ひ 12. 為替豫約 i. 豫約の意義 ii. 豫約の効果 iii. 豫約の種類 iv. 豫約の締結 v. 豫約の實行 vi. 輸出荷為替豫約と前貸 vii. 為替仲次人 13. 為替の買賣損益 i. 為替相場による銀行の利不利 ii. 買賣損益の根源 iii. 買賣損益の計算法 14. 世界各國の手形印稅 附: 通用貨幣及手形慣習 歐洲の部 亞米利加の部 澳洲の部 阿弗利加の部 亞細亞の部

\*小林 綠 外國為替記帳法 東京 文雅堂 昭 3 507 頁 菊

\*同 國際為替實務誌 東京 文雅堂 昭 3 587 頁

小林 政一 為替相場の高低 (金融大辭典 1 卷 1 頁) 昭 9

同 為替相場の順逆 (金融大辭典 1 卷 1 頁) 昭 9

同 為替手形賣渡に關する保證書 (金融大辭典 1 卷 1 頁) 昭 9

同 為替手形擔保荷物保證 (金融大辭典 1 卷 1 頁) 昭 9

小坂 珠城 為替尻整理方法私見 (銀行研究 6-3) 大 13

同 内國為替事務要論 (銀行研究 8-1/5; 9-1/2) 大 14

同 為替尻付換の實益 (銀行研究 10-3) 昭 1

\*同 内國為替事務要論 東京 文雅堂 昭 1 242 頁 菊

同 送金為替と當座拂込との異同 (銀行研究 18-4) 昭 5

\*栗原 一平 外國為替實踐 東京 寶文館 大 13 428 頁 菊

桑野 傳三 内國為替實務 (銀行論叢 6-1/5) 昭 1

松川 謙治 内國為替取引方法改良私案 (銀行研究 7-1) 大 13

同 當所代金取立手形に就て (銀行研究 8-2) 大 14

同 取立手形整理方法 (銀行研究 8-1/4) 大 14

同 為替尻付替の研究 (銀行研究 10-5/7) 昭 1

\*同 為替尻操縦方法 3 版 東京 文雅堂 昭 6 314 頁 四六 [銀行講座 20]

松川 昇造 我國の荷為替信用狀に就て (銀行研究 12-1) 昭 2

松本 丞治 外債募集と外貨換算の標準 (インヴェストメント 1-5) 大 14

松岡 都城 為替取引の發生事情に就て (銀行研究 8-5) 大 14

\*南滿洲鐵道株式會社經濟調査會 上海銀元對日本圓裁定相場表 昭 9 57 頁 菊

三好 和夫 内國為替決済の理想に就て (銀行研究 9-5) 大 14

水野 淳二 為替取引の無代越制度 (銀行研究 7-4) 大 13

\*同 改訂增補 内國為替實務誌 東京 文雅堂 大 14 638 頁 菊

1. 總論 2. 送金手形 i. 概説 ii. 手形の種類 iii. 取扱手續 iv. 帳簿 v. 取組報告書 vi. 手形及小切手 vii. 送金手数料 viii. 極度外送金法 ix. 他所擔保證小切手 x. 雜則 3. 電信送金 i. 概説 ii. 取扱手續 iii. 帳簿 iv. 電信送金手数料 v. 電信送金に關する諸注意 vi. 電信送金増額 vii. 双方交換による暗算の不便 viii. 暗算は本店より送付すべし ix. 電信送金取組先一覽 x. 電信送金の開始は協定を以て回数を定むべし xi. 現行電信送金の缺點及び其改良法 4. 電信の發售 i. 發售の方法 ii. 受信の方法 5. 支拂送金手形 i. 概説 ii. 取扱手續 iii. 帳簿 iv. 支拂手形報告書 v. 取組報告記帳方法 vi. 組戻し答覆 6. 印應精査 i. 概説 ii. 印應帳 iii. 不完全手形 7. 當所取立手形 i. 概説 ii. 取扱手續 iii. 帳簿 iv. 為替案内書 v. 手形到着報告 vi. 報告書及通知書 vii. 雜則 8. 他所取立手形 i. 概説 ii. 取扱手續 iii. 帳簿 iv. 手形到着報告 v. 為替手形到着通知書 vi. 取立依頼書へ差出すべき通知書類 vii. 延期回答書 viii. 手形に關する故障 ix. 手形の仕向方 x. 雜則 xi. 取立手形カード 9. 他店係 i. 概説 ii. 貸借の名稱及其區別 iii. 為替口座 iv. 帳簿 v. 他店勘定元帳記入帳 10. 為替尻付換 i. 概説 ii. 定義 iii. 付換の種類 iv. 付換の起算日 v. 付換の口座 vi. 出合懸しき付換 vii. 親子的關係の付換 viii. 付換の運用 ix. 付換と地方的關係 ix. 付換に對する諸見 x. 危險なる付換 xi. 双方付換 xii. 付換記帳方法 xiii. 報告記帳法と傳票記帳法 11. 他店勘定整理方法 i. 記帳法の種類 ii. 記帳法改正の理由 iii. 二口分額と四口分額との差別 iv. 整理方法 v. 記帳手續及諸注意 vi. 四口記帳整理法 vii. 二口記帳整理法 viii. 帳簿 12. 當座振込 i. 概説 ii. 取扱方法 iii. 被仕向當座振込取扱方法 iv. 帳簿 v. 當座振込の口座 vi. 當座振込の弊害 vii. 現制度改良方法 13. 支店係 i. 概説 ii. 共通計算とは何ぞや iii. 取扱方法 iv. 本文店間の報告書 v. 本文店間の利息 vi. 本文店間の連絡 14. 勘定係 i. 概説 ii. 為替勘定書 iii. 取扱手續 iv. 他店間の利率 v. 勘定書の檢算 vi. コルレス利息振替方法 vii. 他店勘定元帳檢點方法 viii. 為替取引要項 15. 為替課長の職務 i. 概説 ii. 為替資金の操縦 iii. 諸證書傳票類の檢印 iv. 往復文書の發送回答 v. 為替先の新設廢止取引中止の申請 vi. 其他の事務 vii. 課長と座席控に窓口 16. 為替に關する約定書類 i. 概説 ii. 為替取引約定書 iii. 為替取引調約定書 iv. 諸箇定書 v. 票貨憑契約 17. 結論 附: 帳簿樣式

\*同 内國為替事務改良方法 再版 東京 文雅堂 昭 3 333 頁 [銀行講座 12]

同 為替尻振込 (金融大辭典 1 卷 1 頁) 昭 9

水野 淳二 為替尻決済 (金融大辭典 1 卷 1 頁) 昭 9

同 為替尻付換 (金融大辭典 1 卷 1 頁) 昭 9

同 為替口座 (金融大辭典 1 卷 2 頁) 昭 9

中井 長三郎 外國為替手形 (金融大辭典 1 卷 1 頁) 昭 9

同 為替取組 (金融大辭典 1 卷 2 頁) 昭 9

同 外國為替相場 (金融大辭典 1 卷 3 頁) 昭 9

中山 秀治郎 海上保險金の支拂及び再保險金の回收と為替換算率 (海運 146) 昭 9

南郷 龍音 滿鐵の上海向送金方法と社内為替 (滿蒙 8-12) 昭 2

同 大連稅關徵稅通貨換算率計算方法 (滿鐵調查月報 13-2) 昭 8

同 日米為替裁定相場の吟味 (滿鐵調查月報 13-2) 昭 8

\*成川 圭司 外國為替の實際 東京 大日本圖書株式會社 大 11 183 頁 四六

西山 榮久 匯票 (經濟學辭典 V 卷 2 頁) 昭 7

王 其 康 外國貨幣換算法 (商業雜誌 2-6) 民 16

及川 恒忠 上海に於ける標金の取引 (三田學會雜誌 21-7) 昭 2

岡田 喜三郎 銀行の立場より見たる外國為替取引 (商事研究 5-4) 大 14

\*岡田 重藏 外國為替取引解説 東京 文雅堂 大 14 331 頁 四六

同 日本に於ける對支為替の採算 (商事研究 5-5) 大 14

岡上 虎三郎 他店為替尻拂込方法改良私案 (銀行研究 5-1) 大 12

\*同 米國銀行外國為替實務誌 再版 東京 文雅堂 大 13

\*同 銀行信用狀 東京 文雅堂

大久保 正喜 為替尻資金操縦に就て (銀行研究 7-3/4) 大 13

奥野 平 單名手形の横行、為替損金負擔問題 (銀行論叢 14-1) 昭 5

大森 研造 投機と為替相場 (經濟學研究 3-4) 昭 9

\*大阪銀行集會所 為替事務及為替取引改善案 大阪 同所 昭 4 109 頁 [銀行實務懸賞論文集 4]

\*大槻 爲八 外國為替實務誌 改訂增補 14 版 東京 同文館 大 14 300 頁 菊 [高等商業叢書]

1. 外國為替の意義及其原因 i. 外國為替の意義 ii. 外國為替發生の原因 2. 外國為替手形 i. 外國為替手形の概念 ii. 利付為替手形 iii. 出合為替手形 3. 外國為替手形取扱事務 i. 外國為替と國際銀行との關係 ii. 外國為替手形取扱手續 iii. 銀行の手形買取手續 4. 信用狀 i. 信用狀の意義及び種類 ii. 進為替信用狀 iii. 荷為替信用狀 iv. 信用狀發行規定並に例題 5. 外國為替相場 i. 為替相場の意義 ii. 法定平價 iii. 現行文明國貨幣制度概論及法定平價算出法 6. 為替相場の變動 i. 緒論 ii. 為替の平價順逆 iii. 為替相場の變動を生ずる一般的原因 iv. 為替相場の變動を生ずる特種の原因 7. 手形の性質に基く為替相場の差異 i. 手形期限の長短による為替相場の差異 ii. 信用の厚薄による為替相場の差異 iii. 手形の印紙稅並に為替料に依る為替相場の差異 8. 外國為替相場表 i. 外國為替相場表の建方 ii. 外國為替相場表 9. 為替の豫約 i. 為替豫約の概念 ii. 賣為替に對する豫約 iii. 買為替に對する豫約 iv. 為替豫約の解除 10. 外國為替賣買損益 i. 商人の側より見たる為替損益 ii. 銀行の外國為替賣買損益 11. 外國為替取組の運用方法 i. 直接為替 ii. 間接為替 iii. 為替の裁定 iv. 為替の裁定に關する費用 12. 外國貿易品價格と為替相場との關係 i. 外國貿易の概念 2. 外國貿易品の價格と為替相場との關係 13. 外國為替相場の變動に對する矯正方策 i. 總論 ii. 外國為替相場の變動に對する矯正方策 iii. 結論

相良 最 為替取引の用紙統一に就て (銀行研究 10-7) 昭 1  
 齋藤 太一 外國為替に於ける國外投資 (商事研究 4-1) 大 12  
 同 外國為替投機に就て (銀行研究 4-3/6) 大 12  
 佐藤 正雄 為替決算手續 (銀行論叢 9-5) 昭 2  
 妹尾 一雄 電信為替と銀行の權利義務 (銀行研究 5-2) 大 12  
 同 荷為替業務實務誌 (銀行研究 6-1/6) 大 13  
 同 荷為替貨物保證渡に就て (銀行研究 8-6) 大 14  
 同 電信送金為替の法律的考察 (銀行研究 9-2/3) 大 14  
 同 荷為替の種類に就て (商事研究 5-6) 大 14  
 同 荷為替の法理と其慣習 (銀行研究 10-1/4; 11-4/6; 12-1) 昭 1, 2  
 \*同 荷為替の法理と取引慣習 東京 文雅堂 昭 3 [銀行講座 22]  
 同 為替取引銀行間の法律問題 (銀行研究 18-4) 昭 5  
 \*同 荷為替業務論 再版 東京 文雅堂 昭 5 417 頁 菊  
 施伯 珩 各國貨幣換算法 (商業雜誌 2-3) 民 16  
 資耀 華 國外匯兌之定裁 (銀行月刊 7-8) 民 16

白石 幸三郎 外國為替の種類 (經濟知識 8-2) 昭 7  
 同 輸入為替手形の話 (經濟知識 9-6) 昭 8  
 同 為替裁定 (金融大辭典 I 卷 1 頁) 昭 9  
 同 クロス・レート (金融大辭典 I 卷 1 頁) 昭 9  
 同 為替相場變動の諸原因 (金融大辭典 I 卷 2 頁) 昭 9  
 須藤 文吉 為替相場表の研究 (銀行研究 2-5/6; 3-3/4) 大 11  
 同 荷為替信用狀論 (銀行研究 3-4) 大 11  
 同 荷為替信用指圖書の存立 (國民經濟雜誌 40-5) 昭 1  
 杉本 一雄 正常なる外國為替取引 (銀行論叢 8-4) 昭 2  
 高島 佐一郎 外國為替文獻と為替利潤の源泉 (國民經濟雜誌 31-6; 32-5) 大 10, 11  
 武田 孟 外國貨幣勘定處理法 (明大商學論叢 9-2/3, 5) 昭 6  
 \*玉水 千布・柳樂健治 外國為替換算法 4 版 東京 寶學館 大 10  
 田岡 嘉壽彦 為替訴訟 (經濟學辭典 1 卷 1 頁) 昭 5  
 \*逓信省貯金局 外國貨幣換算表 上, 下  
 \*同 外國郵便為替業務狀況 昭 2  
 \*同 縮刷為替貯金讀本 昭 2  
 \*同 內國郵便為替業務狀況 昭 7 59 頁 菊  
 \*同 內國郵便為替業務狀況 昭 8 61 頁 菊  
 \*同 外國郵便為替業務狀況, 外國郵便振替業務狀況 昭 8 80 頁; 昭 9 63 頁 菊  
 \*同 內國郵便為替業務狀況 昭 9 56 頁 菊  
 \*利倉文之助 外國為替裁定と利廻計算 東京 文雅堂 大 14 105 頁 菊  
 \*同 日英米為替裁定表 東京 大 14  
 同 外國為替の賣買取引と其註文 (銀行研究 8-6) 大 14  
 \*津村 宏一 外國貨幣換算表 訂正 7 版 東京 厚生閣 昭 4 112 頁  
 \*同 外國為替換算表 東京 厚生閣 昭 8 155 頁 菊

土屋 計左右 支那為替投機業者の話 (上海時論 1-7) 昭 1  
 同 輸入為替の取決と銀行 (上海時論 4-10) 昭 4  
 堤 正元 為替取引口座制の法律的解釋 (銀行研究 10-1) 昭 1  
 同 為替取引要項表に就て (銀行研究 13-2) 昭 2  
 和田 清 外國為替市場 (經濟商業論叢 2) 昭 7  
 山崎 靖純 為替仲買人 (金融大辭典 I 卷 1 頁) 昭 9  
 同 為替相場の利廻計算 (金融大辭典 I 卷 2 頁) 昭 9  
 同 為替相場の豫約 (金融大辭典 I 卷 2 頁) 昭 9  
 同 為替投機 (金融大辭典 I 卷 2 頁) 昭 9  
 柳樂 健治 外國為替に於ける手形賣買口錢の負擔 (銀行研究 2-4) 大 11  
 横山 千代村 支店間為替取引の本店集中計算制 (銀行研究 3-1) 大 11  
 吉田 堅太郎 為替手形 (金融大辭典 I 卷 1 頁) 昭 9

吉村 文雄 荷為替信用狀に就て (大阪財務 157) 昭 5  
 \*芳野 國雄 貿易為替計算の常識 東京 千倉書房 昭 9 213 頁 四六  
 1. 貨幣及度量衡 2. 外國為替 3. 為替相場 4. 為替の計算 5. 賣買計算書 6. 賣買計算 附 為替換算表  
 \*横濱正金銀行 南米向輸出為替並に同地商習慣 横濱 大 9 [調査報告 15]  
 外國銀行の為替乗替の話 (經濟知識 5-1) 昭 6  
 外國為替の送達不能 (逓信協會雜誌 227) 昭 2  
 現送費用の見積り異なる正貨現送點の問題 (中外財界 5-2) 昭 5  
 各國貨幣法定平價換算表 (國際資料 1-1) 昭 6  
 為替と輸出貿易 (東洋經濟新報 1248) 昭 2  
 金解禁後の正貨輸送點の計算 (銀行研究 18-1) 昭 5  
 無為替輸出獎勵論 [封川居士] (染織 57) 昭 8  
 南洋印度宛為替の採算 (東洋貿易研究 49) 昭 1  
 日米為替裁定相場の吟味 (滿鐵調査月報 13-2) 昭 8  
 上海各銀行の對外為替元建變更 (經濟月報 5-5) 昭 8  
 上海の倫敦日本宛為替相場の建方 (經濟知識 4-4) 昭 5

# XVIII. 國際貨幣問題及國際貨幣政策

## 1. 一般

- 荒木 秀一 ゴールド・デレゲーションと金問題 (大阪銀行通信録 403/05) 昭 6
- 同 金委員会の金本位復歸論 (大阪銀行通信録 421) 昭 7
- 栗飯原 普 國際聯盟と通貨偽造問題 (外交時報 547) 昭 2
- ゲロールド 國際銀行の設立へ (文明協會=ニュース 8) 昭 4
- 平野 清 世界の貨幣問題 (國民經濟雜誌 33-1) 大 11
- 堀江 歸一 國際間の通貨並に信用問題 (三田學會雜誌 15-11/12) 大 10
- 北山富久二郎 世界貨幣 (金融大辭典 II 卷 3 頁) 昭 9
- \*神戸商業大學商業研究所 國際均衡理論と金本位制の機構 (田中金司) 昭 7 29 頁 菊 [講演集 58]
- 小泉 功 ビー・ダブリュ・マーティン: 國際的貨幣協調 (銀行研究 25-6) 昭 8
- 國際聯盟事務局東京支局 小切手法統一國際會議—統一規則案と各國の態度 (資料 9-5) 昭 6
- 熊田 克郎 金ブロック論 (銀行論叢 23-6) 昭 9
- 松岡 孝兒 金問題と國際聯盟 (經營と經濟 2-5) 昭 6
- 松崎 壽 國際共通貨幣問題の今昔 (銀行研究 25-1) 昭 8
- 三浦 實 國際聯盟金委員會 (金融大辭典 II 卷 4 頁) 昭 9
- 水田 玄二 貨幣ブロックと國際貿易抗爭 (自由通商 6-10) 昭 8
- 日本銀行調査局 國際聯盟金問題調査特別委員會報告書 [金と銀の問題] (内外調査資料 4 月) 昭 6
- 小川 福太郎 世界的貨幣とカッセル教授の學說 (經濟論叢 16-4) 大 12
- リエッス, アン Dre 弗貨と磅貨の決闘 (銀行通信録 571) 昭 8
- 坂本 重關 國際銀行に對するカッセル教授の所說 (銀行研究 18-2) 昭 5

- 傍島 省三 世界貨幣 (經濟學辭典 III 卷 1 頁) 昭 6
- 高城 仙次郎 馬克相場の安定に關する國際委員會の提案を評す (法學研究 2-1) 大 12
- 竹原 海堂 國際銀プール問題 (銀行研究 20-2) 昭 6
- 竹島 富三郎 貨幣協約 (經濟學辭典 I 卷 1 頁) 昭 5
- 津島 壽一 世界經濟と通貨問題 (斯民 29-2) 昭 9
- 宇都宮 鼎 列國貨幣の弗化と我國の金輸解禁 (外交時報 50-6) 昭 4

- 獨逸外債危機と金本位通貨 (經濟情報 9-10) 昭 9
- 弗か磅か—英米の爭鬪戰 (エコノミスト 9-8) 昭 6
- 弗切下げ問題と世界通貨安定への展望 (經濟情報 9-22) 昭 9
- フランの前途と國際爲替協定 (財界觀測 15-1) 昭 8
- ケインズ教授の新提唱國際紙幣發行案 (銀行通信録 569) 昭 8
- 金ブロック崩壊即金本位再建 (經濟情報 9-27) 昭 9
- 金ブロック最近の動靜 (調査月報 24-12) 昭 9
- 金本位ブロックの運命 (世界經濟 3-2) 昭 8
- 金の生産減と物價の趨勢—國際聯盟の黄金節約方法 (工業 53) 昭 5
- 金の世界的不足 (東洋經濟新報 1428) 昭 6
- 國際聯盟の金調査委員會報告 (外國の新聞と雜誌 228) 昭 5
- 國際的貨幣政策 (國際資料 1-2) 昭 6
- 國際通貨問題の動向 (政治經濟時論 7-10) 昭 7
- 列國中央銀行の協力による金價安定策の提唱 (邦文パンフレット通信 182) 昭 3

## 2. 國際貨幣會議及國際貨幣同盟

- 萬 廬 我國發起國際銀會議 (銀行週報 699) 民 20

- 萬 廬 畢德門來華與國際銀會議 (銀行週報 702) 民 20
- 荒木 光太郎 通貨問題より觀たる世界通貨經濟會議 (經濟學論集 3-6) 昭 8
- 平野 清 ゼノア會議と通貨並に信用問題 (國民經濟雜誌 35-4) 大 12
- 深井 英五 倫敦經濟會議に於ける貨幣問題 (經濟學論集 3-11) 昭 8
- 藤江 忠二郎 通貨偽造防止の爲めの各國中央政廳代表者會議 (法曹會雜誌 9-7) 昭 6
- 井村 薰雄 世界經濟會議の銀問題と支那 (外交時報 66-4) 昭 8
- 春日 非 國際經濟會議と通貨問題—共要案と成敗、並に主題の局面 (銀行研究 24-6) 昭 8
- 勝田 貞次 經濟會議の失敗と景氣の動向 (經濟知識 10-2) 昭 8
- 川島 信太郎 倫敦通貨經濟會議の行儀に就て (外交時報 67-3) 昭 8
- 金原 賢之助 ブラッセル會議 (金融大辭典 III 卷 2 頁) 昭 9
- \*國際聯盟協會 國際通貨經濟會議\*題—一專家準備委員會報告書全文 東京 昭 8 51 頁 菊
- \*國際聯盟事務局東京支局 國際通貨經濟會議\*題—一專家準備委員會報告書全文 東京 同局 昭 8 51 頁 菊 [資料 140]
- \*同 通貨經濟會議報告 東京 新日本社 昭 9 264 頁 菊
- 1. 一般討議 2. 幹部會 3. 通貨財政委員會 4. 經濟委員會 4. 本會議會 6. 分科會に於て採擇された決議 7. 幹部會の決議
- \*同 通貨經濟會議の成果 昭 8
- \*同 通貨經濟會議\*事錄 [一般討議各國代表の演說] 昭 8
- \*古仙 常吉 通貨經濟會議の顛末 東京 日本國際協會 198 頁 菊
- 栗栖 三郎 國際經濟會議と通貨安定問題 (國際知識 13-8) 昭 8
- 串本 友三郎 世界經濟の復興と國際通貨會議 (財政經濟時報 19-9) 昭 7
- 松崎 壽 世界經濟會議と金銀問題 (經濟時報 5-3) 昭 8
- 三上 利三郎 戰後ラテン貨幣同盟—所謂國際共通貨幣の問題に關聯して (内外研究 6-1, 3/4) 昭 8
- 三好 正明 銀價安定會議を開催せよ (財政經濟時報 18-3) 昭 6
- 長岡 克曉 銀價に關する國際會議 (東亞經濟研究 15-3) 昭 6

- 中島 久萬吉 經濟會議と世界景氣の動向 (經濟知識 10-1) 昭 8
- ニールセン 北歐貨幣同盟の問題に就て (調査月報 18-1) 昭 3
- 二宮 丁三 國際銀會議を待望しつつ (山口商學雜誌 9) 昭 6
- 同 國際經濟會議と銀問題 (東洋經濟新報 17-3) 昭 8
- \*日本銀行調査局 倫敦經濟會議に於ける貨幣問題 (深井英五) 昭 8 26 頁 菊
- \*日本經濟聯盟會 國際通貨經濟會議に對する國際商業會議所の報告書草案要綱 昭 8 19 頁 菊 [國際商議關係書類 39]
- 西村 光夫 ゼノア會議 (金融大辭典 II 卷 1 頁) 昭 9
- 同 國際通貨經濟會議 (金融大辭典 II 卷 2 頁) 昭 9
- 大島 堅造 世界經濟會議と金本位再建問題 (綿業 1-3) 昭 8
- 劉 南 國際銀會議 (外交評論 1-3) 民 21
- 楚 聲 國際銀會議召集問題 (錢業月報 11-6) 民 20
- 士 企 國際銀會議的使命 (錢業月報 11-8) 民 20
- 重松 清行 世界經濟會議と金融武裝 (明倫 1-4) 昭 8
- 高橋 次郎 世界經濟恐慌と「世界通貨及び經濟會議」 (商學討究 8-上) 昭 8
- 高島 佐一郎 日本インフレーションと世界經濟會議とそれから (商業經濟論叢 11-上) 昭 8
- 竹島 富三郎 貨幣會議 (經濟學辭典 I 卷 1 頁) 昭 5
- 同 國際經濟會議と爲替比率協定問題 (銀行研究 25-1) 昭 8
- 丹後 愛二郎 國際貨幣會議 (金融大辭典 II 卷 1 頁) 昭 8
- 同 貨幣偽造防止國際會議 (金融大辭典 I 卷 1 頁) 昭 9
- 董 之 學 世界經濟恐慌與世界經濟會議 (新中華 1-4) 民 22
- 德田 六郎 通貨經濟會議に於ける木材問題 (山林 612) 昭 8
- 山室 宗文 世界經濟會議と金本位制の將來 (講演 223) 昭 8
- \*全國經濟調查機關聯合會 日本インフレーションと世界經濟會議とそれから 昭 8
- 米國の豫備會商發企 [世界經濟會議に關する資料] (内外調査資料 7 月) 昭 8

ブラッセルに於ける通貨爲替委員會報告 (調査月報 10-12) 大 9

物價安定國際經濟會議開催計畫 (海外經濟事情 5-22) 昭 7

英米提唱の國際通貨會議 (國際パンフレット通信 509) 昭 7

爲替比率協定の失敗と世界經濟會議 (東洋經濟新報 1555) 昭 5

經濟會議への準備—華府會商の經過 [世界經濟會議に關する資料] (内外調査資料 7月) 昭 8

經濟會議に關する情報 [世界經濟會議に關する資料] (内外調査資料 7月) 昭 8

經濟會議の諸問題 [世界經濟會議に關する資料] (内外調査資料 7月) 昭 8

國際經濟會議決裂後の英國通貨政策 (銀行通信錄 573) 昭 8

國際經濟會議の通貨政策 (東洋經濟新報 1538/40) 昭 8

國際經濟會議の通貨政策の金本位運用の原則と銀問題 (東洋經濟新報 1540) 昭 8

國際經濟會議と金本位制 (財界觀測 14-4) 昭 8

國際商業會議所に依り貨幣及經濟會議に提出さるべき報告草案 (經濟月報 5-6) 昭 8

國際通貨經濟會議々題 (東洋經濟新報 1547) 昭 8

國際通貨經濟會議專門準備委員會報告書 [世界經濟會議に關する資料] (内外調査資料 7月) 昭 8

羅典貨幣同盟近況 (調査月報 12-6) 大 11

倫敦經濟會議に於ける貨幣問題 (經濟學論集 3-11) 昭 8

世界經濟會議の計畫 [世界經濟會議に關する資料] (内外調査資料 7月) 昭 8

世界經濟會議とアメリカの立場—金本位停止下に於けるアメリカ景氣と世界景氣 (財界觀測 14-1) 昭 8

世界經濟通貨會議の議題 (財政經濟時報 20-3) 昭 8

世界經濟通貨會議準備委員會の報告 (世界の勞働 10-3) 昭 8

世界通貨經濟會議々題正文—專門準備委員會報告書全文 (東洋經濟新報 1547) 昭 8

1932年に於ける金の移動 [世界經濟會議に關する資料] (内外調査資料 7月) 昭 8

召集國際銀會議意見書 (銀行週報 701) 民 20

通貨經濟會議の成果 (工業 87) 昭 8

ワシントン會商と通貨安定問題 (工業 82) 昭 8

### 3. 國際貨幣制度

カッセル, グスタフ 國際貨幣制度に就いて (ダイヤモンド 20-24) 昭 7

ケインズ, ジェ・エム 國際新通貨論 (銀行研究 24-6) 昭 8

同 新國際通貨制度の提唱 (ダイヤモンド 21-14) 昭 8

串本友三郎 國際通貨論 (銀行論叢 21-4/5) 昭 8

増井光藏 國際本位制背後にあるもの (エコノミスト 11-9) 昭 8

三浦武美 國際貨幣制度論 (國民經濟雜誌 29-1) 大 9

宮田喜代藏 國際通貨制度の將來 (銀行研究 25-4) 昭 8

志摩三郎 世界幣制改革の道 [世界經濟會議の展望] (自由通商 6-6) 昭 8

高島佐一郎 貨幣側景氣理論並に汎歐貨幣制度論の批判修正 (商學評論 6-4; 7-1) 昭 3

山室宗文 國際通貨制度に就て (銀行通信錄 570/72) 昭 8

同 國際通貨制度の將來に就て (中央銀行會通信錄 363) 昭 8

佛國の金本位復歸と新貨幣同盟説 (エコノミスト 6-10) 昭 3

新國際通貨の提唱とその批判 (東洋貿易研究 12-7) 昭 8

## XIX. 貨幣的景氣問題及景氣政策

### a. 一 般

\*アインツヒ, ボール 世界經濟恐慌の解剖 [譯] 木村福八郎 東京 千倉書房 昭 6 192頁 四六

有井治 ケインズの景氣論的「貨幣論」への一考察 (研究と資料 3) 昭 8

莫一堅 物價漲落和貨幣的購買力 (商業雜誌 5-11) 民 20

ベルゲンコップフ, バウル 金不足は世界的不況の第一原因に非ず (調査月報 20-9) 昭 5

同 金不足は世界的不況の第一原因でない (内外調査資料 3-4) 昭 6

江口行雄 貨幣數量説とインフレ景氣 (彦根高商論叢 14) 昭 4

\*岡地與四松 インフレ景氣論 東京 千倉書房 昭 8 281頁 四六 [參照目次: IX, a]

\*ハイエク, エフ・アー 貨幣と景氣變動 [譯] 豊崎稔 東京 高陽書院 昭 9 192頁 四六

1. 貨幣的景氣理論の發展過程 2. 生産手段と消費財貨との生産均衡の漸進性 3. 景氣循環過程の價格機構 4. 貨幣流通の彈丸性

樊仲雲 從世界恐慌到金貴銀賤 (社會與教育 11) 民 20

服部文四郎 爲替下落と景氣回復理論の検討 (早稻田政治經濟學雜誌 29) 昭 8

\*水川透 恐慌と金問題 [經濟學全集—改造社 14の内 90頁] 昭 7

日根野征三 レオ・パスヴォルスキー: 繁榮方策としての通貨政策是非 (銀行研究 26-5) 昭 9

\*平尾彌五郎 貨幣政策と景氣變動 東京 一元社 昭 9 334頁 菊 [參照目次: VI, a]

\*ホートレイ, アル・ジー 景氣と信用 [譯] 經濟同攻會 東京 同文館 昭 6 275頁 菊

1. 通貨と公共的統制 2. 金本位と國際收支差額 3. 金融とは何ぞや 4. 通貨膨脹主義 5. 景氣循環 6. 公共支出と勞働需要 7. 經營資本 8. ビグ・教授の産業變動論

福岡誠一 銀, 支那, 世界恐慌 (批判 2-5) 昭 6

飯田清三 インフレーション景氣の根據徑路, 規模 (銀行研究 23-3) 昭 7

同 貨幣減價と世界景氣 (エコノミスト 11-6) 昭 8

同 景氣政策の轉換と歸趨 (銀行研究 25-5) 昭 9

飯田繁 景氣政策としての貨幣政策 (經濟時報 5-8) 昭 8

春日井薫 世界經濟, 金融の變調と我財界—景氣振興策としての通貨諸政策論評 (銀行研究 21-5) 昭 6

\*勝田貞次 爲替インフレ時代の投資法則 東京 景氣研究所 昭 7 174頁 四六

\*經濟批判會 [譯] 國際信用恐慌—インフレーションへの途 東京 叢文閣 昭 7 272頁 四六 [世界經濟叢書 9] [參照目次: IX, a]

\*經濟事情研究會 物價及爲替と景氣の變動 再版 同會 昭 3

\*木本龍太郎 景氣變動の見方 東京 千倉書房 昭 9 314頁 四六

\*木村福八郎 世界恐慌對策の理論と實際 東京 高瀬書房 501頁 四六

金原賢之助 景氣政策としての平價切下の發展 (經濟往來 9-8) 昭 9

小泉計太郎 ディ・ディ・エッチ・コール: 世界不況回復策としての貨幣的要因と他の要因 (銀行研究 26-1) 昭 9

栗村雄吉 景氣論 (金融大辭典 I 卷 6頁) 昭 9

森田優三 景氣觀測と景氣豫測 (金融大辭典 I 卷 10頁) 昭 9

長尾義三 爲替及景氣の理論に表はれたる平價切下問題 (研究論集 2) 昭 5

\*世界景氣研究會 [譯] ヴァルガ [監修] 世界恐慌四箇年の總決算 東京 大盛堂 昭 9 125頁 菊

\*同 ヴァルガ [監修] 世界景氣の分析 3輯 東京 叢文閣 昭 9 235頁 菊

柴田敬 貨幣的景氣論史 (經濟論叢 39-1/2) 昭 9

新庄博 貨幣的景氣理論の基本類型 (國民經濟雜誌 57-4/5) 昭 9

周 質 彬 世界經濟恐慌與世界貨幣制度 (新中華 1-4) 民 22

周 友 蒼 通貨膨脹政策與世界恐慌 (東方雜誌 30-3) 民 22

高 田 保 馬 ハイエックの景氣理論—新らしき貨幣的景氣理論を批評して自己の立場を明にす (經濟學論集 4-5) 昭 9

高 垣 寅 次 郎 金を中心とする貨幣的景氣 (中央公論 48-1) 昭 8

高 橋 泰 藏 貨幣的景氣理論と不均衡説の交渉 (東京商大經濟學研究 2) 昭 8

高 島 佐 一 郎 貨幣側景氣理論並に汎歐貨幣制度論の批判修正 (商學評論 6-4; 7-1) 昭 3

同 貨幣現象的景氣循環理論に對するピグウの論争とその批判 (國民經濟雜誌 47-2) 昭 4

同 純粹貨幣現象的景氣循環理論の吟味 (國民經濟雜誌 47-3/4) 昭 4

\* 同 信用統制と景氣變動 東京 同文館 昭 5 828 頁 菊 [參照 目次: VI, a]

武 田 鼎 一 貨幣的景氣變動論 (關西大學研究論集 1) 昭 9

谷 口 吉 彦 公式論の「進退兩難」—笠信太郎氏の批判を讀みて (自由通商 6-1) 昭 8

陳 濟 失業變動與物價變動 (星期評論 4-11) 民 19

董 之 學 世界經濟恐慌與世界經濟會議 (新中華 1-4) 民 22

豐 崎 稔 景氣循環に關するヴィクセルの貨幣市場主義 (大阪銀行通信錄 395/97) 昭 5

同 管理金本位と金融景氣 (エコノミスト 11-14/15) 昭 8

張 經 任 市況遞變 Konjunktur 與經濟危機 (武大社會科學季刊 2-1) 民 20

柳 澤 豐 勝 ロエーヴェ: 貨幣要因の景氣循環に及ぼす影響 (經濟商業論纂 3) 昭 7

同 ハイエック: 貨幣的景氣循環説 (經濟商業論纂 6) 昭 8

\* 橫濱經濟研究所 不法對策としての貨幣政策 (高垣寅次郎) 昭 9 [經濟講演集の内]

\* 財政經濟時報社 通貨と景氣の理論解説 東京 同社 昭 7 100 頁 菊

銀と不景氣 (經濟月報 3-8) 昭 6

不況原因の一としての銀に就て (財界要報 104/05) 昭 6

貨幣的景氣論の新展開 (大阪銀行通信錄 433/34) 昭 8

世界經濟恐慌下之物價工資及利潤 (工商半月刊 4-23) 民 21

世界的不況と銀 (東亞 4-3) 昭 6

b. 各 國 別

日 本

江 口 行 雄 貨幣數量説とインフレ景氣 (彥根高商論叢 14) 昭 8

堀 田 未 明 金解禁後の經濟界はどうか (經濟公報 11-1) 昭 5

土 方 久 徵 金解禁第一年を迎えて (銀行通信錄 528) 昭 5

\* 井 上 準 之 助 金再禁止と我財界の前途 東京 千倉書房 昭 7 110 頁 四六

\* 井 關 孝 雄 インフレ景氣はどうなる? 東京 高瀬書房 昭 8 344 頁 四六

\* 勝 田 貞 次 金本位恐慌後の投資對策 東京 千倉書房 昭 8 298 頁 四六

\* 經濟事情研究會 金解禁後の財界景氣 再版 東京 同會 昭 3

相 良 利 滿 景氣は出たが (インフレーションの脅威) (改造 15-1) 昭 8

\* 靜岡縣社會課 金解禁と景氣の前途 (服部文四郎) 昭 4

\* 谷 口 吉 彦 購買力補給案=ネオ・インフレーション 東京 千倉書房 昭 7 307 頁 菊

銀塊相場の崩落と事業會社 (株式の日本 8-3) 昭 5

銀塊相場の崩落は我國にどう響くか (實業之世界 27-4) 昭 5

不景氣緩和策としての金解禁と其の條件 (東洋經濟新報 1197) 昭 1

アメリカ合衆國

平 尾 彌 五 郎 米國の貨幣的景氣政策 (自由通商 7-6/7) 昭 9

今 村 武 雄 アメリカ信用膨脹政策 (財政經濟時報 19-3) 昭 7

下 田 將 美 金本位停止後の米國の景氣 (大大阪 9-4) 昭 8

大インフレーション政策と米國の景氣 (ダイヤモンド 20-11) 昭 7

フ ラ ンス

デフレ國フランスの景氣回復 (財界觀測 17-6) 昭 9

「フラン」安定後に於ける佛國の財政經濟に就て (銀行通信錄 531) 昭 5

滿 洲 國

銀價暴落の鐵嶺綿布商に及ぼせる影響 (海外經濟事情 3-28) 昭 5

銀價の暴落と滿鐵貨物の流出 (大連商工月報 181) 昭 5

支 那

銀塊の崩落と對支貿易の前途 (株式の日本 8-2) 昭 5

銀塊慘落と對支貿易の將來 (エコノミスト 8-2) 昭 5

銀塊相場の動搖と支那の財界 (東洋經濟新報 1426) 昭 5

銀價の暴落と對支關係 (エコノミスト 8-3) 昭 5

過去 2 箇年間に於ける支那の不景氣 (經濟月報 3-11) 昭 6

XX. 貨幣、物價及爲替に關する法規解説

a. 一般

\*外務省通商局 諸外國の爲替管理及關係諸法令 昭8
橋本文雄 貨幣法(經濟學辭典I卷1頁) 昭5
\*毛戸勝元 改訂統一手形法論 東京 有斐閣 昭9 555頁 菊
串本友三郎 各國發券銀行規定對照(銀行論叢 17-5) 昭6
\*松波仁一郎 手形法 東京 日本大學 大11
\*水口吉藏 手形法論 訂正増補 東京 清水書店 大9 788頁 菊
\*同 手形法要論 東京 巖松堂
野口洪基 手形上の權利を行使すべき時期(商業論集 2-1) 昭2
同 手形書換の性質に就いて(商業論集 1-2) 昭2
\*大濱信泉 手形法原論 東京 巖松堂 昭5
\*同 手形及小切手法 東京 巖松堂 菊 上卷 昭9 304頁
I. 總論 1. 手形上の權利 2. 手形の經濟的機能 3. 手形法 4. 手形法の國際的統一 5. 手形制度沿革概観 6. 手形關係 7. 手形上の權利 8. 手形行爲 9. 手形理論 10. 手形の基本關係
下卷 昭9 705頁
II. 爲替手形 1. 振出 2. 裏書 3. 引受 4. 保證 5. 支拂 6. 遡求(償還請求)權 7. 參加 8. 複本及謄本 9. 拒絶證書
III. 約束手形 1. 總論 2. 振出 3. 裏書、保證、支拂、遡求其他
IV. 小切手 1. 序説 2. 振出 3. 譲渡 4. 保證 5. 呈示及支拂 6. 繰引小切手 7. 支拂拒絶に因る遡求 8. 複本 9. 支拂保證
V. 國際手形法 1. 序説 2. 手形行爲能力の準據法 3. 手形行爲の方式の準據法 4. 手形行爲の效力の準據法 5. 所持人の資金債權取得の準據法 6. 一部引受又は一部支拂の許否の準據法 7. 權利保全行爲又は手形喪失の場合の救済手續の準據法 8. 小切手に特有なる事項の準據法
\*大橋光雄 新統一手形法論 2卷 東京 有斐閣 上卷 昭7 510頁 菊
I. 新統一手形法諸條約成立經過沿革 緒論 本條約成立經過概説 1. 海牙法の運命 2. 國際聯盟の發心 3. 國際商業會議所及び羅馬私法統一國際協會の協力

本論 國際聯盟の手形法統一事業 1. 手形法統一事業への著手 2. 和蘭政府との商議 3. 第一回專門委員會(1923年) 4. 經手委員會の懸案 5. 第二回專門委員會(1925年) 6. 第三回專門委員會(商業專門委員會)(1926年) 7. 第四回專門委員會(法律專門委員會)(1927/28年) 8. 準備事業の完成 9. 國際聯盟の手形法統一會議

II. 新統一手形法諸條約の解説
A. 爲替手形及び約束手形の統一法を制定する爲の條約(議定書及び附屬書を含む)
條約本文 1. 條約の形式 2. 條約の效力 3. 條約の正文 4. 條約の調印 5. 條約の批准 6. 條約への加盟 7. 條約の實施 8. 條約の改訂 9. 條約の登録及び公表
附屬書 1. 爲替手形及び約束手形に關する統一法
I. 爲替手形 1. 爲替手形の振出及び方式 2. 裏書 3. 引受 4. 手形保證 5. 満期 6. 支拂 7. 引受拒絶又は支拂拒絶の場合に於ける遡求
8. 參加 9. 複本及び謄本 10. 變造 11. 時効 12. 通知
II. 約束手形 1. 總論 2. 約束手形の振出及び方式 3. 爲替手形と共通なる諸事項 4. 爲替手形と異なる諸事項附屬書 2. 1. 總論 2. 各説 議定書
B. 爲替手形及び約束手形に關する法律の抵觸の解決を目的とする條約(議定書を含む)
條約本文 1. 統一國際手形法 2. 本條約の適用範圍(一般的留保) 3. 本條約處理方法一般 議定書
C. 爲替手形及び約束手形に就いての印紙税法に關する條約(議定書を含む)
條約本文 1. 手形印紙税法 i. 比較法制 ii. 本條約の規定 2. 本條約の處理方法一般 i. 採用強制主義 ii. 留保の許可 iii. 其他の諸事項 議定書
D. 最終議定書 日本新統一手形法解説

\*大橋光雄 下卷 昭8 446頁
8. 參加 9. 複本及び謄本 10. 變造 11. 時効 12. 通知
II. 約束手形 1. 總論 2. 約束手形の振出及び方式 3. 爲替手形と共通なる諸事項 4. 爲替手形と異なる諸事項附屬書 2. 1. 總論 2. 各説 議定書
B. 爲替手形及び約束手形に關する法律の抵觸の解決を目的とする條約(議定書を含む)
條約本文 1. 統一國際手形法 2. 本條約の適用範圍(一般的留保) 3. 本條約處理方法一般 議定書
C. 爲替手形及び約束手形に就いての印紙税法に關する條約(議定書を含む)
條約本文 1. 手形印紙税法 i. 比較法制 ii. 本條約の規定 2. 本條約の處理方法一般 i. 採用強制主義 ii. 留保の許可 iii. 其他の諸事項 議定書
D. 最終議定書 日本新統一手形法解説
同 新國際手形法に就いて(大阪銀行通信録 434, 436) 昭8
\*同 新統一手形法新條約正文 東京 有斐閣 昭8 110頁 菊
\*大阪商工會議所 外國爲替管理法に就て 昭8
劉仲廉 國際聯盟票據法統一會議紀要(銀行週報 669) 民19
乙部眞琴路 手形統一法に就て(法曹公論 37-10) 昭8
司法省調査課 小切手に關する法律の國際的統一(法曹會雜誌 11-3) 昭8
\*須賀喜三郎 手形法論 東京 巖松堂

b. 各國別

日本

\*田中耕太郎 手形法概論 東京 有斐閣 昭5 635頁 菊
I. 總論 1. 手形法序説 i. 緒論 ii. 手形の經濟的機能 iii. 手形法學の任務及び對象 iv. 手形法の法律體系中に於ける地位 v. 手形制度の沿革概観 vi. 手形法文獻 2. 總論論 i. 手形上の權利 ii. 手形行爲 iii. 手形上の權利 iv. 偽造變造の手形及び之に關する手形行爲, 手形の抹消毀損及び喪失 v. 手形の實質關係
II. 爲替手形 1. 基本手形 i. 總論 ii. 本質的要件 iii. 任意的記載事項 iv. 不完全手形殊に白地手形 2. 振出 i. 振出の性質 ii. 振出の效力 3. 裏書 i. 總論 ii. 裏書の方式 iii. 裏書の效力 iv. 特殊の裏書 4. 引受 i. 性質及び效力 ii. 引受の爲めにする呈示 iii. 引受の方式 iv. 不取引受 5. 支拂 i. 總論 ii. 支拂の爲めにする呈示 iii. 支拂の時期 iv. 支拂の目的 v. 支拂の受取資格 vi. 支拂の懸帳 vii. 支拂以外の債務消滅原因 6. 遡求權 i. 總論 ii. 擔保請求權 iii. 償還請求權 7. 手形保證 8. 參加 i. 總論 ii. 參加引受 iii. 參加支拂 9. 拒絶證書 10. 複本及び謄本 i. 總論 ii. 複本 iii. 謄本
III. 約束手形
IV. 小切手
V. 國際手形法
餘篇 手形理論 附: 新統一手形法正文
同 手形法 1, 2, 3 [現代法學全集一日本評論社 6, 7, 8の内] 昭3
田岡嘉壽彦 爲替訴訟(經濟學辭典I卷1頁) 昭5
\*東京商工會議所 手形法統一に關する條約並に爲替手形及び約束手形統一規則 昭4
\*同 各國爲替管理令 東京 同所 昭7 471頁 菊 [商工調査 45]
I. 歐洲 フルガリヤ, 社會主義ラヴエート共和國聯邦, 奧地利, ハンガリー, チェッコ・スロヴァキヤ, フランス, スペイン, ユーゴスラヴィア, ルーマニヤ, スイス, ポルトガル, 希臘, スエーデン, ノルウェー, 英國, 伊太利, 丁抹, トルコ
II. 南米, ブラジル, チリ, アルゼンチン
III. 其他, オーストリア聯邦, 印度, エジプト, 南アフリカ聯邦, ニューゼーランド
\*烏賀陽然良 手形法 京都 弘文堂 昭9 292頁 菊
山崎覺次郎 「通貨法」の制定(エコノミスト 8-2) 昭5
兌換銀行券關係法規 [金融關係法令集] (金融大辭典 III 卷3頁) 昭9
貨幣法關係法規 [金融關係法令集] (金融大辭典 III 卷8頁) 昭9
爲替管理關係法規 [金融關係法令集] (金融大辭典 III 卷67頁) 昭9
金輸出禁止關係法規 [金融關係法令集] (金融大辭典 III 卷1頁) 昭9
政府紙幣關係法規 [金融關係法令集] (金融大辭典 III 卷3頁) 昭9
主要發券銀行の發券準備規定(調査月報 17-1) 昭2

青木一男 外國爲替管理法に就いて(斯民 329) 昭8
同 外國爲替管理法及施行細則に就て(貿易 33-8) 昭8
同 外國爲替管理法施行令に就て(銀行通信録 568; 法律時報 5-6) 昭8
\*荒川五郎 改正手形法正解 東京 清水書店
荒木光太郎 貨幣法と兌換條例改正私見(エコノミスト 8-11) 昭5
有井守 手形統一法と我商法との差異(大阪銀行通信録 301/03) 昭6
\*銀行信託通信社 外國爲替管理法 東京 同社 昭8
\*平尾康平 手形法講話 東京 有精堂 大10 565頁
\*同 新舊對照 改正小切手法釋義 大阪 大同書院 昭9 249頁 四六
不二門龍觀 新小切手法に就いて(商學 13) 昭9
\*飯島義雄 貨幣紙幣銀行券法令要義 永井兼三郎 大8
今來新之丞 小切手法案に所謂「取引先」の法律的意味(銀行研究 24-3) 昭8
井上勝馬 新小切手法に於ける時効に就て(銀行研究 26-2) 昭9
岩野基次郎 大藏省證券入札發行規程(金融大辭典 I 卷1頁) 昭9
\*伊澤孝平 同 新小切手法 東京 岩波書店 昭9
小切手法註解(法學 2-3, 5/7, 9/11; 3-1/2) 昭8, 9
春日井薫 本邦の金政策批判一日銀金買入法の實施に際して(銀行研究 26-5) 昭9
加地良七 新統一手形法の我現行手形法に對する新規定(銀行研究 19-6) 昭5
\*梶康郎 判例書式 手形法要覽 大14
金原賢之助 外國爲替と資本逃避防止法(信託協會々報 7-2) 昭8
岸谷梧郎 小切手法の不備と其の改正案(銀行判例 20-4) 昭6
清瀬一郎 新小切手法, 小切手法の要點(大阪銀行通信録 437) 昭9
\*國際聯盟事務局 手形法國際統一と我商法の改正 [改正手形法案の解説] 東京 同局 昭7
\*菰淵清雄 改正手形法註解 東京 巖松堂 昭9
\*同 改正小切手法註解 東京 清水書店 昭9

\*菰淵 銳夫・吳 文中 改正手形法及小切手法に關する判例集 東京 清水書店 昭9 534頁 菊

牧野 輝智 金買入法の實施、平價切下の錯覺 (經濟 1-2) 昭9

\*三 隅 晋 手形と小切手の話 東京 法制時報社 大 11

\*宮崎 直二 改正法に據る手形の書方と見方 東京 實業之日本社 552頁 四六

中村 光次 改正手形法第四條に就て (銀行研究 26-2) 昭9

\*成道 齊次郎・柴田 健太郎 商法手形小切手法判例總覽 東京 帝國判例法規出版社 昭9 809頁 菊

\*日本銀行調査局 各國發券銀行及通貨關係法規 1: 日本の部 昭1 55頁 菊

\*同 各國發券銀行及通貨關係法規 1: 日本の部 改訂 昭9 95頁 菊

\*小笠原三九郎 金買入法と金の諸問題 東京 立命館出版部 昭9 227頁 四六

\*大口 喜六・長島 隆二・小笠原三九郎 [監修] 外國爲替管理法の機能 東京 秀文閣 昭8 601頁 菊

大橋 光雄 日本手形法の改正 (法學論叢 28-2) 昭7

同 小切手法解説 (法學論叢 30-1, 2, 4) 昭9

奥村 重正 外國爲替管理法に就て (朝鮮財務 11-6) 昭8

大内 兵衛 日本銀行金買入法の意義について (大原社會問題研究所雜誌 1-1) 昭9

齋藤 直一 新手形法の解説 (法律新聞 3439) 昭7

坂上 壽夫 小切手の保證と小切手法の改正 (大阪銀行通信錄 423) 昭7

同 小切手の支拂保證と小切手保證 (銀行研究 24-1) 昭8

坂下 久雄 新手形法の改正要點 (銀行研究 23-3) 昭7

妹尾 一雄 割引に於ける手形書換の性質 (銀行研究 4-6) 大 12

同 支拂猶豫令に因る手形權利の保存 (銀行研究 5-3) 大 12

\*司法省民事局 手形法案説明書 昭7

\*同 小切手法案説明書 東京 松華堂 昭8 56頁 菊

\*島田 國丸 實用手形法 大阪 昭3

島本 英夫 小切手法の改正 (商業と經濟 13-2; 14-1) 昭8

同 新小切手法概観 (内外研究 6-3/4) 昭8

島本 英夫 新手形法と英米法 (内外研究 7-1) 昭9

\*同 手形法及小切手法 東京 立命館出版部 昭9 414頁 菊

清水谷 隆寛 小切手法解説 (商工經濟研究 8-3) 昭8

須賀 喜三郎 新手形法に就て (經濟法律論叢 3-2) 昭7

須山 京一 外國爲替管理法に所謂「邦貨の強制通用力を有する地域」 (銀行研究 27-2) 昭9

\*竹内 恒吉 實用新手形法 小切手法解説 東京 大同書院 昭8 182頁 菊

同 小切手法改正の要領 (中央銀行會通信錄 362/64) 昭8

\*東京銀行集會所 外國爲替管理法施行令に就て 昭8

藥師寺 志光 新手形法の諸問題 (法學新報 44-4/6, 8) 昭9

山崎 覺次郎 貨幣法と兌換銀行券條令改正—「通貨法」の制定 (エコノミスト 8-2) 昭5

同 貨幣法第二條に就て (經濟商業論叢 1) 昭8

横田 正俊 新手形法及小切手法と現行法との差違 (法曹公論 38-2) 昭9

\*造幣局 造幣法規 2卷 昭8 638頁  
1. 幣制及工場  
2. 會計及官紀

兌換停止緊急勅令發布 (銀行通信錄 552) 昭7

外國爲替管理法公布 (商工月報 9-3) 昭8

外國爲替管理法施行命令公布 (商工月報 9-5) 昭8

爲替管理法案内容及性質 (ダイヤモンド 21-7) 昭8

爲替管理法を運用する者 (ダイヤモンド 21-6) 昭8

金買入法實施の影響 (東洋經濟新報 1595) 昭9

金解禁遂に斷行—解禁省令及聲明書 (エコノミスト 7-23) 昭4

小切手法解説—附録 (1) 法令便覽 (2) 小切手法制定資料 (銀行判例 11-2) 昭9

小切手法統一國際會議統一規則案と各國の態度 (銀行通信錄 541) 昭6

日本銀行金買入法案 (エコノミスト 12-6) 昭9

日本銀行金買入法及金の問題 (貿易 34-6) 昭9

日本銀行金買入法案上提理由並に質疑 (金融知識 3-5) 昭9

新手形法と現行手形法の相違點 (大阪銀行通信錄 434) 昭8

新小切手法と舊規定との差異に就て (銀行通信錄 577) 昭9

白地手形の補充權 (銀行通信錄 542) 昭6

手形法及小切手法の改正要點 (信託協會々報 7-6) 昭8

手形法及小切手法—商法手形編對照 附：拒絕證書令其他 (銀行判例 11-3) 昭9

手形行爲と捺印 (銀行通信錄 566) 昭8

手形裏書後の特約と對抗事由 (銀行通信錄 558) 昭7

自己宛約束手形の效力を論ず (銀行判例 5-1) 昭6

アメリカ合衆國

淺田 惠一 シヤーマン條例 (金融大辭典 II 卷 1頁) 昭9

岩崎 博 米國貨幣條例史 (銀行研究 14-3, 5) 昭3

三浦 實 グラス・ステイゴール法 (金融大辭典 I 卷 5頁) 昭9

同 ゴールド・レザブ・アクト (金融大辭典 II 卷 1頁) 昭9

\*日本銀行調査局 各國發券銀行及通貨關係法規 5: アメリカ合衆國 昭1 147頁 菊

\*同 各國發券銀行及通貨關係法規 5: アメリカの部 [追補]—マクファッデン法 昭2 2頁 菊

同 米國聯邦準備法及改正法 [大戰後の各國金融政策及法規] (内外調査資料 11月) 昭5

\*同 米國農村救済並に通貨増發法の要旨 昭8

\*同 米國大統領の通貨に關する特別教書と1934年金準備法 昭9 19頁 菊

\*同 米國1934年金準備法實施に關する大藏省施行細則 昭9 26頁 [海外經濟叢報號外 26]

\*大藏省理財局 米國聯邦準備條例 大 12 [財政經濟調査 4, 4]

\*同 ビットマン條例の内容及其の運用 東京 大 12 [財政經濟調査 4, 8]

渡邊 佐平 所謂「自由金法案」に就いて (世界經濟 10) 昭7

山口 巖 ビットマン條令と銀塊相場 (商事研究 4-2) 大 12

\*横濱正金銀行 米國舊銀行制度の缺點と聯邦準備法 大 10 44頁

米國金禁法の修正 (エコノミスト 11-8) 昭8

廢止された米國の金約款 (國際評論 2-7) 昭8

アルゼンチン

アルゼンチンの外國爲替管理令 (銀行論叢 20-1) 昭8

ベルギー

\*日本銀行調査局 各國發券銀行及通貨關係法規 13: 白耳義の部 昭2 71頁 菊

同 白耳義の通貨安定方策 [大戰後の各國金融政策及法規] (内外調査資料 11月) 昭5

白貨安定に關する法規其他 [白國官報] (調査月報 17-1) 昭2

ドイツ

栗生 武夫 獨逸に於ける暴利取締令の一問題 (法學論叢 13-4) 大 14

\*日本銀行調査局 獨逸新 (ライヒスバンク) 條例要項 (レンテンバンク) 銀行券銷却に關する法案要項、獨逸國鐵道會社法案要項 大 13

\*同 各國發券銀行及通貨關係法規 4: ドイツの部 昭1 143頁 菊

\*同 各國發券銀行及通貨關係法規 4: ドイツの部 (改刷) 昭7 63頁 菊

竹島 富三郎 現行の獨逸貨幣法 (商業及經濟研究 40) 大 14

\*逓信省貯金局 佛蘭西・獨逸・瑞西郵便小切手制度概要 東京 昭2 [業務資料 13]

\*東京商工會議所 獨逸兩國の爲替管理並資本逃避防止に關する法令 昭7 215頁 菊

獨逸國外國爲替管理法規 (調査月報 23-3) 昭8

獨逸に於ける外國爲替管理規定の續發 (海外經濟叢報 12) 昭7

獨逸の外國爲替買賣取締りに關する新緊急令 (海外經濟叢報 10) 昭6

獨逸の現行爲替管理に關する法令 (資源 1-3) 昭7

獨逸政府の外國爲替取締令發布に就て [破綻前後の獨逸財政資料] (内外調査資料 11月) 昭6

1920年の印度紙幣改正法律 (調査月報 11-9) 大 10

ハンガリー

\*日本銀行調査局 各國發券銀行及通貨關係法規 15: 匈牙利の部 昭3 71頁 菊



フィンランド

\*日本銀行調査局 各國發券銀行及通貨關係法規 11: フィンランドの部 昭1 19頁 菊

芬蘭新貨幣法 (調査月報 16-8) 昭1

フランス

ドメヂヤン 佛國の新貨幣法を評す (調査月報 18-9) 昭3

熊田 克郎 佛蘭西新通貨法の意義 (銀行研究 16-1) 昭4

\*日本銀行調査局 各國發券銀行及通貨關係法規 3: 佛蘭西の部 昭1 148頁 菊

\*同 各國發券銀行及通貨關係法規 3: フランスの部 (追補) 昭1 5頁 菊

\*同 各國發券銀行及通貨關係法規 3: フランスの部 (追補) 昭3 19頁 菊

\*同 佛國新貨幣法並同法附屬の政府及佛蘭西銀行間の協定に就きて 昭3 39頁 菊

同 佛國のフラン安定政策 [大戦後の各國金融政策及法規] (内外調査資料 11月) 昭5

\*逓信省貯金局 佛蘭西・獨逸・瑞西郵便小切手制度概要 東京 昭2 [業務資料 13]

\*東京商工會議所 獨佛兩國の爲替管理並資本逃避防止に関する法令 東京 同所 昭7 215頁 菊

佛國幣制改革に関する法律案理由書 (調査月報 18-8) 昭3

佛國貨幣安定を目的とする施設に関する法律 [佛國官報] (調査月報 16-10) 昭1

佛國金兌換再開に関する法律 (調査月報 18-8) 昭3

佛國に於ける法貨安定法律案通過までの大要 (銀行通信録 511) 昭3

フランスの爲替附加税増徴令公布 (海外經濟事情 6-12) 昭8

イギリス

堀部 靖雄 英國手形法第二編爲替手形の概説 (長崎高商研究館叢報 10-4) 昭2

石井 豊 英國新紙幣法に関する若干問題 (銀行論叢 11-2) 昭3

同 英國新通貨法と信用伸縮性 (大阪銀行通信録 373) 昭3

岩崎 博 英國の「政府紙幣並銀行券條例」及佛蘭西の「新貨幣條例」 (銀行研究 15-5) 昭3

黒野 忠雄 ビール條例 (金融大辭典 III 卷 1頁) 昭9

\*日本銀行調査局 チェンバレーン委員會報告書と英國金本位條例 東京 大 14 20頁 菊

\*同 各國發券銀行及通貨關係法規 2: 英國の部 昭1 66頁 菊

\*同 各國發券銀行及通貨關係法規 2: 英國の部 追補 昭3 9頁 菊

同 英國の紙幣及銀行券條例 [大戦後の各國金融政策及法規] (内外調査資料 11月) 昭5

\*大野 義昌 英國手形法要論 東京 有斐閣

英國爲替平衡會計法 (調査月報 22-8) 昭7

英國金本位法案 (大阪銀行通信録 334) 大 14

英國金貨拂債券の支拂通貨に関する判決に就いて (調査月報 23-2) 昭8

英國政府の物價調節に関する法規と物價指數上に表はれたる影響 [在英帝國特命全權大使報告] (通商公報 748) 大 9

英國 1928 年政府紙幣及銀行券法 (調査月報 18-9) 昭3

インド

\*日本銀行調査局 各國發券銀行及通貨關係法規 6: 印度の部 昭1 70頁 菊

\*同 各國發券銀行及通貨關係法規 6: 印度の部 (追補) 昭4 4頁 菊

\*同 印度の通貨法 [大戦後の各國金融政策及法規] (内外調査資料 11月) 昭5

滿洲國

\*大連商工會議所 關東州及滿鐵附屬地外國爲替管理令 昭8 42頁 四六 [滿鐵經濟法令集 2]

\*日本銀行調査局 各國發券銀行及通貨關係法規—滿洲の部 東京 同局 昭7 36頁 菊

\*滿洲國財政部 貨幣及滿洲中央銀行關係法規 (日譯) 滿洲 同部 昭8 (大同元) 29頁 菊

\*拓務省管理局 滿洲國貨幣法、滿洲中央銀行法、滿洲中央銀行組織辦法 昭7

補助銀貨運送制限に関する新規定 (滿鐵調査月報 11-11) 昭6

滿洲國金輸出禁止法 (東亞 6-8) 昭8

滿洲國金輸出禁止法制定 (支那 24-7) 昭8

滿洲國の貨幣法及滿洲中央銀行法 (大阪銀行通信録 422) 昭7

滿洲國產金買上法 (東亞 6-8) 昭8

滿洲國政府の舊幣整理辦法並に新舊貨幣換算率 附: 滿洲國中央銀行貨幣法銀行法及組織辦法 (露亞時報 153) 昭7

遼寧造幣組織章程 (遼寧公報 336) 民 19

私帖及其他紙幣類似之證券取締暫行辦法 (東省特別區政務週刊 101) 大同 1

メキシコ

柳澤 健 墨西哥に於ける貨幣法改正 (移民情報 3-8) 昭6

\*大藏省 和蘭・瑞典・墨西哥・西班牙貨幣法規 大阪 昭2 132頁

メキシコ國政府の貨幣法改正 (海外經濟事情 4-50) 昭7

南阿聯邦

\*日本銀行調査局 各國發券銀行及通貨關係法規 10: 南阿聯邦の部 昭1 53頁 菊

同 南阿聯邦の通貨及銀行法 [大戦後の各國金融政策及法規] (内外調査資料 11月) 昭5

\*大藏省理財局 南阿聯邦 1920 年貨幣及銀行法 東京 大 11 [金問題研究資料 7]

南阿聯邦貨幣及銀行法 (調査月報 12-11) 大 11

ニカラグア

ニカラグア國爲替管理法改正 (海外經濟事情 23) 昭9

ノールウェイ

\*日本銀行調査局 各國發券銀行及通貨關係法規 19: 諾威の部 昭6 20頁 菊

オランダ

\*日本銀行調査局 各國發券銀行及通貨關係法規 8: 和蘭の部 昭1 31頁 菊

\*同 各國發券銀行及通貨關係法規 9: 蘭領印度の部 昭1 20頁 菊

\*造幣局 瑞典・和蘭・墨西哥・西班牙貨幣法規 大阪 昭2 132頁

オーストラリア

\*日本銀行調査局 各國發券銀行及通貨關係法規 7: 濠洲の部 昭1 38頁 菊

オーストリア

\*日本銀行調査局 各國發券銀行及通貨關係法規 14: 奧太利の部 昭5 8頁 菊

同 奧太利の發券銀行 [大戦後の各國金融政策及法規] (内外調査資料 11月) 昭5

奧國貨幣單位シリング制定法律 (調査月報 15-4) 大 14

ペルー

ペルー國の兌換券停止に関する法律 (海外經濟事情 5-41) 昭7

ベルシア

波斯政府の外國爲替調節に関する新法律 (貿易週報 2-1) 昭5

ポーランド

\*日本銀行調査局 各國發券銀行及通貨關係法規 22: 波蘭の部 昭9 28頁 菊

ロシア

\*朝鮮銀行調査部 勞農露國手形法 大 12

貨幣及有價證券携出入及轉送並送金規定適用變更—ソヴェト聯邦 (海外經濟事情 5-26) 昭7

ルーマニア

日本銀行調査局 羅馬尼亞の貨幣法及國立銀行 [大戦後の各國金融政策及法規] (内外調査資料 11月) 昭5

支那

有本 邦造 福州に於ける紙幣取締規定 (山口高商調査課時報 5-3) 昭8

久重 福三郎 支那の手形慣習に就て (支那研究 14) 昭 2  
 金 國 寶 銀行法中之票據問題 (銀行週報 693) 民 20  
 起 孫 莊票止付問題之研究 (錢業月報 10-7) 民 19  
 劉 振 東 有限銀本位幣制法案 (銀行週報 677) 民 19  
 同 有限銀本位幣制法案説明書 (銀行週報 678) 民 19  
 薛 遺 生 論遲期支票在法律上之效力 (銀行週報 782) 民 22  
 施 伯 珩 估幣法 (商業月刊 1-5) 民 20  
 章 乃 器 關於票據法及票據施行法之各種疑問 (銀行週報 792) 民 22  
 徐 群 宗 中國票據法之統一の考究 (社會科學論叢 2-8, 9 合刊) 民 19  
 \*横濱正金銀行 天津に於ける小切手の法律關係と商習慣 昭 8  
 粵省維持紙幣辦法 (中行月刊 3-6) 民 20  
 補助銀貨運送制限に關する新規定 (滿鐵調査月報 11-11) 昭 6  
 關金兌換發行辦法 (銀行週報 697) 民 20  
 國民政府の銀本位幣鑄造條例公布 (海外經濟事情 6-16) 昭 8  
 南京政府の銀本位幣鑄造條例に關する件 (滿鐵調査月報 13-4) 昭 8  
 支那民國の兌換券條例 (東拓月報 14) 大 10  
 支那政府の補助銀貨運送取締辦法 (海外經濟叢報 10) 昭 6

天津煉鋼廠の設立と制錢取締令 (東洋貿易時報 4-13) 昭 3  
 中國逐漸采行金本位幣制法案 (經濟月刊 2-8) 民 19  
 郵政國內匯兌法 (國民政府公報 811) 民 20  
 財政部取締運輸銀角通行辦法 (工商半月刊 3-21) 民 20

ス イ ス

\*日本銀行調査局 各國發券銀行及通貨關係法規 12: 瑞西の部 昭 2 30 頁 菊  
 \*遞信省貯金局 佛蘭西・獨逸・瑞西郵便小切手制度概要 東京 昭 2 (業務資料 13)

ス ペ イ ン

\*造 幣 局 瑞典・和蘭・墨西哥・西班牙貨幣法規 大阪 昭 2 132 頁

ス ウ ェ ー デ ン

\*造 幣 局 瑞典・和蘭・墨西哥・西班牙貨幣法規 大阪 昭 2 132 頁

チェッコ・スロヴァキア

\*日本銀行調査局 各國發券銀行及通貨關係法規 16: チェッコ・スロヴァキア共和國の部 昭 3 55 頁 菊  
 同 チェッコ・スロヴァキア國貨幣制度 [大戰後の各國金融政策及法規] (内外調査資料 11 月) 昭 5

XXI. 貨幣、物價及爲替に關する統計解説

としての物價指數 4. 計表本位としての物價指數 5. 物價指數の國內的及び國際的比較 6. 物價指數雜題

a. 一 般

阿部 洋平 物價指數に就いて (稻門經濟 6) 昭 7  
 道家 齊一郎 物價と物價指數 (統計學雜誌 479/80) 昭 1  
 同 物價指數から見た財界の判斷 (東京工場懇話會々報 59) 昭 6  
 林 俊 則 物價指數に依る賃銀制定法 (社會政策時報 12) 大 10  
 堀越 鐵藏 物價指數の作り方見方 (經濟知識 2-2/3) 昭 4  
 同 小賣物價指數作り方見方 (經濟知識 3-6) 昭 5  
 福田 德三 物價指數の研究に就て (統計集誌 469) 大 9  
 古屋 美貞 物價指數の問題 (同志社論叢 30) 昭 5  
 猪間 驥一 郡菊之助教授著「物價指數論」を評す (經濟研究 5-3) 昭 3  
 岩井 茂 金に關する諸統計 (商工經濟研究 5-3) 昭 5  
 \*關西學院高等商業部調査部 紙幣流通高に於ける景氣循環並に物價指數に於けるそれとの比較 昭 4  
 木下 茂 物價指數の季節的變動 (國民經濟雜誌 47-1) 昭 4  
 小林 新 國際物價指數日本部設計報告 (早稻田商學 1) 大 14  
 近藤 鷲 物價指數研究 (山口商學雜誌 13/14) 昭 8, 9  
 郡 菊之助 物價指數研究 (商業經濟論叢 4) 昭 1  
 \*同 物價指數論 東京 同文館 昭 3 648 頁 菊  
 I. 統計指數の概論 1. 統計指數の性質及び種類 2. 統計指數の方法論  
 II. 物價指數の本論  
 A. 理論的研究 1. 物價指數の論考 2. 物價指數の目的と算式 3. 物價指數方法の詳論  
 B. 1. 物價指數の沿革 2. 外國物價指數の近狀 3. 本邦物價指數の要覽  
 III. 物價指數の除論 1. 卸賣物價指數と小賣物價指數 2. 賃銀指數と生計費指數 3. ビジネス・バロメーター

前田 安彦 物價指數に就て (東京工場懇話會々報 57) 昭 6  
 \*南滿洲鐵道株式會社 支那の物價指數と世界の物價指數—銀建物價指數と金建物價指數との比較「昭和 2 年 12 月」昭 3 10 頁 附録 11 表  
 \*三菱合資會社資料課 物價指數の問題 東京 大 14 (資料彙報 237)  
 三浦 福七 物價指數算式論 (統計集誌 521/23) 大 13  
 三浦 武美 物價指數賃銀制論 (國民經濟雜誌 27-2) 大 8  
 森 文三郎 國際物價指數に關する一考察 (商業論集 5-1) 昭 5  
 森田 優三 貨幣價值と物價指數 (國民經濟雜誌 40-6; 41-1/2) 昭 1  
 同 物價指數 (金融大辭典 III 卷 7 頁) 昭 9  
 宗藤 圭三 比率の平均としての物價指數—フィッシャー (同志社論叢 14) 大 13  
 同 物價指數における構成的抽象性の検討—相對的歴史性との關聯に於いて (同志社論叢 38/39) 昭 7  
 中谷 實 金融統計時に通貨統計に就いて (經濟論叢 32-1) 昭 6  
 蛭川 虎三 兌換券と物價指數との關係 (經濟論叢 17-4) 大 12  
 同 物價指數の意味 (經濟論叢 24-2) 昭 2  
 岡崎 良藏 フィッシャアの物價指數算出法に就て (商業經濟研究 40) 大 14  
 佐野 包治 物價指數の眞實性に就て (銀行論叢 10-3) 昭 3  
 佐藤 保兒 統計より見たる平均と物價指數 (國民經濟雜誌 36-6; 37-1) 大 13  
 柴田 銀次郎 一般物價の測度としての物價指數 (商學研究 4-2) 大 14  
 \*商工省貿易局 最近三ヶ年に於ける世界主要四十五個國各年平均爲替相場表 昭 7  
 \*商工省商務局貿易課 世界主要四十五個國各年平均爲替相場 昭 4 8 頁 菊

- \* 逓信省貯金局業務課 外國郵便爲替業務狀況 昭 2
- \* 同 外國郵便爲替業務狀況、外國郵便振替業務狀況 昭 7 74 頁；昭 8 80 頁；昭 9 63 頁 菊
- \* 柳田 直吉 銀に関する統計表 昭 6 16 頁
- 横山 幸生 經濟的變動の研究に於ける物價指數の効用に就て (統計集誌 612) 昭 7
- \* 全國經濟調査機關聯合會 國際物價指數に就て 昭 5 29 頁 菊
- 物價指數 (統計時報 2) 大 11
- 物價指數の見方使ひ方 (東洋經濟新報 1599/602) 昭 9
- 銀價變動の原因に関する統計的考察 (東洋經濟新報 1394) 昭 5
- 銀塊相場と物價指數との關係 (東洋經濟新報 1393) 昭 5
- 銀に関する國際統計 (金と銀の問題) (内外調査資料 4 月) 昭 6
- 銀の統計的検討 (經濟月報 4-2) 昭 7
- 各國物價指數 (在リバープール領事報告) (通商公報 962) 大 11
- 各國に於ける卸賣物價及其の指數 (統計集誌 516) 大 13
- 故キッチン氏の金統計 (東洋經濟新報 1538) 昭 8
- 國際物價指數の比較 (東洋經濟新報 1605) 昭 9
- 最近の物價指數 (ダイヤモンド 16-27) 昭 3

ハ. 各 國 別

日 本

- \* 鳳 聚 會 本邦金融界に於ける信託會社の地位を論ず、我國に於ける各種物價指數の比較研究 昭 2 277 頁
- \* 兵庫縣産業部 物價調査報告 第一輯 大 12 100 頁
- \* 熊本稅務監督局 昭和 7 年物價圖表 昭 7 (經濟調査 81)
- \* 同 物價圖表 昭 9
- 三浦 豊吉 日本銀行物價指數に現はれたモスリン騰落の考察 (東洋經濟新報 1138) 大 14
- \* 三宅 喜二郎 我國に於ける貨銀及び物價の統計的研究 2 版 東京 森山書店 昭 7 175 頁 菊 [參照 日次: XVI, 3, b]
- 森田 優三 本邦物價指數の一吟味 (商學 14) 昭 9

- \* 名古屋高等商業學校産業調査課 本邦卸賣物價指數の綜觀 名古屋 昭 2 (調査報告 1)
- 蛭川 虎三 日銀指數利用の一指標 (經濟論叢 24-3) 昭 2
- 柴田 銀次郎 農商務省の新卸賣物價指數に就て (統計學雜誌 460) 大 13
- \* 商工大臣官房統計課 卸賣物價統計表—明治 33 年乃至大正 14 年 東京 東京統計協會 昭 1
- \* 同 卸賣物價統計—昭和 1 年乃至昭和 3 年 東京 東京統計協會 昭 4 93 頁
- \* 同 昭和 8 年物價統計表 東京 東京統計協會 昭 9 129 頁 四六倍
- \* 商工省商務局 卸賣及小賣物價指數統計表—東京、大阪、名古屋 昭 3 37 頁 圖表 42 頁
- 竹内 可吉 商工省物價指數の作り方見方 (經濟知識 3-2) 昭 5
- 田村 市郎 卸賣物價指數に現はれたる景氣循環 (商學評論 7-2/4) 昭 4
- 同 紙幣流通高に於ける景氣循環並物價指數に於けるそれとの比較 (商學評論 8-1) 昭 4
- \* 同 我國の景氣循環と景氣指數 東京 文雅堂 昭 5
- \* 逓信省貯金局業務課 內國郵便爲替業務狀況 昭 2
- \* 同 大正十四年中內國郵便振替貯金業務狀況 昭 2
- \* 同 郵便爲替貯金事業概況—4 月-6 月 昭 2
- \* 同 郵便爲替貯金事業概況—1 月, 2 月 昭 3
- \* 同 郵便爲替制度沿革資料 第二輯 昭 4
- \* 同 內國郵便爲替業務狀況 東京 同局 昭 7 59 頁 菊
- \* 同 內國郵便爲替業務狀況 東京 同局 昭 8 61 頁 菊
- \* 同 內國郵便爲替業務狀況 東京 同局 昭 9 56 頁 菊
- \* 東京商業會議所 戰時及戰後に於ける東京倫敦物價指數足取表—大正八年度 東京 同所 大 8
- \* 東京商工會議所 東京物價及貨銀—昭和七年度 昭 8
- \* 安田 保善社 物價指數諸表 昭 1
- 物價指數微鑑 (東洋經濟新報 1302) 昭 3
- 物價指數更に昂騰 (東洋經濟新報 865) 大 8
- 物價指數と勞働貨銀 (工業 54) 昭 6
- 物價指數續て下落、前途は尙ほ低落の見込 (東洋經濟新報 1381) 昭 5

- 物價指數續いて急落—內産内需品向下方 (東洋經濟新報 1394) 昭 5
- 本邦輸出入及内外産別物價指數の變化 (東洋經濟新報 1126) 大 13
- 日本の物價指數は何故高いか (東洋經濟新報 1456) 昭 6
- 大正八年中東京物價指數 (東京經濟雜誌 2040) 大 9
- 東京卸賣物價指數戰前後 10 箇年比較 (銀行通信錄 562) 昭 7
- 我社の物價指數—物價聊か強氣配 (ダイヤモンド 16-17) 昭 3
- 我社新規作成の日々物價指數の構成と現位地 (東洋經濟新報 1560) 昭 8

アメリカ合衆國

- 笠原 勇太 米國の物價指數表に関する研究 (統計學雜誌 433/36) 大 11

ド イ ツ

- 長岡 保太郎 獨逸の物價指數 (社會政策時報 14) 大 10

フ ラ ン ス

- 岩崎 博 英國の政府紙幣並銀行券條例及佛蘭西の新貨幣條例 (銀行研究 15-5) 昭 3

- 佛國に於ける生活費物價指數 (在里昂領事報告) (通商公報 852) 大 10

イ キ リ ス

- 山田 保治 英國エコノミスト社卸賣物價指數の改正 (統計集誌 574) 昭 4

- 1920 年度英國物價指數 (調査月報 11-3/4) 大 10

コ ロ ン ビ ア

- コロンビヤ國に於ける最近の物價指數 (移民地事情 53) 昭 6

滿 洲 國

- \* 關 東 廳 物價貨銀調査年報 (昭和八年) 昭 9

- \* 南滿洲鐵道株式會社庶務部調査課 滿洲貨幣相場集 成 [滿鐵パンフレット 44]
- 1. 金對小洋錢相場表 昭 3 13 頁
- 2. 銀對金相場表 昭 3 22 頁
- 3. 各貨幣相場平均對照表 昭 4 30 頁
- \* 同 滿洲に於ける銀建物價指數—昭和 4 年 1 月 昭 4 50 頁
- \* 同 滿洲參考物價統計—昭和 6 年 1 月 大連 昭 6 99 頁 四六倍
- 德永 清行 上海大連物價指數 (東亞經濟研究 14-1) 昭 5

- 大連卸賣物價指數 (東亞 5-12) 昭 7

支 那

- 外務省通商局 北支那卸賣物價指數 (海外經濟事情 32) 昭 5
- 何 廉 二十餘年來我國已編之物價指數 (銀行月刊 7-2) 民 16
- 郡 菊之助 天津南開大學の卸賣物價指數に就て (統計學雜誌 508) 昭 3
- \* 南開大學社會經濟研究委員會 中國六十年進出物量指數物價指數及物價交易指數 上海 同會 昭 4 49 頁 非賣
- \* 上海商業儲蓄銀行 國內商業滙兌要覽 民 14
- \* 俊 輯 編製上海物價指數論叢 大 14 130 頁
- 德永 清行 上海大連物價指數 (東亞經濟研究 14-1) 昭 5
- \* 中華民國定稅制委員會 上海貨價季刊 昭 4 85 頁
- \* 中國財政部駐滬調查貨價處 上海貨價季刊 同處 大 14 [中華民國第十四年第一季]
- \* 同 修正物價指數報告 昭 6 74 頁 四六倍

- 北支那卸賣物價指數 (東亞 5-12) 昭 7

- 最近十四年間上海卸賣物價指數に就て (上海經濟月報 57) 昭 8

- 上海物價指數の修正 (東洋貿易時報 7-44) 昭 6

- 上海國外滙兌市價表 (上海物價月報 6-6/9) 民 19

- 上海卸賣物價指數 (東亞 5-12) 昭 7

- 上海躉售物價指數比較圖 (上海物價月報 6-6/9) 民 19

- 上海躉售物價指數表 (上海物價月報 6-6/9) 民 19

- 上海輸出入物價指數 (錢業月報 6-12) 民 16
- 上海輸出入物價指數表 (上海物價月報 6-6/9) 民 19

## XXII. 雜

- 上田 藤十郎・堀江 保藏 日本貨幣史參考表 (經濟史研究 5) 昭 5
- \*荒木 豐三郎 日本古代紙幣類鑑 京都 菊 (非賣)  
1卷 昭 5 42頁 5卷 昭 6 65頁  
2卷 昭 5 57頁 6卷 昭 6 52頁  
3卷 昭 6 50頁 7卷 昭 7 62頁  
4卷 昭 6 73頁 8卷 昭 7 本文索引
- \*橋本 戊子郎 商業數學度量衡貨幣及利息算 東京 內田老鶴園 大 8 377頁
- 入江 整三 貨幣の取扱方 (郷土史研究講座 11) 昭 7
- \*加賀 金銀店 古金銀貨幣圖錄便覽 昭 5
- \*改造 社 經濟學辭典 上・中・下卷 東京 同社 昭 8 1079頁 四六 [經濟學全集 56/58]
- \*金融研究會 中華民國貨幣制度及銀問題文獻集錄 東京 同會 昭 6 171頁 菊 調書 第 5編 中華民國幣制と金融 附 其一 [非賣]
- \*鬼頭 仁三郎 英吉利地金論爭書目解説 (東京商科大學研究年報 商學研究 1 抜刷) 昭 7 8頁 菊 [非賣]
- \*近藤 守重 金銀圖錄 4冊 昭 1
- \*中橋 掬泉 新撰古錢大鑑 東京 紅玉堂 昭 3
- \*日本評論社 金融大辭典 1/3卷 附: 金融關係法令集 1808頁 368頁 昭 9 四六倍
- 貫井 銀次郎 我が愛藏の古錢書 (歴史公論 3-13) 昭 9
- \*小川 文夫 貨幣寶鑑 東京 丸文商會 昭 5
- 大畑 文七 貨幣史に於ける資料の二三 (拓殖大學論集 1-2) 昭 6
- \*大藏省理財局 西比利亞通貨一覽表 大 8
- \*大阪商科大學經濟研究所 經濟學辭典 I/V 卷 索引 1卷 東京 岩波書店 昭 5/7 2767頁 385頁 四六倍
- 笠 信太郎 マルクス主義貨幣論の文獻若干 (新興科學の旗のもとに 1-3) 昭 3
- \*佐野 英山 新撰大正古錢價附 同人 大 8
- \*同 重訂鑄貨圖錄 大阪 同人 大 9
- \*同 藩札圖錄 附錄共 5冊 大阪 大 10
- \*下間 寅之助 大日本古紙幣明鑑 虎僊樓書店 大 11
- \*杉本 正幸 世界貨幣圖 大 14
- 鈴木 平吉 戰後貨幣價值基落問題に關する文獻 (商學研究 1-1/2) 大 10
- \*上海銀行週報社 咸豐大錢考 (銀行週報第四百號增刊)
- 高島 佐一郎 外國爲替文獻と爲替利潤の源泉 (國民經濟雜誌 31-6; 32-5) 大 10, 11
- 竹村 豐太郎 ボンド貨幣を主題とする近著三種を讀む (商學論叢 5) 昭 7
- 田中 啓文 古錢の趣味と研究 (歴史公論 3-13) 昭 9
- \*東 光 園 日本貨幣紙幣全集 同園 大 12
- \*得能 良介 大日本貨幣精圖 大 11
- \*塚本 豐次郎 貨幣沿革圖錄 愛久商會 大 10 164頁 [非賣]
- \*造幣 局 日本新舊貨幣圖 東京 昭 3
- \*同 各國貨幣の模様調査資料 大阪 昭 5
- 明治紙幣史年表 (經濟史研究 3) 昭 5
- 明治紙幣通用期間圖表 (經濟史研究 3) 昭 5
- 最近金解禁問題の文獻 (財政經濟時報 16-4) 昭 4
- 政府紙幣一覽表 (經濟史研究 3) 昭 5

Foreign Section

## ABBREVIATION

A.=Archiv  
 Abdr.=Abdruck(e)  
 Abh.=Abhandlung(e)  
 Abt.=Abteilung(en)  
 acad.=academy  
 Akad.=Akademie  
 Am.=American  
 Ann.=Annal, annual, Annale, Annalen  
 assoc.=association  
 Aufl.=Auflage  
 Ausg.=Ausgabe(n)  
 Bd.(e)=Band (Bände)  
 Bearb. (bearb.) = Bearbeitung, Bearbeiter (bearbeitet)  
 Ber.=Berichte  
 Berücks.=Berücksichtigung  
 bes.=besonder  
 Bespr.=Besprechung  
 Bibl. (bibl.)=Bibliothek (bibliothèque)  
 Bl.=Blatt, Blätter  
 Boll.=Bolletino  
 Bull.=Bulletin  
 comp.=compiled, compiler  
 dargest.=dargestellt  
 Dept.=Department  
 Dict.=Dictionary  
 Dt.=Deutsch  
 Diss.=Dissertation  
 ed.=editor, edition, edizione  
 éd.=édition  
 Einf.=Einführung  
 Einl.=Einleitung  
 Encycl.=Encyclopaedia, Encyclopédie  
 enl.=enlarged  
 Erg.-Bd.=Ergänzungs-Band

Erg.-H.=Ergänzungs-Heft  
 Erl. (erl.)=Erläuterung (en), (erläutert)  
 Forsch.=Forschungen  
 Gaz.=Gazette  
 H.=Heft  
 HB.=Handbuch  
 hist.=histoire, historical, historisch, history  
 Hrsg. (hrsg.)=Herausgabe, Herausgeber, (herausgegeben)  
 HWB.=Handwörterbuch  
 Impr.=Imprimerie  
 Inst.=Institut, Institute  
 Int. (Internat.)=International  
 J.=Journal  
 JB.=Jahrbuch  
 jurist.=juristisch  
 Lehrb.=Lehrbuch  
 Lfg.=Lieferung  
 Lib.=Librairie  
 M.=Monthly  
 Mag.=Magazine  
 MH.=Monatsheft  
 Mitarb.=Mitarbeiter, Mitarbeit  
 Mitt.=Mitteilung  
 Mitw.=Mitwirkung  
 Nachr.=Nachrichte  
 Nachtr.=Nachtrag  
 N. F.=Neue Folge  
 Nouv.=Nouvelle  
 österr.=österreichisch  
 Pr.=Press, Presse  
 preuss.=preussisch  
 Pt.=Part  
 R.=Review, Révue, Rivista  
 Repr.=Reprinted

rev.=revised, revue  
 Q.=Quarterly  
 Rdsch.=Rundschau  
 Sachreg.=Sachregister  
 Samml.=Sammlung  
 Schr.=Schriften  
 Sci.=Science  
 S. d. N.=Société des Nations  
 ser.=series  
 sér.=série  
 Soc.=Society, Société, Società  
 Suppl. (suppl.) = Supplement (supplement, supplément)  
 T.=Tome  
 tir=tirage  
 TL.(e)=Teil(e)  
 trad.=traduction, traduit  
 transl.=translated, translation, translator  
 Uebers. (übers.)=Uebersetzer, Uebersetzung, (übersetzt)  
 Uebertr.=Uebertragung  
 Umschl.=Umschlag  
 Univ. (univ.) = Universität, university, université  
 verb.=verbessert  
 Verl.=Verlag  
 VJH.=Vierteljahrheft  
 VJSchr.=Vierteljahresschrift  
 Vol.(s)=Volume(s), Volumi  
 Volksw.=Volkswirtschaft  
 vollst.=vollständig  
 W.=Weekly  
 WB.=Wörterbuch  
 Wiss. (wiss.) = Wissenschaft, (wissenschaftlich)  
 Z.=Zeitschrift  
 Ztg.=Zeitung

Alb.=Albania  
 Arg.=Argentina  
 Aust.=Austria  
 Austral.=Australia  
 Belg.=Belgium  
 Boliv.=Bolivia  
 Braz.=Brazil  
 Bulg.=Bulgaria  
 Can.=Canada  
 Colom.=Colombia  
 Czecho.=Czecho-Slovakia  
 Den.=Denmark  
 Egy.=Egypt  
 Eng.=England  
 Esto.=Estonia  
 Fin.=Finland  
 Fr.=France

Ger.=Germany  
 Gr.=Greece  
 Guate.=Guatemala  
 Hun.=Hungary  
 Ind.=India  
 Ire.=Ireland  
 Jugo.=Jugoslavia  
 Lat.=Latvia  
 Lith.=Lithuania  
 Luxem.=Luxemburg  
 Manchou.=Manchoukuo  
 Mex.=Mexico  
 Mongo.=Mongolia  
 Mor.=Morocco  
 Netherl.=Netherlands  
 Norw.=Norway  
 N. Z.=New Zealand

Pan.=Panama  
 Para.=Paraguay  
 Pers.=Persia  
 Pol.=Poland  
 Port.=Portugal  
 Rou.=Roumania  
 Sp.=Spain  
 Swed.=Sweden  
 Switz.=Switzerland  
 Turk.=Turkey  
 U.S.A.=United States of America  
 U.S.Afr.=Union of South Africa  
 U.S.S.R.=Union of Soviet Socialist Republics  
 Venez.=Venezuela

## INTRODUCTORY REMARKS

### I. General Principles Followed in the Compilation of this Bibliography.

1. In compiling this Bibliography an impartial attitude has been maintained throughout in the selection of materials, and copiousness of literature as well as accuracy of description, has been aimed at to the greatest possible extent.

2. The scope of this Bibliography is limited to works written in Japanese, English, German, French, and Italian. The works in Russian that are listed, with only their titles translated into English or German, are marked [Russ.] at the end of the descriptive entries.

3. Works in this Bibliography are chiefly books, articles contributed to leading periodicals, items appearing in authoritative dictionaries of economics, essays published in commemoration publications, etc. Newspaper articles are limited to those that have been contributed to foreign newspapers dealing with money and finance.

4. Only works published between 1919 and 1934 are included in this Bibliography.

5. Works included are first divided into (I) Japanese and (II) Foreign. Each of these sections is then classified by subjects, and works coming under each heading are listed in the alphabetical order of the authors' names. In the Japanese Section such arrangement is based on the Nippon-siki Romaji spelling of the authors' names, which is slightly different from the Hepburnian system of Romanization. The same rule is followed also in the case of foreign authors' names.

6. In the Foreign Section, English is chiefly used, when making descriptive entries, except in cases where it is deemed more convenient to use words belonging to other foreign languages, such as Aufl., Bd., éd., T., instead of ed., and Vol.

### II. Subject Matter.

#### A. Classification.

1. Works covering two or more classified subjects are listed under each heading.

2. Works dealing with general principles, or those covering various

countries in a general way, are included under the heading "General", and those having reference to some particular countries are listed under "Individual countries".

i. Regions, such as, India, Canada, New Zealand, and other self-governing British dominions, and the French territory of Morocco are treated here as individual countries. Thus, works having reference to these regions are listed under each separate heading.

ii. Works covering four or more countries are listed under the heading "General", instead of under "Individual countries".

3. Interpreting the functions of money in the section "Nature and Functions of Money" (I, 3) in a wide sense, works dealing with the uses of money are also listed here.

4. Under the heading "History of Monetary Theories" (V) are included works presenting various monetary theories, or giving commentaries thereon or the names of men more or less connected with those theories.

5. Under the heading "Gold Problems and Policies" (VII) are included works dealing with all the problems and policies of gold other than the gold standard system. The same is the case with "Silver Problems and Policies" (VIII).

6. Under the heading "Monetary Systems" (X) are also included works dealing with the conditions and history of money.

7. Under the heading "Gold Standard" (XI) are listed works dealing with the theories, policies and practical working of the system. In the Foreign Section works dealing with the Gold Bullion Standard are referred to the heading "General" of the Gold Standard.

8. Cross reference is made between the sections "Parity of Value" (XV) and "Stabilization of the Value of Money" (II, 3).

9. Under the heading "Commentaries on Laws relating to Money, Prices, and Exchange" (XX) are included works dealing with the Laws relating to the Bills of Exchange. For the latter also refer to the section "Credit Currency and Deposit Currency" (IV).

10. Under the heading "Miscellaneous" (XXII) are listed illustrations, dictionaries, bibliographies, annual reports, etc.

11. At the end of this volume, supplementing the Table of Contents, the Subject Index is appended so as to facilitate reference.

## B. Books.

1. Books are distinguished from articles contributed to periodicals and others by affixing "\*" before the author's name.

2. In the Foreign Section articles reprinted in book form from periodicals are so indicated by the abbreviation "Repr."

3. Typewritten or mimeographed articles are excluded as a rule.

4. Descriptive entries are entered in the following order: author, title, volume, edition, place of publication, name of publisher, date of publication, number of pages, and size. Books belonging to a series are so indicated by giving the name of the series at the end.

### a. Authors.

i. Books of joint authorship are listed according to the author's name given first on the title-page.

ii. Such prefixes as *de*, *von*, and *van* occurring before the surnames of certain authors have been placed after the surname, so that books written by those authors are listed according to the author's surname without such prefixes.

iii. Books of corporate authorship are sometimes arranged according to the title of the book.

iv. The compiler of any book is distinguished from the author by the abbreviation (comp.) or (Hrsg.) placed after the name.

b. The main title is given in full, but the sub-title is sometimes omitted.

c. Of the books that have gone through several editions the date of the latest edition is given, but in case the date of the first edition is deemed necessary, such date is given in square brackets at the end of the descriptive entries.

d. In indicating the number of pages, the character 頁 is used for Japanese books and "p." for foreign books, instead of "ss." or "pp." Small Roman figures show the number of pages of preliminary and colophon.

e. Sizes are indicated by such terms as 四六倍, 菊, 四六, 三五, 袖珍 in the Japanese Section, while in the Foreign Section "\*" is placed in the upper right-hand corner of Arabic figures. No particular indication as to the size of the page is given.

f. In the Foreign Section Arabic figures are used to indicate the volume of books published in a series. Dissertations are marked [Diss.] or [Thèse].



### C. Contents.

1. Chief contents of books are given when such detail is deemed necessary and is possible.

2. In case of duplicate entry, giving the contents in one section, but not in the other, reference is made to the former entry with the indication "For *contents* see . . ." together with the classification marks in the latter entry.

3. Figures such as I, 1, i are used to denote various parts, chapters and sections in the contents, respectively. A, a, /, aa are also made use of as auxiliary symbols for similar or further divisions in the contents.

### D. Articles contributed to periodicals.

1. Periodicals listed here are limited to leading Japanese and foreign journals dealing with economic problems, so that some periodicals that are considered indispensable in other fields have been left out.

2. Descriptive entries are made in the following order: writer, title, periodical to which the article has been contributed, volume and number of the periodical, number of pages occupied by the article (which is omitted in the Japanese Section, but is given in the Foreign Section when known), date of publication of the periodical.

a. The writer's name has been treated in the same way as in the case of books.

b. Titles of great length have sometimes been omitted or cut short.

c. In the Japanese Section the titles of periodicals are given in full, while in the Foreign Section they are abridged. Their full titles are found in the List of Periodicals in Foreign Languages at the end of this Bibliography.

d. The volume is indicated by Arabic figures in heavy type, while the number is shown by ordinary Arabic figures, a dash being inserted between the two figures. In the Foreign Section, the year (Jahrgang, Année) indicates the volume.

i. In some cases the running number is given instead of the volume.

ii. In other cases the month or the day of publication is given instead of the number.

iii. Articles extending over several succeeding numbers are indicated by "/", and those contributed intermittently are shown by ",".

e. The number of pages given here does not necessarily mean the number of full pages, as the article may start or end anywhere on the page. In exceptional cases reference is made to the actual page-numbers in the periodical containing such article.

3. The order of arrangement is the same as in the case of books. But in the Japanese Section articles wanting the authors' names are grouped together and placed at the end of each classified heading.

### E. Dictionaries.

Items contained in dictionaries are classified in much the same way as in the case of periodicals.

### F. Collections of Essays, etc.

These are also treated in much the same way as in the case of articles contributed to periodicals. The title of the collection containing the essay is placed in square brackets, and in the Foreign Section "In:" is affixed. In the Japanese Section it has been found convenient to treat such collections as books, giving the number of pages occupied by the essay.

### G. Index.

1. The Subject Index is added to supplement the table of Contents for the purpose of reference, subjects being indicated by classification marks, instead of by the actual page-numbers.

2. In the Author Index are included the names of authors, corporate authors, compilers, or translators, together with the names of the persons quoted or referred to, and also the names of the persons mentioned in the contents.

i. Books or articles written under pseudonyms have been grouped together and placed at the end of the Index.

ii. The Arabic figures in square brackets following the page-number indicate the number of articles by the same author listed in the page of the Bibliography.

## ORGANIZATIONS FOR COMPILATION

1. The compilation of this Bibliography has been conducted under the direction of Dr. Siro Kawada, President of the Osaka University of Commerce and of the Institute for Economic Research. As the organ for deciding the general principles in the work of compilation, the faculty of the Osaka University of Commerce has been appointed the General Committee for Compilation.

2. The General Committee for Compilation, serving as the Standing Committee for the compilation of succeeding volumes, appoints a Special Committee for compiling each volume. For the present work, Part I of "Money and Finance," the late Dr. Hisasi Matuzaki, Prof., Tomisaburo Takezima, Prof., Kazumasa Kusumi of the Higher Commercial Department, Keitaro Koizumi, Assistant Prof. of the University, and Isao Koizumi, assistant, Syozo Yosida, assistant, Sigesi Iida, member of the Institute for Economic Research, Minoru Taira, member of the Institute, have served on the Special Committee.

3. With the co-operation of the two above-mentioned bodies, the actual work of compiling this section of the Bibliography has been carried out by Dr. Wataro Kanno, Professor of the Osaka University of Commerce, Yukio Komatu, Kenzi Yamanaka, Eisuke Yamamoto, Takehumi Umeda, members of the Institute.

## Contents

<b>I. Money in general</b> . . . . .	1
1. General (incl. the Theory of Money) . . . . .	1
2. Origin and Development of Money . . . . .	26
3. Nature and Functions of Money . . . . .	27
4. Kinds of Money . . . . .	31
<b>II. Value of Money</b> . . . . .	34
1. General . . . . .	34
2. Quantity Theory of Money . . . . .	39
3. Stabilization of the Value of Money . . . . .	40
a. General . . . . .	40
b. Individual countries . . . . .	55
<b>III. Creation and Circulation of Money</b> . . . . .	97
1. Creation of Money . . . . .	97
a. General . . . . .	97
b. Individual countries . . . . .	99
2. Circulation of Money . . . . .	100
a. General . . . . .	100
b. Individual countries . . . . .	106
<b>IV. Credit Currency and Deposit Currency</b> . . . . .	109
a. General . . . . .	109
b. Individual countries . . . . .	116
<b>V. History of Monetary Theories</b> . . . . .	120
<b>VI. Monetary Problems and Policies</b> . . . . .	130
a. General . . . . .	130
b. Individual countries . . . . .	151
<b>VII. Gold Problems and Policies</b> . . . . .	188
a. General . . . . .	188
b. Individual countries . . . . .	207
<b>VIII. Silver Problems and Policies</b> . . . . .	220
a. General . . . . .	220
b. Individual countries . . . . .	225
<b>IX. Inflation, Deflation and Reflation</b> . . . . .	229
a. General . . . . .	229
b. Individual countries . . . . .	237

<b>X. Monetary Systems</b> . . . . .	245
a. General . . . . .	245
b. Individual countries . . . . .	252
<b>XI. Gold Standard</b> . . . . .	281
1. General . . . . .	281
a. General . . . . .	281
b. Individual countries . . . . .	287
2. Gold Exchange Standard . . . . .	291
a. General . . . . .	291
b. Individual countries . . . . .	292
3. Abandonment of and Return to the Gold Standard . . . . .	292
a. General . . . . .	292
b. Individual countries . . . . .	294
<b>XII. Silver Standard and Bimetallism</b> . . . . .	298
a. General . . . . .	298
b. Individual countries . . . . .	298
<b>XIII. Bank Notes and Paper Money</b> . . . . .	300
a. General . . . . .	300
b. Individual countries . . . . .	303
<b>XIV. Managed Currency and Ideal Money</b> . . . . .	309
<b>XV. Parity of Value</b> . . . . .	314
a. General . . . . .	314
b. Individual countries . . . . .	314
<b>XVI. Prices</b> . . . . .	317
1. General (incl. the Theory of Prices) . . . . .	317
2. Price Problems and Policies . . . . .	327
a. General . . . . .	327
b. Individual countries . . . . .	342
3. History of Prices . . . . .	350
a. General . . . . .	350
b. Individual countries . . . . .	354
<b>XVII. Exchange</b> . . . . .	363
1. General (incl. the Theory of Exchange) . . . . .	363
2. Exchange Problems and Policies . . . . .	369
a. General . . . . .	369
b. Individual countries . . . . .	381
3. History of Exchange . . . . .	399
a. General . . . . .	399
b. Individual countries . . . . .	401
4. Practice of Exchange . . . . .	405
a. General . . . . .	405
b. Individual countries . . . . .	407

<b>XVIII. International Monetary Problems and Policies</b> . . . . .	409
1. General . . . . .	409
2. International Monetary Conferences and Unions . . . . .	411
3. International Monetary Systems . . . . .	414
<b>XIX. Monetary Problems and Policies concerning Trade Cycles (<i>Konjunktur</i>)</b> . . . . .	416
a. General . . . . .	416
b. Individual countries . . . . .	425
<b>XX. Commentaries on Laws relating to Money, Prices and Exchange</b> . . . . .	428
a. General . . . . .	428
b. Individual countries . . . . .	434
<b>XXI. Commentaries on Statistics of Money, Prices and Exchange</b> . . . . .	461
a. General . . . . .	461
b. Individual countries . . . . .	464
<b>XXII. Miscellaneous</b> . . . . .	469

## I. Money in general

### 1. General

**Abraham, H. F.** *Recht und Wahrung.* [Entwertungsklausel] (Dt. Juristen-Ztg. 36-20, 6 p.) 1931

\***Abrams, M. A.** *Money and a changing civilization.* London: Lane 1934. iii, 125 p. 8°. [Twentieth century library]

Introduction. 1. Is money necessary? 2. Money and production. 3. Can price stabilization help? 4. Is neutral money possible? 5. The gold standard. 6. The gold standard since the War. 7. The future of money. Bibliography.

**Aftalion, A. W. Oualid:** *Leçons sur la monnaie et les problèmes monétaires.* (R. d'écon. pol. 42-1, 1 p.) 1928

\*— *Monnaie et industrie.* Les grands problèmes de l'heure présente. Paris: Recueil Sirey 1929. vii, 262 p. 8°

Avant-propos. 1. La monnaie et le change. 2. Les nouvelles expériences monétaires de 1927/28. Stabilité de fait, inflation et prix. 3. L'assainissement monétaire et la stabilisation légale en France. 4. La stabilisation des prix. "monnaie dirigée" et crises périodiques. 5. La prévision du mouvement des affaires. i. Le problème des prévisions économiques aux Etats-Unis. ii. Le problème des prévisions économiques en France. 6. L'organisation de l'industrie française et la concurrence internationale. 7. L'épargne française et l'industrie nationale. 8. Les interprétations erronées de la statistique des prix. 9. Les dangers du socialisme.

\*— *Monnaie, prix et change.* Expériences récentes et théorie. Nouv. tir. Paris: Recueil Sirey 1933. vii, 353 p. 8°

I. Les expériences monétaires récentes. 1. La circulation, les prix et le change en France depuis 1914. 2. La circulation, les prix et le change en Europe depuis 1914.

II. La théorie de la monnaie d'après les expériences récentes. 1. La théorie quantitative de la monnaie. a. Première forme de la théorie quantitative. La contradiction des faits. b. Deuxième variante de la théorie quantitative. c. La théorie monétaire de J.-M.

Keynes. 2. La théorie du revenu en matière monétaire. a. L'enseignement de certaines des expériences monétaires récentes. L'influence du change sur le revenu et du revenu sur les prix. b. Principes de la théorie du revenu. c. La théorie du revenu du professeur von Wieser. d. Différences avec la théorie quantitative. e. L'explication par la théorie du revenu des cas de concordance et des cas de discordance entre circulation et prix. L'explication historique du niveau des prix. 3. Théorie psychologique de la monnaie. a. Les expériences monétaires récentes et la dépréciation directe de la monnaie. b. Eléments qualitatifs et quantitatifs entrant dans la détermination de la valeur de la monnaie. c. Fondements psychologiques de la théorie monétaire. Les éléments qualitatifs tenant à la monnaie. 4. La théorie générale de la valeur et la théorie psychologique de la monnaie. a. Les conceptions modernes du fondement de la valeur et de la loi de l'offre et de la demande. L'oubli de ces conceptions dans la théorie de la monnaie. b. Exposé récapitulatif de la théorie psychologique de la monnaie. Les trois degrés de l'explication.

III. La théorie du change d'après les expériences récentes. 1. Les théories dominantes du change. a. La théorie de la balance des comptes. b. La théorie quantitative de la monnaie comme théorie du change. c. La théorie de la parité des pouvoirs d'achat. 2. Théorie psychologique du change. a. Fondements psychologiques du change. Les estimations individuelles. b. Le cours du change sur le marché. La balance des offres et des demandes à un certain prix. c. Les facteurs des variations du change. d. Le change des monnaies d'or et le change du papier-monnaie. e. Conclusions sur le change. La théorie générale de la valeur et la théorie psychologique du change.

**Alberti, M.** *Moneta, politica della moneta e bufere monetarie.* (Economia. 7, p. 3 seq.) 1931

**Allix, E.** *Une théorie psychologique de la monnaie et du change.* (R. pol. et parl. 403, 14 p.) 1928

**Amonn, A. L.** *Walras: Theorie des Geldes.* Eine Entgegnung [an Alfred Amonn zu dessen Kritik der Walras-Uebersetzung von Kerschagl u. Raditz.] (A. f. Sozialwiss. 51-3, 2 p.) 1924

**Andrae, W.** Einführung in die Grundgedanken der universalistischen Geldlehre. (Nationalwirtschaft. 3-5/6, 23 p.) 1930

**Angell, J. W.** Monetary theory and monetary policy. (Q. J. of Econ. 39-2, 33 p.) 1925

— Money, prices and production: some fundamental concepts. (Q. J. of Econ. 48-1, 38 p.) 1933

\***Angell, N.** The story of money. Garden City, New York: Stokes 1929. 411 p. 8°

1. Why the story of money concerns us?
2. The moneyless civilizations.
3. Groping towards the money device.
4. The first money.
5. Money in Greece and Rome.
6. Gold and the rise and fall of civilization.
7. Money illusions throughout the ages.
8. Money lending, the church and the Jew.
9. Money kings and kingdoms of the past.
10. Paper money experiments throughout history.
11. Money in America from Hamilton to the Federal Reserve.
12. The Federal Reserve system and its critics.
13. When the modern money device broke down.
14. The great monetary problem: What the experts say?

Anpassung und Entspannung. 1. Abklingende Konjunktur. 2. Die Geld. 3. Die Märkte. 4. Die Rohstoffmärkte. (Mag. d. Wirtschaft. 4-52, 14 p.) 1928

A propos de nouvelles théories monétaires (R. du travail. 37-7, 14 p.) 1934

\***Arnauné, A.** La monnaie, le crédit et le change. T. 1: La circulation, ses instruments, son mécanisme. 7. éd. Paris: Alcan 1926. xxxiv, 315 p. 8°

1. La monnaie.
2. La monnaie (suite).
3. La circulation fiduciaire.
4. Le mécanisme de la circulation.
5. Le mécanisme de la circulation (suite).
6. Relations de place à place.
7. Théorie de la valeur des changes étrangers. Relations entre pays possédant le même étalon métallique.
8. Théorie de la valeur des changes étrangers. Relations entre pays n'ayant pas le même étalon.
9. Des causes de la valeur des monnaies.
10. Le gage de la circulation fiduciaire.

\***Arthuys, J.** Le problème de la monnaie, son importance, comment il se pose aujourd'hui, l'avalissement du franc et ses conséquences. Paris: Valois 1921. 192 p. 12°

1. Considérations générales sur les monnaies et sur leur affaiblissement ou dépréciation.
2. La dépréciation du franc et la vie française.

\***Asch, S.** Monnaie et finance. Le rôle de la Banque des Règlements Internationaux après l'étalon or. Paris: Alcan 1932. vii, 134 p. 12°

- Avant-propos. Introduction.
1. Analyse monétaire-terminologie. 1. La

monnaie-passive. i. La "monnaie-transac-tion." ii. La "monnaie-régularisation." iii. La "monnaie-épargne." 2. La monnaie-active. i. La "monnaie-inflation." ii. La "monnaie-adaptée." iii. La "monnaie de nécessité." (Notgeld).

II. La fonction monétaire de la B. R. I. 1. La fonction monétaire dans l'intérieur d'une économie. 2. La fonction monétaire dans les rapports entre les nations.

III. La fonction financière de la B. R. I. 1. Le dénouement de l' "I. B. B." par la "consolidation d'office." 2. Différence entre la méthode consolidation d'office et la pratique actuelle.

IV. Considérations économiques et sociales. 1. La crise. Son remède. 2. Le chômage. Son remède. 3. La paix sociale et la paix politique. Conclusion.

\***Atlas, Z. V.** Geld und Kredit. 2 Tle. Moskau: Staatsverl. 1930. 459 p. [Russ.]

\***Aust, O.** Geld als wirkende Zahl. Die organisch-funktionale Geldtheorie. Mit einem Mahnruf. Berlin-Charlottenburg: Stab-Verl. 1931. 6 p. [Dt. Bund f. Wirtschaftsreform 1, 1]

\***Bachl, B.** Wert und Geld. Dresden-Blasewitz: Walther 1930. 141 p. 8°

1. Einführung.
2. Warengeld und Kreditgeld.
3. Der Umlauf des Geldes in der Wirtschaft.
4. Der Umsatz zwischen Geld und Kapital.
5. Wert und Geld in der Einzelwirtschaft.
6. Wert und Geld in der Volkswirtschaft.
7. Die Zentralnoten (Zettel) Banken.
8. Wert und Geld im Recht.

\***Baker, A.** Money and prices, a short explanation of the monetary system, and some proposals to restore and maintain prosperity by the regulation of prices and the right use of credit. London: Dent 1931. 216 p. 8°

1. An outside view.
2. An embarrassment of wealth.
3. The quantity theory.
4. The circulation and source of money.
5. Bank credit.
6. A rise and fall of prices.
7. The trade cycle.
8. Gold and the exchanges.
9. The problem of thrift.
10. What is credit?
11. The principles of price.
12. Profits and pensioners.
13. Foreign trade.
14. Conclusions.
15. Defects of the Douglas theory.

\***Bandmann, E.** Was ist Geld? Leipzig: Verb. d. Aerzte Deutschlands. 1933. 22 p. 8° [Repr.: Aerztl. Mitt. 1933]

\***Bang, P.** Geld und Währung. Eine gemein-verständl. Darst. 4. erw. Aufl. München: Lehmann 1933. 68 p. 8°. [3. erw. Aufl. 1932. 59 p.]

\***Barone, E.** Moneta e risparmio: sinossi per uso degli studenti, anno scolastico 1919/20. Roma: Armani 1919. 145 p. 8°. 4 tav.

**Baudin, L.** R.-A. Lehfeldt: Money. (R. d'écon. pol. 41-1, 1 p.) 1927

— M. A. Heilperin: Monnaie, crédit et transfert. (R. d'écon. pol. 47-5, 1 p.) 1933

**Bauer, H.** Geld, Sozialismus und Otto Neurath. [Entgegnung auf Neurath's Aufsatz: Geld und Sozialismus] (Kampf. 16-6, 8 p.) 1923

\***Baxendale, A. S.** Currency: an indictment. London: Palmer 1925. 195 p. 8°

1. Bank rate: History and motive.
2. Bank rate and commodity prices.
3. Money and trade—1846 till 1870.
4. Money and trade—1870 till 1890.
5. Money and trade—1890 till 1903.
6. Money and trade—1904 till 1913.
7. Money and trade—1914 till 1924.
8. Money and trade—1914 till 1924 (contd.).
9. The autumn pressure.
10. Conclusions.
11. Conclusions (contd.).
12. Conclusions (contd.).

\***Belloc, H.** Economics for young people; an explanation of capital, labour, wealth, money, production, exchange, and business, domestic and international. New York: Putnam 1925. viii, 225 p. 8°

\***Bendixen, F.** Währungspolitik und Geldtheorie im Lichte des Weltkrieges. Neue Folge von "Geld und Kapital." 2. durchges. u. verm. Aufl. München, Leipzig: Duncker & Humblot 1919. 182 p. 8°

- I. Zur Währungspolitik. 1. Die Reichsbank vor dem Kriege. 2. Die Reichsbank im Kriege. 3. Die Reichsbank nach dem Kriege. 4. Theorie und Praxis in der Währungspolitik. 5. Die Parität und ihre Wiederherstellung.
- II. Zur Geldtheorie. 6. Das "unlösbare" Geldproblem. 7. Das Geld als Tauschgut. 8. Der Kampf um den Geldwert. 9. Geld und Einkommen. 10. Kriegsanleihen und Inflation. 11. Die Bestimmungsgründe der intervalutarischen Kurse. 12. Vom Ein-Reserve-System zur Befreiung vom Golde.

\*— Geld und Kapital. Ges. Aufsätze. 3. Aufl. Jena: Fischer 1922. vi, 222 p. 8°. [1. Aufl. 1912. 187 p.]

- I. Zur Theorie des Geldes. 1. Fünf Jahre Geldtheorie (1911). 2. Der Geldbegriff (1912). 3. Zur Frage der Definition des Zahlungsmittels und der Wertseinheit (1920). 4. Vom Geldwert (i) (1910). 5. Vom Gelde als Generalnenner (1919). 6. Vom Geldwert (ii) (1912). 7. Geldwert und Goldwährung (1910). 8. Das Gold im internationalen Verkehr (1910). 9. Die Geldschöpfung (1912). 10. Bemerkungen zur Geldschöpfungslehre (1919). 11. Vom theoretischen Metallismus (Eine Kritik der Lehre Karl Diehls) (1919). 12. Nominalismus und Metallismus (Eine Entgegnung an L. von Bortkiewicz) (1919).

II. Die Reichsbank und ihre Politik. 13. Der Charakter der Reichsbank (1908). 14. Die Reichsbank "auf Kündigung" (1909). 15. Geldknappheit und Notendeckung (1907). 16. Goldeinfuhr und Goldabfluss. Ein Gutachten zur Bankenenquete (1908). 17. Weitere Gutachten zur Bankenenquete (1908). 18. Devisenhandel und Reichsbankausweise (1910). 19. Die Lombardverteuerung an den Quartalterminen (1911). 20. Die Lombardverteuerung in der Praxis (1911).

III. Das Kapital. (Omitted)

**Bentheim, A.** Lagervorräte und Wirtschaftsbesserung. [Zur Debatte im Anschluss an Wagemann "Was ist Geld?" Berlin 1932] (Dt. Oekonomist. 2439, 3 p.) 1932

\***Berliner, S.** Das Geld als Kapital. Stuttgart: Poeschel 1924. vii, 36 p. 8°. [Bücher: Organisation. 4]

**Bilimović, A.** J. M. Keynes: A treatise on money. (Z. f. Nationalökon. 4-2, 7 p.) 1933

\***Blake, H.** Currency and credit before and since 1914. London: Wilson 1923. 99 p. 8°

**Block, H.** Uebersicht der Geldtheorien. (HWB. d. Bankwesens. 5 p.) 1932

\***Bongras, E.** Les théories monétaires allemandes contemporaines. Etude critique de leur évolution. Paris: Recueil Sirey 1930. 200 p. 8°. [Thèse, Paris]

\***Bonine, J. C.** Modern money. Boston: Stratford 1933. 132 p. 12°

\***Bonnard, A.** L'argent. (Notes et maxims.) Paris: Hachette 1928. 60 p.

**Bortkiewicz, L. v.** Geld. 3. Die Messung des Geldwertes. B. Der gegenwärtige Stand des Problems der Geldwertmessung. (HWB. d. Staatswiss. 4. Aufl. 4, 10 p.) 1927

**Bousquet, G.-H.** B. Moll: Logik des Geldes. (R. d'écon. pol. 43-2, 2 p.) 1929

— G. del Vecchio: Grundlinien der Geldtheorie. (R. d'écon. pol. 46-2, 4 p.) 1932

— J. Ohno: Sozial-ökonomische Theorie des Geldes. (R. d'écon. pol. 46-2, 4 p.) 1932

\***Bradford, F. A.** Money. New York: Longmans 1928. viii, 403 p. 8°. [Longman's econ. ser.] [Rev. ed. 1933. viii, 403 p.]

1. The nature and functions of money.
2. The typical monetary system.
3. Bank note issues.
4. The check currency.
5. The circulation of money.
6. The monetary system of the United States.
7. The use of bank notes in the United States.
8. The use of check currency in the United States.
9. The value of money.
10. The quantity theory of money.
11. Government credit money and the value of the standard.
12. Bank credit money and

the value of the standard. 13. Reserves against credit money. 14. The business cycle and the value of money. 15. The control of credit. 16. The desirability of credit control. 17. Foreign exchange. 18. The movements and distribution of gold. 19. International exchange and the value of gold. 20. The standard of value.

\***Bradford, F. A.** Money and banking. New York: Longmans 1934. 938 p. 8°

**Braun, M. S.** Zwei wichtige Beiträge zur Geldtheorie unserer Tage. [Fritz Mises: Theorie d. Geldes u. d. Umlaufmittel. 2. neubearb. Aufl. München u. Leipzig 1924. Fritz Machlup: Die Goldkernwährung. Halberstadt 1925] (Z. f. Volksw. N. F. 5-1/3, 10 p.) 1926

**Bucerius** Geldbegriff und Aufwertung. (Dt. Juristen-Ztg. 31-13, 6 p.) 1926

\***Butchart, J. R.** Money, credit, and exchange; the J. Fisher lecture in commerce delivered in Adelaide, May 1923. Adelaide: 1923. 32 p.

\***Campbell, H. O.** Socialized money. Seattle: 1933. 160 p.

**Campbell, M.** Geld, Kredit und Banken. [In: Die rote Wirtschaft. Probleme u. Tatsachen. Ein Sammelwerk hrsg. von G. Dobbert.] 1932

\***Cannan, E.** Money: its connection with rising and falling prices. 6. ed. London: King 1929. 120 p. 8°. [7. ed. 1932. 127 p.]

I. General principles. i. Introduction. ii. Recognition and measurement of changes in the value of money. iii. The value of money or general level of prices where the unit of account is a fixed quantity of bullion uncoined or coined. iv. The value of money or general level of prices where the unit of account is a coin of which the issue is limited. v. The value of money or general level of prices where the unit of account is a bank note or currency note. 2. Further elucidations. i. The supply of currency and the "Quantity theory." ii. The demand for currency. iii. Banks and prices. iv. The effect of "Cover" on the value of paper currency. v. "Scarcity of commodities" as a cause of high prices. 3. The recent historical example. i. Prices reckoned in gold. ii. Prices reckoned in paper. iii. Restoration of the gold pound.

\*— Modern currency and the regulation of its value. London: King 1931. viii, 112 p. 8°

1. The currency of a modern country. 2. Currency standards. 3. The value of gold-standard currencies. 4. Obstacles to improvement.

\***Carter, M. D.** The story of money. New York: Farrar & Rinehart 1932. xv, 71 p. 12°

\***Cassel, G.** Money and foreign exchange after 1914. London: Constable 1922. vii, 287 p. 8°

1. Abolition of the gold standard. 2. Creation of artificial purchasing power. 3. The rise in prices. 4. The growth of the volume of the means of payment. 5. Arithmetical expressions for increase in circulation and rise in prices. 6. Scarcity of commodities and its bearing on the rise in prices. 7. The influence of inflation on gold. 8. The exclusion of gold. 9. The discount policy and its efficiency as a regulator of the monetary standard. 10. The exchange rates. 11. Deviations from purchasing power parities. 12. Popular misconceptions. 13. Relations to earlier theories on the exchanges. 14. Inflation after the war. 15. Reform programmes. 16. The actual operation and effects of deflation. 17. The retarded diminution of the circulation. 18. The problem of stabilization.

\***Chapman, J. M. & Westerfield, R. B.** Problems in banking, money and credit. New York: Ronald 1927. xxv, 757 p. 8°

1. Introduction. 2. Money and coinage. 3. Credit and credit instruments. 4. Functions and operations of banks. 5. Administration and management. 6. Deposit function. 7. Loans and discounts. 8. Credit analysis. 9. Interbank relations. 10. Financing the business man. 11. Bank investments. 12. Bank earnings and dividends. 13. Bank organization, consolidation and regulation. 14. Foreign exchange. 15. Financing foreign trade. 16. International movement of capital. 17. Non-commercial banking. 18. The small loan business. 19. Agricultural credit. 20. Foreign banking systems. 21. History of banking in the United States. 22. The Federal Reserve system. 23. The money market. 24. Branch banking. 25. Money, credit and prices. 26. Business cycles. 27. Financial panics. 28. Materials for study.

\***Clair, O.** The physiology of credit and of money. London: 1919. 170 p.

\***Clark, V. S.** What is money? Boston: Mifflin 1934. 88 p.

\***Cohn, A. W.** Kann das Geld abgeschafft werden? Hrsg. von A. Weber. Jena: Fischer 1920. vi, 142 p. 8°

Einleit. 1. Erläuterung der Fragestellung. I. Das Wesen des Geldes. 2. Die Dienerrolle des Geldes als Mittler am Markt. 3. Die Herrenrolle des Geldes als Verkörperung von Kaufkraft. II. Die "Abschaffung" des Geldes. A. Die völlige Aufhebung des Geldwesens. 4. Die Grossnaturalwirtschaft. 5. Der

Kommunismus.

B. Die Versuche teilweiser Ausschaltung des Geldes. 6. Die Abschaffung der Geldrechnung. 7. Die Abschaffung der Geldzahlung. 8. Die Abschaffung der Geldhortung. 9. Die Abschaffung des Gelddarlehens.

Schluss. 10. Die Grenzen des Geldes.

\***Cole, G. D. H. & others** What everybody wants to know about money: a planned outline of monetary problems. By nine economists from Oxford. London: Gollancz 1933. 544 p. 8°

I. **Cole, G. D. H.** What is money?

II. — Money and the world crisis.

III. **Harrod, R. F.** Currency and central banking.

IV. **Radice, E. A.** Commercial banks and credit.

V. **Vallance, A.** Foreign trade and the exchanges.

VI. **Mitchison, G. R.** Capital and investment.

VII. **Durbin, E. F. M.** Money and prices.

VIII. **Gaitskell, H. T. N.** Four monetary heretics.

IX. **Clark, C.** Investment, savings and public finance.

X. **Hargreaves, E. L.** Debt.

XI. **Cole, G. D. H.** Socialization of banking.

XII. — Conclusion: The monetary factor—and the other factors.

**Colson, C.** L'indice monétaire et la théorie de la monnaie. (R. pol. et parl. 384, 7 p.) 1926

\***Combat, F.** Etudes de sciences financières. Les effets de commerce, escompte et recouvrement, changes et monnaies, précis théorique et pratique. 3. éd. [2. éd. du "Manuel du Porteuilliste"]. Paris: Berger-Levrault 1920. 8°

**Copeland, M. A.** Money, trade, and prices. A test of causal primacy. (Q. J. of Econ. 43-4, 19 p.) 1929

**Copland, D. B.** Prices and monetary theory. (Econ. Record. 5-8, 6 p.) 1929

\***Cross, I. B.** Money and banking. New York: Am. Inst. of Banking 1931. 544 p. 8°

\***Crowther, S.** Money: how to make it, use it, invest it. Boston: Stratford 1929. 204 p. 12°

Currency and commerce. (Outlook. 1104, 2 p.) 1919

Currency and credit. (Bankers' Mag.—Lond. 944, 8 p.) 1922

\*Currency, banking and finance. London: Labour Party 1932. 11 p.

\***Daniel, T. C.** Real money versus false money—bank credits: the most important factor in civilization and least understood by the people. Washington: Monetary Education Bur. 1924. viii, 338 p. 12°

\***Demaria, G.** Le teorie monetarie e il ritorno all'oro. Torino: Bocca 1928. xiii, 245 p. 8°

\***Despaux, A.** Principes de dynamique monétaire. Paris: Rivière 1925. 526 p. 8°

\***Dick, E.** Der Mensch und sein Geld. Erfurt, Bern: Freiland-Freigeld-Verl. 1922. 24 p. 8°

— Das Geld als Energie. (Freiwirtschaft. 6-5, 3 p.) 1924

\***Diehl, K.** Theoretische Nationalökonomie. Bd. 3.: Die Lehre von der Zirkulation. Wert und Preis—Geld und Kredit. Jena: Fischer 1927. ix, 602 p. 8°

I. Die Lehre von Wert und Preis. 1. Die Wertlehre. i. Aufgabe der Werttheorie. Die grundlegenden Begriffe der Wertlehre. ii. Die objektivistische Werttheorie. iii. Die subjektivistische Werttheorie. iv. Die dualistischen Werttheorien. v. Die Stellung der Wertlehre im System der theoretischen Oekonomie. 2. Die Preislehre. vi. Einleitung in die Preislehre. vii. Allgemeine Preislehre. viii. Besondere Preislehre.

II. Die Lehre von Geld und Kredit. 1. Die Lehre vom Geld. i. Einleitung. Ueber Natur und Entstehung des Geldes. ii. Die Funktionen des Geldes. iii. Einige theoretische Grundprobleme des Geldwesens. iv. Die staatliche Regelung des Geld- und Münzwesens. v. Die metallistischen Währungssysteme. vi. Das Papiergeld. vii. Die Knappsche Geldtheorie. viii. Das Wesen der Valuta. ix. Die Valutaprobleme in England zur Zeit der sog. Bankrestriktion (1797/1821). x. Das Valutaproblem in Deutschland während des Weltkrieges und nach dem Weltkriege (1914/24). xi. Die Wiederherstellung entwerteter Währungen. xii. Die Stabilisierung der deutschen Währung 1923/24. xiii. Die Gegner der Goldwährung. xiv. Die Idee eines Weltgeldes. xv. Soziale Geldreformer. 2. Die Lehre vom Kredit. xvi. Begriffung Arten des Kredits. xvii. Einigetheoretische Grundprobleme des Kreditwesens.

\*— & **Mombert, P.** Zur Lehre vom Geld. 3. verb. Aufl. Karlsruhe: Braun 1920. ix, 216 p. 8°. [Ausgewählte Lesestücke z. Stud. d. pol. Oekon. 1]

I. Merkantilistische Schriften. 1. **Hornigh, v.** Oesterreich über alles (Kap. V. u. IX). 2. **Justi, J. G. H. v.** Staatswirtschaft (1. Tl. § 125, 126, 127, 131, 135, 138, 229). 3. **Mun, Th.** Englands treasure by foreign trade (Kap. IV. V. VI).

II. **Hume, D.** Of money.

III. **Ricardo, D.** The high price of bullion.

IV. **Senior, N. W.** Three lectures on the value of money.

V. **Helferich, J.** Von den periodischen Schwankungen im Wert der edlen Metalle.

VI. **Knies, K.** Das Geld. 2. Aufl. 8. 192—210.

VII. **Knapp, G. F.** Die Währungsfrage vom Staat aus betrachtet.

\***Divisia, F.** L'indice monétaire et la théorie de la monnaie. Paris: Recueil Sirey 1926. 111 p. 8°. [Repr.: R. d'écon. pol. 1925/26]

1. **Ernest-Picard, P.** Allocution.
2. **Herbette, F. & Pictri, F.** Le problème de l'argent.
3. **Pommery, L. & Allix, E.** Les banques d'émission.
4. **Lebée, E. & Celler, A.** Le gold exchange standard.
5. **Rueff, J. & Flandin, P.-E.** Défense en illustration de l'étalon or.

\***Dopsch, A.** Naturalwirtschaft und Geldwirtschaft in der Weltgeschichte. Wien: Seidel & Sohn 1930. xii, 294 p. 8°

\***Dresel, L.** Die Weltgeldidee bis zur französischen Revolution. Berlin: Ebering 1930. 107 p. 8°

Vorrede. Begriffliches. Die Idee des Weltgeldes.

- I. Die Idee des Weltgeldes im 16. Jh. in Deutschland.
- II. Die Idee des Weltgeldes im 16. Jh. in Italien.
  1. Zeitgeschichtliche Bedingungen.
  2. Das Werk des Gasparo Scaruffi "L'Alitnonfo," 1582.
  3. Bernardino Pratisvoli: Considerazioni sopra l'Alitnonfo, Reggio 1604.
- III. Die Entwicklung der Ideen des Weltgeldes in Frankreich vom 16. Jh. bis zur französischen Revolution.
  1. Bodin: Six livres de la République, 6. Buch, Kap. 3.
  2. Die Epigonen des Bodin
  3. Zeitalter Ludwigs XIV
  4. Französische Revolution:

Bis 1793.—In der Nationalversammlung: 1793.—Im Rat der Fünfhundert:

\***Drinkwater, F. H.** Money and social justice. London: Burns & W. 1934. 100 p.

\***Du Puy, W. A.** Money. Boston: Heath 1927. 181 p.

**Ecker, L.** Money and banking. (Harvard Business R. 9-4, 10 p.) 1931

\***Edie, L. D.** Money, bank credit and prices. New York: Harper 1928. xiv, 500 p. 8°

1. Money, currency, and credit.
2. The functions and qualities of money.
3. The gold standard: Origin, development, outlook.
4. Price movements and their consequences.
- 5-6. Bank-note issue.
- 7-8. The Federal Reserve note.
9. Theory of the value of money.
- 10-11. Gold production and prices.
12. The world stock of gold money.
13. The demand for gold.
14. War and prices.
15. The World War and theory of the value of money.
16. The return to gold after the World War.
17. Money and prices in England since 1913.
- 18-19. Price fluctuations and the business cycle.
20. International connections of prices: Gold standard.
21. International connections of prices: Inconvertible paper standards.
- 22-23. Control of the price level.

\***Ejges, S.** Das Geld im Talmud. Versuch einer systematischen Darstellung d. wirtschaftl. Geldtheorie u. -praxis nach Talmud. Quellen. Wilna: Garber 1930. v, 96 p. 8°. [Diss.]

\***Elbogen, P.** Kometen des Geldes. Wien: Elbemühl 1933. 272 p. 8°

\***Ellenberger, H.** Die absolute Währung im Lichte der modernen Preis- u. Geldtheorie. Offener Brief an Herrn F. Schwarz. Bern: Steiger 1923. 16 p. 8°

\***Ellis, H. S.** Monetary theory in Germany in recent years. 1930. [Diss. Harvard]

\*— German monetary theory, 1905/33. Cambridge, Mass.: Harvard Univ. Pr. 1934. 477 p. [Harvard econ. stud. 44]

- I. The nature of money and its value.
  1. Types of theory as to the nature of money.
  2. The state theory of money.
  3. Orthodox nominalism.
  4. The supply and demand theory.
  5. The marginal utility theory.
  6. Metallism.
  7. Conclusions as to the nature of money and its value.
- II. The determination of price levels.
  8. The quantity theory: Transactions approach.
  9. The quantity theory: Cash balance approach.
  10. The opposition to the quantity theory.
  11. Conclusions regarding price level determination.
- III. Price levels and foreign exchange under inflation.
  12. Types of theory as to price levels and exchanges.
  13. The inflation theory.
  14. Balance of payments theories.
  15. Synthesizing views of causation under inflation.
  16. Conclusions as to cause and effect under inflation.
- IV. Business cycles.
  17. Origins and division of the monetary explanation.
  18. The Schumpeter-Hahn type of cycle theory.
  19. The Mises-Hayek analysis of cycles.
  20. Other exponents of credit theories.
  21. Quality of credit and the business cycle.
  22. Outcome of the credit theories of cycles.

\***Elster, K.** Die Seele des Geldes. Grundlagen und Ziele einer allgemeinen Geldtheorie. Jena: Fischer 1920. xvi, 371 p. 8°. [2. Aufl. 1923. 442 p.]

Einleit.: Staatliche und wirtschaftliche Geldtheorie.

- I. Das Geld und die Wirtschaft.
  1. Das Zahlungsmittel als Ausgangspunkt der staatlichen Theorie.
  2. Zur Theorie der modernen Gemeinwirtschaft.
  3. Das Geld als Beteiligungsmöglichkeit am Sozialprodukte.
  4. Das Geld als Beteiligungsmittel am Sozialprodukte, als Zahlungsmittel.
  5. Zur Theorie der Zahlgemeinschaft.
  6. Zur Dogmatik des Zahlungsverkehres und zur Systematik der Zahlungsmittel.
  7. Das Geld als Beteiligungsmass am Sozialprodukte, als Werteinheit.
  8. Zur Synthese der Geldbegriffe.

II. Das Geld und die Güter.
 

1. Zum terminus "Sozialprodukt."
2. Die Anweisungstheorie bei Schumpeter und Bendixen.
3. Von Bendixens Kapitalstheorie.
4. Der geldtheoretische Kapitalbegriff.
5. Vermögen und Einkommen.
6. Geldmenge und Geldmengendynamik.
7. Die Geldprobleme und das Geldproblem.

III. Das Geld im Staate; die Währung.
 

1. Der Staat und die Werteinheit.
2. Der Staat und das Zahlungsmittel.
3. Die Währung.
4. Die Geldschöpfung.
  - i. Die Geldschöpfung im deutschen Reiche bis zum Ausbruche des Weltkrieges.
  - ii. Die deutsche Kriegesinflation.
5. Die Geldschöpfungslehre Bendixens.
6. Die Geldschöpfungslehre Bendixens in der bisherigen Geldliteratur.
7. Kritik der Geldschöpfungslehre Bendixens.
8. Die deutsche Währung der Zukunft.

IV. Das Geld im zwischenstaatlichen Zahlungsverkehr; die Valuta.
 

1. Vom Wesen des fremden Geldes.
2. Vom intervalutarischen Kurse.
3. Vom intervalutarischen Pari.
4. Ueber Exodromie.
5. Die deutsche Reichsmark im Kriege und nach der Revolution.
6. Synchronismus: —Weltgeld? Schlusswort: Grundlagen und Ziele.

\***Elster, K.** Die deutsche Not im Lichte der Währungstheorie. Gesammelte Aufsätze. Jena: Fischer 1921. v, 124 p. 8°

— Geld. (Polit. HWB. 1, 6 p.) 1923

— Währung. (Polit. HWB. 2, 5 p.) 1924

\*— Vom Strome der Wirtschaft. Betrachtungen zur Wirtschaftswissenschaft. Tl. 2. Primäre Erscheinungen der Geldwirtschaft. Jena: Fischer 1932. ix, 301 p. 8°

**Elster, L.** Geldwirtschaft. (WB. d. Volksw. 4. Aufl. 2, 2 p.) 1932

\***Enea, G.** Evoluzione della teorica monetaria emersa nello Stato nazionale. Roma: Mantellate 1929. 127 p. 8°

\***Engländer, O.** Theorie der Volkswirtschaft. Tl. 2. (Schluss): Geld und Kapital. Wien: Springer 1930. vi, 203 p. 8°

I. Geld als Umlaufmittel.
 

1. Geld ohne Eigenwert—Barverkehr.
2. Stundung, Forderungsverkehr, Leihe.
3. Geld mit Eigenwert.
4. Der Verbraucherzins.

II. Das Kapital.

A. Einstufige Erzeugung.
 

5. Entstehung und Höhe des Kapitalzinses.
6. Kapital verschiedener Wirksamkeit.
7. Bewegungsercheinungen.
8. Der Unternehmergewinn.
9. Verschiedene Güterarten gegebener Menge.
10. Die Preise bei einstufigem Kapitalismus.

B. Mehrstufige gebundene kapitalistische Erzeugung.
 

11. Zweistufige kapitalistische Erzeugung.
12. Mehrstufige kapitalistische Erzeugung mit gleicher Stufenzahl.

13. Verschiedenstufige kapitalistische Erzeugung.

C. Verschiedenstufige freie kapitalistische Erzeugung.
 

14. Bestimmung der Stufenzahl bei freier kapitalistischer Erzeugung.
15. Bewegungsercheinungen bei freier Stufenzahl.
16. Die wirtschaftlichen Wechsellagen.

**Engler, W.** Währung und Leistung. (Sozialist. MH. 28-12/13, 5 p.) 1922

**Englis, K.** Die wirtschaftliche Theorie des Geldes. (A. f. Sozialwiss. 47-2, 66 p.) 1921

\*— Zeitfragen. Eine Reihe von Aufsätzen aus dem "Lidove noviny" in deutscher Uebersetzung. Brünn, Leipzig: Rohrer 1927. iv, 326 p. [Repr.: Volkswirtschaft, Geld, Währung, Kredit.—Währung und Währungspolitik.—Sozialpolitik.—Oeff. Finanzen. Verschiedenes]

\***Eppich, E.** Geld. Eine sozialpsycholog. Studie. München, Leipzig: Rösl 1923. 138 p. 16°. [Philosoph. Reihe. 14]

I. Einleitende Geschichtsübersicht.
 

1. Geschichtliches über Entstehung und Entwicklungsstufen des Geldes.
2. Edelmetalle und Münzen.
3. Währung.
4. Kredit und Zins.
5. Geldinstitute.

II. Theorie der Massensuggestion des Geldes.
 

1. Börse und Spekulation.
2. Die Krisen.
3. Die Inflation.

III. Theorie der Geldfunktionen.
 

1. Wesen und Begriff des Geldes.
2. Der Wert des Geldes.
3. Geldmenge und Preise.
4. Geld und Zins.

IV. Die sozialen und psychischen Wirkungen des Geldes.
 

1. Der soziale Machtbereich des Geldes.
2. Geid und Personenrecht.
3. Geld und Kapitalismus.
4. Die psychischen Wirkungen des Geldes.
5. Bilanz.

\***Evitt, H. E.** Practical banking currency and exchange. London: Pitman 1931. viii, 516, 28 p. 8°

I. Practical banking.
 

1. Brief outline of the history of British banking.
2. The functions and services of a bank.
3. Analysis of a bank balance sheet.
4. Accounts of customers generally.
5. Accounts of special classes of customers.
6. Loans and overdrafts and their relative securities.
7. Bills of exchange.
8. Cheques.
9. Endorsements.
10. Special instruments for the payment of money.
11. The bankers' clearing house.
12. The Bank of England.
13. The London money market.
14. The London stock exchange.

II. Currency and exchange.
 

15. Money, credit, and prices.
16. Trade cycles and commercial and financial crises.
17. Monetary and currency systems.
18. The theory of foreign exchange: mint parity and the purchasing power parity.
19. International indebtedness and the main causes

- of fluctuations in the exchanges. 20. Methods of discharging international indebtedness. 21. The theory and working of the gold points. 22. Empire exchanges; silver and paper exchanges; the gold exchange standard, and India. 23. Foreign exchange dealings, terminology and quotations. 24. The arithmetic of the exchanges; demand, long, and "Tel Quel" rates. 25. The London foreign exchange market; other markets. 26. Elimination of exchange risks; exchange clauses, forward exchange, and foreign currency accounts. 27. Personal and commercial credits. 28. The effects of the war on the exchanges and post-war exchange problems.
- \***Fabierkiewicz, W.** *Traité de monnaie.* Warszawa 1932. 166 p. [Poln.]
- \***Fairchild, F. R.; Furniss, E. S. & Buck, N. S.** *Elementary economics.* Pt. 3. Money, banking, and exchange. New York: Macmillan 1926. xviii, 568 p. 8°
- \***Fanno, M.** *Lezioni di economia politica.* P. generale. P. speciale: La moneta e i sistemi monetari. 2. ed. Padova: Cedam 1932. P. gen. 193 p. P. spec. 316 p. 8°
- ; **Holtrop, M. W.** & andere Beiträge zur Geldtheorie. Hrsg. von F. A. Hayek. Wien: Springer 1933. ix, 511 p. 8°
- \***Fayard, J.** *Dialogue sur l'argent.* Paris: Ed. des Cahiers libres 1932. 52 p. 8°
- \***Feder, G.** *Das Manifest zur Brechung der Zinsknechtschaft des Geldes.* Mit Erläuterungen verfasst. 62 p. Diessen: Huber 1919. 1 eingedr. Kurve.
- *Der Staatsbankrott. Die Rettung.* Diessen: Huber 1919. 24 p. 8°
- \***Fenn, L. A.** *Money and wealth.* London: Williams & Norgate 1933. 71 p. 8°
- \***Fisher, I.** *Ethics in the monetary system.* New York: Christian Work 1923. 23 p.
- Flux, A. W.** *Prices and money.* (Palgrave's Dict. 3, 2 p.) 1926
- Foster, W. T.** *Money as suspended purchasing power.* (Annalist. 477, 2 p.) 1922
- *Money in relation to goods.* (Annalist. 484, 2 p.) 1922
- & **Catchings, W.** *Money.* Boston: Mifflin 1923. viii, 409 p. 8°. [Publ. of the Pollak Found. for Econ. Research. 2] [3. ed. rev. 1928. 409 p.]
1. Money a central interest of life.
  2. Money and other terms defined.
  3. Money as a medium of exchange.
  4. Money as a standard of value.
  5. Money and inflation.
  6. Money and the gold basis.
  7. Money and the commodity basis.
  8. Money and the rate of interest.
  9. Money and international trade.
  10. Money and the price-level.
  11. Money and prices.
  12. Money as suspended purchasing power.
  13. Money in relation to goods.
  14. Money and speculation.
  15. Money in production.
  16. Money advanced in production.
  17. Money in consumption.
  18. The circuit flow of money.
  19. The annual production-consumption equation.
  20. Costs and profits in relation to the annual equation.
  21. Conclusions.
- \***Fuhrmann, E.** *Geld. Analytische Betrachtungen.* Berlin: Folkwang-Auriga 1929. 172 p.
- \***Galiani, F.** *Della moneta.* La Santa (Milano): 1. ed. tip. italiano 1927. 414 p. 8°. [Manuali Notari. 2]
- Garino-Canina, A.** *Finanza e moneta.* [In: Saggi di storia e teoria econ. In onore di G. Prato.] 1931
- \***Garis, R. L.** *Principles of money and credit.* New York: Macmillan 1934. 535 p. 8°
- \***Gaertner, F.** *Vom Gelde und der Geldentwertung.* München: Drei Masken Verl. 1922. 169 p. 3 Diagr. 8°
- Geiler, K.** *Geld und Recht.* [Zu Nussbaum, Das Geld in Theorie u. Praxis des dt. u. ausländ. Rechts] (Z. f. d. ges. Staatswiss. 81-2, 13 p.) 1926
- Geld.* [In: Grosse Herder. 4. Aufl. v. Herders Konvers.-Lexikon. 5, 8 p.] 1933
- \**Das Geld und seine Zirkulation in marxistischer Beleuchtung.* Sammlung von Aufsätzen von O. Bauer, Bucharin, E. Varga. Hrsg. von **Schmelev** u. **Stern.** 2 erg. u. verb. Aufl. Moskau: Staatl. Staatsverl. 1929. 269 p. [Russ.]
- \***Gerber, H.** *Geld und Staat. Eine Untersuchung über d. Geldverfassung als Problem d. Staatsrechtes im Rahmen e. allg. Systematik d. Rechtes.* Jena: Fischer 1926. x, 195 p. 8°
- \***Giordani, P.** *Dissertazioni monetarie.* Bracciano: Tip. fratelli Strumbioli 1929. 15 p. 8°
- \***Gonnard, R.** *Précis d'économie monétaire.* Paris: Recueil Sirey 1930. xi, 292 p. 16°
- \***Goodliffe, W.** *Credit and currency: national and international.* London: King 1927. ix, 178 p. 8°
1. Credit.
  2. Currency.
  3. Banking.
  4. Foreign exchange.
  5. The gold standard.
  6. Misapprehension as to the nature of currency.
  7. Conditions precedent to the introduction of an international credit.
  8. Proposals for an international credit.
  9. The mode of working.
  10. The Austrian loan (1922).
  11. A résumé.
- \***Goetschel, E.** *Gut, Geld und Kapital. Ein Beitrag zur Böhm-Bawerk'schen Theorie.* Bern: Haupt 1921. 156 p. 8°. [Diss.]

- \***Graf, C.** *Die bewusste Ausschaltung des Geldes. Eine ökonomische Skizze.* Zürich: Genossenschaft Unionsbuchh. 1920. iv, 37 p. 8°
- Gregory, T. E.** *Currency.* (Encycl. of Soc. Sci. 4, 3 p.) 1931
- *Geldtheorie und Handelsbilanz.* [In: Die Wirtschaftstheorie der Gegenwart. 2] 1932
- *Money.* (Encycl. of Soc. Sci. 10, 13 p.) 1933
- Grinberg, M. L.** *Mises: Theorie des Geldes und der Umlaufsmittel.* (R. d'écon. pol. 40-5, 3 p.) 1926
- *W. Roepke: Geld und Aussenhandel.* (R. d'écon. pol. 42-1, 2 p.) 1928
- Griziotti Kretschmann, J.** *Esame critica delle dottrine sulla moneta e sui prezzi nell'esperienza economica russa.* (Giorn. d. econ. 44-6, 32 p.) 1929
- \***Grohmann, G.** *Das Geld—ein Werkzeug.* Erfurt: Verl. d. Freiwirtschaftl. Ztg. 1932. 48 p. 8°. [Wissenschaftl. Schriftenreihe d. Freiwirtschaftl. Ztg. 18]
- Gutmann, F.** *Gut und Geld.* (JB. f. Nationalökon. 3. F. 79-4, 18 p.) 1931
- *Geld.* (WB. d. Volksw. 4. Aufl. 2, 15 p.) 1932
- Haber, F.** *Geld. 5. Geldreformer.* (HWB. d. Staatswiss. 4. Aufl. 4, 9 p.) 1927
- \***Hahn, L. A.** *Unsere Währungsfrage im Lichte der Geldtheorie.* Nach e. Vortr. Frankfurt a. M.: Frankf. Societäts-Dr. 1924. 34 p. 8°
- \*— *Geld und Kredit. Gesammelte Aufsätze.* N. F. Tübingen: Mohr 1929. vi, 278 p. 9 Skizzen, 14 Kurven u. 1 Taf. 8°
1. Zur Einführung der Rentenmark.
  2. Unsere Währungsfrage im Lichte der Geldtheorie.
  3. Bankenliquidität und Reichsbankpolitik.
  4. Goldvorteil und Goldvorurteil.
  5. Die konjunkturelose Wirtschaft.
  6. Schutzzoll und Handelsbilanz.
  7. Die deutsche Währung vor und nach.
  8. "Kapitalmangel"
  9. Geldflüssigkeit und Konjunktur.
  10. Der Steuerabzug vom Kapitalertrag.
  11. Zur Frage des volkswirtschaftlichen Erkenntnisinhalts der Bankbilanzziffern.
  12. Börsenkredite und Industrie.
  13. Kapital-Zoll. Zum Streit um den Kapitalertragssteuerabzug
  14. Warum Erhöhung der Reichsbank-Giro Guthaben?
  15. Kreditprobleme der Gegenwart.
  16. Aufgaben und Grenzen der Währungspolitik. Eine Kritik der deutschen Währungspolitik seit der Stabilisierung.
- Halm, G.** *Geldtheorie und Konjunkturtheorie.* [Zu Hayeks gleichnamigem Buch. Wien u. Leipzig. 1929] (Z. f. Nationalökon. 1-4, 8 p.) 1930
- \***Haenel, H. G.** *Geld und Kredit.* Tübingen: Laupp 1925. 47 p. [S. Repr.: Z. f. ges. Staatswiss. 79, 2]
- Hanisch, G.** *Ist das Geld eine Ware?* [In: Wissenschaftl. Schriftenreihe d. Freiwirtschaftl. Ztg. 7] 1931
- *Eine Diskussion vor 40 Jahren über das Geld.* [In: Wissenschaftl. Schriftenreihe d. Freiwirtschaftl. Ztg. 19] 1932
- \***Hantos, E.** *La monnaie: Ses systèmes et ses phénomènes en Europe centrale (Allemagne, Autriche, Hongrie, Pologne, Roumanie, Tchécoslovaquie, Yougoslavie).* Paris: Giard 1926. 256 p. [Bibl. int. d'écon. pol.]
- \***Harding, W. P. G.** *Credit, currency and business. An address.* Philadelphia: Fed. Res. Bank of Phil. 1922. 26 p.
- Hardy, Ch. O.** *J. M. Keynes: A treatise on money.* Vol. 1, 2. (Am. Econ. R. 21-1, 6 p.) 1931
- \***Hare, L.** *Currency and prices.* London: King 1920. 74 p. 8°
- \***Harsin, P.** *Les doctrines monétaires et financières en France du 16. au 18. siècle.* Paris: Alcan 1928. xxii, 327 p.
- \***Hawtrey, R. G.** *Currency and credit.* 3. ed., rev. London, New York: Longmans 1928. 477 p. 8°. [1. ed. 1919. 393 p.]
- I. Theory of currency and credit. 1. Credit without money. 2. Metallic money. 3. Paper money and the quantity theory. 4. Consumers' income and consumers' outlay. 5. The foreign exchanges. 6. Systems of note issue. 7. International currency movements. 8. The mechanism of foreign exchange. 9. A contraction of credit. 10. Financial crises. 11. Financial crises (continued). 12. Money and coinage. 13. The theory of banking. 14. War finance and inflation. 15. After inflation.
  - II. Historical illustrations. 16. The silver recoinages in England. 17. The assignats. 18. The bank restriction of 1797. 19. The gold standard. 20. The gold standard (continued). 21. The great war. 22. After the war. 23. Conclusion.
- \*— *Währung und Kredit.* Nach der 2. engl. Aufl. hrsg. von **F. Oppenheimer.** Deutsch von **L. Oppenheimer.** Jena: Fischer 1926. ix, 410 p. 8°
1. Kredit ohne Geld.
  2. Das Metallgeld.
  3. Das Papiergeld und die Quantitätstheorie.
  4. Die auswärtigen Wechselkurse.
  5. Systeme der Notenausgabe.
  6. Internationale Währungsbewegungen.
  7. Der Mechanismus des auswärtigen Wechselverkehrs.
  8. Eine Krediteinengung.
  9. Finanzkrisen.
  10. Finanzkrisen (Forts.)
  11. Geld und Münzwesen.
  12. Die Theorie des Bankgeschäfts.
  13. Kriegsfinanzen.



14. Kriegsinflation. 15. Die Assignaten.  
16. Die Bank-Restriktion des Jahres 1797.  
17. Eine Veränderung des Wertmassstabs.  
18. Die Goldwährung. 19. Die Goldwährung (Ports.) 20. Nach dem Kriege.  
21. Schluss.

**Hawtrey, R. G.** Money and index-numbers. [With discussion.] (J. of R. Stat. Soc. 93-1, 40 p.) 1930

\***Hayek, F. A. v.** Geldtheorie und Konjunkturtheorie. Wien, Berlin: Springer 1929. xii, 147 p. 8°. [Beitr. z. Konjunkturforsch. 1]

1. Konjunkturtheorie, Konjunkturforschung und Konjunkturpolitik. 2. Die Lücke im Erklärungsgang der nichtmonetären Theorien. 3. Die vorhandenen Ansätze zu einer monetären Konjunkturtheorie und deren Mängel. 4. Der Grund der notwendigen Wiederkehr der Kreditzyklen. 5. Die Hauptaufgaben der weiteren Forschung.

— Money and capital: a reply. (Econ. J. 166, 13 p.) 1932

\*— Monetary theory and the trade cycle. Transl. from the German. London: Cape 1933. 244 p. 8°

\***Heath, F. R.** Money and banking. Philadelphia: 1924. viii, 195 p.

\***Heilperin, M.-A.** Monnaie, crédit et transfert. Considérations théoriques sur la monnaie. Du système monétaire. De la politique de crédit. Des règlements internationaux. Paris: Recueil Sirey 1932. xiii, 142 p. 8°

\***Helfferich, K.** Geld und Banken. Tl. 1: Das Geld. 5. unveränd. Aufl. Leipzig: Hirschfeld 1921. xii, 622 p. 4°. [Hand- u. Lehrbuch d. Staatswiss. in selbständ. 1, 8] [6. Aufl. 1923. vii, 674 p.]

I. Geschichtlicher Teil.

- A. Die Entwicklungsgeschichte des Geldes und der Geldsysteme. 1. Die Entstehung des Geldes. 2. Die Entwicklung der Geldsysteme.  
B. Die Gestaltung der Edelmetall- und Währungsverhältnisse seit der Entdeckung Amerikas. 3. Edelmetallproduktion und Wertverhältnis. 4. Die Wandlungen im monetären Gebrauche der Edelmetalle von 1493 bis zur Mitte des 19. Jahrhunderts. 5. Die deutsche Münzreform. 6. Die Ausbreitung der Goldwährung und die Silberentwertung von der deutschen Münzreform bis zur Gegenwart.

II. Theoretischer Teil.

- A. Das Geld in der Wirtschaftsordnung. 1. Der wirtschaftliche Begriff des Geldes. 2. Die Verkehrsobjekte und Verkehrsvorgänge. 3. Die Einzelfunktionen des Geldes.

- B. Das Geld in der Rechtsordnung. 4. Der juristische Geldbegriff. 5. Der Inhalt der Geldschulden. 6. Das Geld im öffentlichen Rechte.

- C. Die Geldverfassung. 7. Die Erfordernisse des Geldes. 8. Die Geldsysteme. a. Die Währungssysteme und ihre Einteilung. b. Die innere Einrichtung der Geldsysteme. 9. Die internationale Geldverfassung.

- D. Geldbedarf, Geldversorgung und Geldwert. 10. Der Geldbedarf. 11. Die Geldversorgung. 12. Der Geldwert.

\***Helfferich, K.** Money. Transl. from the German by L. Infield. Ed., with introd. by T. E. Gregory. 2 vols. London: Benn; New York: Adelphi 1927. Vol. 1. xiv, 340 p., 2. 320 p. 8°

\*— Geld. [In: Buch d. Kaufmanns. 1, 50 p.] 1928

\***Henderson, F.** Money power and human life. London: Allen & Unwin 1932. 205 p. 8°

\***Herbelot, L. & François, G.** Les monnaies, les changes, les arbitrages. Paris: Gauthier-Villars 1921. 243 p. 8°

**Hermant, M.** La théorie des phénomènes monétaires. (Opinion. 26 nov.) 1927

**Heyn, O.** Geld, Währung, Valuta. (Technik u. Wirtschaft. 12-2, 11 p., 3, 12 p.) 1919

\***Hilferding, R.** Das Finanzkapital. Wien: Wiener Volksbuchh. 1923. xii, 477 p. 8°

- I. Geld und Kredit. 1. Die Notwendigkeit des Geldes. 2. Das Geld im Zirkulationsprozess. 3. Das Geld als Zahlungsmittel. Das Kreditgeld. 4. Das Geld in der Zirkulation des industriellen Kapitals. 5. Die Banken und der industrielle Kredit. 6. Der Zinsfuß.

- II. Die Mobilisierung des Kapitals. Das fiktive Kapital. 7. Die Aktiengesellschaft. 8. Die Effektenbörse. 9. Die Warenbörse. 10. Bankkapital und Bankgewinn.

- III. Das Finanzkapital und die Einschränkung der freien Konkurrenz. 11. Hindernisse in der Ausgleichung der Profitraten und ihre Ueberwindung. 12. Kartelle und Trusts. 13. Die kapitalistischen Monopole und der Handel. 14. Die kapitalistischen Monopole und die Banken. Verwandlung des Kapitals in Finanzkapital. 15. Die Preisbestimmung der kapitalistischen Monopole. Geschichtliche Tendenz des Finanzkapitals.

- IV. Das Finanzkapital und die Krisen. 16. Die allgemeinen Bedingungen der Krise. 17. Die Ursachen der Krise. 13. Die Kreditverhältnisse im Ablauf der Konjunktur. 19. Geldkapital und produktives Kapital während der Depression. 20. Die Aenderungen im Krisencharakter. Kartelle und Krisen.

- V. Zur Wirtschaftspolitik des Finanzkapitals. 21. Die Wandlung in der Handelspolitik. 22. Der Kapitalexport und der Kampf um das Wirtschaftsgebiet. 23. Das Finanzkapital und die Klassen. 24. Der Kampf um den Arbeitsvertrag. 25. Das Proletariat und der Imperialismus.

\***Hilmer, F.** Geld—Gold—Spareinlagen—Ersparnisse—Vermögen—Zinsen. Preisbildung—Aussenhandel—Arbeitslosigkeit. Ländl. Geldpolitik in d. Krisenzeit. Mit e. Anh. über Bausparkassen... von W. Pucher. Brünn: Zentralverb. d. dt. landw. Genoss. 1933. 60 p. [Deutschmähr. landw. 179/182]

\***Hirschfeld, E.** Das Geld. Kurz dargest. Berlin: Heymann 1932. vi, 137 p. 8°

- I. Die an das Geld zu stellenden Anforderungen. 1. Die Geld-Idee. 2. Das wertbeständige Geld. 3. Das Weltgeld. 4. Das Wertproblem.

- II. Die Erfüllung der Geld-Erfordernisse. Vorbemerk. 1. Das Goldgeld. 2. Das Papiergeld. 3. Das Giral-Geld.

- III. Geldschöpfung und Geldverteilung. 1. Geschichtliches und Allgemeines. 2. Die Geldschöpfung. 3. Die Geldverteilung. 4. Die Weltgeldschöpfung.

**Hirschstein, H.** Geld und Wirtschaft. (Faust. 4-2, 6 p.) 1925

\***Hirst, F. W.** Trade, expenditure, taxation and money. Johannesburg: Council of Education; London: Longmans 1923. 70 p.

\*— Money: gold, silver and paper. New York: Scribner 1934. 311 p. 8°. [London: Charles 1933. 271 p.]

\***Hochstetter, F.** Geld und Kredit als Störer der modernen Tauschwirtschaft. Berlin: Militär-Verl. 1934. 179 p. 8°

\***Hoffmann, A. v.** Währung und Wirtschaft. Der Weg zur krisenfreien Wirtschaft. Magdeburg: Aumann 1928. 53 p. 8°

\***Höhne, F.** Geld und Ware, die Gegenspieler der Verkehrswirtschaft. Eine Unters. unter bes. Berücks. d. modernen Wirtschaftsstruktur u. ihrer Gegenwartsprobleme. Jena: Fischer 1933. viii, 232 p. 8°

\***Holdsworth, J. T.** Money and banking. 5. ed., rev. New York: Appleton 1928. xix, 563 p. 8°

- I. Money. 1. Medium of exchange. 2. Functions of money. 3. History of United States coinage. 4. Paper money. 5. The money system of the United States. 6. Value of money and prices. 7. The price level. 8. Credit.

- II. Banking. 9. Origin and evolution of banking. 10. Classes and functions of banks. 11. The national banking system. 12. Or-

- ganization and administration. 13. Bank supervision. 14. Deposits and depositors. 15. Clearings and collections. 16. Loans and discounts. 17. Savings institutions. 18. Trust companies. 19. Foreign exchange. 20. Foreign banking system. 21. Defects of the old national banking system. 22. The Federal Reserve system: Organization and structure. 23. The Federal Reserve system: Functions and operations.

\***Hotzel, K.** Geld macht Geschichte. (Das Werk politischer Bankiers.) Berlin: Verl. Das Reich 1933. 105 p. 8°

\***Houques-Fourcade, M.** Eléments d'économie politique. La circulation, valeur, monnaie et crédit. Toulouse: Soubiron 1923. 8°

\***Hribar, Z.** Reine Geldwirtschaft. Ljubljana, Leipzig: Kleinmayr & Bamberg 1933. 84 p. 8°

\***Huber, J.** Vom Gelde und von der Nationalbank. Zürich: Grütlibuchdr. 1924. 16 p. 2 Fig. 8°

\***Huntington-Wilson, F. M.** Money and the price level. London, New York: Century 1932. x, 221 p. 12°

1. Price level and purchasing power. 2. Price level and debt burden. 3. Money the key to the price level. 4. Common sense and economics. 5. The business cycle. 6. The quantitative theory of money. 7. The balance of international payments. 8. Managed currency (Bank rates and foreign exchange). 9. Powers and limitations of money. 10. Paper money and real money. 11. Gold and silver. 12. Changing standards. 13. Gresham's law. 14. History and nature of money. 15. The silver flood and ratios. 16. Essentials for silver monetization. 17. Money psychology. 18. Opinions on silver monetization. 19. Conclusion.

\***Huppert, W.** Geldwirtschaft. 9 Kapitel über Geld, Kredit u. Währung. München: Duncker & Humblot 1934. 31 p. 8°

\***Isaac, Ch. P.** The menace of money power. London: Cape 1921. 294 p. 8°

1. Reformer and apologist. 2. The imbroglio of economy. 3. From feudal status to cash nexus. 4. From cash nexus to credit restriction. 5. From credit restriction towards financial thralldom. 6. The essence of cash and credit finance. 7. The blight of usury. 8. The mother trust. 9. A glimpse of freedom. 10. Disruption or progress.

\***Jack, D. T.** Currency and banking. London: Pitman 1932. 196 p. 8°

\***James, F. C.** The economics of money, credit and banking. New York: Ronald 1930. xvi, 482 p. 8°

1. Money and the social order. 2. A medium of exchange. 3. Metallic and paper money. 4. The standard of value. 5. Money in the great war. 6. Post-war monetary standards. 7. The supply of gold and the price level. 8. The nature and functions of credit. 9. Credit instruments. 10. The foreign exchanges. 11. The evolution of modern banking. 12. The nature and functions of a commercial bank. 13. Bank credit and business fluctuations. 14. Bank credit and capital. 15. Inter-bank relations. 16. Commercial paper houses. 17. Commercial credit and discount companies. 18. The creation of the Federal Reserve system. 19. The structure and functions of the Federal Reserve system. 20. Central banking and credit control. 21. The aims of credit policy. 22. International cooperation of central banks. 23. Savings institutions. 24. Investment banking institutions. 25. Agricultural credit facilities in the United States. 26. Consumptive credit institutions. 27. Government and banking. 28. Banking concentration. 29. The financial system. Appendix: Convention respecting the bank for international settlements.

— J. M. Keynes: A treatise on money. (Annals. 154, Mar., 2 p.) 1931

\***Jankovich, B. v.** Beiträge zur Theorie des Geldes. Auf Grund der Erfahrungen in den Jahren 1914/25. Wien: Manz 1926. viii, 157 p. 8°

Einl. Allgemeine Uebersicht über die Währungsverhältnisse in Europa im letzten Jahrzehnte und über die Art der Bearbeitung dieses Materials. 1. Geldmenge, Geldwert und Preisbewegung in einzelnen Staaten Europas während der Jahre 1914/24. 2. Geldumlauf und Güterumsatz in ihren gegenseitigen Beziehungen. 3. Geldmenge und Umlaufkapital als gemeinschaftliche Wertfaktoren des Papiergeldes. 4. Anderweitige Faktoren der Wertbildung beim Papiergelde. 5. Einige Folgerungen, die Wirkung der Inflation und die Ordnung des Geldwesens betreffend. 6. Allgemeine Folgerungen in Bezug auf das Metallgeld und dessen Wertveränderungen.

\***Jastrow, J.** Geld und Kredit. 5. umgearb. Aufl. Berlin: Heymann 1923. viii, 199 p. 12°. [Textbücher zu Stud. üb. Wirtschaft u. Staat. 4]

I. Theorie und Praxis in historischer Entwicklung. 1. Die Preisrevolution im Uebergang vom Mittelalter zur Neuzeit. 2. Die Kipper- und Wipperzeit, 1621/23. 3. Die Geldtheorien in der praktischen Münzverwaltung. 4. Wechselformular, Banknote, Scheck, 12/20. Jg. 5. Das sog. Gresham'sche Gesetz.

6. Die Verbesserung der Quantitätstheorie durch Locke u. Hume. 7. Die gangbare Geldtheorie des Merkantilismus Justi. 8. Adam Smith. 9. Die Papiergeldkrisen um 1800. 10. Der Gegensatz alter und moderner Münzverfassungen. 11. Die Peelsche Bankakte und ihre Gegner. 12. Die lateinische Münzkonvention. Ende der Doppelwährung. 13. Die Begründung der deutschen Goldwährung 1871/73. 14. Verdrängung des Trade-Dollars aus Japan 1873. 15. Aus Simmel "Philosophie des Geldes." 16. Die sog. "Staatliche Geldtheorie." 17. Zeitafel.

II. Geltendes Deutsches Recht. 1. Münzgesetz. Vom 1. Juni 1909. 2. Funktion des Geldes für Wertkonstanz. 3. Bankgesetz. Vom 14. März 1875/1. Juni 1909. 4. Die Abrechnungsstelle b. d. Reichs-Hauptbank. 5. Verzeichnis von Reichsgesetzen.

III. Statistik. Geldentwertung. 1. Edelmetall-Gewinnung der Welt seit 1493. 2. Ausprägung von Reichsmünzen 1910/22. 3. Münzprägungen in 6 Grossstaaten 1911. 4. Industrieller Weltverbrauch in Edelmetallen 1911. 5. Reichsbank-Ausweise. Utl. 1913, 1922. 6. Die wichtigsten Zentral-Notenbanken der Erde. Ende 1920. 7. Wechselumlauf in Deutschland 1876/1910. 8. Höchste und niedrigste Wechselkurse 1912. 9. Indexzahlen und Geldwert-Änderungen. 10. Monatstabelle. 11. Jahrestabelle. 12. Verdoppelungs-Perioden des Dollarkurses. 13. L. v. Mises: Mathematische Grundlagen der Dollar-Kurve.

**Jastrow, J.** Sparkassen und Kontokorrent-Verkehr in der Geldtheorie. (Sparkasse. 45-21, 2 p.) 1925

\***Johnson, J. F.** Money and currency; in relation to industry, prices, and the rate of interest. Rev. ed. Boston: Ginn 1921. x, 423 p. 8°

1. Value relation of gold and silver during the nineteenth century. 2. Fluctuations in the values of gold and silver from 1870 to 1904. 3. Price changes during the greenback period compared with changes in the supply of money. 4. Greenback price of gold compared with greenback prices of commodities from 1862 to 1878. 5. Value changes of Indian rupee from 1892 to 1899 compared with value changes of gold and silver.

\***Jores, C.** Grundzüge des Geld-, Kredit- und Bankwesens. 4. verm. u. verb. Aufl. hrsg. v. **K. H. Lemke.** Leipzig: Gloeckner 1920. iv, 296 p. 8°

I. Das Geld und seine Ersatzmittel. 1. Entstehung, Begriff und Wesen des Geldes. (Naturgeschichte des Geldes.) 2. Das Geld innerhalb der Staatsgrenzen. i. Münzhoheit, Münzregal, Münzgesetze. ii. Münzgewicht, Münzfuss, Legierung. iii.

Remedium, Passiergewicht, Schlagschatz, Kurantmünzen und Scheidemünzen. 3. Der wirtschaftliche Wert des Geldes. 4. Papiergeld, Staats- und Banknoten. 5. Währung. i. Der Begriff "Währung". ii. Metallwährungen. iii. Papierwährung. 6. Die Münz- und Währungssysteme der wichtigsten Staaten. 7. Der Wechsel- und Scheckverkehr. 8. Die ausländischen Wechselkurse. 9. Die Valutafrage.

II. Der Kreditverkehr. 1. Begriff und Wesen des Kredits. 2. Die Arten des Kredits und der Kreditgeschäfte. i. Notwendige oder natürliche Kreditgeschäfte. ii. Eigentliche Kreditgeschäfte. iii. Der öffentliche Kredit. 3. Wirkungen des Kredits auf die Preise und den Tauschwert des Geldes.

III. Das Bankwesen. 1. Entwicklung des Bankwesens. 2. Die Arten der Banken. 3. Die Banken und ihr Geschäftsbereich. i. Aktivgeschäfte der Banken. ii. Passivgeschäfte der Banken. iii. Nebengeschäfte der Banken. iv. Zusammenfassende Schlussbetrachtungen. 4. Die Notenbanken und die herrschenden Systeme. i. Die britische Bestimmung über Notendeckung. ii. Das kontinentale oder deutsche Notendeckungssystem. iii. Das französische Notendeckungssystem. iv. Das nordamerikanische Notendeckungssystem. v. Die Oesterreichisch-Ungarische Bank. vi. Die Russische Reichsbank. vii. Die Diskontpolitik der Notenbanken.

\***Kalitsounakis, D.** Theory of money and policy of monetary reconstruction. Athens: Vasiliou 1926. viii, 96 p. 8°. [Greek]

\***Katzenellenbaum, Z.** Die Lehre vom Geld- und Kreditwesen. 4. Aufl. 2 Tle. Moskau: Verlag "Ekonomitscheskaya Jizn" 1928. Tl. 1, iv, 520 p.; 2, 567 p. [Russ.]

\***Kemenater, H.** Währungstheorie und Kathederweisheit. Erfurt: Scheuffler 1933. 36 p. 8°. [Wiss. Schriftenreihe. 34]

\***Kemmerer, E. W.** Kemmerer on money; an elementary discussion of the important facts and underlying principles of the money problems now confronting the American people. Philadelphia: Winston 1934. xiv, 197 p. 8°

1. The gold standard. 2. Our present paper standard. 3. The gold purchase plan. 4. Inflation, deflation, reflation. 5. The greenbacks. 6. Germany's inflation. 7. The silver question. 8. The silver purchase plan. 9. The commodity dollar. 10. Debtor and creditor. 11. The war back to gold. Index.

\***Kerschagl, R.** Die Lehre vom Gelde in der Wirtschaft. Universalismus und Individualismus in der Entwicklung der Geldtheorie. 2. durchges. u. erw. Aufl. Wien: Manz 1922. 64 p. 8°

Einleitung: Individualismus und Universalismus in der Geldtheorie. 1. Die Geldlehre David Ricardos. 2. Die Lehren Adam Müllers. 3. Die staatliche Theorie des Geldes von G. F. Knapp. 4. Das Geld in der Theorie der gesellschaftlichen Wirtschaft nach Friedrich Wieser. 5. Eine sozialistische Theorie von Geld und Geldreform: Silvio Gesell. 6. Die Lehre von Geld und Geldschöpfung nach Friedrich Bendixen. 7. Die Entwicklung des Geldes als Zahlungsmittel im Staat. Nachwort.

\***Kerschagl, R.** Theorie des Geldes und der Geldwirtschaft. Jena: Fischer 1923. v, 144 p. 8°

1. Das Geld. i. Wesen und Funktion. ii. Der Binnenwert des Geldes. iii. Der Aussenwert des Geldes. iv. Das Verhältnis von Binnenwert und Aussenwert. v. Stoffwert und Nennwert. vi. Metallismus und Chartalismus. vii. Die Quantitätstheorie. 2. Die Geldwirtschaft. i. Grundlagen der Geldschöpfung. ii. Die Grundlagen des bargeldlosen Zahlungsverkehrs. iii. Die Inflation. iv. Der Index als Entlohnungssystem in Inflationsperioden. v. Devaluation, Valuation und Depreciation. vi. Vergangenheit, Gegenwart und Zukunft der Geldwirtschaft. vii. Anfänge des Geldes. 3. Die Geldpolitik. i. Grundlagen der Geldpolitik. ii. Das Problem der Währungsstabilisierung. iii. Inflation und Zahlungsbilanz. iv. Grundlagen der zentralen Devisenbewirtschaftung. v. Die Frage des Goldes bei der Regelung der internationalen Wirtschaftsbeziehungen. vi. Die wichtigsten europäischen Noteninstitute: Umlaufs- und Deckungsverhältnisse 1914/22.

— L. Walras: Theorie des Geldes. Eine Entgegnung [an Alfred Amonn zu dessen Kritik der Walras-Uebersetzung von Kerschagl u. Raditz.] (A. f. Sozialwiss. 51-1, 3 p.) 1923

— Die Entwicklung der modernen Geldtheorie. (Mitt. d. Verb. österr. Banken u. Bankiers. 8-9/10, 10 p.) 1926

\*— Geld-, Bank- und Börsenwesen (nebst Fragen und Antworten auf die Fragen (in Schlagworten). 2 Tle. in 6 Lfgn. Tl. 1, Lfg. 1/3, Tl. 2, Lfg. 4. Füssen, Jena, Berlin: Fernschulverl. 1928. 8°

Tl. 1. Geld-, Währungs- u. Notenbankwesen. 108, vi p., 3. Bl.

2. Das Bankwesen. 31, ii p., 1. Bl.

\*— Devisenbewirtschaftung. Ein Abriss ihrer ökonomischen Probleme. Berlin: Heymann 1932. 64 p. 8°. [Volkswirtschaft. 2]

\***Keynes, J. M.** A treatise on money. 2 vols. London: Macmillan 1930. 8°  
Vol. 1. The pure theory of money. xvii, 363 p.

- I. The nature of money. 1. The classification of money. 2. Bank-money. 3. The analysis of bank-money.
- II. The value of money. 4. The purchasing power of money. 5. The plurality of secondary price-levels. 6. Currency standards. 7. The diffusion of price-levels. 8. The theory of comparisons of purchasing power.
- III. The fundamental equations of money. 9. Certain definitions. 10. The fundamental equations for the value of money. 11. The conditions of equilibrium. 12. The distinction between savings and investment. 13. The "Modus operandi" of bank-rate. 14. Alternative forms of the fundamental equation.
- IV. The dynamics of the price-level. 15. The industrial circulation and the financial circulation. 16. A classification of the causes of a disequilibrium in the purchasing power of money. 17. Changes due to monetary factors. 18. Changes due to investment factors. 19. Some special aspects of the credit cycle. 20. An exercise in the pure theory of the credit cycle. 21. Changes due to international disequilibrium.
2. The applied theory of money. viii, 424 p.
- V. Monetary factors and their fluctuations. 22. The applied theory of money. 23. The proportion of savings-deposits to cash-deposits. 24. The velocities of circulation. 25. The ratio of bank money to reserve money. 26. The activity of business.
- VI. The rate of investment and its fluctuations. 27. Fluctuations in the rate of investment—i. Fixed capital. 28. Fluctuations in the rate of investment—ii. Working capital. 29. Fluctuations in the rate of investment—iii. Liquid capital. 30. Historical illustrations.
- VII. The management of money. 31. The problem of the management of money. 32. Methods of national management—i. The control of the member banks. 33. Methods of national management—ii. The regulation of the central reserves. 34. Problems of international management—i. The relations of central banks to one another. 35. Problems of international management—ii. The gold standard. 36. Problems of international management—iii. The problem of national autonomy. 37. Problems of national management. The control of the rate of investment. 38. Problems of supernational management.
- \***Keynes, J. M.** Vom Gelde (a treatise on money). Uebers. von C. Krämer unter Mitwirkung von L. Krämer. München: Duncker & Humblot 1932. xx, 635 p. 8°

\***Keynes, J. M.** Trattato sulla moneta. 2 vols. Milano: Treves 1932, 1934. Vol. 1, 530 p.; 2, 618 p.

\***Kilborne, R. D.** Principles of money and banking. 3. ed. New York: Shaw 1932. [1. ed. 1927. xx, 559 p.]

\***King, R. H.** Principles of banking, currency and foreign exchange. London: Pitman 1930. 174 p. 8°

\***Knapp, G. F.** Staatliche Theorie des Geldes. 3 durchges. Aufl. München, Leipzig: Duncker & Humblot 1921. xvi, 461 p. 8°. [4. Aufl. 1923]

1. Zahlung, Geld und Metall. i. Autometalismus: Nominalität der Wertseinheit. ii. Chartale Zahlungsmittel. iii. Die zirkulatorische Befriedigung. iv. Praktische und genetische Beziehungen des Geldes zum Metall. v. Dromische Beziehungen des Geldes zum Metall. 2. Ordnung des Geldwesens im Inlande. vi. Funktionelle Einteilung der Geldarten. vii. Bimetallismus und Währungstypen. viii. aa. Banknoten. bb. Die Girozahlungen. ix. Agio bei akzessorischen Geldarten. x. Stauung des akzessorischen Geldes. xi. Aenderungen der Währung. 3. Der Geldverkehr mit dem Auslande. xii. Der intervalutarische Kurs. xiii. Wertverhältnis von Gold und Silber. xiv. aa. Die exodromische Verwaltung. bb. Der Synchronismus. xv. aa. Der feste Kurs als letztes Ziel. bb. Fürs Ausland bares, fürs Inland notales Geld. 4. Uebersicht nach Staaten. xvi. England. xvii. Frankreich. xviii. aa. Deutsches Reich im Jahre 1905. bb. Deutsches Reich; Uebergang 1871 bis 1876. cc. Deutsches Reich; die Drittelsdeckung 1907. (Aus dem Bankarchiv. Jahrgang 1907.) dd. Das Deutsche Reich von 1905 bis 1914. xix. aa. Oesterreich 1857 bis 1892. bb. Oesterreich 1892 bis 1900. Nachträge und Ergänzungen. cc. Die Zollzahlung in Oesterreich 1854 bis 1900. dd. Oesterreich-Ungarn 1901 bis 1914. xx. Zur Verständigung über Geldwert und Preise.

\*— The state theory of money. Abridged ed. Transl. by H. M. Lucas & J. Bonar. London, New York: Macmillan 1924. xviii, 306 p. 8°

— & **Gutmann, F.** Geld. 4. Staatliche Geldtheorie. (HWB. d. Staatswiss. 4. Aufl. 4, 11 p.) 1927

\***Knies, K.** Geld und Credit. Abt. 1, 2, Hälfte 1, 2. Neudr. (1876-1885). Leipzig: Buske 1931. 8°

Abt. 1. 1. Das Geld. Darlegung d. Grundlehren von d. Gelde insbes. der wirtschaftl. u. rechtsgültigen Funktionen d. Geldes, mit einer Erörterung über d. Kapital u. d. Uebertragung d. Nutzungen. 2. verb. u. verm. Aufl. x, 450 p. [See: Contents, I, 3]

\***Kopka, G.** Gold u. Währung. 1930. 59 p. 8°. [Diss. Köln]

**Kucklick, K.** Nochmals: "Was ist Geld?" Gedanken eines nationalsozialistischen Arztes zu Bandmanns Artikel "Was ist Geld?" [in Nr. 10 & 13 ders. Z.] (Aerztl. Mitt. 34-22, 3 p.) 1933

\***Kühne, C.** Geld und Kapital im Konjunkturverlauf. Hannover: Engelhard 1928. 93 p. 8°. [Diss. Frankfurt a. M.]

**Kulenkamp** Währung. (Dt.-Spiegel. 1-2, 6 p.) 1925

**Ladewig, H.** Geld, Kapital, Wert. Barop-Dortmund: Schmidt 1922. 12 p. 8°

\***Lansburgh, A.** Vom Gelde. Berlin: Bank-Verl. 1921. 124 p. 8°. [Argentarius: Briefe e. Bankdirektors an s. Sohn. 2]

— J. M. Keynes: Vom Gelde. (Ring. 5-27, Beil., 3 p.) 1932

— Vom Gelde. [Zu Keynes: Vom Gelde. München & Leipzig 1932] (Bank. 25-18, 8 p.) 1932

— Die Wirtschaft und das Geld. (Bank. 25-34, 6 p., 35, 7 p.) 1932

— Grundriss der Geldlehre. (Bank. 26-1, 5 p., 4, 6 p., 7, 5 p., 11, 6 p., 15, 6 p., 19, 6 p., 22, 6 p.) 1933

\***Lassar-Cohn** Gold- und Papiergeld. Die Bedeutung der Goldwährung im Leben der Gegenwart und das Eisen. Gemeinverstdargest. Leipzig: Voss 1922. 92 p. 8°

\***Latzarus, L.** L'argent. Paris: Ed. Spes 1927. 232 p. 16°

**Laufenburger, H.** F.-A. Hayek: Geldtheorie und Konjunkturtheorie, Beiträge zur Konjunkturforschung, n° 1. (R. d'écon. pol. 43-4, 2 p.) 1929

\***Laughlin, J. L.** Money and prices. New York: Scribner; London: King 1919. xii, 307 p. 8°

1. A theory of prices. 2. Gold and prices after 1873. 3. Changes in prices since 1896. 4. The increased cost of living. 5. The European war and inflation. 6. Agricultural unrest. 7. Socialism in the price question. 8. A monetary system for Santo Domingo. 9. The refunding bill of 1897

\*— A new exposition of money, credit and prices. 2 vols. Chicago: Univ. of Chicago Pr. 1931. 8°  
Vol. 1. The evolution of the standard. xxiv, 521 p.

I. The evolution of the standard. 1. Origins and functions of money. 2. Metallic money. 3. History of gold and silver. 4. The British coinage system. 5. The coinage system of France. 6. The Latin monetary union. 7. The coinage of Spain. 8. Metallic system of Germany, Austria-Hungary, and Holland. 9. Gold and Silver in the United States. 10. Monetary standards in Russia. 11. Metallic money in China. 12. Metallic money in Japan. 13. The standard in India. 14. Some silver-using countries. 15. Monetary standard in Mexico.

II. Some problems of the standard. 16. Some problems of the standard. 17. The bimetallic standard. 18. The gold-exchange standard. 19. The standard and the time element. Appendixes: 1. Production of gold and silver from 1493/1925. 2. Ratios of silver to gold, 1845/1929. 3. India.

Vol. 2. The economics of credit and prices. xv, 766 p.

I. The evolution of credit. 1. The origins and nature of credit. 2. Earliest substitutes for metallic money. 3. John Law's experiments with credit. 4. Early American development of credit. 5. The continental currency. 6. The French assignats and mandats. 7. Bank of England restriction and the act of 1844. 8. Development of credit in the two banks of the United States. 9. State banks in the United States. 10. Government issues in the United States. 11. The southern confederacy. 12. The national banking system. 13. The Scotch banking system. 14. The Canadian banking system. 15. The Federal Reserve System of the United States. 16. British currency and bank notes, 1914/25. 17. Notes of the bank of France, 1914/28. 18. German Reichsmarks, 1914/29. 19. Italy and Poland.

II. The relation of credit to prices. 20. The problem of credit and prices. 21. Some theories of value. 22. Demand. 23. Supply, costs, and prices. 24. Prices and the standard. 25. Effect of credit and mediums of exchange on prices. 26. Banking credit and prices. 27. Crises and prices. 28. Prices.

\***Lazard, J.-P.** Politique et théories monétaires anglaises d'après-guerre. Paris: Recueil Sirey 1925. v, 125 p.

— Les récentes théories monétaires anglaises. (R. d'écon. pol. 40-3, 19 p., 5, 17 p.) 1926

\***Lederer, C.** Metallgeld oder Zeichengeld. Erörterungen zur "Staatl. Theorie d. Geldes" unter bes. Berücks. d. Geldwertproblems. München, Berlin, Leipzig: Schweitzer 1923. 53 p. 8°

- \***Leffler, R. V.** Money and credit. New York: Harper 1934. 524 p.
- \***Lehfeldt, R. A.** Money. Oxford: Oxford Univ. Pr. 1926. 116 p. 8° [World's Manuals]
- \***Lehmann, M. R.** Autarkie und Währung. Grundfragen sofortiger Arbeitsbeschaffung. Unter Mitw. von H. Wagenführ. Berlin: Junker & Dünhaupt 1932. 110 p. 3 Tab. 8°
- \***Leidgebel, G. & Mährholz, B.** Grundriss des gesamten Geld-, Bank- und Börsenwesens. 3. vollst. neubearb. Aufl. Berlin: Haude & Spener 1928. vii, 264 p. 8°
1. Ursprung und Entwicklung des Geldes. Münzsystem.
  2. Die Währung.
  3. Papiergeld.
  4. Der bargeldlose Zahlungsverkehr.
  5. Der Wechsel und der Wechselverkehr.
  6. Die Anweisung.
  7. Der deutsche Kapitalmarkt.
  8. Die deutsche Kreditorganisation.
  9. Die Reichsbank.
  10. Die Deutsche Rentenbank.
  11. Die Deutsche Golddiskontbank.
  12. Die Kreditbanken.
  13. Das Sparkassenwesen.
  14. Die Genossenschaftsbanken.
  15. Die Hypothekbanken.
  16. Kredit.
  17. Das Kontokorrentgeschäft.
  18. Das Depositengeschäft.
  19. Das Diskontgeschäft.
  20. Das Lombardgeschäft.
  21. Das Inkassogeschäft.
  22. Der Kreditbrief.
  23. Das Devisengeschäft.
  24. Der Hypothekarkredit.
  25. Effekengeschäfte.
  26. Börse und Börsengeschäfte.
  27. Der Reichsbankausweis.
  28. Zwischenbilanzen.
  29. Die deutsche Reparation (nach dem Londoner Protokoll)
- Lepper, H.** Geld- und Währungstheorie der Nationalsozialisten. (Dt. Arbeit. 18-1/2, 8 p.) 1933
- Lescure, J. G.** Valois: L'Etat, les finances et la monnaie. (R. d'écon. pol. 39-5, 2 p.) 1925
- \***Lewinski, J. S.** Money, credit, and prices. London: King 1929. 150 p. 8°
- I. Theory. 1. Are prices determined by money? 2. Credit policy and the price level. 3. Is there a quantity theory of money?
  - II. History. 4. The genesis of Peel's act. 5. The controversy between the currency and banking school.
- \***Lewis, P. G.** Supplement to the book solution, text book on the philosophy of money and banking and finance. Milwaukee: Pabst Publ. Co. 1919. 24 p.
- Lexis & Terhalle** Währung. (HWB. d. Staatswiss. 4. Aufl. 8, 6 p.) 1927
- Löbl, R.** Ein Beitrag zur Lehre vom Gelde. [zu Nussbaum: Das Geld in Theorie u. Praxis d. dt. u. ausländ. Rechts. Tübingen 1925] (Mitt. d. Verb. österr. Banken u. Bankiers. 8-4, 7 p.) 1926
- Loriot, J. L.** Pommery: Changes et monnaies, avec préface de M. Albert Buisson. (R. d'écon. pol. 40-3, 1 p.) 1926
- \***Lowenfeld, H.** Money in fetters: its history and mystery candidly related. London: Murray 1924. 128 p. 8°
- Luther, H.** Währung und Kredit. (Wirtschaftl. Nachr. a. d. Ruhrbez. 5-14, 3 p.) 1924
- \***MacCullough, E.** Everybody's money; what it is, what it does, what should be done with it. New York: Putnam 1923
- \***MacGarrah, A. F.** Money talks. New York: Revell 1922. xii, 176 p.
- Machlup, F.** Geldtheorie und Konjunkturtheorie. (Mitt. d. Verb. österr. Banken u. Bankiers. 11-5/6, 9 p.) 1929
- McKenna, R.** Credit and currency. (Bankers' Mag.—Lond. 1012, 8 p.) 1928
- Kredit und Währung. (Bankwiss. 5-10, 8 p.) 1928
- \***Mackmurdo, A. H.** Money and credit of the future, and other essays. London: King 1929. 88 p. 8°
- \***MacNamara, J. J.** Money, its functions and power. Baltimore: Author 1931. 80 p. 12°
- \***Magee, J. D.** An introduction to money and credit. Rev. ed. New York: Crofts 1933. 510 p. 8°. [1. ed. 1926. viii, 468 p.]
- \***Maier, G.** Geldwesen, Zahlungsverkehr und Vermögensverwaltung. 2. Aufl. Leipzig: Teubner 1919. 133 p. 8°. [Aus Natur und Geisteswelt. Samml. wissenschaftl. gemeinverständl. Darst. 398]
- \***Major, M. B. F.** Currency. Its bearing on national reconstruction and imperial development. Manchester: Manchester Statist. Soc. 1919
- Majorana, G.** Le teorie della moneta e del valore in Aristotele. (Giorn. d. econ. 41-1, 13 p.) 1926
- Mallock, W. H.** Capital and money. (Outlook. 1156, 2 p.) 1920
- \***Martin, H.** Christ and money. London: S. C. M. 1926. 111 p. 8°
- \***Mater, A.** Traité juridique de la monnaie et du change. Numéraire, billets de banque, franc-or et franc-papier. Le change et les contrats. Contrats et opérations de change. Paris: Dalloz 1925. 449 p. 16°
- \***Mayer, H.; Fetter, F. A. & Reisch, R.** (Hrsg.) Die Wirtschaftstheorie der Gegenwart. 4 Bde. Wien: Springer 8°
- Bd. 1. Gesamtbild der Forschung in den einzelnen Ländern. 1927. xii, 280 p.
  2. Wert, Preis, Produktion, Geld und Kredit. 1932. 413 p.
  3. Einkommensbildung (Allgemeine Prinzipien, Lohn, Zins, Grundrente, Unternehmengewinn, Spezialprobleme) 1927. v, 341 p.

4. Konjunktoren und Krisen, Internationaler Verkehr, Hauptprobleme der Finanzwissenschaft, Oekonomische Theorie des Sozialismus. 1928. v, 375 p. mehr. Abb.
- Meis, H.** Wirtschaft und Währung. (Glückauf. 67-43, 4 p.) 1931
- \***Melchett** Modern money. A treatise on the reform of the theory and practice of political economy. London: Secker 1932. x, 278 p. 8°
1. Analysis.
  2. Currency and banking.
  3. National and international money.
  4. Stocks—Their value and their effects.
  5. Industry.
  6. Empire.
  7. Politics.
  8. The human future.
  9. Synthesis.
- \***Melrose, C. J.** Money and credit. Intro. by Irving Fisher. London: Collins 1922. 232 p. 12°
- I. 1. Introductory remarks.
  2. Economic evolution.
  3. "Surplus product" and "Surplus wealth."
  4. Difficulties of barter.
  5. The notched-stick as money.
  6. The four stages of barter.
  7. A unit of computation.
  8. Commodity money.
  9. A mixed currency.
  - II. 1. Factors of economic progress.
  2. What is "Capital?"
  3. Food is the primary need.
  4. Capital is a result of saving.
  5. Some commonplace truths.
  6. Summary.
  7. Capital as a factor of economic progress.
  8. Saving: an economic paradox.
  9. What is the process of financing?
  - III. 1. A "Pawn-shop" system.
  2. The "Free-money" school.
  3. "Credit" and "Credibility."
  4. Bankers "Transfer" credit.
  5. Money is a "Certificate of delivery."
  6. The "Quality" and "Quantity" theories.
  7. Convertibility.
  8. Money introduces an element of gambling.
  9. Commodity money is a "Double-Gamble."
  10. Gold as a "Measure" of value.
  11. A question of quantity.
  12. Inflation of paper money.
  - IV. 1. Ricardo's law of the distribution of the precious metals.
  2. The "Gold-Basis" restricts credit.
  3. The bank act of 1844.
  4. The gold reserve and convertibility.
  5. The inverted pyramid.
  6. Gambling with loaded dice.
  - V. 1. What is a unit of value?
  2. What is meant by "Value?"
  3. Value and price.
  4. A unit of equivalence.
  5. No one invented money.
  6. Bimetallism.
  7. "Inferior" money drives out "Superior" money.
  - VI. 1. What is meant by exchange at par?
  2. What is meant by "Gold points?"
  3. Bills of exchange.
  4. International trading.
  5. Foreign bills of exchange.
  6. The causes of variations in exchanges.
  - VII. 1. Gold as a stabilizer of exchanges.
  2. Currency and inflation.
- VIII. 1. An epitome. 2. Clearing the ground.
- IX. Conclusion.
- \***Mémorandum sur les monnaies, 1913/21.** Publié par Société des Nations. Genève: Kundig 1922. iv, 115 p. 1 graph. 4°
- Mildschuh, W.** Kreditinflation und Geldtheorie. (A. f. Sozialwiss. 51-3, 55 p., 52-1, 45 p.) 1924
- [Geld.] 2. Geschichtliche Entwicklung der Geldtheorie. (HWB. d. Staatswiss. 4. Aufl. 4, 13 p.) 1927
- \***Miller, C.** Studien zur Geschichte der Geldlehre. 8°. [Münchner volkswirtschaftl. Stud. 146]
- TL. 1. Die Entwicklung im Altertum und Mittelalter bis auf Oresmius. Stuttgart: Cotta 1925. viii, 137 p.
- I. Quellen und ihre Verarbeitung. 1. Das Geldproblem in der Philosophie des Altertums. 2. Geldwert und Geldbegriff im Römischen Recht. 3. Weitere Ausführungen über das Geldproblem bis zum Zeitpunkt des Bekanntwerdens des Urtextes der Aristotelischen Schriften. 4. Der Einfluss des Bekanntwerdens der Aristotelischen Schriften auf die Geldtheorie. 5. Die weitere Ausbildung der Geldtheorie infolge des Einflusses der Münzverschlechterungen.
  - II. Rückblick und Ueberblick.
- \***Mills, R. C. & Benham, F. C.** Principles of money, banking, and foreign exchange and their application to Australia. 2. ed. London: Angus 1925. 237 p. 8°
- \***Mises, L. v.** Theorie des Geldes und der Umlaufmittel. 2. neubearb. Aufl. München: Duncker & Humblot 1924. xv, 420 p. 8°. [1. ed. 1911]
- I. Das Wesen des Geldes. 1. Die Funktion des Geldes. 2. Ueber Wertmessung. 3. Die Erscheinungsformen des Geldes. 4. Das Geld und der Staat. 5. Die Stellung des Geldes im Kreise der wirtschaftlichen Güter. 6. Die Gegner des Geldes.
  - II. Vom Geldwert. 1. Das Wesen des Geldwerts. 2. Die Bestimmungsgründe des objektiven Tauschwertes (der Kaufkraft) des Geldes. 3. Die vermeintlichen örtlichen Verschiedenheiten des objektiven Tauschwertes des Geldes. 4. Das wechselseitige Austauschverhältnis mehrerer Geldarten. 5. Das Problem der Messung des objektiven Tauschwertes des Geldes und seiner Veränderungen. 6. Die sozialen Begleiterscheinungen der Veränderungen des inneren objektiven Tauschwertes des Geldes. 7. Geldwertpolitik. 8. Die Geldpolitik des Etatismus. 9. Zur Klassifikation der Geldtheorien.
  - III. Die Umlaufmittel und ihr Verhältnis zum Gelde. 1. Die Bankgeschäfte. 2. Die

Entwicklung der Umlaufmittel. 3. Umlaufmittel und Geldbedarf. 4. Die Einlösung der Umlaufmittel in Geld. 5. Geld, Umlaufmittel und Zins. 6. Probleme der Umlaufmittelpolitik.

\***Mises, L.** The theory of money and credit. Transl. Introd. by **L. Lobbins**. London: Cape 1934. 445 p.

\***Moffett, L. B.** Money and banking. 9. ed. of the Peirce manual of business forms and customs. Philadelphia: Peirce School of Business Administration 1924. viii, 195 p. 12°

\***Moll, B.** Die modernen Geldtheorien und Währungssysteme. 2. stark verm. Aufl. von "Die modernen Geldtheorien und die Politik der Reichsbank." Stuttgart: Enke 1926. 84 p. 4°. [Finanz- u. volkswirtschaftl. Zeitfragen. 45]

Einl. 1. Die Geldreformer und die Wissenschaft. 2. Das statische und das dynamische Geldproblem.

I. Die modernen Geldtheorien. 1. Im allgemeinen. 2. Der Streit um die Anweisungstheorie.

II. Die modernen Währungssysteme. 1. Uebersicht über die Währungssysteme und -projekte. i. Deckungswährung: Gold- u. Umlaufwährung: Goldkern-, -barren- und Devisenwährung. ii. Kunstwährung: Papierwährung mit Goldreserve für den Spitzenausgleich: ideale Papierwährung ohne Goldreserve: bisherige entartete Papierwährung. 2. Die modernen Währungssysteme und -projekte im einzelnen. i. Deckungswährungen. ii. Kunstwährungen Darstellung und Kritik der antimetallistischen Lehre.

\*— Logik des Geldes. 3. Aufl. München: Duncker & Humblot 1929. xvii, 104 p. 8°. [1. Aufl. 1916]

1. Methodologie. 2. Das Problem des Endes als fundamentale Aufgabe der Logik des Geldes. 3. Die Geldliteratur und der Versuch, zu Ende zu denken. 4. Eigener Lösungsversuch: Grundlegung einer wirtschaftlichen Theorie des Geldes.

\***Moeller, H.** Die Lehre vom Gelde. Leipzig: Quelle & Meyer 1925. viii, 229 p. 8°

Einl.: Stellung und Bedeutung des Geldes in der Wirtschaft.

I. Geschichte des Geldes. 1. Das Geld im Altertum. 2. Das Geld im Mittelalter. 3. Das Geld vom Beginne der Neuzeit bis in die Gegenwart. i. Warengeld. ii. Münzen. iii. Papiergeld. iv. Buchungsgeld.

II. Theorie des Geldes. 1. Das Wesen des Geldes. i. Die Funktionen des Geldes. ii. Die Erfordernisse des Geldes. 2. Der Stoffwert des Geldes. i. Die Erforderlichkeit des Stoffwertes. ii. Die Bestimmungsgründe des Stoffwertes. 3. Der Warenwert

des Geldes. i. Das Wesen des Warenwertes des Geldes. ii. Die Bestimmungsgründe des Warenwertes des Geldes. 4. Der intermonetäre Geldwert. 5. Der intervalutarische Geldwert. i. Tatbestand und Bedeutung des intervalutarischen Geldwertes. ii. Die Bestimmungsgründe des intervalutarischen Geldwertes.

\***Monetarius, F.** Beitrag zur Klärung des Geldbegriffs u. zur Beleuchtung unserer deutschen Presse...., verb. mit e. Weckruf an d. deutsche Intelligenz. Ferner e. Warnung an andere Völker: Völker Europas, bewahrt euren Goldschatz vor d. Reise über d. Ozean! Eine wissenschaftl. exakte u. gemeinverst. Kampfschrift gegen d. "Nominalismus". Suderburg (Bez. Hannover): Meyer 1924. 16°

\*— Das Geld. Die natürl. Ursachen für die Entstehung des Geldes.—Der Begriff "Geld."—Das "Anti-Greshamgesetz."—Irrlehren über das Geld. Suderburg (Bez. Hannover): Meyer 1925. 32 p. 8°. [Neues Zeitalter. 2]

\***Moon, P. T.** (ed.) Business, speculation and money: a series of addresses and papers presented at the annual meeting of the Academy of Political Science, Nov. 22, 1929. New York: Acad. of Pol. Sci. 1930. xii, 123 p. [Proceedings, of the Acad. of Pol. Sci. 13, 4]

\***Mori, P.** Gold, Geld und Preis. (Schweiz. Bl. f. Handel u. Ind. 30-11/12, 3 p.) 1923

\*— Das Geld. Eine wirtschaftstheoretische Untersuchung. Bern: Huber 1930. 117 p. 8°

I. Dogmengeschichtlicher. 1. Der Metallismus. 2. Der Proportionalismus. 3. Nominalismus. 4. Die Geldlehre Liefmanns. i. Allgemeines. ii. Die tauschwirtschaftliche Funktion des Geldes. iii. Die innerwirtschaftliche Funktion des Geldes. iv. Das Geld als abstrakte allgemeine Rechnungseinheit. v. Entstehung und Anwendungsbereich der abstrakten Rechnungseinheit. vi. Der Wert des Geldes. vii. Das Einkommen.

II. Theoretischer. 1. Allgemeines. 2. Das Wesen des Geldes. i. Allgemeines. ii. Das Geld als Rechnungseinheit und Kostengut. iii. Der Umfang des Geldbegriffs. iv. Die Entstehung des Geldes. 3. Schluss.

III. Kritischer. 1. Allgemeines. 2. Die Hypothese vom Geldwert. 3. Die Quantitätstheorie. 4. Schluss.

\***Morris, J. F. L.** The gateway to finance: the fundamentals of money banking. Philadelphia, Yardley: Cook 1926. 131 p. 12°

\***Mottram, R. H.** In what sense is "money" a special commodity? (Banker. 50, 5 p.) 1930

\***Müller, A. H.** Versuche einer neuen Theorie des Geldes. Mit erkl. Anm. vers. von H. Lieser. Jena: Fischer 1922. viii, 331 p. 12°. [Herdflamme. 2]

I. Einleitung.

II. Grundlegungen einer neuen Theorie des Geldes. 1. Von dem einzelnen Menschen, als Vorbilde der Staatshaushaltung. 2. Von der Kugel, als ökonomisches Schema. 3. Vom Gelde. 4. Unterschied der Wechselsclaverey und der freien Wechselwirkung, zwischen den ökonomischen Kräften. 5. Vom Massstabe. 6. Von der Münze. 7. Dass der Wertmassstab nicht bloss Grössen, sondern auch Richtungen und Verhältnisse messen solle. 8. Von den beyden Elementen des Wertmassstabes: dem Metallmassstabe und dem Creditmassstabe. 9. Vom Ueberfluss und vom Mangel des Geldes.

\*— Vom Geiste der Gemeinschaft. Elemente d. Staatskunst. Theorie d. Geldes. Zugesamt u. eingel. von F. Bülow. Leipzig: Kröner 1931. xlv, 354 p. 8°. [Kröners Taschenausg. 86]

\***Muss, M.** Zur Problematik der neueren Geldlehre. [Sammelreferat: Elster, Singer, Owesny, Schumpeter, Cassel, Marshall, Mises, Hawtrey, Hahn, Just, Bellerby u. Moeller.] (Weltw. A. 27-1, 18 p.) 1928

\***Myrdal, G.** Der Gleichgewichtsbegriff als Instrument der geldtheoretischen Analyse. [In: Beiträge z. Geldtheorie. 127 p.] 1933

\***Nagel, P.** Geld und Boden. Systematische Darstellung einer krisenlosen, ausbeutungsfreien Wirtschaftsordnung. Frankfurt a. M.: Verl. Wirtschaftsreform G. m. b. H. 1928. 261 p. 8°

I. Einl. 1. Psychologische Einleitung. 2. Volkswirtschaftliche Einleitung.

II. Heutiges Geldwesen. 1. Währungsproblem. 2. Zinsproblem. 3. Krisenproblem.

III. Heutiges Bodenrecht. 1. Landproblem. 2. Lohnproblem. 3. Staatsproblem.

IV. Freigeld-Reform.

A. Technik der Freigeldreform. B. Folgen der Freigeld-Reform. 1. Währungsproblem. 2. Zinsproblem. 3. Krisenproblem.

V. Freiland-Reform.

A. Technik der Freiland-Reform. B. Folgen der Freiland-Reform. 1. Landproblem. 2. Lohnproblem. 3. Staatsproblem.

VI. Kulturelle Folgen der Freiwirtschaft. 1. Individuum und Freiwirtschaft. 2. Klassenschichtung und Freiwirtschaft. 3. Staat, Gemeinde und Freiwirtschaft. 4. Menschheit und Freiwirtschaft.

VII. Kampf um die Freiwirtschaft. 1. Durchführbarkeit der Freiwirtschaft. 2. Gewinnung der Menschen. 3. Ausblick.

\***Nassen, P.** Geld schafft Arbeit. (Dt. Volkswirt. 7-49, 5 p.) 1933

\***Neubauer, J.** J. M. Keynes: Vom Geld. (A treatise on money.) Deutsch von Carl Krämer. (Schmollers JB. 56-1, 10 p.) 1932

\***Neurath, O.** Geld und Sozialismus. (Kampf. 16-4/5, 13 p.) 1923

— Geld, Sozialismus, Marxismus. (Kampf. 16-8, 6 p.) 1923

\***Niemer, G.** Das Geld. Ein Beitr. z. Volkskunde. Breslau: Marcus 1930. viii, 242 p. 8°. [Wort u. Brauch. 21]

1. Das Geld im deutschen Sprachgebrauch. 2. Die übernatürliche Kraft des Geldes. 3. Zaubergeld. 4. Geld schaffende Kobolde und Geister. 5. Gelderwerb, Geldbesitz und Aberglaube. 6. Das Geld in Glaube und Brauch des täglichen Lebens.

\***Nogaro, B.** La monnaie et les phénomènes monétaires contemporains. Paris: Giard 1924. 322 p. 8°

Introduction

I. Les systèmes monétaires modernes et leur fonctionnement. 1. Les systèmes monétaires modernes. 2. Le règne du bimétallisme. 3. La dépréciation de l'argent. 4. Le rétablissement des changes avant la guerre de 1914. 5. La crise monétaire depuis la guerre de 1914.

II. L'interprétation des phénomènes monétaires contemporains et la théorie de la monnaie.

1. Critique de la théorie classique. 2. La monnaie et les mouvements des prix. 3. La théorie du change et ses corollaires. 4. La notion de monnaie et celle d'étalon monétaire.

III. 1. La recherche d'un étalon stable. 2. Le retour aux changes normaux. Conclusions.

\*— Money and current monetary phenomena. London: King 1926. 320 p. 8°

\***Nolan, P.** What is a pound? and What is money? London: Sands 1930. 120 p. 12°

\***Nussbaum, A.** Das Geld in Theorie und Praxis des deutschen und ausländischen Rechts. Tübingen: Mohr 1925. xv, 278 p. 8°

I. Allgemeine Lehren. 1. Begriff des Geldes. 2. Geldzeichen und Währung. 3. Geldschulden. 4. Geldersatz.

II. Die Probleme der Praxis. 1. Geldänderungen in ihrem Einfluss auf schwebende Schulden. 2. Valutaschulden. 3. Handel in ausländischen Zahlungsmitteln.

\***Obst, G.** Geld-, Bank- und Börsenwesen. Eine gemeinverständl. Darst. 28. völlig veränd. Neuauf. Stuttgart: Poeschel 1933. xv, 545 p. 8°. [Samml. kaufmänn. Unterrichtswerke. 1]

- I. Geld und Geldsurrogate. 1. Ursprung und Entwicklung des Geldes. 2. Wesen des Geldes. 3. Die Währungsfrage. 4. Münztechnisches. 5. Geldsurrogate.
- II. Banken und Bankgeschäfte. 1. Skizze der geschichtlichen Entwicklung des Bankwesens. 2. Arten der Banken. 3. Passivgeschäfte der Banken. 4. Aktivgeschäfte der Banken. 5. Die indifferenten Geschäfte der Banken (Dienstleistungsgeschäfte). 6. Bankbetriebe des öffentlichen Rechts. 7. Organisation der grossen ausländischen Notenbanken.
- III. Börse und Börsengeschäfte. 1. Skizze der geschichtlichen Entwicklung der Börse. 2. Arten der Börsen. 3. Organisation der Börse. 4. Zulassung von Wertpapieren zum Börsenhandel. 5. Arten der an der Börse gehandelten Wertpapiere. 6. Der Börsenauftrag. 7. Die Kurse. 8. Arten der Börsengeschäfte. 9. Arbitragen. 10. Die wichtigsten Effekten börsen des Auslandes.
- \***O'Duffy, E.** Life and money. The principles and practice of orthodox economics and a scheme for remedying the present crisis. London: Putnam 1932. 231 p. 8°
1. The economic muddle. 2. The way out. 3. Supplementary notes. 4. Epilogue.
- \***Ohno, J.** Sozialökonomische Theorie des Geldes. Mit einem Geleitwort von K. Singer. Leipzig: Deichertsche Verlagsbuchh. Nachf. 1931. ix, 130 p. 8°
1. Die Begriffsbildung der Nationalökonomie und der Begriff des Geldes. 2. Das statisch-qualitative Geldproblem.—Das Wesen des Geldes und des Geldwertes. 3. Das dynamisch-quantitative Geldproblem.—Die Schwankung der Marktkraft des Geldes. Schluss. Die Bestimmung des Einzelpreises und die Lehre vom Preisniveau.
- \***Old and scarce tracts on money.** Pref. by J. R. McCulloch noted and index. London: King 1933. 637 p. 8°
- \***Oppenheimer, F.** Zur Geldtheorie. [In: Oppenheimer, Wege z. Gemeinschaft. 13 p.] 1924
- Ostermann, C.** Zur Definition des Geldes als Rechtsanspruch. (Bank. 18-12, 3 p.) 1925
- \***Oswald, C.** The physiology of credit and of money. London: 1919. 170 p.
- \***Oswald, H.** Grundzüge der Geldtheorie: ein Nachtrag zu den Vorträgen über wirtschaftliche Grundbegriffe. Jena: Fischer 1929. v, 78 p. 8°
1. Das Geld als Tauschmittel. 2. Das Geld als Wertmass. 3. Weitere Funktionen des Geldes? 4. Verschiedene Arten des Geldes. 5. Das Geld in der Wirtschaft.

\***Ottel, F.** Ständische Theorie des Geldes. Jena: Fischer 1934. viii, 192 p. 8°. [Dt. Beitr. z. Wirtschafts- u. Gesellschaftslehre. 11]

1. Entwicklung des Geldbegriffes. i. Der Wirtschaftsbegriff. ii. Der Geldbegriff. iii. Folgerungen. iv. Geldschöpfung. v. Mittelbares Geld, arteigenes Geld. vi. Geld und Gut. vii. Die Geldformen. viii. Der Träger der Geldleistung. ix. Die "Umlaufgeschwindigkeit." x. Die Mengenhaftigkeit des Geldes. xi. Geld und Kapital. xii. Das Geld und das sonstige Kapital höherer Ordnung. 2. Das Geld im Gliederbau der Wirtschaft. i. Der Gliederbau der Wirtschaft. ii. Zielnahe und zielferne Geldschöpfung. iii. Die Geldschöpfung als Vollendung der Mittelhaftigkeit. iv. Geldschöpfung und genetischer Vorrang. v. Geldschöpfung im Stufenbau. 3. Der Geldwert. i. Systematische Stellung des Wertbegriffes. ii. Die "Geldgleichung." iii. Der Geldwert nach der Grenznutzen- und der Quantitätstheorie. iv. Geldwert und Preisstand. v. Höhe des Geldwertes nach der ganzheitlichen Theorie. vi. Der Aussenwert des Geldes. (Valuta). vii. Aussenwertentwicklung der englischen und der amerikanischen Währung. 4. Richtige Geldschöpfung. i. Die Aufgabe. ii. Verstaatlichung des Kredites. iii. Räumliche Gliederung der Geldschöpfung. iv. Fachliche Gliederung der Geldschöpfung. v. Beschränkung der Geldmenge: Verschiedene Lösungsversuche. vi. Systematische Bestimmung der Geldmenge. vii. Die Bestimmung der Geldmenge und die betriebswirtschaftliche Rechnungsführung. viii. Gestaltung der Geldverfassung. Methodologisches Schlusswort.

\***Oualid, W.** Leçons sur la monnaie et les problèmes monétaires professées pendant l'année 1926/27 (Ecole supérieure d'enseignement financier.) Paris: Recueil Sirey 1927. 266 p. 8°

— A. Aftalion: Monnaie et industrie. Les grands problèmes de l'heure présente. (R. d'écon. pol. 42-6, 2 p.) 1928

— A. Pose: De la théorie monétaire à la théorie économique. (R. d'écon. pol. 44-2, 2 p.) 1930

\***Palmer, A. R.** Finance. London: Bell 1922. [Bell's Handbooks of commerce and finance] Vol. 1. Banking, stock-broking, currency, exchange. xiii, 189 p.

1. Banking. 2. Stock-broking. 3. Currency and bills of exchange.

**Palyi, M.** Ungelöste Fragen der Geldtheorie. [In: Wirtschaftswissenschaft nach d. -Kriege. =Festgabe f. Brentano. 2, 63 p.] 1925

**Papi, G. U.** Studi sulla teoria monetaria dei cicli industriali. Rapporti fra interesse e sconto. (Giorn. d. econ. 45-3, 38 p.) 1930

\*— Lezioni di economia generale e corporativa. 3 vols. Padua: Milani 1934. 8°

Vol. 1/2. Della moneta. 292, 317 p.

3. Teoria della fluttuazioni economiche: L'ordinamento corporativo italiano. 243 p.

\***Pfister, O.** Der seelische Aufbau des klassischen Kapitalismus und des Geldgeistes. Bern: Bircher 1923. vii, 85 p. 8°. [Schr. z. Seelenkunde u. Erziehungskunst. 7]

**Pielert, H.** Währung und Kredit. (Creditreform. 41-1, 4 p.) 1925

\***Piétri, F. & autres** Les doctrines monétaires à l'épreuve des faits. Paris: Alcan 1932. x, 232 p. 8°

Allocation de M. P. Ernest Picard.

I. Le problème de l'argent. 1. Conférence de M. François Herbet. 2. Discours de M. François Piétri.

II. Les banques d'émission. 3. Conférence de M. Louis Pommery. 4. Discours de M. Edgard Allix.

III. Le gold exchange standard. 5. Conférence de M. Edmond Lebée. 6. Discours de M. A. Céliér.

IV. Défense en illustration de l'étalon or. 7. Conférence de M. Jacques Rueff. 8. Discours de M. Pierre-Etienne Flandin.

\***Pikler, A.** A short groundwork of the kinetic theory of money. Correlation between Prof. I. Fisher's equation of exchange and the general law of gases. Budapest: Müintézet 1932. 30 p. [Rep.: Hungarian Econ. Rev. 1932, 2]

**Pikler, J. J.** Zur Frage der Dynamik und der Systematologie des Geldes. (Schmollers JB. 51-5, 38 p.) 1927

**Pirou, G.** A. Aftalion: Monnaie, prix et change. (R. d'écon. pol. 47-3, 2 p.) 1933

**Polier, L.** Monnaie, banque, change. (Europe nouv. 67, 2 p.) 1919

\***Pollock, J. K.** Money and politics abroad. New York: Knopf 1932. 343 p. 8°

\***Pommery, L.** Changes et monnaies, avec préface de M. Albert Buisson. Paris: Giard 1926. xix, 592 p. 8°

1. La crise monétaire universelle (1914/25). 2. Les monnaies. i. Europe. ii. Afrique. iii. Asie et Océanie. iv. Amérique. 3. Les opérations de change, la dépréciation de la monnaie et les contrats.

**Porri, V.** Sulla funzione monetaria dell'oro. (Giorn. d. econ. 48-5, 5 p.) 1933

\***Pose, A.** De la théorie monétaire à la théorie économique. Paris: Recueil Sirey 1930. 183 p. 8°

1. La théorie monétaire classique. 2. La théorie monétaire classique devant les perturbations postérieures à 1914. 3. Les théories monétaires nouvelles et leur esprit. Exemples. 4. Portée des théories monétaires nouvelles sur le concept de science économique. 5. Science économique et politique économique. Conclusion.

\***Putney, A. H.** Currency, banking and exchange. Chicago: Lincoln Inst. of Business 1921. vii, 418 p. 8°. [Business, commerce and finance.]

1. The functions of money. 2. History of currency. 3. History of American currency. 4. Coins and currency. 5. Functions of banking. 6. History of banking. 7. History of American banking. 8. National and state banking laws. 9. Methods and machinery of banking. 10. Problems in currency and banking. 11. Quiz questions.

**Raditz, S. L.** Walras: Theorie des Geldes. Eine Entgegnung [an Alfred Amonn zu dessen Kritik der Walras-Uebersetzung von Kerschagl u. Raditz.] (A. f. Sozialwiss. 51-2, 4 p.) 1923

\***Rawlinson, A.** The true principle of money and its application in stabilizing the currencies. London: King 1923. 16 p. 8°

**Reisch, R.** Vom Geld. [In: Die Wirtschaftstheorie der Gegenwart. 2] 1932

\***Répétitions écrites de monnaie, crédit, change.** A. D. F. (1927/1928). Paris: "Cours de droit" 1928. 8°

\*— (1928/1929). Paris: "Cours de droit" 1929. 8°

\***Richard, D.** Minor papers on the currency question, 1809/1823. Ed. by J. H. Hollander. Baltimore: Hopkins 1932. ix, 231 p.

\***Rickard, T. A.** Man and metals. A history of mining in relation to the development of civilisation. 2 vols. London: MacGraw 1932

**Rist, Ch.** A. Aftalion: Monnaie, prix et change. Expériences récentes et théories. (R. d'écon. pol. 41-6, 2 p.) 1927

\*— Essais sur quelques problèmes économiques et monétaires. Paris: Recueil Sirey 1933. xvi, 501 p. 8°

\***Robertson, D. H.** Money. New ed. rev. London: Nisbet 1928. xiv, 182 p. 12°. [Cambridge econ. handbook. 2] [1. ed. 1922]

1. The merits and drawbacks of money. 2. The value of money. a. What is meant by the value of money. b. How

the value of money is determined. 3. The quantity of money. i. The kinds of money. ii. The quantity of bank money. iii. The quantity of common money. 4. The gold standard. 5. Money and saving. 6. Money in the great muddle. i. Monetary collapse. ii. Monetary restoration. 7. The question of the standard. 8. The question of the cycle.

\***Robertson, D. H.** Das Geld. Deutsch hrsg. von **M. Palyi**. Berlin: Springer 1924. vii, 149 p. 8°. [Wirtschaftswissenschaftl. Leitfäden. 2]

1. Lichte- und Schattenseiten des Geldes. 2. Der Wert des Geldes. i. Was mit Geldwert gemeint ist. ii. Die Bestimmungsgründe des Geldwertes. 3. Die Geldmenge. i. Die Geldarten. ii. Die Menge des Bankgeldes. iii. Die Bargeldmenge. 4. Bankgeld und Preisniveau. 5. Der Krieg und das Preisniveau. 6. Stabiler und veränderlicher Wertmassstab. 7. Die Wechselkurse. 8. Die aktuellen Fragen der Währungspolitik.

— Mr. Keynes' theory of money. (Econ. J. 163, 17 p.) 1931

\***Rodewyk, A. P.** Unser Geld und Gut. Gedanken über d. Eigentum u. seine Verwendung. Mit bes. Bericks. d. Enzyklika Quadragesimo anno. Paderborn: Schöningh 1933. 128 p. 8°

\***Roll, E.** About money. London: Faber 1934. 255 p. 8°

I. The nature of money. 1. The nature and functions of money. 2. Money and credit. 3. Money and capital.  
II. The money problem. 1. The nature of monetary problems. 2. Monetary changes. 3. Money and crises.  
III. Monetary policy. 1. Objectives. 2. Means. 3. Money and society.

\***Rollins, M.** Money and investments. 7. ed. rev. and enl. by Benjamin Fisher. Boston: Financial Pub. Co. 1926. 514 p. 8°

\***Röpke, W.** Geld und Aussenhandel. Jena: Fischer 1925. x, 110 p. 8°

1. Einleitung: Nationalökonomische Sophismen. 2. Methodologisches. 3. Eijnige grundlegende Erwägungen. i. Begriff und Wesen des auswärtigen Handels. ii. Die verschiedenen Zusammenhänge zwischen Geldwesen und auswärtigen Handel. 4. Handelsbilanz und Zahlungsbilanz. 5. Folgerung für die auswärtige Handelspolitik. 6. Schluss: Auswärtiger Handel und Finanzpolitik.

\***Rueff, J.** Théorie des phénomènes monétaires. Paris: Payot 1927. 368 p. 8°

Les caractéristiques intérieures de la circulation monétaire. 1. Le pseudoprobème de la théorie quantitative. 2. Le niveau général des prix et l'indice d'activité des

échanges. 3. La genèse des unités monétaires. 4. La vitesse de circulation. 5. Les présomptions statistiques en faveur de l'équation des échanges. 6. Le cas simplifié de deux pays en présence. 7. Le cas général d'un nombre quelconque de pays en présence. 8. Les applications pratiques et les vérifications expérimentales de la théorie de la disparité. 9. L'équilibre économique et le mécanisme des prix.

\***Rukeyser, M. S.** The common sense of money and investments. New York: Simon & Schuster 1924. 333 p. 12°. [Common sense lib. 2] [2. ed. New York: Ind. publ. 1933. 350 p. 8°]

\***Saar, F.** Wirkliches Geld. 2. umgearb. Aufl. München: Hirth 1930. 13 p. 8°. [Schr. d. Bundes f. Metalgeld nach Gewicht. 1] [1. ed. 1921. 23 p.]

**Sabourdin, A.** Philosophie monétaire. (Grande R. 29-9) 1925

\***St. Clair, O.** The physiology of credit and of money. London: King 1919. 170 p. 8°

1. The function of credit. 2. How prices are fixed. 3. The physiology of circulation. 4. Circulating capital and income. 5. More about credit and the wholesale market. 6. The functions of banks.

\***Schacht, H.** Eigene oder geborgte Währung. Vortr. 2. Aufl. Leipzig: Quelle & Meyer 1928. 31 p. 8°. [Weltwirtschaftl. Gesellsch. zu Münster i. W. Schriftenr. 16]

\***Schiele, G. W.** Naturwissenschaft vom Gelde. 2. Aufl. Leipzig: Wehner 1922. iv, 204 p. 8°. [Volkswirtschaftslehre f. Jedermann. 2]

Einl.: Vom Geld als dem natürlichen und unabschaffbaren Werkzeug des menschlichen Verkehrs. 1. Das Geld als Umsatzmittel. 2. Das Geld als Valuta oder Massstab der Leistung. 3. Das Geld als Währung. 4. Leitsätze zur Währungsreform.

\*— Wie erhält ein Volk seine Währung? Berlin: Dt. Volksblatt-Verlag 1926. 16 p. 8°. [Wirtschaftsfragen d. Zeit. 1]

\***Schilling, Z.** Energielehre u. Geldtheorie. München: Duncker & Humblot 1934. 304 p. 8°

**Schlösser, P.** Von Geld, Wert und Geldwert. (Umschau. 27-35, 4 p.) 1923

\***Schmidt, C.** Zur Theorie des Geldes. 1919. 16 p.

\***Schmidt, W.** Arbeit. Wirtschaft. Währung. Gedanken u. Vorschläge eines Arbeiters. 2. erw. Aufl. Mit Anh.: Berufsständischer Wirtschafts-Aufbau, Rundfunk-Vortr. Berlin: Deutschland-Verl. 1932. 40 p. 8°

\***Schnadt, P.** Der methodologische Wertungs-subjektivismus und die Geldtheorie. Leipzig: Noske 1932. ix, 128 p. 8°. [Abh. a. d. Staatswiss. Seminar an d. Univ. Erlangen. 10]

\***Schneider, F. A.** Geld und Inflation. 1930. 59 p. [Diss. München]

\***Schoellhorn, F.** Utopische Schriftstellerei gegen Eigentum u. Geld. Eine Gegenschrift zu dem Buche "Die Sonnenstadt" von J. Vetsch. Winterthur: Hoster 1923. 45 p. 8°

\***Schult, J.** Geld und Valuta. Volkswirtschaftl. Grundbegriffe. Berlin: Arbeiterjugend-Verl. 1924. 63 p. 8°

\***Schulz-Kiesow, P.** Die Kassenhaltung. Ein Problem d. Geldtheorie, d. Bankpolitik und d. Konjunkturtheorie. Jena: Fischer 1925. xvi, 100 p. 8°

**Schvan, A.** A true currency (from Mr. Schvan's book, Towards a new social order.) (Eng. R. 34-3, 8 p.) 1922

\***Schwerin, E.** Geld, Gold, Wirtschaft. Bericht. Breslau: Trewendt & Granier 1933. 22, v p. 8°

\***Schwiedland, E.** Geld und Währung. 2. Aufl. Stuttgart: Kohlhammer 1923. 46 p. 8°

\***Scott, W. A.** Money and banking. 6. ed. New York: Holt 1926. x, 268 p.

\***Shaw, W. A. & Wigglesworth, A.** The principles of currency, credit and exchange. London: Pitman 1934. 125 p. 8°

\***Simiand, F.** Le salaire, l'évolution sociale et la monnaie. Essai de théorie expérimentale du salaire. 3 tomes. Paris: Alcan 1. T. 1931; T. 2/3. 1932. 8°. [Nouv. bibl. écon.]

\***Simmel, G.** Philosophie des Geldes. 5. unveränd. Aufl. München: Duncker & Humblot 1930. xiv, 585 p. 4°. [1. Aufl. 1900. 554 p.]

I. Analytischer. 1. Wert und Geld. 2. Der Substanzwert des Geldes. 3. Das Geld in den Zweckreihen.  
II. Synthetischer. 4. Die individuelle Freiheit. 5. Das Geldäquivalent personaler Werte. 6. Der Stil des Lebens.

\***Soda, K.** Geld und Wert. Eine logische Studie. 2. photomechan. gedr. Aufl. Tübingen: Mohr 1924. ix, 176 p. Fig. 8°

I. Kritischer. 1. Die Wertmass- und Proportionstheorie (Knies und Simmel). 2. Die staatliche Theorie des Geldes (Knapp). 3. Der gegenwärtige Zustand der Lehre von dem Wesen des Geldes.

II. Positiver. 4. Individuum und Gesellschaft. 5. Die Gesellschaft der bewertenden Individuen: die "Bewertungsgesellschaft." 6. Die Stufen der Bewertung und die

Entwicklung der Geldfunktion. i. "Gegenstands-" und "Vermittlungswert" und die Funktion als Tauschmittel. ii. Die Funktion als "objektiver Ausdruck des Wertes." 7. Geld und Wert und die Grundbegriffe der Nationalökonomie.

**Sommer, A.** Die Makute, ein Irrtum der Geldlehre. (JB. f. Nationalökon. 3 F. 76-1, 32 p.) 1929

\***Spengler, O.** Die Wirtschaft. Das Geld. Die Maschine. München: Beck 1924. iv, 48 p. 8°. [Repr.: Der Untergang d. Abendlandes. 2]

**Spitzmüller, A. v.** Volkswirtschaft, Finanzwirtschaft und Geld. (HB. d. Finanzwiss. 1, 29 p.) 1926

**Sprague, O. M. W.** Money and credit and their effect on business. [In: Recent econ. changes in the U. S. 2] 1929

\***Stamp, J.** The present position of monetary science. (Manchester School—Ludwig Mond Lecture) London: Manchester Univ. Pr. 1931. 30 p. 8°

\***Steiner, W. H.** Money and banking. New York: Holt 1933. 941 p. 8°

**Stern, L.** Vom Geld und vom Schuldigbleiben des Geldes. (Arbeit u. Wirtschaft. 10-16, 5 p.) 1932

**Stern-Rubarth, E.** Das entthronte Geld. (Dt. Rdsch. 52-7, 4 p.) 1926

\***Stillich, O.** Das Geldwesen. 4. Aufl. Leipzig: Glockner 1924. vii, 184 p. 8°. [HB. d. Geld-, Bank- und Börsenwesens. 1]

1. Einleitung. 2. Was ist Geld? 3. Vorläufer des Geldes. 4. Metallgeld. 5. Papiergeld. 6. Arbeitsgeld. 7. Notgeld. 8. Banknoten. 9. Buchgeld. 10. Wechsel. 11. Schecks. 12. Devisen. 13. Die alte und die neue Geldverfallung in Deutschland. 14. Metallismus und Nominalismus. 15. Die Quantitätstheorie. 16. Inflation. 17. Messung der Geldentwertung. 18. Folgen der Geldentwertung. 19. Zeitwährung oder das Problem der Wertstabilität des Geldes.

\***Street, G. S.** On money, and other essays. London: Constable 1921. vii, 219 p. 12°

1. Money. 2. Nerves. 3. On a race-course. 4. "Thence by omnibus." 5. Fallen among thieves. 6. Dear people. 7. Dreadful people. 8. While I wait. 9. An evil tongue. 10. A drop of comfort. 11. What might have been. 12. Strength and weakness. 13. Slush and gush. 14. An accuttal and a charge. 15. Ballets and philistines. 16. An old grievance. 17. Men's clothes. 18. Pavement reflections. 19. The lime-light man.

20. The Jew in our social life. 21. The social English. 22. Another conversation. 23. George Wyndham.

**Streller, R.** Die Eingliederung der Geld- und Konjunkturlehre in die Theorie der Nationalökonomie. (Z. f. d. ges. Staatswiss. 91-1, 38 p.) 1931

**Swoboda, O.** Die Arbitrage in Wertpapieren, Wechseln, Münzen und Edelmetallen. 17. Aufl. vollst. neu bearb. u. wesentlich verm. von E. Wagon. Berlin: Haude & Spener 1928. xx, 785 p. 8°

**Sykes, E.** Banking and currency. Introd. by F. E. Steele. 6. ed. London: Butterworth 1925. xiv, 304 p. 12°. [7. ed. 1932. 322 p.]

1. The functions and attributes of money. 2. The value of money. 3. Gresham's law. 4. The English coinage. 5. England's adoption of the gold standard. 6. Bimetallism — i. The French system. 7. Bimetallism — ii. International action. 8. Credit — The regulation of note issues. 9. The restriction of cash payments by the Bank of England. 10. The bank charter act of 1844. 11. The development of banking in England. 12. Clearing houses. 13. The functions of a banker. 14. The relations of a banker to his customer. 15. Endorsements. 16. Revocation of the customer's authority. 17. Bankers and borrowers — i. 18. Bankers and borrowers — ii. 19. The money market. 20. The bank return. 21. The foreign exchanges — i. 22. The foreign exchanges — ii. 23. The stock exchange. 24. Financial crises. 25. The outbreak of War. 26. The central gold reserve. 27. Bibliography.

**Sziklai, F.** Das "kapitalistische" und das "kommunistische" Geld. (Schmollers JB. 44-3, 18 p.) 1920

**Tauschmittel und Währung.** Berlin: Reichsbund dt. Technik 1932. 26 p. 8°. [Schr. d. Reichsbundes dt. Technik. Technisch-wirtschaftl. Reihe. 4]

**Tavistock** [Marquis of] Short papers on money. London: Nott 1934. [Pamphlets on the economics. 3]

**Taylor, H.** Making goods and making money. New York: Macmillan 1928. xiii, 296 p. 8°. [Diss. Columbia]

**Terhalle, F.** Währung und Valuta. Eine Einf. in d. deutschen Währungsfrage d. Gegenwart. 2. neu bearb. u. erg. Aufl. Jena: Fischer 1922. 79 p. 8°

— Währung. (HWB. d. Staatswiss. 4. Aufl. 8, 7 p.) 1928

— Psychologie monétaire. (Economiste europ. 2139, 3 p.) 1933

**Théry, R.** De quelques principes monétaires et économiques trop souvent méconnus. (Economiste europ. 1777, 3 p.) 1926

**Thiele, F.** Geld und Währung. Berlin: Kulturliga 1920. 24 p. 8°. [Volkswirtschaftl. Gespräche. 5]

**Todd, J. A.** The mechanism of exchange: a handbook of economics (currency, banking and trade). 3. ed. London: Oxford Univ. Pr. 1927. xii, 228 p. 12°. [4. ed. 1933. 346 p.]

1. Introductory. 2. The history of exchange. 3. Markets. 4. The functions of money. 5. The quantity theory of money. 6. The qualities of good coinage. 7. Bimetallism. 8. Paper money. 9. The credit system. 10. The English banking system. 11. The rate of exchange. 12. A financial crisis. 13. The test of the quantity theory. 14. The balance of trade. 15. The theory of international trade. 16. The post-war period. 17. Statistical appendix.

**Truchy, H. W. Hartley:** Qu'est-ce que la monnaie? (R. d'écon. pol. 35-3, 2 p.) 1921

Ungelöste Fragen der Geldtheorie. [In: Festgabe f. Brentano, 2. Wirtschaftswissenschaft nach dem Kriege] 1925

**Valois, G.** L'homme contre l'argent. Souvenirs de dix ans, 1918/28. Paris: Libr. Valois 1928. 8°

**Vecchio, G. del** Le teorie monetarie e il ritorno all'oro. (R. bancaria. p. 461 seq.) 1928

— La moneta nella teoria dell'equilibrio economico. (Giorn. d. econ. 44-3, 2 p.) 1929

— Grundlinien der Geldtheorie. Uebers. u. eingel. von **O. Weinberger**. Tübingen: Mohr 1930. xii, 160 p. 8°. [Beiträge zur ökon. Theorie. 1]

— Cronache della lira in pace e in guerra (nella "Raccolta di studi a cura dell'Istituto di politica economica e finanziaria della R. Università di Roma"). Milano: Treves 1932. vii, 515 p. 8°

— Le nuove teorie economiche della moneta. (R. bancaria. 13-9, 7 p.) 1932

— Ricerche sopra la teoria generale moneta. (Ann. di econ. 8-2, 644 p.) 1932

— — — — —. Milano: Univ. Bocconi 1933. 8°

**Vinci, F.** Statistiche e teorie monetarie. (R. Ital. di statist. 1, 23 p.) 1929

**Vogel, E. H.** Geld und Kredit. Leipzig: Reclam 1934. 87 p. 16°. [Wirtschaftslehre. 9 = Reclams Universal-Bibl. 7274]

**Wächter, N.** Im geldlosen Staate. Der Weg zur Gesundung unserer Volkswirtschaft. 2. Die Einführung d. geldlosen Staates. Graz: Stiasny; Leipzig: Stiehl 1927. 48 p. 8°

**Wagemann, E.** Allgemeine Geldlehre. Berlin: Engelmann 1923. 8°

Bd. 1. Theorie d. Geldwerts u. d. Währung. xiii, 367 p.

I. Theorie des Geldwerts.

A. Die Grundanschauungen vom Gelde. 1. Der Symbolismus. 2. Der Metallismus. 3. Der Nominalismus.

B. Der Geldwert. 4. Der Inhalt des Geldwertes. 5. Die Grundlagen des Geldwertes. 6. Die Wirkungsform des Geldwertes.

C. Geld und Preis. 7. Die Warenwerttheorien. 8. Die Quantitätstheorie. 9. Die Bilanztheorie des Preises.

II. Theorie der Währung.

D. Die Geldverfassung. 10. Die Merkantilverfassung des Geldes. 11. Die Chartaverfassung des Geldes. 12. Die Bilanzverfassung des Geldes.

E. Die Währung. 13. Die Metallwährungen. 14. Die Papierwährung. 15. Die Währungen seit Ausbruch des Weltkrieges.

F. Die Valuta. 16. Der intervalutarische Kurs. 17. Die Verflechtung der Märkte. 18. Die Valutapolitik. Anhang: i. Die Goldbestände der Zentralbanken. ii. Der Papiergeldumlauf. iii. Zusammensetzung des Papiergeldumlaufs. iv. Valutakurse.

— Was ist Geld? Oldenburg: Stalling 1932. 187 p. 12°. [Stalling-Bücherei = Schr. an d. Nation. 17]

Einl.: Im Irrgarten der Geldlehre.

I. Die Geldverfassungen. 1. Die Entstehung des Geldes. 2. Das Geld im Wandel der Wirtschaft. 3. Das moderne Geld als "Generalhypothek."

II. Geld und Gold. 4. Die Währungsmaschine. 5. König Gold vor dem Tribunal. 6. Der Siegeszug der Devisenwirtschaft.

III. Die Geldschöpfung. 7. Das Stromsystem des Geldes. 8. Pathologische und therapeutische Geldschöpfung. Schluss: Grundforderungen für eine Kreditreform.

**Waha, R. de** Monnaie et prix. De la théorie quantitative à la théorie psychologique de la monnaie. Luxembourg: Auteur 1933. 44 p. 8°

**Walker, E. R.** Saving and investment in monetary theory. (Econ. Record. 9-17, 17 p.) 1934

**Walker, F. A.** Money. (Palgrave's Dict. 2, 10 p.) 1926

**Walras, L.** Theorie des Geldes. (Théorie de la monnaie.) Die Stabilisierung des Geldwertes als das Problem von heute und vor

50 Jahren. Nebst einem dogmengeschichtlichen, historischen und darstellenden Teil hrsg., sowie übers. und erl. von **R. Kerschagl** und **S. Raditz**. Jena: Fischer 1922. 115 p. 4 Taf. 8°

1. Vorwort. 2. Das Problem der besten Geldschöpfung: Theoretische Problemstellung und historische Entwicklung. 3. Die Stellung der Zweiherrschaftslehre der Metalle und die Bedeutung L. Walras. 4. Dogmengeschichtliche Bedeutung und Klassifizierung. 5. Das Wesentliche der theoretischen Anschauungen und der historischen Währungsentwicklung seit der Mitte des 19. Jahrhunderts; die Probleme von heute. 6. Die Theorie des Geldes von L. Walras: i. Einführung. ii. Kritik der Systeme. iii. Statistisch-mathematische Untersuchungen.

**Walters, F. Y.** Money and money's worth. With a pref. by the Rt. Hon. J. R. Clynes. London: St. Catherine 1921. 160 p. 8°

Was ist Geld? by Hs. (Dt. Wirtschafts-Ztg. 29-43, 3 p.) 1932

Was ist Geld? [Zu dem gleichlautenden Buch von Ernst Wagemann.] (Dt. Sparkassen-Ztg. 9-133, 2 p.) 1932

**Weinberger, O.** Der Streit um die staatliche Theorie des Geldes. (Juristen Bl. 51-9/10, 3 p.) 1922

**Welch, H. J.** Money, foreign trade and exchange: from a national point of view. London: Allen & Unwin 1934. 158 p.

**Wells, D. A.** Robinson Crusoe's money; or, The remarkable financial fortunes and misfortunes of a remote island community; [reprint of 1876 ed.] New York: Smith 1931. 118 p. 8°

**Wendt, S.** Der sozialökonomische Begriff des Geldbedarfs. (Bankwiss. 2-24, 3 p.) 1926

**Wernette, J. P.** Money, business and prices. London: King 1933. v, 102 p.

**Weston, W. J.** Banking and currency. New and rev. ed. London: Univ. Tutorial Pr. 1932. 295 p. 8°. [2. ed. 1922. 310 p.]

1. The nature of money. 2. The functions of money. 3. Various forms of money. 4. English mint regulations and coinage acts: Legal tender. 5. Currency deterioration: causes, measures, and remedies. 6. Monetary standard. Bimetallism. 7. The gold standard. 8. Exchange standard currencies. 9. The value of money. Method of measuring variations. 10. Credit. 11. The banker in modern trade. 12. Banking and the cheque system. 13. Short and long loans. 14. The bank of England and the money market. 15. The clearing house system. 16. The Bank of



England return. 17. A bank balance sheet. 18. Gold and paper. 19. Regulation of the note currency. 20. Recent developments in English banking. 21. Foreign exchanges. 22. Credit cycles.

\***Wicksell, K.** Vorlesungen über Nationalökonomie auf Grundlage des Marginalprinzips. Theoret. Tl. Bd. 2. Geld u. Kredit. Vom Verf. durchges. Uebers. von **M. Langfeldt**. 2. unveränd. Aufl. Jena: Fischer 1928. xiv, 263 p. 8°

**Wieser, F. Frhr.** Geld. 1. Theorie des Geldes. (Allgemeine Lehre vom Gelde.) (HWB. d. Staatswiss. 4. Aufl. 4, 38 p.) 1927

\*Die Wirtschaftstheorie der Gegenwart. 4 Bde. Wien: Springer 8°  
Bd. 2. Wert, Preis, Produktion und Kredit. Dargest. v. A. Aftalion u. a. 1932. 413 p.

\***Withers, H.** Money. London: Benn 1928. 80 p. 16°. [Benn's sixpenny lib. 179]

1. What money does. 2. The first quality of money. 3. Gold or Silver? or both? 4. From gold to gold-paper. 5. Acceptability abroad. 6. The second quality of money. 7. Stability or rising prices? 8. Why gold at all? 9. Gold-paper and steady prices.

\*— The meaning of money. 5. rev. ed. New York: Dutton 1930. xiv, 305 p. 12°

\*— Qu'est-ce que la monnaie? (Le marché monétaire anglais.) Traduction de la 5. éd. anglaise par Cyrille et Joseph Rivière. Avec une introduction par Charles Rist. Paris: Giard 1932. 8°. [Bibl. int. d'écon. pol.] [1920. 288 p.]

\***Woodward, D. B. & Rose, M. A.** A primer of money. New York, London: McGraw-Hill 1932. xv, 261 p. 12°

I. The story of money. 1. The beginnings of money. 2. Monetary standards. 3. The gold standard. 4. Interest. 5. The rise of banking. 6. Bank credit. 7. Government, money, and banking. 8. Central banking. 9. The Federal Reserve. 10. Exchange. 11. The money market.  
II. Money problems in the modern world. 12. Money and prices. 13. Prices and business. 14. Politics and money. 15. Capitalism and modern business. 16. Booms and depressions. 17. Postwar troubles. 18. Deposit-bank problems. 19. Central-bank problems. 20. New ideas. 21. "Managed money."

\***Wright, I.** (Comp.) Readings in money, credit and banking principles. New York: Harper 1926. xiv, 1081 p. 8°

\***Würthle, A. M.** Die Geldlehre in der deutschen Literatur von 1750/1800 unt. bes. Berücks.

von Justi, Sonnenfels u. Büsch. 166 Bl. 4°. [Diss. Erlangen]

\***Zaglits, O.** Die Juristische u. die ökonomische Kategorie des Geldes. Wien: Deuticke 1923. 106 p. [Repr.: Z. f. Volkswirtschaft u. Sozialpol. 3, 1/3]

**Zuckerlandl, R.** Geld. 3. Die Messung des Geldwertes. A. Die statistische Bestimmung des Preisniveaus. (HWB. d. Staatswiss. 4. Aufl. 4, 14 p.) 1927

Zwei währungstheoretische Gegenwartsprobleme. (Dt. Oekonomist. 2461, 3 p.) 1933

## 2. Origin and Development of Money

**Allum, F. E.** Iron and steel as money. (Palgrave's Dict. 2, 1 p.) 1926

\***Baxendale, A. S.** Sane currency. London: Palmer 1930. xi, 99 p. 8°

1. Do we deserve to be skinned? 2. Britain's plight. 3. Sane currency at work. 4. Modern facts and ancient theories. 5. Why and wherefore. 6. The pros. 7. The cons. Appendixes.

\***Böhme, M.** Vom Tauschverkehr zur Geldwirtschaft. Hamburg: Hanseat. Verlagsanst. 1921. 9 p. 8°. [Beruf. Politik. Leben. 7]

**Bortkiewicz, L. v.** Neue Schriften über die Natur und die Zukunft des Geldes. (Schmollers JB. 45-3, 27 p., 4, 44 p.) 1921

\***Burns, A. R.** Money and monetary policy in early times. London: Paul; New York: Knopf 1927. xiii, 517 p. 8°. [Hist. of civilization]

1. Before the introduction of coins. 2. The evolution and spread of coins. 3. The development of coinage and coins. 4. The prerogative of issue. 5. Coin types. 6. The material of the currency standard. 7. The fineness of the coins. 8. Weight standards before the introduction of coins. 9. The weight standards of Greek and Asiatic coins. 10. The weight standards of Roman coins. 11. Subdivisions of the money unit. 12. Token coinage. 13. Monetary policy in the early Asiatic Empires, Macedon, and Egypt. 14. Monetary policy in the Greek world. 15. Monetary policy in the Roman Republic. 16. Monetary policy in the Roman Empire. 17. Conclusion. Appendixes. 1. Monetary theory in early times. 2. The relative values of the monetary metals.

**Despau, A.** L'évolution monétaire [du monde, inflation spéciale de France.] (Europe nouv. 355, 5 p.) 1924

\***Eisler, R.** Das Geld. Seine Geschichtliche Entstehung und Gesellschaftliche Bedeutung. München: Diatype 1924. 383 p. 8°. [Lichtbildlehrbücher. 1]

\***Engel, W.** Geldgestaltung u. Einkommensgestaltung, zugleich e. Beitrag z. Theorie d. Gewerkschaften. Leipzig: Hirschfeld 1920. vii, 111 p. 8°

\***Hare, L.** A study of exchange direct and through the Medium of currency. London: King 1921. 84 p. 8°

**Herzfeld, M.** Die Geschichte als Funktion der Geldbewegung. (Zum Problem der inflationistischen Geschichtstheorie.) (A. f. Sozialwiss. 56-3, 33 p.) 1926

\***Kaemmerer, G. H.** Geld. Eine genetische Studie. Berlin: Puttkammer & Mühlbrecht 1922. 48 p. 8°

\***Kemp, W.** Precious metals as money: a study of the pre-historic origin and historic development of this use. London: Simpkin 1923. 336 p. 8°

1. Primeval man and gold. 2. Golden ornaments stir trading instincts. 3. Individual trading thereby evolved. 4. Crafts and agriculture tend to separate from nomad life. 5. Growing influence of settled craftsman-trader. 6. Primitive religious types influence early trading. 7. Use of uncoined money at dawn of history. 8. Phoenician trading cities and their influence. 9. Westward trend of money commerce. 10. Introduction of coined money and early Greek settlements in Italy and Sicily. 11. Development of money-use in Greece and its influence. 12. Bullion and money dealers in early mediterranean world. 13. Bullion and money dealers in early mediterranean world (continued). 14. Early economic growth of Rome. 15. Influence of monied wealth on Roman Republic and Empire. 16. Ancient Jews and development of money trade. 17. Conclusion.

**Kerschagl, R.** Die Entwicklung des Geldes als Zahlungsmittel im Staat. (Bank-A. 20-22, 4 p.) 1921

— Neue Schriften über die Natur und die Zukunft des Geldes. (Schmollers JB. 46-2, 5 p.) 1922

**Lansburgh, A.** Wie entsteht Geld? (Bank. 18-3, 13 p.) 1925

\***Laum, B.** Heiliges Geld. Eine histor. Untersuchung über d. sakralen Ursprung des Geldes. Tübingen: Mohr 1924. xii, 164 p. 8°

1. Der Kult als Schöpfer normierter Entgeltungsmittel. 2. Uebertragung der im

Kult ausgebildeten Normen in das profane Leben. 3. Entwicklungsgeschichte der Opfergaben. 4. Die prämonetären Geldformen. 5. Entstehung und Wesen der Münze. Schluss: Zusammenfassung der Resultate.

\***Lewis, A. B.** Melanesian shell money in Field Museum collections. Chicago: Field Museum 1929. 61 p. [Pub. 268, anthropological ser. 19, 1]

\***Monetarius, F.** Das Geld. Die natürl. Ursachen für die Entstehung des Geldes.—Der Begriff "Geld."—Das "Anti-Greshamgesetz."—Irrlehren über das Geld. Suderburg (Bez. Hannover): Meyer 1925. 31 p. 8°. [Neues Zeitalter. 2]

\***Nath, P.** Tausch und Geld in Altindien. Mit e. Vorw. von O. Spann. Wien: Deuticke 1924. x, 48 p. 4°. [Wiener staatswiss. Stud. N. F. 7]

\***Schwarz, F.** Segen und Fluch des Geldes in der Geschichte der Völker. Eine geschichtliche Studie. Bd. 2. Bern: Pastalozzi-Fellenberg-Haus 1933. 8°

\***Sylvester, I. W.** The evolution of money. Passaic, N. J.: Daily News Print 1919. 48 p.

\***Weishaar, W. & Parrish, W. W.** Men without money; the challenge of barter and scrip. New York: Putnam 1933. ix, 111 p. 8°

## 3. Nature and Functions of Money

\***Alston, L.** The functions of money. New York, London: Macmillan 1932. vii, 139 p. 8°

I. English monetary habits.  
II. The changing value of money.  
III. Money, capital and human activities.

**Bayerhoffer, W.** Die deutschen Zahlungsmittel in ihrer Bedeutung für Wirtschaft und Verkehr. (Dt. Wirtschafts-Ztg. 26-29, 3 p., 30, 2 p., 32, 2 p., 33, 2 p.) 1929

**Bendixen, F.** Zur Frage der Definition des Zahlungsmittels und der Wertseinheit. (JB. f. Nationalökon. 3. F. 60-2, 3 p.) 1920

\*— Das Wesen des Geldes. Zugleich ein Beitrag zur Reform der Reichsbankgesetzgebung. 3. Aufl. mit Anm. u. Erg. München: Duncker & Humblot 1922. 91 p. 8°. [4. Aufl. 1926. vii, 66 p.] [Wissenschaftl. Abh. u. Reden z. Philosophie, Politik u. Geistes-Geschichte. 5]

1. Die herkömmlichen Vorstellungen vom Gelde und dessen staatliche Natur. i. Die herkömmlichen Vorstellungen. ii. Knapps staatliche Theorie. iii. Der internationale Zahlungsverkehr. iv. Emanzipation des Zahlungsverkehrs vom Goldgebrauch: Giralgeld. v. Juristische und ökonomische Betrachtung des Geldes. 2. Die wirtschaftliche Natur des Geldes und die Geldschöpfung. vi. Aufgaben einer wirtschaftlichen Theorie des Geldes; Geldschöpfungslehre. vii. Die ökonomische Funktion des Geldes. viii. Das Geld bei der Kapitalbildung. ix. Die Betriebskapitalien. x. Das klassische Geld: Warenwechsel und Banknoten. xi. Fortsetzung: Giralgeld. xii. Das ungedeckte Geld in der Verkehrsauffassung. 3. Währungskritik und Reichsbankreform. xiii. Fortschreitende Erkenntnis des Wesens des Geldes. xiv. Kritik der Metallwährungen. xv. Kritik der Papiergeldschöpfung. Scheidegeld. xvi. Die Krisis von 1907. Konzentration der Geldvorräte. xvii. Reichsbankreform.

\***Biel, G. of Speyer.** Treatise on the power and utility of moneys. Ltd. ed. London: Oxford Univ. Pr.; Philadelphia: Pennsylvania Univ. Pr. 1930. vii, 39 p. 8°

**Bortkiewicz, L. v.** Neue Schriften über die Natur und die Zukunft des Geldes. (Schmollers JB. 45-3, 27 p., 4, 44 p.) 1921

\***Brown, W. A.** The inherent function of money. Chicago: MacAllister Publ. 1933. 121 p. Edinburgh, London: Oliver & Boyd 1933. 116 p. 8°

\***Budge, S.** Lehre vom Geld. Bd. 1. Theorie des Geldes. 1. Halbb. Wesen und Wert des Geldes. Jena: Fischer 1931. viii, 308 p. 8°. [Grundrisse z. Studium d. Nationalökon. 5, 1]

I. Wesen und Funktion des Geldes. 1. Die Rolle des Geldes im Tauschverkehr. 2. Die Formung des Geldes als Tauschmittel und die Geldsurrogate. 3. Der Staat und das Geld.

II. Der Geldwert oder die Kaufkraft des Geldes. 1. Das Problem der Existenz eines eigenen Wertes des Geldes. 2. Die Bestimmungsgründe der Höhe des Geldwertes (die "Kaufkraft" des Geldes). a. Die Stellung des Geldes auf dem Markte. b. Der Tauschwert des Geldes und die Gründe seiner Bestimmung im einzelnen. 3. Die Messung der Kaufkraft des Geldes mittels der "Indexziffern." 4. Einwirkungen von Änderungen in der Kaufkraft des Geldes auf die Güterversorgung der Gesamtheit und der Einzelhaushalte.

\***Burawoy, J.** Der Knappsche Nominalismus und seine Rechtfertigung. Leipzig: Hirschfeld 1929. 195 p. 8°

I. Darstellung der Zahlgemeinschaftstheorie Knapps, Bendixens und Elsters. 1. Knapps Staatliche Theorie des Geldes. 2. Bendixens Beiträge zu einer ökonomischen Theorie des Geldes. 3. Elsters Aufbau einer allgemeinen Theorie des Geldes.

II. Kritik der Zahlgemeinschaftstheorie Knapps, Bendixens und Elsters durch die Literatur. 1. Kritik der Grundlage der Lehre. 2. Kritik des Aufbaus der Lehre. 3. Zusammenfassung der Kritik.

III. Rechtfertigung der Zahlgemeinschaftstheorie Knapps, Bendixens und Elsters. 1. Rechtfertigung Grundlage der Lehre. 2. Rechtfertigung des Aufbaus der Lehre. 3. Zusammenfassung der Rechtfertigung.

\*— Der Nominalismus Knapps, Bendixens und Elsters, seine Kritik durch die Literatur und seine Rechtfertigung. 1929. 195 p. 8°. [Diss. Leipzig]

\***Burch, F. R.** The true function of money and the false foundation of our banking system. Seattle: Adolphus Publ. 1922. 120 p. 8°

\***Douglas, C. H.** The use of money. London: Nott 1934. [Pamphlets on the new economics. 1]

**Edgeworth, F. Y.** Efficiency of money. (Palgrave's Dict. 1, 1 p.) 1925

\***Egle, W.** Das neutrale Geld. Jena: Fischer 1933. vi, 86 p. 8°. [Untersuchungen z. Theoret. Nationalökon. 10] [Diss. Freiburg]

\***Enderlen, L.** Versuch einer Synthese zwischen Metallismus und Nominalismus. Berlin, Leipzig: de Gruyter 1929. 138 p. 8°. [Sozialwiss. Forschungen. 1, 10]

I. Einl. 1. Metallismus, Nominalismus und die ungelöste Frage. 2. Methodisches.

II. Der Preis als Korrelat zum Geld.

III. Das Geld als technische Einrichtung zur Preiszahlung. 1. Begriffliches. 2. Geldwirtschaftliche Typen. i. Vorstufe (Naturaltauschverkehr). ii. Sachgeld (Beispiel: Felle, Muscheln usw.). iii. Geldrechnungssysteme. iv. Notales Geld, quantitativ an das Preisgut gebunden (Beispiel: russisches Leilergeld). v. Bares und notales Geld nebeneinander (Beispiel: Münzwesen). vi. Notales Geld, quantitativ unabhängig vom Preisgut (Beispiel: Papiergeldwirtschaft). vii. Geldwesen mit Zahlungsmitteln aus verschiedenen Geldsystemen (Beispiele: Deutsche Währungen nach 1871 und nach 1924).

IV. Die Währung als Grundlage des Rechnungs- und Zahlungsverkehrs eines Landes. 1. Begriffliches. 2. Währungstypen. i.

Preisgut Gold, Zahlungsmittel mit Barverfassung (Konstruiertes Beispiel). ii. Preisgut Gold, Zahlungsmittel mit Bar- und Notilverfassung (Beispiel: Deutsche Vorkriegswährung) (Geschichtlicher Exkurs Seite 73/79). iii. Preisgut Gold (oder Devisen), Zahlungsmittel mit Notilverfassung (Beispiel: Deutsche Währung seit 30. 8. 1924). iv. Währungsarten anderer Einteilung.

V. Ergebnis: Erklärung des Geldwesens durch die beiden Begriffe Preisgut und Preiseinheit als Bestandteile der metallistischen und nominalistischen Theorie. Anhang: Wortklärungen, insbesondere Erläuterungen der verwendeten Knapp-Ausdrücke.

\***Feder, G.** Das Manifest zur Brechung der Zinsknechtschaft des Geldes. München: Eher 1931. 62 p. 8°

— Die funktionelle Bedeutung des Geld- und Kreditwesens in der deutschen Volkswirtschaft. (Dt. Sparkassen-Ztg. 10-117, 2 p.) 1933

Fonction politique et fonction économique de la monnaie. (J. des sociétés. 9-23, 3 p.) 1923

**Foster, W. T.** Money as a medium of exchange. (Annalist. 490, 2 p.) 1922

**Geyer, J.** Wesen des Geldes und seine Bedeutung für die Wirtschaft. (Nationalsozialist. Führerbriefe. 1-8/9, 13 p., = Beil. zu Volk u. Gemeinde. Nationalsozialist. MH. Troppau. 13-8/9) 1931

**Gijn, A. van** Das Geld als Quelle von Missverständnissen im internationalen Güteraustausch. Vortrag. (Weltw. A. 19-1, 9 p.) 1923

\***Graham, M. K.** An essay on gold, showing its defects as a standard of value and suggesting a substitute therefor; also a translation of the death of gold. 4. ed. Dallas, Tex.: Hargreaves 1925. 198 p. 8°

**Haller, M.** Geldentwertung und Goldbilanzen. (Technik u. Wirtschaft. 16-7, 16 p.) 1923

\***Jung, E.** Das privatrechtliche Wesen des Geldes. Untersuchungen zur Lehre vom Gelde (sowie vom Gewohnheitsrecht, vom ursächl. Zusammenhang u. von d. Auslegung.) Marburg: Elwert 1926. iv, 74 p. 8°

**Kaulla, R.** Die Aufwertungsfrage und das Wesen des Geldes. [In: Wirtschaftswissenschaft nach d. Kriege. = Festgabe f. Brentano. 1, 24 p.] 1925

**Kerschagl, R.** Neue Schriften über die Natur und die Zukunft des Geldes. (Schmollers JB. 46-2, 5 p.) 1922

\***Kleesath, H.** Die Natur des Geldes. Berlin: Kulturpol. Verl. 1934. 32 p. 8°

\***Knies, K.** Geld und Credit. Abt. 1. 2. Hälfte 1. 2. Neudr. (1876/85). Leipzig: Buske 1931. 8°  
Abt. 1. Das Geld. Darlegung d. Grundlehren von d. Gelde insbes. der wirtschaftl. u. rechtsgültigen Funktionen d. Geldes, mit einer Erörterung über d. Kapital u. d. Uebertragung d. Nutzungen. 2. verb. u. verm. Aufl. x, 450 p.

1. Wirtschaftliches Leben ohne Geldgebrauch und erstes Eintreten von Geldgebrauch. 2. Das Kapital. 3. Die Nutzungen und ihre entgeltliche Uebertragung. 4. Die Funktion des Geldes als des allgemeinen Wertmasses. 5. Die Funktion des Geldes als des allgemeinen Tauschmittels. 6. Das gemünzte Geld. 7. Das Geld als Zahlungsmittel, eine besondere, auch von dem Tauschmitteldienst zu trennende wirtschaftliche Funktion des Geldes. 8. Das Geld als Wertträger. i. durch die Zeit: Funktion für (intertemporale) Wertaufbewahrung; ii. durch den Raum: Funktion für (interlokale) Werttransport. 9. Ersparung von Geldgebrauch. Tauschbanken. "Geschäftliche Abmachungen." Gebrauch besonderer Papierscheine. Besonderes über die Banknote. 10. Das Geld in der Rechtsordnung des Staates, das Geld im Rechtssinne, das Währungsgeld. 11. Die Funktion des Geldes als gesetzliches Wertmass und für den gesetzlichen Preismassstab. 12. Vereinzelte Rechtsgebote bezüglich der Funktionen des Geldes für Tausch- (Kauf- Verkauf-) Vorgänge und für Wertaufbewahrung. Das Geld als offizieller Wertbewahrer und die legale Wertkonstanz des Währungsgeldes. i. Der rechtliche Inhalt der Geldschulden. 13. Allgemeine Zusammenhänge im Anschluss an geldwirtschaftlichen Verkehr. Geldbesitz und Geldkapitalisten.

\***Lansburgh, A.** Das Wesen des Geldes. Berlin: Bank Verl. 1923. 242 p. 8°

I. Vom Gelde. 1. Two Nations—Das Verbrechen der Unkenntnis. 2. Wirtschaftsverkehr ist Tauschverkehr.—Tauschverkehr bedingt Kredit.—"Kredit" und "Geld." 3. Das Geld—ein Recht?—Gibt es "Zu wenig Geld?"—Der Staat und das Geld. 4. Hat das Geld einen Eigenwert?—Wirkliches Geld und Scheingeld. 5. Das "Geld" und die "Geldzeichen."—Die Wanderung des Geldes.—Das unsterbliche Geld. 6. Die Geburt des Geldes.—Der Hebammen-dienst des Staates.—Geld und Gold. 7. Die vielen Güter und das wenige Geld.—Nutzauf, Leerlauf und Preis.—Produktionsstärke und Geldmenge. 8. Arbeitendes und ruhendes Geld.—Die Zinsprämie.—Produktion und Konsum. 9. Die Voraussetzungen des Geldmarktes.—Die Güterbezugsrechte und die dritte Hand. 10. Das Prinzip der Notenbank.—Der "Goldwahn."—Geldmenge und Dritteldeckung.—

Notenbank und Konversionskasse. 11. Der bargeldlose Zahlungsverkehr.—Das Giralgeld.—Unsichtbare Inflation. 12. Die Wirkungen der Geldverschlechterung.—Inflation und Moral.—Währung und Wirtschaftsleben.

II. Valuta. 1. Das wirtschaftliche Einmaleins.—Aussenwert und Binnenwert des Geldes.—Abnormitäten. 2. Der internationale Tauschverkehr.—Die Ware als Weltgeld.—Der Platzhalter-Dienst der Wechsels. 3. Das Gleichgewicht der Zahlungsbilanz.—Die Weltware "Gold."—Das Gold und seine drei Eigenschaften. 4. Goldwährung und Papierwährung.—Gold, Wechsel und Zahlungsbilanz. Die "kurze Golddecke." 5. Generalgut "Ware" und Spezialgut "Gold."—Preis, Zins und Arbitrage. 6. Ist das Gold entbehrlich?—Ausgleichung der Zahlungsbilanz auf technischem Wege.—Goldwährung und Galgenwährung. 7. Zahlungsbilanz und Notenbank.—Diskont-, Gold-, Devisen- und Reservepolitik. 8. Noch einmal der "Goldwahn."—Gold, Papier und Valuta. 9. Binnenwert und Aussenwert des Geldes.—"Geldwert mit doppeltem Boden." Das Fakturieren in Auslandswährung. 10. Zahlungsbilanz und Reparation.—Valuta und Finanzpolitik. 11. Valuta und "Dumping."—Antidumping-Massnahmen. 12. Zurück zur Goldwährung?—Zweckmässigkeit und Möglichkeit der Rückkehr. Valuta-Befestigung.

III. Die Notenbank. 1. Begriff und Entstehung.—Girobank und Notenbank.—Metallquittung.—Banknote. 2. Der Aufgabenkreis der Notenbank.—Legitime Funktionen.—Der Sparsparnis-Gedanke und der Nothelfer-Dienst. 3. Die "Elastizität" der Währung.—Der Warenwechsel als Index.—Ein falsches Prinzip. 4. "Banking theory" und "Currency theory."—Zahlungsbilanz und Geld-Elastizität.—Schatzwechsel und Privatwechsel. 5. Die Unbegrenztheit des "legitimen Geldbedarfs."—Anlagekredit oder Betriebskredit?—Zwiespältige Bankpolitik. 6. Geldersatz und Geldzusatz.—Kreditkrisis.—Der "berechtigte" Kreditanspruch. 7. Der dreifache Damm gegen Inflation.—Diskontpolitik.—Direkte oder indirekte Abwehr? 8. Die Dritteldeckung.—Wirtschaftsgesetz, Staatsgesetz und Bankpolitik.—Das "Giralgeld." 9. Zentralbank oder Vielbanken.—Metamorphose der Banknote.—Das "Einreservesystem."

**Lansburgh, A.** Das Zahlungsmittel "Ware." (Bank. 23-7, 7 p.) 1930

**\*Laum, B.** Ueber das Wesen des Münzgeldes. Eine sach- und begriffsgeschichtliche Studie. Halle: Riechmann 1930. 72 p. 8°

**Lufft, H.** Zur kategorialen Analyse der Geldfunktion. (Z. f. d. ges. Staatswiss. 81-1, 39 p.) 1926

**\*MacNamara, J. J.** Money, its functions and power. Baltimore: Author 1931. 80 p. 12°

**\*Marshall, A.** Money, credit and commerce. London: Macmillan 1923. xv, 369 p. 8°

I. Money. 1. Functions of money. 2. The measurement of general purchasing power. 3. Measurement of variations in the purchasing power of money. 4. The total value of the currency needed by a country. 5. Metallic currencies. 6. Metallic currencies (continued).

II. Business credit.

III. International trade.

IV. Fluctuations of industry, trade and credit. 1. A general view of causes that affected continuity of employment in early times. 2. Influences on stability of employment exerted by developments of technique. 3. Relations of the money-market to fluctuations of industry and trade. 4. Relations of the money-market to fluctuations of industry and trade (continued).

Appendix: 1. Notes on the evolution of money. 2. Some difficulties connected with statistics of prices. 3. Diagrammatic note on a metallic currency. 4. Interest on capital and profits on uses of capital. 5. Notes on the development of banking, with special reference to England's experiences. 6. International trade statistics. 7. Trade among countries whose currencies rest on dissimilar bases. 8. Relations of international values to comparative costs. 9. Graphical presentation of some problems of international trade.

**\*Müller, H.** Die Einwirkung der Währung auf die privatrechtlichen Verhältnisse. Referat f. d. Jahresversammlung d. schweiz. Juristenvereins. Basel: Helbing & Lichtenhahn 1924. 82 p. 8°. [Repr.: Z. f. Schweiz. Recht. 65, 3]

**Nasse, E.** Begriff u. Wesen d. Geldes u. d. Währungssysteme. [In: Volkswirtsch. Quellenbuch. 5 p.] 1920

**\*Nomi, F.** La realtà monetaria. Padova: Cedam 1933. 224 p. 8°

**\*Nonaka, T. & Müller, H.** Vom Wesen und Wert des Geldes. Die psych. Natur des Geldes u. d. Einfluss d. Spekulation auf s. Wert. Berlin: Ebering 1925. 119 p. 8°. [Volksw. Stud. 11]

**\*Peddie, J. T.** The invariable standard and measure of value. 2. ed. London: King 1928. xix, 241 p. 8°

1. The invariable standard and measure of value. 2. The quantity theory of money. 3. The invariable standard and measure of value. 4. The invariable standard and measure of value (contd.). 5. A comparison

of the two systems of stabilization. 6. A commercial system of prices for agriculture. 7. The effect of direct and indirect taxation on costs of production and wages. 8. Aphorisms from the works of Adam Smith. 9. Aphorisms from the works of David Ricardo. 10. Aphorisms from the works of Frederick List. 11. The final case against the free trade gold standard system. 12. On tariff barriers and the free gold market.

**\*Peddie, J. T.** The measure of value. Solution of gold and silver problems. London: King 1932. 45 p. 8°

**Prudhomme, A.** De l'option de change. Le lieu de souscription détermine la nature de la monnaie. (J. du droit int. 61-2, 7 p.) 1934

**Rifkind, S. H.** Money as a device for measuring value. (Columbia Law R. 26-5, 30 p.) 1926

**\*Römer, G.** Die Lehre vom Wesen des Geldes nach Knapp und Bendixen. 1925. 78 p. 8°. [Diss. Giessen]

**Seidler-Schmid, G.** Ein Zeugnis der schwedischen Romantik über das Wesen des Geldes. (Z. f. Volksw. N. F. 4-4/6, 25 p.) 1924

**\*Singer, K.** Das Geld als Zeichen. Jena: Fischer 1920. vii, 206 p. 8°

Einl. Zur Methode.

I. Zeitgeschichte. 1. Die deutsche Geldverfassung vor dem Kriege. 2. Die Umbildung des Geldwesens bei Kriegsausbruch. 3. Die deutsche Geldverfassung während des Krieges.

II. Theorie. 1. Das Wesen der Chartalität. 2. Der Standpunkt der herrschenden Meinung. 3. Das Problem der Lytrogenese.

III. Politik. 1. Kritik der herrschenden Meinung. 2. Die Aufgaben der Reichsbank. 3. Die Epochen der Währungspolitik.

**\*Soddy, F.** The rôle of money: what it should be, contrasted with what it has become. London: Routledge 1934. viii, 222 p. 8°

1. The philosophic background—Ergosophy. 2. The theory of money—Virtual wealth. 3. The evolution of modern money. 4. Money as it now is. 5. International economic relations. 6. Physical requirements of money system. 7. Debts and debt redemption. 8. The practical situation. 9. Honesty is the best monetary policy. Bibliography.

**\*Spalding, W. F.** The functions of money; a handbook dealing with the subject in its practical, theoretical, and historical aspects; with a foreword by George Armitage-Smith. New York, London: Pitman 1921. xi, 168 p. 8°

1. Which endeavours to penetrate the fog of misunderstanding that enwraps money,

cash and currency. 2. In which the reader is introduced to the first stage in his quest for a satisfactory medium of exchange, and is shown some of the weaknesses and difficulties inherent in systems of barter. 3. The development of the functions of money. 4. On the evolution of metallic money; how money passed current by weight, then by count. 5. On the peculiarities and idiosyncrasies of circulation. 6. The quantity theory of money. 7. Which traces the development of one of the evils by which kings, principalities and republics sometimes ride to a fall. 8. The discussion on paper money continued. 9. A summary of the principal monetary systems. 10. Money in international commerce.

**\*Svoboda, H.** Grund und Boden als Währungsunterlage. Nürnberg: Kriesche 1928. 140 p. 8°. [Nürnberger Beitr. zu d. Wirtschaftswiss. 14/15]

What is a pound? The nature and essence of money. (Midland Bank Ltd. M. R. Feb./Mar., 5 p.) 1934

#### 4. Kinds of Money

**Adam, R.** Die Einlösung des gemeindlichen Notgeldes. (Z. f. Rechtspf. in Bayern. 18-1/2, 4 p.) 1922

— Das Gesetz über die Ausgabe und Einlösung von Notgeld vom 17. Juli 1922 (RGBl. 693). (Z. f. Rechtspf. in Bayern. 18-19/20, 3 p.) 1922

**Allum, F. E.** Fractional currency. (Palgrave's Dict. 2, 1 p.) 1926

— Garbled coin. (Palgrave's Dict. 2, 1 p.) 1926

— Money of account. (Palgrave's Dict. 2, 1 p.) 1926

**Barnett, R. W.** Trade coins. (Palgrave's Dict. 3, 2 p.) 1926

**\*Behr, M. & Keller, A.** Das deutsche Notgeld 1914. Frankfurt a. M.: Cahn 1921. 77 p. 3 Taf. 8°

**\*Bernhart, M.** Das Kriegsnotgeld in Bayern. Eine vorläuf. Zusammenstellung d. v. Behörden u. Privaten ausgegebenen Ersatzgeldes in Metall u. Papier. München: Kuhn 1919. 40 p. 8°

**\*Boeckel, R.** Labor's money. Introd. by Viscount Milner. New York: Harcourt 1923. 181 p.; London: Hopkinson 1924. 12°

1. The first experiment. 2. The outgrowth of the norfold experiment. 3. The demand for new trade union methods. 4. Trade unions and trusts. 5. Why labor wants control. 6. Where control lies and why. 7. How labor finances its opponents. 8. Workers' banks. 9. Farmers' money and farmers' banks. 10. Organization of workers' banks. 11. Banking for service. 12. Control through credit. 13. Control through investment. 14. The consequences of democratic finance. 15. The workman as stockholder. 16. Buying control. 17. Redirecting capitalism.
- \*British Museum. Department of coins and medals. A guide to the department of coins and medals in the British Museum. London: 1922. 94 p. ill.
- \*— Catalogue of Chinese coins from the 7th century B.C. to 621 A.D.: by Terrien de Lacoperie. Oxford: 1927
- \*— Catalogue of English coins in the Museum; the Norman kings: by George Cecil Brooke. 2 vols. Oxford: 1927
- \*— Catalogue of Greek coins; Cornith, colonies of Cornith....: by Barclay V. Head: ed. by Reginald Stuart Poole. Oxford: 1927
- \*— Catalogue of Greek coins; Peloponnesus (excluding Cornith): by Percy Gardner: ed. by Reginald Stuart Poole. Oxford: 1927
- \*— Catalogue of Greek coins; Pontus, Paphlagonia, Bithynia, and the Kingdom of Bosphorus: by Warwick Wroth: ed. by Reginald Stuart Poole. Oxford: 1927
- \*— Catalogue of oriental coins in the Museum. 10 vols. Oxford: 1927
- \*— Catalogue of the coins of Alexandria and the nomes: by Reginald Stuart Poole. Oxford: 1927
- \*— Catalogue of the coins of the Andhra dynasty, the Western Ksatrapas, the Traikutaka dynasty, and the Bodhi dynasty: by Edward James Rapson. Oxford: 1927
- \*— Catalogue of the coins of the Vandals, Ostrogoths and Lombards, and of the empires of Thessalonica, Nicaca and Trebizond in the Museum: by Warwick Wroth. Oxford: 1927
- \*— Catalogue of the Greek coins of Arabia, Mesopotamia and Persia in the Museum: ed. by G. F. Hill. Oxford: 1927
- \*— Catalogue of the imperial Byzantine coins in the Museum: by Warwick Wroth. 2 vols. Oxford: 1927
- \*— Coins of the Muhammedan states of India in the Museum: by Stanley Lane Poole: ed. by Reginald S. Poole. Oxford: 1927
- \*British Museum. Department of coins and medals. Coins of the Roman republic in the Museum. 3 vols. Oxford: 1927
- \*— Guide to the exhibition of Roman coins in the Museum. Oxford: 1927
- \*— Select Italian medals of the renaissance in the Museum. Oxford: 1927
- Clark, A. B.** Legal Tender. (Palgrave's Dict. 2, 1 p.) 1926
- \***Courteau, E. G.** Monnaies de cuivre émises par la Banque de Montréal. St. Jaques: 1919. 25 p.
- \*District Bank, Ltd. A table of official currencies of the world. 1932
- \***Dittmar, G.** Die Geldsorten und Währungen aller Staaten der Erde. Leipzig: Verl. f. Kunst u. Wiss. 1930. 77 p. 16°. [Miniatur-Bibl. 17]
- Dodge, H. J.** The Aldrich-Vreeland emergency currency. (Annals. 99, Jan. 7 p.) 1922
- \***Dräger, H.** Arbeitsbeschaffung durch produktive Kreditschöpfung. Ein Beitr. zur Frage d. Wirtschaftsbelebung durch d. sogenannte Federgeld. München: Eher 1932. 82 p. 8°. [Nationalsozialist. Bibl. 41]
- \***Egle, W.** Das neutrale Geld. Jena: Fischer 1933. vi, 86 p. 8°. [Untersuchungen z. theoret. Nationalök. 10] [Diss. Freiburg]
- Emergency war money issued in France. (Bankers' Mag.—Lond. 902, 5 p.) 1919
- Friedensburg, F.** Notgeld. (Dt. R. 45-6, 6 p.) 1920
- Garssen, v.** Die Einlösung von Notgeld. (Sparkasse. 1156, 3 p.) 1924
- \***Giseke, F. & Keller, A.** Das deutsche Notgeld 1916/19. Tl. 2.: Metallnotgeld. Frankfurt a. M.: Cahn 1920. ix, 55 p. 8°
- \***Goessler, P.** Das württembergische Kriegsnotgeld. Stuttgart: Württ. Ver. f. Münzkunde 1920. 12 p. 8°
- Heiss, C.** Die Wiedereinführung von Hartgeld. (Dt. Handels-Warte. 10-1, 7 p.) 1922
- Herschel** Hartgeld. [Wiedereinführung v. Metallgeld] (Dt. Handels-Warte. 10-3, 6 p.) 1922
- Howlett, R.** Soft money. (Palgrave's Dict. 3, 1 p.) 1926
- Token-Money. (Palgrave's Dict. 3, 1 p.) 1926
- Jastrow, I.** Not und Notgeld. (Rhein. Beobachter. 2-43/44, 3 p.) 1923

- \***Keller, A.** Das deutsche Notgeld 1916/20. Tl. 1. Kleingeldscheine. 2. Aufl. Frankfurt a. M.: Cahn 1919. v, 84 p. 8°. [1. Aufl. Das dt. Notgeld 1916/19. Tl. 1. Kleingeldscheine. 1919. v, 59 p.]
- \*— Das deutsche Notgeld 1915/21. Tl. 2. Hartnotgeld. 2. vervollst. Ausg., bearb. von F. Giseke. Frankfurt a. M.: Cahn 1922. viii, 76 p. 8°
- \***Kiener, K. & Meyer, A.** Das Notgeld von Württemberg u. Hohenzollern, 1914/22. Nach amtlichen Unterlagen bearb. Mit Preisbewertung. Stuttgart: Meyer 1922. 72 p. 8°
- Koopmans, J. G.** Zum Problem des neutralen Geldes. [In: Beiträge z. Geldtheorie. 149 p.] 1933
- Kord-Ruwisch, W.** Notgeld für den Aussenhandel? [Zum Projekt von Edgard Milhaud] (Dt. Oekonomist. 52-48, 3 p.) 1934
- Krey** Die Notgeldwirtschaft im besetzten Gebiet. (Wirtschaftl. Nachr. a. d. Ruhrbez. 4-20, 4 p.) 1923
- \***Kunwald, G.** Ehrliches und unehrliches Silbergeld. Jena: Fischer 1931. 58 p. 8°. [Kieler Vorträge. 35]
- \***Laum, B.** Das Eisengeld der Spartaner. Braunsberg O.-P.: Staatl. Akademie 1925. ([Ausg.] 1924.) 55 p. mit Abb. 8°. [Repr.: Verzeichn. d. Vorlesungen an d. Akademie zu Braunsberg im Winter 1924/25]
- \*— Ueber das Wesen des Münzgeldes. Halle: Riechmann 1930. 72 p. 8°
- Law, A.** Ring money. (Palgrave's Dict. 3, 2 p.) 1926
- \***Lederer, C.** Metallgeld oder Zeichengeld. Erörterungen zur "Staatl. Theorie d. Geldes" unter bes. Berücks. d. Geldwertproblems. München, Berlin, Leipzig: Schweitzer 1923. 53 p. 8°
- Leonardi, V.** Il denaro nella dottrina "universale-organica." (Stato. p. 665 seq.) 1931
- Lewinski, J. A.** Silber- oder Nickelscheidgeld? (Wirtschaftsdienst. 10-4, 2 p.) 1925
- Loewy, G. H.** Notgeld und Krieganleihekurs. (Z. f. d. ges. Aktienwesen. 29-1, 3 p.) 1919
- Notgeldgesetz. (Dt. Gemeinde-Ztg. 61-26, 3 p.) 1922
- Palyi, M.** Scheidemünzen. (HWB. d. Staatswiss. 4. Aufl. 7, 6 p.) 1926
- Pavie, A.** Monnaie d'or ou monnaie de papier. (A propos de la semaine de la monnaie.) (R. hebdomadaire. 31-24, 6 p.) 1922
- Pinner, F.** Goldgeld und Warengeld. (Ostsee-Rdsch. 1-4, 4 p.) 1924
- \***Prange, G.** Das deutsche Kriegsnotgeld. Eine kulturgeschichtliche Beschreibung. 1. Aufl. 2. Bde. Görlitz: Görlitzer Nachrichten u. Anzeiger 4°
- Bd. 1. 1921. vii, 116 p. 3 Taf.  
2. 1922. v, 127 p. 4 Taf.
- Riebesell, P.** Kreditschöpfung durch Notgeld. (Wirtschaftsdienst. 18-39, 3 p.) 1933
- \***Röttinger, B.** Das bayerische Kriegsnotgeld. 1. Hartgeld. 2. Kleingeldscheine. 3. Grossgeldscheine. 4. Gefangenenlagergeld. Bamberg: Röttinger 1922. vi, 98 p. 8°
- \*— Das deutsche Gefangenenlagergeld sowie Gruben- und Zehengeld 1914/18. Frankfurt a. M.: Cahn 1922. vi, 42 p. m. 1 Abb. 8°. [Arnold Keller'sche Notgeldbücher. 5]
- \***Saar, F. & Saar, H.** Wirkliches Geld. 6. volkstüml. Aufsätze. München: Stiegeler 1921. 23 p. 8°. [Schr. d. Bundes f. Metallgeld nach Gewicht. 1]
- \***Sahadun, G.** Denaro e moneta. Livorno: Belforte 1930. 242 p.
- Schacher, G.** Scheidemünze. Mit einem Nachwort von Alfred Lansburgh. (Bank. 24-40, 6 p.) 1931
- \***Schwarz, H.** Münchner Privatnotgeldscheine. Berlin: Keller 1924. 4 p. [Repr.: Keller, D. dt. Notgeld. Nachtr.]
- \***Trucco, A. M.** La risurrezione della "moneta di comto." Roma: Hallesint 1929. 204 p. 8°. [Econ. apolitica. 7, D.]
- \***Urbanek, K.** Brotgeld neben Goldgeld: die Ueberwindung der deutschen Arbeitslosigkeit. Berlin: Brückenverl. 1931. 59 p. 8°
- Ein wertbeständiges städtisches Notgeld—die Rettung Deutschlands. (Allg. Rdsch. 20-25, 3 p.) 1923
- White, B.** Allied war emergency money. (Bankers' Mag.—Lond. 914, 7 p.) 1920
- Neutral war emergency money. (Bankers' Mag.—Lond. 916, 7 p.) 1920
- British war emergency money. (Bankers' Mag.—Lond. 923, 6 p.) 1921

## II. Value of Money

### 1. General

- Allen, R. G. D.** On the marginal utility of money and its application. (*Economica*. 40, 24 p.) 1933
- \***Andréadès, A.** De la monnaie et de la puissance d'achat des métaux précieux dans l'Empire Byzantin. Liège: Vaillant-Carmagne 1924. 50 p.
- \***Argetoianu, C.** Moneta si valuta. Roma: 1924. 18 p.
- \***Bachl, B.** Wert und Geld. Dresden-Blasewitz: Walther 1930. 141 p. 8°
- Barnett, R. W.** Mint price of bullion. (*Palgrave's Dict.* 2, 1 p.) 1926
- Parity of value. (*Palgrave's Dict.* 3, 1 p.) 1926
- Price of gold and silver. (*Palgrave's Dict.* 3, 2 p.) 1926
- \***Barral, J.** L'étalon monétaire de la Société des Nations ou la mesure naturelle des valeurs et des prix. Nice: Visconti 1925. 44 p. 8°. [*Collect. d'Univ. soc. de Nice*]
- \***Barth, E.** Geldwert, Geldentwertung und Proletariat. Valutafragen. Berlin: Hoffmann 1920. 31 p. 8°
- Baudin, L.** I. Fisher: Le pouvoir d'achat de la monnaie, traduction française de Roger Picard et Jean Boutroux. (*R. d'écon. pol.* 40-4, 3 p.) 1926
- "Befestigung" des Geldwerts. (*Lichtstrahlen*. 6-4, 5 p.) 1920
- \***Beutner, W.; Magnus, J. & Beutner, J.** Geldwert- und Indexzahlen. Berlin: Heymann 1923. 16 p. 8°
- Bickerdike, C. F.** Internal and external purchasing power of paper currencies. (*Econ. J.* 125, 11 p.) 1922
- Bilimovic, A.** Kritische und positive Bemerkungen zur Geldwerttheorie. (*Z. f. Nationalök.* 2-3, 23 p., 5, 38 p.) 1931
- Bortkiewicz, L. v.** Der subjektive Geldwert. (*Schmollers JB.* 44-1, 38 p.) 1920

**Bortkiewicz, L. v.** Geld. 3. Die Messung des Geldwertes. b. Der gegenwärtige Stand des Problems der Geldwertmessung. (*HWB. d. Staatswiss.* 4. Aufl. 4, 10 p.) 1927

\*— Die Kaufkraft des Geldes und ihre Messung. Stockholm: 1932. 68 p. [*Repr.: Nordisk statist. Tidsskrift.* 11]

**Budge, S.** Gibt es einen inneren Geldwert? [*In: Wirtschaft u. Gesellschaft. Festschrift f. Franz Oppenheimer zu s. 60. Geburtstag.* 10 p.] 1924

— H. Neisser: Der Tauschwert des Geldes. (*Z. f. d. ges. Staatswiss.* 86-3, 5 p.) 1929

\*— Lehre vom Geld. Bd. 1: Theorie d. Geldes. 1. Halbbd. Wesen u. Wert d. Geldes. Jena: Fischer 1931. viii, 308 p. 8°. [*Grundrisse z. Stud. d. Nationalök.* 5, 1]

**Cannan, E.** The application of the apparatus of supply and demand to units of currency. (*Econ. J.* 124, 9 p.) 1921

\***Chase, S. & Schlink, F. J.** Your money's worth; a study in the waste of the consumer's dollar. London: Macmillan 1927. viii, 285 p. 8°

1. Alice in wonderland. 2. The new competition. 3. Along main street. 4. One hundred billion dollars. 5. The acrobatics of quality, price and cost. 6. Adulteration and misrepresentation. 7. Quack, quack. 8. More quacks and cure-alls. 9. Standardization—Good and bad. 10. The consumer's stake in standards. 11. Outposts—governmental. 12. Outposts—private. 13. First aid. 14. In summary.

\***Christen, Th.** Die Kaufkraft des Geldes und ihre Bedeutung für die Volkswirtschaft. 2. Aufl. Sontra (Hessen): Freiwirtschaftl. Verl. 1920. 16 p. 8°

**Copp, Ph. M.** The internal value of the Italian lira in relation to Italy's foreign trade. (*Econ. World. N. S.* 29-4, 3 p.) 1925

Currency values at home and abroad. (*N. Y. Trust Co. Index. Dec.*, 4 p.) 1921

**Dalberg, R.** Die neue Erkenntnis der Parallelbewegung von Geldwert und Valutastand. (*Dt. Wirtschafts-Ztg.* 15-13, 13 p.) 1919

Dearer money. (*Bankers' Mag.—Lond.* 909, 10 p.) 1919

\***Diehl, K.** Theoretische Nationalökonomie. Bd. 3: Die Lehre von der Zirkulation. Wert und Preis—Geld und Kredit. Jena: Fischer 1927. ix, 602 p. 8°. [*For contents, see I, 1*]

**Dresbach** Die Erfassung der Goldwerte. (*Wirtschaftl. Nachr. aus d. Ruhrbez.* 2-37, 8 p.) 1921

\***Eckstein, F.** Geldschuld und Geldwert im materiellen und internat. Privatrecht. Berlin: Vahlen 1932. ix, 132 p. 8°. [*Diss. Berlin*]

I. Materielles Recht. 1. Die Vereinbarkeit des Valorismus mit dem Geldwesen. 2. Die Bedeutung des Geldwerts unter bürgerlichrechtlichen Gesichtspunkten. 3. Die Durchführung der valoristischen Behandlung von Geldschulden. 4. Die Vereinbarkeit des Valorismus mit den öffentlichen Interessen. 5. Die aus besonderen Gründen gebotene nominalistische Behandlung der Geldschulden. 6. Der Grundgedanke der Aufwertung. 7. Zusammenfassung.

II. Internationales Privatrecht.

III. Anhang.

**Elsas, M.** Die innere Kaufkraft der deutschen Mark. (*JB. f. Nationalök.* 3. F. 62-6, 13 p.) 1921

— The internal purchasing power of the German mark. (*Econ. J.* 123, 15 p., 125, 7 p.) 1921/22

**Elster, K.** "Kaufkraft" und "Geltung" des Geldes. (*JB. f. Nationalök.* 3. F. 60-3, 7 p.) 1920

— Vom Werte, den das Geld nicht hat. (*JB. f. Nationalök.* 3. F. 61-6, 20 p.) 1920

\***Engländer, O.** Das Geld ohne Eigenwert und die Preislehre. (*JB. f. Nationalök.* 3. F. 64-2, 39 p.) 1922

**Erkelenz, A.** Zur Frage der Goldwerte. (*Hilfe*. 28, 5 p.) 1921

Les facteurs du pouvoir d'achat. *by X.* (*J. des écon.* 84-juin, 6 p.) 1925

**Farrington, F.** Personality has money value. (*Bankers Mag.—N. Y.* 123-4, 2 p.) 1931

**Federn, W.** Die Währungs-Trennung und der Wert der Krone. (*Oesterr. Volksw.* 11-20, 7 p.) 1919

\***Filene, E. A.** The consumer's dollar. New York: Day 1934. 29 p. [*John Day pamph.* 41]

\***Fisher, I.** Die Kaufkraft des Geldes. Ihre Bestimmung und ihre Beziehung zu Kredit, Zins und Krisen. Aus dem Engl. übers. von I. Stecker. 2. Aufl. Berlin: 1922.

\*— Theories regarding the value of money, etc. New York: 1923. 6 p.

\***Fisher, I. & Brown, H. G.** The purchasing power of money. new and rev. ed. New York: Macmillan 1926. xxiv, 515 p. 8°. [*1. ed. 1911. 505 p.*]

1. Primary definitions. 2. Purchasing power of money as related to the "Equation of Exchange". 3. Influence of deposit currency on the equation and therefore on purchasing power. 4. Disturbance of equation and of purchasing power during transition periods. 5. Indirect influences on purchasing power. 6. Indirect influences (Continued). 7. Influence of monetary systems on purchasing power. 8. Influence of quantity of money and other factors on purchasing power and on each other. 9. The dispersion of prices makes necessary an index of purchasing power. 10. The best index numbers of purchasing power. 11. Statistical verification. General historical review. 12. Statistical verification. Recent years. 13. The problem of making purchasing power more stable.

\*— & — Le pouvoir d'achat de la monnaie. Avec la collaboration de Harry G. Brown. Trad. de l'anglais par R. Picard et J. Boutroux. Paris: Giard 1926. xvi, 584 p. 8°. [*Bibl. int. d'écon. pol.*]

\*Freiland- Freigeld-Bund (ed) Die gesetzl. Sicherung d. Kaufkraft d. Geldes durch d. absolute Währung. Weimar: Wagner 1919. 16 p.

**Fribourg, A. W.** Legal aspects of proposed legislation affecting the value of the dollar. (*Annalist.* 1058, 1 p.) 1933

**Frisch, R.** Der Einfluss von Veränderungen des Preisniveaus auf den Grenznutzen des Geldes. [*Zu Riccis Aufsatz: Das Sparen in d. Individualwirtschaft in ders. Z. 1, 2. vom 1. 9. 29.*] (*Z. f. Nationalök.* 2-4, 7 p.) 1931

\***Gegner, F.** Die Kaufkraftschöpfung der Banken in dogmenhistorischer Darstellung (von Law bis Hahn). Kulmbach: Schuhmann 1932. viii, 156 p. [*Diss. Erlangen*]

\***Gottschalk, H.** Die Kaufkraftlehre. Eine Kritik der Unterverbrauchslehren von J. A. Hobson, E. Lederer, W. T. Foster und W. Catchings. Jena: Fischer 1932. 140 p. 8°. [*Beitr. zur Erforschung der wirtschaftl. Wechsellagen.* 5]

\***Greidanus, T.** The value of money. Monetary theories and an exposition of the yield theory of the value of money. London: King 1932. vii, 364 p. 8°

I. Various monetary theories.

A. 1. The old philosophers and the writers of the middle ages. 2. The beginning of

- modern history (The sixteenth and seventeenth centuries). 3. The eighteenth century. 4. Adam Smith. 5. The nineteenth century.
- B. Modern writers. 6. The mechanic money theories. 7. Bruno Moll: "Logik des Geldes." 8. The "Anrecht" theory. 9. An application of the theory of the marginal utility to the doctrine of the value of money. Ludwig von Mises. 10. The relative problem: The changes in the price level. Helfferich. 11. The income theories. 12. The cash-balance theories. 13. A theory of business cycles and the problem of the value of money.
11. The yield theory of the value of money. 14. The functions of money. 15. Volume and value of the stores of producers and dealers. 16. The value of the stocks of consumers. 17. The first factor: The value of the tradesman's stock of money. 18. The first factor (continued): The value of the stock of money of consumers. 19. The second factor: Demand for money for the discharging of debts and its influence on the value in exchange. 20. The third factor: Influence and significance of future possibilities. The cause of the generally lower rate of interest on short-term credits. 21. The fourth factor: The stability of the value of money. 22. The fifth factor: The friction in the circulation. 23. The sixth factor: The marketability of other commodities and of securities. 24. The gilt-edged claim and its influence on the value of money. Commercial acceptances and bankers' acceptances. 25. Bank-notes and currency issued by the state. 26. Private banks.
- \***Gruntzel, J.** Der Geldwert. Grundsätze für die Beurteilung der Geldentwertung. Stuttgart: Enke 1919. 88 p. 8°. [Finanz- und volkswirtschaftl. Zeitfragen. 57]
- \*— Geldwert und Wechselkurs. Wien: Hölder-Pichler-Tempsky 1923. iv, 54 p. 8°
- \***Guenther, A.** Kriegslöhne und -preise und ihre Einwirkung auf Kaufkraft und Lebenskosten. Jena: Fischer 1919. iv, 86 p. 8°. [Schr. d. Gesellsch. f. soz. Reform. 66]
- \***Haas-Zumbühl, F.** Geld und Geldeswert in Luzern bis zum Beginn des 16. Jahrhunderts. Stans: Matt 1924. iv, 40 p. 8°. [S-Repr.]
- \*— [In: Geschichtsfreund. Mitt. d. histor. Vereins d. 5 Orte Luzern usw. 79, 40 p.] 1925
- Halfeld, A.** Die innere Kaufkraft der Mark. (Wirtschaftsbl. Niedersachsen. 2-33, 3 p.) 1922
- Haenel, H. G.** Ueber den Geldwert. (Jb. f. Nationalökon. 3. F. 67-2, 47 p.) 1924
- Helfferich, K.** Das Ideal eines Geldes von unveränderlichem Werte. (Wirtschaftl. Nachr. a. d. Ruhrbez. 4-10, 3 p.) 1923
- Hellauer, J.** Valutarisiko und Geldwertrisiko. (Z. f. Betriebsw. 4-7, 7 p.) 1927
- Herrmann, K. A.** Verwendungstheorie des Geldes. Einkommensverwendung und Kapazitätsausnutzung als Geldwertbestimmungsgründe. (Dt. Oekonomist. 2446, 8 p.) 1932
- \***Herzfelder, E.** Wertänderungslehre. Leipzig: Meiner 1925. vii, 216 p. 6 Textfig. 8°
- \***Hirsch, W.** Grenznutzentheorie und Geldwerttheorie unter bes. Berücks. d. österr. Schule. Jena: Fischer 1928. viii, 182 p. 8°. [Untersuchungen z. theoret. Nationalökon. 2]
- Einleit. 1. Die Problemstellung der Systemgeschlossenheit.
- I. Grenznutzentheorie und subjektiver Geldwert.
2. Die Voraussetzungen des subjektiven Geldwertes. 3. Der Begriff des subjektiven Geldwertes. 4. Die Grösse des subjektiven Geldwertes. 5. Das Wesen des subjektiven Geldwertes. 6. Die Bewegungstendenzen des subjektiven Geldwertes. 7. Die Bedeutung des subjektiven Geldwertes.
- II. Grenznutzentheorie und objektiver Geldwert.
- A. Die Bedeutung des subjektiven Geldwertes für das Wesen des objektiven Geldwertes. 8. Die Schwierigkeiten eines Warenwertprinzips im allgemeinen. 9. Die Schwierigkeiten des Grenznutzenprinzips im besonderen.
- B. Die Bedeutung des subjektiven Geldwertes für die Aenderung des objektiven Geldwertes. 10. Die unmittelbare Bedeutung. 11. Die mittelbare Bedeutung.
- III. Grenznutzentheorie und Substanzwert des Geldes. 12. Nominalismus, Metallismus und Grenznutzentheorie. 13. Substanzwert und Geldwert.
- Anhang. Grenznutzentheorie und valutarischer Wert des Geldes.
- Hornbostel, H.** La théorie de la valeur et la théorie générale de la monnaie. (J. des econ. 89-Juillet, 10 p.) 1930
- \*— La vitesse de circulation de la monnaie et les variations de son pouvoir d'achat. (Contribution à l'étude d'une théorie réaliste.) Paris: Rousseau 1930. 238 p. 8°. [Thèse, Paris]
- Huddleston, S.** What is the franc's true value? (New Statesman. 685, 3 p.) 1926
- \***Ingold, W.** Zur Grundlegung der Geldwerttheorie. Eine Kritik des Nominalismus. Weinfelden: Neuschwander 1925. 73 p. 8°. [Volkswirtschaft. Abh. 2.] [Diss. Bern]
- \***Joseph, E. S.** Purchasing power, credit, and paying power; their economic effect. 1932. [Diss. Wisconsin]

- \***Jugold, W.** Zur Grundlegung der Geldwerttheorie, eine Kritik des Nominalismus. Weinfelden: Neuschwandische Verlagsbh. 1925. 73 p.
- \***Kaulla, R.** Die Grundlagen des Geldwerts. Stuttgart: Dt. Verlagsanst. 1920. 96 p. 8°
- King, W. J.** Section on index numbers and the measure of values. [Review of the Lectures von Gottfried Haberler: The measurement of the value of money; Bruce D. Mudgett: Some unsettled questions in the theory of index numbers.] (J. of Am. Statist. Assoc. 165 A, Suppl. 5 p.) 1929
- \***Knibbs, G. H.** Prices, purchasing-power of money, wages, trade unions, unemployment, and general industrial conditions, 1918. Melbourne: Bur. of Census & Statistics 1919. 268 p.
- \***Koch, H.** Der Einfluss der Diskontpolitik auf den Warenwert des Geldes. Leipzig: Noske 1927. v, 58 p. 8°. [Abh. aus dem Staatswissenschaftl. Seminar an der Univ. Erlangen. 2]
- Koranyi, K.** Zahlungsbilanz, Kaufkraft und Wechselkurs. Eine kritische Untersuchung. (Weltw. A. 26-2, 33 p.) 1926
- Kranold, H.** Springende Löhne, kollernder Geldwert, Klebende Güter. (Glocke. 8-14, 8 p.) 1922
- Kühn, H.** Der Kapitalwert des Geldes. Ein Beitrag zur Frage des Wiederaufbaues des Realkreditverkehrs. (Z. f. Betriebsw. 5-5, 5 p.) 1928
- Ladiges, J.** Versicherungswert und Geldwert. (Z. f. Versicherungswesen. 45-32, 2 p.) 1922
- Lansburgh, A.** Grundriss der Geldlehre. Tl. 1. Die Kaufkraft. (Bank. 26-48, 6 p.; 27-1, 5 p., 5, 5 p., 10, 8 p.) 1933/34
- \***Lederer, C.** Metallgeld oder Zeichengeld. Erörterungen zur "Staatl. Theorie d. Geldes" unter bes. Berücks. des Geldwertproblems. München, Berlin, Leipzig: Schweitzer Verl. 1923. 53 p. 8°
- \***Libby, C. T.** The shifting middle third for curbing the long turn: a step towards a world norm for the buying value of money. Portland, Me.: Southworth Pr. 1933. 14 p.
- Lodge, R.** Purchasing power of money. (Palgrave's Dict. 3, 2 p.) 1926
- Lombard, N.** Die Zukunft des Geldwertes. (Dt. Oekonomist. 2277, 5 p.) 1929
- Lukas, E.** Wirtschaftspolitik und natürliche Relation zwischen Innen- und Aussenwert des Geldes. (Z. f. Volksw. N. F. 5-4/6, 35 p.) 1926
- Majorana, G.** Le teorie della moneta e del valore in Aristotele. (Giorn. d. econ. 41-1, 13 p.) 1926
- \***Marget, A. W.** Leon Walras and the "cash-balance approach" to the problem of the value of money. Chicago: J. of Pol. Econ. 1931
- \***Mariotti, A.** La bilancia economica internazionale e la sua influenza sul valore della moneta. Roma: Tipogr. Ospizio S. Michele 1927
- \***Martin, P. W.** Unemployment and purchasing power. London: King 1929. viii, 86 p. 8°
- \*— The problem of maintaining purchasing power: a study of industrial depression and recovery. London: King 1931. xiv, 314 p. 8°
- I. The approach to the problem. 1. The classical approach. 2. The realistic approach. 3. The market comparison.
- II. Factors affecting the market comparison. 4. Additions to working capital. 5. Influx of new money. 6. Negative fluctuations. 7. The time factor. 8. Other types of transactions. 9. The validity of the analysis.
- III. Purchasing power and business activity. 10. The extent of a deficiency of purchasing power. 11. The effect of a deficiency of purchasing power. 12. Other factors affecting business activity. 13. Summing up.
- IV. Measures for maintaining purchasing power. 14. Purchasing power and monetary stability. 15. National measures. 16. International measures. 17. The problem as a whole.
- V. The present position. 18. The position in the United States. 19. The position in Great Britain. 20. The international position. 21. The consequences of maintaining purchasing power.
- Meininghaus, E.** Die innere Kaufkraft der Mark in ihrer Abhängigkeit von der Valuta. (Weltw. A. 19-4, 20 p.) 1923
- Monroe, A. E.** The standard of value. (Q. J. of Econ. 46-2, 30 p.) 1932
- Necker, W.** Vorausbestimmung der Kaufkraft des Geldes? (Korrespondenz-Bl. d. Allg. Dt. Gewerkschaftsbundes. 32-44, 2 p.) 1922
- \***Neisser, H.** Der Tauschwert des Geldes. Jena: Fischer 1928. viii, 205 p. 8°
1. Die Grundgleichung der Geldtheorie. 1. Umlaufgeschwindigkeit. 3. Bargeld. 4. Kreditgeld. 5. Bestimmung der nationalen Geld- und Gütermenge. 6. Geldmenge und Gütermenge. 7. Ergebnis.

- Neisser, H.** Der volkswirtschaftliche Geldwert und die Preisindexziffern. [Zu Haberler, Der Sinn d. Indexzahlen. Tübingen 1927 und Flaskämper, Theorie der Indexzahlen. Berlin, Leipzig. 1928.] (Weltw. A. 29-1, 13 p.) 1929
- \***Nonaka, T. & Müller, H.** Vom Wesen und Wert des Geldes. Die psych. Natur des Geldes u. d. Einfluss d. Spekulation auf s. Wert. Berlin: Ebering 1925. 119 p. 8°. [Volkswirtschaftl. Stud. 11]
- Normalità monetaria. by E. C. (Boll. d. Cotoniera. p. 448 seq.) 1927
- \***Notz, E.** Die säkulare Entwicklung der Kaufkraft des Geldes. Für Basel in d. Perioden 1800/33 u. 1892/1923 nebst internationalen Vergleichen dargest. Mit 9 Diagr. im Text. Jena: Fischer 1925. viii, 283 p. 8°
- I. Theoretischer. 1. Einleitung. 2. Die Methoden der Messung der Kaufkraft des Geldes.
- II. Statistischer. 3. Die Basler Quellen. 4. Das Untersuchungsmaterial und dessen statistische Aufbereitung. 5. Die graphische Darstellung der Resultate.
- III. Historischer. 6. Die Preisbewegung der wichtigsten Lebens- und Genussmittel von 1800/33 und 1892/1923. 7. Die Zölle und ihr Einfluss auf die Preisbewegung der Lebensmittel. 8. Das Preisniveau und die Kaufkraft des Geldes in Basel in den Jahren 1800/33 und 1892/1923. 9. Löhne und Besoldungen in Basel zu Beginn des 19. und 20. Jahrhunderts. 10. Reallohn und Lebenshaltung.
- Oppenheimer, F.** Die Kaufkraft des Geldes. [In: Oppenheimer, Wege z. Gemeinschaft. 27 p.] 1924
- \***Otto, K.** Untersuchungen über die Beziehungen der Zahlungsbilanz und der Kaufkraft des Geldes zum intervalutarischen Kurs. Greifswald: Adler 1927. 57 p. 8°. [Diss. Greifswald]
- Palyi, M.** Ein Jahrhundert Preise und Reallohn. [Zu Notz, Die säkulare Entwicklung der Kaufkraft des Geldes.] (A. f. Sozialwiss. 60-2, 8 p.) 1928
- \***Parrish, W. W. & Weishaar, W.** Men without money; the challenge of barter and scrip. New York: 1933. 120 p.
- Poellnitz, G. v.** In- und Auslands-Kaufkraft der Mark. (Wiederaufbau. 6, 2 p.) 1922
- The purchasing value of the dollar. (Conference Board Bull. 64, 3 p.) 1932
- \***Raveau, P.** L'agriculture et les classes paysannes. La transformation de la propriété dans le Haut Poitou au 16. siècle. Le pouvoir d'achat de la livre tournois, du règne de Louis XI à celui de Louis XIII. Paris: Rivière 1925. 8°
- Ricci, U.** Die Kurve des Geldnutzens und die Theorie des Sparens. (Z. f. Nationalökon. 3-3, 26 p.) 1932
- Rizzi, H.** Geldwert und Kosten der Lebenshaltung in Oesterreich seit Beginn der Sanierungsaktion. (Mitt. d. Verb. österr. Banken u. Bankiers. 5-7/8, 3 p.) 1923
- \***Royot, E.** Essai statistique sur la valeur du franc (Communication faite à la séance du 15 avril 1925 de la Société de statistique de Paris). Paris: Berger-Levrault 1925. 32 p. 4°
- Runkel, F.** Der Wert des deutschen Geldes. (Dt. Oekonomist. 1940, 3 p.) 1920
- \***Schiele, G. W.** Kaufkraft und Devisenschleuderung. Leipzig: Reichenbach 1927. 32 p. 8°. [Naumburger Briefe 1927, 4]
- Schlösser, P.** Der Wert des Geldes nach dem Kriege. (Umschau. 23-8, 5 p.) 1919
- Von Geld, Wert und Geldwert. (Umschau. 27-35, 4 p.) 1923
- \***Schmidt, G.** Der konstante Geldwert von Oresmius bis Knapp. Berlin: Ebering 1925. iv, 107 p. 8°. [Volkswirtschaftl. Stud. 8] [Diss. Berlin]
- \***Schooling, W.** Value for money; the influence of wise spending on national prosperity. London: Pitman 1920. 164 p. 8°
- Schragmüller, E.** Das Problem der Goldwerte. (Jb. f. Nationalökon. 3. F., 64-2, 5 p.) 1922
- Scrutator** Purchasing power of money. (Bankers' Mag.—Lond. 1000, 8 p.) 1927
- \***Senior, N. W.** The value of money. London: London School of Econ. 1931. 84 p. 8°. [Ser. of reprints of scarce tracts in econ. and pol. sci. 4]
- Shibata, K.** The subjective theory of value and theories of the value of money. (Kyoto Univ. Econ. R. 6-1, 23 p.) 1931
- \***Soda, K.** Geld und Wert. Eine logische Studie. 2. photomechan. gedr. Aufl. Tübingen: Mohr 1924. ix, 176 p. Fig. 8°. [See: Contents, I, 1]
- Sommer, A.** Das Geld und die Erscheinungsformen der Wertseinheit. (Jb. f. Nationalökon. 3. F., 75-1, 45 p.) 1929
- Sommerfeld** Die Spannung zwischen Devisen- u. Notenkurs. (Z. f. handelswiss. Forsch. 16-3/4, 25 p.) 1922
- \***Stampe, E.** War Carolus Molinaeus Nominalist? Eine Untersuchung über s. Valor extrinsecus monetae. Berlin: de Gruyter 1926. 30 p. 4°. [Repr.: Sitzungsberichte d. preuss. Akad. d. Wiss. 9]

- \***Steinmann, J.** Die Problematik zusätzlicher Kaufkraftschaffung. Kaiserslautern: Thieme 1933. 174 p. 8°. [Diss. Heidelberg, 1932]
- Théry, R.** De la valeur intrinsèque du papiermonnaie. (Economiste europ. 1801, 2 p., 1802, 2 p.) 1926
- Vinci, F.** L'utilità della moneta e l'imposta progressiva. (R. ital. di statist., econ. e finan. 5-2, 34 p.) 1933
- \***Wagemann, E.** Allgemeine Geldlehre. Bd. 1.: Theorie d. Geldwerts u. d. Währung. Berlin: Engelmann 1923. xiii, 367 p. 8°. [For contents see I, 1]
- Waldhecker, H.** Werte und Unwerte. (Woche. 24-37, 3 p.) 1922
- \***Walters, F. Y.** Money and money's worth. With a pref. by the Rt. Hon. J. R. Clynes. London: St. Catherine Pr. 1921. 160 p. 8°
- Wannenmacher, W.** Auslandskapital, Diskontopolitik und Geldwert. (Wirtschaft. 6-42, 2 p., 44, 2 p.) 1925
- Weaver, H. G.** The development of basic purchasing power index by counties. (Harvard Business R. 4-3, 15 p.) 1926
- Weinberger, O.** Ueber Verfahrensweisen zur Bestimmung des geldlichen Grenznutzens. (Z. f. d. ges. Staatswiss. 93-3, 27 p.) 1932
- \***Wieser, F. Frhr. v.** Der Geldwert und seine geschichtlichen Veränderungen. Wien: Braumüller 1926. 22 p. [Repr.: Z. f. Volkswirtschaft, Sozialpolitik u. Verwaltung]
- Wilken, F.** Gottl-Ottlilienfeld: Die Phänomenologie des Geldwertbewusstseins. Unter bes. Berücks. von Gottls Theorie der "Wirtschaftlichen Dimension." (A. f. Sozialwiss. 56-2, 53 p.) 1926
- \***Zehnder, A.** Die inländische und ausländische Kaufkraft des Geldes in den Jahren 1914 bis 1922. Weinfelden: Neuenschwander 1923. 74 p. 8°
- Anderson, B. M.** The gold standard versus "a managed currency," with some observations on the quantity theory of money. New York: Chase Nat. Bank 1925. 39 p. 8°. [Chase Econ. Bull. 5, 1]
- (R. econ. 12-8, 3 p.) 1925
- Das Versagen der Quantitätstheorie des Geldes. Uebers. von E. v. Nyiri. (Ständisches Leben. 2-10, 3 p.) 1932
- Anderson, O.** Ist die Quantitätstheorie statistisch nachweisbar? (Z. f. Nationalökon. 2-4, 56 p.) 1931
- \***Asch, S.** La circulation monétaire. Le niveau des prix et le taux de l'intérêt (Contribution à la théorie quantitative de la monnaie). Paris: d'Arthez 1924. 115 p. 8°. [Thèse, Strasbourg]
- \***Bakker, J.** Die Wiederbelebung der Quantitätstheorie. Emden: Davids 1932. iv, 87 p. 8°. [Diss. Münster]
- Bauer, S.** La situation monétaire en Tchécoslovaquie. Une expérience de théorie quantitative. (R. d'écon. pol. 35-2, 11 p.) 1921
- Bilgram, H.** The quantity theory scrutinized. (J. of Pol. Econ. 29-Nov., 10 p.) 1921
- Burns, A. F.** The quantity theory and price stabilization. (Am. Econ. R. 19-4, 19 p.) 1929
- \***Christen, Th.** Die Quantitätstheorie des Geldes. Sontra: Freiwirtschaftl. Verl. 1920. 24 p. 8°
- Copeland, M. A.** Two hypotheses concerning the equation of exchange. (J. of Am. Statist. Assoc. N. S. 165 A, Suppl., 3 p.) 1929
- Davies, G. R.** The quantity theory and recent statistical studies. (J. of Pol. Econ. 29-Mar., 8 p.) 1921
- \***Fisher, I. & Brown, H. G.** The purchasing power of money. New and rev. ed. New York: Macmillan 1926. 515 p. 8°. [For contents see II, 1]
- Le pouvoir d'achat de la monnaie. Avec la collaboration de Harry G. Brown. Trad. de l'anglais par R. Picard et J. Boutroux. Paris: Giard 1926. xvi, 584 p. 8°. [Bibl. int. d'écon. pol.]
- Guerriero, A.** La teoria quantitativa della moneta e l'esperienza italiana. (Commercio. 7-4, 5 p.) 1934
- Gutmann, F.** Quantitätstheorie. (WB. d. Volksw. 4. Aufl. 2, 4 p.) 1932

## 2. Quantity Theory of Money

- Aftalion, A.** Les expériences monétaires récentes et la théorie quantitative. (R. d'écon. pol. 39-3, 29 p.) 1925

- Neisser, H.** Der volkswirtschaftliche Geldwert und die Preisindexziffern. [Zu Haberler, Der Sinn d. Indexzahlen. Tübingen 1927 und Flaskämper, Theorie der Indexzahlen. Berlin, Leipzig. 1928.] (Weltw. A. 29-1, 13 p.) 1929
- \***Nonaka, T. & Müller, H.** Vom Wesen und Wert des Geldes. Die psych. Natur des Geldes u. d. Einfluss d. Spekulation auf s. Wert. Berlin: Ebering 1925. 119 p. 8°. [Volkswirtschaftl. Stud. 11]  
Normalità monetaria. by E. C. (Boll. d. Cotoniera. p. 448 seq.) 1927
- \***Notz, E.** Die säkulare Entwicklung der Kaufkraft des Geldes. Für Basel in d. Perioden 1800/33 u. 1892/1923 nebst internationalen Vergleichen dargest. Mit 9 Diagr. im Text. Jena: Fischer 1925. viii, 283 p. 8°  
I. Theoretischer. 1. Einleitung. 2. Die Methoden der Messung der Kaufkraft des Geldes.  
II. Statistischer. 3. Die Basler Quellen. 4. Das Untersuchungsmaterial und dessen statistische Aufbereitung. 5. Die graphische Darstellung der Resultate.  
III. Historischer. 6. Die Preisbewegung der wichtigsten Lebens- und Genussmittel von 1800/33 und 1892/1923. 7. Die Zölle und ihr Einfluss auf die Preisbewegung der Lebensmittel. 8. Das Preisniveau und die Kaufkraft des Geldes in Basel in den Jahren 1800/33 und 1892/1923. 9. Löhne und Besoldungen in Basel zu Beginn des 19. und 20. Jahrhunderts. 10. Reallohn und Lebenshaltung.
- Oppenheimer, F.** Die Kaufkraft des Geldes. [In: Oppenheimer, Wege z. Gemeinschaft. 27 p.] 1924
- \***Otto, K.** Untersuchungen über die Beziehungen der Zahlungsbilanz und der Kaufkraft des Geldes zum intervalutarischen Kurs. Greifswald: Adler 1927. 57 p. 8°. [Diss. Greifswald]
- Palyi, M.** Ein Jahrhundert Preise und Real-löhne. [Zu Notz, Die säkulare Entwicklung der Kaufkraft des Geldes.] (A. f. Sozialwiss. 60-2, 8 p.) 1928
- \***Parrish, W. W. & Weishaar, W.** Men without money; the challenge of barter and scrip. New York: 1933. 120 p.
- Poellnitz, G. v.** In- und Auslands-Kaufkraft der Mark. (Wiederaufbau. 6, 2 p.) 1922  
The purchasing value of the dollar. (Conference Board Bull. 64, 3 p.) 1932
- \***Raveau, P.** L'agriculture et les classes paysannes. La transformation de la propriété dans le Haut Poitou au 16. siècle. Le pouvoir d'achat de la livre tournois, du règne de Louis XI à celui de Louis XIII. Paris: Rivière 1925. 8°
- Ricci, U.** Die Kurve des Geldnutzens und die Theorie des Sparens. (Z. f. Nationalökon. 3-3, 26 p.) 1932
- Rizzi, H.** Geldwert und Kosten der Lebenshaltung in Oesterreich seit Beginn der Sanierungsaktion. (Mitt. d. Verb. österr. Banken u. Bankiers. 5-7/8, 3 p.) 1923
- \***Royot, E.** Essai statistique sur la valeur du franc (Communication faite à la séance du 15 avril 1925 de la Société de statistique de Paris). Paris: Berger-Levrault 1925. 32 p. 4°
- Runkel, F.** Der Wert des deutschen Geldes. (Dt. Oekonomist. 1940, 3 p.) 1920
- \***Schiele, G. W.** Kaufkraft und Devisenverschleuderung. Leipzig: Reichenbach 1927. 32 p. 8°. [Naumburger Briefe 1927, 4]
- Schlösser, P.** Der Wert des Geldes nach dem Kriege. (Umschau. 23-8, 5 p.) 1919  
— Von Geld, Wert und Geldwert. (Umschau. 27-35, 4 p.) 1923
- \***Schmidt, G.** Der konstante Geldwert von Oresmius bis Knapp. Berlin: Ebering 1925. iv, 107 p. 8°. [Volkswirtschaftl. Stud. 8] [Diss. Berlin]
- \***Schooling, W.** Value for money; the influence of wise spending on national prosperity. London: Pitman 1920. 164 p. 8°
- Schragmüller, E.** Das Problem der Goldwerte. (JB. f. Nationalökon. 3. F., 64-2, 5 p.) 1922
- Scrutator** Purchasing power of money. (Bankers' Mag.—Lond. 1000, 8 p.) 1927
- \***Senior, N. W.** The value of money. London: London School of Econ. 1931. 84 p. 8°. [Ser. of reprints of scarce tracts in econ. and pol. sci. 4]
- Shibata, K.** The subjective theory of value and theories of the value of money. (Kyoto Univ. Econ. R. 6-1, 23 p.) 1931
- \***Soda, K.** Geld und Wert. Eine logische Studie. 2. photomechan. gedr. Aufl. Tübingen: Mohr 1924. ix, 176 p. Fig. 8°. [See: Contents, I, 1]
- Sommer, A.** Das Geld und die Erscheinungsformen der Wertseinheit. (JB. f. Nationalökon. 3. F., 75-1, 45 p.) 1929
- Sommerfeld** Die Spannung zwischen Devisen- u. Notenkurs. (Z. f. handelswiss. Forsch. 16-3/4, 25 p.) 1922
- \***Stampe, E.** War Carolus Molinaeus Nominalist? Eine Untersuchung über s. Valor extrinsecus monetae. Berlin: de Gruyter 1926. 30 p. 4°. [Repr.: Sitzungsberichte d. preuss. Akad. d. Wiss. 9]

- \***Steinmann, J.** Die Problematik zusätzlicher Kaufkraftschaffung. Kaiserslautern: Thieme 1933. 174 p. 8°. [Diss. Heidelberg, 1932]
- Théry, R.** De la valeur intrinsèque du papiermonnaie. (Economiste europ. 1801, 2 p., 1802, 2 p.) 1926
- Vinci, F.** L'utilità della moneta e l'imposta progressiva. (R. ital. di statist., econ. e finan. 5-2, 34 p.) 1933
- \***Wagemann, E.** Allgemeine Geldlehre. Bd. 1.: Theorie d. Geldwerts u. d. Währung. Berlin: Engelmann 1923. xiii, 367 p. 8°. [For contents see I, 1]
- Waldhecker, H.** Werte und Unwerte. (Woche. 24-37, 3 p.) 1922
- \***Walters, F. Y.** Money and money's worth. With a pref. by the Rt. Hon. J. R. Clynes. London: St. Catherine Pr. 1921. 160 p. 8°
- Wannenmacher, W.** Auslandskapital, Diskontopolitik und Geldwert. (Wirtschaft. 6-42, 2 p., 44, 2 p.) 1925
- Weaver, H. G.** The development of basic purchasing power index by counties. (Harvard Business R. 4-3, 15 p.) 1926
- Weinberger, O.** Ueber Verfahrensweisen zur Bestimmung des geldlichen Grenznutzens. (Z. f. d. ges. Staatswiss. 93-3, 27 p.) 1932
- \***Wieser, F. Frhr. v.** Der Geldwert und seine geschichtlichen Veränderungen. Wien: Braumüller 1926. 22 p. [Repr.: Z. f. Volkswirtschaft, Sozialpolitik u. Verwaltung]
- Wilken, F.** Gottl-Ottlilienfeld: Die Phänomenologie des Geldwertbewusstseins. Unter bes. Berücks. von Gottls Theorie der "Wirtschaftlichen Dimension." (A. f. Sozialwiss. 56-2, 53 p.) 1926
- \***Zehnder, A.** Die inländische und ausländische Kaufkraft des Geldes in den Jahren 1914 bis 1922. Weinfelden: Neuenschwander 1923. 74 p. 8°
- \***Anderson, B. M.** The gold standard versus "a managed currency," with some observations on the quantity theory of money. New York: Chase Nat. Bank 1925. 39 p. 8°. [Chase Econ. Bull. 5, 1]  
— (R. econ. 12-8, 3 p.) 1925  
— Das Versagen der Quantitätstheorie des Geldes. Uebers. von E. v. Nyiri. (Ständisches Leben. 2-10, 3 p.) 1932
- Anderson, O.** Ist die Quantitätstheorie statistisch nachweisbar? (Z. f. Nationalökon. 2-4, 56 p.) 1931
- \***Asch, S.** La circulation monétaire. Le niveau des prix et le taux de l'intérêt (Contribution à la théorie quantitative de la monnaie). Paris: d'Arthez 1924. 115 p. 8°. [Thèse, Strasbourg]
- \***Bakker, J.** Die Wiederbelebung der Quantitätstheorie. Emden: Davids 1932. iv, 87 p. 8°. [Diss. Münster]
- Bauer, S.** La situation monétaire en Tchécoslovaquie. Une expérience de théorie quantitative. (R. d'écon. pol. 35-2, 11 p.) 1921
- Bilgram, H.** The quantity theory scrutinized. (J. of Pol. Econ. 29-Nov., 10 p.) 1921
- Burns, A. F.** The quantity theory and price stabilization. (Am. Econ. R. 19-4, 19 p.) 1929
- \***Christen, Th.** Die Quantitätstheorie des Geldes. Sontra: Freiwirtschaftl. Verl. 1920. 24 p. 8°
- Copeland, M. A.** Two hypotheses concerning the equation of exchange. (J. of Am. Statist. Assoc. N. S. 165 A, Suppl., 3 p.) 1929
- Davies, G. R.** The quantity theory and recent statistical studies. (J. of Pol. Econ. 29-Mar., 8 p.) 1921
- \***Fisher, I. & Brown, H. G.** The purchasing power of money. New and rev. ed. New York: Macmillan 1926. 515 p. 8°. [For contents see II, 1]  
— Le pouvoir d'achat de la monnaie. Avec la collaboration de Harry G. Brown. Trad. de l'anglais par R. Picard et J. Boutroux. Paris: Giard 1926. xvi, 584 p. 8°. [Bibl. int. d'écon. pol.]
- Guerriero, A.** La teoria quantitativa della moneta e l'esperienza italiana. (Commercio. 7-4, 5 p.) 1934
- Gutmann, F.** Quantitätstheorie. (WB. d. Volksw. 4. Aufl. 2, 4 p.) 1932

## 2. Quantity Theory of Money

- Aftalion, A.** Les expériences monétaires récentes et la théorie quantitative. (R. d'écon. pol. 39-3, 29 p.) 1925



- \***Kirmaier, K.** Die Quantitätstheorie. Eine Untersuchung über d. ursächl. Zusammenhang zw. Geldmenge u. Geldwert. Jena: Fischer 1922. viii, 90 p. 8°. [Abh. d. staatswiss. Seminars zu Jena. 16, 1]  
I. Analyse. 1. Begriffsgewinnung. 2. Vom Geldwert. 3. Von der Werteinheit. 4. Von der Funktionen des Geldes.  
II. Synthese. Darstellung der Theorien.  
III. Kritik. 1. Die mechanische Quantitätstheorie. 2. Die Proportionalitätstheorie. 3. Die modifizierte Quantitätstheorie. (Die Theorie von der preisbestimmenden Wirkung der Umlaufgeschwindigkeit des Geldes.) 4. Die Verkehrsgleichung. (In Anlehnung an Fisher.)  
IV. Ergebnis. Der Charakter einer Geldvermehrung und die Geldverfassung in ihrer Bedeutung für das Mass und die Möglichkeiten von Geldwertbewegungen.  
V. Die schwachen Konkurrenten der Quantitätstheorie. 1. Die Produktionskostentheorie. 2. Die Qualitätstheorie. Schluss.
- Krebs, P.** Kritische Studien zur Quantitätstheorie des Geldes. (Technik u. Wirtschaft. 17-7, 7 p.) 1924
- Laughlin, J. L.** The quantity-theory of money. (J. of Pol. Econ. 32-June, 17 p.) 1924
- Marget, A. W.** The definition of the concept of a "velocity of circulation of goods." (Economica. 38, 26 p., 41, 26 p.) 1933
- Marschak, J.** Die Verkehrsgleichung. [Handelt über die Theorie der Abhängigkeit des Geldwertes von der Geldquantität (Quantitätstheorie) u. über die Berechnung von Geldmenge, Umlaufgeschwindigkeit, Preis, warenquantum und Warenabsatz durch eine Gleichung, die sogenannte "Verkehrsgleichung".] (A. f. Sozialwiss. 52-2, 41 p.) 1924
- Matsuoka, K.** On the quantity theory of gold (with special reference to Prof. Cassel's theory). (Kyoto Univ. Econ. R. 9-1, 19 p.) 1934
- \***Michaelis, A.** Die Quantitätstheorie als Grundlage der Konjunkturforschung. Jena: Fischer 1929. vii, 170 p. Fig. 8°
- Mildschuh, W.** Une théorie de l'inflation de crédit comme substitut à la théorie quantitative de la monnaie. (R. d'écon. pol. 42-4, 13 p.) 1928
- \***Miller, J. O.** High prices and the quantity theory. London: Praed 1920. 86 p. 12°
- Nölle** Die Stellung der Chartalisten und Nominalisten zur Quantitätstheorie. (Wirtschaft u. Freiheit. 2-19/20, 4 p.) 1926
- Palyi, M.** Quantitätstheorie. (HWB. d. Staatswiss. 4. Aufl. 6, 6 p.) 1925
- Peake, E. G.** Conclusions to be drawn from the quantity theory of money. (Bankers' Mag.—Lond. 1026, 4 p.) 1929  
— Further conclusions arising from the quantity theory of money. (Bankers' Mag.—Lond. 1034, 4 p.) 1930
- \***Pose, A.** Esquisse de l'évolution de la théorie quantitative. Paris: Rivière 1926. 8°. [Repr.: R. d'hist. écon.]
- \***Price, L. L.** Money and its relation to prices: being an inquiry into the causes, measurement, and effects of changes in general prices. London: Allen & Unwin 1929. viii, 246 p. 8°
- Sensini, G.** Intorno alla teoria quantitativa della moneta. (R. bancaria. 12-4, 5 p.) 1931  
— Rappresentazione geometrica degli equilibri monetari. (Rasségna numismatica. p. 39 seq.) 1931
- Shibata, K.** An examination of Professor Cassel's quantity theory of money. (Kyoto Univ. Econ. R. 7-1, 33 p.) 1932
- Simon, W.** Die tschechoslowakische Deflationspolitik und die Quantitätstheorie. (Jb. f. Nationalökon. 3. F. 69-1/2, 8 p.) 1926
- Smart, O. M.** Business curve based on interest rates and prices. An adaptation of the quantity theory of money. (J. of Am. Statist. Assoc. 181, 6 p.) 1933
- Trost, T.** Zur Quantitätstheorie. (Freiwirtschaft. 5-10, 4 p.) 1923
- Waffenschmidt, W. G.** Studien zu einer quantitativen Geldtheorie. (A. f. Sozialwiss. u. Sozialpol. 52-2, 25 p.) 1924
- \***Waha, R. de** Monnaie et prix. De la théorie quantitative à la théorie psychologique de la monnaie. Luxembourg: Auteur 1933. 44 p. 4°
- Walker, F. A.** Quantity theory of money. (Palgrave's Dict. 3, 1 p.) 1926
- Wendt, S.** Grundsätzliches zur Marx'schen Kritik an der Quantitätstheorie. (Schmollers JB. 54-5, 40 p.) 1930

### 3. Stabilization of the Value of Money

#### a. General.

- Abraham, H. F.** Die Bedeutung der "katastrophalen" Geldwertung für das Rechtsleben. Eine Replik [auf einen Aufsatz von Zeiler. Ebenda. 9.] (Jurist. Rdsch. 1-12, 5 p.) 1925

- Amonn, A.** Für und wider eine Erhöhung des Geldwertes. (Mitt. d. Verb. österr. Banken u. Bankiers. 5-7/8, 6 p.) 1923
- \***Anders, F.** Der Stand der Aufwertung. Eine unparteiische Untersuchung ihrer volkswirtschaftl. Grundlagen u. Voraussetzungen. Berlin: Dohrn 1924. 40 p. 8°
- \***André, B.** Le bénéfice réel en période de dépréciation monétaire. Paris: Recueil Sirey 1926. 22 p.  
Une année de stabilité monétaire. Les conséquences de la stabilisation monétaire. (Bull. de statist. et de législ. comparée. 51-11, 27 p., 12, 11 p.) 1927
- Arminius, R.** Valorisation. [In: Wissenschaftl. Schriftenreihe d. FZtg. 7] 1931
- Arzet, R.** Die Sanierung der europäischen Währungen. (Weltwirtschaft. 14-11, 2 p.) 1926  
— Internationale Versuche einer Schuldenerleichterung. [In: Das Weltproblem der Schuldabwertung und Zinssenkung.] (Plutus-Briefe. 10-5) 1933
- Asch, B.** Die drückendste Steuer des Proletariats. [Die Geldwertung als indirekte Steuer.] (Sozialist. 7-49, 4 p.) 1921
- Auerbach, H.** Hypothekengläubiger und Geldwertung. (Z. f. Rechtspf. in Bayern. 19-13/15, 3 p.) 1923
- Auhagen, O.** Ursachen und Wirkungen der Geldwertung. (Schmollers JB. 44-1, 20 p.) 1920
- \***Auswärtiges Amt.** Gutachten der internationalen Finanzsachverständigen über die Stabilisierung. Berlin: Heymann 1922. 52 p. 4°
- Bacmeister** Geldwertung und Rechtsprechung. (Hanseat. Rechts-Z. 6-5, 10 p.) 1923
- \***Badellino, V.** Rivalutazione e stabilizzazione della moneta (Ist. Bianchi; Collegio convitto fascista Milite ignoto, Pavia). Pavia: Tip. Popolare. 1928. 31 p. 8°. [Collana di monografie polit., econ., storiche; serie econ. 3]
- Balogh, Th.** G. Cassel: Post war monetary stabilization. (Schmollers JB. 53-3, 3 p.) 1929  
— Devaluation. (Encycl. of Soc. Sci. 5, 4 p.) 1931
- \***Barth, E.** Geldwert, Geldwertung u. Proletariat. Valutafagen. Berlin: Hoffmann 1920. 31 p. 8°
- \***Bataille, J. & Brackers, d'H. J.** Comment faire...des contrats en monnaie stable. Validité, clauses, formules (L'Instabilité monétaire et les contrats). Lille: Impr. Martin-Mamy, Crouan & Roques 1926. 8°
- Baudhuin, F.** La technique de la stabilité monétaire. (R. des questions sci. 11-2, 16 p.) 1927
- Baudin, L.** J. R. Bellerby: Monetary stability. (R. d'écon. pol. 40-1, 3 p.) 1926  
— B. de Longevialle: Vers la monnaie saine. Des essais de stabilisation monétaire par le retour à la convertibilité-or. (R. d'écon. pol. 41-5, 1 p.) 1927
- \***Bayart, P.** Le change et la stabilisation. Paris: Recueil Sirey 1926. 8°. [Repr.: Chronique soc. de France d'octobre 1926]
- \***Beckmann, W.** Gesetzliche Sicherung der Kaufkraft des Geldes. Weimar: 1919. 16 p.  
— Die Besteuerung der Sachwerte. Ihre unbedingte Notwendigkeit u. ihre Durchführung. Erfurt, Bern: Freiland-Freigeld-Verl. 1922. 31 p. 8°
- \***Bellerby, J. R.** Monetary stability. London, New York: Macmillan 1925. xvi, 174 p. 8°  
I. Descriptive. 1. The new problem.  
II. The alternative systems of stabilization compared. 2. Ease of application. 3. Price stability in relation to consumption. 4. Social justice. 5. Industrial and social relations. 6. International considerations. 7. The Genoa proposals for a gold exchange standard. 8. The balance sheet.  
Appendices: 1. International measures necessary under the gold exchange standard to secure price stability. 2. Brief comparison of the gold exchange standard and the non-metallic exchange standard.
- \***Benes, G.** Geldwertung und internationaler Handel. 1924. 80 p. 8°. [Diss. Erlangen]
- \*— Geldwertung und internationaler Handel. 2 Tle. Prag 2, Dt. Verein zur Verbreitung gemeinnütziger Kenntnisse 1926. Tl. 1. 32 p. mit. Abb., Tl. 2. 28 p. 8°. [Samml. gemeinnütziger Vortr. 571/72, 573/74]
- \***Benkert, A. W. & Harding, E.** How to restore values. New York: Day 1933. 32 p.
- \***Beusch, P.** Währungszerfall und Währungsstabilisierung. Hrsg. von Goetz Briefs u. C. A. Fischer. Berlin: Springer 1928. xii, 181 p. 28 (eingedr.) Anl. 8°
- Biermann** Der Einfluss der Geldwertung auf die Enteignungsentschädigung. (Ztg. d. Vereins Dt. Eisenbahnverw. 65-47, 3 p.) 1925

- \***Bischoff, F.** Die Bedeutung der Goldproduktion für die Geldwertänderung. 1928. 86 p. [Diss. München]
- \***Bisson, A.** Le bénéfice réel en période de dépréciation monétaire. En annexe: tableaux des indices du change et des prix de 1914 à 1926. Paris: Recueil Sirey 1926. 23 p. 8°
- Blois, J. de** Les mirages de la dépréciation monétaire et la détresse de l'épargne. (Correspondant. 10 juin) 1926
- \***Bockius, F.** Aufwertungspolitik. Das Unrecht bei der Aufwertung. Schicksal od. Entrechtung d. Rentner? Mainz: Falk 1925. 47 p. 8°
- Bonn, M. J.** Das Ende der Geldentwertung? (Wiederaufbau. 5, 3 p.) 1922
- Borgatta, G.** La rivalutazione e la pubblica finanza. (Giorn. d. econ. p. 289 seq.) 1928
- Böttger, H.** Vergleiche im Aufwertungsgesetz. (Sparkasse. 45-22, 4 p.) 1925
- Bradford, F. A.** Some aspects of the stable money question. (Q. J. of Econ. 43-4, 30 p.) 1929
- Brandis** Zumutbarkeit der Leistung und drohender Ruin. Eine Studie zur Geldentwertung. (Jurist. WSchr. 51-20, 2 p.) 1922
- Braunschön** Aufwertungsfragen und Aufwertungsfristen. (Allg. Steuer-Rdsch. 7-23/24, 5 p.) 1924
- \***Braunthal, A.** Geld und Valuta. Eine Untersuchung über d. Probleme d. inneren u. äusseren Geldentwertung. Leipzig: Gewerkschaftskartell 1922. 55 p. 8°
- \***Bremer, C. D.** Monetary stability. 1930. [Diss. Columbia]
- Bresciani-Turroni, C.** La crisi della "stabilizzazione monetaria". (Giorn. d. econ. 41-1, 48 p.) 1926
- Kapitalmangel und Währungsstabilisierung. [In: Die Wirtschaftstheorie d. Gegenwart. 2] 1932
- \***Brinkmann, Th.** Betriebsführung und Geldwirtschaft des Landwirts im Zeichen der Geldentwertung. Berlin: Parey 1923. 35 p. 8°
- Brodbeck, H.** Wirtschaftskrisis und feste Währung. (Schweiz. Z. f. Volksw. u. Sozialpol. 30-10, 12 p.) 1924
- \***Buisson, A.** De la validité des clauses tendant à parer dans les contrats aux inconvénients de l'instabilité monétaire. Rapport présenté à l'Assemblée de la conférence générale des Tribunaux de commerce de France pour 1926. Paris: Libr. gén. de droit et de jurisprudence 1926. 8°
- \***Bunge, A. E.** The coefficient of money correction. The use of index numbers in the determination of fluctuations in the purchasing power of money. Buenos Aires: Author 1920. 22 p.
- Business depression and instability of money. (Bankers' Mag.—Lond. 934, 13 p.) 1922
- \***Buxbaum, R.** Die Anlagewerte in der Bilanz bei schwankender Währung. Frankfurt a. M.: Frankfurter Societäts-Dr., Abt. Buchverl. 1922. 141 p. 8°
- Caillaux, J.** Bemerkungen zu Keynes Devaluationsvorschlägen. (Wiederaufbau in Europa. = Manchester Guardian Commercial. Sondernr. 11, 2 p.) 1922
- \***Cannan, E.** Modern currency and the regulation of its value. London: King 1931. viii, 112 p. 12°. [For contents see I, 1]
- \***Carpentier-Gonse, J.** La disparité du pouvoir d'achat. Son influence sur le commerce international. 1924. 166 p. [Thèse, Paris]
- \***Cassel, G.** Das Stabilisierungsproblem oder der Weg zu einem festen Geldwesen. Uebers. von **M. Mehlen**. Leipzig: Gloeckner 1926. iv, 146 p. 8°
- I. Das Stabilisierungsprogramm. 1. Stabilisierung oder Erhöhung des Geldwertes. 2. Nähere Bestimmung des Stabilisierungsprogramms. 3. Stabilisierung des Geldwertes.
- II. Der Weg zur Stabilisierung. 1. Falsche Vorstellungen. 2. Voraussetzungen der Stabilisierung. 3. Stabilisierung des inneren Geldwertes. 4. Kapitalverzehrung. 5. Die internationalen Bewegungen des Kapitals. 6. Der Weg zu einer stabilen Währung.
- III. Die Stellung der aktuellen Währungspolitik zum Stabilisierungsproblem. 1. Die Wiederherstellung eines internationalen Goldmünzfusses. 2. Stabilisierung zur alten Goldparität. 3. Widerstand gegen das Stabilisierungsprogramm. 4. Stabilisierung zu herabgesetzter Parität.
- Post-war monetary stabilization. New York: Columbia Univ. Pr. 1928 109 p. 8°. [Columbia Univ. lect. Julius Beer found.]
- I. Inflation and stabilization of currencies.
- II. The stabilization of the value of gold.
- III. The new gold standard.
- Währungs-Stabilisierung als Weltproblem. [I. u.] 2. Aufl. Leipzig: Quelle & Meyer 1928. 27 p. 8°. [Weltwirtschaftl. Gesellsch. zu Münster i. W. 18]
- \***Castenholz, W. B.** A solution to the appreciation problem. With a supplementary article entitled this thing called depreciation. Chicago: Salle Extension Univ. Pr. 1931. 95 p. 8°

- Chang, K.-n.** Das Problem der Silberstabilisierung. (Ostasiat. Rdsch. 12-7, 3 p.) 1931
- \***Chappey, J.** La crise de la monnaie et la restauration des pays danubiens. Paris: Giard 1933. 234 p. 8°
- Chatin-Ollier, L.** Histoire d'une stabilisation monétaire. (R. écon. int. 20, 3, 2, 15 p.) 1928
- Citron** Massnahmen zum Schutze der Genossenschaften gegen die Folgen der Entwertung des Geldes. (Bl. f. Genossenschaftswesen. 70-10, 2 p.) 1923
- \***Clausen, W.** Was rettet uns vor Staatsbankrott und wirtschaftl. Zusammenbruch? Eine Untersuchung über d. Geldentwertung u. ihren Einfluss auf d. finanzielle Lage des Staates u. des Einzelnen. Flenzburg: Soltau 1919. 47 p. 8°
- \***Cohen, A.** Besteuerung und Geldentwertung. München, Leipzig: Duncker & Humblot 1924. 42 p. 8°. [Dt. Zahlungsbilanz u. Stabilisierungsfrage. = Schr. d. Vereins f. Sozialpol. 168. Finanzw. Unters. 2]
- Comment garantir les emprunts intérieurs contre la dépréciation de la monnaie. (R. pol. et parl. 368, 14 p.) 1925
- Compeyrot, J.-F.** Le problème de la stabilisation des monnaies. (R. pol. et parl. 479, 14 p.) 1934
- Corbett, W. J.** History of the debasement of coin. (Palgrave's Dict. 1, 3 p.) 1925
- Crüger** Die Zinspolitik der Kreditgenossenschaft und die Geldentwertung. (Bl. f. Genossenschaftswesen. 69-45, 3 p.) 1922
- Currency depreciation, wages, and prices. (Economist. 4152, 2 p.) 1923
- Dalberg, R.** Herabsetzung des Münzwerts? (Weltw.-Ztg. 4-15, 3 p.) 1919
- Das Währungsrisiko bei Auslandskrediten. (Bank-A. 24-24, 4 p.) 1925
- Devaluations-Programm. [Währung und Index.] (Wirtschafts-Wende. 20) 1932
- Davis, E. C.** Das Stabilisierungsproblem oder der Weg zu festen Währungen. (Dt. Wirtschafts-Ztg. 22-6, 3 p.) 1925
- Décamps, J.** Le problème de la stabilisation. (J. des écon. 85-mai, 20 p.) 1926
- Deichmann** Sparkassen und Geldentwertung. (Preuss. Verw.-Bl. 44-16, 2 p.) 1923
- Anpassung der Steuern an die Veränderung des Geldwerts. (Preuss. Verw.-Bl. 44-25, 2 p.) 1923
- Deichmann** Die Bedeutung von Grundbeträgen und Schlüsselzahlen bei fortschreitender Geldentwertung. (Preuss. Verw.-Bl. 44-49, 2 p.) 1923
- Demelius, H.** Geldentwertung und Inhalt der Geldschuld. (Gerichts-Ztg. 73-7, 4 p.) 1922
- \***Dessauer, F.** Die Geldentwertung als Gesetzgebungsproblem des Privatrechts. Gekrönte Preisschr. hrsg. vom Deutschen Anwaltverein. Mannheim, Berlin, Leipzig: Bensheimer 1923. vii, 142 p. 8°
- Dewerny, W. E.** Geldentwertung, Vertragstreue, Verzugsschaden. Kann ein Schadenersatzprozess überhaupt noch gewonnen werden? (Wirtschaftl. Nachr. a. d. Ruhrbez. 4-5, 3 p.) 1923
- \***Dietrich, R.** Festwährung, Festpreise, Festlöhne. Leipzig: Weicher 1923. 15 p. 8°
- Donnersberg, E.** L'instabilità monetaria e le sue ripercussioni sui possessori di obbligazioni. (Economia. 4-7, 2 p.) 1926
- \***Dovime, G.** La stabilisation. En quoi elle consiste. Ses conséquences. 6. éd. Paris: Bossard 1928. 256 p. 16°
- I. La stabilité monétaire. 1. Eloge de la stabilité. 2. Les vrais caractères de la stabilité de fait. 3. Le retour à la convertibilité du billet.
- II. Les conditions de la stabilisation. 1. Le problème du budget. 2. Le problème de la dette flottante et à court terme. 3. Le problème des dettes interalliées. 4. Le problème du commerce extérieur. 5. Les avances de la Banque à l'Etat et la circulation fiduciaire.
- III. Les modalités de la stabilisation. 1. Son taux. 2. Le problème de l'or.
- IV. Les conséquences de la stabilisation. 1. La stabilisation et les prix. 2. La stabilisation et le prix des immeubles. 3. La stabilisation et les valeurs industrielles françaises. 4. La stabilisation et les valeurs étrangères. 5. La stabilisation et les obligations. 6. La stabilisation et les rentes.
- Drobig, G.** Der stabile Geldwert. [Nach Keynes' Geldwertstabilisierungsplan: A tract on monetary reform. London 1923.] (Plutus-Briefe. 11-7, A, 6 p.) 1934
- \***Dub, M.** Katastrophenhaushalt u. Geldentwertung. Stuttgart: Enke 1920. 43 p. 8°. [Finanz- u. volkswirtschaftl. Zeitfragen. 65]
- Dupuis, Ch.** Stabilisation et stabilité. Ce qu'il y a derrière les mots. (Correspondant. 1538, 20 p.) 1926
- \***Eifert, R.** Das Problem der Stabilisierung des Geldwertes. 1930. 89 p. 8°. [Diss. Giessen]

**Einaudi, L.** Il ritorno alla stabilità monetaria e la revisione dei rapporti creditizi. (Rif. soc. p. 558 seq.) 1927

\***Eisler, R.** Stable money. The remedy for the world economic crisis. London: Search Publ. Co. 1932. xxvii, 313 p. 8°

I. A tragedy of errors. 1. Plenty and poverty in the age of power production. 2. Technical progress and the divergent development of producing-capacity and consumers' purchase-power. 3. The monetary causes of the divergent development of production and consumption during inflation and deflation. 4. Financial consequences of the disproportionate development of producing-capacity and consuming power. 5. War inflation and deflation. 6. The gold bullion and the gold-exchange standard. World credit inflation and deflation 1925—1929. 7. The Wall Street crash of 1929—and after. 8. Borrowed gold reserves and the final credit crisis, September 1929—September 1931. 9. The fall of the pound and the collapse of the gold-exchange standard. 10. 'As if on gold'. International trade strangled by exchange restrictions.

II. The remedy: A stable international monetary standard. 11. The task before us. 12. Absorbing unemployment through 'Reflation.' 13. International proportional 'Reflation.' 14. Pegging the exchanges. 15. Balancing budgets by inflation. 16. Credit-expansion by public works or private enterprises? 17. Compensating the effects of inflation on the cost of living. 18. The index problem and the movement of wholesale and retail prices. 19. Stabilizing bank-money by central banking policy. 20. Gold and silver in the 'stable money system.' 21. Concluding remarks. Appendices: i. The great muddle. ii. Brokers' loans and the flow of money. iii. Ready reckoner. iv. Example of a tradesman's account under the suggested system. v. Tentative draft of an international agreement on monetary policy.

— Internal price stability versus exchange stability. A note on professor J. H. Jones's paper. (J. of R. Statist. Soc. 97-3, 6 p.) 1934

**Elsas, M.** Die Notwendigkeit der Festsetzung eines variablen Geldentwertungsfaktors auf Grund von Indexziffern. (Bund.—F. 1-6, 2 p.) 1922

**Elster, K.** Zum Begriffe der "Devaluation." (Jb. f. Nationalökon. 3. F. 61-2, 12 p.) 1921

**Endemann** Die Aufwertung im internationalen Rechtsverkehr. (Jurist. WSchr. 55-14, 3 p.) 1926

Die Entwertung der mittel- und osteuropäischen Währungen. (Wirtschaft u. Statistik. 2-8, 5 p.) 1922

L'équilibre du budget après la stabilisation monétaire. (Europe nouv. 432) 1926

**Erber, R.** Scambi commerciali con paesi a moneta deprezzata. (Economia. p. 480 seq.) 1932

\***Erkelenz, A.** Der Abbauwahn. Gegen Deflation, gegen Inflation, für Stabilität. Berlin-Tempelhof: Bott 1932. 72 p. 8°

\*Le esperienze monetarie prima e dopo la guerra (a cura di) M. Alberti, F. Spinedi, A. Pellegrini (ecc.). Vol. 2: La tecnica delle stabilizzazioni. (Ministero delle finanze.) Roma: Provved. gen. Stato, Libreria 1927. 562 p. 4°

\***Ettinger, M.** Aufwertungskampf und Wiederaufbau. Wien: Perles 1926. vii, 373 p. 8°

1. Rechtsgeschichte, Judikatur, Literatur, Rechtsphilosophie. 2. Der Aufwertungskampf in Oesterreich. 3. Wirtschaftstheoretische Begründung. 4. Währungstheoretische Betrachtungen zur Aufwertungsfrage. 5. Der Aufwertungskampf in Deutschland und Polen sowie Ungarn. 6. Anhang.

**Eyck, E.** Der Kampf um die Aufwertung. (Dt. Einheit. 7-22, 5 p.) 1925

**Fain, G.** Politique des crédits en période de stabilisation monétaire. (Réf. écon. 35-28, 4 p.) 1926

\***Falcon de Longevialle, B.** Des essais de stabilisation monétaire par le retour à la convertibilité or. Trévoux: Patissier 1926. 152 p. 8°. [Thèse, Paris]

**Falk** Anschluss der Gemeindesteuern und -Gebühren an die Geldwertveränderung. (Preuss. Verw.-Bl. 44-18, 2 p.) 1923

**Farrell, J. A.** Depreciated foreign currencies obstruct price recovery. An interview. (Iron Age. 131-9, 2 p.) 1933

**Federici, L.** Gli investimenti industriali in regime di svalutazione. (Giorn. d. econ. p. 580 seq.) 1927

**Federn, W.** Internationale Währungsstabilität. (Oesterr. Volksw. 25-47, 4 p.) 1933

— Vorsätzliche Währungsentwertung. (England, U.S.A., Tschechoslowakei (Englis-Plan), Ungarn.) (Oesterr. Volksw. 26-19, 4 p.) 1934

**Fels, A. de** L'aspect politique de la stabilisation. (R. de Paris. 35-11, 20 p.) 1928

**Fischer, G.** Rechtliche Bedeutung wertbeständiger Schuldscheine und Wechsel. (Z. f. Handelswiss. 16-3, 3 p.) 1923

**Fisher, I.** Devaluation gegen Deflation. (Wiederaufbau in Europa.—Manchester Guardian Commercial. Sondernr. 11, 3 p.) 1922

\*— Der schwankende Geldwert. Seine Ursachen u. Folgen u. Vorschläge zu s. Beseitigung. Dt. Ausg. d. Abh. "Stabilizing the Dollar." Vorw.: G. Hilger. Berlin: de Gruyter 1924. 48 p. 8°

\*— Stabilizing the dollar. New York: Macmillan 1925. xlix, 305 p. 8°

1. The facts. 2. The causes. 3. The evils. 4. A remedy. 5. Conclusion. Appendix: 1. Technical details. 2. Disapproval of the plan. 3. Alternative plans. 4. Public interest. 5. Precedents. 6. Bibliography.

\***Fört, J.** Grundriss eines Währungs-Stabilisierungs-Planes. Volkstüml. Darlegung nach e. in d. Sitzung d. česká národohospodářská společnost am 12. Nov. 1923 in Prag geh. Vorträge. Uebers. von H. Eiselt. Mit e. Nachw. d. Verf. zur deutschen Ausg. Prag: Calve 1925. vii, 182 p. 8°

**Foster, W. T.** Stabilization through money and credit policy. [Avoidance of depression.] (Bull. of Taylor Soc. 17-3) 1932

**Freyruth, A.** Die Sonderstellung der Banken im Aufwertungsrecht. (Bankwiss. 3-24, 3 p.) 1927

**Friedlaender, M.** Geldentwertungsfragen im Zivilprozess. (Jurist. WSchr. 52-21/22, 2 p.) 1923

**Frölich, F.** Die Geldentwertung in ihrer Auswirkung auf die Erfüllung von Lieferverträgen. (Kartell-Rdsch. 20-11/12, 24 p.) 1922

**Fuld** Geldentwertung und Zahlung der Versicherungssumme. (Dt. Versicherungs-Ztg. 64-24/25, 2 p.) 1923

— Die Aufwertung von Gesellschaftsansprüchen. (Dt. Handels-Warte. 14-3/4, 3 p.) 1926

**Fux, H.** Die Stabilisierung des Geldes. (Steuerschutz. 5-1, 3 p.) 1923

**Gardini, D.** La stabilizzazione della moneta e le società commerciali. (Commercio. p. 50 seq.) 1929

**Garino-Canina, A.** Sulla stabilizzazione monetaria. (Boll. dell. Ist. statist. econ. 2-4/5, 3 p.) 1926

\***Gaertner, F.** Vom Gelde und der Geldentwertung. München: Drei Masken Verl. 1922. 169 p. 3 Diagr. 8°

\***Gavriloff, Y.** La dépréciation de la monnaie, problème de droit privé et cas d'imprévision. 1927. 100 p. 8°. [Thèse, Toulouse]

\***Geiler, K.** Die Geldentwertung beim Verzug des Geldschuldners. Mannheim: Bensheimer 1923. viii, 32 p. 8°

— Die Geldentwertung als Gesetzgebungsproblem des Privatrechts. Leitsätze. (Recht u. Wirtschaft. 11-10, 4 p.) 1922

Geldentwertung im Steuerrecht. (Wirtschaftsdienst. 8-2, 2 p.) 1923

\*Geldentwertung und Unternehmung. 3 Votr.

1. **Schmidt, F.** Geldentwertung u. Bilanz. 2. **Fischer, R.** Geldentwertung u. Privatrecht. 3. **Strutz, G.** Geldentwertung u. Steuerrecht. Berlin: Spaeth & Linde 1923. ix, 68 p. 8°. [Betriebs- u. finanzwirtschaftl. Forsch. 2, 1]

\*Geldentwertung und Valutaverschlechterung. 2. Aufl. München-Gladbach: Volksvereins-Verl. 1922. 24 p. 8°. [Vortragsskizze. 74]

Geldentwertung und Versicherungspreis in der Feuerversicherung. (Z. f. Versicherungswesen. 45-42, 2 p.) 1922

Die geplante Einführung von Stabilisierungsbilanzen. (Mitt. d. Dt. Hauptverb. d. Ind. 7-10, 6 p.) 1926

**Germar, H.** Zwischen Wucher und Geldentwertung. (Elbe. 2-2/3, 4 p.) 1923

**Gerstner, P.** Geld-Entwertung u. Abschreibungen. (Z. f. d. ges. Aktienwesen. 31-7, 5 p., 8, 7 p.) 1921

**Gesell, S.** Die Stabilisierung der Währung durch Blut und Eisen. (Freiwirtschaft. 4-10, 4 p.) 1922

— Die Stabilisierung der Währung und Valuta ohne Gold. (Freiwirtschaft. 6-6, 8 p.) 1924

\*Die gesetzliche Sicherung d. Kaufkraft d. Geldes durch d. absolute Währung. Denkschrift z. e. Eingabe an d. Nationalversammlung. Hrsg. vom Freiland-Freigeld-Bund. Weimar: Wagner 1919. 16 p. 8°

**Gide, Ch.** Des effets de la dépréciation de la monnaie sur les rentiers. (R. des études coop. 4-14.) 1925

**Gifford, J. L. K.** Der Einfluss der Devaluation auf das Preisniveau. (Weltw. A. 38-1, 36 p.) 1933

\***Goldsborough, T. A.** Stabilizing the purchasing power of money. (Speech delivered in the House of Representatives, May 23, 1922) Washington: Gov. Pr. Off. 1922. 8 p.

\***Goldschmidt, J.** Die Aufwertungskrise. Ein Ergebnis der Lehre vom Nominalismus des Geldes und des Rechts. Vortrag, gehalten im Berliner Anwaltverein am 7 Juni, 1926. Berlin: Springer 1926. 36 p. 8°

- Gottschalk, A.** Geldentwertung und Versicherung. (Hanseat. Rechts-Z. 6-15/16, 14 p.) 1923
- Graham, F. D.** Monetary Stabilization. (Enycl. of Soc. Sci. 10, 5 p.) 1933
- Grotkopp, W.** Devaluation. (Dt. Volkswirtschaft. 3-7, 4 p.) 1934
- \***Grube, H.** Privatversicherung und Geldentwertung. Berlin: Spaeth & Linde 1923. 143 p. 8°. [Betriebs- u. finanzwirtschaftl. Forsch. 2, 7]
- \***Gruntzel, J.** Der Geldwert. Grundsätze für die Beurteilung der Geldentwertung. Stuttgart: Enke 1919. 88 p. 8°. [Finanz- u. volkswirtschaftliche Zeitfragen. 57]
- \***Guisan, H.** La dépréciation monétaire et ses effets en droit civil. Lausanne: La Concorde 1934. 205 p. [Thèse, Lausanne]
- Gulinelli, A.** Mercati finanziari; Tendenze al rincaro del denaro. (ecc.) (R. di pol. econ. p. 161 seq.) 1928
- Guyot, Y.** Le professeur Cassel et la dépréciation systématique de la monnaie. (R. écon. int. 15, 3, 1, 17 p.) 1923
- Haar, A.** Die Geldwertveränderung und ihr Einfluss auf die transitorischen Posten und Antizipationen. (Z. f. Betriebsw. 2-4, 4 p., 5, 20 p.) 1925
- Hachenburg, M.** Aufwertung. (Jurist. WSchr. 54-23, 15 p.) 1925
- Hall, N. F.** Problems of stabilization. (Lloyds Bank Ltd. M. R. N. S. 5-52, 13 p.) 1934
- Haller, M.** Geldentwertung und Goldbilanzen. (Technik u. Wirtschaft. 16-7, 16 p.) 1923
- Hambling, H.** Stabilizing currency. (Bankers' Mag.—Lond. 945, 7 p.) 1922
- Hamelin, M.** Peut-on se soustraire à la dépréciation de la monnaie? (Musée soc. 34-1, 15 p.) 1927
- Hartwig, A.** Die Stabilisierung der südamerikanischen Währungen und die Betätigung des nordamerikanischen Kapitals. (Finanz-A. 45-2, 11 p.) 1928
- Hayek, F. A. v.** Das Stabilisierungsproblem in Goldwährungsländern. Eine Uebersicht neuerer amerikanischer Literatur. (Z. f. Volksw. N. F. 4-4/6, 25 p.) 1924
- L. Mises: Geldwertstabilisierung und Konjunkturpolitik. (Schmollers JB. 52-6, 4 p.) 1928
- Das intertemporale Gleichgewichtssystem der Preise und die Bewegungen des "Geldwertes." (Weltw. A. 28-1, 44 p.) 1928
- Hayes, W.** Appreciation, depreciation and stability. (Bankers Mag.—N. Y. 124-5, 6 p.) 1932
- Heerwagen, F.** Grundlagen der Preisbildung mit Rücksicht auf die Geldentwertung. (Maschinenbau/Wirtschaft. 2-17, 4 p.) 1923
- Heflebower, R. B.** Stabilization and after. (Bankers Mag.—N.Y. 128-3, 4 p.) 1934
- Heichen, A.** Der Stabilisierungspunkt. (Europ. Staats- u. Wirtschafts-Ztg. 7-13/14, 5 p.) 1922
- Heimann, J.** Geldentwertung und Preisbildung. (Mitt. d. Handelskammer Köln. 4-10, 4 p.) 1922
- Heizmann, W.** Geldentwertung und Aktienkurse. (Z. f. Handelswiss. Forsch. 18-8, 18 p.) 1924
- Hernberg, P.** Statistik und Teuerung. Zur Frage der Messung der Tauschwertschwankungen des Geldes. (Weltw. A. 31-2, 21 p.) 1930
- Herrmann, A. R.** Stabile Währung oder Inflation? (Dt. Volksw. 1-3, 7 p.) 1932
- \***Herrnheiser, P.** Der Weg zur Stabilisierung. Eine wirtschaftsstatist. Studie. Prag: Janáček 1932. 81 p. 8°
- Heyn, O.** Zur Frage der Wiederherstellung entwerteter Währungen. (Weltw. A. 14-3, 4 p.) 1919
- \***Hildenfinger, G.** De la validité des clauses tendant à parer dans les contrats aux inconvénients de l'instabilité monétaire. Rapport présenté à l'Assemblée de la Conférence générale des Tribunaux de commerce de France pour 1926. Paris: Libr. gén. de droit et de jurisprudence 1926. 18°
- Hillig** Der Einfluss der Geldentwertung auf Verlagsverträge. (Jurist. WSchr. 51-15, 3 p.) 1922
- Hillmann** Der Einfluss der Geldentwertung auf Lieferungsverträge. (Elbe. 2-2/3, 6 p.) 1923
- \***Hodgson, J. G.** Stabilization of money. New York: Wilson 1933. 238 p. 12°. [Reference shelf. 8, 7]
- Hoffmann, R.** Zur Mathematik der Geldentwertung. (Freiwirtschaft. 5-9, 5 p.) 1923
- \***Homberg, O.** & autres La stabilité monétaire. Rapports, comptes rendus et voeux de la deuxième semaine de la monnaie. Paris: Valois 1927. xvi, 398 p. 8°. [Nouv. Libr. nat. 7]
- Horwitz, M.** Geldentwertung und Steuergesetzgebung. (Dt. Handels-Warte. 10-22, 5 p.; Dt. Wirtschafts-Ztg. 19-19, 2 p.) 1922

- Hummel, O.** Kalkulation, Preiswucherverordnung und Geldentwertung. (Z. f. Handelswiss. 15-10, 2 p.) 1922
- In Erwartung der Stabilisierung. (Mag. d. Wirtschaft. 3-9, 3 p.) 1927
- Jacquemotte, J.** Die Partei Vanderveldes im Dienste der Stabilisierung. (Kommunist. Internat. 8-2, 10 p.) 1927
- Jahn** Die Stabilisierungskrisis. (Kaufmann in Wirtschaft. 2-4, 6 p.) 1923
- Kahn, E.** Die Entwertung d. Geldes (Valutazerfall und Inflation). (Dt. R. 45-März, 10 p.) 1920
- \***Kalveram, W.** Die kaufmännische Rechnungsführung unter dem Einfluss der Geldentwertung. Berlin: Spaeth & Linde 1923. 45 p. 8°
- Kann bei Bemessung des Verzugschadens die Geldentwertung Berücksichtigung finden? (Jurist. WSchr. 52-4, 2 p.) 1923
- Karding** Die Aufwertung der städtischen Schulden. (Dt. Gemeinde-Ztg. 64-1, 2 p., 2, 3 p.) 1925
- Karger, A.** Geldentwertung und Rechtspflege. (Bl. f. Rechtspflege. 33-11, 2 p.) 1923
- Kautzsch, W.** Geldentwertung und Verarmung. (Natur & Gesellschaft. 9-4, 7 p.) 1922
- Keding, W.** Der Geldentwertungsausgleich bei bebauten Grundstücken. (Preuss. Verw.-Bl. 47-26, 4 p.) 1926
- Kemmerer, E. W.** Inflation and stabilization. (Trust Companies Nov.,) 1933
- Kerschagl, R.** Die Ursachen der Geldentwertung. (Oesterr. Rdsch. 63-3, 5 p.) 1920
- \***Kester, R. B.** Depreciation. New York: Ronald 1924. vii, 105 p. [Ronograph lib. 28]
- Keynes, J. M.** Die sozialen Konsequenzen der Veränderung des Geldwertes. (Wiederaufbau in Europa.—Manchester Guardian Commercial. Sondernr. 5, 9 p.) 1922
- Quelques conséquences de l'écroulement des valeurs monétaires. (Recueil mens. de l'Inst. int. du comm. 11-1, 7 p.) 1931
- Der Zusammenbruch des Geldwertes [der Welt] und die Banken. [Vor der Aufhebung der englischen Goldwährung geschrieben.] (Wirtschaftsdienst. 16-39, 4 p.) 1931
- \***Kihm, O.** Der Bundesratsbeschluss, betr. die Folgen der Währungs-Entwertungen für Aktiengesellschaften und Genossenschaften vom 26. Dez. 1919. Säckingen: Mehr 1921. 130 p. 8°. [Diss. Bern]
- Klang, H.** Die Geldentwertung in der jüngsten Privatrechtsgesetzgebung. (Juristen-Bl. 51-5/6, 3 p., 7/8, 3 p.) 1922
- \* — Geldentwertung und juristische Methode. Nach e. in d. Wiener jurist. Gesellschaft geh. Vortr. Wien: Staatsdruckerei österr. Verl. 1925. 63 p. 8°
- \***Klüpfel, P.** Lohn- und Geldentwertung. Nach einem Vortrag. Berlin-Steglitz: Freiland-Freigeld-Bund 1919. 24 p. 8°
- Koehler, P.** Geld-Entwertung u. Abschreibungen. (Z. f. d. ges. Aktienwesen. 31-2, 14 p.) 1921
- \***Kolb, H.** Sparprozess und Geldentwertung. 1926. [Diss. München]
- Kollmann, J.** Geldentwertung und Qualitätsarbeit. (Technik & Wirtschaft. 16-1, 8 p., 2, 7 p.) 1923
- \***König, H.** Die Befestigung der Kaufkraft des Geldes. Eine Kritik d. Vorschläge Irving Fishers. Bonn, Leipzig: Schroeder 1922. 91 p. 4°. [Bonner Staatswiss. Untersuch. 3]
- Kranold, H.** Springende Löhne, kollender Geldwert, klebende Güter. (Glocke. 8-14, 8 p.) 1922
- \***Krückmann, P.** (Geldentwertung. B.) Aufwertung als Folge der Geldentwertung. Hamburg, Berlin: Hanseatische Verlagsanst. 1927. 11 p. 8°. [HWB. d. Kaufmanns. 2]
- \***Laloux, P.** Etude critique des moyens de se prémunir contre les répercussions de l'instabilité monétaire dans les contrats à long terme. Liège: Thone 1925. 68 p. 8°
- Landauer, C.** Das Problem der wertbeständigen Zahlungs- und Anlagemittel. (JB. f. Nationalökon. 3. F. 64-6, 8 p.) 1922
- Bankfreiheit? [Zu: Mises Geldwertstabilisierung und Konjunkturpolitik.] (Dt. Volkswirt. 2-49, 4 p.) 1928
- \***Lasch, G.** De la répercussion de la valeur monétaire sur la dette publique et privée. Strasbourg: Dernières nouvelles de Strasbourg 1924. 98 p. 8°. [Thèse, Strasbourg]
- Lecarpentier, G.** Stabilité monétaire et fiscalité. (Discussions de la Soc. d'écon. pol. de Paris, séance du 5 mars 1927, disc.) (J. des écon. 86-mars, 11 p.) 1927
- — — — — (Economiste fr. 55-12, 4 p.) 1927
- Lederer, E.** Die Valutastabilisierung als staatswirtschaftliches und soziales Problem. (Dt. Werkmeister-Ztg. 39-12, 2 p.) 1922
- Stabilisierung und Handelspolitik. (Dt. Werkmeister-Ztg. 39-23, 1 p.) 1922

- Lederer, E.** Die Stabilisierung der Kaufkraft. (Dt. Werkmeister-Ztg. 39-44, 2 p.) 1922
- Lefingwell, R.** The gold problem and currency revaluation. [In: Money and credit in the recovery program. A series of addresses and papers presented at the semiannual meeting of the Academy of pol. sci. march 21, 1934. 2. The gold problem.] 1934
- Lehfeldt, R. A.** Statistics of extremely depreciated currencies. (Econ. J. 128, 3 p.) 1922
- \*Lehmann, A. P.** Die Geldwertschwankung in der Bilanz. (Die Wirkung der Geldwertschwankung auf die Ziffern der period. Bilanzen und auf die Gewinnermittlung sowie ein Versuch der Beseitigung derart entstandener Fehlerquellen durch die Indexrechnung.) 1933. 189 p. 3 Tfl. [Diss. Berlin]
- Lengyel, S.** Lehren aus der Geldentwertung für den Versicherungsbetrieb. (Z. f. d. ges. Versicherungswiss. 23-1, 7 p.) 1923
- Leo, C.** Wahrscheinlichkeit und Ersatz des Geldentwertungsschadens bei Verzug. (Hanseat. Recht-Z. 6-15/16, 10 p.) 1923
- Lescure, J. A. Bisson:** Le bénéfice réel en période de dépréciation monétaire. (R. d'écon. pol. 41-6, 2 p.) 1927
- Letschert** Wertbeständige Spareinlagen? (Bl. f. Genossenschaftswesen. 70-1, 2 p.) 1923
- Lévy, G.** La stabilisation monétaire. (R. des études coop. 5-20) 1926
- Lewinski, J. S.** Deflation, Devaluation und Stabilisierung. (Econ. R. 10-11/12, 8 p.; Weltw. A. 19-2, 13 p.) 1923
- Licht** Geldumlauf und Währungsstabilität. (Versich. & Geldwirtschaft. N. F. 1-16, 2 p.) 1925
- Liefmann, R.** Quellen der Inflation und die Frage der Währungsänderung. (Bank-A. 23-1, 5 p.) 1923
- Liesse, A.** Stabilisation et dévalorisation. (Economiste fr. 50-22, 4 p.) 1922
- Sur la "stabilisation monétaire." Chimères et réalités. (Economiste fr. 51-16, 3 p.) 1923
- Ce qu'il faut "stabiliser" c'est la confiance. (Economiste fr. 53-6, 3 p.) 1925
- Sur la stabilisation monétaire. (Economiste fr. 54-10, 3 p.) 1926
- . Une expérience nouvelle à son début. (Economiste fr. 54-13, 3 p.) 1926
- Encore la stabilisation. (Economiste fr. 54-18, 3 p.) 1926
- Liesse, A.** La stabilisation par dévaluation et les difficultés et inquiétudes qu'elle entraîne. (Economiste fr. 54-41, 3 p.) 1926
- Sur le taux de stabilisation. (Economiste fr. 54-46, 3 p.) 1926
- Sur la revalorisation. Un exemple historique. [J.-B. Say sur la stabilisation en Angleterre 1819/23] (Economiste fr. 55-2, 3 p.) 1927
- Sur la stabilisation. Quelques précisions. (Economiste fr. 55-5, 3 p.) 1927
- Revalorisation et stabilisation. Quelques exemples. (Economiste fr. 55-40, 3 p.) 1927
- Le rébus de la stabilisation. (Economiste fr. 55-51, 3 p.) 1927
- La stabilisation à la Chambre. (Economiste fr. 56-6, 3 p.) 1928
- Sur la stabilisation et la politique socialiste. (Economiste fr. 56-7, 3 p.) 1928
- Quelques préliminaires et conséquences d'une stabilisation avec dévaluation. (Economiste fr. 56-17, 3 p.) 1928
- Sur la stabilisation et ses lendemains: socialisme d'Etat et équilibre budgétaire. (Economiste fr. 56-23, 3 p.) 1928
- Lendemain de stabilisation conséquences possibles d'un régime monétaire incomplet. (Economiste fr. 56-24, 3 p.) 1928
- Stabilisation et revalorisation. (Economiste fr. 56-26, 4 p.) 1928
- La chimère d'une monnaie absolument stable. A la recherche des Sociétés des Nations sur le problème de l'étalon-or. (Economiste fr. 57-1, 3 p.) 1929
- \*Lloyd, E. M. H.** Stabilization: an economic policy for producers and consumers. London: Allen & Unwin 1923. 128 p. 8°
- Loeb, O.** Fremdwährungssturz und Devisenrecht. (Oesterr. Volksw. 25-44, 3 p.) 1933
- \*Longevialle, B. de** Vers la monnaie saine. Des essais de stabilisation monétaire par le retour à la convertibilité-or. Paris: Rousseau 1927. 152 p. 8°
1. Réformes monétaires d'avant-guerre. 2. Réformes monétaires d'après-guerre. 3. La stabilisation monétaire et la convertibilité-or.
- Loos** Der Einfluss der Geldentwertung auf die Abschreibungen und die Teuer. (Unternehmung. 1-3, 3 p.) 1925
- Loewenfeld, W.** Die Geldentwertung im Steuerwesen. (Z. f. Volksw. N. F. 2-1/3, 11 p.) 1922

- Ludwig, E.** Die Geldentwertung. (Internationale. 5-5, 9 p.) 1922
- Lufft, H.** Inflation — Währungsentwertung. (Ruhr u. Rhein. 12-32, 3 p.) 1931
- Währungsentwertung und Grosshandelsindex. (Dt. Oekonomist. 2394, 3 p.) 1931
- Maass, O.** Die Festigung der Kaufkraft des Geldes. Das Kernproblem der Beamtenbesoldungspolitik und seine Lösung durch die Freiland-Freigeld-Theorie. (Beamten-JB. 8-9, 6 p.) 1921
- Der unbedingte Wert der "Festwährung." (Freiwirtschaft. 4-10, 3 p.) 1922
- \*Mahr, A.** Monetary stability and how to achieve it. Chicago: Univ. of Chic. Pr. 1933. 27 p. 8°. [Publ. policy pamph. 9] [London: Cambridge Univ. Pr. 1934]
- Neutrales und wertstabiles Geld? (Weltw. A. 38-1, 41 p.) 1933
- Stabilisierung des Preisniveaus und Aufrechterhaltung der Massenkaufkraft [insbes. zu P. W. Martin: The problem of maintaining purchasing power. London 1931]. (Währung u. Wirtschaft. 3-4, 4 p.) 1934
- Malinverni, R.** L'influenza dell'instabilità di valore della moneta sui costi di produzione. (R. di pol. econ. 16-4, 15 p.) 1926
- Malteur, R.** Abschreibung und Erneuerungsrücklage auf Anlagewerte in Hinblick auf die Geldentwertung. (Z. f. Handelswiss. 15-9, 5 p.) 1922
- Mandelbaum, K.** Krisenüberwindung durch Währungsentwertung. Ein historischer Exkurs. (Wirtschaftskurve. 11-2, 5 p.) 1932
- March, L.** Les valeurs du signe monétaire et leurs rapports. [Considération générale en ce qui concerne les oscillations monétaires après la guerre] (R. pol. et parl. 366, 14 p.) 1925
- Martin, G.** La stabilisation des prix; la monnaie dirigée. Disc.: Wolff, Pommery, Pupin, Mourre, Yves-Guyot. (Société d'économie pol. Séance du 5 nov. 1927) (Economiste fr. 55-53, 5 p.) 1927
- Martin, K.** Um feste Währung und Kredit. (Dt. Arbeit. 10-7, 7 p.) 1925
- \*Martin, P.** La stabilisation et le retour à la monnaie or (Pologne, Allemagne, Territoire de Dantzig). Paris: Guillon 1925. 215 p. 8°. [Thèse, Paris]
- Matthes** Die Geldentwertung und die kommunalen Abgaben. (Preuss. Verw.-Bl. 44-31, 5 p.) 1923
- \*Maus, J.** Anleiheformen unter d. Einfluss der Geldentwertung. Leipzig: Gloeckner 1925. vi, 127 p. 8°. [Z. f. handelswiss. Forsch. Erg.-Bd. 4] [Diss. Köln]
- Mauve, R.** Geldwertänderung und Schuldenregelung im 16. u. 17. Jh. (Dt. Oekonomist. 2462, 2 p.) 1933
- Menck, C.** Stabilisierung und Spartrieb. (Arbeitgeber. 13-4, 2 p.) 1923
- Meyenberg, F.** Die Nachrechnung in Zeiten schwankender Geldwährung. (Wirtschaft/Maschinenbau. 2-25/26, 4 p.) 1923
- Meyer, W.** Aufwertung von Hypotheken bei Vorbehalt der Rechte, Rückwirkung der Aufwertung. (Allg. Steuer-Rdsch. 8-17/18, 6 p.) 1925
- Michael, E.** Das Steuerkompromiss und die Geldentwertung. (Demokrat. Deutschland. 4-14, 5 p.) 1922
- Miller, J. O.** Inflation, deflation, and stability. (Fortnightly R. 663, 10 p.) 1922
- \*Mises, L.** Geldwertstabilisierung und Konjunkturpolitik. Jena: Fischer 1928. 84 p. 8°
1. Die Stabilisierung der Kaufkraft des Geldes. i. Das Problem. ii. Die Goldwährung. iii. Die Manipulierbarkeit der Goldwährung. iv. Die Messbarkeit der Veränderungen der Kaufkraft des Geldes. v. Fishers Stabilisierungsplan. vi. Veränderungen der Kaufkraft des Geldes von der Wareseite und von der Geldseite. vii. Das Ziel der Geldwertpolitik. 2. Konjunkturpolitik zur Ausschaltung der Konjunkturschwankungen. i. Die Stabilisierung der Kaufkraft des Geldes und die konjunkturfreie Wirtschaft. ii. Die Zirkulationskredittheorie. iii. Die Wiederkehr der Zyklen. iv. Die Krisenpolitik der Currency-Schule. v. Die moderne Konjunkturpolitik. vi. Die Herrschaft über den Geldmarkt. vii. Konjunkturprognose im Dienste der Konjunkturpolitik und im Dienste des Kaufmanns. viii. Ziele und Mittel der Konjunkturpolitik.
- \* — & Klein, F. Die geldtheoretische und geldrechtliche Seite des Stabilisierungsproblems. Leipzig: Duncker & Humblot 1923. v, 75 p. 8°. [Dt. Zahlungsbilanz u. Stabilisierungsfrage=Schr. d. Vereins f. Sozialpol. 164, 2]
- Mittermüller, E.** Lebensversicherung und Geldentwertung. (Z. f. d. ges. Versicherungswiss. 21-2, 11 p.) 1921
- Mitzakis, M.** Du rôle et de la nature des crédits extérieurs dans les stabilisations monétaires. (R. de droit int. 5-1, 37 p.) 1931

- \***Mitzakis, M.** Crédits extérieurs et stabilisations monétaires. Paris: Ed. int. 1933. 8°
- Du rôle et de la nature des crédits extérieurs dans les stabilisations monétaires européennes. (R. de droit int. 7-2, 57 p.) 1933
- Moldenhauer, P.** Mittelstand und Geldentwertung. (Wirtschaftl. Nachr. a. d. Ruhrbez. 3-34, 4 p.) 1922
- \* — Die Regelung der Aufwertungsfrage. Köln: Neubner 1925. 20 p. 8°. [Kölner Industriehefte. 2]
- Moeller, H.** Die Progression in der Geldentwertung. (Schmollers JB. 48-1/2, 22 p.) 1924
- Mourre, B. Ch.** Revalorisation ou stabilisation. (Discussions de la Soc. d'écon. pol., séance du 5 mai 1927) (J. des écon. 86-mai, 23 p.) 1927
- (Economiste fr. 55-21, 5 p.) 1927
- \***Mügel, O.** Geldentwertung und Gesetzgebung. Berlin: Spaeth & Linde 1923. 118 p. 8°. [Wirtschaftsrecht & Wirtschaftspflege. 7]
- Vorkriegshypotheken und Geldentwertung. (Bank-A. 22-7, 2 p.) 1923
- \* — Geldentwertung und Hypotheken. Vortr. Berlin: Vahlen 1924. 30 p. 8°
- Muhr** Geldentwertung und Zuwachssteuer. (Preuss. Verw.-Bl. 44-48, 3 p.) 1923
- \***Muhs, K.** Preispolitik und Preiskalkulation unter den Einwirkungen der Geldentwertung. Jena: Fischer 1923. 60 p. 1 Kurve im Text. 8°
- \***Nussebaum, A.** Vertraglicher Schutz gegen Schwankungen des Geldwerts. Goldklauseln u. a. Abreden zur Minderung des Valutarisikos. Berlin: de Gruyter 1928. 95 p. 8°. [Inst. f. ausländ. u. int. Privatrecht. Beitr. z. ausländ. u. int. Privatrecht. 1]
- \* — Die Bilanz der Aufwertungstheorie. Tübingen: Mohr 1929. 48 p. 8°. [Recht u. Staat in Geschichte u. Gegenwart. 64]
- \***Palyi, M.** (Hrsg.) Geschichte der Stabilisierungsversuche. Tl. 2.: Pläne und Versuche zur Währungsanierung. Mit Beiträgen von E. Wilmersdörfer, R. Kiliani, F. Gaertner. München: Duncker & Humblot 1923. v, 165 p. 8°. [Schr. d. Vereins f. Sozialpol. 165]
- Stabilisierung durch Notendruck. (Bank-A. 31-18, 5 p.) 1932
- Patten, S. N.** The stability of prices. [In: Publications of the Am. Econ. Assoc., 1. ser. Vol. 3, 1888, no. 6. 64 p.] 1931
- Peacock, D. H.** International monetary policy—How currencies should be stabilised. (Bankers' Mag.—Lond. 1072, 7 p.) 1933
- \***Peddie, J. T.** The invariable standard and measure of value. 2. ed. London: King 1928. xix, 241 p. 8°
- \* — The dual system of stabilization. London: Macmillan 1930. ix, 191 p. 8°
- I. 1. The return to the gold standard. 2. What is the gold standard? 3. Present method employed in expanding credit. 4. Effect of an increase in bank rate. 5. Effect of a decrease in bank rate. 6. The price of money. 7. The three divisions in the economic system. 8. On government securities as the basis of credit. 9. Foreign investments, foreign imports, and the basis of credit. 10. The weight of taxation. 11. Does direct taxation force a redistribution of wealth? 12. On central reserve systems. 13. The gold reserves and the foreign exchanges. 14. Free trade and protection. 15. Price and value.
11. 16. The dual system of stabilization. 17. Revenue import duties. 18. On wages. 19. The problem of over-production. 20. Proposals for the establishment of a national grain board and the improvement of agriculture generally. 21. Conclusion.
- Pedersen, J.** Wicksell's Theorie des Zusammenhangs zwischen Zinssatz und Geldwertschwankungen. (A. f. Sozialwiss. 69-2, 22 p.) 1933
- Peter, A.** Gesetzliche Massnahmen aus Anlass der Geldentwertung. (Recht & Wirtschaft. 11-6, 6 p.) 1922
- \***Petitot-Cartellier** De la recherche d'un étalon stable de la valeur. Paris: Dalloz 1924. 251 p. 8°. [Thèse, Paris]
- Piest, O.** Der Kampf um die wertbeständige Fiktivwährung. (Plutus. 20-8, 3 p.) 1923
- Pigou, A. C.** Price stabilization. [In: Industrial fluctuations. Part. 2] 1929
- Pistorius, v.** Das Geldentwertungsgesetz. (Jurist. WSchr. 52-12, 5 p.) 1923
- Plinke, H. F.** Aufwertung und Bilanz. (Dt. Buchhaltungs-Ztg. 7-33, 2 p.) 1925
- \***Pohle, L.** Der Problem der Valutaentwertung. Leipzig: Teubner 1919. 52 p. 8°. [Vortr. der Gehe-Stiftung zu Dresden. 9, 5]
- \* — Geldentwertung, Valutafrage und Währungsreform. Krit. Betrachtungen über die gegenwärtige Lage der deutschen Volkswirtschaft. Leipzig: Deichert 1920. 56 p. 8°
- Geldentwertung und Valutafrage. (Z. f. Sozialwiss. N. F. 11-1/2, 17 p., 3/4, 28 p.) 1920

- Pollak, R.** Ueber Aufwertung. (Juristen-Bl. 53-23/24, 14 p.) 1924
- Pommery, L.** La "crise de stabilisation." (R. écon. int. 18, 4, 2, 32 p.) 1926
- O. Homberg & autres: La stabilité monétaire. (R. d'écon. pol. 41-6, 2 p.) 1927
- \***Poncet-Sabatier, Ch.** Les variations monétaires et leur influence sur les bilans. 1927. 176 p. 8°. [Thèse, Paris]
- Potthoff, H.** Anpassung (von Löhnen, Preisen, Steuern usw.) an die Geldentwertung (u. die dadurch bedingte Verewigung d. Geldentwertung. (Dt. Werkmeister-Ztg. 39-27, 2 p.) 1922
- Die wirklichen Schäden der Geldentwertung. (Bank-A. 24-8, 2 p.) 1925
- Zur Aufwertungsfrage. (Weltw.-Ztg. 10-15/16, 1 p.) 1925
- Prato, G.** Il saggio della stabilizzazione. (Realtà. p. 123 seq.) 1928
- Préchat, J. de** La stabilisation est-elle nécessaire? (Correspondant. 1541, 8 p.) 1926
- Price stability and the gold standard. (Economist. 4142, 3 p.) 1923
- Price stability and the trade cycle. (Economist. 4143, 2 p.) 1923
- Prion, W.** Geldentwertung und Wechselkurse. (Bl. f. Genossenschaftswesen. 66-29, 2 p.) 1919
- \* — Inflation und Geldentwertung. Finanzielle Massnahmen zum Abbau der Preise. Gutachten, erstattet dem Reichsfinanzministerium. Unveränd. Neudruck. Berlin: Springer 1920. iv, 126 p. 8°
- Ersatzanschaffungen und Neuanlagen unter dem Einfluss der Geldentwertung. (Plutus. 17-23, 4 p.) 1920
- \* — Die Finanzierung und Bilanz wirtschaftlicher Betriebe unter dem Einfluss der Geldentwertung. Berlin: Springer 1921. iv, 73 p. 8°
- Die Problematik des [exportpolitischen] Abwertungsvorteiles. (Oesterr. Volksw. 26-49, 4 p.) 1934
- Ein Programm der Devaluation. (Dt. Oekonomist. 2393, 9 p.) 1931
- The progress of stabilization [in Europe]. (Economist. 4429, 3 p.) 1928
- Quatz** Die Wirkung der Geldentwertung auf Staatswirtschaft und Eisenbahnwirtschaft. (Dt. Wirtschafts-Ztg. 15-14, 12 p.) 1919
- Rademacher, W.** Aufwertung der öffentlichen Anleihen. (Dt. Gemeinde-Ztg. 64-28, 3 p.) 1925
- Rappaport, J.** Geldentwertung und Stabilisierung. (Weltw.-Ztg. 10-38, 3 p.) 1925
- Raether, H.** Warenwechsel und Geldstabilisierung. (Anthroposophie. 4-10, 1 p.) 1922
- \***Rawlinson, A.** The true principle of money and its application in stabilizing the currencies. London: King 1923. 16 p. 8°
- Rebhan, E.** Geldentwertung, Lohnbewegung und absolutes Wertmass. (Z. f. Handelswiss. 15-9, 8 p., 10, 6 p.) 1922
- Reishaus, M.** Die Berücksichtigung der Geldentwertung in der Kalkulation. (Wirtschaft/Maschinenbau. 2-25/26, 2 p.) 1923
- Rentrop, S.** Rechtssicherheit oder Gerechtigkeit? Gedanken zur Aufwertung. (Wirtschaftl. Nachr. a. d. Ruhrbez. 6-24, 2 p.) 1925
- \***Rèpaci, F. A.** Gli effetti della variazione del valore della moneta sui tributi. Torino: Fratelli Pozzo. 1929. 39 p.
- Rist, Ch.** Chronique de la stabilisation monétaire. (R. d'écon. pol. 39-5, 7 p., 6, 10 p.; 40-1, 8 p.) 1925/26
- \***Roller, J.** Geldentwertung, Rechtsprechung und Gesetzgebung. Wien: Krystallverl. 1924. 73 p. 8°
- Roscher, E.** Die neue Aufwertungsgesetzgebung und die Baugenossenschaften. (Z. f. Wohnungswesen. 23-17, 4 p.) 1925
- Rosenthal, A.** Abfindungsvertrag, Geldentwertung und richterliche Freiheit. (Hanseat. Rechts-Z. 6-7, 8 p.) 1923
- Gutsinventar und Geldentwertung. (Hanseat. Rechts-Z. 6-19, 10 p.) 1923
- \***Rozis, J.** L'exécution des obligations et les variations de la valeur de la monnaie. Paris: Dalloz 1925. 175 p. 8°
- \***Rüffer, E.** Ueber die Möglichkeiten der Stabilisierung des Preises der Geldeinheit. Eine kritische Untersuchung der hierauf abzielenden Vorschläge von John Maynard Keynes und Irving Fisher. 1927. 127 p. 8°. [Diss. Freiburg i. Br.]
- \***Sachs, M.** Teuerung und Geldentwertung. Dresden: Kaden 1919. 46 p. 8°
- \***Saek, A. N.** Fixing the value of money. Riga: Latvian Economist 1925. 50 p.
- Sayous, A.-E.** Observations d'écrivains du 16. siècle sur les changes et notamment sur l'influence de la disparité du pouvoir d'achat des monnaies. (R. écon. int. 20, 4, 2, 32 p.) 1928
- \***Scaduto, G.** I debiti pecuniari e il deprezzamento monetario. Milano: Villardi 1924

Schadenersatz für Geldentwertung. (Wirtschaftsdienst. 8-6, 2 p.) 1923

**Schadewald, H.** Zlotysturz und Wirtschaftskrise. (Dt.-Spiegel. 2-50, 3 p.) 1925

\***Schaefer, C. A.** Klassische Valuta-Stabilisierungen und ihre Lehren für die Marktstabilisierung. 3. veränd. Aufl. Preisgekrönt von d. Wirtschafts- u. Sozialwissenschaft. Fakultät d. Univ. Köln. Hamburg: Boysen 1922. vii, 120 p. Fig. 8°

Einl.: Begriffliches. i. Inflation. ii. Die verschiedenen Möglichkeiten einer Valuta-stabilisierung. iii. Zahlungsbilanz.

1. Die virtuelle Devaluation in Argentinien (1899). i. Der wirtschaftliche Hintergrund der Valutawende. ii. Die Grundlagen der argentinischen Währung. iii. Die "Idee Tornquist." iv. Die gesetzliche Formulierung der "Idee Tornquist." v. Die Kritik der Gegner. vi. Kritik des Verfassers. Exkurs: Die Stabilisierung der indischen Rupie (1898). vii. Fortsetzung der Kritik des Systems Tornquist. 2. Die Stabilisierung der deutsch-ostafrikanischen Rupie (1904). 3. Die effektive Rubeldevaluation (1897). 4. Zusammenfassung. Anhang: Das Problem der Marktstabilisierung (Künstliche oder natürliche Stabilisierung?).

\***Schiff, E.** Abschreibung, Vermögenserhaltung, Preisbildung im Zusammenhang mit der Geldentwertung. Berlin: Krayn 1923. 46 p. 8°

\***Schkaff, E.** La dépréciation monétaire. Les effets en droit privé. 2. éd. Paris: Dalloz 1925. iv, 324 p. 8°. [Thèse, Paris]

**Schlegelberger, F.** Die Aufwertung im internationalen Privatrecht. (Z. f. ausländ. int. Privatrecht. 3-5, 11 p.) 1929

\***Schlunck, E.** Die Jahresbilanz des Handwerkers, Gewerbetreibenden und Kaufmanns unter Berücksichtigung der Geldentwertung. Ein neues Bilanz-System... Langenau bei Ulm: Honold [; aufgest.] Ulm a. D.: Bartz in Komm. 1923. 16 p. 1 Taf. 8°

**Schmidt, E.** Geldentwertung und Schadenersatz. (Z. f. Rechtspf. in Bayern. 18-21/22, 2 p.) 1922

\***Schmidt-Hoepke, A.** Geldentwertung. A. Gründe, Darstellung und Geschichte der Geldentwertung. Hamburg, Berlin: Hansische Verlagsanst. 1927. 7 p. 8°. [HWB. d. Kaufmanns. 2]

\***Schöne, H.** Währungssicherung und Währungskosten. Berlin: Heymann 1930. xvi, 182 p. 8°. [Diss. Berlin]

1. Grundlegung. 1. Währungswirtschaft. 2. Sicherung und Kosten als ökonomische Faktoren in der Währungswirtschaft. 3. 4.

II. Währungssicherung und Währungskosten.

A. Systematisches und aussersystematisches Sicherungsprinzip Konkrete und abstrakte Sicherungsform. 5. Das Sicherungsprinzip in seiner besonderen währungswirtschaftlichen Fassung. 6. Die "diskretionären" Sicherungsmöglichkeiten im systematischen und aussersystematischen Sicherungswesen. 7. Die aussersystematische "Bremsen" in der Währungswirtschaft. 8. Die Begründung der neuen deutschen Goldwährung.

B. Zur Mechanik der "goldenen Bremsen." 9. 10. Die Goldankaufspflicht der Bank. 11. Die Verpflichtung zur Einlösung der Banknoten. 12. Die Dekretbestimmungen und ihre Folgen. 13. Währungspolitik und Währungssicherungspolitik.

C. Kritisches zur Gestaltung der aussersystematischen Sicherung. a. Zusammensetzung und Größe der "goldenen Bremsen." 14. "Gold oder Devisen." 15. Zur wirtschaftlichen Höhe des Sicherungsfonds. b. 16. Rachweisbare Kosten der Währungswirtschaft.

**Schreibmayr, C.** Preisbildung im Maschinenbau unter Berücksichtigung der Geldentwertung. (Maschinenbau/Wirtschaft. 2-15, 4 p.) 1923

\***Schulz, W.** Bankbetrieb u. Geldwertschwankungen. 1929. 86 p. 8°. [Diss. Freiburg i. B.]

Der Schutz vor Währungsschwankungen (Goldmünz- und Goldwert-Klausen). (Plutus-Briefe. 11-2, T.B. 6 p.) 1934

**Schwarz, O.** Die Währungsstabilisierung. (Wirtschaftsdienst. 16-50, 2 p.) 1931

**Schwarzkopf** Bemerkungen zum Devaluationsproblem. (Dt. Oekonomist. 2388, 4 p.; 2416, 4 p.) 1931/32

**Schwarzwald, H.** Währungsstabilisierung. (HWB. d. Bankwesens. 3 p.) 1932

**Scroggs, W. O.** Depreciated currencies and world trade. (Foreign Affairs. 11-3, 4 p.) 1933

\***Seeger, G.** Was sagt die Bibel über Inflation und Aufwertung? Leipzig: Autor 1927. 48 p. 8°

**Silberstein, F.** Stabilisierungspartei und Inflationsspartei. (Tagebuch. 3-45, 3 p.) 1922

**Singer, K.** Die Möglichkeit der Stabilisierung. (Wirtschaftsdienst. 7-46, 2 p.) 1922

— Warnung vor Puschern (i. d. Stabilisierung- u. Währungsfrage). (Wirtschaftsdienst. 8-7, 2 p.) 1923

**Sontag** Der Kampf um die Aufwertung. (Dt. Einheit. 7-26, 4 p.) 1925

**Sprague, O. M. W.** Price stabilization. (Am. Econ. R. 19-1, Suppl., 8 p.) 1929

**Springer** Vorkriegshypotheken und Geldentwertung. (Bank-A. 22-6, 3 p.) 1922

Stabilising the currencies of Europe. (New Statesman. 460, 2 p.) 1921

Stabilizing the price level by stabilizing the monetary unit. (Comm. & Fin. Chronicle. 3182, 2 p.) 1926

La stabilità monetaria ed il tipo oro. (R. di pol. econ. p. 74 seq.) 1929

La stabilité des monnaies européennes et le problème des transferts. by P. M. (R. d'écon. pol. 40-5, 17 p.) 1926

Stabilité monétaire et échéances prochaines. by X. (Europe nouv. 378) 1925

Stabilizzazione monetaria e bilanci nell'industria laniera. by X. (Boll. d. Laniera. p. 345 seq.) 1930

**Stamp, J.** National and international burdens of price instability. Some possible remedies. (Annalist. 918, 2 p.) 1930

— Il tipo oro e la stabilità del livello dei prezzi. (R. di pol. econ. p. 125 seq.) 1931

\*A standard of value. San Francisco: Secretary of the Club 1920. 75 p. [Transactions of the Commonwealth Club of California, 15. 1]

\***Stern, J.** Die Sicherung langfristiger Anleihen gegen Währungsschwankungen. 1932. 84 p. [Diss. Giessen]

Steuer- und Aufwertungskompromiss. by E. St. (Oesterr. Volksw. 17-34, 2 p.) 1925

**Stiles, C. R.** Stable currencies and the future of trade. (R. Economica. 10-5, 3 p.) 1923

\***Strachey, E. J.** Unstable money. New York: Day 1932. 142 p. 16° [John Day pamph. 22]

\***Strakosch, H.** Monetary stability and the gold standard. [Repr.: Economist. 1928]

**Strauss, F.** Schuldendruck und Schuldabwertungsversuche in der Nachkriegszeit. [In: Das Weltproblem der Schuldabwertung und Zinssenkung.] (Plutus-Briefe. 10-5.) 1933

**Strickstrack** Aufwertungsfragen im internationalen Rechtsverkehr. (Sparkasse. 46-20, 4 p., 22, 2 p., 23, 4 p.) 1926

— Wertbeständige Geldforderungen und Hypotheken. (Sparkasse. 48-23, 6 p., 24, 5 p.; 49-1, 6 p.) 1928/29

**Stuart, C. A. V.** Die Wirkungen von Veränderungen der Kaufkraft des Geldes auf das Wirtschaftsleben. (Z. f. Nationalök. 3-4, 30 p.) 1932

\***Sulkowski, J.** Questions juridiques soulevées dans les rapports internationaux par les variations de valeur des signes monétaires. Paris: Recueil Sirey 1929. 8°. [Acad. de droit. int. Recueil de cours. 29]

**Süskind** Zur Frage des Geldentwertungsschadens in der Praxis. (Jurist. WSchr. 52-4, 3 p.) 1923

**Targetti, R.** L'adeguamento dei prezzi al definitivo valore della lira. (R. di pol. econ. 18-5, 9 p.) 1928

— L'adeguamento dei prezzi al nuovo valore della moneta. (R. di pol. econ. 20-5, 5 p.) 1930

**Terhardt** Wertzuwachssteuer und Geldentwertung. (Jurist. WSchr. 51-12, 4 p.) 1922

\***Terris, J. de** De la validité des clauses de garantie contre les fluctuations monétaires. 1927. 259 p. 8°. [Thèse, Aix-Marseille]

**Thenen, W. v.** Geldentwertung, Preisberechnung und übermäßiger Gewinn. (Mitt. d. Handelskammer Köln. 4-8, 2 p.) 1922

**Théry, R.** Le problème théorique de la stabilisation monétaire. (Economiste europ. 1804, 3 p., 1805, 3 p.) 1926

— Les conditions de la stabilisation. (Economiste europ. 1810, 3 p.) 1926

— Le problème des révaluations d'actifs et de passifs après la stabilisation. (Economiste europ. 1898, 2 p.) 1928

\***Thomas, L.** La tenue des comptabilités en période d'instabilité monétaire. Méthode de comptabilité en francs-or. Paris: Experta 1931. 211 p. 4°

\***Tismer, A.** Die Stabilisierung des Geldwertes als Ziel der Währungspolitik. Berlin-Charlottenburg: Hoffmann 1930. viii, 77 p.

**Travers-Borgstroem, A.** Die Stabilisierung der Münzeinheit. (Ostsee-Rdsch. Probenummer, 4 p.; 1, 2 p.) 1924

**Trenck, v. d.** Verzug und Geldentwertung. (Leipziger Z. f. Dt. Recht. 17-3/4, 13 p.) 1923

**Trumpler, H.** Zeitgemässe Betrachtungen über die Ursachen und Wirkungen der Geldwertveränderungen und die Stellung des Staates zu ihnen. (Bank-A. 32-4, 3 p.) 1932

\***Ungern-Sternberg, R. v.** Geldwertschwund, sozialer Friede und Staatsgefühl. Eine sozialwiss. Studie über d. ursächl. Zusammenhänge. Frankenstein Schl.: Philipp 1926. 192 p. 8°

**Utermann, W.** Ein falsches Argument gegen die Entwertungsländer. (Dt. Volkswirt. 9-7, 2 p.) 1934

- \***Valette, M. de** Stabilisation de la valeur de la monnaie. Exposé critique des systèmes de I. Fisher et de J.-M. Keynes. Paris: Pedone 1930. 46 p. 8°
- \***Valois, G.** La monnaie saine tuera la vie chère. Ce qu'est la vie chère. La dépréciation de la monnaie. Inflation et déflation. L'assainissement de la monnaie. Comment organiser le retour aux prix vrais. Paris: Nouv. lib. nat. 1920. 126 p. 16°
- Vergottini, M. de** Il saggio reale dell'interesse in rapporto alla variazione del valore della moneta. (Economia. 4-1, 12 p.) 1926
- Villey, E.** Le problème monétaire. Déflation ou stabilisation. (R. d'écon. pol. 35-6, 8 p.) 1921
- \***Vincenz, R.** Die Bedeutung der Geldentwertung beim Schuldnerverzugs. 1924. 37 p. 8°. [Diss. Göttingen]
- \***Viner, J.; Haberler, G.; Willis, H. P. & others** Gold and monetary stabilization. Lectures on the Harris Foundation 1932. Ed. by Q. Wright. Chicago: Univ. of Chicago. Pr. 1932. xi, 173 p. 12°
- Vogel, E. H.** Stabilisierung oder Valutahebung als Ziel der Währungsreform. (Z. f. Volksw. N. F. 1-4/6, 21 p.) 1921
- Die Stabilisierung als Weg zum Goldstandard in Europa. (Bank-A. 27-22, 3 p.; Steuerschutz. 10-17, 5 p.) 1928
- Das Problem der Kaufkraftstabilisierung und einer Indexwährung. (Wirtschaft & Arbeit. 2-8, 4 p.) 1933
- Wahle, K.** Valutaversicherungen und Geldentwertung. (Z. f. d. ges. Versicherungswiss. 25-2, 3 p.) 1925
- Währungsabwertung und Preisbewegung. (Oesterr. Volksw. 26-48, 4 p.) 1934
- Die Währungsanierungen nach dem Kriege und das Problem des Goldes. (Schweiz. Bankverein. MBer. 1, 7 p.) 1929
- \***Walras, L.** Théorie des Geldes (Théorie de la monnaie, dt.). Die Stabilisierung d. Geldwertes als d. Problem von heute u. vor 50 Jahren. Nebst e. dogmengeschichtl., histor. u. darst. Teil hrsg., sowie übers. u. erl. von R. Kerschagl u. S. Raditz. 4 Taf. Jena: Fischer 1922. 115 p. 8°
- \***Walsmann, H.** Die zivilrechtliche Bedeutung der Geldentwertung. Rede . . . Rostock: Warkentien 1923. 14 p. 8°
- \***Walter, R.** Die ewig beständige Währung. Berlin: Stilke 1923. 72 p. 8°
- Wassermann, R.** Zinsforderungen und Stabilisierungsrisiko (Leipziger Z. f. dt. Recht. 19-10, 10 p.) 1925
- Watkins, M. W.** Price stabilization through trade organization and statistical cooperation. (Annals. 139, Sept. 7 p.) 1928
- Watzlawik, H.** Aufwertung. (Wirtschaft. 7-3, 2 p.) 1925
- Weber, E.** Preis-Disziplin und Preis-Stabilität. (Wirtschafts-Ring. 7-44, 2 p.) 1934
- Der Wechsel seit der Stabilisierung der Währung. by R. (Bankwiss. 4-6, 7 p.) 1927
- \***Weill, C.** Ueber Entwertung und Sanierung von Währung und Valuta während des Weltkrieges und der Uebergangswirtschaft. Wien: Weishut 1921. viii, 100 p. 8°. [Diss. Zürich]
- Weinberg, S.** Lohnklagen, Entschädigungsansprüche und Geldentwertung. (Arbeiterrechts-Beil. 3, 3 p. = Korrespondenzbl. d. Allg. Dt. Gewerkschaftsbundes. 33, 10) 1923
- Weinhausen, H.** Wirtschaft und Aufwertung. (Württ. Industrie. 16-32, 2 p.) 1925
- Die Aufwertung im Auslande. (Württ. Industrie. 16-43, 3 p.) 1925
- Welden, E. A.** Currency stabilization and Austrian wage trends. (Comm. Rep. 33, 2 p.) 1925
- Weltzien** Devaluation und Schuldenabwertung (u. ihre Folgerungen f. d. dt. Kommunalwirtsch.). (Mit Diskussion: Lueken, Haekel, Karding, Kranold, v. Leyden, Naumann, Kleiner.) (Z. f. Kommunalw. 22-5/6, 34 p.) 1932
- \***Werner, J.** Lohntheorie und Geldentwertung. Ein Beitrag zur modernen Lohntheorie. Hildesheim: Borgmeyer 1927. 73 p. 8°
- \***Weygand, J.** Geldentwertung und Lieferungs-geschäfte. Mannheim: Bensheim 1924. 96 p. 8°. [Wirtschaftl. Abh. 1]
- Whitney, C.** Exchange and price stabilization. (Am. Econ. R. 22-2, 10 p.) 1932
- Wigglesworth, F.** Gold and stability. The problem of our currency. (Contemp. R. 748, 6 p.) 1928
- Williams, J. H.** The world's monetary dilemma—internal versus external monetary stability. [In: Money and credit in the recovery program. A series of addresses and papers presented at the semiannual meeting of the Academy of polit. science march 21, 1934. 2. The gold problem:] 1934
- Wirtschaft und Aufwertung. (Mitt. d. Hansa-Bundes. 8, 3 p.) 1925

- Working, H.** Monetary stabilization. (17. annual meeting, Round Table Discussion.) (Am. Econ. R. 15-1, Suppl. 3 p.) 1925
- Worliczek, A.** Stabilisierungsbilanzprobleme. (Steuerschutz 8-9, 4 p., 10, 7 p., 11, 2 p.) 1926
- Das Stabilisierungsbilanzgesetz. (Steuerschutz. 8-11, 3 p., 12, 2 p.) 1926
- \***Wright, Q.** (ed.) Gold and monetary stabilization. Lectures on the Harris Foundation. Chicago: Univ. of Chicago Pr. 1932. xi, 174 p. 12°
- Wunderlich, H.** Geldentwertung und Zahlungsverzug. (Maschinenbau/Wirtschaft. 2-13, 3 p.) 1923
- Wunderlin, G.** Verzug und Geldentwertung. (Leipziger Z. f. Dt. Recht. 17-12, 6 p.) 1923
- Wünschmann** Geldentwertung und Bewertung in den Steuergesetzen. (Jurist. WSchr. 51-12, 6 p.) 1922
- Zeiler, A.** Anpassung an Geldwertschwankungen. (Plutus. 17-2, 4 p.) 1920
- Zur Abtragung von Schuldansprüchen aus Zeiten der Geldentwertung. (Z. f. Sozialwiss. N. F. 12-3/4, 8 p.) 1921
- Die Aufgabe des Richters gegenüber den Erscheinungen der Geldentwertung. (Z. f. Handelswiss. 15-10, 5 p.) 1922
- Eine Berücksichtigung der Geldentwertung nach dem geltenden Rechte. (Jurist. WSchr. 51-10, 5 p.) 1922
- Die Geldentwertung als eine Erscheinung einheitlicher Art. (Jurist. Rdsch. 1-9, 8 p.) 1925
- Eine Vergleichungstabelle für die Umwertung. (Dt. Juristen-Ztg. 30-2, 5 p.) 1925
- ; **Wassermann, R. & Mayer, A.** Die Geldentwertung als Kredit-, Kalkulations- und Besteuerungsproblem. (Werkerhaltungskosten.) München: Schweitzer 1921. viii, 94 p. 8°
- Zickert** Trennung von Staat und Geld! Der Unfug der Wertbeständigkeit. (Int. Volksw. 33-32, 3 p.) 1923
- Zwischen Währungsschutz u. Währungsabwertung. (Wirtschaft u. Arbeit. 3-4, 3 p.) 1934

## b. Individual countries

## Argentina

- Argentine currency's appreciation. (Statist. 2583, 2 p.) 1927

## Australia

- \***Brigden, J. B.** On purchasing power and pound Australian. Brisbane: Phillips 1931. 109 p.

## Austria

- Arlt, I.** Der Einzelhaushalt. [In: Geldentwertung u. Stabilisierung in ihren Einflüssen auf d. soz. Entwicklung in Oesterreich=Schr. d. Vereins f. Sozialpol. 169, 7 p.] 1925
- Die Aufwertungsfrage. by E. St. (Oesterr. Volksw. 17-29, 3 p.) 1925
- \***Bordes, J. v. Walré de** The Austrian crown: its depreciation and stabilization. With a foreword by H. Strakosch. London: King 1924. xiv, 252 p. 8°
1. Introductory. 2. The first years of the Austrian republic (Historical survey).
- I. Statistical part. 3. The means of payment. i. The quantity of money in circulation prior to the War. ii. The quantity of money in circulation after the War. iii. Means of payment, other than money, before and after the War. 4. The price level. i. The index for wholesale prices. ii. The index for retail prices, other than food. iii. The index of the mixed commission for the cost of living. iv. The index of the "Oesterreichische Volkswirt" for the cost of living. v. The index for the cost of the minimum dietary. vi. The index for the cost of the average pre-war dietary. 5. The foreign exchange. 6. Comparison of the increase of the quantity of the means of payment, the rise of the price level, and the rise of the foreign exchange rates.
- II. Theoretical part. 7. The period of depreciation. i. The connection between the quantity of the means of payment and the price level. ii. The connection between the price level and the rates of foreign exchange. iii. The rise in foreign exchange. 8. The period of stabilization. Annex: 1. List of sources consulted for chapter 2. 2. The pre-war yield of taxation of the territory of the present Austrian republic. 3. Smuggling and forging of bank-notes after the War in central Europe. 4. Methods of calculation of different index numbers.
- Brunner, K.** Stabilisation in Austria. (Nation. 33-15, 2 p.) 1923
- \***Bunzel, J.** (Hrsg.) Geldentwertung und Stabilisierung in ihren Einflüssen auf die soziale Entwicklung in Oesterreich. Mit Beitr. v. I. Arlt, R. Bartsch, R. Beer & a. München, Leipzig: Duncker & Humblot 1925. viii, 478 p. 1 Tab. 8°. [Schr. d. Vereins f. Sozialpol. 169]



**Federn, W.** Die Kreditpolitik der Wiener Banken. [In: Geldentwertung u. Stabilisierung in ihren Einflüssen auf d. soz. Entwicklung in Oesterreich—Schr. d. Vereins f. Sozialpol. 169, 21 p.] 1925

— Aufwertung. (Oesterr. Volksw. 18-27, 2 p.) 1926

\***Gaertner, F.** Die Stabilisierung der österreichischen Krone. Leipzig: 1923

**Handley, L.** Der Stand der Aufwertungsfrage in Oesterreich. (Wirtschaftsdienst. 10-29, 2 p.) 1925

\***Hofmann, V.** Die Devaluierung des österreichischen Papiergeldes im Jahre 1811. Eine finanzgeschichtliche Darstellung nach archivalischen Quellen. München: Duncker & Humblot 1923. 231 p. 8°. [Schr. d. Vereins f. Sozialpol. 165, 1]

**Hunna, E.** Geldentwertung und Steuern in Oesterreich. (Jurist. WSchr. 51-12, 3 p.) 1922

**Jaresch, R.** Vorschlag zur Hypothekenaufwertung und Rentnerentschädigung. (Oesterr. Volksw. 18-18, 5 p.) 1926

Die Kaufkraft des österreichischen Schillings. by G. Sch. (Dt. Oekonomist. 2439, 2 p.) 1932

**Klang, H.** Das Recht. [In: Geldentwertung u. Stabilisierung in ihren Einflüssen auf d. soz. Entwicklung in Oesterreich—Schr. d. Vereins f. Sozialpol. 169, 23 p.] 1925

**Löffler, A.** Der Einfluss der Gesetzgebung auf die Kapitalkaufzehrung. [In: Geldentwertung u. Stabilisierung in ihren Einflüssen auf d. soz. Entwicklung in Oesterreich—Schr. d. Vereins f. Sozialpol. 169, 16 p.] 1925

Das österreichische Sanierungswerk. (Sparkasse. 1151, 4 p.) 1924

**Patzauer, H.** Die Staatswirtschaft. [In: Geldentwertung u. Stabilisierung in ihren Einflüssen auf d. soz. Entwicklung in Oesterreich—Schr. d. Vereins f. Sozialpol. 169, 16 p.] 1925

**Philippovich, S.** Die Aufwertung von alten Kronenwerten und die Landwirtschaft. (Oesterr. Volksw. 17-42, 3 p.) 1925

**Reisch, R.** Stabilisierung oder Steigerung des Kronenwertes. (Mitt. d. Verb. österr. Banken u. Bankiers. 6-1/2, 13 p.) 1924

**Rist, Ch.** Walré de Bordes, J. v.: The Austrian crown. Its depreciation and stabilization. (R. d'écon. pol. 38-5, 1 p.) 1924

**Rizzi, H.** Zur Geschichte der österreichischen Währungsstabilisierung. (Bankwiss. 2-13, 9 p., 14, 1 p.) 1925

**Salmuth, v.** Betrachtung zur Stabilisierung der österreichischen Krone. (Z. f. Kommunalw. 14-4, 6 p.) 1924

**Schwaiger, A.** Die Stabilisierung der österreichischen Währung. (Ber. a. d. neuen Staaten. 7-5, 2 p.) 1924

**Schwarz, P.** Die städtischen Liegenschaften. [In: Geldentwertung u. Stabilisierung in ihren Einflüssen auf d. soz. Entwicklung in Oesterreich—Schr. d. Vereins f. Sozialpol. 169, 8 p.] 1925

Steuer- und Aufwertungskompromiss. by E. St. (Oesterr. Volksw. 17-34, 2 p.) 1925

**Stiassny, P.** Die politische Seite des Aufwertungsproblems. (Oesterr. Volksw. 18-45, 2 p.) 1926

**Weinberger, O.** Die Geldentwertung in der Oesterreichischen Gesetzgebung und Rechtsprechung. (Recht & Wirtschaft. 11-6, 8 p.) 1922

**Zeiler, A.** Das Wesen der »Aufwertung«. (Hanseat. Rechts-Z. 8-15/16, 6 p.) 1925

\*Zur Frage der Geldentwertung. Das Gutachten des Obersten Gerichtshofes betr. die Valorisation. Mit bes. Berücks. d. deutschen u. schweizer Rechts. Wien: Breitenstein 1923. 22 p. 8°. [Sonder-Ausg. d. Zentral-Evidenzbl. f. d. Gesetzgebung u. Rechtsprechung Deutschösterreichs. 1923, März/Juni]

### Belgium

**Ansiaux, M.** Die belgische Währungsstabilisierung. (Wirtschaftsdienst. 11-51, 3 p.) 1926

\***Baudhuin, F.** Finances belges. La stabilisation et ses conséquences. 2. éd. (Etudes morales, soc. et jurid.) Bruxelles: Dewit 1928. 296 p.

Belgian monetary stabilization. (Reference Service on Int. Affairs. 2-5, 3 p.) 1926

\*La Belgique stabilisée. Paris: R. des vivants 1928. 122 p. 4°. [S.-Repr.: R. des vivants. 2, 2]

\***Cats, H.** Les effets du nouveau régime monétaire en Belgique sur l'économie depuis la stabilisation jusqu'à la crise économique. 1933. 236 p. 8°. [Thèse, Strasbourg]

Ce qu'a été la stabilisation belge. by H. M. (J. des écon. 91-jan., 4 p.) 1932

**Chlepner, B.-S.** La dépréciation et la stabilisation du franc belge. (R. d'écon. pol. 41-1, 35 p.) 1927

\***Collet, O.-J.-A.** La question financière en Belgique. Etude sur la stabilisation et la conversion du franc belge. Bruxelles: Falk 1922. 180 p. 8°

\***Daum, M.** Die Stabilisierung in Frankreich und Belgien, ein Vergleich. Gelnhausen: Kalbfleisch. 1930. 115 p. 8°. [Diss. Frankfurt 1929]

**Dubern, E. B.** La stabilisation du franc belge. (R. écon. int. 18, 4, 3, 22 p.) 1926

— Le rapport de la Banque de Belgique et la stabilisation du franc belge. (R. écon. int. 19, 2, 1, 28 p.) 1927

**Dumont-Wilden, L.** La stabilisation du franc belge. (R. bleue. 64-21, 3 p.) 1926

Das erste Jahr der Stabilisierung in Belgien. (M.-ber. d. Schweiz. Bankver. 10, 10 p.) 1927

**Fabre, R.** Chronique de la stabilisation monétaire: la première tentative belge. (R. d'écon. pol. 40-4, 15 p.) 1926

— La stabilisation monétaire en Belgique. (R. des études coop. 5-18, 12 p.) 1926

\***Fettweis, A.** Stabilisation, ce qu'elle est, pour quoi il faut la modifier. Liège: Thone 1927. 8°

\*— Stabilisation, 2. Bruxelles: Jardon 1928. 8°

**Fossati, E.** La stabilizzazione monetaria nel Belgio. (Giorn. d. econ. 42-2, 12 p.) 1927

\***Franck, L.** La stabilisation monétaire en Belgique.—La crise financière.—Le premier projet de stabilisation et son échec.—Les fonds d'amortissement de la dette.—La consolidation de la dette flottante.—La loi des pleins pouvoirs.—La régie industrialisée des chemins de fer.—La réforme monétaire. Paris: Payot 1927. 174 p. 8°. [Bibl. Technique]

— The Belgian stabilization and its results. (Banker. 5-24, 9 p.) 1928

— La crise monétaire belge et la stabilisation. (Bull. d'inform. et de document. 3-7, 4 p.) 1928

\*— La stabilisation monétaire en Belgique et ses résultats après vingt mois. Bruxelles: Lamertin 1928. 19 p. 8°

\***Gilis, H.** Comptabilité et bilans or-papier-belgas. Bruxelles-Uccle: R. des sci. admin. appliquées 1928. 8°

**Hayois, L.** Franc-papier ou Belga. (J. des écon. 87-fév., 4 p.) 1928

\***Hoffmann, E.** La tentative de stabilisation monétaire en Belgique. Préf. de Eugène Duttoit. Lille: Tallandier 1926. 246 p. 8°. [Thèse, Lille]

\*— La stabilisation du franc belge. Lille: Mercure de Flandre 1927. 192 p. 8°

**Horn, M.** La stabilisation du franc belge. (R. écon. int. 19, 2, 2, 55 p.) 1927

**Jaspar, H.; Franck, L. & autres** Le bilan d'une stabilisation: L'expérience belge. (Europe nouv. 541) 1928

\***Kervyn de Meerendré, J.** Une thèse hérétique devenue orthodoxe: La stabilisation monétaire. Gand: Herckenrath 1926. 36 p. 8°

**Landau, E.** Das Werk der belgischen Stabilisierung. (Dt. Oekonomist. 2178, 3 p.) 1927

\***Laveleye, A. de** La stabilisation belge, la revalorisation française. Exposé....(Comité national des études sociales et politiques. Séance du 31 janvier 1927 à la Cour de cassation, au palais de justice de Paris.) Paris: Jouve 1927. 92 p. 8°

**Lescure, J. L. Franck:** La stabilisation monétaire en Belgique. (R. d'écon. pol. 41-3, 1 p.) 1927

\***Leurence, F.** La stabilisation du franc. Précédée d'une théorie de la monnaie et suivie d'une étude sur la stabilisation du franc belge. Paris: Giard 1926. 199 p. 8° [Thèse, Paris]

\***Longeaux, J. de** Conséquences économiques de la stabilisation belge. Paris: de Boccard 1928. 120 p. 8°

I. Conséquences financières. 1. Marché de l'argent. 2. Les finances publiques. 3. Les finances privées. La bourse.  
II. Conséquences de la stabilisation sur l'activité de l'industrie et du commerce belges. 1. Les industries belges après la stabilisation. 2. Les échanges commerciaux.  
III. Conséquences sociales. 1. Les prix. 2. Les pouvoirs d'achat. Conclusion.

**Mitchell, M. M.** One year of Belgian stabilization. (Comm. Rep. 50, 2 p.) 1927

**Moulin, F.** L'essai de stabilisation du franc-belge. (R. pol. et parl. 378, 11 p.) 1926

**Nesteroff, P. E. Hoffmann:** La stabilisation du franc belge. (R. d'écon. pol. 42-2, 2 p.) 1928

\***Orvain, R.** La stabilisation du franc belge. Paris: Recueil Sirey 1927. 207 p. 8°. [Thèse, Paris]

**Pommery, L.** Les conséquences économiques de la stabilisation monétaire en Belgique. (Réf. écon. 36-7, 6 p.) 1927

La stabilisation belge. (Economiste fr. 54-45, 2 p.) 1926

Stabilization: Italian, Belgian and French. (Economist. 4402, 2 p.) 1928

\*Les stabilisations monétaires de la Belgique en 1926. Strasbourg: Soc. gén. Alsacienne de Banque 1926. 18, 14 p. [Service des renseignements écon. et fin. pub. 3]

**Théry, R.** La stabilisation du franc belge. (Economiste europ. 1808, 2 p.) 1926

— Les raisons du choix du taux de stabilisation du franc belge. (Economiste europ. 1823, 3 p.) 1927

Three months of stabilization in Belgium. (Statist. 2555, 2 p.) 1927

**Vandervelde, C.** Die sozialen Folgen der Stabilisierung in Belgien. (Soz. Praxis. 37-11, 8 p.) 1928

\***Wallegheem, E. van** La stabilisation monétaire et l'industrie métallurgique. Bruxelles: Eglantine 1927. 30 p. 8°. [Eglantine. 5, 4]

**Wauters, A.** La stabilisation et la politique sociale en Belgique. (R. écon. int. 20, 3, 1, 10 p.) 1928

\***Wolf, J.** Commerçants, industriels protégés-vous contre les conséquences de la stabilisation. Bruxelles: de Rijck & Josiassen 1926. 16 p. 8°

**Zutrauen, F.** Die Stabilisierung der belgischen Währung. (Bankwiss. 3-16, 3 p.) 1926

### Brazil

**Anderson, G. E.** Another crisis in the long struggle for currency stabilization in Brazil. (Annalist. 850, 2 p.) 1929

**Schück, W.** Milreisstabilisierung? (Wirtschaftsdienst. 11-9, 1 p.) 1926

— Der brasilianische Stabilisierungsplan. (Wirtschaftsdienst. 12-1, 2 p.) 1927

### Bulgaria

**Angelescu, J.-N.** La technique de la stabilisation du lei. (R. écon. int. 20, 1, 1, 31 p.) 1928

Bulgarian stabilization. (Europ. Econ. & Pol. Survey. 4-5, 4 p.) 1928

**Dubern, E. B.** La stabilisation monétaire en Bulgarie. (R. écon. int. 20, 4, 2, 22 p.) 1928

The last stages of currency stabilization. [Bulgaria and Roumania.] (Economist. 4443, 2 p.) 1928

**Molloff, W.** La stabilisation monétaire en Bulgarie: Le redressement financier de la Bulgarie. (Europe nouv. 563) 1928

Le plan de stabilisation bulgare adopté par le conseil de la S. d. N. [Document]. (Europe nouv. 563) 1928

Le plan de stabilisation bulgare. L'emprunt extérieur. La réforme de la Banque Nationale. (Europe nouv. 563) 1928

### China

China's buying power not helped by silver rise. (Annalist. 984) 1931

### Czecho-Slovakia

Abwertung der tschechoslowakischen Krone. (Wber. d. Inst. f. Konjunkturforsch. 7-8, 1 p.) 1934

**Basch, A.** Der tschechoslowakische Gesetzentwurf über die Einführung von Stabilisierungsbilanzen. (Mitt. d. Verb. österr. Banken u. Bankiers. 8-7/8, 11 p.) 1926

**Daninger, E.** Zur Frage der Aufwertung in der Cechoslovakie. (Z. f. Ostrecht. 3-4, 8 p.) 1929

Devaluation der Tschechen-Krone? (Dt. Oekonomist. 2503, 3 p.) 1934

**Hauer, F.** Die Aufwertung von Markforderungen in der tschechoslowakischen Rechtsprechung. (Sparkasse. 47-19, 2 p.) 1927

\***Heimann, E. H.** Die "Devaluation" in der Tschechoslowakei und ihre Lehren für Deutschland. 51 p. 1 Kurve. 4°. [Diss. Breslau]

**Herrnheiser, P.** Die äussere und innere Kaufkraft der tschechoslowakischen Krone. (Oesterr. Volksw. 16-2, 3 p.) 1923

**Oberascher, L.** Die Abwertung der Tschechenkrone. (Wirtschaftsdienst. 19-10, 3 p.) 1934

**Papi, G. U.** La "corona" cecoslovacca stabilizzata "de jure." (R. di pol. econ. p. 75 seq.) 1930

**Riethof, O.** Los von Zürich. (Mitt. d. Dt. Hauptverb. d. Ind. 4-17, 2 p.) 1923

**Rist, Ch.** La stabilisation en Allemagne et en Tchecoslovaquie. (Europe nouv.—Numéro spécial. 432) 1926

**Rudolf, R.** Der Einfluss der Kronenaufwertung auf die Steuerschulden und auf die Wirtschaft in der Cechoslovakie. (Observer. 7-7, 2 p.) 1925

\***Schiele, G. W.** Lehren der tschechischen Valutareform. Naumburg: Autor 1923. 16 p. [Naumburger Briefe z. Verteidigung d. wirtschaftl. Freiheit. 1923, 2/3]

**Sedlacek, J.** Die Aufwertungsklausel nach tschechoslovakischem Recht. (Z. f. Ostrecht. 1-3, 7 p.) 1927

**Wahle, K.** Das Aufwertungsproblem in der Cechoslovakie. (Ostrecht. 1-1, 12 p.) 1925

**Watzlawik, H.** Zum tschechoslowakischen Stabilisierungsgesetz. (Steuerschutz. 8-17, 3 p.) 1926

**Worliczek, A.** Das tschechoslowakische Stabilisierungsbilanzgesetz. (Oesterr. Volksw. 18-35, 3 p.) 1926

### Danzig

Das Aufwertungsgesetz der Freien Stadt Danzig. by B. G. (Gemeinde. 2-17, 5 p.) 1925

**Baumann** Das Danziger Aufwertungsgesetz. (Jurist. WSchr. 54-11, 2 p.) 1925

**Bredfeldt, W.** Der gegenwärtige Stand der Aufwertung in Danzig. (Sparkasse. 46-16, 6 p.) 1926

**Bumke, S.** Das Danziger Aufwertungsgesetz. (Jurist. WSchr. 54-11, 1 p.) 1925

\*Das Danziger Aufwertungsgesetz (Gesetz über den Ausgleich der Geldentwertung). Mit gemeinverständl. Erl., Beisp. u. e. Kurstab. von J. Hammer. Danzig: Kafemann 1925. 44 p. 8°

**Keyser, E.** Der Streit um ein Danziger Aufwertungsgesetz im 18. Jahrhundert. (Danziger Jurist. WSchr. 5-1, 3 p. = Beil. z. Danziger Wirtschafts-Ztg. 6-4) 1926

**Loening, O.** Die Aufwertung in Danzig. (Auslandsrecht. 6-6, 10 p.) 1925

**Methner** Gegenüberstellung der wichtigsten Vorschriften des deutschen, Danziger und polnischen Aufwertungsrechts. (Dt. Steuer-Ztg. 15-4, 2 p.) 1926

\***Reiss, H.** Das Danziger Aufwertungsgesetz in der Fassung des "Zweiten Gesetzes über den Ausgleich der Geldentwertung." Berlin: Stilke 1926. xvii, 94 p. 8°. [Danziger Rechtsbibliothek. Die Gesetze der Freien Stadt Danzig. 3]

— Die Entscheidungen des Danziger Obergerichts zum Ausgleichsgesetz vom 7. April 1925. [Gesetz über d. Ausgleich d. Geldentwertung] (Ostrecht. 2-5, 6 p.) 1926

Wohnungsbaugesetz, Aufwertung, Danziger Anleihe und Staatswirtschaft. by Z. (Danziger Wirtschafts-Ztg. 5-8, 3 p.) 1925

### Denmark

**Dahl, B. D.** The course of monetary stabilization in Denmark. (Comm. Rep. 9, 3 p.) 1927

### Ecuador

**Baudin, L.** La stabilisation de la monnaie équatorienne. (R. écon. int. 20, 1, 1, 22 p.) 1928

### Egypt

**Bonnet, G.-E.** Un système de stabilisation monétaire: le régime égyptien. (R. d'écon. pol. 38-4, 26 p.) 1924

### England

\***Allcock, H.** A proposal to increase the purchasing power of the penny. 1920. 7 p.

**Anderson, G. E.** Prompt stabilization of sterling necessary to avoid loss of financial profits. (Annalist. 976, 2 p.) 1931

**Arnaud, R.** L'Angleterre et la stabilisation. (R. écon. int. 26, 2, 4, 11 p.) 1934

**Aschenbrenner, R.** Pfund-Fakturierung und Pfund-Entwertung. (Dt. Oekonomist. 2385, 2 p.) 1931

\***Bouclaud, H.** L'altération de la livre sterling et ses conséquences économiques. Paris: Loviton 1933. 126 p. 8°. [Thèse, Paris]

La crisi della sterlina e le Banche di emissione. (R. mens. d. Banca comm. ital. p. 87 seq.) 1931/32

\***Cutforth, A. E.** Foreign exchange: treatment of fluctuating currencies in the accounts of English companies. London: Gee 1925. 173 p. 8°

The decline in sterling. An analysis of causes. (Midland Bank Ltd. M. R. Nov./Dec., 5 p.) 1932

**Döring, F.** Die Auswirkungen der Pfund- und Dollarentwertung auf den Aussenhandel. [Protektionistische Welle in der ganzen Welt.] (Währung u. Wirtschaft. 2-6, 5 p.) 1933

**Emminger, O.** Währungsentwertung und Krisenüberwindung in England. (Weltw. A. 40-3, 49 p.) 1934

England und Japan. Probleme der Währungsentwertung. [Einwirkung auf d. Gesamtwirtschaft der beiden Länder.] (Wber. d. Inst. f. Konjunkturforsch. 5-31, 4 p.) 1932

- Eule** Die Auswirkung der Pfund- und Dollar-entwertung auf vertragliche Zahlungsverpflichtungen. (Mitt. d. Ind.- u. Handelskammer Berlin. 32-6, 3 p.) 1934
- Fontana-Russo, L.** L'economia inglese e la stabilizzazione della sterlina. (Barometro econ. 6-7, 2 p.) 1934
- \***Gifford, J. L. K.** The devaluation of the pound. London: King 1934. viii, 114 p. 8°
- Gothein** Einwirkung der Pfundentwertung auf den deutschen Kohlenbergbau. (Dt. Oekonomist. 2385, 2 p.) 1931
- Grotkopp, W.** Die Unterbewertung des englischen Pfundes. (Dt. Oekonomist. 2522, 3 p.) 1934
- Hausmann, F.** Die rechtliche Tragweite der Pfund- und Dollar-Entwertung im In- und Ausland. (Bank-A. 33-2, 5 p., 3, 4 p.) 1933
- \***Hautler, A.** Die Renaissance der kaufmännischen Ehrlichkeit. Das Drehmoment d. Weltfinanzkrise ist d. Stabilisierung d. engl. Pfund-Sterling-Noten zum gesetzl. engl. Goldpreis: 1 Unze Gold=3 Pfd. 17 sh. 10½d. Wien: Grünfeld 1932. 36 p. 8°
- Helmolt, Th. v.** Koflationismus. [Lehre von der gemeinsamen Stabilisierung von Pfund u. Dollar.] (Ring. 6-29, 2 p.) 1933
- Herbeck, O.** Einfluss der Pfundentwertung auf Verträge in Pfundwährung. (Mitt. d. Ind.- u. Handelskammer Berlin. 29-19, 4 p.) 1931
- Kahn, R. E.** Pfundentwertung und englisches Recht. (Bank-A. 31-11, 3 p.) 1932
- Kaufmann, P.** Pfundstabilisierung und Exporthandel. (Wirtschaftl. Nachr. f. Handel, Gew. u. Ind. 2-20, 1 p.) 1925
- \***Koch, P.** Les variations du pouvoir d'achat de l'unité monétaire nationale en France, en Angleterre et en Allemagne du 11 novembre 1918 au 1 janvier 1922. 1924. 365 p. 8°. [Thèse, Paris]
- Levy, H.** Politische Auswertung der Sterlingkrise? (Dt.-fr. Rdsch. 4-11, 3 p.) 1931
- Liesse, A.** La baisse du franc et la politique de l'Angleterre. (Economiste fr. 51-34, 3 p.) 1923
- Sur la revalorisation. Un exemple historique. [J.-B. Say sur la stabilisation en Angleterre 1819/23.] (Economiste fr. 55-2, 3 p.) 1927
- Mautner, W.** Die Entwertung des Pfundes und ihre Folgen für Holland. (Wirtschaftsdienst. 16-45, 3 p.) 1931
- Mickwitz, E. v.** Pfundabwertung und innere Preisbewegung. (Wirtschaftsdienst. 29-17, 2 p.) 1934
- Moschel, W.** Einfluss der Pfundentwertung auf Lieferungsverträge. (Dt. Wirtschafts-Ztg. 28-44, 3 p.) 1931
- Mügel, O.** Aufwertung von Pfundförderungen. (Dt. Juristen-Ztg. 37-1, 6 p.) 1932
- Die Entwertung des Pfundes und des Dollars. (Dt. Juristen-Ztg. 38-18, 6 p.) 1933
- Neisser, H.** Pfundsturz und Weltkonjunktur. (Dt. Volkswirt. 7-10, 4 p.) 1932
- Neukirch, C.** Pfund=Pfund? (Jurist. WSchr. 60-46, 2 p.) 1931
- Our debased currency and some of its effects. (Saturday R. 3384, 2 p., 3385, 2 p.) 1921
- Paris and the sterling crisis. A French view on stabilization prospects. (Banker. 20-70, 9 p.) 1931
- Pasching, W.** Geldentwertung und Verzögerungsschaden bei Dollar- und Pfundsulden. (Mitt. d. Verb. österr. Banken u. Bankiers. 16-2, 6 p.) 1934
- Rapport du Comité britannique d'experts sur la stabilisation de la livre sterling [de 1925.] (Europe nouv. 436, 4 p.) 1926
- Reiss, H.** Die Entwertung von Pfund und Dollar und ihre Einwirkung auf bestehende Verbindlichkeiten. (Danziger Wirtschafts-Ztg. 14-29, 2 p.) 1934
- Simonson** Zur Frage der Einwirkung des Sturzes des englischen Pfundes auf deutsche Rechtsverhältnisse. (Bank-A. 32-22, 4 p.) 1933
- Sterling depreciation and the cost of living. (Statist. 2802, 2 p.) 1931
- Sterling depreciation and the cost of raw materials. (Statist. 2803, 1 p.) 1931
- \***Taylor, P. J.** The crisis of the £. London: Macmillan 1932
- Warneyer** Ausgleichung von Schäden durch Pfundentwertung. (Dt. Steuer-Ztg. 21-3, 4 p.) 1932
- Wigglesworth, F.** Gold and stability. The problem of our currency. (Contemp. R. 748, 6 p.) 1928

## Finland

- \***Allegoet, F.** Vers la stabilisation du mark finlandais. Anvers: Assoc. des licenciés de St.-Ignace 1926. 11 p. 8°. [S.-Repr.: Bull. d'études et d'inf. de l'Ecole sup. de comm. Saint-Ignace. 1926, jan.]

## France

- \***Alberti, M.** La stabilizzazione del franco e gli ammassamenti d'oro in Francia. Milano: Stampa commerciale 1932. 231 p. 8°
- \***Anderson, B. M.** Stabilizing the franc. The financial position of France; the new par for the franc; fallacies impeding the return to the gold standard in continental Europe. New York: Chase Nat. Bank 1926. 27 p. 8°. [Chase Econ. Bull. 6, 2]
- Apostol, M. P.** The French stabilization problem. (Econ. R. 13-22, 2 p.) 1925
- The stabilization of the franc and bourse stocks and shares. (Econ. R. 14-9, 2 p.) 1926
- Loans and the stabilization of the franc. (Econ. R. 14-13, 2 p.) 1926
- Stages in the stabilization of the franc, budget retrenchment. The rise of the franc. (Econ. R. 14-16, 2 p., 18, 2 p.) 1926
- Stabilization or revaluation of the franc? (Econ. R. 14-22, 1 p.) 1926
- Auboin, R.** Vouloir le franc stable, c'est en accepter les conséquences. (Europe nouv. 441, 2 p.) 1926
- Augagneur, V.** Stabilisons-nous ou ne stabilisons-nous pas? (R. mondiale. 174-22, 5 p.) 1926
- \***Auriol, V.** La stabilisation et le Parti socialiste. Discours. Paris: Lib. populaire 1928. 16 p. 16°. [Parti socialiste. S. F. J. O.]
- Bacciocco** Das deutsch-französische Aufwertungsabkommen vom 10. Mai 1926. (Bank-A. 25-18, 2 p.) 1926
- \***Bayart, P.** La stabilisation [monétaire] française. Lille: Auteur; Paris: Recueil Sirey 1927. 16 p. 8°
- \* — La réforme monétaire du 25 juin 1928. Le mécanisme de la stabilisation et ses effets. Paris: Recueil Sirey 1928. 35 p. 8°
- Bernhard, G.** Die Sanierung der französischen Währung. (Mag. d. Wirtschaft. 2-36, 5 p.) 1926
- Bienstock, G.** Frankreich vor der Stabilisierung. (Gesellschaft. 4-1, 26 p.) 1927
- \***Blanchard, G.** Cours d'économie politique. Tome 2: La fin de la répartition, la circulation et les finances publiques, suivies d'un appendice sur les assurances sociales et la stabilisation de la monnaie en France et d'un appendice sur la situation économique de l'Égypte. 2. éd. Paris: Pedone 1930. 8°
- \***Bonnet, G.-E.** Comment avoir un franc stable. Condition essentielle de la restauration financière. Paris: Payot 1926. 127 p. 16°
- Le budget de 1927 et la stabilisation. by X. (J. des écon. 85-nov., 5 p.) 1926
- \***Canel, L.** Une solution inédite du problème de la revalorisation du franc. Paris: Berger-Levrault 1925. 40 p. 12°
- \*Chambre des Députés, session ordinaire de 1926: projet de loi instituant des mesures destinées à assurer le redressement financier et la stabilisation de la monnaie, présenté au nom de M. Gaston Doumergue par M. J. Caillaux. Paris: Impr. de la Chambre des Députés 1926. 7 p.
- \***Charles-Bellet, L.** Vers la stabilisation du franc. (Conférence faite à Toulouse, 10 mai 1926, hôtel d'Assézat, au cours de l'Assemblée générale professionnelle du Languedoc pyrénéen.) Albi: Impr. coop. du Sud-Ouest 1926. 16 p. 8°
- Chavaroche, J.** Die Stabilisierung des Franken und die wirtschaftlichen Perspektiven. (Kommunist. Internat. 7-4, 6 p.) 1926
- Comstock, A.** French tax system presents stabilization dilemma. (Annalist. 745, 22 p.) 1927
- \***Daum, M.** Die Stabilisierung in Frankreich und Belgien, ein Vergleich. Gelnhausen: Kalbfleisch. 1930. 115 p. 8°. [Diss. Frankfurt 1929.]
- \***Debatisse, A.** Le problème de la dévaluation du franc. Paris: Giard 1925. 256 p. 8°. [Thèse, Paris]
- I. Le problème monétaire en France. 1. L'inflation. 2. Stabilisation monétaire. Déflation ou dévaluation.
- II. La dévaluation en pratique les problèmes techniques qu'elle soulève. 1. Les conditions nécessaires au succès de la dévaluation. 2. Convertibilité entière ou système du Gold Exchange Standard.
- The decline in the franc. (Economist. 4252, 2 p.) 1925
- Deméjan, R.** Les possibilités de la stabilisation. (R. pol. et parl. 385, 14 p.) 1926
- La stabilisation légale. (R. pol. et parl. 401, 12 p.) 1928
- Divisia, F.** F. Leurence: La stabilisation du franc. (R. d'écon. pol. 44-2, 2 p.) 1930
- Dreyfus, A.** De la défense juridique du franc. (J. des écon. 84-oct., 6 p.) 1925
- \***Duboin, J.** La stabilisation du franc. Paris: Rivière 1927. 268 p. 12°. [Bibl. des sciences et sociales]

1. La stabilisation monétaire. 2. Les dettes interalliées. 3. La France perd sa substance. 4. Hausse du franc. 5. Discours à la Chambre.

- Duboin, J.** La stabilisation du franc et son avenir. (Réf. écon. 39-15, 7 p., 16, 7 p.) 1930
- Duchemin** L'industrie française désire les conditions techniques et politiques de la stabilisation monétaire. (Europe nouv. 432) 1926
- Du franc stable au franc-or. (Europe nouv. 444, 2 p.) 1926
- Dupuis, Ch.** A la recherche des francs perdus. (Correspondant. 25 juin) 1926
- \*L'écartèlement du franc, ou l'or \$ livre. Un plan constructif. Stabilisation. Ni déflation, ni inflation par "Gold index." Paris: Vendôme 1934. 8°
- Federn, W.** Stabilisierung des Franc. (Oesterr. Volksw. 20-40, 3 p.) 1928
- Février, J. C.** L'exportation française et la stabilisation du franc. (R. ind. 2222, 6 p.) 1928
- La fine dello "Statismo" monetario in Francia. (R. di pol. econ. p. 569 seq.) 1928
- The French franc. The question of the rate of stabilization. (Statist. 2543, 2 p.) 1926
- \***Gilis, H.** Le franc stabilisé et sa restauration. Etude écon. et jurid. Bruxelles: R. des sci. admin. appliquées 1929. 33 p. 8°
- Goldschmidt, R. W.** Aktienkurse und Geldentwertung in Frankreich. (Z. f. Handelswiss. 19-9, 5 p.) 1926
- Gothein** Valutadumping u. Frankenstabilisierung. (Ostdt. Wirtschaftsztg. 5-12, 3 p.) 1926
- Grünholz, F.** Die Aufwertung durch Napoleon I. nach der französischen Revolution. (Z. f. Handelswiss. 18-6, 4 p.) 1925
- \***Guerlet, A.** Le franc vaut-il le franc? Stabilisation et rajustement des bilans. Paris: Recueil Sirey 1929. 8°
- Gutfeld, A.** Die Stabilisation des Franken. (Dt.-fr. Rdsch. 2-8, 18 p.) 1929
- Hirsch, J.** Franc stabilization and economic understanding. The necessity for a final solution of the reparation question. (Econ. R. 15-1, 3 p.) 1927
- \***Hoover, G.** La stabilisation du franc. Strasbourg: Istra 1924. 120 p. 8°. [Thèse, Strasbourg]
- \***Hubrecht, G.** La dépréciation monétaire et l'exécution des contrats. Stabilisation du franc et valorisation des créances. Ouvrage couronné par la Faculté de droit et des sciences politiques de l'Université de Strasbourg. Paris: Dalloz 1929. 523 p. 8°. [Thèse, Strasbourg]
- Huddleston, S.** Stabilizing the franc. (New Statesman. 790, 2 p.) 1928
- Jèze, G.** Die Wertschwankungen des Franken. (Wiederaufbau in Europa. = Manchester Guardian Commercial Sondernr. 1, 2 p.) 1922
- \***Jonas, E.** Pourquoi le franc baisse? Paris: Rivière 1924. 100 p. 16°
- Katona, G.** Frankenstabilisierung. (Dt. Volksw. 2-39, 4 p.) 1928
- Keferstein** Die Baisse des Franc. (Dt. Einheit. 6-22, 4 p.) 1924
- \***Kelson, S.** Stabilisation et revalorisation en France et en Allemagne. Histoire de la monnaie lithuanienne liée au sort du mark allemand. Paris: Bossuet 1931. 258 p. 8°. [Thèse, Paris]
- \***Kelsonaite, S.** L'influence de la stabilisation monétaire sur les contrats en France et en Allemagne. 1931. viii, 260 p. 8°. [Thèse, Paris]
- Keynes, J. M.** Die Stabilisierung des Franken (Wirtschaftsdienst. 13-26, 2 p.) 1928
- \***Koch, P.** Les variations du pouvoir d'achat de l'unité monétaire nationale en France, en Angleterre et en Allemagne du 11 novembre 1918 au 1 janvier 1922. 1924. 365 p. 8°. [Thèse, Paris]
- Lachapelle, G.** La dette publique et le taux de stabilisation. (R. pol. et parl. 395, 11 p.) 1927
- \***Lacombe, F.** Les conséquences de la stabilisation monétaire française au point de vue des finances publiques. 1929. 138 p. 8°. [Thèse, Paris]
- \***Lacout, G. & Damougeot-Perron, G.** Le franc devant la crise (La monnaie dans l'économie contemporaine. La stabilisation du franc. L'afflux et le reflux de l'or. L'avenir du franc.) Paris: Payot 1934. 215 p. 8°. [Bibl. pol. et écon.]
- \***Lacquement, E.** La revalorisation du franc. 1926. 176 p. 8°. [Thèse, Lille]
- Lagrenée, J.** La dépréciation monétaire et les valeurs mobilières françaises. (R. d'écon. pol. 38-1, 33 p.) 1924

- \***Laveleye, A. de** La stabilisation belge, la revalorisation française. Exposé... (Comité national des études sociales et politiques. Séance du 31 janvier 1927 à la Cour de cassation, au palais de justice de Paris.) Paris: Jouve 1927. 92 p. 8°
- Langyel, E.** Unstable French franc, a pressing problem. (Annalist 719, 2 p.) 1926
- \***Leurence, F.** La stabilisation du franc. Précédée d'une théorie de la monnaie et suivie d'une étude sur la stabilisation du franc belge. Paris: Giard 1926. 198 p. 8°
- Lévy, G.** La stabilisation monétaire. (R. des études coop. 6-21, 6 p.) 1927
- Die Stabilisierung des französischen Franken. (Internat. genoss. Rdsch. 21-10, 4 p., 12, 5 p.) 1928
- Lévy, R. G.** La stabilisation du franc. (R. pol. et parl. 324, 13 p.) 1921
- Liesse, A.** La baisse du franc et la politique de l'Angleterre. (Economiste fr. 51-34, 3 p.) 1923
- A propos de la hausse du franc. (Economiste fr. 54-49, 3 p.) 1926
- Sur les garanties de stabilité qu'offrent les lois de stabilisation. (Economiste fr. 56-8, 3 p.) 1928
- Sur la dévalorisation du franc. (Economiste fr. 62-36, 3 p.) 1934
- \***Mabit, J.** La restauration monétaire et les bilans. L'instabilité du franc et l'économie privée. Répercussions fiscales de l'inflation. La valorisation de l'actif des entreprises et la péréquation de leur capital. Paris: Hachette 1928. iii, 170 p. 8°. [Thèse, Paris]
- I. De la nécessité préalable d'une stabilisation légale.
- II. La vie des entreprises et l'instabilité monétaire. 1. Effets des fluctuations de la monnaie sur les bilans. 2. L'exploitation des entreprises. 3. La situation des apporteurs de capitaux. 4. Les répercussions fiscales de l'instabilité monétaire.
- III. La valorisation des bilans. 1. Les méthodes préconisées dès avant la stabilisation du franc. 2. La restauration monétaire et la révision des bilans.
- IV. Droit comparé. 1. La valorisation des bilans en Pologne. 2. La valorisation des bilans en Belgique. Conclusion.
- \***MacLean, H. C.** French national finance and stabilization. 1928. 22 p. [Trade inform. bull. 586]
- Majorana, S.** La stabilizzazione e i pagamenti in oro in Francia. (Economia. p. 427 seq.) 1928
- Martin, G.** Les variations du franc et la condition des fortunes moyennes. (Economiste fr. 52-25, 3 p.) 1924
- La chute du franc. (R. de Paris. 33-15) 1926
- \***Michael, H.** Der Währungsverfall in Frankreich seit 1914 u. das Stabilisierungswerk 1926/27. 1929. 16 p. 4°. [Diss. Hamburg]
- \***Michel, G.** La dépréciation monétaire. Ses conséquences économiques et comptables. Paris: Béranger 1926. 52 p. 16°
- \***Molènes, J. de** La restauration financière du pays. Revalorisation: oui! Stabilisation forcée: non! Paris: Impr. du "Temps" 1926. 24 p. 8°
- Mondet, N.** Amortissement et stabilisation. (J. des écon. 84-juin, 8 p.) 1926
- M. Poincaré's triumph. Stabilisation of the franc. by Economicus. (R. of Rs. 462, 4 p.) 1928
- Morin, R.** Les conséquences boursières de la stabilisation. (R. de France. 8-4, 5 p.) 1928
- \*Mouvement des prix depuis la stabilisation du franc (Publication de la statistique générale de la France. Service d'observation des prix). Paris: Berger-Levrault 1934. 8°
- Nach der Stabilisation des Franken. (Dt. Oekonomist. 2216, 4 p.) 1928
- Nogaro, B.** Die französische Währungspolitik. Stabilisierung oder Revalorisation. (Dt. Volkswirt. 1-16, 2 p.) 1927
- Das Problem der gesetzlichen Stabilisierung in Frankreich. (Dt. Volkswirt. 1-40, 3 p.) 1927
- The stabilization of the Indo-Chinese currency. (Banker. 15-54, 7 p.) 1930
- \***Oestergaard, P.** Inflation und Stabilisierung des französ. Franc. 1928. 178 p. 8°. [Diss. Heidelberg]
- I. Die Verifizierung der Geldtheorie. 1. Der internationale Inflationismus der Krieger- und Nachkriegszeit. 2. Die französische Preiskurve 1914/26. 3. Oekonomische Wirkungen der Inflation. 4. Soziale Wirkungen der französischen Inflation: Die Bewegung der Löhne.
- II. Geschichte und Psychologie der französischen Inflation und Stabilisation. 1. Die Kriegsfinanzierung. 2. Die Situation nach Beendigung des Krieges. 3. Die Deflationsperiode. 4. Politik und Geldpolitik. 5. Geldtheorie und Geldideologie. 6. Krisis und Stabilisation.
- Oualid, W.** Zur Stabilisierung des französischen Franken. (Z. d. f. ges. Staatswiss. 87-3) 1929

- Painlevé, P.** La stabilisation du franc. (Mond. nouv. 8-5, 4 p.) 1926
- \***Pappenheim, F.** Aufriss einer Sozialgeschichte der Geldentwertungen in Frankreich bis John Law. 1930. xv, 92 p. [Diss. Köln]
- Payen, E.** La stabilisation de la piastre indo-chinoise et la baisse du métal-argent. (Economiste fr. 58-5, 2 p.; J. des écon. 89-juin, 5 p.) 1930
- Periskopos** Die Stabilisierung in Frankreich. (Glocke. 11-28, 4 p.) 1925
- \***Perquel, J.** Les conséquences de la stabilisation. Paris: Ed. du "Capital" 1928. ix, 104 p. 8°
1. La stabilité de fait. 2. L'exemple belge.
  3. L'exemple allemand. 4. L'expérience étrangère et la situation du marché français.
  5. La réforme des bilans. 6. La menace fiscale. 7. La valorisation des créances publiques et privées. 8. Conclusion.
- \***Planes-Burgade, G.** L'obstacle à notre relèvement économique. La crise du franc. Quelques éclaircissements sur la dépréciation de notre monnaie et les variations du change. Bordeaux: Delbret 1923. 16°
- Pommery, L.** Les crises de stabilisation. (Réf. écon. 35-12, 2 p.) 1926
- Il faut stabiliser le franc. (Réf. écon. 35-27, 2 p.) 1926
- Les conditions techniques de la stabilisation. (Réf. écon. 36-1, 6 p.) 1927
- Un an de stabilité monétaire. (Réf. écon. 37-2, 5 p.) 1928
- \***Puaux, H.** La stabilisation de la piastre indo-chinoise. 1929. 127 p. 8°. [Thèse, Lyon]
- \***Ragot, L.** Pourquoi Poincaré ne stabilisera pas? Paris: Fayard 1928. 152 p. 8°
- Raphaël, G.** Die französische Währungspolitik seit der Stabilisierung und ihre Folgen. (A. f. Sozialwiss. 65-1, 20 p.) 1931
- Recouly, R.** A quand la stabilisation? (R. de France. 6-22, 9 p.) 1926
- Le remède monétaire. "Stabilisation" ou "Déflation." (J. des sociétés, 8-26, 3 p.) 1922
- \***Robilliard, A.** Les essais de protection individuelle contre la baisse du franc. Paris: Libr. gén. de droit et de jurisprudence 1928. 102 p. 4°. [Thèse, Paris]
- Romier, L.** Stabilité de fait et stabilisation légale. (R. des deux mondes. 7, 38, 3, 14 p.) 1927
- Après un an de stabilisation du franc. (R. des deux mondes. 7,43,2, 11 p.) 1927
- Rouvier** La stabilisation du franc. (Europe nouv. 432) 1926
- \***Royot, E.** Essai statistique sur la valeur du franc. Communication faite à la séance du 15 avril 1925 de la Société de statistique de Paris. Nancy-Paris-Strasbourg: Berger-Levrault 1925. 32 p. 4°
- Die Rückwirkungen der Währungsstabilisation auf die französischen Banken. (Bank Guyer-zeller A. G. Zürich. MBer. 3-8, 5 p.) 1928
- Rüstow, H.-J.** Vor der Stabilisierung der französischen Währung. (Mag. d. Wirtschaft. 4-2, 4 p.) 1928
- \***Salmon, P.** Le taux de capitalisation des valeurs mobilières et les variations monétaires en France. 1927. 120 p. [Thèse, Paris]
- Salvatori, M.** Il mercato monetario e finanziario in Francia dopo la stabilizzazione. (Economia. p. 357 seq.) 1929
- Sanchez, J. A. M. de** Stabilizing the franc. (Foreign Affairs. 7-1, 8 p.) 1928
- Sauvaire-Jourdan, F.** Le rapport du Comité des experts et la revalorisation du franc. (R. d'écon. pol. 40-6) 1926
- \***Sazy, G.** La réforme monétaire française, du plan des experts à la stabilisation légale. Paris: Recueil Sirey 1930. 348 p. 8°. [Thèse, Toulouse]
- Introd. 1. La crise monétaire. 2. Les solutions en présence. 3. Le plan du Comité des experts et les circonstances qui ont amené la constitution du ministère d'union nationale. 4. Le programme du gouvernement d'union nationale. 5. La théorie psychologique de la monnaie et du change.
- I. L'équilibre du Budget. 1. Le problème de l'équilibre budgétaire. 2. Le parachèvement de l'équilibre budgétaire.
  - II. L'assainissement de la Trésorerie. 1. Le problème de la Trésorerie. 2. L'assainissement de la Trésorerie.
  - III. L'équilibre de la balance des comptes. 1. Le problème de la balance des comptes. 2. Les excédents de la balance des comptes pendant la période de la réforme monétaire.
  - IV. La politique monétaire. 1. Le problème de la politique monétaire. 2. La politique monétaire du gouvernement d'union nationale.
  - V. La stabilisation légale. 1. La liquidation du passé—La liquidation de la dette de l'Etat envers la Banque de France. 2. Organisation du nouveau système monétaire.
  - VI. Les conséquences économiques de la réforme monétaire. La crise de stabilisation. Conclusion.
- Schmidt, W.** Die Stabilisierung des französischen Franc und des rumänischen Leu. (Mitt. d. Verb. österr. Banken u. Bankiers. 11-3/4, 11 p.) 1929

- \***Schmitz, J.** Inflation und Stabilisierung in Frankreich 1914/28. Bonn, Leipzig: Schroeder 1930. vii, 228 p. 1 Taf. 4°. [Bonner staatswiss. Untersuch. 18]
1. Ueberblick über die französische Finanzpolitik von 1914/26. 2. Die Anleihepolitik von 1914 bis August 1926.
- \***Schmölders, G.** Frankreichs Aufstieg zur Weltkapitalmacht. Diplomatie und Strategie des französischen Geldes seit 1926. Berlin: Junker & Dünhaupt. 1933. 94 p. [Wirtschaftsprobleme der Gegenwart. 22/23]
- Schönberg, A.** Versicherungsaufwertung in Ungarn. Vergleich mit der deutschen Lösung. (Weltw.-Ztg. 10-38, 2 p.) 1925
- Schröder, G.** Von der Stabilisierung des Franken. (Dt. Spiegel. 5-19, 6 p.) 1928
- Southworth, C.** Depreciation of the franc in a French colony. (Q. J. of Econ. 40-3, 4 p.) 1926
- \***Soye, L. de** Clauses tendant à éviter les conséquences de la baisse du franc. 1927. [Thèse, Lyon]
- \*La stabilisation française. Paris: Recueil Sirey 1927. 8°. 2 p. [Repr.: R. des sci. écon. avril 1927]
- Stabilization: Italian, Belgian and French. (Economist. 4402, 2 p.) 1928
- Stabilization of the franc. (Europ. Econ. & Pol. Survey. 3-20, 22 p.) 1928
- Stabilising the franc. (Statist. 2523, 1 p.) 1926
- Stabilising the French franc.—What rate should be adopted? (Economist. 4344, 2 p.) 1926
- La stabilizzazione del franco francese nella relazione del governatore della Banca di Francia. (R. di pol. econ. p. 305 seq.) 1929
- Stern, E.** Stabilisierung der französischen Währung. (Dt. Volkswirt. 2-7, 3 p.) 1927
- Das französische [Stabilisierungs] "Wunder." (Mag. d. Wirtschaft. 4-29, 3 p.) 1928
- Stern-Rubarth, E.** Zur Psychologie der französischen Stabilisierung. (Dt.-fr. Rdsch. 1-8, 5 p.) 1928
- Théry, R.** Le problème de la stabilisation du franc. (Economiste europ. 1709, 3 p.) 1924
- La stabilisation légale du franc. (Economiste europ. 1895, 3 p.) 1928
- La stabilité monétaire française dans le désordre universel. (Economiste europ. 2120, 2 p.) 1932
- \***Thiers, A.** La revanche du franc. 10. éd. Paris: Crès 1930. xv, 298 p. 16°
1. La mystique de la stabilisation. 2. De la stabilité monétaire à la stabilité des prix.
3. La valeur réelle de la monnaie. 4. Les conditions techniques de la stabilisation légale et ses conséquences monétaires. 5. Les conséquences économiques de la stabilisation. i. Contrairement aux prévisions, la stabilisation du franc dans les conditions où elle est intervenue, devait inévitablement amener une hausse des prix. ii. La hausse des prix et le marché du travail. iii. Le commerce extérieur de la France à la suite de la stabilisation. 6. Les conséquences financières de la stabilisation. i. Le franc or et le franc papier. ii. La dépréciation du franc et l'aggravation des charges budgétaires. iii. La dépréciation du franc dans les relations extérieures. iv. La dépréciation du franc et le marché des valeurs. v. La situation comptable de la France dans le monde. 7. La hantise de l'or. 8. Les exemples étrangers. i. Le dollar. ii. La livre. iii. Le franc belge. iv. La lire. v. La peseta. 9. Les conséquences de dix années de dépréciation monétaire en Europe.
- \***Valois, G.** Le mystère de la rue de Rivoli. Grandeur et décadence du franc sous le ministère de M. de Lasteyrie. Paris: Nouv. libr. nat. 1924. 16°
- Die Veränderung des Geldwertes und der Lebenskosten in Frankreich und Italien im Jahre 1926. (Schweiz. Konsumver. 27-1, 2 p.) 1927
- Wahl, A.** Einwirkungen der Geldentwertung bei Rechtsverhältnissen in Frankreich. (Dt. Juristen-Ztg. 30-10, 6 p.) 1925
- Weil, B.** Das deutsch-französische Aufwertungsabkommen. (Jurist. WSchr. 55-15, 2 p.) 1926
- Wiert, C. de** La stabilisation monétaire et ses conséquences. (R. bleue. 64-23, 3 p.) 1926
- Zutrauen, F.** Revalorisierung oder Stabilisierung in Frankreich? (Bankwiss. 3-19, 4 p.) 1927

## Germany

- Abraham, H. F.** Die Rechtsprechung auf dem Gebiete der freien Aufwertung—eine Gefahr für Recht und Wirtschaft! Ein Aufruf zu öffentlicher Abwehr. (Mitt. d. Ind.- u. Handelskammer Berlin. 25-22, Beil., 7 p.) 1923
- Neue Währungssorgen? Rentenmark—Goldmark—Reichsmark. [Bedenken gegen den Fortfall der Entwertungsklausel bei Einführung der Reichsmark.] (Dt. Juristen-Ztg. 29-23/24, 6 p.) 1924
- Aufwertungsgrenzen und "Clausula." (Jurist. Rdsch. 1-2, 6 p.) 1925

**Abraham, H. F.** Die Aufwertung als revolutionäres Notrecht. (Jurist. Rdsch. 1-5, 8 p.) 1925

— Anträge zur Abänderung des Entwurfs eines Aufwertungsgesetzes nebst Begründung. (Jurist. Rdsch. 1-7/8, 7 p.) 1925

— Aufwertungskrise. (Dt. Juristen-Ztg. 31-15, 5 p.) 1926

— Ein Jahr Aufwertungsgesetz. (Dt. Juristen-Ztg. 32-1, 6 p.) 1927

— Gesetz über die Verzinsung aufgewerteter Hypotheken und ihre Umwandlung in Grundschulden sowie über Vorzugsrenten vom 9. Juli 1927 (Reichsgesetz-Bl. 1927, 171), (Quasowski). (Jurist. WSchr. 56-31, 4 p.) 1927

— Recht und Währung. [Entwertungsklausel.] (Dt. Juristen-Ztg. 36-20, 6 p.) 1931

\* — & **Loebinger, R.** Die Aufwertungsgesetzgebung. Gesetz über die Aufwertung von Hypotheken u. a. Ansprüchen Aufwertungsgesetz vom 16. Juli 1925. Dargest. u. Kommentiert von H. F. Abraham. — Gesetz über die Ablösung öffentlicher Anleihen vom 16. Juli 1925. Dargest. von R. Loebinger. Berlin: Hobbings 1925. 420 p. 8°. [Dt. Wirtschaftsgesetze. 4]

I. Grundprobleme des Aufwertungsrechts.

II. Gesetz über die Aufwertung von Hypotheken und anderen Ansprüchen vom 16. Juli 1925 (Aufwertungsgesetz). Gesetzestext mit Kommentar einschliesslich der bisher erschienenen Durchführungsverordnungen. 1. Allgemeine Bestimmungen. 2. Aufwertung von Hypotheken. 3. Aufwertung von Grundschulden, Rentenschulden und Reallasten, Schiffs- und Bahnpfandrechten. 4. Aufwertung von Industrieobligationen und verwandten Schuldverschreibungen. 5. Aufwertung von Pfandbriefen und verwandten Schuldverschreibungen. 6. Aufwertung von Schuldverschreibungen der Genossenschaften des öffentlichen Rechts und verwandter Körperschaften als Unternehmer wirtschaftlicher Betriebe (§ 51/54). 7. Aufwertung von Sparkassenguthaben (§ 55/58). 8. Aufwertung von Versicherungsansprüchen (§ 59/61). 9. Aufwertung anderer Ansprüche. 10. Vergleiche und andere Vereinbarungen über die Aufwertung — Gerichtlich Entscheidungen. 11. Aufwertungsverfahren (§ 69/77). 12. Schluss- und Uebergangsbestimmungen (§ 78/88). Tabelle zur Berechnung des Goldmarkbeitrages.

III. Einführung in das Anleiheablösungsgesetz.

IV. Gesetz über die Ablösung öffentlicher Anleihen vom 16. Juli 1925. Text.

\***Abramowitz** Die Sparkassenaufwertung in Preussen. Ein Ueberbl. über d. endgültige Regelung an Hand d. einschläg. Gesetze,

Verordnungen u. Erlasse unter Mitarb. von H. Perdelwitz. Berlin: Buchkunst, Graph. Werkstätten 1931. 112 p. 2 Bl. 8°

Die Abwicklung von Aufwertungsansprüchen in der Lebensversicherung durch Ausgabe von Mobilisierungspfandbriefen. Eine Denkschrift über das Nordsternverfahren. by H. R. (Dt. Versicherungs-Ztg. 68-12, 2 p.) 1927

\***Ackermann, K.** Die Stellungnahme der deutschen Presse zum Stabilisierungsproblem der Mark 1919-1923. 1929. 87 p. 8°. [Diss. Köln]

**Adam, R.** Aufwertung vom Spareinlagen bei Banken. (Z. f. Rechtspf. in Bayern. 21-6, 3 p.) 1925

**Adler** Die Verzinsung nachträglich aufwertender Hypotheken. (Dt. Wohnungs-A. 2-1, 5 p.) 1927

**Altmann, S. P.** Die Stabilisierung der Mark. (A. f. Sozialwiss. 57-2, 13 p.) 1927

**Ammermann, Th.** Die Geltendmachung von Aufwertungsansprüchen aus Amortisationshypotheken. (Sparkasse. 45-18, 5 p.) 1925

\***Anders, F.** Der Stand der Aufwertung. Eine unparteiische Untersuchung ihrer volkswirtschaftl. Grundlagen u. Voraussetzungen. Berlin: Dohrn 1924. 40 p. 8°

\***Apt, M.** Zur Reform der Anleihe-Ablösung. Berlin: Heymann 1927. iii, 32 p. 8°

**Aries** Reichsmarkforderungen und Feingoldhypotheken. (Bankwiss. 10-5, 5 p.) 1933

**Arndt, K.** Zur Bedeutung der Klausel "1 Goldmark=10/42 Dollar." (Jurist. Rdsch. 9, 5 p.) 1934

**Arnold** Die Aufwertung der Barkautionen, die auf Grund von Privatdienstverträgen eingerichtet sind. (Sparkasse. 46-5, 2 p.) 1926

— Zwei grundsätzliche Entscheidungen über die Herabsetzung des Aufwertungsbetrages der Hypothek gemäss § 15 AufwG. (Versich. u. Geldwirtschaft. N. F. 3-39, 3 p.) 1927

Aufwertung der Betriebspensionskassen. (Dt. Werkmeister-Ztg. 44-14, 3 p.) 1927

Die Aufwertung der öffentlichen Anleihen. (Mag. d. Wirtschaft. 1-9, 4 p.) 1925

Die Aufwertung der Reichsanleihe. by E. St. (Oesterr. Volksw. 17-20, 3 p.) 1925

Die Aufwertungsfrage. by E. St. (Oesterr. Volksw. 17-20, 3 p.) 1925

Die Aufwertungsfrage. by F. S. (Dt. Wacht. 11-3, 4 p.) 1925

\*Das Aufwertungsgesetz (Gesetz über die Aufwertung von Hypotheken und anderen Ansprüchen "Aufwertungsgesetz") vom 16. Juli 1925 mit der Verordnung vom 21. Juli 1925 über die Einrichtung und das Verfahren der Aufwertungsstellen. Wortlaut u. Erl. mit Sachreg. u. e. Zusammenstellung d. im Gesetz bestimmten Termine u. Fristen hrsg. von **M. Pulvermann**. Halberstadt: Meyer 1925. 67 p. 8°

\*Das Aufwertungsgesetz (Gesetz über die Aufwertung von Hypotheken und anderen Ansprüchen vom 16. VII. 1925), nebst d. Ergänzungsgesetz vom 9. VII. 1927 und den Durchführungsbestimmungen des Reichs und der Länder. Mit zahlr. Beispielen erl. von **Schlegelberger** u. **R. Harmening**. 5. vollst. neubearb. Aufl. Berlin: Vahlen 1927. 1203 p. 8°

Aufwertungs-Moratorium. [Teilmoratorium für Aufwertungshypotheken.] (Mag. d. Wirtschaft. 6-26, 4 p.) 1930

Aufwertungs-Novellen und Aufwertungsanleihen: Die deutsche Aufwertungsgesetzgebung und das Schlussgesetz von 1930.—Aufwertungs-Novelle und Aufwertungsanleihen der Bodenkreditinstitute.—Die Aufwertung der Industrieobligationen.—Aufwertungsanleihen des Reichs, der Länder und Kommunen. (Plutus-Briefe. 7-8, 36 p.) 1930

Die Aufwertungsregelung im Saargebiet. Verordnung betr. die Aufwertung von Hypotheken, Grundschulden, Rentenschulden, Reallasten und anderen Ansprüchen. (Saar-Wirtschafts-Ztg.—Sondernummer. 34-18) 1929

Die Aufwertungsvorschläge der Regierung. (Mag. d. Wirtschaft. 1-8, 2 p.) 1925

Aufwertung und Bankinteresse. (Plutus-Briefe. 2-8, 10 p.) 1925

Aufwertung und kein Ende! (Mag. d. Wirtschaft. 1-23, 2 p.) 1925

**Bacciocco** Das deutsch-französische Aufwertungsabkommen vom 10. Mai 1926. (Bank-A. 25-18, 2 p.) 1926

**Ballin, J.** Die Geldentwertung als Problem der Privatrechtsgesetzgebung. (Gruchots Beitr. 3. Erl. d. Dt. Rechts. 66-3/4, 76 p.) 1923

Bankgold. [Die Kapitalien der Berliner Banken nach der Umstellung auf Goldmark.] (Plutus. 21-24, 3 p.) 1924

**Baudin, L. G. Giustiniani:** Le commerce et l'industrie devant la dépréciation et la stabilisation monétaire. L'expérience allemande. (R. d'écon. pol. 41-3, 2 p.) 1927

\***Baumer, M.** Aufwertung oder Umwertung. Prakt. Vorschläge zur Aufwertungsfrage. Vorw. M. Baumer. Augsburg-Anmühle: Bärenreiterverl. 1925. 58 p. 8°

**Becker, K.** Aufwertung nichthypothekarisch gesicherter Grundstückskaufpreise. (Jurist. WSchr. 54-23, 5 p.) 1925

\***Beckerath, H. v.** Die Markvaluta. Ueb. d. Notwendigkeit, d. Valutafrage nicht als reines Geld- u. Aussenhandelsproblem sondern nach ihrem Zusammenhang m. d. Hebung d. Güterproduktion zu behandeln: u. üb. d. Notwendigkeit d. Stabilisierung d. Marktkurses auf e. devalvierten Stande. Jena: Fischer 1920. 37 p. 8°

\***Behnsen, H. & Genzmer, W.** Die Folgen der Mark-Entwertung für uns und die andern. Leipzig: Meiner 1921. x, 127 p. 8°

— Die Ausschaltung des Währungsrisikos nebst Grundsätzen und Umrechnungstafeln für eine Goldmarkbilanz. Leipzig: Meiner 1923. v, 125 p. 8°

**Behre** Die freie Aufwertung bei Grundstückskäufen aus der Inflationszeit. (Ztg. d. Vereins Dt. Eisenbahnverw. 67-41, 4 p.) 1927

**Berliner, L.** Die Aufwertung der Sachversicherungsverträge. (Z. f. d. ges. Versicherungswiss. 25-3, 14 p.) 1925

— Die Aufwertung der Lebensversicherungsverträge. (Versicherungspraxis. 24-3, 2 p.) 1926

— Die Aufwertung der privaten Versicherungsverträge. (Dt. Steuer-Ztg. 15-7, 5 p., 8, 5 p.; Versicherungspraxis 24-6, 5 p.) 1926

\* — & **Pfaffenberger, E.** Die Vorschriften über Aufwertung von Versicherungsansprüchen (Verordnung über die Aufwertung von Versicherungsansprüchen) eingehend erl. Tl. 2: Sach- und Transportversicherung; Unfall- und Haftpflichtversicherung. Berlin: de Gruyter 1926. 112 p. 8. [Guttentagsche Samml. dt. Reichsgesetze. 164 a]

**Bernstein, H. H.** Die Durchführungsverordnung zum Aufwertungsgesetz vom 29. Nov. 1925. (Jurist. WSchr. 55-2, 8 p.) 1926

**Bernstein, O.** Zum Gesetzentwurf über die Aufwertung privatrechtlicher Ansprüche. (Bank-A. 24-13, 4 p.) 1925

**Berolzheimer, H.** Der neue Entwurf des Aufwertungsgesetzes unter Berücks. der Reichsratsbeschlüsse. (Allg. Steuer-Rdsch. 8-11/12, 6 p.) 1925

- \*Die Berücksichtigung der Geldentwertung in den Steuergesetzen. Berlin: Germania 1923. 8 p. 4°. [Reichszentrale f. Heimatdienst. Richtlinie. 63]
- Die Besserung der Mark. (Wirtschaft u. Statist. 3-6, 4 p.) 1923
- Best** Goldmark und Papiermark; die neueste Stellungnahme des Reichsgerichts. (Jurist. WSchr. 51-23, 2 p.) 1922
- Zur Aufwertung von Hypotheken, Industrieobligationen und sonstigen langfristigen Geldforderungen. (Jurist. WSchr. 52-23, 4 p.) 1923
- Zur Aufwertungsfrage. (Deutschlands Erneuerung. 9-5, 4 p.) 1925
- Das Volksbegehren zur Aufwertung und Anleiheablösung. (Dt. Juristen-Ztg. 31-14, 5 p.; Jurist. WSchr. 55-13, 2 p.) 1926
- \***Beutner, W. & Beutner, J.** Der Ersatz des Geldentwertungsschadens nach heutigem Recht. Berlin: Heymann 1923. 27 p. 8°
- Biedermann** Das Ergebnis der Aufwertung von Lebensversicherungen. (Jurist. WSchr. 52-2, 4 p.) 1923
- Grundzüge eines vereinfachten Aufwertungsverfahrens für Lebensversicherungen. (Versich. u. Geldwirtschaft. N. F. 1-13, 2 p.) 1925
- Die Ausführungsbestimmungen des Reichsaufsichtsamts für Privatversicherung vom 6. 8. 26 zur Aufstellung des Teilungsplanes für die Aufwertung von Lebensversicherungen. (Versich. u. Geldwirtschaft. N. F. 2-35, 3 p., 36, 3 p.) 1926
- Biesel, C. C.** Die Mobilisierung aufgewerteter Versicherungsansprüche nach dem zwischen dem Nordstern-Konzern, Berlin-Schöneberg, und der Westdeutschen Bodenkreditanstalt in Köln angewandten Verfahren. (Bankwiss. 5-17, 4 p.) 1928
- Bindewald** Das Aufwertungsrecht des Saar-gebiets. (Dt. Juristen-Ztg. 33-23, 4 p.) 1928
- Blau, B.** Ablösung der Aufwertungshypotheken auf dem Wege der Versicherung. [Haus-lebensversicherung] (Dt. Wohnungs-A. 2-3, 5 p.) 1927
- \***Bloch, R.** Handwörterbuch der Aufwertungs-rechtsprechung. 2. Aufl. Berlin: Fichtner 1929. 218 p. 8°
- Blüher** Geschichtliches zum Aufwertungs-problem. (Ztg. d. Vereins Dt. Eisenbahn-verw. 65-12, 3 p.) 1925
- \***Bockius, F.** Aufwertungspolitik. Das Unrecht bei der Aufwertung. Schicksal oder Ent-rechtung der Rentner? Mainz: Falk 1925. 47 p. 8°
- Boeckmann** Aufwertung von wiederkehrenden Leistungen nach rechtskräftigem Urteil. (Leipziger Z. f. dt. Recht. 19-10, 7 p.) 1925
- Böhm** Geldentwertung und Preisbildung bei der Ausfuhr. [In: Handelskammer Augsburg. Prot. d. am 18. Nov. 1921 abgeh. 58. öff. Sitzung. 6 p.] 1921
- \***Bonn, M. J.** Die Stabilisierung der Mark. Im Aufdr. d. Reichsfinanzministeriums. Berlin: Verl. f. Politik u. Wirtschaft 1922. 60 p. 8°
- (Wiederaufbau. 1, 3 p.) 1922
- \***Bonus, M.** Der Reichstag, die Aufwertungs-tragödie und das deutsche Volk. Gedanken und Meinungen. Im Anhang d. Gesetze. Leipzig: Müller 1925. 48 p. 8°
- \***Börner, H.** Die Deutschen Staatsbanken als Mittel deutscher Wirtschaftspolitik seit der Stabilisierung der Währung. 1932. [Diss. Jena]
- Borries, v.** Provinzielle Einheitssätze, nicht Individual-Aufwertung bei den Preussischen Sparkassen. (Z. f. Selbstverw. 14-2, 4 p.) 1931
- Boeters** Aufwertung—oder Aufbesserung?— von Inflationspreisen insbesondere von Restkaufgeldern. (Dt. Juristen-Ztg. 31-8, 6 p.) 1926
- \***Bott, K.** Abschreibung, Geldentwertung, Besteuerung. Hamburg: Hanseat. Ver-lagsanst. 1922. 20 p. 8°. [S.-Repr.: Kultur des Kaufmanns]
- Böttger, H.** Vergleiche im Aufwertungsgesetz. (Sparkasse. 45-22, 4 p.) 1925
- Bovensiepen** Hauptgrundsätze der Aufwertung. (Dt. Oekonomist 2102, 3 p.) 1925
- Braunthal, A.** Ursachen und Wirkungen des Markzusammenbruchs. (Arbeit & Wirtschaft. 1-14, 4 p.) 1923
- \***Bredt, J. V.** Hypotheken-Aufwertung. Mün-chen: Lehmann 1924. 8 p. 8°. [Repr.: Deutschlands Erneuerung. 8, 9.]
- Breska, H. v.** Die Aufwertung der industriellen Obligationen. (Gruchots Beitr. z. Erl. d. Dt. Rechts. 68-2/3, 53 p.) 1925
- Die Prolongation der Aufwertungs-Obliga-tionen. (Bank-A. 31-6, 4 p.) 1931
- Aufwertung. (HWB. d. Bankwesens. 4 p.) 1932
- Brink** Die Pfandbriefaufwertung. (Bank-A. 25-6, 5 p., 7, 5 p.) 1925/26
- \***Brinkmann, Th.; Hagmann, H. & Lang, E.** Landwirtschaft und Geldentwertung. Stutt-gart: Ulmer 1921. iv, 43 p. 2 Fig. 8°. [S.-Repr.: Fühlings landwirtschaftl. Ztg. 1921]

- The currency stabilization problem. (Germany) (Fed. Res. Bull. 9-1, 8 p.) 1923
- Dalberg** Ein Jahr feste Währung. (Sächs. Ind. 21-4, 4 p.; Wirtschaftsdienst. 10-1, 4 p.) 1925
- \***Dalberg, R.** Banko-Mark im Aussenhandel? Die Entwicklung e. neuen stabilen Geld-einheit aus d. Erkenntnis von Triebkräften u. Auswirkungen d. Währungsverfalls. Mit 4 graph. Darst. Berlin: Hobbing 1922. v, 79 p. 8°. [Handbücher d. Industrie- u. Handels-Ztg. 3]
- Daltrop** Verstösst das Aufwertungsgesetz gegen die Verfassung? (Jurist. WSchr. 54-16, 2 p.) 1925
- Dannenbaum** Die Bedeutung der Auskunft im Aufwertungsgesetz. (Jurist. Rdsch. 3-3, 4 p.) 1927
- \***Dannenbaum, F.** Das kommende Aufwertungs-gesetz. Eine nüchterne Betrachtung. Berlin: Vahlen 1925. 24 p. 8°
- Delius** Die Rückzahlung der Landes- und Gemeindedarlehen (zum Wohnungsbau) in entwertetem Gelde. (Z. f. Wohnungswesen. 21-13, 1 p.) 1923
- Die Aufwertung der Markanleihen und Schuldscheindarlehen der Gemeinden und der Gemeindeverbände. (Preuss. Verw.-Bl. 47-38, 3 p.) 1926
- Aufwertung der Schuldscheindarlehen der Gemeinden, der Kautionen und des Ver-kaufserlöses für beschlagnahmte Gegenstände. (Preuss. Gemeinde-Ztg. 19-17, 3 p.) 1926
- \*Denkschrift der Reichs-Arbeitsgemeinschaft der Aufwertungs-Geschädigten- und Mieter-Organisationen zu dem am 28. Febr. 1927 dem Herrn Reichsmin. d. Innen überreichten Antrag auf Zulassung des Gesetzentwurfes zur Wiederherstellung des Volksvermögens zum Volksbegehren. Berlin: Reichs-Arbeits-gemeinsch. 1927. 112 p. 8°
- Dernburg, B.** Stabile deutsche Währung. (Heimatdienst. 10-2, 3 p.) 1930
- \***Dernis, G.** La renaissance du crédit en Alle-magne. Une synthèse documentée contre la revalorisation. Paris: Pr. univ. de France 1927. 138 p. 12°
1. Les sources du crédit. 2. La politique des banques de crédit. 3. Les instituts officiels de crédit. 4. Conclusion.
- \*Der deutsche Währungs- und Arbeitsbund, d. Bund gegen Geldentwertung, Wucher, Teuerung u. Hungersnot, in d. am Sonntag, 22. II. 1920 im Stadtgartensaal in Stuttgart stattgehabten vollbesetzten Versammlung durch einstimm. Beschluss gegr. gemäss dem v. d. grösseren Parteien d. württemberg. Landtags vereinbarten Programmwurf. Stuttgart: Koch, Neff & Oetinger 1920. 24 p. 8°
- \***Bröner, H.** Das Geldentwertungsgesetz (Gesetz über die Berücksichtigung der Geldentwertung in den Steuergesetzen) vom 20. III. 1923. Erl. Berlin: Elsner 1923. 48 p. 8°. [Elsner's Betriebs-Bücherei. 25]
- Bucerius** Geldbegriff und Aufwertung. (Dt. Juristen-Ztg. 31-13, 6 p.) 1926
- Bühler** Geldentwertung und Steuererhebung. Die Einwirkung der aussenpolitischen Spannungen auf unsere Steuerprobleme. (Dt. Nation. 5-5, 6 p.) 1923
- \***Busch, A.** Oeffentl. Bewirtschaftung. Steuern und Aufwertungsfragen. Frankfurt a. M.: Hauser 1925. 46 p. 8°
- \***Bussot, A.** La reconstruction des assurances sociales allemandes après la chute du Mark. 1930. 82 p. 8°. [Thèse, Lyon]
- Cammerer** Der Geschäftsbereich der Aufwertungsstelle. (Z. f. Rechtspf. in Bayern. 20-21, 4 p.) 1924
- Die Aufwertung von hypothekarisch gesicherten Kaufpreisrestforderungen. (Z. f. Rechtspf. in Bayern. 21-4, 4 p.) 1925
- Aus der Aufwertungspraxis. (Z. f. Rechtspf. in Bayern. 22-5, 3 p.) 1926
- Die Novelle zum Aufwertungsgesetz. (Leipziger Z. f. dt. Recht. 21-15/16, 12 p.) 1927
- Cassel, G.** Stabilization of the German standard. (Statist. 2399, 2 p.) 1924
- Christian, S.** Wer ist schuld an der Entwer-tung der Mark? (Allg. Rdsch. 19-46, 3 p.) 1922
- Citron** Die Gefährdung des Grundkredites. [durch rückwirkende Kraft der Aufwertung.] (Bl. f. Genossenschaftswesen. 72-27, 2 p.) 1925
- Clauss, H.** Die Aufwertung für Werkspen-sionäre. (Soz. Praxis. 35-25, 4 p., 26, 3 p.) 1926
- Die Aufwertung von Spareinlagen der Arbeitnehmer. (Soz. Praxis. 35-39, 6 p.) 1926
- Cohen, M.** Die deutsche Politik in der Schwebe. [Zollpolitik, Aufwertungsfrage.] (Sozialist. MH. 31-7, 5 p.) 1925
- Cohn, L.** Bestehen Aufwertungsrechte trotz Umtausches von Industrieobligationen oder Pfandbriefen für die alten Gläubiger? (Jurist. WSchr. 55-8, 2 p.) 1926
- Conrad, H.** Nochmals die Aufwertung von Versicherungsansprüchen. (Z. f. Ver-sicherungswesen. 49-33, 4 p.) 1926
- Culemann, H.** Nochmalige Hinausschiebung der Rückzahlungsfrist für die Aufwertungshy-potheken? (Ruhr & Rhein. 13-31, 2 p.) 1932

- \*Deutsche Zahlungsbilanz und Stabilisierungsfrage. Im Aufdr. d. Vereins veranzt. von K. Diehl u. F. Somary. Gutachten, hrsg. von E. Lederer. Tl. 1. München Duncker & Humblot 1923. vi, 118 p. 8°. [Schr. d. Vereins f. Sozialpol. 164, 1]
- Deutschland und die Dollarabwertung. (Dt. Wirtschafts-Ztg. 30-17, 2 p.) 1933
- Dewerny, W. E.** Zwei Probleme der Geldentwertung. 1. Berücksichtigung der Geldentwertung bei Schuldnerverzug, Preistreiberverordnung, Vertragsbeständigkeit. 2. Rechtsprechung und Geldentwertung. (Wirtschaftl. Nachr. a. d. Ruhrbez. 4-8, 3 p.) 1923
- Die grundsätzliche Entscheidung des grossen Senates des Reichswirtschaftsgerichtes über die Berücks. der Geldentwertung bei Okkupationsschäden. (Wirtschaftl. Nachr. a. d. Ruhrbez. 4-12, 2 p.) 1923
- Zum Hypothekenaufwertungsgesetz. Die dingliche und persönliche Schuld § 4.—Wann kann der Eigentümer oder persönliche Schuldner eine Herabsetzung der Aufwertung unter 25% gemäss § 8 und 15 verlangen? (Wirtschaftl. Nachr. f. Rhein u. Ruhr. 7-7, 4 p.) 1926
- Zur Aufwertung der bei amtlichen Hinterlegungsstellen deponierten Gelder. (Wirtschaftl. Nachr. f. Rhein u. Ruhr. 7-10, 1 p.) 1926
- Die neuesten grundsätzlichen Entscheidungen des Reichsgerichts und der Oberlandesgerichte in Aufwertungssachen. (Wirtschaftl. Nachr. f. Rhein u. Ruhr. 7-20, 3 p.) 1926
- Die Härteklausele des § 15. AufwG. und die Haftung des persönlichen Schuldners. (Wirtschaftl. Nachr. f. Rhein u. Ruhr. 7-36, 2 p.) 1926
- Dispeker, F.** Die Durchführungsverordnung zum Aufwertungsgesetz. (Dt. Hausbesitzer-Ztg. 32-51, 5 p.) 1925
- \*Dollar und Goldmark im Verhältnis zur Papiermark von Juli 1914 bis Dez. 1923. Verband Deutscher Bücherrevisoren, eingetr. Verein . . . Leipzig: Mylius 1924. 32 p. 8°
- \***Drittler, G.** Der Goldwert der Papiermark für die Jahre 1918/23 an Hand d. amtl. Dollarkurses. Hrsg. unter Mitw. von B. Mootz. Elbing: Drittler 1924. ii, 70 p. 4°
- Du Chesne** Zur Aufwertung der Wertrechte. (Leipziger Z. f. dt. Recht. 20-5, 7 p.) 1926
- Düll** Aufwertungsfragen. (Z. f. Rechtspf. in Bayern. 21-1, 2 p.) 1925
- \***Dungern, F. F. v.** Die Entwertung des deutschen Geldes im internationalen Verkehr. Berlin: Sack 1920. ii, 30 p. 8°
- \*Durchführungsverordnung zum Aufwertungsgesetz vom 29. XI. 1925 nebst den Durchführungsvorschriften der Länder. Mit zahlr. Beisp. erl. von F. Schlegelberger u. R. Harmening. Zugl. 1. Erg. zum Kommentar d. Verfasser zum Aufwertungsgesetz. Berlin: Vahlen 1926. xii, 257 p. 8°
- Eberstadt, G.** Nochmals Aenderung der Pfandbriefaufwertung? (Bank-A. 25-19, 2 p.) 1926
- Ehrenberg, V.** Versicherungswert, Prämie, Geldentwertung. Ein Beitrag zur Aufwertungsfrage in der Schadensversicherung. (Jurist. WSchr. 54-16, 2 p.) 1925
- Ehrenzweig, A.** Leibrentenversicherung und Aufwertung. (Juristen-Bl. 54-3/4, 6 p.) 1925
- Eichler, O.** Geldentwertung und Betriebsrätegesetz. (Betriebsräte-Z. 4-6, 4 p.) 1923
- \*Eingabe der juristischen Arbeitsgemeinschaft für Gesetzgebungsfragen zu dem Entwurfe eines Aufwertungsgesetzes. Berlin: Springer 1925. 19 p. 4°
- Eisenstaedt, A.** Währungsentschädigung bei Zahlung aus vorhandenen Valutabeständen nach § 46 des Reichsausgleichsgesetzes (alter Fassung). (Bank-A. 22-22, 3 p.) 1923
- \***Elich, K.** Die wirtschaftliche Möglichkeit einer Aufwertung mit bes. Berücks. d. Sparkassenguthaben. Berlin: Ebering 1927. 96 p. 8°. [Diss. Greifswald]
- \***Elster, K.** Von der Mark zur Reichsmark. Die Geschichte d. dt. Währung in d. Jahren 1914 bis 1924. Jena: Fischer 1928. x, 480 p. 8°
- Einl. Die gesetzlichen Grundlagen der deutschen Markwährung. 1. Das Wesen der deutschen Markwährung. 2. Die deutsche Markwährung während des Weltkrieges. 3. Der Vertrag von Versailles. 4. Die Entwicklung bis zum Londoner Ultimatum vom 5. Mai 1921. 5. Die Entwicklung bis zur Besetzung des Ruhrgebietes. 6. Der Zusammenbruch der deutschen Markwährung. 7. Die Rentenmark. 8. Die Reichsmarkwährung. Rückblick. Ausblick.
- \***Emmerich, H.** (Erl.) Gesetz über die Aufwertung von Hypotheken und anderen Ansprüchen. (Aufwertungsgesetz) mit Durchführungsverordnungen. Leipzig: Hirschfeld 1926. xvi, 411 p. 8°
- \***Emminger, E.** Die Aufwertungsfrage im aufgelösten Reichstage. München: Pfeiffer in Komm. 1924. 16 p. 8°

- \***Engelhard, K.** Aufwertung und Wirtschaft. Volkstüml. Betracht. zur Aufwertung d. Anleihen, Hypotheken, Hypothekendarlehen, Sparkassengeldern u. zur Wohnungsnot. Eine Aufklärungs- u. Streitschrift f. d. Aufwertung. Hannover: Engelhard 1925. 82 p. 8°
- Englis, K.** Geldaufwertung als Krisenursache. [In: Int. Kapitalismus u. d. Krise. = Festschr. f. Julius Wolf. 11 p.] 1932
- Ensslen, R.** Neuregelung der Aufwertungs-Genussrechte. (Bank. 27-43, 5 p.) 1934
- \*Entwurf eines Gesetzes über die Aufwertung von Hypotheken und anderen privatrechtlichen Ansprüchen (Aufwertungsgesetz). Berlin: Heymann 1925. 23 p. 4°
- \*Entwurf der juristischen Arbeitsgemeinschaft für Gesetzgebungsfragen zu einem Gesetz zur Aenderung des Aufwertungsgesetzes vom 16. Juli 1925 nebst Begründung. Berlin: Liebmann 1927. 23 p. 4°. [Repr.: Dt. Juristen-Ztg. 1927, 4]
- Erdel** Zur Frage der Aufwertung von Forderungen aus Wechseln. (Recht u. Handel. 1-3, 6 p.) 1926
- Erler, F.** Das Geldentwertungsgesetz. (Dt. Steuer-Ztg. 12-4, 8 p.) 1923
- Die Umstellung der Steuer auf Goldmark. [Verordnung über Steueraufwertung und Vereinfachung des Besteuerungsverfahrens.] (Dt. Steuer-Ztg. 12-10, 3 p.) 1923
- Eule** Die Auswirkung der Pfund- und Dollarabwertung auf vertragliche Zahlungsverpflichtungen. (Mitt. d. Ind.- & Handelskammer Berlin. 32-6, 3 p.) 1934
- Eyck, E.** Der Kampf um die Aufwertung. (Dt. Einheit. 7-22, 5 p.) 1925
- Falk** Anschluss der Gemeindesteuern und -Gebühren an die Geldwertveränderung. (Preuss. Verw.-Bl. 44-18, 2 p.) 1923
- Falkenhausen, Frhr. v.** Aufwertung von Pfundverbindlichkeiten? (Bank-A. 31-5, 5 p.) 1931
- Feiler, A.** Sollen wir die Mark preisgeben? (Bund.—Frankfurt a. M. 1-26, 4 p.) 1923
- Fischer, O. Ch.** Zur Aufwertungsfrage. (Bank-A. 24-9, 5 p.) 1925
- Fischer, R.** Die Aufwertung von Industrie-Obligationen und verwandten Schuldverschreibungen nach dem Aufwertungsgesetz vom 16. 7. 1925. (Unternehmung. 2-1, 5 p.) 1926
- \***Fisher, I.** Der schwankende Geldwert. Seine Ursachen u. Folgen u. Vorschläge zu seiner Beseitigung. Dt. Ausg. d. Abh. "Stabilizing the Dollar." Berlin: Gruyter 1924. 48 p. 8°
- Flechtheim** Aufwertungs-genussrechte und Bilanz. (Bank-A. 24-21, 2 p.) 1925
- Das Aufwertungs-Ausgleichs-Konto. (Bank-A. 25-3, 4 p.) 1925
- Ein neuer Aufwertungsfall in Aktienrecht. (Bank-A. 30-9, 5 p.) 1931
- \***Fourgeaud, A.** La dépréciation et la revalorisation du mark allemand et les enseignements de l'expérience monétaire allemande. Paris: Payot 1926. xvi, 284 p. 8°. [Thèse, Nancy]
1. La dépréciation du mark. 2. Le mécanisme de la dépréciation et l'interprétation théorique des phénomènes monétaires contemporains. 3. La revalorisation du mark et ses étapes successives.
- Fränkel** Ueber Aufwertung von Hypotheken. (Z. f. Rechtspf. in Bayern. 20-24, 1 p.) 1924
- Fraenkel, E.** Die Aufwertung der Ansprüche aus Guthaben bei Fabrik- und Werksparkassen sowie aus Betriebspensionskassen. (Betriebsräte-Z. 7-19, 4 p.) 1926
- Freytmuth, A.** Die Wiedereintragung gelöschter Hypotheken. (Dt. Steuer-Ztg. 14-10, 3 p.) 1925
- Die Aufwertung ausserhalb des Aufwertungsgesetzes. (Sparkasse. 46-19, 8 p.) 1926
- Die Sonderstellung der Banken im Aufwertungsrecht. (Bankwiss. 3-24, 3 p.) 1927
- Friedlaender, M.** Geldentwertungsfragen im Zivilprozess. (Jurist. WSchr. 52-21/22, 2 p.) 1923
- Friedlaender-Precht, R.** Reichsmark und Reichsgericht. (Wirtschafts-Wende. 17, 6 p.) 1932
- Fuld** Aufwertung von gericht. Sicherheitsleistungen. (Versich. u. Geldwirtschaft. N. F. 1-4, 2 p.) 1925
- \***Fürstenberg, H.** Germany, four years after stabilization. New York: 1927
- Fusbahn** Die Rückzahlung von Aufwertungshypotheken. (Ruhr u. Rhein. 10-28, 3 p.) 1929
- Gaedicke, H.** Zur Frage der Rückzahlung der Aufwertungshypotheken am 1. Januar 1932. (Mitt. d. Ind.- u. Handelskammer Berlin. 27-15, 4 p.) 1929
- Gassert, G.** Ein Ausweg aus den Wirrnissen der Markentwertung. (Dt. Wirtschafts-Ztg. 20-31, 3 p.) 1923
- \***Geiler, K.** Die Geldentwertung als Gesetzgebungsproblem des Privatrechts, zugleich ein Vorschlag auf Einführung der Neumark. Mannheim, Berlin, Leipzig: Bensheimer 1922. vi, 57 p. 8°



- Geiler, K.** Das neue Aufwertungsgesetz. (Steuer u. Wirtschaft. 4-9, 22 p.; 5-1, 36 p.) 1925/26
- Die Geldentwertung in Deutschland, Polen und Russland. (Wirtschaft u. Statistik. 3-20, 3 p.) 1923
- Geldentwertung und Geldsteigerung. (Dt. Oekonomist. 1934, 4 p., 1935, 4 p., 1936, 4 p., 1937, 6 p.) 1920
- Die Geldentwertung und das Gesellschaftsrecht. Gutachten d. Obersten Gerichtshofes vom 7. Juni 1922, Praes. 154/22. (Gerichts-Ztg. 73-5, 11 p.) 1922
- Georgii, M.** Aufwertung in der Haftpflichtversicherung. Glossen zur bisherigen Rechtsprechung. (Z. f. d. ges. Versicherungswiss. 26-3, 13 p.) 1926
- German estimates of the losses of foreign holders through the depreciation of the mark. (Econ. World. Sept. 1 p.) 1922
- Gerloff, W. & Strutz, G.** Steuerwirtschaft und Steuerrecht im Zeichen der Geldentwertung. 2 Vortr. Berlin: Spaeth & Linde 1923. 75 p. 8°. [Mitt. d. Gesellschaft f. wirtschaftl. Ausbildung, Frankfurt a. M. Sonderbd. 1, 3]
- Gerstner, P.** Statt Goldmark-Bilanz steuerfreie Geldentwertungsposten. (Organisation. 25-5, 3 p.) 1923
- \*Gesetzentwurf über die Neuregelung der Aufwertung. Erfassung d. Inflationsgewinne. Wirtschaftsneuordnung. Beseitigung d. Arbeitslosigkeit u. d. Wohnungselends durch Volksentscheid. Leipzig: Verlag f. Aufwertung u. Wirtschaftsneuordnung 1926. 25 p. 4°
- \*Gesetz über die Aufwertung von Hypotheken und anderen Ansprüchen (Aufwertungsgesetz) vom 16. Juli 1925 mit Durchführungsverordnungen. Erl. von **L. Quassowski**. Mannheim: Bensheimer 1925. xii, 537 p. 8°. [Samml. dt. Gesetze. 121]
- \*Gesetz über die Aufwertung von Hypotheken und anderen Ansprüchen vom 16. Juli 1925. Mit zahlr. Beisp. erl. von **F. Schlegelberger & R. Harmening**. 3. Aufl. Berlin: Vahlen 1925. 447 p. 8°
1. Allgemeine Bestimmungen. 2. Aufwertung von Hypotheken. 3. Aufwertung von Grundschulden, Rentenschulden und Reallasten, Schiffs- und Bahnpfandrechten. 4. Aufwertung von Industrieobligationen und verwandten Schuldverschreibungen. 5. Aufwertung von Pfandbriefen und verwandten Schuldverschreibungen. 6. Aufwertung von Schuldverschreibungen der Genossenschaften des öffentlichen Rechts und verwandter Körperschaften als Unternehmer wirtschaftlicher Betriebe. 7. Aufwertung von Sparkassenguthaben. 8. Aufwertung

von Versicherungsansprüchen. 9. Aufwertung anderer Ansprüche. 10. Vergleiche und andere Vereinbarungen über die Aufwertung-Gerichtliche Entscheidungen. 11. Aufwertungsverfahren. 12. Schutz- und Uebergangsbestimmungen. 13. Umrechnungstabelle. 14. Reichsgesetzliche Durchführungsbestimmungen. 15. Gesetz über die Ablösung öffentlicher Anleihen. 16. Anhang.

\*Gesetz über die Aufwertung von Hypotheken und anderen Ansprüchen "Aufwertungsgesetz" vom 16. Juli 1925 unter bes. Berücks. d. Rechtsprechung d. Kammergerichtes erl. von **C. Gribel**. 2. Aufl. Berlin: Springer 1926. x, 336 p. 8°

- I. Aufwertungsgesetz vom 16. Juli 1925. 1. Allgemeine Bestimmungen. 2. Aufwertung von Hypotheken. 3. Aufwertung von Grundschulden, Rentenschulden und Reallasten, Schiffs- und Bahnpfandrechten. 4. Aufwertung von Industrieobligationen und verwandten Schuldverschreibungen. 5. Aufwertung von Pfandbriefen und verwandten Schuldverschreibungen. 6. Aufwertung von Schuldverschreibungen der Genossenschaften des öffentlichen Rechts und verwandter Körperschaften als Unternehmer wirtschaftlicher Betriebe. 7. Aufwertung von Sparkassenguthaben. 8. Aufwertung von Versicherungsansprüchen. 9. Aufwertung anderer Ansprüche. 10. Vergleiche und andere Vereinbarungen über die Aufwertung-Gerichtliche Entscheidungen. 11. Aufwertungsverfahren. 12. Schutz- und Uebergangsbestimmungen.
- II. Durchführungsverordnung zum Aufwertungsgesetz vom 29. November 1925. 1. Aufwertung von Hypotheken. 2. Aufwertung von Grundschulden, Rentenschulden, Reallasten, Schiffs- und Bahnpfandrechten. 3. Aufwertung von Industrieobligationen und verwandten Schuldverschreibungen. 4. Aufwertung von Pfandbriefen und verwandten Schuldverschreibungen. 5. Aufwertung von Versicherungsansprüchen. 6. Einrichtung und Verfahren der Aufwertungsstellen. 7. Kostenvorschriften. 8. Schlussbestimmungen. Anhang.

**Gide, Ch. A.** Fourgeaud: La dépréciation et la revalorisation du mark allemand et les enseignements de l'expérience monétaire allemande. (R. d'écon. pol. 40-6, 2 p.) 1926

**Gieseke, P.** Die Kanonaufwertung nach dem Aufwertungsgesetz. (Mecklenburg. Z. f. Rechtspflege. 42-4, 7 p.) 1926

\***Giustiniani, G.** L'adaptation des entreprises allemandes à la dépréciation et à la stabilisation du mark. Paris: Alcan 1927. 8°. [Thèse, Paris]

- \***Giustiniani, G.** Le commerce et l'industrie devant la dépréciation et la stabilisation monétaire. L'expérience allemande. Préf. de C. Colson. Paris: Alcan 1927. xxi, 211 p. 8°
- Goerrig, F.** Die Aufwertung von Pensions- und Ruhegehaltsansprüchen. (Wirtschaftsbl. Niedersachsen. 6-9/10, 2 p.) 1926
- Die Aufwertung von Werkspensionen und Werkssparkassengeldern. (Sparkasse. 46-19, 3 p., 20, 2 p., 22, 3 p.) 1926
- Die neuen Aufwertungsbestimmungen für Werkssparkassen und Betriebspensionskassen. (Z. f. Betriebsw. 3-11, 5 p.) 1926
- Die Aufwertung von "Einlagen eines Arbeitnehmers" im Sinne der §§ 65 und 66, Abs. 2 des Aufwertungsgesetzes. (Sparkasse. 47-6, 3 p., 7, 5 p.) 1927
- Goldmark-Schulden. (Bank. 15-12, 6 p.) 1922
- Goltermann** Anmeldungen und Anträge nach dem neuen Aufwertungsrecht. (Jurist. Rdsch. 1-17, 7 p.) 1925
- Aufwertung von Restkaufgeldforderungen. (Jurist. Rdsch. 2-22, 3 p.) 1926
- Gordan, K.** Enteignungsentschädigung und Markentwertung. (Jurist. WSchr. 55-26, 3 p.) 1926
- Gottschalk, A.** Zur Aufwertung von Versicherungsansprüchen. (Praxis d. Versicherungsrechts-Beil. z. Versich. u. Geldwirtschaft. N. F. 1, 7, 2, 3 p.) 1925
- \***Grande, M.** Geldentwertung. Grund- und Hausrente. Grundsätzliches zur Gesundung der Staatsfinanzen u. d. Wohnungskultur. Das Kleinrentnerproblem. Karlsruhe: Braun 1921. 47 p. 8°
- Grau, W.** Aufwertung zurückgezahlter Vermögensanlagen nach dem Entwurf des Aufwertungsgesetzes und seiner Begründung. (Jurist. Rdsch. 1-7/8, 11 p.) 1925
- Gribel** Aufwertungsgrundsätze für die Aufwertungsstellen. (Z. d. Dt. Notarvereins. 25-4, 12 p.) 1925
- \***Gribel, C.; Neufeld, H.; Mügel, O. & Wunderlich, H.** Die Aufwertung. Systemat. Einführung. Vortr. Hrsg. von der Verwaltungsakademie Berlin. Berlin: Springer 1926. iv, 78 p. 8°
- Grimm** Aufwertungsfragen vor den gemischten Schiedsgerichtshöfen. (Dt. Juristen-Ztg. 31-4, 3 p.) 1926
- Gröbel, H.** Ist eine Wertsicherungsklausel auf Grundlage des Feingoldes vorteilhafter als die bisherige Dollarwertklausel? (Maschinenbau/Wirtschaft. 4-14, 3 p.) 1925

\***Grosser, H.** Die Bedeutung der Rentenmark für die Stabilisierung. 1927. 71 p. 8°. [Diss. Breslau]

\***Grunst, K.** Die Geldentwertung in den Jahren 1914/24 mit vergleichenden Tabellen der Preise der wichtigsten Lebensmittel und Bedarfsartikel sowie einer Uebersicht über die Entwicklung der Löhne und Gehälter und Aufwertungs-Tabelle. Pfullingen (Württ.): 1925. 47 p.

**Gudell, K.** Die Aufwertung in der kaufmännischen Praxis. (Plutus. 22-2, 3 p.) 1925

**Güntzel, P.** Neues Schrifttum zur Aufwertungsfrage. (Jurist. WSchr. 54-23, 4 p.) 1925

\*Gutachten des vorläufigen Reichswirtschaftsrats vom 4. April 1925 Tgb. Nr. 1053/25—zu dem Entwurf eines Gesetzes über die Aufwertung von Hypotheken u. a. Ansprüchen "Aufwertungsgesetz" sowie dem Entwurf eines Gesetzes über die Ablösung öffentlicher Anleihen. (Gutachten des Arbeitsausschusses für die Beratung des Entwurfs eines Gesetzes über die Aufwertung von Hypotheken u. a. privatrechtlichen Ansprüchen Aufwertungsgesetz sowie des Gesetzentwurfs über die Ablösung öffentlicher Anleihen. Berlin: Heymann 1925. 4 p. 4°. [Entwürfe d. Dt. Reichstags. 1925, 24]

**Haas, K.** Ablauf der Schonfrist für die Aufwertungshypotheken am 1. Januar 1932? (Dt. Sparkassen-Ztg. 7-38, Beil., 4; 40, 3.) 1930

**Haase, B.** Das Verhältnis des deutschen Aufwertungsgesetzes zur polnischen Aufwertungsordnung. Zur Frage der räumlichen Geltungsbereiches der beiden Gesetze. (Jurist. WSchr. 55-4, 3 p.) 1926

— Das deutsch-polnische Aufwertungsabkommen. (Dt. Juristen-Ztg. 34-18, 5 p.) 1929

**Hachenburg, M.** Aufwertung. (Jurist. WSchr. 54-23, 15 p.) 1925

**Hagemann** Aufwertung der Sparkassenguthaben. (Sparkasse. 45-19, 4 p.) 1925

**Hagen, O.** Persönliche Forderung und Hypothek bei der Aufwertung. (Jurist. WSchr. 54-23, 2 p.) 1925

— Versicherung und Aufwertung. (Dt. Juristen-Ztg. 31-21, 5 p.) 1926

**Hamburger, M.** Aufwertung hypothekarisch gesicherter Kaufgeldforderungen. (Leipziger Z. f. Dt. Recht. 20-24, 17 p.) 1926

**Hammer** Pfundforderungen und deutsches Aufwertungsrecht. (Bank-A. 31-14, 4 p.) 1932

- Hanel, G.** Die Geldentwertung in Recht und Wirtschaft. (Industrie. 27-37/38, 4 p.) 1922
- \***Hannesen, G.** Einwirkungen der Valutastabilisierung auf Finanzwirtschaft und Finanzpolitik des deutschen Reiches. 1928. 79 p. 8°. [Diss. Berlin]
- Hanseman, v.** Aufwertung. (HWB. d. Kommunalwiss. Erg.-Bd. 12 p.) 1927
- \***Harburger, W.** Gleitende Währung. Mit e. theoret. Anh.: Die Versicherung gegen Geldentwertung. München, Leipzig: Duncker & Humblot 1923. viii, 80 p. mit Fig. 8°
- \***Härdrich, F.** Der Währungsverfall und die deutschen Privatversicherungs-Unternehmungen. Frankfurt a. M.: Schmiersow 1926. 76 p. 8°. [Diss. Frankfurt]
- Harmening, R.** Der neue Aufwertungsgesetzesentwurf. (Jurist. Rdsch. 1-7/8, 6 p.) 1925
- Das Reichsgesetz über die Aufwertung von Hypotheken und anderen Ansprüchen vom 16. Juli 1925. (Jurist. WSchr. 54-16, 9 p.) 1925
- & **Mügel, O.** Aufwertung; Die Verordnung über die Zahlungsfrist in Aufwertungssachen v. 11. Nov. 1931. (Reichsanz. Nr. 264 v. 11. Nov. 1931=Reichsgesetz-BI. I. Nr. 74)—Eine feste Zeitgrenze für die Geldendmachung von Aufwertungsansprüchen? (Jurist. WSchr. 60-46, 4 p.) 1931
- Hartkopf, H.** Die Aufwertung der Vermögensanlagen. (Ein Beispiel aus der Praxis.) (Wirtschaftl. Nachr. f. Rhein & Ruhr. 7-12, 3 p.) 1926
- Hartwig, F.** Die Aufwertung der Hypotheken im Falle der Abtretung. (Z. d. Dt. Notarvereins. 24-12, 3 p.) 1924
- Hase, A.** Die Härtevorschriften im Aufwertungsgesetz. (Aufwertungspraxis. 5, 9 p.= Beil. z. Dt. Steuer-Ztg. 15-5) 1926
- Hasslacher-Friedenthal, E.** Uebersicht über das deutsche Aufwertungsrecht. (Ostrecht. 2-1, 12 p.) 1926
- Hauenschild, R.** Nochmals Leibrentenversicherung und Aufwertung. (Juristen.-Bl. 54-9/10, 3 p.) 1925
- Hauke, O.** Zur Tragweite des § 7 des Aufwertungsgesetzes. (Bank-A. 27-18, 2 p.) 1928
- Hausmann, F.** Der Einfluss der Geldentwertung auf die steuerliche Bewertung. [In: Steuerl. Bewertung d. Vermögens. 42 p.] 1922
- \* — Wandlungen des Steuerrechts im Zeichen der Geldentwertung. Vortr. . . (in erw. Form hrsg.). Mannheim, Berlin, Leipzig: Bensheimer 1923. 67 p. 8°
- Heichen, A.** Aktive Währungspolitik. Goldschäftswechsel — Markstabilisierung. (Neue Zeit. 41, 1, 5, 5 p.) 1922
- Markstabilisierung und Markvernichtung. (Neue Zeit. 41, 2, 6, 4 p.) 1922
- Die Stabilität der Reichsmark. (Sparkasse. 52-16, 4 p.) 1932
- Heilfron, E.** Hypothekenaufwertung über 15% hinaus. [Entscheidung des Kammergerichts.] (Dt. Steuer-Ztg. 13-12, 2 p.) 1924
- \* — Die Aufwertungsgesetzgebung. Gesetz über d. Aufwertung von Hypotheken u. a. Ansprüchen (Aufwertungsgesetz) u. Gesetz über d. Ablösung öffentl. Anleihen vom 16. Juli 1925 nebst ausführl. Einl., sämtl. Reichs- u. Landesdurchführungsverordnungen u. Sachreg. 2. verm. u. verb. Aufl. Mannheim: Bensheimer 1925. xvi, 560 p. 8°. [Samml. dt. Gesetze. 118]
- Aufwertungsfinale. (Z. f. Handelswiss. 18-8, 6 p.) 1925
- Aufwertung und Versicherung. (Versicherungspraxis. 23-4, 3 p., 8, 3 p.) 1925
- Die Aufwertung von Versicherungsansprüchen. (Versicherungspraxis. 23-12, 4 p.) 1925
- Die Entwicklung der Aufwertungsfrage. (Dt. Steuer-Ztg. 14-1, 5 p.) 1925
- Der Schlusskampf um die Aufwertung. (Dt. Steuer-Ztg. 14-7, 7 p.) 1925
- Der Stand der Aufwertungsfrage. (Maschinenbau/Wirtschaft. 4-4, 3 p.) 1925
- Praktische Aufwertungsfragen. (Dt. Steuer-Ztg. 14-10, 5 p., 11, 6 p.; 15-4, 4 p.) 1925/26
- Aufwertung und Maschinenbau. (Maschinenbau/Wirtschaft. 5-2, 3 p.) 1926
- Aufwertungsansprüche gegen ausländische Versicherungsunternehmen. (Versicherungspraxis. 24-9, 3 p., 10, 2 p., 11, 2 p., 25-3, 3 p.) 1926/27
- Heimann, H.** Der Kampf um die Aufwertung. Von Helfferich bis Hindenburg. Wie ihn die Deutschnationalen u. wie ihn d. Sozialdemokraten führten. Berlin: Dietz 1925. 88 p. 8°
- Heinig, K.** Korruption in der Aufwertungsfrage. [Das Aufwertungsversprechen der Parteien usw.] (Glocke. 10-47, 3 p.) 1925
- Aufwertung als nationales Trauerspiel. (Glocke. 11-1, 5 p.) 1925
- \***Heinrici, C.** (Erl.) Gesetz über die Ablösung öffentlicher Anleihen vom 16. Juli 1925. Textausg. Berlin: Vahlen 1925. viii, 177 p. 8°

- Heinz** Die Aufwertung im öffentlichen Recht. (Sparkasse. 46-10, 8 p.) 1926
- Helczynski, B.** Die polnischen Gesetze vom 18. und 20. Juli 1925 über die Aufwertung der Einlagen in der Postsparkasse und der Staatsanleihen. (Ostrecht. 1-4, 4 p.) 1925
- \***Helfferich, K.** Das neue Steuergesetz < Gesetz über d. Berücks. d. Geldentwertung in d. Steuergesetzen vom 20. März 1923. > Berlin: Brunnen-Verl. 1923. 32 p. 8°
- \* — Steuern, Geldentwertung und Sozialdemokratie. Reichstagsrede. . . Berlin: Brunnen-Verl. 1923. 26 p. 8°
- Henle, R.** Mark gleich Mark? Ein Wort zur Geldentwertung u. zum »Bankrott« d. bürgerl. Rechts. Giessen: Töpelmann 1923. 16 p. 8°
- Henrychowski, F.** Aufwertung privatrechtlicher Forderungen in Polen. (Jurist. WSchr. 55-29, 4 p.; 56-15/16, 3 p.) 1926/27
- \***Herlach, F.** Aufwertungskommentar. Das Aufwertungsrecht im Saargebiet. Saarbrücken: Saarbrücker Verl. 1929. 216 p. 8°
- Herrmann, K. A.** Die Stabilisierung der Mark. Die Tat von 1923. (Dt. Wirtschafts-Ztg. 30-45, 4 p.) 1933
- \***Herrmann, M.** (Erl.) Gesetz über die Aufwertung von Hypotheken und anderen Ansprüchen < Aufwertungsgesetz > vom 16. Juli 1925 u. d. Verordnung über die Einrichtung und das Verfahren der Aufwertungsstellen vom 21. Juli 1925. Berlin: Struppe & Winckler 1925. 114 p. 8°
- Herz, B.** Das Verfahren bei Hypotheken-Aufwertung, insbes. die Zuständigkeitsfragen. (Grundeigentum. 44-6, 2 p.) 1925
- Zur Fälligkeit der Aufwertungshypotheken. (Bank-A. 30-24, 3 p.) 1931
- Zur neuen Notverordnung über die Zahlungsfristen in Aufwertungssachen. Eine Enttäuschung der Eigentümer? (Bank-A. 31-5, 2 p.) 1931
- Zum neuen Reichsgesetz über weitere Zahlungsfristen in Aufwertungssachen. Eine Enttäuschung der Gläubiger von Aufwertungshypotheken? (Bank-A. 32-21, 2 p.) 1933
- Herz, F.** Aufwertung von Markanleiheforderungen der Lebensversicherungsgesellschaften. (Z. f. Versicherungswesen. 49-19, 2 p.) 1926
- Hirsch, J.** Vergrössert sich der Wert der Reichsmark? [Zusammenhänge zwischen Arbeitslosigkeit, Lohnabbau und Preisabbau.] (Heimatdienst. 10-24, 3 p.) 1930
- \***Hirschfeld, Ph.** Der Einfluss d. Entwertung von Pfund u. Dollar auf deutsche private Geldschulden. 1933. 40 p. [Diss. Heidelberg]
- Hoffmann** Allgemeiner Rechtsgrund und Massstab der Aufwertung. (Dt. Juristen-Ztg. 31-3, 7 p.) 1926
- Hofinger, W.** Eisenbahnerbaugenossenschaften und Aufwertung. (Ztg. d. Vereins Dt. Eisenbahnverw. 65-21, 3 p.) 1925
- Holbeck, L.** Vertrags-Erfüllung, nicht Aufwertung von Pfundverbindlichkeiten. (Bank-A. 31-7, 4 p.) 1932
- Hollaender, A.** Freie Aufwertung. (Dt. Steuer-Ztg. 15-4, 6 p.) 1926
- Hoeres** Die Behandlung aufgewerteter Forderungen und Schulden bei der Einkommen- und Körperschaftssteuer. (Dt. Wirtschafts-Ztg. 27-19, 3 p.) 1930
- Rechtsprechung des Reichsfinanzhofs. (Bank-A. 32-23/24, 3 p.) 1933
- Horn, G.** Hat die deutsche Wirtschaft eine Aufwärtsbewegung der deutschen Mark zu fürchten? (Organisation. 24-15, 2 p.) 1922
- \***Horn, W.** Die währungs-, finanz- u. wirtschaftspolitisch. Folgen der deutschen Währungsstabilisierung. 1930. viii, 142 p. 8°. [Diss. Köln]
- \***Horten, A.** Erfassung der Sachwerte und Reparationsproblem. Berlin: Engelmann 1922. 117 p. 8°
- Horwitz, M.** Geldentwertung und Steuergesetzgebung. (Dt. Handels-Warte. 10-22, 5 p.) 1922
- \***Hoschiller, M.** Une enquête en Allemagne. La situation réelle. Les industriels et les réparations. La stabilisation du mark. L'emprunt international et les gages, etc. 3. éd. Paris: Alcan 1922. 16°
- \***Huas, R.** La valorisation des obligations industrielles en Allemagne. Les rapports avec la réforme monétaire. Paris: Lib. gén. de droit et de jurisprudence 1928. 180 p. 8°. [Thèse, Strasbourg]
- Hueck** Rechtliche Folgen der Geldentwertung. (Dt. Juristen-Ztg. 25-5/6, 5 p.) 1920
- Huefner** Die Haftung der ausländischen Versicherungsgesellschaften und die deutsche Aufwertungsgesetzgebung. (Leipziger Z. f. Dt. Recht. 20-11, 7 p.) 1926
- Sind die Vorkriegsnoten der Reichsbank durch die Inflation der Entwertung anheimgefallen? (Leipziger Z. f. Dt. Recht. 23-19, 19 p.) 1929
- Hundert Prozent Aufwertung? (Mag. d. Wirtschaft. 2-18, 4 p.) 1926
- Huvendick, H.** Die Aufwertung von Schuldverschreibungen. (Ztg. d. Vereins Dt. Eisenbahnverw. 65-39, 3 p.) 1925

- Jackisch, H.** Ueber rückwirkende Aufwertung einer in der Inflationszeit angenommenen Geldleistung aus gegenseitigen Verträgen. (Jurist. Rdsch. 2-10, 6 p.) 1926
- Jaekle, J.** Dollarleihe und Goldmark-Konten. (Bl. f. Genossenschaftswesen. 70-10, 2 p.) 1923
- \***Jacob, A.** Die Erfüllung der Papiermarkschadenversicherungsverträge bei den nach der Inflation eintret. Schadensfällen. (Ein Grenzfall der freien Aufwertung von Ansprüchen aus Schadenversicherungsverträgen.) 1928. 82 p. 8°. [Diss. Frankfurt]
- Jacusiel, M.** Die Haftung der Banken für Geldentwertungsschäden. (Bank-A. 23-5, 4 p.) 1923
- Jagmetti, R.** Die Aufwertung der von ausländischen Gesellschaften in Deutschland abgeschlossenen Mark-Lebensversicherungen. (Schweiz. Juristen-Ztg. 23-8, 4 p.) 1926
- Jaensch** Aufwertung trotz rechtskräftigen Urteils. (Dt. Steuer-Ztg. 14-10, 3 p.) 1925
- Jaresch, R.** Vorschlag zur Hypothekenaufwertung und Rentnerentschädigung. (Oesterr. Volksw. 18-18, 5 p.) 1926
- Jenny, F.** Le mark et les réparations. (R. pol. et parl. 336, 70 p.) 1922
- Jörissen, F.** Die Verzinsung der Aufwertungsbeträge von Rückwirkungshypotheken. (Dt. Wohnungs-A. 1-7, 4 p.) 1926
- Justus, H. & Winkelhöfer, F.** Aufwertung der Verträge mit gleitenden Preisen. (Z. f. Handelswiss. Forsch. 19-9, 5 p.) 1925
- \*Der Kampf um die Aufwertung. Berlin: Deutschnat. Schriftenvertriebsstelle 1925. 32 p. 8°. [Deutschnat. Flugschr. 215]
- \*Der Kampf ums Recht der Banknotenbesitzer gegen die Reichsbank. Klage auf Feststellung d. Pflicht d. Reichsbank zur Einlösung ihrer alten Noten. Als Ms. gedr. München: Stiegeler 1925. 24 p. 8°. [Schr. d. Bundes f. Metallgeld nach Gewicht. 2]
- Kärcher** Der Abschluss der Aufwertung der Hypothekbankpfandbriefe. (Bank-A. 30-21, 3 p.) 1931
- Karger, A.** Hypothekenzahlungen vor Inkrafttreten der Dritten Steuernotverordnung. (Bl. f. Rechtspflege 35-2, 2 p.) 1925
- Die Aufwertung von Bauhandwerkerhypotheken. (Bl. f. Rechtspflege 35-11, 1 p.) 1925
- Karger, v.** Feste Gelder und die 3. Steuernotverordnung. (Bank-A. 23-19, 3 p.) 1924
- Das Aufwertungsgesetz vom 16. Juli 1925. (Wirtschaftl. Nachr. a. d. Ruhrbez. 6-31, 4 p.) 1925
- Karger, v.** Banken und Aufwertungsgesetz. (Bank-A. 24-21, 3 p.) 1925
- Sabotage des Aufwertungs-Gesetzes? (Dt. Arbeitgeber-Ztg. 24-31, 1 p.) 1925
- Aufwertung der auf Grund des Branntweinmonopolgesetzes zu zahlenden Entschädigungen. (Jurist. WSchr. 55-26, 2 p.) 1926
- Die Aufwertung der Vorzugsaktien. (Recht. u. Handel. 1-4, 6 p.) 1926
- Aufwertung der Hypothekenschulden? (Dt. Arbeitgeber-Ztg. 22-20) 1923
- Der 1. Januar 1932. [Termin für Rückzahlung der Aufwertungshypotheken.] (Dt. Juristen-Ztg. 34-21, 6 p.) 1929
- Die rückzahlung der Aufwertungshypotheken. (Bank-A. 28-18, 3 p.) 1929
- Katona, G.** Neuregelung der Aufwertungshypotheken. (Dt. Volkswirt. 4-34, 4 p.) 1930
- Katzenstein, M.** Die Bedeutung der Aufwertungs-Novelle für den Grundbesitz. (Allg. dt. Haus- u. Grundbesitzer-Ztg. 33-34, 3 p.) 1927
- Kaulla, R.** Die Aufwertungsfrage und des Wesen des Geldes. [In: Wirtschaftswissenschaft nach d. Kriege.=Festgabe f. Brentano. 1, 24 p.] 1925
- Kedenburg** Aufwertung von Papiermark-Verträgen und Doppel-Versicherung. (Mitt. f. d. öffentl. Feuerversich.-Anst. N. F. 14-4, 2 p.) 1925
- \***Keidel, F.** Aufwertung nach bürgerlichem Recht und nach der dritten Steuernotverordnung. München: Hueber 1925. 35 p. 8°. [Münchener jurist. Vorträge. 7]
- \***Keller, F.** Aufwertungsrecht und Gewissenspflicht. Freiburg: Herder 1926. 37 p. 8°. [Stud. z. kath. Sozial- u. Wirtschaftsethik. 2]
- \***Kelson, S.** Stabilisation et revalorisation en France et en Allemagne. Histoire de la monnaie lithuanienne liée au sort du mark allemand. Paris: Bossuet 1931. 8°. [Thèse, Paris]
- \***Kelsonaite, S.** L'influence de la stabilisation monétaire sur les contrats en France et en Allemagne. 1931. viii, 260 p. 8°. [Thèse, Paris]
- \***Kempner, F. & Pinner, H.** Hypothekenaufwertungspraxis. Die wichtigsten Probleme in zusammenhängender Darst. Formulare mit eingehenden Anm. Berlin: Heymann 1925. viii, 116 p. 8°
- Kersting** Die Aufwertung der Lebensversicherungen. (Mitt. f. d. öffentl. Feuerversich.-Anst. N. F. 14-3, 3 p.) 1925
- \***Kertzscher, W.** Die Aufwertung der Grundstücksbarkäufe aus der Inflationszeit. Würzburg: Mayr; Dresden: Risse-Verl. in Komm. 1932. 70 p. [Diss. Leipzig]

- \***Kiefersauer, F.** Die Aufwertungsgesetze. Gesetz über d. Aufwertung von Hypotheken u. anderen Ansprüchen sowie Gesetz über d. Ablösung öffentl. Anleihen. Vom 16. Juli 1925. Nebst erg. Anh. u. Durchführungsbestimmungen. Mit Erl. Einl. u. Sachreg. München: Beck 1925. xii, 334 p. 8°
- Ein kirchlicher Erlass zur Aufwertungsfrage. (Neue Reich. 8-21, 3 p.) 1926
- Klare, P.** Die Hypothekenaufwertung in der Spruchpraxis des Kammergerichts. (Dt. Steuer-Ztg. 14-5, 7 p.) 1925
- Klebe** Die Aufwertung von Höchstbetrags-Hypotheken. (Sparkasse. 45-18, 7 p.) 1925
- Aufwertung von nichtgesicherten Forderungen, insbes. von Darlehensforderungen. (Sparkasse. 46-2, 7 p.) 1926
- Wichtige Entscheidungen in Aufwertungs- und Grundbuchsachen im vorigen Jahre. (Sparkasse. 49-1, 5 p., 2, 5 p., 5, 5 p., 6, 6 p.) 1929
- Klein, R.** Das deutsche Sonderproblem. [In: Das Weltproblem der Schuldadwertung und Zinssenkung.] (Plutus-Briefe. 10-5) 1933
- Klein, W.** Die Aufwertung von Kautionen. (Dt. Steuer-Ztg. 15-3, 5 p.) 1926
- Kleineberg** Das geltende Recht und die Aufwertung. (Dt. Juristen-Ztg. 30-3, 6 p.) 1925
- Das hergebrachte Recht und das Aufwertungsproblem. (Leipziger Z. f. Dt. Recht. 19-3, 10 p.) 1925
- Klingemann** Aufwertung von in Anrechnung auf den Grundstückskaufpreis übernommenen Grundschulden. (Wirtsch. Nachr. f. Rhein u. Ruhr. 7-35, 3 p.) 1926
- Klinke** Vier Zweifelsfragen des Aufwertungsrechts. (Z. f. Wohnungswesen. 23-20, 4 p.) 1925
- Kluth** Der gegenwärtige Stand der Aufwertungsfrage. (Beamten-JB. 11-12, 7 p.) 1924
- \***Koch, P.** Les variations du pouvoir d'achat de l'unité monétaire nationale en France, en Angleterre et en Allemagne du 11 novembre 1918 au 1. janvier 1922. 1924. 365 p. 8°. [Thèse, Paris]
- \***Kockel, E. O.** Denkschrift an die Reichsregierung über die dringende Notwendigkeit einer baldigen und planmäßigen Zwangsliquidation der deutschen Papiermark im Mindestverhältnis von 1000 Papiermark=1 Goldmark mit Entwurf zu einem Sanierungsprogramm zur Rettung der deutschen Volkswirtschaft. Leipzig: F. E. Fischer in Komm. 1922. 23 p. 8°
- Koppe, F.** Einstweilige Regelung der Aufwertung. Verlängerung der Anmeldefristen. (Dt. Steuer-Ztg. 13-12, 3 p.) 1924
- Aufwertungsorganisationen, und neue Aufwertungsgesetzesentwürfe. (Aufwertungspraxis. 5, 5 p.=Beil. z. Dt. Steuer-Ztg. 15-5) 1926
- Kord-Ruwisch, W.** Zur Regelung der Aufwertungshypotheken. Ueberbrückungsversuche für 1932. (Dt. Oekonomist. 2300, 4 p.) 1930
- Eine Korrektur des Aufwertungsgesetzes. Mehrleistung für "Genussrechte." (Sparkasse. 54-20, 5 p.) 1934
- Kortlang, W.** Zur Frage der Geldentwertung und Abschreibung. (Dt. Ind. 2-5, 2 p.) 1921
- Kottenberg** Aufwertung und öffentliche Fürsorge. (Preuss. Verw.-Bl. 48-10, 3 p.) 1926
- Krämer, C.** Das Aufwertungsproblem. 1. Zur Geschichte. (Wirtschaftsdienst. 10-12, 3 p.) 1925
- Kraemer, W.** Aufwertung inländischer Forderungen in ausländischer Währung? (Jurist. WSchr. 62-46, 6 p.) 1933
- \***Krapf, S.** Die Pfandbrief-Aufwertung bei den deutschen Hypothekbanken [Auszug.] 1934. 36 p. [Diss. München]
- Kretschmer, E.** Der Geldwertschwund in Deutschland vor 300 Jahren und sein Einfluss auf den sozialen Frieden. (Kampf. 19-9, 7 p.) 1926
- Kretschmar** Die Ablehnung des Aufwertungs-volksbegehrens. (Z. f. Kommunalw. 16-18, 6 p.) 1926
- Kriegsanleihe-Aufwertungsfragen. by -1. (Sparkasse. 45-1, 2 p.) 1925
- Krombach** Die ungünstige Behandlung der von Kaufleuten abgeschlossenen Aufwertungsvergleiche nach dem Aufwertungsgesetz. (Recht & Handel. 2-6, 10 p.) 1927
- \***Krumbholz, W.** Die Aufwertungssteuer. Dargest. u. erl. Weimar: Panse 1932. vii, 138 p. 8°. [Thüringische Steuergesetze. 2]
- Kullmann, W.** Die Verwirkung des Aufwertungsanspruchs durch zu späte Geltendmachung. (Bank-A. 27-19, 3 p.) 1928
- Kuelz** Die Aufwertung der Gemeindeanleihen. (Z. f. Kommunalw. 16-1, 5 p.) 1926
- Künzer, F.** Zur Aufwertung der Sparkassenguthaben. (Sparkasse. 45-9, 6 p.) 1925
- Kushnitzky** Die Anmeldung von Aufwertungsansprüchen. (Ostdt. Wirtschafts-Ztg. 3-37, 3 p.) 1924
- Kritische Bemerkungen zum Aufwertungsgesetz. (Ostdt. Wirtschafts-Ztg. 4-18, 5 p.) 1925

- Ladegast** Der Gegenwartswert der aufgewerteten Markforderungen. (Dt. Sparkassen-Ztg. 2-95, 2 p., 96, 2 p., 97, 2 p.) 1925
- Lampe, A.** Die volkswirtschaftliche Tragweite der Schuldenerhöhung. (Sparkasse. 46-17/18, 4 p.) 1926
- Aufwertungssteuern. (WB. d. Volksw. 4 Aufl. 1, 1 p.) 1931
- Landauer, K.** Inflationismus? [Keine Stabilisierung d. Mark Möglich ohne Regelung d. Reparationsfrage.] (Neue Zeit. 41, 1, 9, 5 p.) 1922
- Lansburgh, A.** Die Verankerung der Mark. (Bank. 16-1, 17 p.) 1923
- Banco-Mark. (Bank. 16-4, 9 p.) 1923
- Eine Mark=achtzig Goldpfennige? (Briefe eines Bankdirektors an seinen Sohn.) (Bank. 24-49, 3 p.) 1931
- Die angelsächsische Stabilisierung die deutsche Währung. (Bank. 26-43, 7 p., 44, 7 p.) 1933
- \*Laroche, D.** La valorisation du mark. 1923. 160 p. 8°. [Thèse, Paris]
- Lasker** Die Verjährung des Aufwertungsanspruchs. (Jurist. Rdsch. 3-12, 4 p.) 1927
- Lasorsa, G.** I problemi tecnici della stabilizzazione monetaria secondo l'esperienza tedesca. (Economia. 4-3, 19 p.) 1926
- Laufenburger, H.** R. Huas: La valorisation des obligations industrielles en Allemagne. Les rapports avec la réforme monétaire. (R. d'écon. pol. 43-4, 2 p.) 1929
- Leber, J.** Die Aufwertung der Gemeindeanleihen. (Gemeinde. 2-16, 3 p.) 1925
- Lederer, E.** Die Valutastabilisierung als staatswirtschaftliches und soziales Problem. (Dt. Werkmeister-Ztg. 39-12, 2 p.) 1922
- \*Lehmann, J.** Die Geldentwertung als Gesetzgebungsproblem des Privatrechts, zugl. e. Beitr. zur Frage d. Berücks. d. Geldentwertung im geltenden Recht. Berlin: Sack 1922. 64 p. 8°
- Zur Aufwertungsfrage. (Bank-A. 23-7, 5 p.) 1924
- Das Reichsgesetz über die Aufwertung von Hypotheken und anderen Ansprüchen vom 16. Juli 1925. (Jurist. WSchr. 54-16, 8 p.) 1925
- Zum Entwurf des Aufwertungsgesetzes. (Steuer u. Wirtschaft. 4-5/6, 26 p.) 1925
- \* & Boesebeck, E.** Kommentar zum Aufwertungsgesetz unter Berücks. des gesamten Aufwertungsrechts hrsg. Stuttgart: Hess 1925. viii, 508 p. 8°
- \*Lehner, A.** Was wird nach der Mark-Stabilisierung? Berlin: Verl. f. Pol. u. Wirtschaft 1922. 15 p. 8°
- Leinhas, E.** Antwort an Hugo Stinnes. (Rede zur Mark-Stabilisierung.) (Anthroposophie. 4-21, 3 p.) 1922
- Leo, M.** Das Aufwertungsproblem. 2. Zur Beurteilung. (Wirtschaftsdienst. 10-12, 4 p.) 1925
- Der Plenarbeschluss des Reichsgerichts zur Aufwertungsfrage. (Wirtschaftsdienst. 10-26, 3 p.) 1925
- Das Aufwertungsgesetz vom 16. Juli 1925. (Wirtschaftsdienst. 10-31, 3 p.) 1925
- Levin** Aufwertung oder Umwertung der Enteignungsentschädigung? (Jurist. WSchr. 56-15/16, 3 p.) 1927
- \*Levis, O.** Die Aufwertung von Hypotheken. Mannheim: Bensheimer 1926. x, 177 p. 8°
- Levy, H.** Die Markentwertung als internationales Problem. (Uebersee-Post. 3-46, 2 p.) 1921
- Liebmann, P.** Die Fassung wertbeständiger Urteile. (Dt. Juristen-Ztg. 28-21/22, 6 p.) 1923
- Liesse, A.** Sur la nouvelle chute du mark. (Economiste fr. 50-28, 3 p.) 1922
- L'assainissement du régime monétaire allemand. La "dévaluation" du mark. (Economiste fr. 50-42, 3 p.) 1922
- Liman** Zur Frage der Aufwertung von Hinterlegungsgeldern. (Jurist. WSchr. 54-16, 4 p.) 1925
- \*Lindemann, E.** Goldaufwertung. Kurs-Tabelle zur Umrechnung d. Papiermark in Goldmark nach d. Berliner Mittelkurs. Friedensparität 1\$=M4.20. Hannover: Engelhard 1924. 16 p. 8°
- Long, R. C.** The end of the mark currency: a letter from Berlin. (Fortnightly R. 678, 16 p.) 1923
- \*Loewe, E.** Die Fälligkeit der Aufwertungshypotheken. Die Regierungsvorlage u. Begründung d. neuen Gesetzes über d. Fälligkeit u. Verzinsung d. Aufwertungshypotheken nebst Aufwertungsgesetz u. Gesetz über d. Verzinsung aufgewerteter Hypotheken. Hrsg. mit einer Einl. Berlin: Schwabacher 1930. 48 p. 8°
- Lübtow, v.** Die Form der Eintragung von Aufwertungshypotheken. (Jurist. Rdsch. 5-11, 3 p.) 1929
- Lucas** Zur Frage der Aufwertung von Hinterlegungsgeldern. (Jurist. WSchr. 54-16, 4 p.) 1925
- Luczak, H.** Die Geldentwertung 1621 und 1921. (Freiwirtschaft. 4-5, 3 p.) 1922
- Lührse** Deutsches oder polnisches Aufwertungsrecht? (Jurist. WSchr. 55-29, 1 p.) 1926

- Lumm, K. v.** Die Wertsicherungen der Rentenmark in der Verordnung vom 15. Oktober 1923. (Bank-A. 26-1, 6 p.) 1926
- Lüsebrink** Die höhere Aufwertung der persönlichen Forderung (Dt. Steuer-Ztg. 15-2, 5 p., 9, 4 p.) 1926
- Lust, P.** Inwieweit ist eine Aufwertung öffentlich-rechtlicher Forderungen, insonderheit von Anliegerbeiträgen rechtlich möglich? (Allg. Dt. Haus- u. Grundbesitzer-Ztg. 32-44, 2 p.) 1926
- Maier** Aufwertung von Forderungen aus Auseinandersetzungen. (Z. f. Rechtspf. in Bayern. 20-21, 2 p.) 1924
- Mainz, H.** Die Prolongation der Aufwertungsobligationen. (Bank-A. 31-7, 2 p.) 1932
- Marcuse, A.** Die höhere Aufwertung der persönlichen Forderung. (Dt. Steuer-Ztg. 15-7, 2 p.) 1926
- Marcuse, P.** Geldentwertung und Abgaberecht. [In: Geldentwertung i. d. Praxis d. dt. Rechtslebens. 1, 36 p.] 1923
- Margoninsky, H.** Das neue Aufwertungsgesetz. (Allg. dt. Haus- & Grundbesitzer-Ztg. 33-29, 4 p.) 1927
- Marx** Zum Stand der Aufwertung von Privatschulden. (Beamtenbl. f. Religion & Kultur. 12-6, 5 p.) 1925
- \*Mauko, A.** Regenerierung der Landes-Währung. Die neue Wertverrechnungsmethode zur rechnermäßigen Stabilisierung unserer Währung. Wien: Autor 1923. 11 p. 2 Tab. 8°
- \*Maxime-Robert, J.** Dépréciation de la monnaie et équilibre budgétaire. Etude sur les finances allemandes, 1922/23. Paris: Pr. univ. de France 1926. 146 p. 8°
- Meier** Geldentwertung und Preisbildung im Inland. [In: Handelskammer Augsburg. Prot. d. am 18. Nov. 1921 abgeh. 58. öff. Sitzung. 6 p.] 1921
- Meister, M.** Aufwertung deutscher Ansprüche in Polen. (Oberschles. Wirtschaft. 5-8, 3 p.) 1930
- Mellerowicz, K.** Die Stabilisierung der Mark. (Bespr.) (Bankwiss. 3-24, 7 p.) 1927
- Mendelssohn, F. v.** Die wirtschaftlichen Folgen der Markstabilisierung. (Mitt. d. Ind- u. Handelskammer Berlin, 26-2, Beil., 6 p.) 1928
- Meneau, J.** Conséquences de l'inflation et de la dépréciation monétaire pour l'économie générale de l'Allemagne. (R. écon. int. 14, 1, 1, 17 p.) 1922
- Mengelkoch** Wie kann die Aufwertung der Hypothekenforderungen, Sparkasseneinlagen und Lebensversicherungen erfolgen? (Dt. Juristen-Ztg. 28-19/20, 4 p.) 1923
- Mering, O. Frhr. v.** Entwertung und Stabilisierung der Mark. (Z. f. d. ges. Staatswiss. 78-2, 42 p.) 1924
- Merkel, K.** Die Aufwertung von Genussscheinen. (Dt. Steuer-Ztg. 15-4, 2 p.) 1926
- Merten** Rangverbesserung der Zedenten-Aufwertungshypothek. (Sparkasse. 50-6, 3 p.) 1930
- Metzges, F.** Grundsätzliches zur Aufwertungsfrage. (Leipziger Z. f. Dt. Recht. 19-2, 10 p.) 1925
- Die Denkschrift der Regierung zur Aufwertungsfrage. (Leipziger Z. f. Dt. Recht. 19-7, 17 p.) 1925
- Aufwertung u. Volksbegehren. (Leipziger Z. f. Dt. Recht. 20-14, 11 p.) 1926
- Der Gesetzentwurf der "Reichsarbeitsgemeinschaft" als Grundlage des Volksentscheids über die Aufwertungsfrage. (Leipziger Z. f. Dt. Recht. 21-6, 9 p.) 1927
- Meuren, J.** Die Aufwertung von Industrieobligationen und Pfandbriefen nach der Durchführungsverordnung zum Aufwertungsgesetz vom 29. Nov. 1925. (Westdt. Wirtschafts-Ztg. 3-46, 3 p.) 1925
- Meyer** Genossenschaftliche Aufwertungsfragen im Jahre 1924. (Edeka-Rdsch. 18-2, 3 p.) 1925
- \*Meyer, G. C.** Der Goldwert der Papiermarkkationen und die Frage der Kapitalzusammenlegungen. Würzburg: Boegler 1924. 51 p. 8°. [Volkswirtschaftl. Schr. 2]
- Meyer, Th.** Aufwertung der Hypotheken, deren Nennbetrag vor dem 15. Juni 1922 vorbehaltlos entgegengenommen wurde? (Sparkasse. 46-8, 2 p.) 1926
- Meyer, W.** Die neue "Aufwertungsversicherung." (Z. f. Versicherungswesen. 50-23, 2 p.) 1927
- Michaelis, R.** Die geplante und erreichte Aufwertungsgesetzgebung. (Zeitgem. Steuerfragen. 6-1/2, 5 p., 5, 7 p., 9/10, 9 p.) 1925
- \* — Das Aufwertungsrecht nach den Aufwertungsgesetzen und nach allgemeinem bürgerlichen Rechte. Kommentar zu den Gesetzen vom 16. VII. 1925 über die Aufwertung von Hypotheken u. a. Ansprüchen und über die Ablösung öffentlicher Anleihen, sowie systematische Darstellung des Aufwertungsrechtes ausserhalb dieser Gesetze. 2. gänzl. umgearb. Aufl. d. Kommentars zur 3. Steuernotverordnung vom 14. II. 1924 (Aufwertung). Mit einer Fristentab. von Hoormann. Berlin: de Gruyter 1926. x, 516 p. 8°. [De Gruytersche Samml. dt. Gesetze. Handkommentare]

- Michel** Wohlfahrtspflege und Aufwertung. (Soz. Praxis. 34-18, 5 p.) 1925
- Mirre** Aufwertungsschulden und Einkommensteuer. (Steuer u. Wirtschaft. 5-11, 6 p.) 1926
- Moldenhauer** Die Aufwertung der Lebensversicherung. (Versicherungspraxis. 23-6, 3 p.) 1925
- \***Moldenhauer, P.** Die Regelung der Aufwertungsfrage. Köln: Neubner 1925. 20 p. 8°. [Kölner Industriehefte. 2]
- Mombert, P.** Der Einfluss einer Marktstabilisierung auf die Konjunkturlage in Deutschland. (Bund—Frankfurt a. M. 2-2, 5 p.) 1923
- Moos** Eine Anregung zur Frage der Aufwertung der Reichs- und Länderanleihen. (Bank-A. 24-7, 2 p.) 1924
- Morus** [Lewinsohn, R.] Die Stabilisierung der Mark. (Weltbühne. 18-18, 4 p., 19, 3 p.) 1922
- Mügel, O.** Gesetzliche Massnahmen aus Anlass der Geldentwertung. Die Goldmark als Rechnungswert. (Jurist. WSchr. 50-20, 13 p.) 1921
- Die Frage der Aufwertung der Hypothekenforderungen vom Standpunkte des geltenden Rechtes aus. (Jurist. WSchr. 52-21/22, 3 p.) 1923
- \* — Das gesamte Aufwertungsrecht. Kommentar zum Aufwertungsgesetz vom 16. VII. 1925 u. systemat. Darstellung d. sonst. Aufwertungsrechts. 6./15. Tsd. Unveränd. Zugleich 4. u. 5. Aufl. d. Kommentars z. 3. Steuernotverordnung. Mit e. Anh.: Die rechtspolitische u. wirtschaftliche Bedeutung des Aufwertungsgesetzes v. H. Wunderlich. Berlin: Liebmann 1925. xxvi, 542 p. 8°
- \* — Kommentar zu den Aufwertungsvorschriften der dritten Steuernotverordnung vom 14. Febr. 1924. Nebst d. Durchführungsbestimmungen. 2. veränd. u. verm. Aufl. [Nebst] Nachtr. Berlin: Liebmann 1925. 175; 8 p. 8°
- Aufwertungsfragen. (Z. f. d. ges. Staatswiss. 80-1, 43 p.) 1925
- Der gegenwärtige Stand der Aufwertungsfrage. (Dt. Juristen-Ztg. 30-1, 5 p.) 1925
- \* — Die Aufwertung. Ueberblick über d. Entwicklung. Berlin: Gersbach 1926. 27 p. 8°. [Schr. d. Vereinigung f. staatswiss. Fortbildung. 14]
- \* — Das gesamte Aufwertungsrecht. Kommentar zum Aufwertungsgesetz vom 16. VII. 1925 u. systemat. Darst. des sonstigen Aufwertungsrechts. 16./20. Tsd. unveränd. Neudr. Mit e. Anh.: Die rechtspolitische und wirtschaftliche Bedeutung des Aufwertungsgesetzes von H. Wunderlich. Berlin: Liebmann 1926. xxvi, 550 p. 8°
- \***Mügel, O.** Kommentar zur Durchführungsverordnung zum Aufwertungsgesetz vom 29. XI. 1925. Mit den Ausführungsbestimmungen des Reichs und der Länder sowie Erg. und Nachtrag zum "gesamten Aufwertungsrecht." 1./10. Tsd. Bildet zugleich d. Erg.-Bd. zu das ges. Aufwertungsrecht. Berlin: Liebmann 1926. xvi, 497 p. 8°
- Die Rechtsgültigkeit des Aufwertungsgesetzes. (Dt. Juristen-Ztg. 31-1, 3 p.) 1926
- Die Volksbegehren zur Aufwertung. (Dt. Juristen-Ztg. 31-10, 9 p.) 1926
- Das Volksbegehren zur Aufwertung und Anleiheablösung. (Dt. Juristen-Ztg. 31-14, 5 p.) 1926
- Volksentscheid über die Aufwertungsgesetze. (Dt. Wirtschafts-Ztg. 23-30, 3 p.) 1926
- \* — Das gesamte Aufwertungsrecht. 1. Die rechtspolitischen u. wirtschaftlichen Tendenzen der Aufwertungsgesetzgebung. Von H. Wunderlich. 2. Einleitung. 3. Systemat. Darstellung der Aufwertung nach allg. Vorschriften. 4. Kommentar zur Aufwertungsgesetz vom 16. VII. 1925 unter Einverarbeitung der Novelle vom 9. VII. 1927. 5. Durchführungsverordnungen des Reichs. einschl. der Verordnung vom 12. IX. 1927, mit Kommentar. 5. gänzl. Neubearb. Aufl. 21./27. Tsd. 2. Hälften. Berlin: Liebmann 1927. 1. iv, 832 p., 2. xxiv, 459 p. 8°
- Aeltere wertbeständige Hypotheken. (Dt. Juristen-Ztg. 34-11, 6 p.) 1929
- Der Gesetzentwurf über die Fälligkeit und Verzinsung der Aufwertungshypotheken. (Dt. Juristen-Ztg. 35-12, 6 p.) 1930
- Aufwertung von Markansprüchen gegen ausländische Versicherungsgesellschaften. (Jurist. WSchr. 63-18) 1934
- Mueller** Aufwertung von Gemeindeforderungen aus Schuldverträgen. (Preuss. Verw.-Bl. 48-30, 3 p.) 1927
- Nachträgliche Aufwertung von Industrie-Obligationen. (Mag. d. Wirtschaft. 1-27, 1 p.) 1925
- Nadler** Verzinsung und Fälligkeit der Aufwertungsbeträge. (Jurist. Rdsch. 1-24, 10 p.) 1925
- Die Bedeutung des 1. Januar 1926 für die Aufwertungspraxis. (Jurist. Rdsch. 2-1, 11 p.) 1926
- Die Einwirkung eines Vergleichs auf das Aufwertungsrecht des früheren Gläubigers. (Dt. Steuer-Ztg. 15-4, 8 p.) 1926
- \***Nadler, M.** Grundbuch- und Aufwertungsfragen. 3. Aufl. Berlin: Sack 1927. viii, 296 p. 8°

- \***Neisser, H.** Bleibt die Mark stabil? Breslau: Volkswacht-Buchdr. 1924. 22 p. 8°
- Vergangenheit und Zukunft der Marktstabilisierung. (Z. f. Politik. 14-4, 14 p.) 1924
- Nell-Breuning, O. P.** Aufwertung und Bodenreform. (Bodenreform. 36-30, 5 p.) 1925
- \***Nertinger, J.** Goldmark-Buchführung und Goldmark-Bilanzen. Ihre Durchführung u. Aufstellung. Die Einwirkung d. Geldentwertung auf d. Höhe d. Erfolgs u. d. Geschäftsvermögen von Industrie u. Handel leichtverst. dargest. u. durch Buchungsbeisp. veranschaulicht. 2. durchges. Aufl. 6./10. Tsd. Stuttgart: Muth 1922. 69 p. 1 Tab. 8°. [Moderne Handelsbroschüren]
- \* Die neuen Aufwertungsgesetze. Gegenüberstellung d. gegenwärt. Rechts nach d. 3. Steuernotverordnung u. d. Regierungsentwurfs in d. vom Reichsrat beschlossenen Neufassung. Mit aml. Begründung u. Schlagwortreg. Berlin: Heymann 1925. iv, 102 p. 8°
- \* Die neuen Aufwertungsgesetze. Nachtr. A. Das Aufwertungskompromiss der Regierungsparteien im Reichstag. B. Die bisherigen Beschlüsse d. Aufwertungsausschusses im Reichstag. Berlin: Heymann 1925. 6 p. 8°
- Neufeld, H.** Der sozialpolitische Gehalt des Aufwertungsproblems und seine Lösung. (Dt. Z. f. Wohlfahrtspflege. 1-3, 6 p.) 1925
- \* — Die Ablösung der Markanleihen der Länder, Gemeinden und Gemeindeverbände. Berlin: Spaeth & Linde 1926. 56 p. 8°
- Neukirch, C.** Pfund = Pfund? (Jurist. WSchr. 60-46, 2 p.) 1931
- \* — (Erl.) Gesetz über die Aufwertung von Hypotheken und anderen Ansprüchen (Aufwertungsgesetz) vom 16. VIII. 1925 mit Durchführungsverordnungen, unter Mitarb. von E. Goltermann u. R. Neukirch. Halle a. S.: Buchhdlg. des Waisenhauses 1926. xv, 780 p. 8°
- \***Neukirch, R.** Beiträge zur Aufwertung nach allgemeinen Vorschriften. 1927. 65 p. 8°. [Diss: Frankfurt]
- Neuschäffer, H.** Aufwertung über pari. (Hessische Rechtsprechung. 25-6, 6 p.) 1925
- Nicolai, H.** Grundsätzliches zur Aufwertung. (Sparkasse. 45-3, 4 p.) 1925
- Nothdurft** Versäumung von Aufwertungsfristen. (Aufwertungspraxis. 5, 4 p. = Beil. z. Dt. Steuer-Ztg. 15-5) 1926
- Novelle zum Aufwertungsgesetz. Enthält: Der Wortlaut des Gesetzes über die Verzinsung aufgewerteter Hypotheken und ihre Umwandlung in Grundschulden sowie über Vorzugsrenten.—Erläuterungen zum Gesetz (Krieger). (Sparkasse. 47-14, Sonderh. 14 p.) 1927
- \***Nussbaum, A.** Die Bilanz der Aufwertungstheorie. Tübingen: Mohr 1929. 48 p. 8°. [Recht u. Staat in Geschichte u. Gegenwart. 64]
- Obermair, M.** Der räumliche Geltungsbereich des Aufwertungsgesetzes. (Leipziger Z. f. Dt. Recht. 19-22, 10 p.) 1925
- Sicherung gegen Rangverschlechterungen durch Aufwertungsansprüche aus gelöschten Rechten. (Bank-A. 30-23, 2 p.) 1931
- Oehler, A.** Die Aufwertung bei den Sparkassen nach den neuen Aufwertungsgesetzen. (Dt. Sparkassen-Ztg. 2-88, 2 p., 89, 2 p.) 1925
- Die Entwürfe zu den beiden Aufwertungsgesetzen und die Sparkassen. (Sparkasse. 45-7, 6 p.) 1925
- Die Aufwertung der Sparkassenguthaben. (Sparkasse. 46-3, 3 p.) 1926
- Die Aufwertung der vom Gewährleistungsverband bei seiner Sparkasse entnommenen Gelder. (Sparkasse. 46-4, 3 p.) 1926
- Oelrichs** Die Aufwertungsfrage. (Dt. Wirtschafts-Ztg. 21-50, 2 p.) 1924
- Das neue Aufwertungsgesetz. (Ostdt. Wirtschafts-Ztg. 4-17, 6 p.) 1925
- Aenderung der Hypothekenaufwertung? (Ostdt. Wirtschafts-Ztg. 5-48, 3 p.) 1927
- \***Ortel, F.** Reichsgoldstelle. Ein Vorschlag zur Schaffung e. Wertmessers f. unser Geldwesen u. zur Stabilisierung d. Papiermark. Bremen: Leuwer in Komm. 1922. 16 p. 8°
- Oertmann, P.** Aufwertung über den Goldmarkwert? (Dt. Juristen-Ztg. 30-13, 5 p.) 1925
- Oswalt** Die Mark als Wertmesser. (Jurist. WSchr. 52-21/22, 4 p.) 1923
- Ott** Aufwertungslast und Gründerwerbsteuer. (Steuer u. Wirtschaft. 5-11, 18 p.) 1926
- \***Pape, E.** Geldentwertungsausgleich zugunsten des Reichs (Obligationensteuer) und die Bewertung von Reichsmarkforderungen und -Schulden bei der Aufwertung von Vermögen-, Erbschafts- und anderen Steuern (Art. III. a. u. IV der Verordnung. Berlin: Liebmann 1924. 67 p. 8°. [Dt. Finanz- und Steuergesetze in Einzelkommentaren. 7. Kommentar zur 3. Steuernotverordnung vom 14. II. 1924. 3]
- Parvus** Die Gutachten der Sachverständigen (über d. Marktstabilisierung) und die Regierungsnote. (Wiederaufbau. 24/25, 3 p.) 1922
- Das Experiment der Marktstabilisierung. (Wiederaufbau. 39, 3 p.) 1923

- Pasching, W.** Geldentwertung und Verzögerungsschaden bei Dollar- und Pfandschulden. (Mitt. d. Verb. österr. Banken u. Bankiers. 16-2, 6 p.) 1934
- Perdelwitz, H.** Die deutsch-polnischen Aufwertungsabkommen. (Sparkasse. 51-8, 8 p.) 1931
- Perdelwitz, J.** Sparkassen-Aufwertung in Preussen. (Dt. Wohnungs-A. 9-6, 5 p.) 1934
- Petersen, A.** Aufwertung und Unfallversicherung. (Jurist. WSchr. 54-3, 3 p.) 1925
- Die Aufwertung von Versicherungsansprüchen in der Haftpflicht, Unfall- und Sachversicherung. (Z. f. Versicherungswesen. 49-22, 3 p.) 1926
- Philippovich, S.** Die Aufwertung von alten Kronenwerten und die Landwirtschaft. (Oesterr. Volksw. 17-42, 3 p.) 1925
- \***Piechotka, E.** Aufwertungsbeitrag und Volksentscheid. Die Wiederverzinsung alles arbeitenden Kapitals, d. einzige Weg zum wirtschaftl. Wiederaufbau. Leipzig: Hammer-Verl. 1925. 30 p. 8°
- \*— Aufwertungs-Betrug und Wirtschaftsmord. 2. Aufl. Leipzig: Hammer-Verl. 1926. 62 p. 8°. [Hammer-Schr. 40]
- Pincus, A.** Die Aufwertung ausgeloster Vorzugsaktien. (Dt. Steuer-Ztg. 14-5, 3 p.) 1925
- \***Plum** Zum Aufwertungsanspruch des ausgeschiedenen Gesellschafters. (ZBl. f. Handelsrecht. 2-5/6, 4 p., 7/8, 5 p.) 1927
- Pollack, E.** Hypothekenaufwertung. (Grundeiigentum. 42-42, 2 p.) 1923
- Pollak, R.** Ueber Aufwertung. (Juristen-BI. 53-23/24, 14 p.) 1924
- \***Posener, P.** (Erl.) Die Aufwertungsgesetzgebung (nebst Abdruck d. Ausführungsbestimmungen). Berlin: Fichtner 1925. 120 p. 8°
- Potthoff, H.** Erfolg der Marktstabilisierung? (Plutus. 20-6, 2 p.) 1923
- Zur Aufwertungsfrage. (Weltw.-Ztg. 10-15/16, 1 p.) 1925
- Prion, W.** Zinspolitik und Marktstabilisierung. Ein Beitrag zur Frage des Zinswuchers. (Schmollers JB. 48-4, 27 p.) 1924
- Probst** Rechtskraft und Vergleich bei der Aufwertung. (Jurist. WSchr. 55-12, 4 p.) 1926
- \***Purz, H.** Die Pfandbriefaufwertung bei den Hypothekenbanken durch Ausgabe von Liquidationspfandbriefen. 1933. 125, 3 p. 4°. [Diss. Frankfurt]
- Puschel, W.** Die Novelle zum Aufwertungsgesetz. (Mitt. d. Ind.- u. Handelskammer Berlin. 25-22, 7 p.) 1923
- Quassowski, L.** Das neue Aufwertungsrecht: Gesetz über die Verzinsung aufgewerteter Hypotheken und ihre Umwandlung in Grundschulden sowie über Vorzugsrenten vom 9. Juli 1927 (Reichsgesetz-BI. 1927, 171.) (Jurist. WSchr. 56-31, 6 p.) 1927
- \*— (Erl.) Kommentar Gesetz über die Aufwertung von Hypotheken und anderen Ansprüchen vom 16. VII. 1925 (Aufwertungsgesetz) nebst dem Ergänzungsgesetz vom 9. VII. 1927 und den Durchführungsverordnungen. 5. neubearb. Aufl. Mannheim: Bensheimer 1927. xvi, 1035 p. 8°
- \*— Die neuen Aufwertungsgesetze. Gesetz über d. Bereinigung der Grundbücher. Gesetz über d. Fälligkeit u. Verzinsung d. Aufwertungshypotheken. Mannheim: Bensheimer 1930. xix, 196 p. 8°
- Raape, L.** Die Aufwertung der Hypotheken. (Gruchots Beitr. z. Erl. d. Dt. Rechts. 68-2/3, 80 p.) 1925
- Raasch** Zur Frage der Aufwertung von Enteignungsschädigungen. (Dt. Juristen-Ztg. 32-7, 4 p.) 1927
- Radecke** Keine Aufwertung der Besatzungsschädigungen im Feststellungsverfahren. (Wirtschaftl. Nachr. f. Rhein u. Ruhr. 7-24, 2 p.) 1926
- Rademacher, W.** Aufwertung und Wirtschaft. (Sächs. Ind. 21-25, 3 p.) 1925
- \*— Das neue Aufwertungsrecht einschl. der Ablösung der öffentlichen Anleihen, nebst prakt. Beispielen, Formularen f. d. notwend. Anmeldungen u. 1 Tab. d. einzuhaltenden Fristen, ausführl. Sachreg. u. d. Wortlaut d. Gesetzes. Gemeinverst. dargest. Unter Mitw. von **A. Philipp**. Berlin: Stilke 1925. xvi, 332 p. 8°
- Die vorzeitige Zahlung des Aufwertungsbeitrages. (Dt. Steuer-Ztg. 15-7, 3 p.) 1926
- \***Radenac, G.** Methoden und wirtschaftliche Wirkungen der Währungsstabilisierung in Deutschland und Frankreich. Ein Vergleich. Köln-Nippes: Rick 1932. iv, 44 p. 12. Tab. 8°. [Diss. Köln]
- Rauschenplat, v.** Zur Frage der Aufwertung von Bankguthaben. (Bank-A. 24-7, 3 p.) 1924
- \*Referentenentwurf einer Denkschrift über die Aufwertung. Verf. im Reichsfinanzministerium. Berlin: Heymann 1925. 54 p. 4°. [Denkschr. d. Reichstags. 1925, 4] [Sonderbeil. zur Dt. Juristen-Ztg. 1925, 4]
- Reichardt, D.** Der Goldmarkbetrag aufgewerteter Industrieobligationen auf Grund der Durchführungsverordnung zum Aufwertungsgesetz vom 29. Nov. 1925. (Dt. Wirtschafts-Ztg. 22-52, 3 p.) 1925

- Reichardt, D.** Die Aufwertung von Ansprüchen an Fabriksparkassen und Betriebspensionskassen. (Dt. Wirtschafts-Ztg. 23-32, 3 p.) 1926
- \***Reichardt, W.** Die Aufwertung von Industrieobligationen und verwandten Schuldverschreibungen. Nach d. Aufwertungsgesetz vom 16. Juli 1925 u. d. Ausführungsbestimmungen systemat. dargest. u. durch Beispiele erl. Berlin: Vahlen 1926. xii, 123 p. 8°
- Reichert** Das Gesetz über die Fälligkeit und Verzinsung der Aufwertungshypotheken. (Sparkasse. 50-16, 4 p.) 1930
- Reiling, E.** Der öffentliche Glaube des Grundbuchs und die Aufwertung. (Bank-A. 24-22, 2 p.) 1925
- Missbrauch des Aufwertungsgedankens zur Revision erledigter Verträge. (Bank-A. 25-11, 4 p.) 1926
- Reimann, H.** Pfandbriefaufwertung. (Mag. d. Wirtschaft. 1-26, 5 p.) 1925
- Reiss** Schematisierte Aufwertung und Eingriff in wohlverworbene Rechte. (Jurist. Rdsch. 2-7, 9 p.) 1926
- \***Renell, E.** Der Warenwechsel in Deutschland in der Geldentwertungszeit 1919 bis 1923. 1926. 71 p. 8°. [Diss. Berlin]
- Rentrop, S.** Rechtssicherheit oder Gerechtigkeit? Gedanken zur Aufwertung. (Wirtschaftl. Nachr. a. d. Ruhrbez. 6-24, 2 p.) 1925
- Richter, E. A.** Einiges über Nutzniesser der Marktentwertung. (Z. f. Handelswiss. 16-8, 3 p.) 1923
- \*Richtlinien für ein Gesetz zur Regelung der Goldentwertungsverluste bedürftiger ehemaliger Kapitalrentner (Inflationsschädigengesetz). Kassel: Dt. Rentnerbund 1931. 10 p. 8°
- \***Riss, H.** Leitfaden durch das Aufwertungsrecht. M-Gladbach: Volksvereins-Verl. 1926. 55 p. 8°. [Staatsbürger. Bibl. 137/38]
- Rist** La stabilisation en Allemagne et en Tchécoslovaquie. (Europe nouv. 432) 1926
- \***Robert, J.** Dépréciation de la monnaie et équilibre budgétaire. Etude sur les finances allemandes, 1922/23. 1926. 146 p. 8°. [Thèse, Paris]
- Roehrich, H.** Wie halten wir unsere Währung stabil? (Dt. Arbeit. 9-7, 5 p.) 1924
- Römer** Die Berücksichtigung des neuen Aufwertungsgesetzes bei den kaufmännischen Bilanzen. (Westdt. Wirtschafts-Ztg. 3-33, 2 p.) 1925
- Roscher, E.** Die neue Aufwertungsgesetzgebung und die Baugenossenschaften. (Z. f. Wohnungswesen. 23-17, 4 p.) 1925
- Roscher, E.** Rangvorbehalt bei Aufwertung der Hypotheken. (Z. f. Wohnungswesen. 23-22, 2 p.) 1925
- Rosenberg** Die Aufwertung von Hypotheken. Ein Gesetzgebungsvorschlag. (Dt. Juristen-Ztg. 28-21/22, 4 p.) 1923
- Aufwertung und Anleiheablösung. (Soz. Praxis. 34-47, 6 p.) 1925
- Rosendorff, R.** Das deutsche Geldentwertungsgesetz. (Mitt. d. Verb. österr. Banken u. Bankiers. 5-9/10, 5 p.) 1923
- Die Aufwertung rückständiger Kapital-einzahlungen. (Dt. Steuer-Ztg. 14-10, 3 p.) 1925
- Rosher, E.** Rangvorbehalt bei Aufwertung der Hypotheken. (Z. f. Wohnungswesen. 23-22, 2 p.) 1925
- Ross** Fälligkeitsklausel und Aufwertung. (Wirtschaftl. Nachr. f. Rhein u. Ruhr. 6-45, 5 p.; Dt. Oekonomist. 2110, 6 p.; Unternehmung. 2-2, 11 p.) 1925/26
- Ross, E.** Entwurf der Juristischen Arbeitsgemeinschaft für Gesetzgebungsfragen zur Aenderung des Aufwertungsgesetzes. (Dt. Sparkassen-Ztg. 4-23, 2 p.) 1927
- Rost, H.** Das internationale Aufwertungsrecht Polens. (Z. f. Ostrecht. 3-10, 19 p.) 1929
- \***Roth, A.** Die Aufwertung. Systemat. Bearb. d. Aufwertungsproblems u. d. Aufwertungs-vorschriften unter umfassender Berücks. d. Rechtsprechung u. Literatur. 1. Bd. Allg. Tl. Grundlagen u. Richtlinien d. Aufwertung. Berlin: Sack 1925. viii, 164 p. 8°
- Die Aufwertung der Kontokorrentforderungen. (Leipziger Z. f. dt. Recht. 19-15/16, 10 p.) 1925
- Uneigentliche Aufwertung. (Jurist. Rdsch. 1-1, 10 p.) 1925
- Aufwertung von Bürgschaftsforderungen. (Jurist. Rdsch. 1-2, 7 p.) 1925
- Der Referentenentwurf einer Denkschrift über die Aufwertung, verfasst im Reichsfinanzministerium. (Jurist. Rdsch. 1-3, 4 p.) 1925
- Der neue Aufwertungsgesetzentwurf. (Jurist. Rdsch. 1-7/8, 11 p.) 1925
- Das Verhältnis der gesetzlichen Regelung des Aufwertungsproblems zur freien Aufwertung und die Bestimmung des Begriffs der Vermögensanlage. (Jurist. Rdsch. 1-17, 13 p.) 1925
- Rückwirkende Aufwertung bei Industrieobligationen. (Bank-A. 24-22, 2 p.) 1925

- Roth, A.** Die Aufwertung der Kaufpreisforderung bei Grundstücksverkäufen. (Jurist. Rdsch. 2-17, 10 p.) 1926
- Einzelfragen des Aufwertungsrechts. (Bank-A. 25-12, 3 p.) 1926
- Der Inflationsaufwertungsvergleich. (Jurist. WSchr. 55-20, 5 p.) 1926
- \*— Umwertung und Aufwertung (Geldschulden u. Geldschulden). Mit Anh.: Der öffentliche Glaube des Grundbuchs im Aufwertungsrecht. Berlin: Sack 1927. 202 p. 8°
- Der Fälligkeitstermin der Aufwertungsverpflichtungen zum 1. Januar 1932. (Dt. Wohnungs-A. 4-7, 4 p.) 1929
- Ruberg, K.** Die Zusatzaufwertung nach dem neuen Aufwertungsgesetz in der Bilanz. (Welt d. Kaufmanns. 6-9, 3 p.) 1925
- \*Die Rückzahlung der Aufwertungshypotheken zum 1. Januar 1932. Denkschrift des Zentralverbandes dt. Haus- u. Grundbesitzervereine. e. V. vom Mai 1930 zum Entwurf eines Aufwertungsschlussgesetzes. o. O. 1930. 77 p. 8°
- \***Rudolph, K.** Gebt mir mein Vermögen wieder! Gedanken u. Vorschläge zu e. gerechten Aufwertung. Leipzig: "Wahrheit" in Komm. 1924. 16 p. 8°
- \***Ruzicka, E.** Das Ende der Kronenwährung. Durch Devaluierung zur Konsolidierung. Wien: Konegen 1921. 32 p. 8°
- \***Samter, M. K.** Handbuch der Aufwertung der Hypotheken, der anderen Ansprüche und der öffentlichen Anleihen nach den beiden Reichsgesetzen vom 16. VII. 1925 und den neuen Aus- und Durchführungsverordnungen in systemat., übersichtlicher und leichtfasslicher Darstellung. Berlin: Stilke 1926. 510 p. 8°
- \*— Die Novelle zum Aufwertungsgesetz in systemat. Darst. zugleich e. Nachtr. zum Handbuch d. Aufwertung, m. e. Zusammenstellg. der zum Aufwertungsgesetz erlassenen Verordnungen. Berlin: Stilke 1927. 52 p. 8°
- Sauzède, A.** Pourquoi les Allemands font-ils baisser le mark? (Parlement et opinion. 12-16/17, 13 p.) 1922
- Schaarschmidt** Das Aufwertungsgesetz. (Sparkasse. 45-10, 6 p.) 1925
- Zur Durchführungsverordnung zum Aufwertungsgesetz vom 29. Nov. 1925. (Sparkasse. 45-23, 8 p.) 1925
- \***Schacht, H.** The stabilization of the Mark. London: Allen & Unwin 1927. 247 p. 8°
1. The inflation of the war period. 2. From the armistice to the invasion of the Ruhr. 3. From the invasion of the Ruhr to the stabilization of the Mark. 4. The stabilization of the Mark. 5. From Rentenbank to Golddiskontbank. 6. From currency crisis to economic crisis. 7. The Dawes Plan. 8. The reconstruction of the German money and capital markets. 9. Foreign credits. 10. International co-operation.
- \***Schacht, H.** Die Stabilisierung der Mark. Stuttgart: Dt. Verlags-Anstalt 1928. ix, 194 p. 1 Portr. Titelb. u. eingedr. Kurve. 8°
- \*— La stabilizzazione del marco. Trad. e introd. di **S. G. Scalfati**. Pref. di A. De Stefani. Milano: Treves 1931. xlv, 270 p. 8°. [Raccolta di studi a cura dell'Ist. di pol. econ. e finanz. della r. Univ. di Roma.]
- Schade, K.** Die Aufwertung von Tilgungsfonds und Hypothek bei den sogenannten Tilgungsfondshypotheken. (Sparkasse. 45-21, 3 p.) 1925
- \***Schaefer, C. A.** Klassische Valuta-Stabilisierungen und ihre Lehren für die Marktstabilisierung. 3. veränd. Aufl. Preisgekrönt von d. Wirtschafts- u. Sozialwiss. Fakultät d. Univ. Köln. Hamburg: Boysen 1922. vii, 120 p. mit Fig. 8°. [For contents see II, 3, a]
- \*— & **Keidel, F.** Die Hauptfragen der Geldwertung und Aufwertung nach bürgerlichem Recht. 3. vollkomm. umgearb. Aufl. Leipzig: Hirschfeld 1925. iv, 104 p. 8°
- \*— — Das neue Aufwertungsgesetz dargestellt als Leitfaden für die juristische Praxis und für die Wirtschaft. 3. vollkommen umgearb. u. erg. Aufl. Leipzig: Hirschfeld 1925. iv, 139 p. 8°
- \*— & **Weissler, F.** Die Hypothekenaufwertung. Eine systemat. Darstell. nach dem neuesten Stande der Literatur und Rechtsprechung. 4. vollst. umgearb. und auf die Hypothekenaufwertung beschränkte Aufl. des neuen Aufwertungsgesetzes. Leipzig: Hirschfeld. 1927. xii, 172 p. 8°. [Grundriss des privaten u. öffentl. Rechts sowie der Volkswirtschaftslehre. Sonderh. 3]
- Schetter** Die rechtspolitische Bedeutung der Aufwertungsschlussgesetze. (Dt. Wohnungs-A. 5-9, 9 p.) 1930
- Scheuermann, F.** Nichtige Grundstücksverkäufe. Die neueste Gruppe der Aufwertungs-bewegung. (Dt. Steuer-Ztg. 14-11, 5 p.) 1925
- Das Schicksal der Aufwertungshypotheken. (Mag. d. Wirtschaft. 5-40, 4 p.) 1929
- \***Schiele, G. W.** Wie kann man die Mark stabilisieren? Naumburg: Autor 1922. 54 p. 8°. [Naumburger Briefe z. Verteidigung d. wirtschaftl. Freiheit. 1922, 6/8]

- \***Schiele, G. W.** Geschichte der deutschen Inflation und Aufwertung. Naumburg: Schiele 1927. 4 p. 4°. [Naumburger Briefe. 9]
- \***Schlegelberger, F.** (Erl.) Die Aufwertung von Hypotheken und Geldforderungen nach den Vorschriften der 3. Steuernotverordnung vom 14. Febr. 1924. 3. Abdr. mit d. Durchführungsbestimmungen. Berlin: Vahlen 1925. 179 p. 8°
- Schlesinger, K.** Aufwertung von Kauttionen. (Mecklenburg Z. f. Rechtspflege. 41-2, 6 p.) 1925
- Schlockermann, H.** Die Aufwertung von Restkaufgeldern. (Wirtschaftl. Nachr. f. Rhein u. Ruhr. 7-21, 3 p.) 1926
- Die Angriffe gegen das Aufwertungsgesetz. (Wirtschaftl. Nachr. f. Rhein u. Ruhr. 7-32, 2 p.) 1926
- Die Auswüchse des Aufwertungsproblems und ihre Gefahren für das Wirtschaftsleben. (Wirtschaftl. Nachr. f. Rhein u. Ruhr. 8-27, 3 p.) 1927
- Schlör** Aufwertungsfähige Forderungen und Schulden. (Dt. Steuer-Ztg. 15-3, 6 p.) 1926
- \***Schmalenbach, E.** Goldmarkbilanz. Berlin: Springer 1922. iii, 56 p. 8°. [Betriebswirtschaftl. Zeitfragen. 1]
- Schmalz, H. & Mügel** Die Behandlung von Währungsklauseln nach deutschem Recht. (Jurist. WSchr. 63-9, 7 p.) 1934
- Schmidt, W.** Die Aufwertung von Restkaufgeldern. (Wirtschaftl. Nachr. a. d. Ruhrbez. 6-38, 2 p.) 1925
- \***Schmiedicke, P.** Der Goldlohn in Deutschland vor und nach den Währungs-Stabilisierung. 1925. 96 p. 8°. [Diss. Greifswald]
- Schmitt** Aufwertung von Barsicherheiten. [Kauttionen bei den Hauptkassen der Reichsbahndirektionen.] (Ztg. d. Vereins Dt. Eisenbahnverw. 64-51, 4 p.) 1924
- Schnee, H.** Besteht die Möglichkeit einer Aufwertung der alten Reichsbanknoten? (Dt. Handels-Warte. 14-6, 2 p.) 1926
- Schneider, A.** Ist die Papiermark unser gesetzliches Wertmass? (Leipziger Z. f. Dt. Recht. 17-2, 8 p.) 1923
- Schönwandt, M.** Die Durchführung der Hypothekenaufwertung als Organisationsaufgabe. (Organisation. 27-19, 4 p.) 1925
- Schorr, L.** Restkaufgeld nach dem Aufwertungsgesetz vom 16. Juli 1925. (Organisation. 27-21, 2 p.) 1925
- Schrader, F.** Eine wichtige Streitfrage aus dem Gebiet der Aufwertung. (Unterschiedliche Behandlung der ersten Inflationsjahre.) (Wirtschaftl. Nachr. f. Rhein u. Ruhr. 7-51, 3 p.) 1926
- Schubert, W.** Auslandsdeutsche Fragen bei der Aufwertung industrieller Obligationen. (Weltwirtschaft. 13-9, 2 p.) 1925
- Schücking, L. L.** Economic and political consequences of the fall of the mark. (New Statesman. 493, 2 p.) 1921
- Schultze-Plotzius** Der Grundsatz "Mark gleich Mark" in der Goldbilanzverordnung. (Preuss. Verw.-Bl. 47-38, 2 p.) 1926
- \***Schumacher, A.** Endgültige Aufwertung. Eine Darstellung d. Aufwertungsfragen mit Beisp. u. Tab., nebst d. Aufwertungsgesetz, d. Anleiheablösungsgesetz u. d. sonstigen geltenden Bestimmungen über d. Aufwertung u. e. Erörterung d. Hauszinssteuer. Essen: Girardet 1925. 248 p. 8°
1. Fristen. i. Das Geldwesen des Deutschen Reiches. ii. Entwicklung der Rechtsprechung. iii. Kriegsanleihen und sonstige öffentliche Anleihen. iv. Hauszinssteuer. 2. Gesetz über die Ablösung öffentlicher Anleihen. 3. Aufwertungsgesetz. 4. Verordnung über die Aufwertungsstellen. 5. Verordnung über Geldbezüge aus Altenteilsverträgen. 6. Verordnung über Aufwertung von Pfandbriefen landwirtschaftlicher Kreditanstalten usw.
- Die Aufwertung der Kauttionen. (Dt. Landw. Presse. 53-11, 1 p.) 1926
- Die Schwankungen des Geldwertes und die Arbeitslosigkeit (1913/30). [In: Probleme d. Arbeitslosigkeit im Jahre 1931.] 1931
- Schwartz, F.** Die Durchführung der Aufwertung bei Hypothekenbanken. (Bank-A. 23-23, 6 p.) 1924
- Schwarz, O.** Marktstabilisierung. (Elbe. 2-6/7, 5 p.) 1923
- Schwarzschild, L.** Stabilisierung der Mark. (Tagebuch. 3-15, 5 p.) 1922
- Schweitzer, E. E.** Streitfragen aus dem Aufwertungsgesetz. [Die Härteklausele d. § 8 Aufwertungsgesetzes.] (Grundeigentum. 44-33, 2 p., 37, 3 p., 38, 3 p.) 1925
- Aufwertung und Rechtseinheit. Ein Grundmangel des Aufwertungsrechtes. (Grundeigentum. 44-41, 3 p.) 1925
- Zum Moratorium der Aufwertungshypotheken. (Dt. Wohnungs-A. 4-12, 4 p.) 1929
- Selle** Die Anleiheaufwertung. (Grundeigentum. 44-33, 2 p.) 1925

- Sender, T.** Soll der Katastrophe entgegenge-  
wirkt werden? (Betriebsräte-Z. 3-23, 6 p.)  
1922
- Stabilisierung? (Betriebsräte-Z. 4-5, 4 p.)  
1923
- Halbe Massnahmen. [Zu den Stabili-  
sierungsversuchen der Reichsbank.] (Betriebs-  
räte-Z. 4-11, 3 p.) 1923.
- Settegast** Ruhegehaltsversicherungsverträge  
und Aufwertung. (Jurist. Rdsch. 3-19, 3 p.)  
1927
- Sicha, W.** Die Aufwertungsverschuldung des  
städtischen Grundbesitzes in Preussen. (Dt.  
Wohnungs-A. 7-12, 6 p.) 1932
- Siegel, W.** Die Entwertung der Privatrechte  
und der Zwangskurs unseres Papiergeldes.  
(Juristen-BL 51-9/10, 4 p.) 1922
- \***Siehr, K.** Das Aufwertungsgesetz in der Re-  
chtsprechung der oberen Gerichte. Samml.  
d. bisher ausgesprochenen Rechtsgrundsätze  
zum Aufwertungsgesetz. In d. Folge d. Ge-  
setzesvorschriften zsgst. N. F. Berlin: Hey-  
mann 1927. N. F. iv, 100 p. 8°
- Simon, L.** Das Kompromiss der Regierungs-  
parteien in der Aufwertungsfrage. (Sparkasse.  
45-10, 4 p.) 1925
- Die Stellung des Spargläubigers nach den  
Vorschriften des Aufwertungsgesetzes. (Spar-  
kasse. 45-15, 4 p.) 1925
- Fragen der Sparkassenaufwertung. (Spar-  
kasse. 46-2, 5 p., 3, 5 p.) 1926
- Die Aufwertung der Sparkassenguthaben.  
(Preuss. Gemeinde-Ztg. 19-1, 5 p.) 1926
- Die weitere Durchführung der Spargut-  
habenaufwertung in Preussen nach der Zwei-  
ten Preussischen Durchführungsverordnung  
vom 27. Febr. 1926. (Gs. 98 p.) (Sparkasse.  
46-6, 4 p., 7, 5 p.) 1926
- Zur Aufwertung der Sparkassenguthaben.  
(Jurist. WSchr. 55-2, 2 p.) 1926
- \* & **Marquardt, H.** Die Aufwertung  
der Sparkassenguthaben. Systemat. Darst.  
<nebst Text des Aufwertungsgesetzes vom  
16. Juli 1925>. Geleitw.: Cremer. Berlin:  
Verl. f. bargeldlosen Zahlungsverkehr 1925.  
134 p. 8°
- \* — Die neue Sparkassenaufwertung.  
Berlin: Verl. f. bargeldlosen Zahlungsverkehr  
1927. 60 p., 6 p. Tab. 8°. [Simon u. Marquardt:  
Die Aufwertung d. Sparkassenguthaben.  
Nachtr.]
- \***Simon, M.** La valorisation des obligations en  
Allemagne comme conséquence de la chute  
du mark papier. 1927. 309 p. 8°. [Thèse,  
Paris]
- Simonson** Was bringt der Entwurf zum neuen  
Aufwertungsgesetz Neues? (Dt. Wirtschafts-  
Ztg. 22-14, 3 p.) 1925
- Das Aufwertungsgesetz vom 16. Juli 1925.  
(Dt. Wirtschafts-Ztg. 22-33, 3 p.) 1925
- Einzelheiten aus dem Aufwertungsgesetz.  
(Jurist. WSchr. 54-23, 3 p.) 1925
- Zur Frage der Rückwirkung von Auf-  
wertungen ausserhalb des Aufwertungs-  
gesetzes. (Dt. Wirtschafts-Ztg. 23-22, 3 p.)  
1926
- Zur Frage der Einwirkung des Sturzes  
des englischen Pfundes auf deutsche Rechts-  
verhältnisse. (Bank-A. 32-22, 4 p.) 1933
- Singer, K.** Wertbeständigkeit. [Warnung  
vor Währungsexperimenten d. Regierung:  
Währungs Bodenmark usw.] (Wirtschafts-  
dienst. 8-37, 3 p.) 1923
- Zwei Folgerungen (der Goldmarkrech-  
nung u. des wertbeständigen Geldes: Lega-  
lisierung d. Zahlung mit ausländ. Noten,  
Preiskontrolle u. Wucherbekämpfung). (Wirt-  
schaftsdienst. 8-44, 1 p.) 1923
- Schachts Rechenschaftsbericht. (Die  
Stabilisierung d. Mark. Stuttgart 1927).  
(Wirtschaftsdienst. 12-12, 3 p.) 1927
- Sokolowski, J.** Lieferungsverträge und Mark-  
katastrophe. (Leipziger Z. f. Dt. Recht. 17-  
9/10, 11 p.) 1923
- Soelling, K.** Der neue Aufwertungsgesetzesentwurf.  
(Jurist. Rdsch. 1-7/8, 7 p.) 1925
- Sommer** Müssen genossenschaftliche »Sparkas-  
sen« die Sparguthaben aufwerten? (Spar-  
kasse. 46-6, 2 p.) 1926
- Sontag** Die neueste Gruppe der Aufwertungs-  
bewegung. [Die Vereinigung ehemaliger  
durch Inflation u. Zwangsverkäufe geschä-  
digter Haus- u. Grundbesitzer Deutschlands.]  
(Dt. Steuer-Ztg. 14-7, 4 p.) 1925
- Der Kampf um die Aufwertung. (Dt.  
Einheit. 7-26, 4 p.) 1925
- Rückwirkende Aufwertung der Vermö-  
gensanlagen des § 63 AufwG., insbes. der De-  
positenguthaben. (Dt. Steuer-Ztg. 14-11, 3 p.)  
1925
- Zur Aufwertung von Vorkriegs-Banknoten.  
(Dt. Steuer-Ztg. 15-2, 6 p.) 1926
- Die verschiedenen Goldmarkklauseln und  
die Aufwertung der mit ihnen ausgestatteten  
Hypotheke. (Dt. Steuer-Ztg. 15-7, 5 p.)  
1926
- Rückwirkende Aufwertung auf Grund  
vermeintlich erledigter Verträge. (Bank-A.  
25-14, 5 p.) 1926

- Sontag** Die Einrede der Verjährung gegenüber  
Aufwertungsansprüchen. (Jurist. Rdsch. 3-9,  
7 p.) 1927
- Kritik an der Aufwertungs-Novelle. (Mag.  
d. Wirtschaft. 6-28, 3 p.) 1930
- Sontag, E.** Der Einfluss der Geldentwertung  
auf Hypothekenforderungen und Industrie-  
obligationen. [In: Geldentwertung i. d. Praxis  
d. dt. Rechtslebens. 1, 31 p.] 1923
- \* — Hypothekengläubiger u. Anleihebesitzer  
im Kampf um ihr Recht. Eine Kritik  
d. Entwurfes e. Gesetzes über d. Auf-  
wertung von Hypotheken u. a. privatrechtl.  
Ansprüchen sowie d. Entwurfes e. Gesetzes  
über d. Ablösung öffentl. Anleihen. Berlin:  
Sack 1925. 48 p. 8°
- Nachträgliche Aufwertung abgewickelter  
Geschäfte. (Dt. Steuer-Ztg. 14-5, 4 p.) 1925
- \***Spaetgens, H.** Geldentwertung und Reinertrags-  
ermittlung. Ein Beitr. zur Goldverzinsung  
d. landw. Kapitals. Berlin: Parey 1923. 35 p.  
8°
- Specovius, R.** Zur Aufwertung der Schuld-  
scheindarlehen der Länder und Gemeinden.  
(Z. f. Kommunalw. 17-3, 3 p.) 1927
- Spilker, H.** Das polnische Aufwertungsrecht.  
(Sparkasse. 45-19, 4 p.) 1925
- Sprinz** Aufwertung von Markanleiheforderun-  
gen der Lebensversicherungsunternehmen.  
(Z. f. Versicherungswesen. 49-18, 2 p.) 1926
- Die Rückwirkung der Aufwertung von  
öffentlichen Anleihen. (Z. f. Versicherungs-  
wesen. 49-35, 2 p.) 1926
- Stabilisierungsprobleme. (Dt. Nation. 4-12, 9 p.)  
1922
- Stabilizing the mark. (Bankers' Mag.—Lond.  
945, 5 p.) 1922
- Die Stabilität der Mark. (Wirtschaft u. Sta-  
tistik. 3-8, 3 p.) 1923
- Steinberg, J.** Marksturz, Teuerung und Abhilfe.  
(Hilfe. 28-31, 3 p.) 1922
- \***Stenger, H.** Die Aufwertung von Hypotheken  
und anderen Ansprüchen und die Ablösung  
öffentlicher Anleihen. Handausg. mit umfas-  
sender Einführ., Erl., Beisp., Tab. usw. 2.  
vollst. Neubearb. Aufl. von "Aufwertung  
öffentl. Anleihen." Lfg. 3 [Schluss]. viii,  
200 p. München: Bayer. Kommunalschri-  
ten-Verl. 1926. 8°
- \* — Die Aufwertung der Sparkassengutha-  
ben in Bayern. Gemeinverständl. Leitfaden.  
München: Bayer. Kommunalschriften-Verl.  
1926. iv, 36 p. 8°
- Stern** Aufwertungsgesetz und Bürgerliches  
Gesetzbuch. (Dt. Juristen-Ztg. 32-3, 5 p.)
- Strauss, F.** Schuldendruck und Schuldabwer-  
tungsversuche in der Nachkriegszeit. [In:  
Das Weltproblem der Schuldabwertung und  
Zinssenkung.] (Plutus-Briefe. 10-5) 1933
- Strickstrack** Zur Aufwertung der kommunalen  
Schuldscheindarlehen nach dem Anleiheab-  
lösungsgesetz. (Sparkasse. 46-24, 11 p.) 1926
- Striemer** Zwei Fragen der Hypothekenaufwer-  
tung. [Stellung des Gläubigers, 1. wenn  
zwischen Löschung u. Wiedereintragung d.  
Hypothek andere Belastungen eingetragen  
sind; 2. wenn er rechtskräftig zur Lösungs-  
bewilligung verurteilt ist.] (Jurist. WSchr.  
54-10, 2 p.) 1925
- \***Stucken, R.** Die wertbeständigen Anleihen in  
finanzwirtschaftlicher Betrachtung. München:  
Duncker & Humblot 1924. v, 78 p. 8°. [Dt.  
Zahlungsbilanz u. Stabilisierungsfrage. Schr.  
des Vereins f. Sozialpol. 166, 3]
- Tacke, E.** Ist die Aufwertung wirtschaftlich  
tragbar? (Geschäft. 2-4, 2 p.) 1925
- Die Aufwertungsvorschläge der Regierung.  
Eine kritische Betrachtung. (Geschäft. 2-6,  
2 p.) 1925
- Zur Aufwertung von Kautionen. (Arbeits-  
recht. 12-7/8, 8 p.) 1925
- Temporary stabilization of the mark. (Fed.  
Res. Bull. 9-4, 7 p.) 1923
- Toop** Aufwertungsfragen. (Neumann's Z. f.  
Versicherungswesen. 52-7, 4 p., 20, 4 p.) 1929
- Topf, E.** Nach der Entscheidung. [Annahme  
d. Steuer- u. Anleihegesetze (v. August 1923)  
und Währungsstabilisierung.] (Wirtschafts-  
dienst. 8-34, 3 p.) 1923
- Tornier, K.** Betrachtung zur Aufwertung der  
Kommundarlehen, über die Schuldscheine  
ausgestellt sind. (Bank-A. 27-12, 4 p.) 1928
- Der Fälligkeitstermin der Aufwertungs-  
hypotheken. (Bank-A. 28-19, 2 p.) 1929
- Kreditpolitische Betrachtung zu dem Auf-  
wertungs- Fälligkeitsgesetz. (Dt. Wohnungs-  
A. 5-7, 5 p.) 1930
- Trenck, S. v. der** Die Bedeutung des Aufwer-  
tungssatzes und das halbstarre System voll-  
ständiger Aufwertungsregelung. (Jurist.  
Rdsch. 1-3, 8 p.) 1925
- Wie stehen sich die Hypotheken-Beteiligten  
rechnerisch nach dem Entwurf des Aufwer-  
tungsgesetzes? (Jurist. Rdsch. 1-7/8, 11 p.)  
1925
- Generalaufwertungsverfahren. (Dt. Steuer-  
Ztg. 15-10, 5 p.) 1926



- Trenck, S. v. der** Rückgängigmachung und Aufwertung bei Gesellschaftsverträgen der Inflationszeit. (Recht u. Handel. 1-4, 8 p.) 1926
- Zur Krisis der Rückwirkungsfrage ausserhalb des Aufwertungsgesetzes. (Jurist. Rdsch. 3-1, 10 p.) 1927
- Tyszka, v.** Sparer, Aufwertung und Wirtschaftspolitik. (Sparkasse. 46-13, 3 p.) 1926
- \*Übersicht über die Ablösung der Reichsanleihen. Hrsg. im Reichsfinanzministerium. Berlin: Heymann 1925. 16 p. 8°
- Ullmann, F.** Das deutsch-polnische Aufwertungsabkommen. (Z. f. Ostrecht. 4-4, 38 p.) 1930
- Ullrich, H.** Der Währungszerfall, die Aufwertung und der Wiederaufbau bei den privaten deutschen Lebensversicherungsgesellschaften. (J.B. f. Nationalökon. N. F. 70-2, 20 p.) 1926
- Der Untergang der Mark. (Dt. Wacht. 9-9, 4 p.) 1923
- Urbig, F.** Die deutsche Währung vor und nach der Stabilisierung. [In: Verhandlungen d. 6. Allg. Dt. Bankiertages zu Berlin am 14/16. Sept. 1925. 14 p.] 1925
- Velsen, v.** Oskar Mügel und die Aufwertung. (Dt. Juristen-Ztg. 31-5, 4 p.) 1926
- Aufwertung von sozialen Forderungen. (Dt. Juristen-Ztg. 31-15, 4 p.) 1926
- Die Verheerungen des Ruhrkampfes und die versuchte Stabilisierung. (Wirtschaftskurve. 2-2, 3 p.) 1923
- Die Verzinsung der persönlichen Forderung nach § 28. II des Aufwertungsgesetzes. Gutachten des deutschen Sparkassen- und Giroverb. (Sparkasse. 46-9, 4 p.) 1926
- Die Vorschriften über Versicherungsverträge im deutsch-polnischen Aufwertungsabkommen vom 5. VII. 1928. (Neumann's Z. f. Versicherungswesen. 52-27, 5 p.) 1926
- Vox populi. [Zur Stabilisierungsaktion der Reichsbank.] (Wirtschaftsdienst. 8-8, 2 p.) 1923
- \***Wagemann, G.** Aufwertung und Geldentwertungsungleich nach der 3. Steuernotverordnung Art. 1/3 und den Durchführungsbestimmungen mit 2 Tab. zur prakt. Berechnung d. Aufwertung bei Hypotheken u. a. Anlagewerten erl. 2. völlig Neubearb. Aufl. Berlin: Heymann 1925. viii, 144 p. 8°
- Wagner, F.** Grundbuchpraxis und die Neuregelung der Aufwertung. (Jurist. Rdsch. 1-7/8, 10 p.) 1925
- Wagner, F.** Die Entrechtung der Aufwertungs-läubiger in der Lebensversicherung. (Versicherung u. Geldwirtschaft. N. F. 2-28, 2 p.) 1926
- \***Warneyer, O.** Geldentwertung und Vertragserfüllung nebst anderen wichtigen, die Geldentwertung betreffenden Fragen. Mit bes. Berücks. d. Rechtsprechung d. Reichsgerichts. 2. stark verm. Aufl. mit e. Anh.: Geldentwertung und Steuerrecht von F. Koppe. Berlin: Spaeth & Linde 1923. 110 p. 8°
- Reichsgericht und dritte Steuernotverordnung. [Streitigkeiten über Aufwertung von Unfallrenten aus privater Versicherung werden von d. ordentlichen Gerichten entschieden.] (Dt. Steuer-Ztg. 13-12, 3 p.) 1924
- \*— Die Aufwertung ausserhalb der dritten Steuernotverordnung und des Aufwertungsgesetzesentwurfs. An d. Hand d. neuesten Rechtsprechung d. Reichsgerichts erörtert. Berlin: Spaeth & Linde 1925. 112 p. 8°
- Aufwertung bereits in Papiermark zurückgezahlter Forderungen. Keine Löschung der Hypothek. (Dt. Steuer-Ztg. 14-1, 5 p.) 1925
- Aufwertung des in einem rechtskräftigen Urteil, einem Schiedsspruch oder in einem Vergleich festgesetzten Betrags. (Dt. Steuer-Ztg. 14-5, 5 p.) 1925
- Aufwertung des Kaufpreises bei beiderseits noch unerfüllten Grosshandelsgeschäften. (Dt. Steuer-Ztg. 14-6, 6 p.) 1925
- Aufwertung zu viel gezahlter Stempelbeträge. Kein Versich. auf den Goldmarkbetrag durch vorbehaltlose Annahme des Papiermarkbetrags. (Dt. Steuer-Ztg. 14-7, 5 p.) 1925
- \*— Die Aufwertung ausserhalb der dritten Steuernotverordnung und des Aufwertungsgesetzesentwurfs. An d. Hand d. neuesten Rechtsprechung d. Reichsgerichts erörtert. Berlin: Spaeth & Linde 1925. 112 p. 8°
- Rückwirkende Aufwertung. Aufwertung abgewickelter Rechtsgeschäfte ausserhalb des Aufwertungsgesetzes. (Dt. Steuer-Ztg. 15-6, 10 p., 7, 6 p.) 1926
- \*— & **Koppe, F.** Die Aufwertungsgesetze, Hypothekenaufwertungsgesetz, Anleiheablösungsgesetz vom 16. VII. 1925 nach neuestem Stande. Erl. m. sämtl. Ausführungsbestimmungen, neuem Aufwertungskalender, Goldmarkt Tabellen und eingehender Behandlung sämtl., also auch der in den neuen Gesetzen nicht ausführl. geregelten Aufwertungsfragen. 3. Neubearb., wesentl. erw. Aufl. Berlin: Spaeth & Linde 1926. 464 p. 8°

- \***Warneyer, O. & Koppe, F.** Das neue Aufwertungsrecht 1927, insbes. 1. Gesetz über die Verzinsung aufgewerteter Hypotheken und ihre Umwandlung in Grundschatulden sowie über Vorzugsrenten vom 9. VII. 1927. 2. Die neueste Rechtsprechung und Verwaltungspraxis zum ges. Aufwertungsrecht (gesetzliche und freie Aufwertung.) Berlin: Spaeth & Linde 1927. 224 p. 8°
- Wassermann** Aufwertung über den Goldmarkwert? (Leipziger Z. f. Dt. Recht. 19-14, 12 p.) 1925
- Watzlawik, H.** Die Entwicklung des Gedankens der Aufwertung. (Wirtschaft. 7-1, 2 p.) 1925
- Aufwertung. (Wirtschaft. 7-3, 2 p.) 1925
- Wedde** Zwangsversteigerung und Aufwertung. (Sparkasse. 50-9, 3 p.) 1930
- Weidling** Wertbeständige Tauschmittel in Oldenburg. (Dt. Wirtschafts-Ztg. 20-47/48, 1 p.) 1923
- Weil, B.** Das deutsch-französische Aufwertungsabkommen. (Jurist. WSchr. 55-15, 2 p.) 1926
- Weinberger, O.** Die Stabilisierung des Kronenkurses. (Recht u. Wirtschaft. 10-11, 3 p.) 1921
- Weinhausen, H.** Die Aufwertung im Auslande. (Ostsee-Rdsch. 2-21, 3 p.; Württ. Industrie. 16-43, 3 p.) 1925
- Wirtschaft und Aufwertung. (Württ. Industrie. 16-32, 2 p.; Edeka-Rdsch. 18-32, 3 p.) 1925
- Weissler** Das Verhältnis der vereinbarten Aufwertung zur gesetzlichen Aufwertung. (Jurist. WSchr. 55-26, 3 p.) 1926
- Weller, M.** Sparkassen als Vermögensverwalter nach § 79 des Aufwertungsgesetzes. (Sparkasse. 46-7, 3 p.) 1926
- Werner, F.** Ueberwindung des Fälligkeitstermins der Aufwertungs-Hypotheken? (Dt. Oekonomist. 2348, 5 p.) 1931
- Ein wertbeständiges städtisches Notgeld—die Rettung Deutschlands. (Allg. Rdsch. 20-25, 3 p.) 1923
- \***Wetter, E.** Der Bundesratsbeschluss betreffend die Folgen der Währungsentwertung für Aktiengesellschaften u. Genossenschaften vom 26. Dezember 1919. Mit einer Einführung und ein. Register. Zürich: Polygr. Institut A. G. 1920. 48 p. 8°
- Wiedersum** Geldentwertung und Reichswirtschaftsgericht. (Dt. Wirtschafts-Ztg. 20-8, 3 p.) 1923
- Wiesner & Kraemer, W.** Aufwertung inländischer Forderungen in ausländischer Währung? (Jurist. WSchr. 63-3, 3 p.) 1934
- \***Wille, S. & Wolfbauer, J.** Aufwertung und Obligationensteuer. Erläuterungen. zur 3. Steuernotverordnung. vom 14. Febr. 1924 Art. 1, 2, 3a, 4 mit d., Durchführungsbestimmungen. München: Schweitzer 1925. viii, 198 p. 8°. [Schweitzers Handausgaben mit Erläuterungen]
- \***Winnewisser, G.** Die Aufwertung der Industrie-Obligationen. Eine wirtschaftl. Untersuchung. Karlsruhe: Braun 1927. vii, 72 p. 8°. [Wirtschaftsstudien 9]
- \***Winter, G.** Mein Schlusskampf mit der Reichsbank und ihren heimlichen Helfern! Leipzig: Autor 1926. 16 p.
- Wirtschaft und Aufwertung. (Mitt. d. Hansa-Bundes. 8, 3 p.) 1925
- Wittekopf, F.** Der Aufwertungsanspruch des stillen Gesellschafters. (Organisation. 27-5, 4 p.) 1925
- Wolf, C.** Marktstabilisierung und Arbeitsmarkt. (Soz. Praxis. 32-9, 4 p.) 1923
- Wolf, H.** Fristen im Aufwertungsgesetz vom 16. Juli 1925. (Jurist. WSchr. 54-16, 2 p.) 1925
- Wolf, B.** Die Vorauszahlungen nach dem Gesetz über die Berücksichtigung der Geldentwertung in den Steuergesetzen. (Bank-A. 22-13, 2 p.) 1923
- Wolfgang, E.** Zur Frage der 1932 rückzahlbaren Aufwertungshypotheken. (Bankwiss. 6-13, 4 p.) 1929
- Fehlkonstruktionen bei Aufwertungs-papieren. Möglichkeiten ihrer Beseitigung. (Dt. Oekonomist. 2446, 4 p.) 1932
- Wolfsohn, J.** Aufwertungsgesetz und Grundstücksverschleuderung. (Allg. Dt. Haus- u. Grundbesitzer-Ztg. 31-32, 3 p.) 1925
- Vergleich und rückwirkende Aufwertung ausserhalb des Aufwertungsgesetzes. (Dt. Steuer-Ztg. 15-10, 4 p.) 1926
- Wölz** Die Aufwertungsgesetze und die Wohlfahrtspflege. (Reichsarbeitsbl. N. F. 5-32/33, 3 p.) 1925
- Die wohlfahrtspolitische Bedeutung der Aufwertung an der Hand der Regierungsentwürfe. (Reichsarbeitsbl. N. F. 5-16, 4 p.) 1925
- Worliczek, A.** Das Problem der Aufwertung. (Steuerschutz. 7-9, 6 p., 11, 3 p.) 1925
- Aufwertung des Kleinrentenbesitzes. (Steuerschutz. 8-7, 3 p.) 1926
- Wrzeszinski** Glossen zum Aufwertungsgesetz. (Jurist. WSchr. 54-16, 2 p.) 1925

- Wunderlich, H.** Das Volksbegehren in der Frage der Aufwertung und der Regierungsentwurf, der es verhindern soll. (Dt. Wohnungs-A. 1-8, 5 p.) 1926
- Die Durchführungsverordnung zum Aufwertungsgesetz. (Dt. Juristen-Ztg. 31-2, 7 p.) 1926
- Volksentscheid zum Aufwertungsgesetz? (Dt. Wohnungs-A. 1-1, 5 p.) 1926
- Aufwertung. (HWB. d. Staatswiss. 4 Aufl. Erg.-Bd. 12 p.) 1929
- \***Wüst, R.** Graf Posadowsky und die Aufwertung. (Halle Saale): Verl. "Der Rechtsstaat" 1927. 24 p. 8°
- Zadow** Das Ende des Aufwertungs-Moratoriums. (Dt. Oekonomist. 2299, 2 p.) 1930
- \***Zeiler, A.** Vergleichungs-Tabelle für die Umwertung. Leipzig: Schlenker 1924. 16 p. 8°
- \* — Die Rechtsgültigkeit der Aufwertungsgesetzgebung. Halle a. S.: Verl. "Der Rechtsstaat" 1925. 48 p. 8°
- Neues zur Aufwertung von Grundstückskaufgeldern. (Wirtschaftl. Nachr. a. d. Ruhrbez. 6-38, 1 p.) 1925
- Zur Frage der Rechtsgültigkeit der Aufwertungsgesetzgebung. (Leipziger Z. f. Dt. Recht. 19-17/18, 12 p.) 1925
- Fortschritte in der Aufwertungsfrage. (Leipziger Z. f. Dt. Recht. 20-13, 15 p.) 1926
- \* — Aufwertungsfälle vom Reichsgericht. Bearb. u. geordnet. 2. Bd. 100 neue Fälle. Leipzig: Hirschfeld 1927. xxxviii, 176 p. 8°
- \* — Zweihundertfünfzig Aufwertungsfälle vom Reichsgericht. Bearb. u. geordnet. 2. Aufl. d. Hundertsiebzig Aufwertungsfälle. Leipzig: Hirschfeld 1927. xxiii, 298 p. 8°
- Aenderungen der Aufwertungsgesetze? (Leipziger Z. f. Dt. Recht. 21-9/10, 7 p.) 1927
- Zahlung nach Goldpfund oder Aufwertung? (Bank-A. 31-10, 2 p.) 1932
- Nochmal die Aufwertung von Pfundforderungen. (Bank-A. 31-21, 2 p.) 1932
- Dollarklauseln. [Erwiderung zu e. Aufsatz von Arndt auf 97 p. ders. Z.] (Jurist. Rdsch. 14/15, 2 p.) 1934
- Zeine** Die Frage des voraussichtlichen Aufwertungsergebnisses der Lebensversicherungspolice. (Mitt. d. Ind.- u. Handelskammer Berlin. 24-6, 4 p.) 1926
- Zelewski, H. v.** Der jetzige Stand der Aufwertungsfrage. (Dt. Oekonomist. 2105, 8 p.) 1925

- Zergiebel** Die Aufwertung von Restkaufgeldern. [Übersicht der bisherigen Rechtsprechung.] (Dt. Steuer-Ztg. 15-9, 4 p.) 1926
- Zeyen, C.** Ein Vorschlag zur Stabilisierung der Mark. (Dt. Arbeitgeber-Ztg. 22-8, Beibl.) 1923
- Ziebill** Die Aufwertung von Erbbauzinsen. (Jurist. WSchr. 56-23, 2 p.) 1927
- Zörner** Die Geldentwertung und ihre Rückwirkung auf unsere Industrie. (Dt. Ind. 2-14, 3 p., 15, 3 p., 16, 4 p., 18, 3 p.) 1921
- Die Zulassungserfordernisse der aufgewerteten Industrieobligationen. (Bank-A. 25-11, 3 p.) 1926
- Zum Streit um die Aufwertung. (Mag. d. Wirtschaft. 1-12, 3 p.) 1925
- Zur Frage der Festmark und der Goldmarkversicherung. (Mitt. f. d. öff. Feuerversich.-Anst. 54-12, 3 p.) 1922
- \***Zwinger, N.** Aufwertungsbruch. Die Wahrheit über die Aufwertungsfrage. Berlin: Ato-Verl. 1925. 47 p. 8°

## Greece

- Diomède, A. N.** La stabilisation monétaire en Grèce: La Banque nationale de Grèce. Son rôle dans la vie économique du pays. (Europe nouv. 546) 1928
- Tsouderos, E.-J.** La Banque de Grèce et la stabilisation de la drachme. (R. d'écon. pol. 42-5, 24 p.) 1928
- Varvaressos, K.** La stabilisation de la drachme. (Europe nouv. 546) 1928

## Hungary

- Goeroeg, F.** Die Stabilisierung der ungarischen Krone. (Wirtschaftl. Nachr. f. Handel, Gew. u. Ind. 1-24, 3 p.) 1924
- \***Heidelberg, G.** Die Wirkung der Inflation und Sanierung auf den ungarischen Geld- und Kapitalmarkt. 1927. 111 p. 8°. [Diss. Zürich]
- \***Kell, S. G.** Die ungarische Landwirtschaft im Zeichen der Geldentwertung. 1929. ii, 126 p. 8°. [Diss. Göttingen]
- Mitzakis, M.** La stabilisation en Hongrie. (R. pol. et parl. 403, 1 p.) 1928
- Sarrazin, L.** Ungarns Stellung zur Aufwertung. (Bank-A. 27-22, 2 p.) 1928
- Schönberg, A.** Versicherungsaufwertung in Ungarn. Vergleich mit der deutschen Lösung. (Weltw.-Ztg. 10-38, 2 p.) 1925

- Schuster, R. v.** Das Aufwertungsrecht in Ungarn. (Ostrecht. 2-11, 12 p.) 1926
- Sinz, J.** Die Sanierung Ungarns. (Ungar. JB. 7-2, 37 p. 3/4, 50 p.) 1927

## Italy

- Albergo, E. d'** La stabilità della lira. (Gerarchia. 11-10, 5 p.) 1930
- \***Alessio, G.** La rivalutazione della lira. Rome: 1926
- Arias, G.** Cronache economico-finanziarie: Le oscillazioni della lira e la moneta » internazionale «. Il saggio dello sconto. Nuovi orientamenti scientifici nell'economia e nel diritto. (Gerarchia. p. 81 seq.) 1928
- Bachi, R.** The stabilization of the lira. (Banker. 27, 9 p.) 1928
- \***Battinelli, E.** L'unificazione dell'emissione e la stabilizzazione della Lire in Italia. Weinfelden: Neuenschwander 1928. 64 p. 8°. [Volkswirtschaftstheoret. Abh. 5] [Diss. Bern]
- Baudin, L.** G. Alessio: La rivalutazione della lira. (R. d'écon. pol. 40-5, 2 p.) 1926
- Benni, S.** Italian industry and the stabilization of the lira. (Banker. 27, 4 p.) 1928
- Bianchini, G.** Produzione e stabilizzazione della lira. (Realtà. p. 21 seq.) 1928
- La stabilizzazione monetaria nazionale. (Realtà. p. 113 seq.) 1928
- Bouchery, E.** La stabilisation légale de la lire. (Economiste europ. 1869, 2 p.) 1927
- Carnevali, D.** Warum fällt die italienische Lira? (Dt. Gedanke. 2-10, 3 p.) 1925
- \***Cauro, G.** La stabilisation de la lire italienne. Milano: Ed. commerciali 1931. 193 p. 8°. [Thèse, Neuchâtel]
- \***Crosara, A.** Il deprezzamento monetario come squilibrio di costi; con riguardo alla situaz. monetaria italiana. Padua: 1925 151 p.
- The depreciation of the lira. (Statist. 2517, 2 p.) 1926
- Draghi, C.** La valutazioni di bilancio nelle società anonime e la stabilizzazione della lira. (R. int. di sci. soc. p. 3 seq.) 1928
- Einaudi, L.** Dei metodi per arrivare alla stabilità monetaria e se si possa ancora parlare di crisi di stabilizzazione della lira. (Rif. soc. 37-5/6, 35 p.) 1930
- Fossati, E.** La stabilizzazione della lira. (Boll. d. Cotoniera. p. 2 seq.) 1928

- La hausse de la lire. (R. pol. et parl. 391, 10 p.) 1927
- \***Jorio, G.** La lira dopo la stabilizzazione. Sotto gli auspici della federazione fascista dell'Urbe. Roma: 1928. 90 p. 8°
- Liesse, A.** Sur une nouvelle expérience de stabilisation. [Les méthodes de stabilisation italienne.] (Economiste fr. 55-53, 3 p.) 1927
- Mazzuchelli, M.** Il ristabilimento monetario della lira aurea. (R. bancaria. p. 15 seq.) 1928
- La stabilizzazione e le banche e le altre società. [I provvedimenti legislativi per la stabilizzazione della lira.] (Giorn. d. econ. 43-4) 1928
- Porri, V.** La convertibilità della lira nelle sue premesse e ripercussioni internazionali. (Mercurio. p. 1 seq.) 1928
- The problem of stabilization in Italy. (Statist. 2530, 1 p.) 1926
- \***Proto Pisani, G.** Rivalutare la lira. Napoli: Casella 1925. 15 p. 8°
- Recovery of the lira. (Europ. Econ. & Pol. Survey. 3-12/13, 5 p.) 1928
- Rosselli, C.** Rivalutazione e stabilizzazione della lira. (Rif. soc. 37-3/4, 14 p.) 1930
- Sayous, A. E.** La revalorisation et la stabilisation de la lire. (R. écon. int. 18, 4, 3, 28 p.) 1926
- La stabilisation de la lire. (R. écon. int. 20, 1, 1, 15 p.) 1928
- La stabilisation monétaire italienne. by H. G. A. (R. pol. et parl. 399, 13 p.) 1928
- Die Stabilisierung der italienischen Währung. (M.-ber. d. Schweiz. Bankver. 2, 6 p.) 1928
- The stabilization of the lira. (Economist. 4401, 2 p.) 1927
- Stabilization: Italian, Belgian and French. (Economist. 4402, 2 p.) 1928
- Supino, C.** Le programme du gouvernement italien pour la revalorisation de la lire. (R. écon. int. 18, 4, 3, 15 p.) 1925
- Targetti, R.** L'adeguamento dei prezzi al definitivo valore della lira. (R. di pol. econ. p. 396 seq.) 1928
- L'adeguamento dei prezzi al nuovo valore della moneta. (R. di pol. econ. p. 437 seq.) 1930
- Die Veränderung des Geldwertes und der Lebenskosten in Frankreich und Italien im Jahre 1926. (Schweiz. Konsumver. 27-1, 2 p.) 1927

**Volpi di Misurata, G.** Stabilizing the lira. (Foreign Affairs. 6-3, 5 p.) 1928

### Jugoslavia

**Eisner, B.** Das Aufwertungsproblem in der Gesetzgebung und Rechtsprechung Jugoslawiens. (Z. f. Ostrecht. 1-2, 10 p.) 1927

**Holzmann, H.** Südslawische Währungsstabilisierung. (Dt. Volkswirt. 5-40, 3 p.) 1931

— Die Währungsstabilisierung und Notenbankreform in Jugoslawien. (Mitt d. Verb. österr. Banken u. Bankiers. 13-9/10, 7 p.) 1931

**Mudrovic, J.** Das Aufwertungsproblem in der Gesetzgebung und Rechtsprechung Jugoslawiens. (Z. f. Ostrecht. 1-2, 14 p.) 1927

**Nedeljkovitch, M.** La stabilisation légale de notre monnaie. (R. écon. de Belgrade. 3-5, 3 p.) 1928

**Payen, E.** La stabilisation du dinar. (J. des écon. 90-juin, 5 p.) 1931

Le pouvoir d'achat du dinar. (R. écon. de Belgrade. 1-1/2, 3 p.) 1926

Südslawische Nationalbank und Dinarstabilisierung. by H. H. (Oesterr. Volksw. 19-32, 3 p.) 1927

**Tauber, L.** Aufwertung der Bilanzen bei den Gesellschaften in Jugoslawien. (Z. f. Ostrecht. 1-8, 10 p.) 1927

**Vegner, A.** Le pouvoir d'achat du dinar en 1927. (R. écon. de Belgrade. 3-3, 2 p.) 1928

### Lithuania

**Büchler, O. v.** Der Lit und die Anspruchs-herabsetzung "Aufwertung" in Litauen. (Auslandsrecht. 6-9/10, 10 p.) 1925

— "Aufwertung" von Rubelforderungen in Litauen. (Z. f. Ostrecht. 1-8, 32 p.) 1927

**Ellenfeld, E.** Das memelländische Aufwertungsgesetz. (Jurist. WSchr. 60-39, 4 p.) 1931

**Hesse** Die Aufwertungsfragen im Memelgebiet. (Ostrecht. 1-3, 5 p.) 1925

**Robinson** Das litauische Aufwertungsrecht. (Ostrecht. 1-3, 6 p.) 1925

### Nippon

England und Japan. Probleme der Währungs-entwertung. [Einwirkung auf d. Gesamtwirtschaft der beiden Länder.] (W.-ber. d. Inst. f. Konjunkturforsch. 5-31, 4 p.) 1932

**Mickwitz, E. v.** Währungsabwertung und innere Preisbewegung in Japan. (Wirtschaftsdienst, 19-25, 3 p.) 1934

### Peru

**Kemmerer, E. W.** Stabilization of the currency in Peru. (Bull. of the Pan Am. Union. 65-11, 18 p.) 1931

### Poland

**Atlas, A.** Die Aufwertung in Polen. (Wirtschaft. 6-26, 2 p.) 1924

**Baudin, L. V.-J. Zbijewski:** La stabilisation monétaire en Pologne. (R. d'écon. pol. 42-6, 1 p.) 1928

**Baum, W. R.** Währungsstabilisierung und Finanzaufsicht in Polen. (Dt. Volksw. 2-3, 2 p.) 1927

**Boryński, L.** Die Aufwertung der polnischen Eisenbahnobligationen. (Ostrecht. 2-5, 11 p.) 1926

**Bouchery, E.** La stabilisation du zloty. (Economiste europ. 1860, 3 p.) 1927

**Bredfeldt** Das polnische Aufwertungsrecht unter bes. Berücks. der Aufwertung der deutschen Forderungen in Polen. (Sparkasse. 45-23, 8 p.; 46-3, 5 p.) 1925/26

**Dewey, Ch. S.** Stabilization and future of Poland. (Polish Econ. 3-11, 4 p.) 1928

**Dubern, E. B.** La stabilisation légale de la monnaie polonaise. (R. écon. int. 20, 1, 1, 22 p.) 1928

**Freund, H.** Die Stabilisierung in Polen (Währung, Aufwertung, Goldbilanzen.) (Auslandsrecht. 5-11/12, 8 p.) 1924

Die Geldentwertung in Deutschland, Polen und Russland. (Wirtschaft u. Statistik. 3-20, 3 p.) 1923

**Haase, B.** Das deutsch-polnische Aufwertungsabkommen. (Dt. Juristen-Ztg. 34-18, 5 p.) 1929

— Das Verhältnis des deutschen Aufwertungsgesetzes zur polnischen Aufwertungsordnung. Zur Frage des räumlichen Geltungsbereiches der beiden Gesetze. (Jurist. WSchr. 55-4, 3 p.) 1926

\***Hawlietzky, W.** Die Rechtsprechung zum polnischen Aufwertungsrecht. Berlin: Vahlen 1931. 246 p. 8°. [Osteuropa-Inst. in Breslau. Quellen u. Stud. Abt.: N. F. 8]

1. Uebersicht. 2. Verordnung des Staatspräsidenten vom 14. Mai 1924 über die Aufwertung privatrechtlicher Verbindlichkeiten (Dz. U. R. P. 1925 Nr. 30 Pos. 213) 3. Verordnung des Staatspräsidenten vom 27. Dez. 1924 über die Aufwertung von Verbindlichkeiten der Kommunalverbände u. von Obligationen, die auf solchen Verbindlichkeiten beruhen (Dz. U. R. P. Nr. 115 Pos. 1026). 4. Verordnung des Staatspräsidenten vom 28. Dez. 1924 über die Aufwertung der vom Staate garantierten Privatbahnobligationen u. Aktien auf dem früher österreichischen Teilgebiete sowie der auf den Verpflichtungen dieser Eisenbahnen beruhenden Obligationen (Dz. U. R. P. Nr. 115 Pos. 1027). 5. Verordnung des Staatspräsidenten vom 27. Dez. 1924 über die Aufwertung von Ansprüchen, die nicht unter andere Vorschriften fallen, sowie über die hilfsweise Anwendung der Verordnung vom 14. Mai 1924 (Dz. U. R. P. Nr. 115 Pos. 1030). 6. Verordnung des Ministerrats vom 7. Jan. 1925 über die Erhöhung einiger Verbindlichkeiten sowie die Herabsetzung einiger Forderungen des Staates (Dz. U. R. P. Nr. 4 Pos. 35)

**Helczynski, B.** Die polnischen Gesetze vom 18. und 20. Juli 1925 über die Aufwertung der Einlagen in der Postsparkasse und der Staatsanleihen. (Ostrecht. 1-4, 4 p.) 1925

**Henrychowski, F.** Aufwertung privatrechtlicher Forderungen in Polen. (Jurist. WSchr. 55-29, 4 p.; 56-15/16, 3 p.) 1926/27

**Kulschewski, E.** Die Aufwertung privatrechtlicher Ansprüche in Polen. (Oesterr. Volksw. 17-24, 4 p.) 1925

\***Kuratow-Kuratowski** Les problèmes de la baisse du mark polonais dans le domaine du droit privé et leur résolution législative après l'introduction de la nouvelle monnaie polonaise. Paris: Lib. gén. de droit et de jurisprudence 1925. 8°. [Repr.: Bull. de la Soc. de législ. comparé]

**Lührse** Deutsches oder polnisches Aufwertungsrecht? (Jurist. WSchr. 55-29, 1 p.) 1926

**Mautner, W.** Die Entwertung des Pfundes und ihre Folgen für Holland. (Wirtschaftsdienst. 16-45, 3 p.) 1931

**Meister, M.** Aufwertung deutscher Ansprüche in Polen. (Oberschles. Wirtschaft. 5-8, 3 p.) 1930

**Merwin, E.** Das polnische Valorisationsrecht. (Wirtschaftl. Nachr. f. Handel, Gewerbe u. Ind. 2-10, 2 p., 11, 4 p.) 1925

**Methner** Gegenüberstellung der wichtigsten Vorschriften des deutschen, Danziger und polnischen Aufwertungsrechts. (Dt. Steuer-Ztg. 15-4, 2 p.) 1926

\***Mlynarsky, F.** The international significance of the depreciation of the zloty in 1925. Warsaw: Polish Economist 1926. 89 p.

— Poland's stabilization policy. (Banker. 4-22, 7 p.) 1927

**Perdelwitz, H.** Die deutsch-polnischen Aufwertungsabkommen. (Sparkasse. 51-8, 8 p.) 1931

Le plan de stabilisation du zloty. La réforme monétaire polonaise. Ses caractères originaux. (Europe nouv. 505) 1927

**Pleven, R.** La stabilisation du zloty. (Opinion. 22 oct.) 1927

— La stabilisation de la monnaie en Pologne. (R. d'écon. pol. 42-1, 33 p.) 1928

Polish stabilisation. (Econ. R. 15-11, 3 p.) 1927

\*Das polnische Aufwertungsgesetz. Text des "Rozp[orzadzenie] Pr[ezydenta] Rz[eczpos] p[ol] [i] tej" vom 14. Mai 1924. Beispiele u. Erl., Valorisationstab. Uebers. u. bearb. von **J. Siemianowski**. Danzig: Kafemann 1925. 47 p. 8°

Programme de stabilisation monétaire adopté par le Gouvernement de la République de Pologne. (Europe nouv. 505) 1927

Programme of stabilization of the Government of the Republic of Poland. (Polish Econ. 2-11, 5 p.) 1927

**Rauch, F.** Die polnische Aufwertungsverordnung. (Bank-A. 24-5, 6 p.) 1924

**Ross** Anwendung deutschen Rechts auf polnische Aufwertungsschulden. (Jurist. Rdsch. 2-3, 7 p.; Oberschles. Wirtschaft. 1-2, 3 p.; Ostdt. Wirtschafts-Ztg. 4-47, 2 p.) 1926

**Rost, H.** Das internationale Aufwertungsrecht Polens. (Z. f. Ostrecht. 3-10, 19 p.) 1929

**Schlieper, H.** Aufwertungsansprüche gegen Polen nach Annahme entwerteter Zahlungen. (Dt. Steuer-Ztg. 15-11, 2 p.) 1926

**Selle** Das deutsch-polnische Aufwertungsabkommen. (Danziger Wirtschafts-Ztg. 9-27, 3 p.) 1929

**Spilker, H.** Das polnische Aufwertungsrecht. (Sparkasse. 45-19, 4 p.) 1925

**Ullmann, F.** Das deutsch-polnische Aufwertungsabkommen. (Z. f. Ostrecht. 4-4, 38 p.) 1930

**Unverfehrt** Beschlagnahme und Aufwertung von Forderungen deutscher Staatsangehöriger in Polen. (Jurist. WSchr. 54-20, 4 p.) 1925

Die Vorschriften über Versicherungsverträge im deutsch-polnischen Aufwertungsabkommen Vom 5. VII. 1928. (Neumann's Z. f. Versicherungswesen. 52-27, 5 p.) 1929

- Die Währungssanierung in Polen. (Wirtschaft u. Statistik. 5-12, 3 p.) 1925
- A year of further stabilization. (Polish Econ. 4-2, 5 p.) 1929
- \***Zbijewski, V.-J.** La stabilisation monétaire en Pologne. Paris: Gebether u. Wolff 1928. 104 p. 8° [Thèse, Grenoble]
- Zoll & Helczynski** Die Aufwertung öffentlich-rechtlicher Forderungen in Polen. (Ostrecht. 1-1, 24 p.) 1925

### Portugal

- Coper, R.** Der doppelt stabilisierte Escudo. (Währung u. Wirtschaft. 2-1, 3 p.) 1933
- Morisseaux, J.** Comment le Portugal a atabilisé sa monnaie? (R. écon. int. 19, 2, 2, 26 p.) 1927

### Roumania

- \***Arsenovici, T.** La stabilisation monétaire en Roumanie. Paris: Jouve 1930. viii, 165 p. 8°. [Thèse, Lille]
- Bratianu, V.** La stabilisation de la monnaie roumaine. (R. mondiale. 184-20, 6 p.) 1928
- Die Stabilisierung der rumänischen Währung. (Europ. R. 4-7, 4 p.) 1928
- Currency stabilisation in Rumania. (Economist. 4434, 1 p.) 1928
- (Statist. 2660, 263 p.) 1929
- Der Einfluss der Lei-Stabilisierung auf den Export nach Rumänien. by K. B. (Wirtschaftl. Nachr. f. Handel, Gewerbe u. Ind. 4-12, 2 p.) 1927
- \***Grüner, E. W.** Inflation, Deflation und Stabilisierung der rumänischen Währung. Wien, Leipzig: Perles 1934. 32 p. 8°
- Kaufmann, O.** Discussion autour du cours de stabilisation de la monnaie roumaine. (Soc. belge d'études et d'expansion. Bull. périod. 87, 5 p.) 1932
- The last stages of currency stabilization. [Bulgaria and Roumania.] (Economist. 4443, 2 p.) 1928
- \***Oromulu, F.** La stabilisation monétaire en Roumanie. Paris: Pr. univ. de France 1930. 217 p. 8°. [Thèse, Paris]
- Rist, Ch. & Auboin, R.** La mise en vigueur du programme du gouvernement roumain pour la stabilisation monétaire et le développement économique. (R. de sci. fin. 27-4, 37 p.) 1929

**Schmidt, W.** Die Stabilisierung des französischen Franc und des rumänischen Leu. (Mitt. d. Verb. österr. Banken u. Bankiers. 11-3/4, 11 p.) 1929

Stabilization and after. (Economist. 4462, 2 p.) 1929

Stabilization of the Rumanian currency. (Europ. Econ. & Pol. Survey. 3-23, 7 p.) 1928

### Spain

- Anderson, G. E.** Stabilization of the peseta awaits complete reform of Spanish currency. (Annalist. 889, 4 p.) 1930
- Cambo** La valorisation et la stabilisation de la peseta. (R. écon. int. 21, 1, 1, 15 p.) 1929
- Hiss, H.** Spanien. Stabilisierung der Währung? (Mag. d. Wirtschaft. 7-30, 3 p.) 1931
- Spanish monetary developments. Steps towards stabilization. (Midland Bank Ltd. M.R. Oct./Nov., 3 p.) 1929
- Verway, G.** Histoire de la peseta. Considérations relatives à la stabilisation. (R. écon. int. 20, 2, 3, 13 p.) 1928

### Switzerland

- \*La baisse du franc suisse réalisée par l'inflation. Rapport présenté par le chef du département des finances au Conseil fédéral. Berne: 1921. 7 p.
- \***Borsari, E.** Zur Behandlung der Währungs-entwertung und der Aufwertung in der schweiz. Rechtsprechung. 1933. 118 p. [Diss. Zürich]
- \***Fick, F.** Die Frage der Aufwertung und der Einfluss wirtschaftlicher Katastrophen auf bestehende Verträge nach schweizerischem Recht. Basel: Helbing & Lichtenhahn 1925. 94 p. 8°
- Lorenz, J.** Les fluctuations du pouvoir d'achat de l'argent en Suisse pendant les vingt-cinq dernières années. (Soc. belge d'études et d'expansion. Bull. périod. 82, 3 p.) 1931
- Riethof, O.** Los von Zürich. [D. Bewertung der tschechoslowakischen Krone nach dem Schweizer Franken.] (Mitt. d. Dt. Hauptverb. d. Ind. 4-17, 2 p.) 1923
- Wittek, H.** Die Geldentwertung im Spiegel der Züricher Kurse. (Geldentwertung u. Stabilisierung in ihren Einfüssen auf. d. soz. Entwicklung in Oesterreich=Schr. d. Vereins f. Sozialpol. 169, 2 p.) 1925

### Union of South Africa

**Schumann, C. G. W.** Südafrikanische Union. Ergebnis der Abwertung. (Wirtschaftsdienst. 18-25, 3 p.) 1933

— Südafrikanische Union. Die Wirtschaft unter entwerteter Währung. (Wirtschaftsdienst. 19-36, 3 p.) 1934

### U. S. A.

- \***Anderson, B. M.** The fallacy of "The stabilized dollar." New York: Chase Nat. Bank 1920. 16 p. 8°
- (Econ. World. Aug. 7, 2 p.) 1920
- Arbuthnot, C. C.** A "Stabilized Dollar" would produce violent changes in periods of falling prices. (Am. Econ. R. 10-4, 9 p.) 1920
- Borchardt, J.** Die Entwertung des Dollars. (Betriebsräte-Z. 4-24, 3 p.) 1923
- Bouniatian, M.** Depression und Geldabwertung (bes. im amerikan. Beispiel.) (Z. f. Nationalökon. 5-5, 21 p.) 1934
- Case, W. W.** U. S. currency depreciation impedes recovery of world price level. (Annalist. 1096, 3 p.) 1934
- \***Crowther, S.** A basis for stability. In collaboration with M. C. Taylor, A. P. Sloan, H. Ford & others. Boston: Little & Brown 1932. ix, 360 p. 8°
- Deutschland und die Dollarabwertung. (Dt. Wirtschafts-Ztg. 30-17, 2 p.) 1933
- Die Dollarentwertung. (W-ber. d. Inst. f. Konjunkturforsch. 6-4, 5 p.) 1933
- Döring, F.** Die Auswirkungen der Pfund- und Dollarentwertung auf den Aussenhandel. [Protektionistische Welle in der ganzen Welt.] (Währung u. Wirtschaft. 2-6, 5 p.) 1933
- Eule** Die Auswirkung der Pfund- und Dollarentwertung auf vertragliche Zahlungsverpflichtungen. (Mitt. d. Ind.- u. Handelskammer Berlin. 32-6, 3 p.) 1934
- Fisher, I.** Stabilizing the dollar. (Am. Econ. R. 9-Suppl., 14 p.) 1919
- \* ———. New York: Macmillan 1925. xlix, 305 p. 8°. [For contents see II, 3, a]
- \* ———. The interest of bankers and business men in stable money. Pittsburgh: Stable money Assoc. 1926. 24 p. 8°. [Repr.: Money & Comm. 1926]

**Fisher, I.** On stabilization through Federal reserve system. (Comm. & Fin. Chronicle. 3204, 1 p.) 1926

\* ———. Unstable money and the farmer. Springfield, Ill.: Illinois Farmers' Inst. 1926. 16 p. 8°

— Reflation and stabilization. [In: Banking and transportation problems. = Annals of the American Acad. of polit. and soc. science 171] 1934

**Gesell, S.** Ein amerikanischer Vorstoss zur Festwährung. [Gesetzentwurf von Goldborough, der den stabilen Geldgehalt des Dollars in einen labilen, dem Index angepassten, verwandeln will.] (Freiwirtschaft. 4-11, 3 p.) 1922

**Grau, R.** Goldklausel und Dollarentwertung. (Währung u. Wirtschaft. 2-5, 2 p.) 1933

**Gröbel, H.** Ist eine Wertsicherungsklausel auf Grundlage des Feingoldes vorteilhafter als die bisherige Dollarwertklausel? (Maschinenbau/Wirtschaft. 4-14, 3 p.) 1925

**Hansen, A. H.** Capital goods and the restoration of purchasing power. [In: Money and credit in the recovery program. A series of addresses and papers presented at the semi-annual meeting of the Academy of Polit. Science March 21, 1934. 1. America's monetary problems] 1934

**Hausmann, F.** Die rechtliche Tragweite der Pfund- und Dollar-Entwertung im In- und Ausland. (Bank-A. 33-2, 5 p., 3, 4 p.) 1933

**Heflebower, R. B.** Stabilization and after. (Bankers Mag.—N. Y. 128-3, 4 p.) 1934

**Helmolt, Th. v.** Koflationismus. [Lehre von der gemeinsamen Stabilisierung von Pfund u. Dollar.] (Ring. 6-29, 2 p.) 1933

**Mahr, A.** Die Stabilisierung der Kaufkraft des Dollars. (Weltw. A. 29-1, 52 p.) 1929

**Mügel, O.** Die Entwertung des Pfundes und des Dollars. (Dt. Juristen-Ztg. 38-18, 6 p.) 1933

**Noyes, C. R.** Stabilizing of the dollar. (J. of Pol. Econ. 29-Mar., 25 p.) 1921

**Pasching, W.** Geldentwertung und Verzögerungsschaden bei dollar- und Pfundsulden. (Mitt. d. Verb. österr. Banken u. Bankiers. 16-2, 6 p.) 1934

**Peters, E. T.** On stabilizing the dollar. (Q. J. of Econ. 33-4, 19 p.) 1919

\***Pozzi, R.** La crisi del dollaro e la clausola dell'oro. Milano: 1933

Purchasing power of the dollar. (Conference Board Bull. 8-3, 3 p.) 1934

**Röpke, W.** Ewige Prosperität? Der Zusammenbruch des Stabilisierungsgedankens in Amerika. [Monetäre (: kreditäre) Ursache der amerikanischen Hochkonjunktur u. Krise.—Zusammenbruch der Theorie der Geldwertstabilisierung durch Kreditkontrolle.] (Dt. Volkswirt. 5-19, 5 p.) 1931

The shrinking value of the dollar geographically recorded. (Annalist. 374, 2 p.) 1920

The so-called purchasing power of the dollar. (Comm. & Fin. Chronicle 3337, 2 p.) 1929

\***Sprague, O. M. W.** Recovery and common sense. Boston: Mifflin 1934. 96 p.

Stabilizing the value of gold. A scheme of Anglo-American collaboration. (Midland Bank Ltd. M. R. Aug./Sept., 5 p.) 1927

**Vecchio, G. del** La crisi del dollaro. (Giorn. d. econ. 48-12, 10 p.) 1933

**Vogel, E. H.** Dollarentwertung als Krisenheil-mittel. (Wirtschaft u. Arbeit. 3-3, 3 p.) 1934

**Voegelin, E.** Die ergänzende Bill zum Federal Reserve Act und die Dollarstabilisation. (Mitt. d. Verb. österr. Banken u. Bankiers. 10-11/12, 8 p.) 1929

Die volkswirtschaftliche Bedeutung der Dollarschatzanleihe. (Dt. Nation. 5-4, 3 p.) 1923

**Zimmermann, W.** Die Festwährung in den V. S. von Nordamerika. (Freiwirtschaft. 5-6, 7 p.) 1923

#### U. S. S. R.

**Bloch, A. A.** Zur Frage der Währungsstabilisierung und der Aufwertung im Sowjetrecht. (Ostrecht 3-3, 13 p.) 1927

**Chatin-Ollier, L.** Histoire d'une stabilisation monétaire. Le rouble 1897. (R. de sci. fin. 28-4, 14 p.) 1930

Die Geldentwertung in Deutschland, Polen und Russland. (Wirtschaft u. Statistik. 3-20, 3 p.) 1923

## III. Creation and Circulation of Money

### 1. Creation of Money

#### a. General

\***Bahrfeldt, M. v.** Die bischöflich hildesheimische Münzstätte Peine 1611. Halle (Saale): Riechmann 1925. 8 p. Mit 8 Textabb. 4°

\*Die Banknoten-Presse. Ein Blick in die Werkstatt der Millionäre. Dresden-Chemnitz: Verlagshaus z. Sonne 1925. 121 p. 8°

**Barnett, R. W.** Mint price of bullion. (Palgrave's Dict. 2, 1 p.) 1926

\***Barton, F. R.** Nickel coinage. London: Mond Nickel Co., Research & Develop. Dept. 1927. iv, 50 p.

\***Behrens, W. G.** Das Geldschöpfungsproblem. Vorw. F. K. Mann. Jena: Fischer 1928. xii, 324 p. 8° [Sozialwiss. Bausteine. 1]

Einl. i. Zur Klassifikation der Geldtheorien. ii. Grundzüge der Derivatwerttheorie des Geldes. iii. Die besonderen Probleme der reinen Derivatwerttheorie.

I. Die Vorgeschichte des Geldschöpfungsproblems. 1. Die dogmenhistorische Basis des Geldschöpfungslehre. 2. Die Lehre Bendixens von der Geldschöpfung.

II. Der Streit um die Geldschöpfungslehre. 3. Parteilager und Mitläufer. 4. Die Kritiker.

III. Die Grundfragen der Geldschöpfung. 5. Die Arten der Geldschöpfung. 6. Die Begrenzung der Geldschöpfung.

**Bendixen, F.** Bemerkungen zur Geldschöpfungslehre. (JB. f. Nationalökon. 3. F. 58-2, 11 p.) 1919

\***Bertheault de Noiron, Ch.** Du rôle du crédit dans le développement de la métallurgie en France. 1927. 122 p. 8°. [Thèse, Paris]

\***Bock, A.** Nationalsozialismus und Geldschöpfung. Beitr. z. wirtschaftl. Führerfrage. Berlin: Bock 1932. 24 p. 8°

**Bratter, H. M.** Free coinage and bimetalism. (Barron's. Jan. 8) 1934

**Cannan, E.; Ross, W. D.; Bonar, J. & Wicksteed, P. H.** Who said "barren metal"? (Economica. June, 6 p.) 1922

\*Comptes rendus de la Conférence internationale par l'adoption d'une convention pour la répression du faux monnayage. Genève, du 9 au 20 avril 1929. Genève: S. d. N. 1930. iv, 300 p. 4°. [Sér. de publ. de la S. d. N. 2. Questions écon. et fin.]

\***Corvol, G.** L'émission des bons de monnaie par les chambres de commerce. Paris: Rousseau 1931. 8°

**Dupriez, H.** La répression internationale du faux-monnayage. (R. de droit. int. et de législ. comparée 3, 10, 3, 20 p.) 1929

**Eichhorn, K. v.** "Autonome Geld- und Kreditschöpfung." Ein neues Schlagwort und ein neuer Irrtum. (Bank-A. 32-8, 5 p.) 1933

\***Fisher, I.** Moral bei der Geldausgabe und beim Geldrückzuge durch unsere Nationalen Notenbanken. Mit einem Gutachten von Ch. Gide.... und einem Schlussw. von G. Ferrero.... Bern: Pestalozzi-Fellenberg-Haus 1925. iv, 32 p. 8°

**Fricke, R.** Kreditschöpfung und Spartätigkeit. Eine Kritik Albert Hahns "Volkswirtschaftliche Theorie des Bankkredits." (Dt. Sparkassen-Ztg. 5-5, 2 p., 6, 2 p.) 1928

\***Frings, F. A.** Frings' mystic key system to British Indian and decimal coinage. 1924. 7 p.

\***Gatzen, W. A.** Geldersatz (bargeldlose Umlaufmittel). Der Weg zur Beseitigung der allg. Umlaufmittelhöhe und zur Hebung der derzeitigen Umlaufmittelknappheit. Im Rahmen des übergeordneten finanztechn. Problems der Weltenschuldigung. München-Grünwald: Ante-Portas-Verl. 1919. 48 p. 8°. [Wirtschaftsphil. Schr. 6]

**Geiler, H. F.** Verbesserung der Münzverhältnisse. (Dt. Oekonomist. 2469, 2 p.) 1933

**Gnil** Nationalsozialismus und Geldschöpfung. (Dt. Volkswirtschaft. 1-12, 4 p.) 1932

\***Gompertz, E.** Die Geldschöpfungslehre in der nominalistischen Geldtheorie. Crefeld: Druck v. Greven 1921. 99 p. 8°. [Diss. Köln]

**Heinrich, W.** Die Grenzen der Geldschöpfung. (JB. f. Nationalökon. 3. F. 74-5, 14 p.) 1928

\***Heyn, O.** Ueber Geldschöpfung und Inflation. Stuttgart: Enke 1921. 79 p. 8°. [Finanz- u. volkswirtschaftl. Zeitfragen. 73]

**Holzmann, W.** Anleihen und Geldschöpfung. (Dt. Volkswirtschaft. 2-3, 7 p.) 1933

**Law, A.** Mintage, free. (Palgrave's Dict. 2, 1 p.) 1926

\***Lederer, Ph.** Beiträge zur antiken Münzkunde. Halle (Saale): Riechmann 1925. 19 p. 3 Taf. 8°. [Repr.: Bl. f. Münzfreunde. 59, 11; 60, 1/2]

\***Luschin v. Ebengreuth, A.** Allgemeine Münzkunde und Geldgeschichte des Mittelalters und der neueren Zeit. 2. stark verm. Aufl. München, Berlin: Oldenbourg 1926. xix, 333 p. 107 Abb. 8°. [HB. d. mittelalterl. u. neueren Geschichte. Abt. 4: Hilfswissenschaften u. Altertümer]

Einl.: 1. Gegenstand der Münzkunde und Geldgeschichte. 2. Quellen und Hilfswissenschaften der Numismatik. 3. Literatur der Numismatik. 4. Bibliographie und Abkürzungen.

I. Allgemeine Münzkunde.

A. Die äussere Beschaffenheit der Münze. 5. Geld und Münze. 6. Medaillen, Plaketten, Jetons. 7. Münzähnliche Gebilde anderer Art, Marken. 8. Münzstoffe. 9. Gestalt, Grösse und Gewicht der Münze. 10. Das Gepräge im allgemeinen. 11. Das Münzbild. 12. Die Aufschrift.

B. Die Herstellung der Münze. 13. Die Vorgänge bei der Ausmünzung. 14. Die Einrichtung des Münzbetriebs.

C. Die Münze als Gegenstand des Sammelns. 15. Öffentliche und Privatsammlungen. 16. Behelfe des Sammlers. 17. Die wissenschaftliche Behandlung von Münzfunden. 18. Das Bestimmen, Beschreiben und Abbilden von Münzen. 19. Falsche und unechte Münzen. 20. Metrologische Fragen und Behelfe im Münzwesen. 21. Die wichtigsten Münzgewichte des Mittelalters.

II. Geldgeschichte.

A. Die Münze in ihren Beziehungen zur Geldlehre. 22. Aufgabe der Geldgeschichte. 23. Geldarten, die nicht Münze sind. 24. Münzgeld. 25. Währung. 26. Rechnungseinheit und Zählweise. 27. Der Münzfuss. 28. Währungs-, Handels- und Scheidemünze. 29. Münzpolitik. 30. Der Münzwert in alter Zeit.

B. Die Münze in ihren Beziehungen zum Recht. 31. Die Münzhoheit und die aus ihr hergeleiteten Rechte. 32. Münzverleihungen. 33. Die finanzielle Ausnützung des Münzregals. 34. Die Münze als gesetzliches Zahlungsmittel. 35. Münzverträge, Münzvereinigungen, Münzverbände.

\***Macdonald, G.** Silver coinage of Crete. London: Milford 1920. 29 p. 8°

\***Marriott, H. F.** Money and mines: the administration, organization and economics of precious and non-ferrous metal mines. London: Benn; New York: Macmillan 1925. 270 p. 8°

\***Munro, H.** Economic research: the production of money and its effects on industry. London: Souter 1934. 19 p.

Münzprägung und Silberproduktion. (Metallwirtschaft. 10-41, 2 p.) 1931

Münzreform. (Schweiz. Konsum-Verein. 28-34, 4 p.) 1928

**Neisser, H.** Devisenkurspolitik und Geldschöpfung. (Mag. d. Wirtschaft. 4-5, 3 p.) 1928

— Geldschöpfung durch die Banken. (Weltwirtschaft. 18-4) 1930

**Oman, Ch.** The new coinage of 1927. (Banker. 24, 5 p.) 1928

Our new silver coinage. from a correspondent. (Bankers' Mag.—Lond. 1009, 6 p.) 1928

**Palyi, M.** Coinage. (Encycl. of Soc. Sci. 3, 4 p.) 1930

**Powell, E. G.** Lushboroughs, or Lusshebournes. (Palgrave's Dict. 2, 2 p.) 1926

— Moneyers. (Palgrave's Dict. 2, 2 p.) 1926

\***Repression du faux monnayage.** 1. Conférence des offices centraux. Rapports et documents y relatifs. Genève: S. d. N. 1931. 15 p. 4°. [Sér. de publ. de la S. d. N. 2. A. 1931, 8]

**Riebesell, P.** Kreditschöpfung durch Notgeld. (Wirtschaftsdienst. 18-19, 3 p.) 1933

**Rigg, E.** Free coinage. (Palgrave's Dict. 2, 2 p.) 1926

— Mint. (Palgrave's Dict. 2, 3 p.) 1926

**Rio, V. del** Geld- und Wertpapierfälschungen. [Zur Int. Genfer Konferenz zur Verhütung von Geldfälschungen, April 1929.] (Int. Wirtschaft. 2-5, 5 p.) 1930

**Roberts-Austen, W. & Rigg, E.** Fineness of coins. (Palgrave's Dict. 2, 2 p.) 1926

**Rose, T. K.** Alloy. (Palgrave's Dict. 1, 2 p.) 1925

\***Saufrignon, R.** Le problème monétaire du point de vue de la géologie économique et l'utilisation monétaire du platine. Paris: R. fr. des ind. du sous-sol 1933. 12 p. 4°

**Schulz-Kiesow, P.** Die Finanzierung des Aufschwunges durch Mobilisierung alter und neuer Warenvorräte mittels der regulären Geldschöpfung. (JB. f. Nationalökon. 3. F. 73-4, 11 p.) 1928

\***Sheppard, T. & Musham, J. F.** Money, scales and weights. Mâcon: Protat; London: Spink 1924. 227 p. 8°

**Singer, K.** Geldschöpfung nach Keynes. (Wirtschaftsdienst. 17-9, 6 p.) 1932

**Steyrer, F.** Die Ausgabe von Geldzeichen, die durch Bodenwerte gedeckt sind. (Z. f. Wohnungswesen. 18-16, 4 p.) 1920

\*U. S. Bureau of the Mint. Monetary units and coinage systems of principal countries of the world, 1929. Washington: 1929. 93 p.

**Verjot, J.** Les émissions. [In: La France Annuaire pour 1923 (2. année).] 1924. [Repr.: R. d'écon. pol. Mars/avr. 1924]

\***Watson, J. P.** The Bureau of the Mint; its history, activities and organization. Baltimore: Johns Hopkins Pr. 1926. 101 p. 8°. [Inst. for Gov. Research, Service Monographs of the U. S. Gov. 37]

b. Individual countries

Austria

\***Miller zu Aichholz, V.** Oesterreichische Münzprägungen 1519/1918. Vienna: Münzkabinett 1920

China

**Fang, F.-a.** The founding of Chinese modern mints. (Chinese Econ. J. 6-6, 10 p.) 1930

Egypt

\***Malache, M. K. A.** Les instruments de circulation et les institutions de crédit en Egypte. Paris: Pr. univ. de France 1930. 448 p. [Thèse, Paris]

England

\***Johnson, G. E. M.** Currency reform, and the need for a nickel coinage on a decimal basis. London: Decimal Assoc. 1920. 20 p. 8°

**Jones, L.** The Welsh mint. (Economica. 18, 12 p.) 1926

**Leaf, W.** La Banque de l'Angleterre et les émissions de papier-monnaie. (R. écon. int. 18, 1, 3, 12 p.) 1926

**Woods, H. Ch.** The mint—yesterday and today. (Eng. R. 50-6, 9 p.) 1930

France

\***Debray, R.** La chambre des monnaies et l'administration des monnaies sous l'ancien régime. 1919. 110 p. 8°. [Thèse, Paris]

La fabrication des monnaies et la circulation monétaire en 1925. (Bull. de statist. et de législ. comparée. 50-2, 12 p.) 1926

La fabrication et la circulation des monnaies pendant l'année 1926. (Bull. de statist. et de législ. comparée. 51-3, 9 p.) 1927

— 1928. (Bull. de statist. et de législ. comparée 53-2, 8 p.) 1929

La fabrication des monnaies pendant l'année 1930. (Economiste fr. 59-36, 3 p.) 1931

Germany

\***Drechsler, W.** Geldschöpfungen in Niedersachsen 1914/24. Auszug aus O. Marheineke: Die industrielle Entwicklung der Stadt Hannover. Bearb. von O. Goebel. Braunschweig: Westermann 1926. 41 p. 8°. [Veröff. (der) Wirtschaftswiss. Ges. z. Stud. Niedersachsens E. V. A. 2]

**Rütgers, H.** Die Bedeutung der Novelle zum Reichsbankgesetz für die Geldschöpfung. (Bank-A. 33-5, 2 p.) 1933

\***Walter, V.** Die Stellung und Bedeutung der deutschen Gold- und Silberscheideanstalten in der Edelmetallproduktion der Weltwirtschaft und in der deutschen Volkswirtschaft mit Einschluss der privatwirtsch. Betriebsorganisationen. 1931. 261 p. [Diss. München]

Siam

**Le May, R.** The coinage of Siam. (J. Siam Soc. 25-1) 1932

Switzerland

\***Argent ou nickel?** Vers une entente sur la nouvelle loi monétaire. Une opinion impartiale. Berne: Neukomm & Salcrath 1930. iv, 12 p. 8°

U. S. A.

\***Belden, B. L.** A mint in New York. New York: Am. Numismatic Soc. 1930. 40 p.

**Dewey, D. R.** Mint, United States. (Palgrave's Dict. 2, 2 p.) 1926

**Herrmann, A. R.** Neue Grundsätze der Geldschöpfungspolitik in den Vereinigten Staaten von Amerika. (Dt. Volkswirtschaft. 1-3, 3 p.) 1932

## 2. Circulation of Money

### a. General

**Adler, J.** Kapitalpolitik und Geldknappheit. (Leipziger Muster-Messe. 6-11, 5 p.) 1922

**Amon, N. A.** Geldknappheit und Bankpolitik. (Mitt. d. Verb. österr. Banken u. Bankiers. 6-11/12, 7 p.) 1925

**Amoroso, L.** Sul concetto di velocità di circolazione della moneta. (Giorn. d. econ. 44-3, 4 p.) 1929

— Ancora sulla velocità di circolazione della moneta. (Giorn. d. econ. 44-7, 2 p.) 1929

— La dinamica della circolazione. (R. ital. di econ. e. fin. stat. 6-5, 14 p.) 1934

**Anderson, M. D.** A note on elasticity of the currency. (Am. Econ. R. 16-1, 4 p.) 1926

**Arminius** Internationale Gründe der Geldhamsterei. (Freiwirtschaft. 8-16, 5 p.) 1926

**\*Arnauné, A.** La monnaie, le crédit et le change. T. 1: La circulation, ses instruments, son mécanisme. 7. éd. Paris: Alcan 1926. xiv, 315 p. 8°. [For contents see I, 1]

**\*Asch, S.** La circulation monétaire. Le niveau des prix et le taux de l'intérêt (Contribution à la théorie quantitative de la monnaie). Paris: d'Arthez 1924. 115 p. 8°. [Thèse, Strasbourg]

**Barnett, R. W.** Hoarding. (Palgrave's Dict. 2, 2 p.) 1926

**Bastian** Notenumlauf und Teuerung. (Plutus. 16-33/34, 3 p.) 1919

**Baudin, L.** La vitesse de circulation de la monnaie [avec bibliographie détaillée.] (R. econ. int. 25, 3, 1, 32 p.) 1933

**Blumenthal, H.** Verminderung des Geldumlaufs als Ursache dunkler Zeiten. (Freiwirtschaft. 6-10, 7 p.) 1924

**Bortkiewicz, L. v.** Die Ursachen einer potenzierten Wirkung des vermehrten Geldumlaufs auf das Preisniveau. [In: Verh. d. Vereins f. Sozialpol. in Stuttgart = Schr. f. Vereins f. Sozialpol. 170, 19 p.] 1925

**Bresciani-Turroni, C.** Le variazioni della rapidità di circolazione di una moneta deprezzata. (Giorn. d. econ. 40-4, 6 p.) 1925

**Breuer, J.** Die Umlaufgeschwindigkeit des Geldes als statistische Frage. (Z. f. schweiz. Statistik. 70-1, 4 p.) 1934

**\*Canney, E. E.** What money scarcity means to you? 2. ed. Manchester: Canney 1931. 78 p. 8°

**\*Cassel, G.** Weltwirtschaft u. Geldverkehr unt. bes. Berücks. d. Valutaproblems. Gotha: Perthes 1920. 25 p. 8°. [Neue Reich. N. F. 7]

**Castelot, E.** Utter or circulate. (Palgrave's Dict. 3, 1 p.) 1926

**\*Christopeit, K.** Untersuchungen über die Beziehungen zwischen dem Geldumlauf u. dem Kreditbedarf bei der Bewirtschaftung der Landgüter. 1926. 45 p. 11 Anlagen, 22 Tfl. 4°. [Diss. Bonn-Poppelsdorf]

La circulation monétaire pour l'exercice 1918. (Economiste fr. 47-11, 3 p.) 1919

La circulation monétaire en 1924. (Economiste fr. 53-9, 3 p.) 1925

— en 1925. (Economiste fr. 54-9, 3 p.) 1926

**\*Dalberg, R.** Die Entwertung d. Geldes. Eine Untersuchung d. Einwirkungen v. Kreditanspannung u. Geldumlauf auf Preisniveau u. Valutastand. 2. durchges. u. verm. Aufl. Berlin: Heymann 1919. viii, 115 p. 8°. [For contents see II, 3, a]

**Denuc, J.** Essai de détermination de la circulation monétaire annuelle en France de 1870 à 1913. (Bull. de la statist. gén. de la France. 21-3, 22 p.) 1932

**\*Diepolder, G.** Die "Umlaufgeschwindigkeit" des Buchungsgeldes. Eisfeld i. Thür.: Beck 1934. 142 p. 8°. [Diss. Erlangen]

**\*Dobretsberger, J.** Neue Wege des Geldwesens und Zahlungsverkehrs. (Ein Beitr. zur Banken- u. Währungsform d. Gegenwart.) Berlin: Heymann; Wien: Oesterr. Wirtschaftsverl. Payer 1934. 104 p. 8°. [Volkswirtschaft. 11]

1. Theoretische Klarstellungen. i. Die Kaufkraftformen. ii. Fragen der Zahlungsbereitschaft. 2. Probleme der Bankenreform. 3. Wandlungen im Währungssystem. i. Die Problematik der Deckungsprozente. ii. Die Devisenpolitik der Notenbanken. iii. Wechsel- oder Obligationendeckung? iv. Notenbank und Staat. 4. Monetäre Experimente.

**\*Durrenberger, R.** La circulation monétaire dans les pays occupés au cours de la guerre par les empires centraux. Pref. de Brouilhet. Strasbourg: Heitz 1921. viii, 154 p. 8°. [Etudes des sci. écon. soc. fin. et pol. 1] [Thèse, Strasbourg]

Einlagen bei den Geldinstituten. Statistik des Geldumlaufes und des Zahlungsverkehrs. (Mitt. d. Statist. Staatsamtes d. Cechoslov. Republik. 6-104, 8 p.) 1925

Einlagen bei den Geldanstalten—Statistik des Geldumlaufes und des Zahlungsverkehrs—Einlagen auf Einlagebücher nach Bezirken i. d. J. 1927-1933. (Mitt. d. Statist. Staatsamtes d. Cechoslov. Republik. Reihe C, 13/14, 14 p.) 1934

**\*Enke, A.** Der bargeldlose Zahlungsverkehr nach Stabilisierung der deutschen Währung. (Teildruck). 1927. 34 p. 8°. [Diss.: Frankfurt]

**Essen, A. S.** Goldbestände und Notenumlauf der Privatnotenbanken. (Bank-A. 21-5, 3 p.) 1921

**Eucken, W.** Die Ursachen der potenzierten Wirkung des vermehrten Geldumlaufs auf das Preisniveau. (JB. f. Nationalökon. 3. F. 70-4, 21 p.) 1926

Europas Goldbestände und Geldumlauf. (Wirtschaft u. Statistik. 5-9, 4 p.) 1925

La fabrication des monnaies et la circulation monétaire en 1925. (Bull. de statist. et de législ. comparée. 50-2, 12 p.) 1926

La fabrication et la circulation des monnaies pendant l'année 1926. (Bull. de statist. et de législ. comparée. 51-3, 9 p.) 1927

— 1928. (Bull. de statist. et de législ. comparée 53-2, 8 p.) 1929

**\*Feilen, J. F.** Die Umlaufgeschwindigkeit des Geldes. Untersuchungen zur Gegenstandstheorie und Kategorienlehre der Geldwirtschaft. 1926. [Diss. München]

1. Das Problem und sein dualistischer Charakter. 2. Die Grundlagen zu einer begrifflichen Klärung. a. Genetischer Teil. b. Systematischer Teil. 3. Die positive Theorie der Umlaufgeschwindigkeit des Geldes. i. Die Umlaufgeschwindigkeit der Geldform als kategorialer Typus. ii. Die empirischen Typen der Umlaufgeschwindigkeitstheorie (Allgemeines). 4. Versuch einer Wesensanalyse des Umlaufgeschwindigkeitsbegriffes. 5. Kurzer Ausblick auf die Bedeutung der gewonnenen theoretischen Ergebnisse für die quantitativen Probleme der Umlaufgeschwindigkeit des Geldes.

**Fetter, F. W.** Some neglected aspects of Gresham's law. (Q. J. of Econ. 46-3, 16 p.) 1932

**Foster, W. T.** The circuit flow of money. (Am. Econ. R. 12-3, 14 p.) 1922

**Friedlaender-Prechtl, R.** Welt-Geld-Hamsterei. (Auf Grund d. Zusammenstellung des Geldumlaufs von 16 Staaten in Nr. 33 der Wochenberichte des Instituts f. Konjunkturforschung.) (Wirtschaftswende. 13, 7 p.) 1932

**Gebauer** Entwicklung des Postscheckverkehrs der europäischen Länder in den Jahren 1921 bis 1925. (A. f. Post u. Telegraphie. 9, 5 p.) 1926

— Postscheckverkehr der europäischen Länder im Jahre 1926. (A. f. Post u. Telegraphie. 8, 4 p.) 1927

— 1928. (A. f. Post u. Telegraphie. 12, 6 p.) 1929

**Geiger** Postscheckverkehr und Währung. (A. f. Post u. Telegraphie. 3, 3 p.) 1933

Der Geldumlauf im Jahre 1929. (Wirtschaft u. Statistik. 10-4, 2 p.) 1930

Geldumlauf und Notenbanken. (W.-ber. d. Inst. f. Konjunkturforsch. 5-45, 3 p.) 1933

Geldumlauf, Notenbankkredite und Depositen der Notenbanken im Jahre 1930. (Wirtschaft u. Statistik. 11-10, 2 p.) 1931

Der Geldumlauf seit der Reform. (Volkswirtschaft d. UdSSR. 5-22, 3 p.) 1926

Der Geldumlauf der Welt Ende 1926. (Wirtschaft u. Statistik. 7-17, 3 p.) 1927

**Gesell, S.** Eine Billion Banknotenumlauf. (Freiwirtschaft. 5-2, 6 p.) 1923

**Gilbert, J. C.** A note on banking policy and the income velocity of circulation of money. (Economica. N. S. 2, 4 p.) 1934

**\*Gittardi, L.** Alcune considerazioni in materia di circolazione monetaria. Roma: R. ital. di ragioneria 1929

Goldbestände und Geldumlauf der Welt. (Wirtschaft u. Statistik. 5-10, 2 p.) 1925

— Ende 1925. (Wirtschaft u. Statistik. 6-12, 3 p.) 1926

**Goldschmidt, E.** Goldbestände und Geldumlauf Europas seit 1913. (Bankwiss. 2-10, 5 p.) 1925

**\*Goldstein, L.** La circulation de l'or pendant la guerre. 1921. 97 p. 8°. [Thèse, Paris]

**\*Gompertz, E.** Die Geldschöpfungslehre in der nominalistischen Geldtheorie. Crefeld: Druck v. Greven 1921. 99 p. 8°. [Diss. Köln]

- Gönningen, H.** Die Ausweitung des Geldumlaufs in den wichtigsten Ländern. (Bank. 25-15, 6 p.) 1932
- Gray, F. W.** Note circulation. (Palgrave's Dict. 3, 1 p.) 1926
- Grinberg, M. L.** Mises: Theorie des Geldes und der Umlaufsmittel. (R. d'écon. pol. 40-5, 3 p.) 1926
- \***Grossmann, H.** Grundzüge des Zahlungsverkehrs. Berlin, Wien: Spaeth & Linde 1931. 98 p. 4°
- \***Hänsel, F.** Wie würde sich Marx zum Umlaufszwang des Geldes stellen? [In: Wissenschaftl. Schriftenreihe d. FZtg. 19] 1932
- Harris, C. A.** Rapidity of circulation. (Palgrave's Dict. 3, 2 p.) 1926
- Hastings, H. B.** The circuit velocity of money. (Am. Econ. R. 13-2, 14 p.) 1923
- \***Hayek, F. A. v.** Gibt es einen Widersinn des Sparens? Ein Beitr. zur Kritik d. Unterkonsumtionstheorie u. zur Lehre vom Einfluss d. Geldmenge auf d. Kapitalbildung. Wien: Springer 1931. v, 54 p. 8°. [Repr.: Z. f. Nationalök. 1, 3. (1929/30)]
- Heichen, A.** Die gegenwärtige Umlaufgeschwindigkeit des Geldes. (Wirtschaftsdienst. 9-33, 3 p.) 1924
- Holtrop, M. W.** Die Umlaufgeschwindigkeit des Geldes. [In: Beiträge z. Geldtheorie. 96 p.] 1933
- \***Hornbostel, H.** La vitesse de circulation de la monnaie et les variations de son pouvoir d'achat. (Contribution à l'étude d'une théorie réaliste.) Paris: Rousseau 1930. 238 p. 8°. [Thèse, Paris]
- \***Hrase, J.** Les oscillations régulières des quantités de moyens de paiement en circulation. Prague: 1928. 98 p. 2 diagr
- Hubbard, J. B.** Currency in circulation as an index of business volumes. (R. of Econ. Statistics. 13-3, 7 p.) 1931
- Hülse** Zahlungsmittelknappheit und Zahlungsmittelumlauf. (Wiederaufbau. 20, 3 p.) 1922
- Hülse, F.** Notenumlauf und Preissteigerung. (Glocke. 6-10, 4 p.) 1920
- Internationaler Papiergeldumlauf. (Wirtschaft u. Statist. 3-1, 2 p.) 1923
- \***James, E.** La clause payable en or et le cours forcé. Paris: Recueil Sirey 1924. 211 p. 8°. [Thèse, Paris]
- Janovsky, K.** Betrachtungen über die Geldzirkulation in den einzelnen Staaten. (Mitt. d. Verb. österr. Banken u. Bankiers. 8-5/6, 5 p.) 1926
- Janovsky, K.** Betrachtungen über die Geldzirkulation in den einzelnen Staaten. Eine Duplik (auf d. Aufsatz von Leop. Schwarz in Nr. 9/10 ders. Z.) (Mitt. d. Verb. österr. Banken u. Bankiers. 8-12, 11 p.) 1926
- Jastrow, I.** Sparkassen und Kontokorrent-Verkehr in der Geldtheorie. (Sparkasse. 45-21, 2 p.) 1925
- \***Kellenberger, E.** Geldumlauf und Thesaurierung. Grundsätze der Notenbankpolitik. Zürich: Füssli 1920. viii, 232 p. 8°
- \***Kerschagl, R.** Die Entwicklung des bargeldlosen Zahlungsverkehrs. Wien: Verband österr. Banken u. Bankiers. 1922. 47 p. 8°
- Krämer, C.** Umsatz, Geldumlauf und Preise. (Wirtschaftsdienst. 12-11, 2 p.) 1927
- Kroszewski, P.** Statistischer Teil: Geldflüssigkeit und Wirtschaftslage. (Bank-A. 25-14, 4 p.) 1926
- Lampe, A.** Probleme der Geldumlaufserweiterung. (Volkswirtschaftl. Bl. 27-5/6, 2 p.) 1928
- Lansburgh, A.** Die Umlaufgeschwindigkeit des Geldes. (Bank. 14-4, 15 p., 5, 16 p.) 1921
- Zentralisierung des unbaren Zahlungsverkehrs. (Bank. 26-37, 6 p.) 1933
- Der bargeldlose Zahlungsverkehr, seine Verknennung und sein Missbrauch. [Gesetz vom 3. 7. gegen Missbrauch des b. Z.] (Bank. 27-29, 6 p., 31, 6 p.) 1934
- \***Laurent, H.** La loi de Gresham au moyen âge. Essai sur la circulation monétaire entre la Flandre et le Brabant à la fin du 14. siècle. Bruxelles: R. de l'Univ. de Bruxelles 1933. ix, 208 p. 4°. [Travaux de la faculté de philosophie et lettres de l'Univ. de Bruxelles. 5]
- Lehfeldt, R. A.** The world's stock of money. (J. of the R. Statist. Soc. 90-4, 3 p.) 1927
- Lehmann, F.** Geheimnisse des Geldumlaufs. (Mag. d. Wirtschaft. 6-15, 7 p.) 1930
- Licht** Geldumlauf und Währungsstabilität. (Versich. u. Geldwirtschaft. N. F. 1-16, 2 p.) 1925
- Lounsbury, R. H.** Velocity concepts and prices. (Q. J. of Econ. 46-1, 34 p.) 1931
- \***Loewy, A.** Mathematik des Geld- und Zahlungsverkehrs. Leipzig: Teubner 1921. viii, 273 p.
- Lufft, H.** Erhöhung des Scheidemünzenumlaufs? (Wirtschaftsdienst. 16-33, 4 p.) 1931
- Luzzatto, G.** La circolazione monetaria dal 1860 at 1828. (Nuova riv. storica. p. 144 seq.) 1930

- MacKenna, R.** Le crédit et la circulation monétaire. [Discours de MacKenna à Royal Institution of Great Britain.] (R. écon. int. 20, 4, 3, 7 p.) 1928
- \***Maier, G.** Geldwesen, Zahlungsverkehr und Vermögensverwaltung. 2. Aufl. Leipzig: Teubner 1919. 133 p. 8°. [Aus Natur und Geisteswelt. Sammlung wissenschaftlich-gemeinverständlicher Darst. 398]
- Marget, A. W.** The definition of the concept of a "velocity of circulation of goods." (Económica. 38, 26 p., 41, 26 p.) 1933
- Zur Dogmengeschichte des Begriffes "Umlaufgeschwindigkeit der Güter" und seines Verhältnisses zur Umlaufgeschwindigkeit des Geldes. (Uebers. von Paul Brüll.) (Z. f. Nationalök. 4-2, 32 p.) 1933
- \***Marzell, H.** Das Kapitalzinsproblem im Lichte des Kreislaufs der Waren und des Geldes. Eine Auseinandersetzung mit d. herrschenden Zinstheorie. Jena: Fischer 1927. 63 p. 2 schemat. Darst. 8°
- \***Meyer, F.** Der Geldumlauf in Zuckerrübenwirtschaften und seine Schwankungen im Laufe des Jahres. Leipzig: Jänecke 1932. 80 p. mehr. Taf. 8°. [Arbeiten d. Inst. f. landw. Betriebslehre an d. Univ. Halle. 41]
- \***Meyer, R.** Vorschläge z. gesetzgeber. Förderung d. bargeldlosen Zahlungsverkehrs. Berlin: Vahlen 1919. 41 p. 8°. [S.-Repr.: Beitr. z. Erläut. d. dt. Rechts. 63, 2, 39 p.]
- Michels, R.** Considerazioni sulla posizione dell'oro nella circolazione odierna. (Giorn. d. econ. 38-9, 13 p.) 1923
- Su alcune questioni di scienza e politica economica nella storia delle dottrine. (R. d. pol. econ. 21-3, 6 p.) 1931
- \***Mirelli, E.** Il sistema monetario. Primi elementi scientifici di tecnica e circolazione della moneta. Torino: La fiorita 1930. 71 p. 8°
- The money turnover in 1927. (Statist. 2602, 2 p.) 1928
- Moretti, V.** Crediti di banca e circolazione monetaria. (R. bancaria. 9-8, 13 p., 9, 9 p.) 1928
- Müller, A.** Zeitgemässe Betrachtungen über den Geldumlauf. 1816. [In: Müller, Ausgew. Abhandlungen. 7 p.] 1921
- Neisser, H.** Der Kreislauf des Geldes. (Weltw. A. 33-2, 44 p.) 1931
- Umlaufgeschwindigkeit der Bankdepotiten. (HWB. d. Bankwesens. 6 p.) 1932
- Nickisch, K.** Die Stabilisierung der Umlaufgeschwindigkeit. (Freiwirtschaft. 6-8, 4 p.) 1924
- Nicotra, G.** Assegni bancari e circolazione monetaria in Italia. (R. bancaria. 8-8, 8 p.) 1927
- Der Postscheckverkehr der Weltpostvereinsländer im Jahre 1931 (mit einer Uebersicht über den Zeitpunkt der Einführung des Postscheckverkehrs in den einzelnen Ländern und der gegenseitigen Aufnahme des Postüberweisungsverkehrs.) by Gr. [Mit Tab.] (A. f. Post u. Telegraphie. 12, 7 p.) 1932
- \***Poudou, F.** Les procédés amétalliques de paiement et le chèque postal. Paris: Lib. de l'enseignement technique 1919. 336 p. 4°. [Thèse, Paris]
- I. Evolution progressive des instruments d'échange: les procédés amétalliques. 1. Aperçu succinct de l'évolution: les insuffisances de la monnaie métallique. 2. Le crédit au secours de la monnaie: les substituts. 3. Cette évolution est-elle un retour au troc?: sa base reste le métal. 4. Le clearing dans les faits: Angleterre, Etats-Unis, Allemagne. 5. Le clearing en France.
- II. Le chèque postal. 1. Le fondement économique et administratif du chèque postal au confluent de deux évolutions. 2. Histoire du chèque postal: Le chèque postal à l'étranger, 137. 3. Le chèque postal en France: historique. 4. Economie et technique du système français. 5. Aperçu rétrospectif et synthétique du système général des chèques postaux. Statistiques. 6. Le chèque postal international.
- \***Régimes et circulations monétaires d'après-guerre.** Etude des conditions dans les différents pays, 1920. Documentation réunie sur l'initiative du Secrétariat de la Société des Nations. Genève: S. d. N.; Paris: Berger-Levrault; Londres: Harrison 1920. iv, 286 p. 8°
- Il riassetto della circolazione monetaria nei Balcani. by C. U. P. (R. di pol. econ. p. 304 seq.) 1929
- Royot, E.** Les variations de la circulation monétaire et l'opinion.—Discussion (Paul Delombre, Hacaut, Yves-Guyot). (Economiste fr. 54-43, 5 p.) 1926
- Salvatori, M.** La circolazione monetaria per abitante in alcuni Stati principali d'Europa. (Boll. dell'Ist. stat.-econ. di Trieste. 3-7/8, 7 p.) 1927
- Sawkins, D. T.** Factors of the flow of money and their variance. (Econ. Record. 9-16, 19 p.) 1933
- \***Schepers, E.** Le plan de circulation monétaire. Voici de l'argent. Pourquoi? Comment? Bruxelles: Tilbury 1932. 8°



- \***Schmidt, F.** Der Zahlungsverkehr. Bd. 2. Internationaler Zahlungsverkehr und Wechselkurse. 2. durchges. u. erg. Aufl. Leipzig: Gloeckner 1922. xii, 374 p. 8°
- I. Bilanzgedanke und Wechselkurse.
  - II. Die internationalen Zahlungsmittel.
  - III. Die Preise der Zahlungsmittel.
  - IV. Die technischen und rechnerischen Grundlagen des Zahlungsmittelhandels.
  - V. Der Handel in ausländischen Zahlungsmitteln.
  - VI. Die langfristigen Bewegungen der Wechselkurse.
  - VII. Die Abhängigkeit des Wechselkurses von Zinsgeschäften und Marktzinsdifferenz.
  - VIII. Die Arbeiträge im Zahlungsmittelmarkt.
  - IX. Die Beherrschung der Wechselkurse.
  - X. Die Wechselkurse während des Krieges.
  - XI. Die Wechselkurse nach dem Kriege.
- \***Schmelev & Stern** (Hrsg.) Das Geld und seine Zirkulation in marxistischer Beleuchtung. Sammlung von Aufsätzen von O. Bauer, Bucharin, E. Varga. 2. erg. u. verb. Aufl. Moskau: Staatl. Staatsverl. 1929. 269 p. [Russ.]
- Schmidt-Essen, A.** Die Geldvermehrung im Jahre 1919. (Wirtschaftsdienst, 5-6, 3 p.) 1920
- Schoele, O.** Der bargeldlose Zahlungsverkehr im Programm der Bankenquote. (Dt. Sparkassen-Ztg. 10-107, 2 p., 108, 2 p.) 1933
- Sind Menge und Umlaufgeschwindigkeit des Geldes messbar? Ausbau der Statistik des Zahlungsverkehrs. (Dt. Oekonomist. 2481, 3 p.) 1933
- & **Lansburgh, A.** Die natürlichen Grenzen des bargeldlosen Zahlungsverkehrs. (Bank. 13-8, 5 p., 10, 7 p.) 1920
- Schönwandt** Bargeldloser Zahlungsverkehr und Geschäftskosten. (Bl. f. Genossenschaftswesen. 66-38, 2 p.) 1919
- Schwarz, L.** Betrachtungen über die Geldzirkulation in den einzelnen Staaten. Eine Entgegnung [zu K. Janovskys Aufsatz in Nr. 5/6 ders. Zeitschr.]. (Mitt. d. Verb. österr. Banken u. Bankiers. 8-9/10, 4 p.) 1926
- Schwarz, P.** Geldumlauf und Konjunktur. Die Hahn'sche Deutung der Bankbilanz-ziffern [im 4. Erg.-H. d. VJH. f. Konjunkturforschung 1926]. (Z. f. handelswiss. Forsch. 23-2, 3 p.) 1929
- Schwiedland, E.** Geldverkehr und Entsittlichung. (Soz. Kultur. 43-7/12, 8 p.) 1923
- Seasonal variations in money in circulation. (Fed. Res. Bull. 18-12, 12 p.) 1932
- \***Segrè, A.** Circolazione monetaria e prezzi nel mondo antico ed in particolare in Egitto. Roma: Lib. di Coltura 1922
- \***Segrè, A.** Metrologia e circolazione monetaria degli antichi. Bologna: Zanichelli; Firenze: Ricci 1928. xiv, 546 p. 8°
- \***Sokoloff, A. A.** Zwei Beiträge zur Theorie der Umlaufgeschwindigkeit des Geldes. Tübingen: Mohr 1927. 54 p.
- 1. Kann die Umlaufgeschwindigkeit des Geldes bei gleichbleibender Geld- und Warenmenge eine Aenderung erfahren? 2. Zur Frage der Beeinflussung des allgemeinen Warenpreisniveaus durch die Steuern. (A. f. Sozialwiss. 57-1, 24 p., 3, 30 p.) 1927
- Die Geldvermehrung und die "Preisscheren". (Aus d. Russischen von Alexander Gerschenkron.) (A. f. Sozialwiss. 64-3, 20 p.) 1930
- \***Stanescou, S.** La circulation monétaire et la hausse des prix à la lumière de l'équation d'échange. 1920. 212 p. 8°. [Thèse, Paris]
- \***Sternschein, A.** Das Wesen der Umlaufgeschwindigkeit des Geldes. Bern: Autor 1933. iv, xiv, 168 p. 8°. [Diss. Bern]
- \***Striemer, A.** Der Kreislauf der Einkommen. Seine Darst. u. Erläuterung an Hand e. Kreislaufdiagramms, des zum erstenmal alle wirtschaftl. Verknüpfungen im Kreislauf völlig klar darstellt. Berlin: Globushaus 1933. 15 p. 8°
- Stringher, B.** Note su la circolazione cartacea gli scambi e i cambi con l'estero. (Nuova antologia. 1164, 13 p.) 1920
- Der Stückgeldumlauf in der Weltwirtschaft. (Wirtschaft u. Statistik. 12-22, 4 p.) 1932
- Stückgeldumlauf und Valutakurs. *by* Via. [Übersicht über die Wirkung von Währungs-entwertungen auf d. Aussenwert d. Währung seit 1931.] (Dt. Oekonomist. 2444, 3 p.) 1932
- \*Studies in the circulation of money and credit. 1930. [Diss. Chicago]
- Töndury, H.** Wandlungen des internationalen Zahlungsverkehrs. (Bankwiss. 7-16, Beil. 24 p.) 1930
- \***Tooke, Th. & Newmarch, W.** A history of prices and of the state of the circulation from 1792 to 1856. Repr. from the original, with an introduction by T. E. Gregory. 4 vols. as follows: Vol. 1 & 2 (in 1); Vol. 3 & 4 (in 1); Vol. 5; Vol. 6. London: King 1928. 8°
- Vol. 1. 376 p.
- I. On the effect of the seasons. 1. General view of the subject. 2. Effects of quantity on price. 3. On the character of the seasons and the state of prices, and the condition of the agricultural interests previous to 1793.

- II. On the effect of war. 1. General view of the subject. 2. Effects of taxation on the fluctuation of general prices. 3. Effect of the extra demand or consumption supposed to arise out of a state of war in general. 4. Effect of war, as obstructing supply, and increasing the cost of production.
  - III. On the currency. 1. General view of the subject. 2. Arguments of those who ascribe a greater effect to the bank restriction than that indicated by the difference between the market price and the mint price of gold.
  - IV. Historical sketch of prices, and of the state of the circulation, from 1792 to 1837. 1. Introduction. 2. On the state of prices and of the circulation, from the commencement of 1793 to the close of 1798. 3. On the state of prices, and of the circulation, from 1799 to 1803. 4. State of prices and of the circulation, from the commencement of 1804 to the close of 1808. 5. State of prices and of the circulation, from 1809 to 1813.
- Vol. 2. 354 p.
6. State of prices and of the circulation, from 1814 to 1818. 7. State of prices and of the circulation, from the commencement of 1819 to the close of 1822. 8. State of prices and of the circulation, from the commencement of 1823 to the close of 1827. 9. State of the prices and of the circulation from the commencement of 1828 to the close of 1832. 10. State of prices and of the circulation, from the commencement of 1833 to the close of 1837. 11. General view of conclusions to be derived from the preceding historical sketch of prices; and concluding remarks on the currency.
- Vol. 3. 288 p.
1. On the corn trade in 1838 and 1839. 2. On the prices of produce, other than corn. 3. On the state of the circulation in 1838 and 1839. 4. On the several alterations proposed in the management of the currency, with a view to remedy the existing defects. 5. Observations on a recent publication by Mr. Samuel Jones.
- Vol. 4. 402 p.
- I. On the prices of corn from 1840 to 1847.
  - II. On the prices of produce other than corn.
  - III. A general review of the currency question in its various phases from 1797 to the close of 1809. 1. The period from 1797 to 1819. 2. The period from 1819 to the close of 1847.
- Vol. 5. 666 p.
- I. On the prices of corn from 1847 to 1856.
  - II. On the prices of produce other than corn, and the general course of trade in the manufacturing and other markets, during the nine years 1848 to 1856.
  - III. On the progress of railway construction in the United Kingdom and in foreign countries from the year 1843 to the present time.—On the effects of the great railway expenditure of 1845/50—and on the operation of railway transit on the supply and consumption, and therefore on the prices of commodities.
- IV. On the progressive application of the principles of free trade to the commercial legislation of this country from the year 1820 to the present time.—On its effects on general prices.—And on the progress of free trade in foreign countries, especially in France.
  - V. On the management and policy of the bank of England during the period 1844/56; with special reference to the operation of the bank charter act of 1844.
- Vol. 6. 848 p.
- VI. On the policy pursued in France since 1848 by the republic, the presidency, and the empire, with reference to the management of the bank of France; and the formation of institutions of credit;—with an outline of the general financial measures which have been adopted.
  - VII. On the order, extent, and character of the changes which have been produced during the nine years 1848/56, by the new supplies of gold from California and Australia. Appendices relating to Part I: Seasons and the corn trade. Appendices relating to Part II: General prices and state of trade. Appendices relating to Part V: Management of the bank of England, and operation of the act of 1844. Appendices relating to Part VI: Management of bank of France. Appendices relating to Part VII: Production and influx of new gold.
- \*Treasury dept. The world's monetary stocks also production and consumption of gold and silver. From the report of the Dir. of the mint 1926. Washington: Gov. Pr. Off. 1926. 17 p. 8°
- Voigt, A.** Theorie des Geldverkehrs. (Z. f. Sozialwiss. N. F. 11-5/6, 30 p., 7/8, 25 p., 9/10, 31 p., 11/12, 30 p.) 1920
- Die Oekonomie des Geldverkehrs. (Z. f. Sozialwiss. N. F. 12-1/2, 30 p., 3/4, 15 p.) 1921
- Wärmer, G.** Der Bargeldumlauf in Oesterreich. (Mitt. d. Verb. österr. Banken u. Bankiers. 13-1/2, 5 p.) 1931
- Wegner, P.** Auftauung der Geldhorte? Zur Diskontpolitik der Reichsbank. (Dt. Oekonomist. 2441, 3 p.) 1932
- \***Witzgall, F.** Grundzüge der Wechselkunde und des gesamten bargeldlosen Zahlverkehrs. Für kaufm. Berufsschulen u. Handelsschulen. Nürnberg: Korn 1928. 61 p. mit Abb. 8°
- Wolf, J.** Geldmenge und Geldbedarf. (Mag. d. Wirtschaft. 2-10, 5 p.) 1926
- World's paper currency now seven times the amount in 1914. (Americas. Jan., 3 p.) 1920

- \***Zvorikine, N.** La circulation fiduciaire en papier-monnaie. Paris: Rapide-Impr. 1927. 95 p. 8°. [Russ.]
- \***Zwiesele, H.** Der bargeldlose Zahlungsverkehr. Mit zahlr. Vordrucken. Stuttgart: Moritz 1919. 78 p. 8°

## b. Individual Countries

## Bulgaria

- \***Petkof, J.** Prix, circulation et change en Bulgarie de 1890 à 1924. Paris: Jouve 1926. 164 p. 8° [Thèse, Paris]

## Czecho-Slovakia

- Theimer, W.** Geldflüssigkeit und Zinsfußfrage in der Tschechoslowakei. (Wirtschaftl. Nachr. f. Handel, Gew. u. Ind. 4-2, 2 p.) 1927

## Egypt

- \***Segrè, A.** Circolazione monetaria e prezzi nel mondo antico ed in particolare in Egitto. Roma: Lib. di Coltura 1922

## England

- Allum, F. E.** Withdrawal of light gold and silver coin from circulation in the United Kingdom and colonies. (Palgrave's Dict. 2, 3 p.) 1926
- Dubern, E. B.** Le budget et la fusion des circulations monétaires en Angleterre. (R. écon. int. 20, 3, 1, 21 p.) 1928
- Lansburgh, A.** Die Zusammenfassung des englischen Geldumlaufs. [Currency and bank notes. bill] (Bank. 21-6, 10 p.) 1928
- Schmidt-Essen, A.** Die Geldvermehrung in Deutschland, England und Frankreich. (Wirtschaftsdienst. 4-5, 2 p.) 1919
- Scholze, H.** Aus der Praxis des englischen Scheckverkehrs. (Bankwiss. 7-15, 9 p.) 1930

## France

- Denuc, J.** Essai de détermination de la circulation monétaire annuelle en France de 1870 à 1913. (Bull. de la statist. gén. de la France. 21-3, 22 p.) 1932

- \***Gayet, G.** La circulation monétaire et le crédit à Madagascar. Paris: 1923. 257 p. 8°. [Thèse, Paris]
- Morin, R.** Banque de France et circulation fiduciaire. (R. de France. 5-10,) 1925
- Rouilleau, G.** Nouveaux aspects de la circulation de la monnaie en France. (J. de la Soc. de statist. de Paris. 69-11, 9 p.) 1928

## Germany

- Bopp, K. R.** Der Geldumlauf in Deutschland. (Bankwiss. 10-9, 8 p.) 1933
- \***Bosquet, A.** L'économie de guerre en pays envahis. La circulation fiduciaire sous l'occupation allemande (1914/18). Paris: Giard 1926. 192 p. 8°. [Thèse, Paris]

\*Denkschrift aus Anlass des zehnjährigen Bestehens des Postscheckverkehrs 1909/19. Bearb. im Reichspostministerium. Berlin: Reichsdruckerei 1919. 40 p. 2°

\*Die deutschen Abrechnungsstellen im Jahre 1925. Bearb. in d. Statist. Abt. d. Reichsbank. Berlin: Reichsbank 1926. 39 p. 4°

\***Engler, H.** Der bargeldlose Zahlungsverkehr in Deutschland und die Möglichkeiten seiner Verbesserung. 1929. 90 p. 8°. [Diss. Frankfurt]

\***Fleck, H.** Der Geldumlauf in d. Landwirtschaft n. Monaten geordnet untersucht an 31 Betrieben im Freistaat Sachsen. 1930. 83 p. 11 Taf. 4°. [Diss. Halle]

25 Jahre Berliner Postscheckverkehr. (Berliner Wirtschaftsber. 11-12, 1 p.) 1934

**Herrmann, K. A.** Der Geldumlauf im Deutschen Reich. (Dt. Wirtschafts-Ztg. 21-33, 3 p.) 1924

\***Hoffmann, A. v. & Beckmann, W.** Die Besteuerung der Sachwerte. 2. Gesetzentwürfe. Berlin-Zehlendorf: Gewerkschaftsbund d. Angestellten 1921. 16 p. 8°

\***Holtze-Ritter, H.** Gewerkschaftsring deutscher Arbeiter-, Angestellten- und Beamtenverbände, Berlin. Finanz- und Wirtschaftsreform durch Besteuerung der Sachwerte. Denkschrift zur Steuergesetzgebung. Leipzig: Verwaltung Leipzig d. Gewerkschaftsbundes d. Angestellten 1922. 30 p. 8°

\***Kluitmann, L.** Der gewerbliche Geld- und Kapitalverkehr im Ruhrgebiet im 19. Jahrhundert. Gütersloh: Flöttmann 1931. xvi, 129 p. mehr. Tab. 8°. [Veröff. des A. f. rheinisch-westfälische Wirtschaftsgeschichte (Rheinisch-Westfälisches Wirtschaftsarchiv in Köln). 12]

\*Die Krise im Zahlungsverkehr und ihre Ueberwindung. Die Notverordnungen des Sommers 1931. Berlin: Zentralverl. 1931. 8 p. 4°. [Reichszentrale f. Heimatdienst. Richtlinie 218]

**Lorek** Das Ergebnis des deutschen Postscheckverkehrs in den Jahren 1924 bis 1931. (A. f. Post u. Telegraphie. 11, 7 p.) 1932

**Schmidt-Essen, A.** Die Geldvermehrung in Deutschland, England und Frankreich. (Wirtschaftsdienst. 4-5, 2 p.) 1919

**Sewering, K.** Der Hamburger Giroverkehr unter dem Einfluss der Rationalisierungsbestrebungen. (Bankwiss. 6-12, 12 p.) 1929

**Straeter, L.** Wirtschaftszerrüttung und Goldmarkkreditverkehr. (Allg. Rdsch. 20-11, 2 p.) 1923

## Hungary

\***Lederer, E.** Der Geldhandel des Mittelalters in Ungarn. <1000/1458.> Budapest: Ranschburg 1932. 272 p. 8°

## Italy

\*La circulation fiduciaire et le marché monétaire en Italie pendant et après la guerre. Rome: Banque d'Italie 1920

**Graziani, A.** Sulle vicende della nostra circolazione cartacea. [Supino: Storia della circolazione cartacea in Italia dal 1860 al 1928. Milano 1929]. (R. bancaria. 10-5, 6 p.) 1929

\***Lefèvre, R.** La circolazione metallica del Regno d'Italia; 1862/1930. Roma: Ist. poligr. Stato 1931. 73 p. 6 Taf. 8°. [Monografie ed. dal r. Ist. di pol. econ. e fin. 1]

Note circulation and reserves in Italy. (Statist. 2531, 2 p.) 1926

\***Supino, C.** Storia della circolazione cartacea in Italia dal 1860 al 1928. 2. ed. agg. Milano: Soc. ed. lib. 1929. 286 p. 8°

## Jugoslavia

**Bajkisch, V.** Notenumlauf und Notendeckung in Jugoslawien. (Oesterr. Volksw. 16-25, 3 p.) 1924

\***Tzvetco, L.** Organisation de la circulation monétaire en Serbie et en Yougo-Slavie. Toulouse: Saint-Michel 1924. 168 p. 8°. [Thèse, Toulouse]

## Switzerland

\***Ackermann, E.** Der Zahlungsmittelumlauf der Schweiz im Jahre 1926 im Vergleich zur Vorkriegszeit. Unter bes. Berücks. d. eidgenöss. Münzenquete vom 23. Febr. 1926. Zürich: Füssli 1927. 82 p. 8°. [Mitt. d. statist. Bur. d. Schweiz. Nationalbank. 8]

— Der Zahlungsmittelumlauf der Schweiz im Jahre 1926 im Vergleich zur Vorkriegszeit. (Schweiz. Bl. f. Handel u. Ind. 34-17/18, 3 p.) 1927

**Senger, M.** Zur Entwicklung des schweizerischen Postscheckverkehrs. (A. f. Post u. Telegraphie. 8, 3 p.) 1926

**Stampfli, A.** Notenthésaurierung im Jahre 1930? Zur Dynamik des Notenumlaufs der Schweiz. Nationalbank. (Z. f. schweiz. Statistik. 67-3, 12 p.) 1931

**Veuve, L.** Die Betriebshaftung der Geld- und Bankpost nach schweizer. Recht. 1927. ii, 85 p. 8°. [Diss. Bern]

## U. S. A.

Changes in demand for currency in the United States. (Fed. Res. Bull. 14-10, 4 p.) 1928

\***Douglas, P. H. & Jennison, F. T.** The movement of money and real earnings in the United States, 1926/28. Chicago: Univ. of Chicago Pr.; London: Cambridge Univ. Pr. 1930. ix, 57 p. 8°. [Stud. in bus. admin. 1, 3]

**Ellsworth, D. W.** Seasonally adjusted daily averages the best guide to money in circulation. (Annalist. 984, 2 p.) 1931

\***Fisher, I.** Moral bei der Geldausgabe und beim Geldrückzuge durch unsere Nationalen Notenbanken. Mit einem Gutachten von Ch. Gide... und einem Schlussw. von G. Ferrero... Bern: Pestalozzi-Fellenberg-Haus 1925. iv, 32 p. 8°

**Hubbard, J. B.** Hoarding and the expansion of currency in circulation. (R. of Econ. Statistics. 14-1, 8 p.) 1932

**Knoblich, A.** Die Umlaufmittel der Dollarwährung. (Mitt. d. Verb. österr. Banken u. Bankiers. 10-9/10, 12 p.) 1928

**Koszul, J.-P.** La circulation monétaire aux Etats-Unis: un paradoxe au pays de la standardisation. (R. d'écon. pol. 44-4, 12 p.) 1930

**Leong, Y. S.** An estimate of the amount of money held by the banks and of the amount of money in general circulation in the United States. (J. of Pol. Econ. 38-Apr., 30 p.) 1930

Money in circulation during 1925. (Fed. Res. Bull. 12-3, 2 p.) 1926

Revised figures for gold stock and money in circulation, 1922/27. (Fed. Res. Bull. 13-12, 3 p.) 1927

#### U. S. S. R.

\***Bernatzky, M.** Le problème de la circulation monétaire de la Russie. [In: Le problème financier russe.] 1922

— La circulation monétaire de la Russie des Soviets. (J. des écon. 83-fév., 17 p.) 1924

**Deri, F.** Ueberweisung- und Zahlungsverkehr mit Sowjet-Russland und den mit ihm verbündeten Republiken. (Ber. a. d. neuen Staaten. 6-34, 2 p.) 1923

Der Geldumlauf in Sowjetrussland. (Bankpost aus d. Osten. 2-4, 3 p.) 1924

Der Geldumlauf in der Sowjetunion. (Staatsbank d. UdSSR. Wirtschaftsber. 3-16, 3 p.) 1928

Der Geldumlauf in der Sowjetunion in Jahre 1927/28. (Staatsbank d. UdSSR. Wirtschaftsber. 3-41, 3 p.) 1928

— (Volkswirtschaft d. UdSSR. 4-1, 3 p.) 1929

Der Geldverkehr in der UdSSR. (Staatsbank d. UdSSR. Wirtschaftsber. 6-3/4, 5 p.) 1931

**Lefèvre** Zunahme des russischen Geldumlaufs. (Danziger Wirtschafts-Ztg. 9-46, 2 p.) 1929

\***Markoff, A. P.** Der Geldverkehr in Sowjetrussland. Berlin: Bernard & Graefe 1924. 29 p. 4°. [Russ. volkswirtschaftl. Bücherei d. Verlags Bernard u. Graefe. 1924, 1]

**Novitsky, W.** Le stock d'or de la Russie. [In: Le problème financier russe.] 1922

## IV. Credit Currency and Deposit Currency

### a. General

\***Adatto, S.** De la propriété, de la provision en matière de lettre de change (Systèmes français, allemand et anglo-américain). Paris: Jouve 1922. 147 p. 8°. [Thèse, Paris]

**Albrecht, E.** Die Genfer internationale Staatenkonferenz zur Vereinheitlichung des Wechselrechts. (Wirtschaft u. Recht. 5-11/12, 18 p.) 1930

\***Alexiano, C.** L'économie du numéraire dans les paiements au moyen du chèque. 1920. 96 p. 8°. [Thèse, Paris]

\***Anderson, B. M.** Bank money and the capital supply. New York: Chase Nat. Bank 1926. 28 p. 8°. [Chase Econ. Bull. 6, 3]

**Arthur, K.** The international conferences for unification of laws on bills of exchange, promissory notes and cheques. (Am. J. of Int. Law. 25-2, 4 p.) 1931

**Baudin, L. G. de Montjou:** Le chèque et la déflation monétaire. (R. d'écon. pol. 38-5, 1 p.) 1924

— G. Ramon: Essai sur les gages du billet de banque. Préface de M. Roger Picard. (R. d'écon. pol. 47-5, 2 p.) 1933

\***Beaucé, A.** De l'unification des législations au point de vue des conflits de lois en matière de lettres de change et de billets à ordre. Paris: Recueil Sirey 1932. 135 p. 8°. [Thèse, Paris]

\***Bemberg, L.** La révocation du chèque en droit comparé. Paris: Recueil Sirey 1923. 94 p. 8°. [Thèse, Paris]

**Berger, R.** Uebertragung und gutgläubiger Erwerb durch Effektenscheck. (Bank-A. 32-22, 3 p.) 1933

**Bernstein, O.** Das Ende des vordatierten Schecks. (Bank-A. 29-13, 2 p.) 1930

**Bernstein, W.** Weltwechselrecht. (Dt. Juristen-Ztg. 32-12, 6 p.) 1927

\***Biberstein, M. A.** Der Eigenwechsel. Bern: Stämpfli 1925. viii, 131 p. 8°. [Abh. z. Schweizer. Recht. N. F. 11] [Diss. Bern]

The bill of exchange: How it works. (Bankers' Mag.—Lond. 1018, 12 p.) 1929

\***Blanchet, P.** La personnalité du tiré en matière de chèque et les projets de réforme. 1924. 67 p. 8°. [Thèse, Paris]

**Boedler, K.** Wirtschaftsumwälzung durch Rentenwechsel. (Dt. Volkswirtschaft. 1-11, 7 p., 12, 7 p.) 1932

\***Bonnet, G.-E.** De la domiciliation pour paiement en matière de chèque. 1924. 70 p. 8°. [Thèse, Poitiers]

\***Bonneville de Marsangy, H.** La sécurité du chèque et les sanctions pénales. Paris: Gauthier-Villars 1925. 8°. [Thèse, Paris]

**Boes, W.** Die Rechtslage bei vermittelter Deckungsanschaffung für Domizilwechsel. (Bank-A. 28-11, 3 p.) 1929

\***Böttger, H.** Wechsel und Scheck in Europa und Uebersee. Ihr Recht, ihre Usancen u. ihre Versteuerung. Berlin: Heymann 1931. vii, 216 p. 8°

\***Bouteron, J.** Le chèque. Théorie et pratique. Paris: Dalloz 1924. 918 p. 8°

— Le statut international du chèque. Des origines de l'unification aux conventions de Genève (1880/1931). Paris: Dalloz 1934. xxvii, 1172 p.

**Brauns, R.** Das neue Wechsel- und Scheckrecht. (Ruhr u. Rhein. 15-12, 6 p.) 1934

**Breit, J.** Neues zum Verrechnungsscheck. (Bank-A. 21-24, 2 p.) 1922

— Der Streit um den Verrechnungsscheck. (Jurist. WSchr. 51-6, 6 p.) 1922

— Scheck. 1. Recht. (HWB. d. Staatswiss. 4 Aufl. 7, 25 p.) 1926

**Breska, H. v.** Wechseleinlösung durch Scheck und bargeldloser Verkehr. (Bank-A. 24-7, 2 p.) 1924

\***Brochu, M.** Du développement du chèque et du paiement par compensation en France. 1927. 151 p. 8°. [Thèse, Paris]

\***Buisson, A.** Le chèque, sa fonction économique. Paris: Godde 1923. 163 p. 8°. [Thèse, Paris]

\***Butze, F.** Wechsel, Scheck, Postscheck. Eine leichtfassl. Darst. Zum Gebrauch in kaufm. Schulen und zum Selbstunterricht. Leipzig: Gehlen 1920. 111 p. 8°. [Gehlen's M.: Handelswiss. Lehrbücher]

- \***Byles, J. B.** A treatise on the law of bills of exchange, promissory notes, bank notes, and cheques. 18. ed. London: Sweet & Maxwell 1923. 442 p. 8°
- \***Cauboue, P.** Papier de commerce, papier de crédit. (J. des écon. 82-avr., 9 p.) 1923  
— Le rôle monétaire des crédits bancaires. (J. des écon. 87-mars, 16 p.) 1928
- \***Chavaudret, J.** La perte de la lettre de change et du billet à ordre en droit français et en droit comparé. 1927. 172 p. 8°. [Thèse, Montpellier]
- Le chèque. (Encycl. de Banque et de Bourse. 3, 30 p.) 1930
- \***Chéron, A.** Vers l'unification du droit de change. Travaux du Comité d'experts juristes de la Société des Nations. (Ann. de droit comm. 38-1, 33 p.) 1929
- \* — La Conférence de Genève de 1930 pour l'unification du droit en matière de lettres de change et de billets à ordre. Paris: Rousseau 1931. 8°. [Repr.: Ann. de droit comm. 40, 1, 21 p.]  
— La Conférence de Genève de 1931 pour l'unification du droit en matière de chèques. (Ann. de droit comm. 41-4, 20 p.) 1932
- \***Combat, F.** Etudes de sciences financières. Les effets de commerce, escompte et recouvrement, changes et monnaies, précis théorique et pratique. 3. éd. (2. éd. du "Manuel du Portefeuilliste.") Paris: Berger-Levrault 1920. 8°
- \***Comptes rendus de la Conférence internationale pour l'unification du droit en matière de lettres de change, billets à ordre et chèques.** 1. sess. Genève: S. d. N.; Berlin: Heymann 1930. 1. Lettres de changes et billets à ordre. 470 p. 4°. [Sér. de publ. de la S. d. N. 2. 1930, 27]
- \* — Tenue à Genève, du 23 févr. au 19 mars 1931. 2. sess. Genève: S. d. N. 1931. 2. Chèque. 402 p. 4°. [Sér. de publ. de la S. d. N. 2. B. 1931, 11]
- \***Conférence internationale pour l'unification du droit en matière de lettres de change, billets à ordre et chèques.** 2. sess. Genève: S. d. N. 1931. 41 p. 4°. [Sér. de publ. de la S. d. N. 2. B. 1931, 6]
- \* — 2. sess. 23 février 1931. Réponses présentées par les Gouvernements au questionnaire concernant le chèque. Exécution de la recommandation Nr. 5 de l'acte final de la Conférence, signé à Genève le 7 juin 1930. Avec addendum. Genève: S. d. N. 1930/31. iv, 88, 4 p. 4°. [Sér. de publ. de la S. d. N. 2. Questions écon. et fin.]
- \***Connes, E.** Le chèque postal expliqué. Lyon: Ed. de vulgarisation postale 1922. 8°
- \***Coppola d' Anna, F.** Sulla convertibilità dei biglietti di banca. (R. di pol. econ. 18-7/8, 6 p.) 1928
- \***Currie, L.** Treatment of credit in contemporary monetary theory. (J. of Pol. Econ. 41-1, 22 p.) 1933
- \***Dalsace, R.** Des conditions de délivrance et d'utilisation des carnets de chèques. Paris: Recueil Sirey 1928. 8°. [Thèse, Paris]
- \***Denkschrift aus Anlass des zehnjährigen Bestehens des Postscheckverkehrs 1909/19.** Bearb. im Reichspostministerium. Berlin: Reichsdruckerei 1919. 40 p. 2°
- \***Diepolder, G.** Die "Umlaufgeschwindigkeit" des Buchungsgeldes. Eisefeld i. Thür: Beck 1934. 142 p. 8°. [Diss. Erlangen]
- \***Doucet, R.** La vulgarisation du chèque. (Monde écon. Mar. 15, 3 p.) 1919
- \***Drouets, G.** La provision en matière de chèque. Etude de la doctrine et de la jurisprudence françaises. Paris: Recueil Sirey 1924. 8°
- \***Dyckerhoff, R.** Die Steuerpflicht ausländischer Schecks. (Bank-A. 25-5, 5 p.) 1925  
Escompte et effets de commerce. (Encycl. de Banque et de Bourse. 3, 200 p.) 1930
- \***Esderts, A.** Die systematische Prüfung von Wechseln auf ihre formelle Ordnungsmässigkeit. 2. Aufl. Berlin: Autor 1930. 16 p. m. Abb. 8°
- \***Falconbridge, G. D.** The law of banks and bank clearing houses, currency and dominion notes, bills, notes, checks, and other negotiable instruments. Toronto: Author 1929. lxi, 980 p.
- \***Falkenhausen, F. v.** Das internationale Scheckrecht. (Bank-A. 30-16, 3 p.) 1931
- \***Feller, A. H.** The international unification of laws concerning checks. (Harvard Law R. 45-4, 29 p.) 1932
- \***Fennell, C. H. H.** A practical examination of the Bills of Exchange Acts: bills of exchange, cheques and promissory notes. London: Pitman 1929. 152 p. 8°
- \***Feschotte, P.** De l'extension de la notion du risque au paiement des chèques. Paris: Pr. univ. de France 1923. 81 p. 8°. [Thèse, Paris]
- \***Fischer, G.** Rechtliche Bedeutung wertbeständiger Schuldscheine und Wechsel. (Z. f. Handelswiss. 16-3, 3 p.) 1923
- \***Flotow, v.** Die Vereinheitlichung des Scheckrechts. Mit Disk. (Verh. d. Dt. Ind.- u. Handelstags. 11, 34 p.) 1930
- \***Fould, A. A.** Le paiement des chèques perdus, volés, faux et altérés en droit comparé. Paris: Recueil Sirey 1924. 8°. [Thèse, Paris]

- \***Foulke, R. A.** The commercial paper market. New York: Bankers Publ. 1931. xv, 267 p. 8°
- \***François, J.** La propriété de la provision en matière de lettre de change. Paris: Recueil Sirey 1930. 8°. [Thèse, Bordeaux]
- \***Frank, J.** Betriebskapital, Warenwechsel und Preisbildung. (Dt. Wirtschafts-Ztg. 20-7, 4 p.) 1923
- \***Frentzel** Die Abschaffung des Postkartenschecks. Mit Disk. (Verh. d. Dt. Ind.- u. Handelstags. 17, 13 p.) 1928
- \***Friedrich** Wirtschaftsliquidität durch Handelswechsel. (Bank-A. 31-14, 4 p.) 1932
- \***Friedrichs** Gehaltspfändung im bargeldlosen Verkehr. (Sparkasse. 1130, 2 p.) 1923
- \***Gambino, A.** Come si crea la moneta. (R. bancaria. p. 132 seq.) 1932
- \***Garçon, M.** Les réformes de la lettre de change. (Economiste fr. 50-21, 2 p.) 1922
- \***Garner, J. W.** International convention for the repression of counterfeiting. (Am. J. of Int. Law. 24-1, 5 p.) 1930
- \***Gatzen, W. A.** Geldersatz (bargeldlose Umlaufmittel). Der Weg zur Beseitigung der allgemeinen Umlaufmittelhöhe und zur Hebung der derzeitigen Umlaufmittelknappheit. Im Rahmen des übergeordneten finanztechnischen Problems der Weltenschuldung. Grünwald: Ante-Portas-Verl. 1919. 48 p. 8°. [Wirtschaftsphilosoph. Schr. 6]
- \* — Scheckgeld, einiges neues Gebiet bargeldloser Verrechnung erschlossen durch einige neue Girogeldart als Bestandteil organ. Reichsfinanzreform. Grünwald: Ante-Portas-Verl. 1919: 71 p. 8°. [Wirtschaftsphilosoph. Schr. 7]
- \***Gegner, F.** Die Kaufkraftschöpfung der Banken in dogmenhistorischer Darstellung (vom Law bis Hahn). Kulmbach: Schuhmann 1932. viii, 156 p. [Diss. Erlangen]
- \***Gesell, S.** "Bargeldloser" Verkehr? (Freiwirtschaft. 2-3, 4 p.) 1920
- \***Giannini, A.** Chèque sbarrato e chèque per conteggio nella convenzione di Ginevra del 1931. (R. di pol. econ. p. 381 seq.) 1931  
— Il sistema delle convenzioni di Ginevra del 1931 per l'unificazione del diritto dello chèque. (R. del diritto comm. 29-5/6, 35 p.) 1931
- \***Glogauer, R.** Der bestätigte Scheck. (Sparkasse. 46-23, 3 p.) 1926
- \***Grosshennig, H.** "The Chequelet"—ein am Steuerfiskus gescheiterter Versuch zur weiteren Ausbreitung des Scheckverkehrs in England. (Zahlungsverkehr u. Bankbetrieb. 9-9, 3 p.) 1927
- \***Grossmann, H.** Der gesicherte, bestätigte oder garantierte Scheck. (Z. f. handelswiss. Forsch. 13-5/6, 25 p.) 1919
- \***Grumler, F.** Guide pratique de chèque postal. Mulhouse: Auteur 1920. 8°
- \***Gruny, Ch. R.** (comp.) Bills of exchange; practice of foreign countries regarding payment on arrival bills. Washington: Gov. Pr. Off. 1927. 57 p. 8°. [Trade inf. bull. 464]
- \***Guastalla, E.** I depositi bancari ed il servizio assegni. Roma: R. Ital. di Ragioneria 1928
- \***Guyot, Y.** L'augmentation du pouvoir d'achat par la baisse des prix. (J. des écon. 83-oct., 16 p.) 1924
- \***Hebensperger, O.** Der Postscheckverkehr, seine Geschichte und zahlenmässige Entwicklung in Europa seit 1925. Ingolstadt a. D.: Ganghofer 1933. 42 p. 4°. [Diss. München, 1931]
- \***Hennig, A.** Die Genfer Wechselrechtskonferenz. (Bankwiss. 7-19, 5 p.) 1931
- \***Hermann, J.** Le problème de la responsabilité dans le paiement des ordres de virement falsifiés. Paris: Rousseau 1930. 83 p. 8°. [Thèse, Paris]
- \***Hermel, W.** Der Verrechnungsscheck. Greifswald: Druck v. Hartmann 1920. 78 p. 8°. [Diss.]
- \***Herrmann, A. R.** Verstaatlichung des Giralgeldes. Ein Beitr. z. Frage d. Währungsreform nach d. Grundsätzen Gottfried Feders. München: Eher 1932. 67 p. [Nationalsozialist. Bibl. 43]  
— Die Zukunft des Giralgeldes. Eine Erwiderung (auf einen Aufsatz in d. "Bank" Heft 49 vom 6. XII. 33). (Sparkasse. 54-1, 4 p.) 1934
- \***Herrmann, K. A.** Der Wechsel im Notenbankkredit. (Plutus-Briefe. 11-8, A 16 p.) 1934
- \***Hirsch, E.** Die Vereinheitlichung der wechselrechtlichen Kollisionsnormen. (Jurist. WSchr. 59-19/20, 6 p.) 1930
- \***Honegger, H.** Der schöpferische Kredit. Jena: Fischer 1929. vi, 135 p. 8°
- \***Hübner, E.** Bemerkungen über die Möglichkeit der Einführung eines europäischen Reiseschecks. (Traveller's Cheque.) (Mitt. d. Verb. österr. Banken u. Bankiers. 9-4/5, 4 p.) 1927